C16

2

QC
990
.J3
O85
1917

LIBRARY

MAR 2000

National Oceanic &
Atmospheric Administration
U.S. Dept. of Commerce

National Oceanic and Atmospheric Administration

Environmental Data Rescue Program

ERRATA NOTICE

One or more conditions of the original document may affect the quality of the image, such as:

Discolored pages
Faded or light ink
Binding intrudes into the text

This document has been imaged through the NOAA Environmental Data Rescue Program. To view the original document, please contact the NOAA Central Library in Silver Spring, MD at (301) 713-2607 x124 or www.reference@nodc.noaa.gov.

Information Manufacturing Corporation
Imaging Subcontractor
Rocket Center, West Virginia
September 14, 1999

大正七年二月十二日印刷
大正七年二月十三日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

●大阪港潮汐觀測

種目	月次	十月	十月	十一月	十一月	十二月	十二月
平均潮位		一二六、三糎		一一三、一糎		一〇六、九糎	
平均干滿ノ差		一一八、六糎		一一二、一糎		一一二、一糎	
滿潮ノ極		二二五糎		一九五糎		一八二糎	
其日時		一日午前十時三十分		一日午後七時五十分		十六日午後八時十分	
干潮ノ極		四二糎		三一糎		二七糎	
其日時		三日午前一時二十分		二十九日午前二時十分		十五日午前三時十分	
最大干滿差		一六六糎		一五二糎		一五〇糎	
其日		三十日		一日		十五日	
最小干滿差		六八糎		三八糎		六〇糎	
其日		十日		十日		七日	

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡	市町村	緑威東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國南郡	多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡	佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	吾妻橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	四區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	全木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
雜波島	攝津國大阪市	四區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	全木津川分署雜波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
築港	攝津國大阪市	西區安治川口	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署築港分署
大阪	攝津國大阪市	四區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國四成郡	傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東鄕	攝津國豐能郡	東鄕村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東鄕村役場

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位　二尺一寸三分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　一尺七寸六分

十二月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	四、一五	四、一〇	三、五五	三、五〇
二日	四、一二	四、一〇	三、六〇	三、五五
三日	四、一〇	四、〇八	三、六〇	三、六〇
四日	四、〇八	四、〇〇	三、五五	三、五〇
五日	三、九五	三、九〇	三、五〇	三、四〇
六日	三、八五	三、八五	三、三五	三、三五
七日	三、八五	三、八〇	三、三五	三、三五
八日	三、八二	三、八五	三、三五	三、三五
九日	三、七五	三、七〇	三、二五	三、二〇
十日	三、六〇	三、五〇	三、一〇	三、〇五

平均水位　廣瀬　二尺九寸九分
最高水位　廣瀬　四尺一寸五分（一日午前六時）
大日　二尺四寸三分
三尺六寸零分（二日、三日）

十二月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
十一日	三、四五	三、四五	三、〇〇	三、〇五
十二日	三、四三	三、四〇	二、九五	二、九〇
十三日	三、三〇	三、一五	二、八〇	二、八〇
十四日	三、二五	三、二七	二、七五	二、七〇
十五日	三、二三	三、二〇	二、六五	二、六〇
十六日	三、〇二	二、九五	二、五〇	二、三五
十七日	二、八〇	二、八五	二、三五	二、二〇
十八日	二、八五	二、八二	二、二〇	二、二〇
十九日	二、六五	二、六〇	二、〇五	一、九五
二十日	二、六〇	二、六〇	二、〇五	二、〇〇

十二月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
二十一日	二、五五	二、四五	二、〇〇	一、九〇
二十二日	二、三五	二、三五	一、七五	一、七五
二十三日	二、三五	二、二五	一、七五	一、七〇
二十四日	二、二八	二、二五	一、六五	一、六五
二十五日	二、二五	二、一〇	一、六〇	一、六〇
二十六日	二、一〇	二、〇〇	一、四〇	一、三五
二十七日	一、九五	一、九五	一、二五	一、二五
二十八日	一、九〇	二、〇〇	一、二五	一、二五
二十九日	一、九〇	二、〇〇	一、四〇	一、三〇
三十日	一、九〇	一、八五	一、二五	一、一五
三十一日	一、八五	一、七五	一、二五	一、三〇

地方天氣豫報暴風警報適否

種類	發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報 風向	三一	二七	四	〇	九四
天氣豫報 天氣	三一	二八	三	〇	九五
天氣豫報 溫度	〇	—	—	—	—
暴風警報	一	一	〇	〇	一〇〇

ざる樣なれども附近より想像して斯くは多き區域に入れたるなり之れを要するに今回の如く廣區域に亘り多量の黑色を帶びたる雨が降下したるは實に珍らしき現象なれども高向村、中村、貴志村の地方人の云ふが如く以前にも此の現象を認めたりとせば此の現象を起す原因たるや或は同一物ならんか試に十五日の氣壓配置を看るに午前六時高氣壓は支那北部にありて七百七十六粍を示し低氣壓は日本海北部に七百五十四粍と南海岸沖に七百五十八粍とありて副低氣壓は鹿島灘に七百五十八粍を示せり又正午には高氣壓は稍々南方に擴り支那北部より揚子江附近に發展し七百七十四粍となり低氣壓は津輕海峽の西方に到りて七百五十四粍他の一は伊豆半島の遙か沖にありて七百五十六粍を示せり故に當地方は低氣壓と低氣壓との中間にありし爲め十四日夕より風力微弱にして風向も定らず概ね曇天にして時々少雨を催し午前九時頃風力最も弱く北東の容米八同十時には北東一米七となり同十一時には風向北々西に變じ二米七となり後次第に增勢して正午には同方向にて八米八となれり尙當日は密雲なりし爲め雲の方向速度等知るを得ざりしも十一時には低き下層雲が北より南に向つて一秒時間六米七の速度にて流れつゝあり依て之れが原因を考察するに大阪市中に散在せる各工場の煙突より吐き出す煙が殆んど靜穩狀態にありし午前九時頃に昇騰し下層雲に近き所の氣流に誘はれて南方に流れ其煤煙に水蒸氣が密集して雨を搆成し雨雲が垂下するに從ひ其地方の風に支配され遂に南河內郡の大部に亘りて降下したるものに非ざるなきか暫く記して他日の研究に俟たんとす

市新野、錦郡、彼方、東條の各村は前記の如く著しき地方にして川西村も亦多く小池の如き水溜は薄黒き水となり底には黒き沈澱物あり富田林町は長野町と大差なく郡役所等にて執務するに左して異狀を感ぜざりしを以て着色の降雨ありしことは知らざりしも後に雨量を量りて始めて知りたりと云へり

新堂、貴志の南村にては稍々薄きも其現象を認め貴志村にては毎年一度位宛黒色を帶びたる降雨ありと云ふ人あり然れども其時期多くは夏頃にして今回の如く冬季に着色せる雨の降りしは始めて知れりと云へり

大伴村及中村にては富田林町附近には黒き雨降下したる樣聞きたるも當村にては心附かざりしと又中村にては黒色を帶びたる雨は初秋頃に降る年もありと云ふ人あり

川上村にては十五日正午頃本村一帶に黒雲低く垂れたる間に降下する雨は皆黒く家根の雨落の用水溜にて明かに暗黒色を認め不審に致し居りたれ其富田林附近より見れは本村は稍々淡き方なり

千早村にては十五日正午過俄かに空模樣惡くなり黒雲垂下するよと見る間に非常に暗黒となり當役場の如きは執務にすら差支る有樣なりしが直ちに黒色を帶びたる薄墨色の稍々強雨を降らし爲めに河水の如きも黒色と變じ水溜りの箇所は今尙黒色を見るとと

第二報本村役場より南西約十丁許りの所は特に甚だしかりし趣にて山稼人夫等が着用せる衣服は該降雨の爲め黒色に染り驚き居たりと

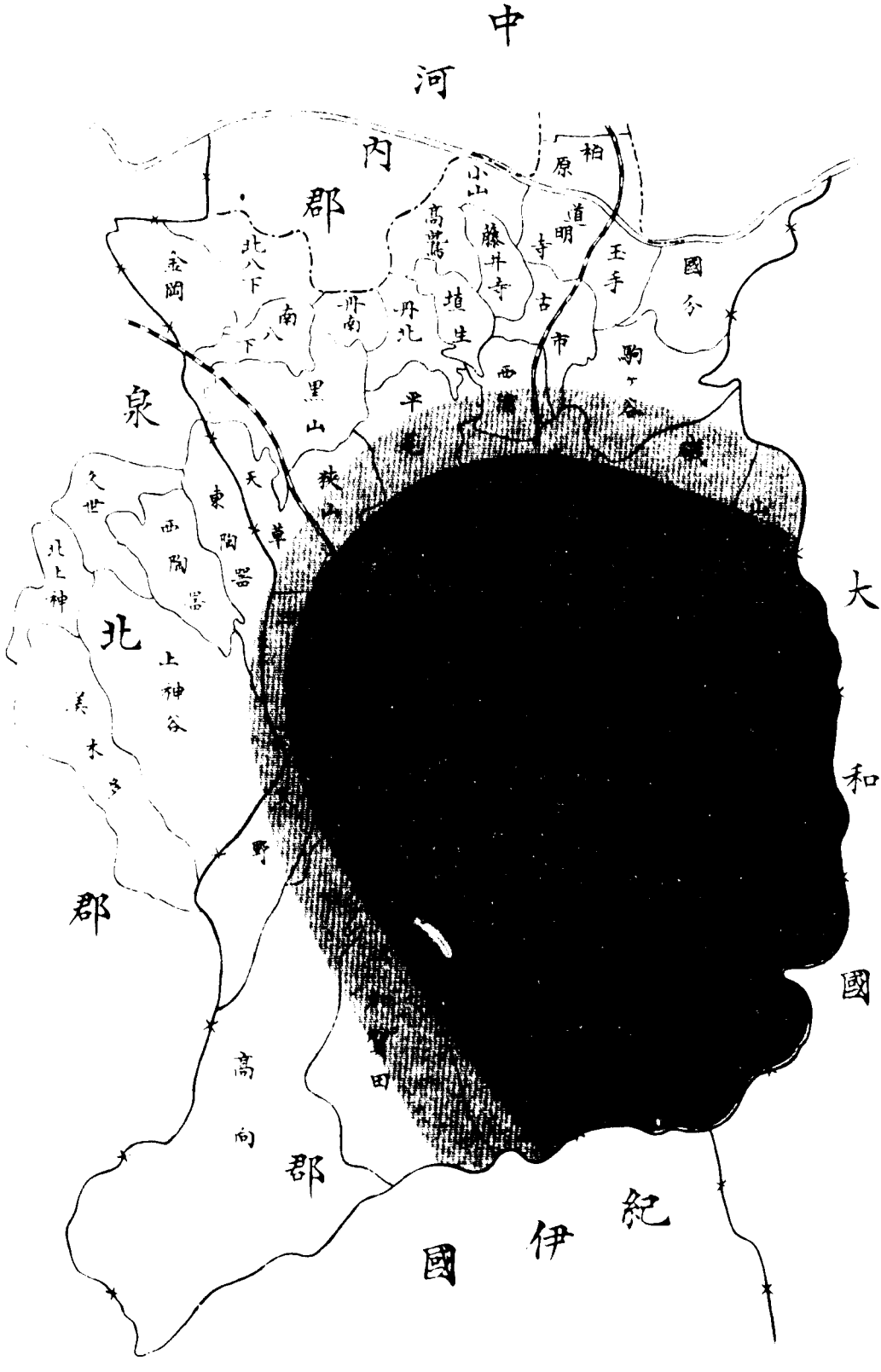
赤阪村にては十五日正午過黒色を帶びたる雨は本村全區域に亘り富田林、長野町附近と同樣降下致し地方の者は或は凶兆ならんと寒心せるものさへある由

河内村にては十五日午後零時二十分頃本村一圓黒色を呈したる降雨約一時間繼續し河水變色したりと

山田村にては十五日正午頃約一時間の内黒雨交々降下し村民内にても直接身体に觸れたる雨は墨汁の如くなりしに驚き居りしが大半之れを知らずされど其說高くなりしより雨後を檢せしに墨汁を流したる如き形跡ありと

以上を綜合して濃淡區域を定むるに稍々複雜なれども要するに其濃淡及狀況は形容したる者なれば人によりて多少の差異を免れず依て黒き雨なることを充分に認め或は煤樣のものを混じ居たるとか又は實地踏査の際畑の畝等に黒色を殘し水溜りに黒き色等を認めたる地方は濃き部分とし稍々薄きも多くの人が認めたりと云ふ地方を其次とし半信半疑の地方は想像を加へて外に作圖したるものなり故に大伴、中村の如きは地方人は殆んど知ら

大正六年十二月十五日南河内郡ニ降下シタル黒雨配布圖



色ノ濃キ部分ハ最モ多ク降下シタル區域ニシテ其次ハ淡キ所其次ハ最モ淡キ所ナリ

●南河内郡の黒雨に就て

技手　芝野彌

大正六年十二月十五日正午頃府下南河内郡に黒色を帯びたる降雨あり浮説頻々なる旨報告に接し命を奉じて實地調査をなしたれば之れが概要と各町村よりの報告とを記すれば左の如し

本府南河内郡は大阪市の南々東に位し葛城山脈を以て東は大和南は紀伊國に境し西は和泉國泉北郡に隣り北は中河内郡を以て境界とし其總面積は廿方里九四にして本府下各郡市の最大面積を保ち大阪市の約三倍を有す而して今回の黒雨降下區域は郡の北西部平尾、狭山、三都村方面より襲ひ來り南東進するに從ひ倍々擴大し中部以東に至りては全部を襲ひ其濃度の最も著しかりし市新野、綿郡、彼方、東條地方を看るに田畑のウヂの如き窪地は薄墨を流したる様の色をなして乾き居り田園の水溜は煤水の如くにして其底には黒色を呈する沈澱物を認め地方人の言に當日は朝來時雨模様にて時々降雨ありしが正午頃晝飯に歸りて休息中鰺に一天掻き曇り不思議の感に打たれて屋外に出づれば西方より低き眞黒なる雲が風と共に押し寄せ來り遂に煤を混じたる如き降雨となり次第に東方に擴り天は墨を流したるが如く降る雨は黒く四圍爲めに暗黒となり迷信家は世が滅するならんと大に嘆じ屋内にランプを要せりと云へり此の現象は長きは一時間短きも四十分間位繼續し雨霽れてより附近の小川を見るに敢て増水したる模様なきも河水は一帯に黒色と變じ上流地方にも同様の降雨ありしことを知らしめたりと更に實地見聞したる事項と報告とを記せんに

三都村及天野村にては午前十一時四十分頃西方より薄黒き雲押し寄せ來りて間もなく降雨となり屋根より落つる雨は稍々黒色を呈するを以て試に田園を見るに同様黒色を帯び始めて黒き雨なるを知り本村にては未だ曾て見たることなき現象なれば何れも不思議に感じたりと

長野町にては正午少し前より薄暗くなりて降雨を催ふせしも平素驟雨の現象と餘り變りもなく別に異狀を感ぜず執務の上に於ても差支を來す程にも非ず敢て心にも留ざりしが三都村より來りし人の談に黒雨降下したるとの事に雨水を掬せしに果して薄黒く濁りたる水にして沈澱物は恰も煤の如く長きは一分位ありし後町内を開正せしに始んど全町に亘りて此の現象ありと又高向村の長野町に接近したる地方にては昨年も一度黒き雨の降りたることありし由なれども其月日詳ならず

三日市村にては北部は長野町に等しかりしも南部に至りては心附かざりしもの多く尚ほ南下して天見村及加賀田村に至れば絶對に知らずと云へり

地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ
深日	十二月十六日	早十一日	早十一日
上之郷	十二月十六日	一	早十一日
岸和田	十二月十六日	早六日	早十一日
長承寺	十二月十六日	早一日	早一日
堺	十二月六日	早十六日	早一日
天王寺	十二月八日	早八日	早十九日
大阪	十二月一日	早八日	早二十三日
福島	十二月一日	早八日	早二十三日
新庄	十二月一日	早二日	早二十三日
秦野	十二月一日	早六日	早二十六日
妙見山	十一月六日	早二十三日	早七日

地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ
東郷	十一月六日	早二十日	早七日
天王	十一月六日	早十四日	早七日
茨木	十二月一日	早六日	早十四日
清水	十二月一日	早二日	早十九日
枚方	十二月十二日	早二十二日	早三十八日
田原	十二月十二日	早十三日	早三十五日
尾原	十二月一日	早五日	早十六日
柏原	十二月五日	晩一日	早十二日
富田林	十二月一日	早二日	早九日
長野	十二月一日	早六日	早九日

●本府管内の初雪

本冬季に於ける本府管内の初雪は北部妙見山、東郷、天王の十一月二十七日を最早とし北部清水の十二月十二日和泉の沿岸及河内南部地方の十二月十六日之れに亞き大阪は十二月十八日にして其他は十二月二十五日に初雪を認めたり之れを平年に比すれば概ね早く昨年よりも亦一般に早し

因に南部地方の比較的早かりしは西の季節風早現し此の寒風に誘れて飛雪を齎らしたるに依る

地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ
深日	十二月廿六日	早七日	早晩ナシ
上之郷	十二月廿二日		早四日
岸和田	十二月十六日	早七日	早十日
長承寺	十二月十六日	早三日	早十日
堺	十二月十六日	早七日	早十日
天王寺	十二月廿五日	早二日	早二日
大阪	十二月十八日	早五日	早九日
福嶋	十二月廿五日	早四日	早二日
新庄	十二月廿五日	早晩ナシ	早二日
泰野	十二月廿五日	晩六日	早二日
妙見山	十一月廿七日	早三日	早十五日

地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ
東郷	十一月廿七日	早六日	早十五日
王	十一月廿七日	早一日	早十二日
木	十二月廿五日	晩二日	早二日
清水	十二月十二日	早八日	早十五日
枚方	十二月廿五日	晩二日	早二日
田原	十二月廿五日	晩二日	早二日
尾	十二月廿五日	早二日	早一日
原	十二月十六日	早七日	早十日
林	十二月十六日	早四日	早十日
野	十二月十六日	早六日	早十一日

●本府管内の初氷

例年初氷は北部より東部の山間に於て十一月下旬より始まり平坦部地方は十二月上旬沿海部地方は十二月中旬乃至下旬に結氷するを常とす而して本年は寒氣の來ること早かりし爲め初氷も亦一般に早く十一月六日北部の山間に現はれ亞で同十二日東部田原より西部枚方に越ゑて十二月一日には殆んど大部を占め同十六日南部一帶に結氷せり之れを平年に比すれば妙見山、東郷、枚方は二十日以上深日、堺、天王、田原は十日以上早く其他も概ね五日内外早し又昨年に比すれば枚方田原の如きは三十五日以上早く大阪、新庄、泰野等は二十三日以上早かりき

山形　仝　六時二〇分三一秒　微

根室　仝　六時二二分〇五秒　微（性質急）

福島　仝　六時二〇分一九秒　微（性質緩）

宇都宮　仝　六時二〇分四二秒　微（性質緩）

甲府　仝　六時二一分〇四秒　微　性質緩

横須賀　仝　六時二〇分五四秒　微

沼津　仝　六時二〇分五三秒　微　性質緩

彦根　仝　六時二〇分〇六秒　微　性質緩

宮津　仝　六時二〇分五三秒　微　性質急

徳島　仝　六時二一分三八秒　微（性質緩）

父島　仝　六時二二分二〇秒　微（性質急）

更に東京帝國大學地震學教室の觀測に依れば發震時は午前六時二十分五十一秒にして初期微動の繼續時間は一分四十二秒を示し最初の震動は北二十二度西にして其距離は約百九十里を示し最大振幅は東西動は四粍五、南北動は五粍〇を現はせりと云ふ又京都帝國大學理科大學の觀測に依れば發震時刻は午前六時二十分五十五秒にして初期微動の繼續時間は一分五十秒を示し最初の震動は南四度西に向ひ同時に上方動を伴ひたれば震源は北四度東にして其距離約八百三十粁を示せりと云ふ

今主なる地にて地動計を以て觀測したる發震時及初期微動の繼續時間を記すれば左の如し

地名	發震時	初期微動繼續時間
大泊	午前六時一九分五七秒	零分五四秒
函館	仝　六時二〇分〇七秒	零分　六秒
水澤	仝　六時二〇分一六秒	一分一九秒
水戸	仝　六時二〇分四二秒	一分三八秒
銚子	仝　六時二〇分五二秒	一分三九秒
東京	仝　六時二〇分五一秒	一分四二秒
京都	仝　六時二〇分五五秒	一分五〇秒
大阪	仝　六時二一分〇五秒	二分〇二秒
福岡	仝　六時二一分二六秒	二分一六秒
長崎	仝　六時二二分〇一秒	二分一一秒
ジヤウエー	仝　六時二二分二八秒	三分一六秒
臺北	仝　六時二三分二三秒	三分四九秒

前記各所にて觀測せし初期微動の繼續時間に依りて震源迄の距離を計算するに樺太の大泊より四百三十粁、水澤より六百十粁水戸より七百五十粁、銚子より七百二十粁、東京より七百七十粁、京都より八百三十粁、福岡より千二十粁ジガウエーより二千粁、臺北より一千二百粁を示し各所の發震時を看るに北方は早くして南方は晩く東京、京都、大阪に於ける震動方向より考ふるも其震源は北海道奥尻嶋の西方海底にあるものなるべし

二日に至る百五時間大正六年一月七日より同十一日及同六年二月十八日より同二十二日に至る各百一時間等なり而して十二月は大正元年十二日より同二十六日に至る七十八時間大正五年二十五日より二十九日に至る七十一時間を除けば概ね三四十時間にして昨年十二月の如く長時間西偏風の吹續したるは實に珍らしきことにして最盛期にすら未だ曾て認めざる所のものなり元來季節風なるものは東亞大陸より來る所の寒冷なる氣流なるが故に日中光溫を享け溫和なる時に際し一朝此の季節風襲ひ來る時は寒氣增進し飛雪を起し雪霰さへ齎らすことあり故に日中は著しく寒冷にして最高氣溫は甚しく低し之れに反して夜間は平常にても寒冷なるが故に季節風の吹ける場合にても比較的最低氣溫は高し又此の季節風は地勢に依り强弱同じからざれども大阪港附近は此の西風を受くること甚しきが故に海運業者は冬季此の風に注意すること最も肝要なりとす

●一月三十一日の地震

技手　岡平太郎

一月卅一日午前六時過に發したる地震は近來稀なるものにして本邦中部以東は微弱震を感じたれども當地方にては人身に感覺なく普通地震計にも亦た感ぜざりしが地動計又は微動計は孰れも著しき振幅を現ぜり今當所地動計の記錄に依れば發震時は午前六時二十一分五秒にして初期微動の繼續時間は二分二秒を示し最初の震動は南十三度西に向ひ同時に上方動を伴ひたれば震源は北十三度東にして其距離は約二百卅里の所に存すべきを示せり而して主要動に入り著大なる地震波の襲來したるため東西及南北動とも描針圓筒外に飛出したるが故に最大振幅を確測することを能はざれども之れを推測するに東西動は四千ミクロン以上南北動は四千二百「ミクロン」以上に達し總振動時間は東西動は一時四十五分四十七秒南北動は一時五十分零秒に及べり又各所にて觀測したる發震時及震度を列記すれば左の如し

地名	發震時	震度
函館	午前六時二〇分〇七秒	弱（弱キ方）性質緩
石巻	午前六時二〇分〇四秒	弱　性質急
新潟	仝　六時二〇分二七秒	弱（弱キ方）性質急
水戸	仝　六時二〇分四二秒	弱（弱キ方）性質緩
筑波	仝　六時二一分一五秒	弱（性質緩）
熊谷	仝　六時二〇分一二秒	弱（弱キ方）性質緩
東京	仝　六時二〇分五四秒	弱（弱キ方）性質緩
横濱	仝　六時二一分〇八秒	弱　性質緩
青森	仝　六時一九分五四秒	微　性質緩
秋田	仝　六時一九分五七秒	微　性質急

仝六年	自十二日至十三日	二	二八	二七	十三日	午前二時	西	二七、五
仝六年	自十八日至二十二日	五	一〇一	七六	十八日	午後二時	西	二二、九

三月中の季節風

大正元年	自七日至八日	二	一六	一三	八日	午前九時	西	二二、三
仝二年	五日	一	一九	八	五日	午後一時	西南西	一五、二
仝二年	二十六日	一	二二	一〇	二十六日	午後一時	西南西	一五、四
仝四年	自二十九日至三十日	二	一三	八	二十九日	午後八時	西	一九、〇
仝五年	自二日至三日	二	三三	三〇	二日	午後二時	南西	一五、三
仝五年	自十七日至十八日	二	二五	一二	十七日	午後五時	西北西	二〇、二
仝五年	二十四日	一	二二	五	二十四日	午後七時	西北西	一二、六
仝六年	自五日至六日	二	三六	二八	五日	午後二時	西南西	二〇、二
仝六年	自二十五日至二十六日	二	四〇	二七	二十五日	午後一時	西南西	一九、二

四月中の季節風

大正三年	自八日至九日	二	二〇	一九	八日	午後十一時	西	一六、四
仝五年	五日	一	一一	一〇	五日	午後三時	西南西	一五、二

以上の如く季節風の回數は大正六年の十五回最も多く同二年の十四回之れに亞ぎ同元年は七回にして最も少なし氣溫の變化は頗る複雜なれども六年間を各年各月に別ち累年との較差を求めたるものにして季節風旺盛なりし時は前に述べたるが如く日中は著るしく寒冷なれども夜間は比較的最低氣溫は高し然れども初春季及晩秋季は季節風稀なるが故に偶々此風を起す時は晝夜を通じ寒冷なりし

又季節風なる西風の最も長く吹續したるは大正六年十二月十五日より同三十日に至る三百二十六時間にして同四年一月十二日より同十八日に至る百二十七時間同六年一月二十九日より二月

二月中の季節風

全二年	全二年	全二年	全三年	全三年	全三年	全四年	全四年	全四年	全四年	全五年	全五年	全五年	全六年	全六年	全六年	全六年	大正元年	全元年	全二年	全二年	全四年	全四年	全五年
自十二日至十四日	十八日	自二十九日至十日	自七日至四日	自十八日至十六日	自十六日至十四日	自十九日至十八日	自八日至二十九日	自二十三日至二十一日	自十五日至十七日	自十五日至十四日	自十八日至十九日	自二十一日至二十二日	自二十五日至二十四日	自二十三日至二十九日	自二十八日至一日	自一日至二日	自三日至四日	自六日至十日	自十八日至十六日	自十一日至十七日	自二十八日至二十一日	自七日至五日	自十日至十五日
三	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三
四七	八	二八	三八	四一	五〇	四一	二八	二五	二七	一二七	一〇〇	一〇〇	二五	八二	一〇五	四四	三二	三三	二九	二三	一〇〇	七三	三〇
四三	六	二三	三七	三一	三六	二六	二〇	二二	九七	一六	一五四	一九〇	二五	五五	七七	二五	三九	九四	五〇	二六	三三	二三	二四
十二日	十八日	二十九日	二日	七日	十四日	二十七日	八日	二十九日	十三日	二十四日	八日	二十四日	十八日	二十四日	二十九日	十一日	十七日	十一日	二十七日	六日	二十八日	十一日	十七日
午前十時	午後四時	午後九時	午後五時	午後五時	午後四時	午前六、七時	午後七時	午前七時	午前六、七時	午前九時	午前八時	午後一、七時	午前六時	午前二時	午後四時	午前二時	午後九時	午後四時	午後四時	午後六時	午後一時	午後十時	午後九時
西北西	西	西北西	西	西	西南西	西	西	西	西	西	西	西	西北西	西	西南西	西	西	西南西	西	西	西	西南西	西
二〇、四	一七、〇	二〇、七	二二、一	三四、三	二七、三	一四、四	三〇、四	二一、六	一九、五	二〇、八	二七、八	一八、八	一八、五	一七、九	一九、五	一九、五	一八、四	二一、四	一八、五	一八、四	二一、六	一七、五	二二、四

十二月の季節風

大正元年	自二十二日至二十六日	五	七八	五三	二十四日	午前八時	西北西	一五、九
仝二年	自三日至五日	三	五六	五〇	三日	午後八時	北西	一七、五
仝二年	自十三日至十四日	二	二九	一八	十四日	午前六時	西	一四、五
仝二年	自十七日至十八日	二	二五	二二	十七日	午後九時	西	二八、一
仝二年	自二十三日至二十五日	三	四八	四一	二十三日	午前十一時	西	一五、七
仝二年	自三十日至一月一日	三	三九	三二	三十一日	午前七時	西	二一、〇
仝三年	自七日至八日	二	三三	二一	七日	午後九時夜半	西	一七、九
仝三年	自十八日至十九日	二	四〇	三六	十八日	午後八時	西	一八、三
仝三年	自二十六日至二十八日	三	五一	四二	二十七日	午後七時	西	一七、一
仝四年	自十四日至十五日	二	四一	三四	十四日	午後八時	西	一七、九
仝四年	自二十二日至二十三日	二	三六	二八	二十二日	午後一時	西南西	一六、六
仝五年	十二日	一	一四	一〇	十二日	午後八時	西	一四、一
仝五年	自二十五日至二十九日	五	七一	六三	二十七日	午後八時	西	二六、八
仝六年	自三日至四日	二	三二	一七	三日	午後五時	西	一五、三
仝六年	自十二日至十五日	三	五一	二六	十日	午前十一時	西	一四、三
仝六年	自十五日至三十日	一六	三二六	一七二	十五日	午後十一時	西	二〇、八

一月中の季節風

大正元年	自十日至十三日	四	七八	五九	十一日	午後八時	西	一九、九
仝元年	自十四日至十六日	三	四四	四〇	十六日	午前十時	西	一八、四
仝二年	一日	一	一九	一七	一日	午前四時	西北西	一七、一
仝二年	自五日至七日	三	四三	三二	六日	午前一時	西北西	一六、九

最低氣温

年	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月
大正元年	高	高 〇、三五	高	高 一、六三	高 四、三四	高 五、二五	
仝二年			高 一、二一	高 一、〇九	高 〇、三六	低 〇、〇五	
仝三年	高	高 二、二七	高 二、五九	高 二、〇四			低 三、三〇
仝四年		高 二、九五	高 一、九二	低 〇、二八	低 一、四八	低 一、二五	
仝五年			高 〇、〇三	高 五、三五	高 一、二二	低 一、九三	低 四、九〇
仝六年	高 二、四五	低 〇、一六	低 〇、一四	低 〇、二一	高 一、五六	低 〇、一八	
平均	高 二、四五	高 一、三五	高 一、〇五	高 一、六〇	高 一、二〇	高 〇、三七	低 四、〇〇

更に大正元年より同六年に至る六ケ年間の季節風吹きたる日子を詳記すれば左の如し

十月中の季節風

年	日	日數	西偏風強風以上	最大速度 日	最大速度 時	最大速度 方向
大正六年	自二十九日至三十日	二	三三	一〇	三十日	午前四時	西

十一月中の季節風

年	日	日數	西偏風強風以上	最大速度 日	最大速度 時	最大速度 方向	最大速度 速度
大正元年	自十四日至十五日	二	三四	二八	十五日	午後六時	西	一八、九
仝二年	自二十一日至二十二日	二	二五	三〇	十一日	午後九時	西	一五、〇
仝三年	自十一日至十二日	一	一一	一一	五日	午後二時	西	一四、八
仝四年	自二十八日至二十九日	二	二七	一〇	二十八日	午後五時	西	一三、九
仝五年	自二十二日至二十三日	二	二二	一八	二十二日	午後二時	西	一四、七
仝六年	自十日至十一日	二	三九	三五	五日	午前五時	西	一七、八
仝四年	自二十八日至二十九日	二	二二	一七	一〇	午後五時	西	一三、九
仝三年	自二十二日至二十三日	二	二二	一九	一八	午後二時	西	一四、七
仝六年	自十日至十一日	二	三九	三五	五日	午前五時	西	一七、八
仝六年	自十一日至十二日	二	三九	三〇	十一日	午後九時	西	一五、〇
仝三年	自十一日至十二日	一	一一	一一	五日	午後二時	西	一四、八
仝六年	自十四日至十五日	二	三四	二八	十五日	午後六時	西	一八、九

季節風の吹きたる時と平常との氣溫の差

平均氣溫

年	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月
大正元年	低	低 一、三五	高 一、一四	高 〇、五一	高 二、八〇	高 三、四五	低
全二年			高 〇、二四	低 〇、一一	低 一、七〇	低 〇、九五	
全三年	高	高 一、一三	高 一、一四	高 一、四九			低 三、七五
全四年	高 一、五〇	高	高 一、四七	低 〇、五九	低	低 一、八五	
全五年			低 〇、六五	高 三、三五	高 〇、七〇	低 三、〇六	低 四、七〇
全六年	低 一、一九	低	低 一、三五	高 一、一一	高 〇、三六	低 五、〇二	低
平均	高 一、〇〇	低	高 〇、一五	高 〇、六一	高 〇、〇九	低 一、〇九	低 四、二三

最高氣溫

年	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月
大正元年	低 〇、五〇	低 三、五〇	低 〇、九二	低 〇、八〇	高 一、〇八	高 一、九五	
全二年			低 一、四九	低 一、五〇	低 二、九五	低 二、九〇	低 五、一五
全三年		高低ナシ	低 〇、四六	高 〇、七四			
全四年		低 二、一五	低 〇、五七	低 一、〇九	低 二、二一	低 四、〇五	
全五年		低	低 一、〇五	低 一、六五	低 〇、四〇	低 三、三四	低 四、八〇
全六年	低 〇、五〇	低 二、六三	低 二、四一	低 二、〇九	低 〇、四六	低 三、三三	
平均	低 〇、五〇	低 二、七六	低 一、二三	低 一、〇八	低 〇、九九	低 二、二三	低 四、九八

全五年六年合計

	一	一	〇				
	七	三	〇				
	一六	三	二				
	一九	四	一				
	九	二	一				
	九	二	三				
	六三	一五	八				

(三)二十五日より二十八日に至る暴風　二十五日夜日本海の北部と東部とに七百五十二粍の低氣壓顯はれ徐々東に進行せり又一方高氣壓は支那北部にありて七百七十四粍を示し南東方に發展し來りしため關西以西は北西の強烈風吹き起れり大阪にては二十五日夜半より強風吹き起り午後一時最も強く毎秒速度十六米三に達し尚吹續せしが二十八日に至り氣壓の傾斜漸く緩となり爲めに風力減殺するに至れり而して強風以上の吹きたる總時數は三十一時にして內強風二十七時間烈風四時間なり

◉冬季西の季節風と氣溫に就て

技手　芝野彌

大阪に於ける冬季の季節風たる西の強烈風に就ては屢々報導したる所なれども今爰に述べんと欲する所のものは此の季節風たる西風の消長に依り如何に氣溫に變化を及ぼすかを大正元年より同六年迄調査したるものにして之れを概叙せんに例年季節風は十一月中旬乃至下旬より吹き起り十二月及一月二月に旺盛を極め三月下旬に終るを常とす然りと雖ども大正六年の如きは十月下旬より吹き起り大正三年には四月上旬の末に於て吹きたるもあり而して此の季節風は概ね長時間吹續に從て風力も亦強く大正六年一月二日より同十一日に亘りて百五十四時間同年二月は十五日午後三時より西風吹き起り三十日午後四時に至る三百六十二時に對し三百二十六時間の西偏風吹續し內強風以上の時數は百七十二時間に達し近年稀なる現象なりし又風力の最も強かりしは大正三年一月七日の三十四米二にして之れに亞くは同四年一月八日の三十米四なりとす然して季節風吹續期間中に於ける氣溫の變化を累年平均と比較し看るに平均氣溫は稍々低きも大差なく最高氣溫は一度以上低く最低氣溫は一度內外高溫となれり今大正元年より同六年に至る六ケ年間の季節風と氣溫との概表を示さんに

季節風の吹きたる回數

年／月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	合計
大正元年	〇	一	一	二	三	一	〇	七
仝二年	〇	〇	五	五	二	二	〇	一四
仝三年	〇	二	三	四	〇	〇	一	一〇
仝四年	〇	一	二	三	二	一	〇	九

十二月十八日	午後七時	七六二、〇	三、七	西	一三、七	—	快晴
仝	仝八時	七六二、三	三、一	西	一六、八	—	快晴
仝	仝九時	七六二、六	二、五	西	一一、一		快晴
仝	仝十時	七六二、八	二、一	西南西	九、五	—	快晴
仝	仝十一時	七六二、〇	二、〇	西南西	八、三	—	快晴
仝	夜半	七六二、九	二、一	西南西	七、八	—	快晴
十二月十九日	午前一時	七六三、〇	二、一	西南西	九、五		快晴
仝	仝二時	七六三、四	二、四	西	八、〇	—	快晴
仝	仝三時	七六三、五	二、一	西	八、二	—	快晴
仝	仝四時	七六三、五	二、〇	西	四、八	—	快晴
仝	仝五時	七六三、五	二、一	西	六、五	—	快晴
仝	仝六時	七六三、八	二、五	西	一〇、八	—	快晴
仝	仝七時	七六三、一	三、一	西	九、八	—	晴
仝	仝八時	七六二、三	三、三	西	一二、三	—	晴
仝	仝九時	七六二、七	四、〇	西	一三、三	—	曇
仝	仝十時	七六三、九	四、六	西	一二、四	—	快晴
仝	仝十一時	七六二、五	五、六	西	八、三	—	晴
仝	正午	七六三、九	七、二	西	一〇、四	—	快晴
仝	午後一時	七六三、六	七、八	西	一二、三	—	晴
仝	仝二時	七六三、五	七、〇	西南西	一二、三	—	曇
仝	仝三時	七六三、五	七、三	西南西	一三、八	—	曇
仝	仝四時	七六三、六	六、六	西南西	一三、九		快晴
仝	仝五時	七六三、六	五、九	西	一三、八	—	快晴
仝	仝六時	七六二、七	五、五	西	一二、四	—	快晴
仝	仝七時	七六三、三	五、一	西	一三、六	—	快晴

十二月十九日	仝八時	七六二、四	四、七	西	一三、七	—	快晴
仝	仝九時	七六二、四	四、四	西	一二、七	—	快晴
仝	仝十時	七六三、二	四、三	西	一四、三	—	快晴
仝	仝十一時	七六三、三	四、二	西	一四、五	—	快晴
仝	夜半	七六二、三	四、〇	西	一二、八	—	快晴
十二月二十日	午前一時	七六三、一	三、九	西	一〇、九	—	快晴
仝	仝二時	七六三、二	三、八	西	一〇、四	—	快晴
仝	仝三時	七六三、一	三、七	西	一〇、七	—	快晴
仝	仝四時	七六三、一	三、五	西	一二、五	—	快晴
仝	仝五時	七六二、九	三、五	西	一三、四	—	快晴
仝	仝六時	七六二、〇	三、六	西	一三、八	—	快晴
仝	仝七時	七六三、〇	三、五	西	九、九	—	快晴
仝	仝八時	七六二、五	四、二	西	一三、[illegible]	—	快晴
仝	仝九時	七六二、八	五、三	西	一二、五	—	快晴
仝	仝十時	七六四、〇	六、三	西	一三、四	—	快晴
仝	仝十一時	七六三、九	六、七	西	一三、五	—	快晴
仝	正午	七六二、三	七、一	西	一二、五	—	快晴
仝	午後一時	七六二、一	七、八	西南西	一三、三	—	晴
仝	仝二時	七六三、八	八、一	西	一三、四	—	晴
仝	仝三時	七六二、〇	八、一	西南西	一〇、六		快晴
仝	仝四時	七六三、一	七、一	西	九、九	—	快晴
仝	仝五時	七六二、三	五、九	西	一〇、八	—	快晴
仝	仝六時	七六二、六	五、八	西南西	八、八	—	快晴

十二月十六日	午後五時	七六一、九	四、三	西	九、八	|	晴
仝	仝六時	七六三、三	三、九	西	九、九	|	晴
仝	仝七時	七六三、四	四、一	西	一四、七	|	晴
仝	仝八時	七六三、五	三、九	西	一〇、〇	|	快晴
仝	仝九時	七六三、六	四、一	西	九、九	|	曇
仝	仝十時	七六三、八	四、三	西	一〇、七	|	晴
仝	仝十一時	七六三、三	四、五	西	一三、六	|	晴
仝	夜半	七六三、一	四、七	西	一五、七	|	晴
十二月十七日	午前一時	七六二、九	四、七	西	一五、〇	|	晴
仝	仝二時	七六二、六	四、七	西	一六、六	|	快晴
仝	仝三時	七六二、七	四、[illegible]	西	一八、三	|	快晴
仝	仝四時	七六二、七	四、二	西	一八、一	|	快晴
仝	仝五時	七六二、七	四、一	西南西	一七、五	|	快晴
仝	仝六時	七六二、九	三、九	西南西	一五、七	|	快晴
仝	仝七時	七六三、一	三、八	西南西	一六、八	|	晴
仝	仝八時	七六三、五	四、〇	西	一二、九	|	曇
仝	仝九時	七六三、七	四、四	西	一三、八	|	晴
仝	仝十時	七六三、九	四、九	西	一二、三	|	晴
仝	仝十一時	七六三、四	六、三	西南西	一三、七	|	晴
仝	正午	七六一、八	六、〇	西南西	一二、九	|	晴
仝	午後一時	七六一、四	七、一	西南西	一二、三	|	晴
仝	仝二時	七六〇、八	七、五	西南西	一二、八	|	快晴
仝	仝三時	七六〇、九	七、一	西南西	一三、三	|	快晴
仝	仝四時	七六〇、九	六、五	西南西	一二、八	|	快晴
仝	仝五時	七六〇、八	六、一	西	一〇、六	|	快晴

十二月十七日	午後六時	七六一、〇	五、九	西	八、八	|	快晴
仝	仝七時	七六〇、九	五、六	西	八、〇	|	快晴
仝	仝八時	七六〇、八	五、五	西	八、[illegible]	|	快晴
仝	仝九時	七六〇、六	五、四	西	[illegible]		快晴
仝	仝十時	七六〇、五	五、[illegible]	西	一〇、[illegible]	|	晴
仝	仝十一時	七六〇、三	五、[illegible]	西北西	一二、五	|	曇
仝	夜半	七六〇、一	四、九	西	一一、三		曇
十二月十八日	午前一時	七五九、八	四、六	西	七、一		晴
仝	仝二時	七五九、九	四、一	西	六、四	|	快晴
仝	仝三時	七五九、八	四、[illegible]	西	一二、四	|	快晴
仝	仝四時	七六〇、〇	三、六	西	一二、七		快晴
仝	仝五時	七六〇、一	三、三	西	一三、[illegible]		快晴
仝	仝六時	七六〇、五	三、〇	西	一三、四	|	快晴
仝	仝七時	七六〇、九	二、九	西	一二、六		快晴
仝	仝八時	七六一、五	三、三	西	一三、[illegible]		快晴
仝	仝九時	七六一、七	四、[illegible]	西	一三、七		快晴
仝	仝十時	七六一、九	四、九	西	一〇、[illegible]		快晴
仝	仝十一時	七六一、五	六、一	西	一二、[illegible]		晴
仝	正午	七六一、一	六、五	西	九、八	|	曇
仝	午後一時	七六〇、六	六、六	西	一二、八		晴
仝	仝二時	七六〇、三	六、三	西	一〇、九		曇
仝	仝三時	七六〇、四	七、[illegible]	西	一〇、九		晴
仝	仝四時	七六〇、七	五、七	西	一一、四	|	晴
仝	仝五時	七六〇、九	四、九	西	一二、九	〇、[illegible]	晴
仝	仝六時	七六〇、九	四、四	西	一〇、三	〇、[illegible]	快晴

氣壓七百三十粍二に降れり是を以て本邦にては氣層の傾斜甚大となり殊に奥羽地方より北海道に亘りて著しき風雪あり壽都にては十九日午前一時風速度毎秒三十三米八に宗谷にては十八日午後六時風速度毎秒三十一米九に及べり

大阪にては十五日朝來風力微弱なりしが正午より風力加はり午後四時より西の強風吹き起り午後六時には烈風となり午後十一時最も強く毎秒速度二十米八に達し十六日午前二時頃より稍衰へしも尚ほ強風程度にして吹き續き夜半に至り又增勢し烈風となり十七日午前八時より稍々減力せしが二十日午後五時まで強風斷續せり總吹續時數は百時間にして内強風八十三時間烈風十七時間なり斯く長時日に亘り強烈風の吹續したるは甚だ稀にして當所創立以來大正六年一月二日より十一日に至る百五十四時間と大正二年二月七日より十日に至る百時間と今回の百時間との只三回ありしのみなり

更に毎時觀測の結果を記すれば左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	降水量	天氣	月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	降水量	天氣
十二月十五日	午後三時	七五九、九	九、三	西	九、八	—	晴	十二月十六日	午前四時	七六三、一	一、一	西	一四、四	—	快晴
仝	仝四時	七六〇、一	七、四	西	一四、四	—	晴	仝	仝五時	七六三、二	一、一	西	一三、四	—	快晴
仝	仝五時	七六〇、七	五、九	西	一四、八	—	快晴	仝	仝六時	七六三、五	一、三	西	一四、〇	—	快晴
仝	仝六時	七六一、三	四、七	西	一八、一	—	晴	仝	仝七時	七六三、六	一、五	西南西	一三、四	—	快晴
仝	仝七時	七六二、〇	三、四	西	一五、五	—	快晴	仝	仝八時	七六三、八	二、〇	西南西	一二、五	—	快晴
仝	仝八時	七六二、四	二、八	西	一五、八	—	快晴	仝	仝九時	七六三、九	三、三	西南西	一四、二	—	晴
仝	仝九時	七六二、五	二、一	西	一八、三	—	快晴	仝	仝十時	七六三、七	四、三	西南西	一四、四	—	晴
仝	仝十時	七六三、一	二、〇	西	一八、〇	—	快晴	仝	仝十一時	七六三、四	五、四	西南西	一三、三	—	晴
仝	仝十一時	七六三、一	一、八	西	一〇、八	—	快晴	仝	正午	七六三、〇	五、三	西南西	一〇、八	—	晴
仝	夜半	七六二、九	二、〇	西	一六、九	—	快晴	仝	午後一時	七六二、三	五、六	西南西	一二、二	—	晴
十二月十六日	午前一時	七六三、〇	一、七	西	一五、八	—	快晴	仝	仝二時	七六二、〇	六、一	西南西	一二、八	—	晴
仝	仝二時	七六三、一	一、五	西	一三、六	—	快晴	仝	仝三時	七六二、一	四、八	西北西	一〇、五	—	曇
仝	仝三時	七六三、一	一、二	西	一四、一	—	快晴	仝	仝四時	七六二、〇	四、六	西	九、七	—	晴

大正二年	一、五九八	一、四〇〇	二、五四〇	二、一六〇	二、三四一	二、二七〇	二、一六一	二、四八二	二、一七〇	一、九六[illegible]	二、六三[illegible]
大正三年	二、六四五	二、〇〇〇	二、八二六	二、六〇〇	二、六五五	二、一五三	二、六三四	二、六四三	二、五六三	二、五六三	二、八〇六
大正四年	二、三二一	一、〇〇〇	二、三九七	二、四四八	二、三五五	二、二四一	二、[illegible]九	二、四七三	二、三九[illegible]	二、四〇八	[illegible]
大正五年	二、二八一	二、〇〇〇	二、四六七	二、四九五	二、四一四	二、三三四	二、三三四	二、四〇[illegible]	二、三六四	二、四八六	二、四五[illegible]
大正六年	二、三九九	×	〇、八二三	二、〇九三	一、六四一	二、〇五六	二、一七[illegible]	二、三六三	二、二一七	一、七五一	一、八二九
平均	二、〇九九	一、八四五	二、四六六	二、三二五	二、三二四	二、三三〇	二、三三九	二、四四五	二、三三七	二、三〇八	二、五三八
大正六年ノ方平均ヨリ	増 〇、三四〇	―	減 一、六四三	減 〇、二三二	減 〇、六八三	減 〇、二八四	減 〇、[illegible]九九	減 〇、一四[illegible]	減 [illegible]、[illegible]八	減 〇、五五七	減 〇、七〇九

但し平均は明治四十一年より大正五年に至る六ヶ年平均なり

前表に依りて看るに大正六年の收獲は平年に比し著しく減少したるは西成、三島の二郡にして一反歩に付一石六斗以上之れに亞くは北河内、中河内の二郡にして一反歩に付七斗乃至五斗餘の減收となれり而して其他は平年に比し多きも約二斗の減收にして大阪市の如きは一反歩に付二斗四升の増收を示せり。

●十二月中の暴風概況

技手　大橋龍太郎

本月は低氣壓の日本海方面を通過するもの多く而して高氣壓は概ね支那北部に固定し氣壓は西より東に遞減し傾斜急峻となり爲めに全國に亘り季節風強かりし大阪にては本月中の暴風時數は二百一十五時にして平年より九十六時多く就中十五日午後四時より二十日午後五時に至る暴風の如きは強烈風の吹續時數百時に達したり今其主なるものを記すれば左の如し

(一)十二月十日より十一日に至る暴風　八日朝支那北部に顯はれたる低氣壓は東南東に進み九日滿洲南部及び朝鮮北部を通過し日本海に入り北東に轉向し十日朝北海道の南西方沖合に來り著しく發達し其中心示度七百四十四粍以下に下降せり此れが爲め本邦各地に著しき暴風起り濱田にては十日午前一時に風速度毎秒二十八米九に紗那にては十二日夜半風速度毎秒二十八米〇に達せり而して該低氣壓は宗谷海峽を通過して十一日オホック海に去れり

大阪にては十日午前六時風向東より西に轉じ俄然強風吹き起り毎秒速度十四米二の最強に達せしが爾後稍々衰へ十一日午後七時まで斷續せり其時數二十五時間なり

(二)十七日より二十日に至る暴風　十六日日本海北部に顯はれたる低氣壓は東南東に進み十七日樺太南端を掠めてオホック海に入り十八日千島南部に到るに及びて急速なる發達なし其中心示度七百二十八粍を示し紗那にては十八日午後一時及び二時に

之れを要するに本年稻作期間の氣象は全期を通じて氣温は前年より低かりしも平年より高く、日照時數は播種より出穗までは前年及平年より多く出穗より成熟に至るまでは前年及平年より少く降水量は播種より出穗までは前年及平年より少く出穗より水成熟までは前年及平年より多し

今參照の爲め最近六年間の七、八、九月の氣温、日照時數、降量と米收獲高とを列記すれば左の如し

年次＼種目	氣温 七月	氣温 八月	氣温 九月	日照時數 七月	日照時數 八月	日照時數 九月	降水量 七月	降水量 八月	降水量 九月	米收穫 作付反別	米收穫 總收穫高	米收穫 一反歩の平均收量
明治四十四年	二五、七	二六、六	二四、五	二三〇、二	二五六、二	一八八、四	一八九、六	一四六、四	一九九、〇	五四、一〇八二	一、二三〇、九八〇	二、二七四
明治四十五年 大正元年	二五、二	二七、二	二一、一	一九五、六	三〇〇、四	一三七、六	一五八、七	七七、六	一五五、〇	五四、〇七九三	一、一七四、九一四	二、一七四
大正二年	二五、〇	二六、一	二一、三	二九五、七	二六三、二	二〇二、四	一八、五	一〇六、〇	五四、七	五三、九八三八	一、二二七、四六二	二、二七四
大正三年	二八、〇	二八、三	二四、七	二八二、八	二八四、二	二二五、〇	八一、七	九四、四	一〇七、二	五四、二四二四	一、四三二、三二四	二、六四二
大正四年	二六、五	二七、四	二四、九	二七五、二	二三三、七	一八二、三	七二、五	一九〇、二	一五一、四	五四、二八七九	一、三一〇、二〇二	二、四一三
大正五年	二六、六	二七、七	二五、四	一八〇、九	二六三、五	二〇八、五	七三、八	九五、九	一六五、一	五四、〇六六	一、三〇六、八二五	二、四一七
大正六年	二七、四	二六、六	二四、三	二八〇、九	二四五、三	一四四、一	四六、六	九八、五	三五九、六	五三、六九三七	一、〇八三、四四九	二、〇一八
六ヶ年平均	二六、二	二七、二	二三、八	二四三、四	二六六、八	一九〇、七	九九、一	一一八、四	一五五、四	五四、一二七九	一、二八〇、四四九	二、三六六

因に本年本府管内の稻作は挿抉以來氣候適順にして豐作を豫期せしも成熟期に入り降雨多く殊に九月三十日より十月一日に亘り大雨出水あり淀川流域の一部に浸水し收獲殆んど皆無に歸せる處少からず又一部地方に於ては生育期中に旱害を被り用水の欠乏を告げたると蛾虫發生し蟲害を被りたるとに依り收獲を減少したる所あり故に全管内を通算する時は前年及平年より著しき減收となるも各郡に就て調査すれば左の如し

年次＼郡市	大阪市	堺市	西成郡	東成郡	三島郡	豐能郡	泉北郡	泉南郡	南河内郡	中河内郡	北河内郡
明治四十四年	二、〇一四	一、九一七	二、四一七	二、二三六	二、一一〇	二、三二六	二、二九三	二、二二二	二、二六五	二、三三三	二、四〇五
明治四十五年 大正元年	一、五二五	一、七五〇	二、一四六	一、九九九	二、一六一	二、二三九	二、一八一	二、二二二	一、一四五	二、〇九五	二、三二三

	平均氣温	日照時數	降水日數	全量
晩稻	二九、〇	六四一、〇	二七	二三五、二
前年に比し本年の方	▲ 〇、四	▲ 八八、九	九	九二、五
平年に比し本年の方	▲ 〇、五	▲ 一〇、二	一	七九、七

成熟期　本期間は出穂より成熟するまでの間にして專ら稻の成熟作用を營むを以て生育期と同じく氣象の關係は甚大にして高溫多照なれば子實を良好ならしむるも之れに反する時は粃粒を生じ其結果收穫を減ずる處なしとせず、

今本期間の氣温を看るに八月下旬より九月上旬までは稍々低かりしも後高溫に經過したり

更に本期間の氣象を前年及平年に比するに氣温は早、中、晩稻期を通じて前年より低かりしも平年より高く、日照時數は早、中晩稻期を通じて前年及平年より少く降水日數及水量は早中晩稻期を通じて前年及平年より多し即ち左に記するが如し

	早稻 平均氣温	早稻 日照時數	早稻 降水日數	早稻 全量	中稻 平均氣温	中稻 日照時數	中稻 降水日數	中稻 全量	晩稻 平均氣温	晩稻 日照時數	晩稻 降水日數	晩稻 全量
本年	二三、三	二三一、四	二九	四五八、〇	二一、〇	一九四、二	三四	五五三、六	一八、六	二四五、二	三六	五八一、二
前年に比し本年の方	○、九	七二、七	▲ 一三	▲ 二四二、八	○、三	五七、〇	▲ 一四	▲ 二一三、四	○、八	三五、七	▲ 一一	▲ 一一九、一
平年に比し本年の方	▲ ○、一	六六、四	▲ 一〇	▲ 二三五、三	▲ ○、六	八二、二	▲ 一四	▲ 三〇七、八	▲ ○、一	七五、〇	▲ 一二	▲ 二八七、四

平年より多く降水日數は前年及平年より多かりしも其水量は少し卽ち左に記するが如し

表中▲は高又は多を示す

氣象本年

	本年	前年に比し本年の方	平年に比し本年の方
平均氣温	一八、七	三、〇	一、三
日照時數	三二七、七	▲二六、六	▲二六、六
降水日數	二二	▲一	▲一
全量	一八二、〇	四四、一	八一、八

生育期　本期間は移植より出穗に至る期間即ち早稻は六月二十五日より八月廿五日、中稻は九月七日、晩稻は九月十二日に至る間とす而して此期間は稻の生育上最も肝要なる時にして氣象の關係も亦著大なりとす

今本期間に於ける日々の氣温の變化を看るに梅雨即ち六月中旬より下旬の上半頃までは低かりしも爾後氣温上昇し土用に入り高温を持續し土用後卽ち八月下旬は稍々冷氣を催ふせしも後又順に復せり

更に本期間の氣象を前年及平年に比するに氣温は早稻期にありては前年及平年より高く中晩稻期にありては前年より稍々低く平年より高し、日照時數は早、中、晩稻期を通じて多く降水日數及其水量は早、中、晩稻期を通じて少し卽ち左に記するが如し

氣温

	本年	前年に比し本年の方	平年に比し本年の方
早稻 平均氣温	二七、〇	▲〇、二	▲〇、七
早稻 日照時數	五三二、七	▲一三六、八	▲四二、五
早稻 降水日數	一七	一五	五
早稻 全量	一六一、九	一三二、〇	一〇四、七
中稻 平均氣温	二六、五	〇、一	▲〇、五
中稻 日照時數	六二四、〇	▲一〇四、四	▲二四、八
中稻 降水日數	二二	一二	三
中稻 全量	二〇八、一	八七、四	九一、六

函館	午前三時〇二分三一秒
水澤	仝　三時〇二分五四秒
大阪	仝　三時〇二分三〇秒
福岡	仝　三時〇四分〇一秒

●大正六年度稻作期間の氣象概況

技手　山田顯吉

抑も稻禾の生育を左右するに最も有力なるものを溫熱とす之れに亞きて同化作用を營むに必要なるものを日光とす、又光、熱と相俟て發育に欠くべからざるものを水分とす蓋し農産物には孰れも適當の溫度ありて此溫度を得るにあらざれば決して完全なる發育を營み得るものにあらず元來稻は熱帶の產物なるが故に比較的高溫を要し同化作用の盛なるは二十五度乃至三十度の間を恰好溫度とす斯るが故に氣象要素中にありても溫度日照降水等を以て關係の最も著大なるものとす

今左に大正六年度に於ける稻作期間の氣象を調査し之れを前年及平年に比較し其差異を示し當業者の參考に資せんとす

稻種及稻作期間　農商務省農事試驗場畿內支場に於て水稻晚稻陸稻各種の試驗に使用せられたる稻種及大正六年度の播種より成熟に至る期間は左の如し

稻種	期間	
早稻	仝	五月十日より六月廿五日
早稻	播種より移植まで	代田期
中稻	仝	仝
晚稻	仝	仝

稻種	期間	
早稻	生育期	六月廿五日より八月廿六日
中稻	移植より出穗まで	六月廿五日より九月八日
晚稻		六月廿五日より九月十三日

稻種	期間	
穀長	熟期	八月廿六日より九月十一日
雄都	出穗より成熟まで	九月八日より十月廿六日
町白		九月十三日より十一月十日

代田期　本期間は播種より苗の熟して本田に移植するまでの間即ち五月十日より六月廿四日に至る四十六日間にして生育成熟の兩期に比すれば氣象の關係は稍々少しき雖も而かも氣象の影響に依り苗の軟弱又は齊一を缺き延ひて移植期を遷延せしむる嫌なしとせず

今此期間を看るに氣溫は前年及平年より低く日照時數は前年及

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は二分三十四秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後八時四十二分三十四秒に於て二十「ミクロン」振動期五秒三南北動は午後八時四十二分四十一秒に於て三十五「ミクロン」振動期五秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十七分五十三秒南北動は十九分十二秒なり

附記　此地震は三陸沖に發したるものにして震域北方は北海道に南方は東京灣に達し長半徑八十里短半徑七十里を有し弱震部は八千四百八十方里有感震微震部は一萬七千五百九十方里にして三陸地方は弱震を感じたり

一五五　十二月十八日午前七時十八分四十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分二十七秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前七時十九分三十五秒に於て九百十「ミクロン」振動期四秒)南北動は午前七時十九分四十一秒に於て八百十五「ミクロン」振動期四秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十二分四十四秒南北動は二十四分十五秒なり

附記　此地震は熊野灘に發したるものにして震域長半徑八十里短半徑五十里を有し弱震部は五千六百五十方里を示し近畿地方及東海道過半は有感震區域にして就中愛知、三重兩縣下には弱震を感じたる所ありたり(前號熊野沖地震の項參照)

一五六　十二月十八日午後九時二十六分十七秒の地震

此地震は性質稍々急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分二十三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後九時二十六分五十五秒に於て百四十八「ミクロン」振動期一秒四、東北動は午後九時二十六分五十二秒に於て百十三「ミクロン」振動期一秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は八分五十九秒南北動は八分五十二秒なり

附記　此地震は前記地震と同震源帶に發したるものにして前地震に比すれば遙に弱く津、和歌山、名古屋にては微震を感じ濱松岐阜、彦根、宮津、神戸、德島等にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一五七　十二月二十二日午前二時二分三十秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は八分四十二秒第二は七分四十五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前三時二十一分十九秒に於て八十八「ミクロン」振動期十四秒)南北動は午前三時二十一分五秒に於て百七十「ミクロン」振動期二十四秒)を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時四十八分五十四秒南北動は一時五十三分四十秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

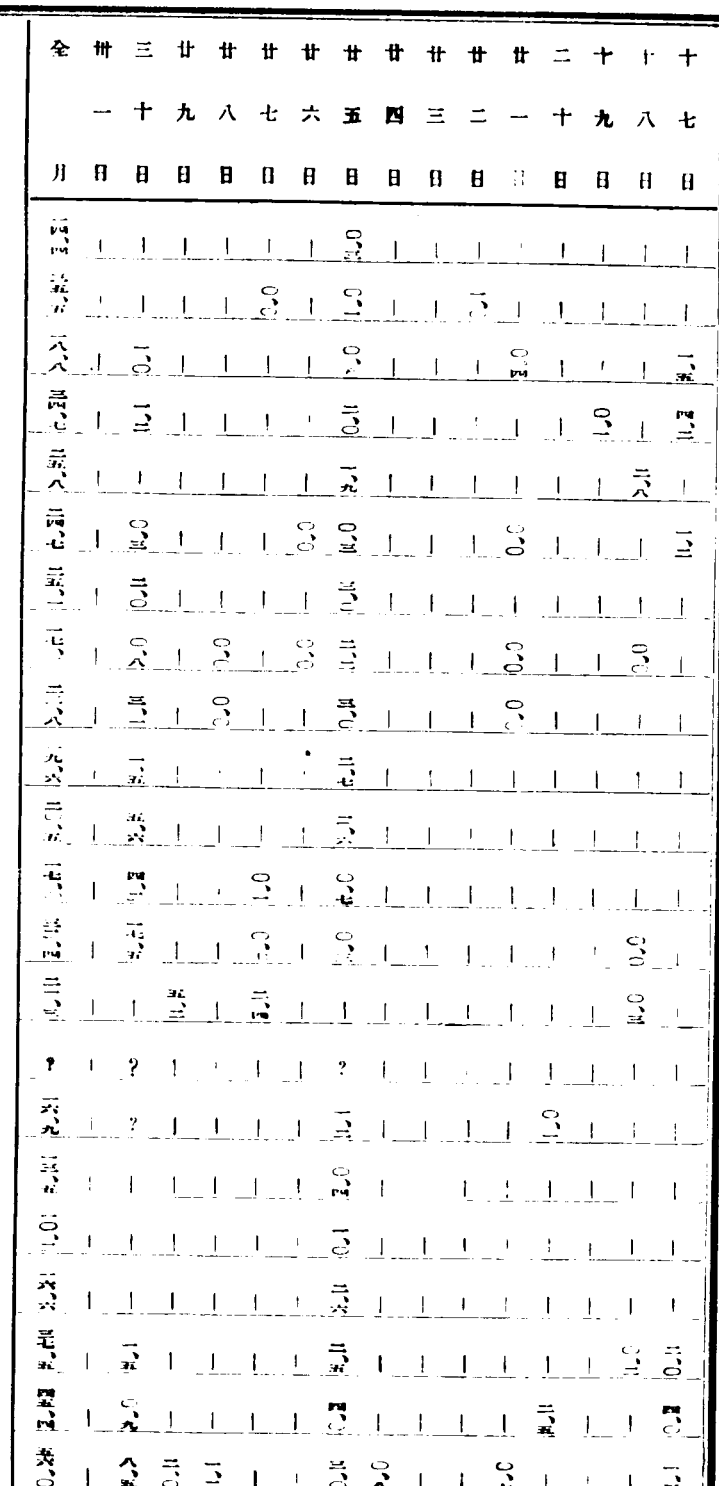
に強風吹けり●十三日概ね晴天大阪に微雨あり●十四日概ね晴天秦野、東郷、天王、八尾、富田林に霜あり●十五日概ね雨天堺、大阪、新庄に強風吹けり●十六日概ね晴天岸和田、長承寺堺、柏原、富田林、長野に雪降り大阪以南及新庄、東郷に強風吹けり●十七日概ね晴天岸和田、長野に雪、長承寺に霰降り深日大阪、新庄、八尾に強風吹けり●十八日概ね晴天大阪、柏原、富田林、長野に雪降り深日、大阪、八尾、柏原に強風吹けり●十九日晴曇相半し東郷、天王に雪降り新庄、秦野、柏原に霜あり深日、大阪、八尾に強風吹けり●二十日概ね晴天秦野、東郷天王、富田林に霜あり長承寺、大阪に強風吹けり●二十一日晴曇相半し秦野、東郷に霜所々に雨降り大阪、新庄に強風吹けり●二十二日概ね晴天大阪、新庄、秦野、天王に霜あり上之郷に雪降り長承寺、大阪に強風吹けり●二十三日概ね晴天所々に霜あり大阪に強風吹けり●二十四日概ね晴天所々に霜あり大阪、新庄に強風吹けり●廿五日概ね晴天所々に霜あり大阪に強風吹き夜雪降り翌日に亘る●二十六日前夜来の雪未明歇み後概ね晴天長承寺、堺、大阪に強風吹けり●二十七日概ね晴天上之郷、妙見山、東郷、天王に雪降り深日、長承寺、堺、大阪に強風吹けり●二十八日概ね晴天大阪、天王に雪降り大阪に強風吹けり●二十九日概ね晴天新庄、秦野に霜あり天王、長野に雪降り大阪に強風吹けり●三十日概ね晴天所々に雪降り深日、長承寺、大阪に強風吹けり●三十一日概ね晴天大阪、新庄、秦野、富田林に霜あり長野に雪降れり

大阪地震観測概況

爰に記する所のものは主として大森式地動計(東西及南北動二十倍)を以て観測したるものを記し、極微なる地震にありては百廿倍の微動計其他の器械にて観測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如しP は第一初期微動の發震時、S は第二初期微動全上、L は長波即ち主要部全上、M は主要部の最大動、C は終期の最大動、F は振動の終(一)又(十)は南北動にありては北、東西動にありては東、(一)は南北動にありては南、東西動にありては西なり振幅は「ミクロン」(粍の千分一)を以て記す

本月は地震少く僅に四回を観測せり而して人身に感覺ありたるものは十八日午前七時十八分四十四秒熊野洋に發したるもの一回人身に感覺なく普通地震計に感じたるものは一回もなかりしが無感覺地震にして地動計又は微動計に感じ其震源本邦内にありたるものは二回即ち三陸沖及熊野沖各一回なり又遠距離地震は一回にして未だ震源は詳ならず今其観測概況を列記すれば左の如し

一五四　十二月六日午後八時三十九分二十九秒の地震



十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	卅一日	全月
—	—	—	—	—	—	—	—	〇、三	—	—	—	—	—	—	一四、四
—	—	—	—	—	一、〇	—	—	〇、一	—	〇、〇	—	—	—	—	五五、五
一、五	〇、四	〇、一	—	〇、四	—	—	—	〇、八	—	—	—	—	一、〇	—	一八、八
四、二	—	〇、一	—	—	—	—	—	二、〇	一、九	—	—	—	一、二	—	三四、七
—	二、八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二五、八
一、二	—	—	—	〇、〇	—	—	—	〇、三	〇、〇	—	—	—	〇、三	—	二四、七
—	〇、〇	—	—	〇、〇	—	—	—	三、〇	〇、〇	—	〇、〇	—	二、〇	—	二五、一
—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	二、二	〇、〇	—	〇、〇	—	〇、八	—	一七、一
—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	三、〇	—	—	〇、〇	—	三、一	—	二〇、八
—	—	—	—	—	—	—	—	二、七	—	—	—	—	一、五	—	一九、六
—	—	—	—	—	—	—	—	二、六	—	—	—	—	五、六	—	二〇、五
—	—	—	—	—	—	—	—	〇、七	—	〇、一	—	—	四、二	—	一七、〇
—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	〇、三	—	〇、〇	—	—	一七、五	—	三二、四
〇、三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二、四	—	五、二	—	—	二一、三
—	—	—	—	—	—	—	—	?	—	—	—	—	?	—	?
—	—	—	〇、一	—	—	—	—	一、二	—	—	—	—	?	—	一六、九
—	—	—	—	—	—	—	—	〇、四	—	—	—	—	—	—	一三、五
—	—	—	—	—	—	—	—	一、〇	—	—	—	—	—	—	一〇、一
—	—	—	—	—	—	—	—	二、六	—	—	—	—	—	—	一六、六
—	〇、二	—	—	—	—	—	—	二、五	—	—	一、五	—	—	—	三七、五
二、〇	—	—	二、五	—	—	—	—	四、〇	—	—	〇、九	—	—	—	四五、四
一、三	—	—	—	〇、七	—	—	〇、八	三、〇	—	—	八、五	—	二、〇	—	五六、〇

管內天氣摘要

●一日概ね晴天所々に霜あり午後より雨降り翌日に亘る●二日前日來の雨未明歇み後概ね晴天●三日概ね曇天所々に雨降り岸和田、堺、大阪、柏原に強風吹けり●四日概ね晴天秦野、東郷富田林に霜あり堺、大阪に強風吹けり●五日概ね晴天所々に霜あり●六日概ね晴天所々に霜あり●七日朝降雨後概ね曇天妙見山に霰天王に雪霰を降らし大阪に強風吹けり●八日晴曇相半し所々に霜あり午後に至り概ね雨又は霰降り深日、岸和田、堺、大阪、新庄、秦野、柏原に強風吹けり●九日概ね晴天所々に霜あり妙見山に強風吹けり●十日概ね晴天枚方、田原に霜あり所々に雨降り深日、大阪、新庄、妙見山、東郷、八尾に強風吹けり●十一日概ね晴天新庄、秦野、東郷、天王に霜あり深日、上之郷、大阪に強風吹けり●十二日晴曇相半し清水に雪降り大阪

第四表　管內降水日量

十二月	深日	上之鄉	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	秦野	妙見山	東鄉	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	二、五	五、一	〇、六	五、三	四、〇	五、五	五、〇	四、六	四、八	四、六	六、九	八、五	五、四	四、三	五、七	?	四、七	[illegible]	[illegible]	六、三	七、[illegible]	九、〇
二日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三日	四、一	一〇、八	一一、二	七、八	六、〇	五、一	四、〇	二、二	三、〇	二、六	—	—	〇、六	一、五	〇、[illegible]	?	一、七	—	—	六、九	一四、〇	一二、〇
四日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、九	—	—	—	—	—	—	—	—	—
五日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
六日	四、二	一一、〇	—	一一、三	—	九、八	八、三	五、五	八、一	四、七	一、八	二、七	二、八	一、五	五、三	一〇、三	四、〇	九、二	一〇、〇	八、〇	七、五	八、〇
七日	—	—	〇、三	—	九、〇	—	—	—	—	〇、二	—	〇、〇	〇、八	二、五	—	二、一	—	—	—	一、四	〇、五	—
八日	—	—	—	〇、六	—	一、一	—	〇、七	〇、九	〇、六	二、一	〇、〇	〇、五	〇、八	—	二、四	—	—	—	—	〇、二	—
九日	—	—	—	—	〇、五	〇、〇	二、〇	〇、一	〇、九	一、八	一、〇	〇、〇	二、六	一、五	—	—	—	—	〇、三	〇、八	—	—
十日	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、〇	—	—	—	—	—
十一日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十二日	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	〇、三	—	—	—	—	—	—
十三日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十四日	三、三	七、五	三、〇	一、八	—	〇、八	〇、八	〇、〇	〇、〇	〇、四	〇、五	〇、三	〇、一	—	三、二	〇、五	一、七	—	一、七	六、〇	三、〇	六、〇
十五日	—	—	—	〇、四	〇、八	〇、六	—	一、二	〇、〇	〇、五	—	〇、五	〇、二	一、三	〇、〇	—	—	—	—	一、九	五、五	二、五
十六日	—	—	—	—	〇、〇	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、二	〇、〇

田原	八尾	柏原	富田林	長野
八、九	九、六	九、三	九、[illegible]	八、五
二、二	〇、一	〇、四	〇、三	〇、二
三、三	四、九	四、八	四、七	四、四
二、一	二、〇	二、[illegible]	二、九	二、九
一八、二	一八、五	一八、[illegible]	一八、[illegible]	一八、二
三、[illegible]	三、四	三、四	三、[illegible]	三、[illegible]
九、七	四、五	四、八	四、[illegible]	四、五
二、七	二、七	二、七	二、六	二、六
一〇、二	一六、六	一七、五	四五、四	五六、〇
四二、四	三〇、七	一六、六	八、四	一一、九
九、二	一一、〇	八、〇	一〇、〇	一二、〇
六	六	六	六	三
六、五	六、四	五、[illegible]	六、三	五、五
六八	六九	八〇	六九	七二
二、一	二、九	三、六	五、三	四、[illegible]
四	四	四	四	四
二	五	一	一二	一
一	一	三	五	七
〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇
六	三	四	六	〇
〇	〇	〇	〇	〇
一	二	一六	九	一〇
一七	二一	一六	一二	三
三	四	六	一二	三
〇	四	三	〇	〇

降水

總量は東部長野の五十六粍より東部田原の十粍二の間にありて之れを平年に比すれば一般に少なく特に山間部は平年の三分の一田原の如きは五分の一に達せず從て日量の最多も皆少なく十粍以上なりしは上之郷、岸和田長承寺、東郷、清水、八尾、富田林、長野の八ケ所にして其他は九粍八より四粍二に過ぎざりき

第三表　管内全月氣象觀測成績

（表中▲印は高又は多）

觀測所	空氣ノ溫度 平均	平均	平均最高	平均最低	本年平年比較	極	極日	極	極日	降水量 總量	本年平年比較	最多日量	最多日量起	氣溫	濕度	雪量	最多風向	天氣日數 降水	雷	霜	雹	地震	快晴	曇天	暴風
深日	一〇、〇	三、五	八、七	一、五	六、八	一、五	九、〇	一、一	一、一	一四、四	五、六	四、六	七、九	六、〇		西	五	一	三	〇			一	五	九
上之郷	八、七	三、五	五、五		一、五	九、五	一、一	一、一	一、一	一五、五	一、一	六、三	六、三	七、五		北西	六	三	〇	一			一	一〇	〇
岸和田	八、九	二、七	五、八	一、九	一、九	九、五	一、一	一、一	一、一	一八、八	一、七	七、一	七、一	五、七		西	八	五	一	〇			一	四	七
長承寺	九、五	一、六	五、六	一、七	一、七	九、五	一、一	一、一	一、一	一四、七	一、七	六、一	六、一	六、一		西	七	二	一	〇			一	四	七
濱寺	八、四	一、二	四、七	一	一、九	九、二	一、一	一、一	一、一	一五、八	▲一	九、〇	七、八	五、六		西	七	一	一	〇			一	七	八
堺	九、三	一、九	五、六	一、九	一、九	九、〇	一、一	一、一	一、一	一八、八	一、八	九、八	六、六	六、六		北西	九	一	一	〇			一	七	一〇
玉王寺	九、〇	一、三	五、一	一、六	一、六	九、五	一、一	一、一	一、一	一五、一	一、五	八、三	六、五	六、五		西	七	一	〇	八			一	一一	一〇
大阪	九、五	二、二	五、七	一、二	一、六	九、五	一、一	一、一	一、一	一七、九	一、九	六、六	六、六	六、六		西	八	一	〇	一			一	一一	一〇
新庄	八、七	〇、三	四、二	一、一	一、六	八、七	一、一	一、一	一、一	一三、三	一、三	四、七	四、七	六、二		西	五	一	〇	一			一	一一	一〇
桑野	九、四	一、一	五、九	一、八	一、八	九、四	一、一	一、一	一、一	一七、三	一、三	六、九	六、九	六、六		西	七	一	〇	一			一	一一	一〇
妙見山	二、一	〇、九	三、一	一、一	一、一	二、一	一、一	一、一	一、一	一〇、〇	一、〇	三、一	三、一	六、七		西	七	一	〇	一			一	一一	一〇
東郷	七、〇	一、八	三、四	一、一	一、一	七、〇	一、一	一、一	一、一	一〇、〇	一、〇	三、四	三、四	六、八		西	七	一	〇	一			一	一一	一〇
天王	四、〇	一、八	四、三	一、一	一、一	四、〇	一、一	一、一	一、一	一〇、〇	一、〇	三、四	三、四	六、八		北	七	一	〇	一			一	一一	一〇
清水	九、〇	一、八	三、九	一、一	一、一	九、〇	一、一	一、一	一、一	一〇、〇	一、〇	三、四	三、四	六、八		西	七	一	〇	一			一	一一	一〇
枚方	九、〇	一、〇	四、一	一、一	一、一	九、〇	一、一	一、一	一、一	一〇、〇	一、〇	三、四	三、四	六、八		南	六	一	〇	一			一	一一	一〇

三十日	一、三	二、九	三、八	四、九	七、六(一)	二、六
卅一日	二、〇	三、六	四、三	五、一	七、六(一)	四、三
全月	三、〇	五、五	六、六	七、七	一〇、二(一)	一、四

(午前一時より午後三時迄斷續的に强風吹けり、午後二時三十八分より小雨となり時々雪を交へ斷續し午後八時四十分歇む、午前二時五分より同三時五十分迄月光環現る
朝霜あり、夜微霜あり

大阪府管内氣象概況

前既に述べたるが如く本月は全く冬季の狀態を呈し寒氣凛冽となり霜は管内各地に亘り山間部には概ね降雪あり平坦部及沿海部にても往々飛雪霰を齎らすことあり然りと雖も降水量は前月に比すれば著しく減少し所謂低溫寡雨に經過するを常とす而して本年十二月の氣候を調査するに上半月は稍々溫暖にして三日には一般に月中の最高に達し南部上之郷に於て十九度五を示せしが中旬の半頃より西の季節風吹き起りて殆んど止む時を知らず連日に亘りしかば寒氣次第に凛冽を極め此の寒風の影響として所々に雪霰を降下し二十五日夜より二十六日朝に亘りて全管内に降雪あり山間部は比較的少なかりしも平坦及沿海部地方は一般に一寸乃至二寸の積雪を認むるに至り爾後愈よ寒氣は熾烈となり二十七日には氣溫最低の極に達し北部妙見山、天王は零下十一度〇東郷は零下十度に下降し該地方觀測創始以來十二月に於ける最低よりも低きこと實に二度内外即ち本月の最低新記錄を作りたるものなり又降雨は非常に少なく平年の三分の一に達せざる地方あり之れを要するに本月の氣候は嚴冬季の狀態を遺憾なく發揮したるものにして十二月の氣候としては寒氣早熟したるの感あり更に氣溫及降水量に就き詳記すれば左の如し

氣溫

平均は南部深日の六度八より北部妙見山の零下零度一の間にありて之れを平年に比すれば一般に二度内外の低溫にして特に山間部に於て著しく三度内外の過低を呈せり而して月中の最高は概ね三日に現はれ南部上之郷の十九度五を高極とし仝深日、調承寺、堺の十九度〇之れに亞き其他は十八度乃至十七度なりしが妙見山は十一度一天王は十三度〇に過ぎず又最低は概ね二十七日に現はれ北部妙見山及天王の零下十一度〇仝東郷の零下十度〇を低極とし之れに亞くは北部秦野及東部田原の零下九度七にして北部清水の零下八度五、西部枚方の零下八度〇尚ほ之れに亞ぎ其他は零下五度より零下二度内外を示し南部深日は零下零度一に止まれり之れを要するに本月の氣溫は最高十九度五より最低零下十一度の間にありて其較差は實に三十度五に達せり

五日	四、二	七、二	八、五	九、七	一二、一	(一)二、〇	朝微霜あり、午前七時二十五分より同十時十五分迄及午後十時五十分より翌曉に亘り薄霧あり 夜微霜あり
六日	四、四	六、七	七、九	九、二	一一、八	(一)三、三	前夜來の霧午前十時二十一分消散す、朝霜多し、午前十時七分より同三十六分迄日暈現る
七日	五、六	七、九	八、五	九、三	一一、六	(一)一、二	午前零時五十分より同九時十五分迄小雨、午後四時強風吹けり、夜微霜あり
八日	四、〇	六、九	八、〇	九、一	一一、五	(一)一、九	朝霜多し、午前四時二十分より同九時五分迄薄霧あり、正午より午後六時迄強風吹けり、午後 零時五十三分より小雨斷續し同三時二十分歇む
九日	三、六	六、二	七、五	八、六	一一、三	(一)四、五	朝霜多し、午前四時五十分より同十時三十五分迄薄霧あり、夜薄霧あり
十日	五、七	七、四	七、九	八、七	一一、〇	二、八	朝薄霧あり、午前四時五十八分より同五時十分迄小雨、午前六時より夜半迄斷續的に強風吹けり
十一日	四、四	六、八	七、八	八、七	一一、〇	二、七	午前八時より午後七時迄斷續的に強風吹けり
十二日	四、八	六、九	七、七	八、七	一〇、九	二、六	午前六時強風吹けり
十三日	五、一	七、一	七、八	八、七	一〇、八	〇、四	午前一時七分より同十五分迄微雨
十四日	五、一	七、〇	七、八	八、六	一〇、七	〇、六	朝薄霧あり、午前六時二十五分より霧を生し同八時二十五分消散す
十五日	四、三	七、三	八、〇	八、八	一〇、七	(一)〇、三	午前三時五十五分より小雨斷續し午後一時四十分歇む、午後四時より夜半迄強風吹けり
十六日	一、八	五、一	六、七	八、一	一〇、六	(一)一、二	終日斷續的に強風吹けり
十七日	一、八	五、〇	六、三	七、六	一〇、三	一、六	同上
十八日	一、五	四、八	六、一	七、三	一〇、〇	(一)一、四	午前三時より午後九時迄斷續的に強風吹けり、午後四時五十九分より同五時五分迄微雪あり、 之れを本年の初雪とす
十九日	一、四	四、四	五、七	七、〇	九、八	(一)一、三	午前六時より夜半迄斷續的に強風吹けり
二十日	二、〇	四、六	五、七	六、八	九、六	〇、七	午前一時より午後五時まで斷續的に強風吹けり
廿一日	一、七	四、七	五、七	六、八	九、四	(一)〇、七	午前十時二十六分より同五十一分迄微雨、午後二時より夜半迄強風吹けり
廿二日	〇、九	四、一	五、四	六、六	九、三	(一)五、六	午前一時より四時迄強風吹けり、朝霜あり
廿三日	〇、八	三、五	四、九	六、三	九、〇	(一)六、八	朝霜あり、午前五時より同九時二十分迄薄霧あり、午後二時より同十一時迄斷續的に強風吹けり 午後五時四十五分より同九時十五分迄月暈現る
廿四日	一、四	三、九	五、〇	六、〇	八、九	(一)一、八	午前一時より午後八時迄斷續的に強風吹けり
廿五日	〇、三	三、五	四、八	五、九	八、七	(一)三、六	午後九時五十五分より雪となり同十一時五十分より雨霰を交へ翌日に亘る、午後三時より夜半 迄斷續的に強風吹けり
廿六日	(一)〇、六	二、九	四、三	五、七	八、五	(一)四、八	前夜來の雨霰時々雪を交へて斷續し午後一時十八分歇む、終日斷續的に強風吹けり
廿七日	(一)〇、七	二、二	三、七	五、二	八、三	(一)五、九	終日斷續的に強風吹けり
廿八日	〇、四	二、五	三、七	五、〇	八、〇	(一)六、七	午前三時強風吹けり、朝霜あり、午後三時二十分より同五十八分迄微雪あり
廿九日	〇、二	二、七	三、八	四、九	七、八	(一)二、三	午前二時五十分より同四時四十分迄月暈現る、午後九時より同十一時迄強風吹けり

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

	十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	卅一日	全月
	七六一、八	七六一、[illegible]	七六[illegible]、四	七六四、〇	七六[illegible]、一	七六四、[illegible]	七六四、七	七六四、一	七六一、[illegible]	七五七、八	七五八、五	七六〇、五	七五八、二	七五八、四	七六五、四	七六二、七
	五、[illegible]	四、二	四、五	五、三	四、八	三、[illegible]	[illegible]、四	四、四	三、三	〇、一	〇、九	三、三	二、二	二、五	三、一	五、二
	一、三	二、一	二、九	一、一	一、四	[illegible]	二、五	〇、九	[illegible]、六	六、三	四、六	三、〇	[illegible]、一	三、六	二、[illegible]	二、〇
	七、九	七、五	八、[illegible]	八、七	九、五	七、四(−)	七、九(−)	七、九	六、六	[illegible]、一(−)	四、八(−)	六、六(−)	五、六	七、四(−)	七、六(−)	九、五
	[illegible]、七	一、八	一、七	三、四	一、七	〇、四	二、五	〇、四	〇、[illegible]	一、八	二、四	二、五	〇、一	〇、七	〇、六	一、六
	四、二	五、七	六、六	五、[illegible]	七、八	七、八	一〇、四	七、五	六、[illegible]	四、九	七、三	九、一	五、五	八、一	八、[illegible]	七、九
	三、[illegible]	三、六	三、八	[illegible]、六	三、八	三、五	[illegible]、五	[illegible]	三、二	二、五	二、七	三、四	二、九	四、[illegible]	四、二	四、二
	五〇	五八	六一	五五	五九	六一	六三	五〇	五五	五三	五六	六四	五四	七五	七四	六[illegible]、六
	二、五	二、八	二、六	三、一	二、八	二、五	二、六	三、[illegible]	二、八	二、[illegible]	二、[illegible]	二、[illegible]	二、六	一、五	一、七	二、六
	一三、八	一二、二	一〇、九	一〇、〇	八、五	七、〇	六、三	八、七	七、一	一一、七	九、八	六、五	八、〇	八、〇	三、三	七、三
	一八、三	一六、八	一四、五	一三、五	一五、七	一三、一	一二、[illegible]	一三、九	一[illegible]、二	一六、[illegible]	一四、二	一〇、九	一二、五	一五、三	七、八	三〇、八
	西	西	西	西	西	西	西南西	西	西南西	西北西	西	西北西	西	西	西南西	西
	西	西	西	西	西	西	西南西	西	西	西	西	西	西	西	西南西	西
	[illegible]、三	一、八	二、五	一、三	[illegible]、一	一、六	四、八	二、[illegible]	三、〇	[illegible]、七	二、[illegible]	一、三	五、八	六、九	六、[illegible]	四、三
	五、二	[illegible]、七	四、八	八、六	[illegible]	六、五	七、一	六、八	八、四	四、四	八、七	六、六	五、七	六、四	六、四	一八、六
		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲		▲	▲	▲	▲	▲	▲
	〇、九	三、三	[illegible]、一	[illegible]、一	一、五	二、八	〇、九	[illegible]、五	三、八	[illegible]、一	[illegible]、〇	[illegible]、三	一、一	一、四	〇、一	三一、六
	—	〇、〇	—	—	〇、〇	—	—	—	一、四	〇、九	—	〇、[illegible]	—	一、[illegible]	—	一八、八
	[illegible]、三	二、七	三、〇	三、[illegible]	二、七	二、九	三、[illegible]	[illegible]、四	[illegible]、三	四、[illegible]	一、八	[illegible]、三	二、八	一、八	[illegible]、二	八一、三

十二月	地中温度（平均）地皮	十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温	諸現象の摘要
一日	四、九	七、七	八、九	一〇、二	一三、六	三、五	朝霜多　午後五時四十五分より小雨斷續し翌曉に亘る
二日	七、[illegible]	八、九	九、四	一〇、[illegible]	一三、四	二、三	前日來の小雨斷續し午前三時四十分歇む、夜露あり、午後十時七分より薄霧を生じ翌曉に亘る
三日	七、七	九、二	九、六	一〇、[illegible]	一三、三	[illegible]、〇	前日來の薄霧午前八時十分消散す、朝露多、午前五時五十分より同六時十三分迄月暈同九時五十分より正午[illegible]時四十分迄日暈現る、午後二時五十五分より小雨斷續し同七時十七分歇む、午後三時[illegible]三分[illegible]三十分迄虹霓現る、午後一時より夜半迄斷續的に強風吹けり
四日	四、五	八、[illegible]	九、三	一〇、三	一三、三	二、八	午前一時より同十時迄及午後八時九時強風吹けり

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印は高又は多）

十二月	氣壓 平均	空氣ノ温度 平均	本年平均	平年比較	最高	最低	較差	水蒸氣張力 平均	温度 平均	濕度 平均	風速 平均	最大	全上方向	最多方向	雲量 平均	日照時數 本年平均	平年比較	降水量	蒸發量
一日	七五二、三	六、三	二、三	〇、七	一〇、三	〇、七	一〇、三	五、四	六、二	八、二	二、七	一四、四	東北東	北北東	六、三	四、六	〇、四	〇、九	〇、九
二日	七五二、六	九、一	一、四	一、〇	一〇、四	六、二	七、八	七、四	八、八	一、三	二、四	一五、三	北	北	六、八	二、八	一、二	一、二	一、二
三日	七五〇、九	一〇、一	〇、三	一、二	一二、六	七、五	七、一	七、一	七、七	一、四	二、四	一六、〇	西	北東	五、八	五、四	〇、一	二、七	二、五
四日	七五一、二	六、八	一、三	一、五	一〇、一	四、八	四、三	五、三	六、四	七、二	二、四	一四、四	西	西	六、〇	四、八	〇、四	一、一	二、四
五日	七五一、八	五、八	二、〇	一、三	一二、三	九、九	四、三	四、二	六、四	二、八	三、四	一四、四	南西	東	一、〇	八、二	〇、六	一、一	二、三
六日	七五一、一	六、〇	二、八	一、三	一三、二	三、九	九、三	五、九	七、〇	二、〇	四、五	一七、一	南西	北東	七、〇	三、五	一、一	三、三	二、三
七日	七五一、七	七、五	二、三	一、三	一三、〇	二、七	九、三	五、九	七、〇	二、〇	四、五	一七、一	西南西	西	六、一	五、四	一、一	三、〇	二、三
八日	七五一、四	六、六	一、四	一、二	一二、四	一、四	一〇、九	五、一	七、一	二、四	五、一	一七、一	西北西	西北西	六、七	三、九	一、一	三、八	二、三
九日	七五四、六	五、六	一、六	一、二	一三、〇	二、七	一〇、三	四、八	六、三	二、三	五、一	一七、一	東北東	東北東	八、四	五、一	一、一	三、八	二、三
十日	七五五、五	九、一	二、四	一、五	一三、六	四、五	八、一	五、五	七、一	二、四	五、一	一七、一	西	西	四、三	五、四	一、一	三、九	二、三
十一日	七五〇、九	七、一	二、四	一、五	一三、六	四、五	八、一	五、五	七、一	二、四	五、一	一七、一	西	西	六、六	三、〇	一、九	一、一	二、三
十二日	七五二、三	六、六	一、五	一、二	一三、六	四、五	八、一	五、五	七、一	二、四	五、一	一七、一	西	西	九、一	〇、六	二、四	一、一	二、三
十三日	七五一、五	七、一	二、〇	一、三	一三、六	四、五	七、七	五、五	七、一	二、四	五、一	一七、一	北	北北西	五、三	六、二	〇、四	一、一	二、三
十四日	七五一、六	六、九	一、八	一、二	一三、六	四、五	七、七	五、五	七、一	二、四	五、一	一七、一	北東	北東	八、三	四、五	〇、一	一、一	二、三
十五日	七五一、七	五、九	一、五	一、二	一三、六	四、五	七、七	五、五	七、一	二、四	五、一	一七、一	西	西	六、二	二、一	〇、六	一、一	二、三
十六日	七五二、二	五、五	一、三	一、二	一三、六	四、五	七、七	五、五	七、一	二、四	五、一	一七、一	西	西	七、五	一、七	一、七	一、一	二、三

第一表　大阪每時氣象觀測成績表

十二月

時	氣壓平均	氣溫平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速平均	雲量平均	日照時數	降水量	地皮	地中溫度（平均）地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
一時	三〇、八一	三、二四	四、一四	六八、九	一、九五	六、一二	三、七	一	〇、六	〇、七五	五、四八	六、八〇	七、八四	一〇、二〇
二時	三〇、八八	二、八八	四、〇五	七、五	一、七五	六、三三	三、九	一	〇、四	〇、七五	五、三八	六、七五	七、八三	一〇、二二
三時	三〇、八一	三、一八	四、一二	七一、四	一、八六	六、二八	三、五	一	一、二	〇、九	五、二七	六、七八	七、八一	一〇、二二
四時	三〇、七二	二、九八	四、一五	七二、六	一、七六	六、一五	三、四	一	一、一	〇、五	五、一六	六、七七	七、八一	一〇、二二
五時	三〇、七二	二、九八	四、一二	七二、六	一、七五	六、二二	三、九	一	〇、九	〇、五	五、一九	六、七二	七、八一	一〇、二二
六時	三〇、七二	二、九八	四、一五	七二、六	一、七五	六、二三	三、九	一	〇、五	〇、五	五、一八	六、七二	七、八一	一〇、二二
七時	三〇、七四	二、八七	四、一五	七三、〇	一、七五	六、一八	三、九	一	〇、五	〇、五	五、一八	六、七二	七、八一	一〇、二二
八時	三〇、七四	三、一二	四、一五	六六、八	二、一二	六、一五	三、六	〇、八〇	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二
九時	三〇、七四	三、四八	四、一四	六五、六	二、四〇	六、二九	四、〇	二、四五	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二
十時	三〇、七四	三、六四	四、一四	六五、六	二、四〇	六、二九	四、〇	二、四五	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二
十一時	三〇、七四	三、六四	四、一四	六五、六	二、四〇	六、二九	四、〇	二、四五	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二
十二時	三〇、七四	三、六四	四、一四	六五、六	二、四〇	六、二九	四、〇	二、四五	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二
十三時	三〇、七四	三、六四	四、一四	六五、六	二、四〇	六、二九	四、〇	二、四五	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二
十四時	三〇、七四	三、六四	四、一四	六五、六	二、四〇	六、二九	四、〇	二、四五	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二
十五時	三〇、七四	三、六四	四、一四	六五、六	二、四〇	六、二九	四、〇	二、四五	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二
十六時	三〇、七四	三、六四	四、一四	六五、六	二、四〇	六、二九	四、〇	二、四五	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二
十七時	三〇、七四	三、六四	四、一四	六五、六	二、四〇	六、二九	四、〇	二、四五	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二
十八時	三〇、七四	三、六四	四、一四	六五、六	二、四〇	六、二九	四、〇	二、四五	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二
十九時	三〇、七四	三、六四	四、一四	六五、六	二、四〇	六、二九	四、〇	二、四五	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二
二十時	三〇、七四	三、六四	四、一四	六五、六	二、四〇	六、二九	四、〇	二、四五	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二
二十一時	三〇、七四	三、六四	四、一四	六五、六	二、四〇	六、二九	四、〇	二、四五	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二
二十二時	三〇、七四	三、六四	四、一四	六五、六	二、四〇	六、二九	四、〇	二、四五	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二
二十三時	三〇、七四	三、六四	四、一四	六五、六	二、四〇	六、二九	四、〇	二、四五	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二
二十四時	三〇、七四	三、六四	四、一四	六五、六	二、四〇	六、二九	四、〇	二、四五	〇、五	〇、五	五、一七	六、七二	七、八一	一〇、二二

きて一月中の變化を看るに最高は午後一時にありて十度〇七を示し最低は午前七時にありて零度一三を示せり、而して其較差は九度九四なり

地中十糎の温度　平均は五度五四にして平年に比すれば二度四二低く月中の最高は二日午後四時乃至六時に於て十度八を示し最低は廿七日午前八時乃至午後一時に於て二度〇一を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後四時にありて六度四二を示し最低は午前九時にありて四度七七を示せり、而して其較差は一度六五なり

地中二十糎の温度　平均は六度五九にして平年に比すれば二度一八低く月中の最高は三日午後八時乃至十一時に於て十度三を示し最低は廿七日午後二時及三時に於て三度五を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後八時にありて六度八五を示し最低は午前十一時にありて六度二八を示せり、而して其較差は零度五七なり

地中三十糎の温度　平均は七度六七にして平年に比すれば二度〇〇低く月中の最高は一日午前一時に於て十度七を示し最低は廿九日正午及午後四時に於て四度八を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午前一時にありて七度八七を示し最低は午後二時乃至四時にありて七度五六を示せり而して其較差は零度三一なり

地中六十糎の温度　平均は十度二〇にして平年に比すれば一度五九低く月中の最高は一日午前一時乃至四時に於て十二度七を示し最低は卅日午前九時乃至夜半に於て七度六を示せり、但し此深さにありては殆んど一日中の變化を認め難し

以上列記する地中温度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時に生じ地中十糎にありては午後四時、同二十糎にありては午後八時、同三十糎にありては午前一時に生じ最低は地皮にありては午前七時に生じ地中十糎にありては午前九時同二十糎にありては午前十一時、同三十糎にありては午後二時乃至四時に生ぜり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地温　平均は零下一度三五にして平年に比すれば零度六八低く月中の最低は廿三日午前六時頃に於て零下六度八を示せり、而して最低地温の零下に降りたる日數は廿一日にして平年に比すれば一日多し

天氣日數

快晴は七日にして平年より一日多く曇天は二日にして平年より一日少く霧は二日にして平年に等しく雪は五日にして平年より三日多く霰は二日にして平年より一日多く霜は十日にして平年より四日少し

尙詳細は左に掲ぐる氣象觀測成績表を參照すべし

に最高は午前十一時にありて四粍四九を示し最低は午後七時及九時にありて四粍〇二を示せり而して其較差は零粍四七なり

濕度の平均は六十三、六にして平年に比すれば八、三少く月中の最少は廿六日午後四時に於て三十七を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前七時にありて七十四、〇を示し最少は午後二時にありて五十一、七を示せり而して其較差は二十三、〇なり

飽差の平均は毎立方米中二瓦五九にして平年に比すれば零瓦二五多く月中の最多は九日午後一時に於て六瓦二を示し最少は八日午前五時に於て零瓦二を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後二時にありて四瓦一五を示し最少は午前六時及七時にありて一瓦五九を示せり而して其較差は二瓦五六なり

風

平均速度は毎秒七米一八にして平年に比すれば一米八五強く月中の最大速度は十五日午後十時乃至十一時の毎秒速度廿米八（一間平方面を垂直に壓する力は四十五貫八百目）の西風なり又強風以上の吹きたる日數は廿三日にして平年より七日多く其時數は二百二十五時にして平年より九十六時多し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後一時乃至二時にありて八米四〇を示し最小は午前七時乃至八時にありて六米一五を示せり而して其較差は二米二五なり、風向は西風最も多く各風向の過半を占め南風は最も少し之れを平年に比すれば西風は多くして北及北東風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は四、二にして平年に比すれば〇、五少く日照時數は百八十三時六〇にして平年に比すれば三十一時五七多く一日中に於て日照時間の最も長かりしは二十七日の八時七〇なり

降水及蒸發量

降水日數は十日にして平年に比すれば一日少く其水量は十八粍八にして平年に比すれば二十八粍五少く即ち平年の三分の一に過ぎず一日中の最多量は七日に於て五粍三、一時間の最多量は同日午前八時乃至九時の一粍七なり又蒸發總量は八十一粍二にして平年に比すれば十六粍二多く一日中の最多量は廿六日の四粍三なり

地中溫度及最低地溫

地皮溫度の平均は二度九六にして平年に比すれば二度二八低く月中の最高は三日午後二時に於て十五度九を示し最低は廿七日午前五時及七時に於て零下二度九を示せり而して地皮溫度の零下に降りたる日數は廿一日にして平年に比すれば十九日多し又月平均に就

大阪測候所月報

大正六年十二月

大阪氣象概況

冬季亞細亞大陸の冷却するに從ひ氣壓著しく增高し大陸に宏大なる高氣壓生じ北太平洋の北部に低氣壓ありて氣層の傾斜は西より東に漸次急減するを以て北西乃至西風優勢となり寒氣を吹送せるを以て氣候は此風に支配せられ氣溫著しく降り寒氣增進し雪霰を降らし霜又は結氷を看るに至る然れども此大陸性の風は乾燥せるが故に天氣は概して晴燥にして雨雪あるも極めて少し之れを當地方の常態とす、然り而して本年十二月は冬の季節風なる西の寒風甚しく近年稀なる寒氣にして雨雪は少くして日照時數は多く强烈風多かりし

今各氣象要素に就き詳記すれば左の如し

但本項に記する所の平年は築港に於ける最近六箇年の平均なり

氣壓

平均は七百六十二粍七三にして平年に比すれば三粍二九低く日々の變化は氣象圖に示すが如く微少なりし而して月中の最高は五日午前九時に於て七百六十九粍〇を示し、最低は三十日午前一時及二時に於て七百五十六粍一を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前十時にありて七百六十三粍四六、第一の最低は午後二時にありて七百六十一粍七三を示し第二の最高は午後十一時にありて七百六十三粍一二、第二の最低は午前五時にありて七百六十二粍七一を示せり而して其較差は一粍七四なり

氣溫

平均は五度一五にして平年に比すれば二度〇三低く日々の變化は氣象圖に示すが如く十日十一日は平年より稍々高かりしも其他は皆平年より低し月中の最高は三日午後三時頃に於て十七度六を示し最低は廿三日午前七時頃と廿八日午前八時頃とに於て零下二度五を示せり、而して最低氣溫の零下に降りたる日數は七日にして平年より五日多し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて八度六二を示し最低は午前七時にありて二度八七を示せり而して其較差は五度七五なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

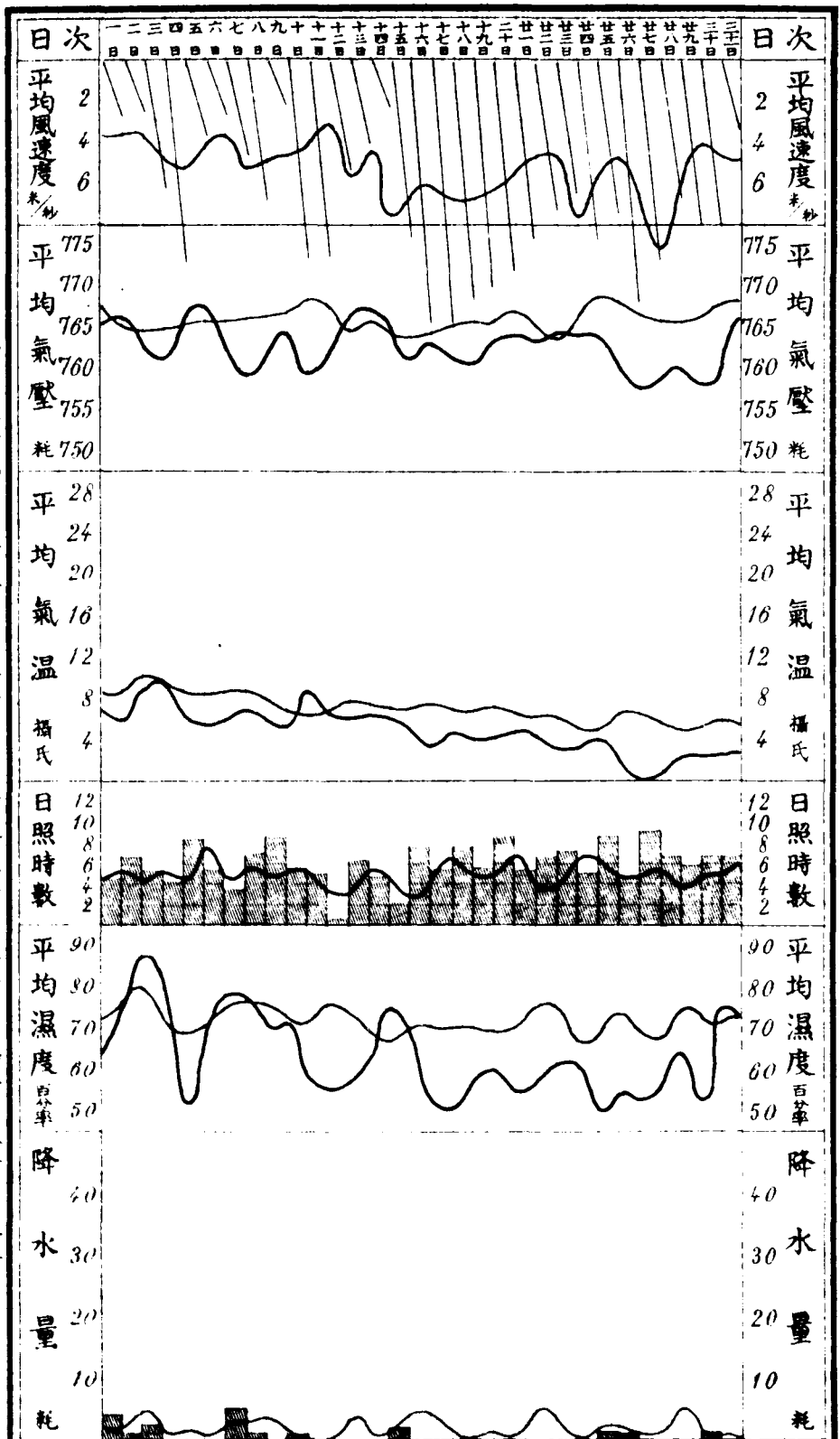
水蒸氣張力の平均は四粍二四にして平年に比すれば一粍二四低く月中の最高は三日午後三時に於て十粍〇を示し最低は廿六日午後四時に於て一粍八を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看る

大正六年十二月

大阪氣象圖

December, 1917

本圖八日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス　風速度、氣壓、氣温、濕度ハ本年――平年――　日照時數ハ本年――平年――　降水量ハ本年――平年――



例言

一本報は當測候所及管內各觀測所に於て觀測したる每月の氣象を調査し之れを掲載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管內各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍(曲尺三厘三毛)を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には(一)を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘し五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量幷に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上けて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦(グラム)(零匁二七)にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一步面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米(曲尺三尺三寸)數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らす降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管內氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡市	町村	緯威東經	北緯	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	一三五度〇九分	三四度一九分	上出源助
上之鄕	仝國泉南郡	上之鄕村	一三五度一八分	三四度二三分	島場留藏
岸和田	仝國泉南郡	岸和田町	一三五度二三分	三四度二七分	森內清次
長承寺	仝國泉北郡	鳳村	一三五度二七分	三四度三二分	前川由太郎
濱寺	仝國泉北郡	高石村	一三五度二六分	三四度三二分	今井富次
堺	仝國堺市	車ノ町	一三五度二九分	三四度三五分	吉村正輔
天王寺	攝津國大阪市	南區天王寺	一三五度三一分	三四度三九分	加藤昭純
大阪	仝國大阪市	西區一條通	一三五度二六分	三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	仝國大阪市	北區上福島	一三五度二九分	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	仝國西成郡	新庄村	一三五度三一分	三四度四五分	小林雅文
秦野	仝國豐能郡	秦野村	一三五度二六分	三四度四九分	藤重元太郎
妙見山	仝國豐能郡	東鄕村	一三五度二八分	三四度五六分	阪部文二郎
東鄕	仝國豐能郡	東鄕村	一三五度二九分	三四度五七分	大原仁之助
天王	仝國豐能郡	枳根莊村	一三五度二三分	三五度〇二分	高橋政次郎
茨木	仝國三島郡	茨木町	一三五度三四分	三四度四九分	那須庫之助
清水	仝國三島郡	清水村	一三五度三六分	三四度五三分	山本義一
枚方	河內國北河內郡	枚方町	一三五度三九分	三四度四九分	家村八五郎
田原	仝國北河內郡	田原村	一三五度四二分	三四度四三分	今井由太郎
八尾	仝國中河內郡	八尾町	一三五度三六分	三四度三八分	水谷芳松
柏原	仝國南河內郡	柏原村	一三五度三七分	三四度三五分	畿內農事試驗支場
富田林	仝國南河內郡	富田林町	一三五度三七分	三四度三〇分	塔本幸太郎
長野	仝國南河內郡	長野町	一三五度三五分	三四度二七分	松本遠水

Monthly Report
of The
Osaka Meteorological Observatory.

December 1917

LIBRARY
APR 16 1918
Smithsonian Institution

大阪測候所月報

大正六年拾二月

第拾八年第拾二號

目次

○本年十二月大阪氣象概況　附圖
○本年十二月大阪府管內氣象概況
○本年十二月大阪地震觀測概況
○大正六年度の稻作期間の氣象概況
○十二月中の暴風概況
○冬季西の季節風と氣溫に就て
○一月三十一日の地震
○本府管內の初雪
○本府管內の初氷
○南河內郡の黑雨に就て
○大阪港の潮汐觀測
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報通否

大正七年二月十二日印刷
仝　年二月十三日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）

大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡市	町村	緯度	東經	取扱官衙
谷川	和泉國南郡	多奈川村	百三十五度　七分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川派水上巡査派出所
尾崎	和泉國南郡	尾崎村	百三十五度十　六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國南郡	佐野町	百三十五度十　九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國	市　吾妻橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	四區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十　分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	歌　津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	安治川水上警察署北加賀屋水上巡査派出所
難波島	攝津國大阪市	四區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	安治川水上警察署難波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度三十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
築港	攝津國大阪市	西區安治川口	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署築港分署
大阪	攝津國大阪市	西區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	南立大阪一等測候所
傳法	攝津國西成郡	傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三仁警察署傳法分署
東鄉	攝津國豐能郡	東鄉村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東鄉村役場

而して前記十九回の内最も顕著なるものは明治二十二年二月七日午前九時五十六分紀伊の東岸に發したる烈震にして、紀伊、大和、伊勢にては家屋の倒潰、人畜の死傷、山岳の崩壊等の當地方にては明治二十四年濃尾大震以來の強震を感じ、家屋の挫折、屋根瓦の轉落、障壁の龜裂、器物の損傷等ありたり

淀川の水位

（島紙本村上字廣瀬ノ量水標ノ零點ハ大阪北河口驗潮場大字大日ノ量水標零點ヨリ……）

十一月　廣瀬　大日

日	午前六時	午後六時	十一月	廣瀬	大日	十一月	廣瀬	大日	十一月	廣瀬	大日
一日	五、四七	五、四七	十一日	五、四七	四、八五	二十一日	五、四七	四、八五	二十一日	五、四七	四、八五
二日	五、四七	五、四七	十二日	五、四七	四、八五	二十二日	五、四七	四、八五	二十二日	五、四七	四、八五
三日	五、四六	五、四六	十三日	五、四六	四、八四	二十三日	五、四六	四、八四	二十三日	五、四六	四、八四
四日	五、四二	五、四二	十四日	五、四二	四、八〇	二十四日	五、四二	四、八〇	二十四日	五、四二	四、八〇
五日	五、四二	五、四二	十五日	五、四二	四、八〇	二十五日	五、四二	四、八〇	二十五日	五、四二	四、八〇
六日	五、四二	五、四二	十六日	五、四二	四、八〇	二十六日	五、四二	四、八〇	二十六日	五、四二	四、八〇
七日	五、三五	五、三五	十七日	五、三五	四、七三	二十七日	五、三五	四、七三	二十七日	五、三五	四、七三
八日	五、三二	五、三二	十八日	五、三二	四、七〇	二十八日	五、三二	四、七〇	二十八日	五、三二	四、七〇
九日	五、三二	五、三二	十九日	五、三二	四、七〇	二十九日	五、三二	四、七〇	二十九日	五、三二	四、七〇
十日	五、三二	五、三二	二十日	五、三二	四、七〇	三十日	五、三二	四、七〇	三十日	五、三二	四、七〇

平均水位　四尺　一寸二分
最高水位　廣瀬五尺九寸五分　（六日午前六時）　大日　四尺六寸五分　（九日午前六時）

地方天氣豫報暴風警報通告

種類	發表數	正中	適中	不中	的中比率
風向	九	七			
風速					
天氣豫報					
大氣溫度	〇	一	一		
暴風警報					

更に震央地に近き各測候所にて微動計を以て觀測したる初期微動の繼續時間に依りて震央地迄の距離を計算するに大阪より約百九十三粁、津より約百五十八粁、潮岬より約百七十二粁、濱松及名古屋より約百七十九粁、岐阜及彦根より約百八十六粁を示し是等を綜合し震源の位置を求めるに紀伊の東方沖即ち熊野浦に發したるものなるべし

從來紀伊東岸には數々大小地震を發せり今近年に於ける著しきものを列記すれば左の如し

		強震部	弱震部	震源地
明治三十二年三月七日	午前九時五十六分	一八分	五、五	紀伊東岸
仝 三月七日	午後三時四十一分	—	七、九	熊野浦
仝 六月二十六日	午後十一時五十九分	七	三、二	仝
仝 八月十五日	午後零時五十六分	—	三、四	仝
仝 三十三年一月十二日	午後三時〇三分	—	一七、一	仝
仝 一月十三日	午前一時二十分	—	四、二	仝
仝 七月二十四日	午後九時二分	—	五	仝
仝 十月五日	午前四時十七分	—	五、八	志摩沖
仝 三十四年六月二十日	午後六時三十分	—	二、九	熊野浦
仝 七月六日	午前一時四十六分	—	一、九	仝
仝 三十五年五月六日	午前八時三十三分	—	三、三	仝
仝 三十七年十月七日	午前十一時十一分	六	三、五	紀伊東岸
仝 三十八年九月六日	午後五時十一分	八	二、九	熊野浦
仝 三十九年一月十二日	午前十時二十二分	一〇	九、〇	紀伊東岸
仝 四十年十月十六日	午前零時四十三分	五	三、二	仝
仝 十月二十四日	午前五時十四分	一七	四	仝
仝 四十二年五月二十二日	午前十時二十分	—	二、六	熊野浦
仝 五月二十二日	午後二時十分	—	—	仝
大正五年十月二十八日	午前一時三十三分	—	—	仝

九分四十一秒に於て八百十五「ミクロン」振動期四秒六を現し後動は二十四分十五秒なり即ち次表に記するが如し
微となり靜止せり總振動時間は東西動は二十二分四十四秒南北

東西動地動計觀測

	發現時	最大振幅	振動期
初期微動 P	七時一八分四四秒	一	一
初期微動 S	一	一	一
主要動 L	七時一九分一一秒	一	一
主要動 M	全一九分三五秒	九一〇（一〇）	四、〇
終期 F	全四一分一八秒	一	一

南北動地動計觀測

	發現時	最大振幅	振動期
初期微動 P	七時一八分四四秒	一	一
初期微動 S	一	一	一
主要動 L	七時一九分一一秒	一	一
主要動 M	全一九分四一秒	八一五（一〇）	四、六
終期 F	全四一分五九秒	一	一

又各所にて觀測したる發震時及震度を列記すれば左の如し

津	午前七時一八分〇七秒	弱（弱き方）性質急	
八木	全七時一七分四五秒	微	全
和歌山	全七時一九分二六秒	微	性質緩
名古屋	全七時一八分五五秒	微	全
彦根	全七時一九分〇三秒	微	全
京都	全七時一八分三〇秒	微	全
大阪	全七時一八分四四秒	微	全
德島	全七時一八分四〇秒	微	全
神戸	全七時一八分五三秒	微	性質急
廣島	全七時二〇分二七秒	微	全
濱松	全七時一九分二九秒	（感覺なし）	
岐阜	全七時一九分一一秒	全	
多度津	全七時一七分二五秒	全	
舞鶴	全七時一九分四二秒	全	
高山	全七時一九分三七秒	全	
飯田	全七時一六分五一秒	全	
沼津	全七時一九分三五秒	（全）	
岡山	全七時一七分五五秒	（全）	
新居濱	全七時一〇分一一秒	全	
境	全七時一九分一三秒	全	
伏木	全七時一七分二〇秒	（全）	

初期微動	P	一時三分三五秒		ミクロン	秒
	S	全 四一分一八秒			
主要動	L	全 五〇分二三秒			
	M_1	一三時〇二分五一秒	(+)	一二八	二一、六
	M_2	全 〇九分二三秒	(−)	八五	一七、八
終期	F	一五時五七分四九秒			

初期微動	P	一時三分一五秒			秒
	S	全 四一分一八秒			
主要動	L	全 五〇分二三秒			
	M_1	全 五八分一八秒	(−)	九	二四、〇
	M_2	一三時一四分三七秒	(+)	一二五	一九、二
終期	F	一五時五九分三三秒			

前表に依りて震央地迄の距離を計算するに大阪より約八千百粁となり又各地測候所の觀測に依れば水戸より約八千三百粁、水澤より約八千七百粁、函館より約八千九百粁、福岡より約九千二百粁、樺太の太泊より約九千五百粁、仁川より約九千八百粁にして是等を綜合し觀察するに其震源は本州の遙南東方即ち太洋洲「トンガ」嶋附近の海底に發したるものなるべし而して同地方の海底よりは數々大震を發せり本年一月以來既に二回を觀測せり第一は五月二日第二は六月二十四日にして今回は第三回目なり之れを第一回に比すれば振幅約十五分の一第二回に比すれば振幅約三十分の一に過ぎざりし

今各所にて地動計を以て觀測したる發震時及震央地までの距離を列記すれば左の如し

大阪	午後零時三一分三五秒	八一〇〇粁
水戸	全 零時三一分二九秒	八三〇〇粁
水澤	全 零時三一分二〇秒	八七〇粁
函館	全 零時三一分〇〇秒	八九〇粁
福岡	全 零時三一分四〇秒	九〇〇粁
太泊	全 零時三一分四二秒	九五〇〇粁
仁川	全 零時三一分〇六秒	九八〇〇粁

●熊野浦の地震

技手　圓岡平太郎

十二月十八日午前七時過の地震は當地にては僅に人身に微震を感じたる程度なりしが震源に近き伊勢及大和紀伊の東部にては稍々強き地震を感じたり今當所地動計の記錄に依れば發震時は午前七時十八分四十四秒にして最初の震動は南五十七度東を示し初期微動の繼續時間は零分二十七秒即ち震源迄の距離は約五十里を示せり而して最大振幅は東西動は午前七時十九分三十五秒に於て九百十「ミクロン」振動期四秒、南北動は午前七時十

年＼種目	作付反別	總收穫高	平均一反歩の收量	平均一反歩の收量 大	平均一反歩の收量 多	平均一反歩の收量 少
明治四十四年	二八、七五五反	四四、五三〇石	一、五四九石	一、二九石	一、四四六石	一、四四六石
明治四十五年	二九、〇四六	四三、五六六	一、五六九	二、一五	一、四八	[illegible]
大正元年	三〇、四五〇	四八、五六五	一、五九五	二、二四	一、五二	[illegible]
大正二年	三一、一四七	三八、九一五	一、二四九	一、七五	一、二五	一、九
大正三年	三一、八五四	四五、〇五六	一、四一四	一、八四	一、六六	[illegible]
大正四年	三〇、四一九	四五、〇五五	一、四八二	二、一四	一、七五	[illegible]
大正五年	二九、四一六	四二、三四九	一、四四	二、四	一、五七	[illegible]
大正六年	三〇、二七八	四四、六一三	一、四七六	一、三三	一、八七	一、九
六ヶ年間平均						

前表に依り本府管内一反歩の收穫高を看るに本年は一石四斗四升〇合にして凶年なる大正三年よりは二升六合多く大正四年五年の中間にありて平年よりは三升六合少し

●大洋洲『トンガ』島附近の地震

技手　圓岡平太郎

十一月十六日午後零時過當所地動計は遠距離の地に發したる大震の波動を記錄せり其發震時は午後零時三十一分三十五秒にして第一初期微動の繼續時間は九分四十二秒一は九分五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後一時一分五十一秒に於て百二十八「ミクロン」振動期二十一秒六、南北動は午後一時十四分三十七秒に於て百二十五「ミクロン」振動期十九秒二を現し後漸次に微となり靜止せり總振動時間は東西動は三時二十六分十四秒南北動は三時二十七分五十八秒なり即ち次表に記するが如し

東西動地動計觀測			南北動地動計觀測		
發現時	最大振幅	其振動期	發現時	最大振幅	其振動期

氣象

平均氣溫（自六月一日至六月二十日）　總平均

降水日數（自六月一日至六月二十日）　總日數

五月中

年	五月中	自六月一日至六月二十日 平均氣溫	總平均	五月中 自六月一日至六月二十日 日照時數 總時數	五月中 自六月一日至六月二十日 降水量 總量
本年	二六、九	二五、一	二五、七	三一、一	一三、三
本年ヨリ比較	▲三、三	▲二、一	▲二、一	▲一、一	▲一、三
本年ヨリ比較	▲三、三	▲二、一	▲二、一	▲一、一	▲一、三

年	五月中	自六月一日至六月二十日 平均氣溫	總平均	五月中 自六月一日至六月二十日 日照時數 總時數	五月中 自六月一日至六月二十日 降水量 總量
本年	二六、九	二五、一	二五、七	三一、一	一三、三
本年ヨリ比較	▲三、三	▲二、一	▲二、一	▲一、一	▲一、三
本年ヨリ比較	▲三、三	▲二、一	▲二、一	▲一、一	▲一、三

更に最近六年間の氣象を列記すれば左の如し

年	種目	自旨種至発芽 平均氣溫	自旨種至発芽 日照時數	自旨種至発芽 降水量	自発芽至出穂 平均氣溫	自発芽至出穂 日照時數	自発芽至出穂 降水量	自出穂至成熟 平均氣溫	自出穂至成熟 日照時數	自出穂至成熟 降水量
明治四十四年		八、四	二五、〇	二九、三	七、五	二五、五	二五、九	二四、一	二四、八	二四、八
大正元年		一一、三	二三、三	三五、三	八、一	二五、九	二五、九	二四、八	二四、八	二四、八
大正二年		八、四	二五、三	三五、三	七、五	二五、五	二五、九	二四、一	二四、八	二四、八
大正三年		一一、二	二三、三	三五、三	八、一	二五、九	二五、九	二四、八	二四、八	二四、八
大正四年		八、四	二五、三	三五、三	七、五	二五、五	二五、九	二四、一	二四、八	二四、八
大正五年		一一、二	二三、三	三五、三	八、一	二五、九	二五、九	二四、八	二四、八	二四、八
大正六年		八、四	二五、三	三五、三	七、五	二五、五	二五、九	二四、一	二四、八	二四、八
六ヶ年間平均		一一、二	二三、三	三五、三	八、一	二五、九	二五、九	二四、八	二四、八	二四、八

又參照の爲め大阪府管内最近六年間の麥收穫高を列記すれば左の如し

て此期間の氣象を調査するに氣溫の平均は七度一にして前年及平年より低く日照時數は九百〇七時六にして前年及平年より多く降水日數は五十一日にして前年より多く平年より少し其水量は三百二十四粍一にして前年及平年より少し總ての如し

白發芽至出穗

表中▲は高又は多

氣象	年	前年に比し	平年に比し
平均氣溫			
二月中			
三月中			
四月中			
總平均			
降水日數			
二月中			
三月中			
四月中			
總日數			

氣象	年	前年に比し	平年に比し
日照時數			
二月中			
三月中			
四月中			
總時數			
降水量			
二月中			
三月中			
四月中			
總量			

出穗より成熟に至る期間も亦た氣象の關係甚大にして日照時數多き年は成熟良好なるも之れに反する年は成熟よろしからず今此期間を看るに成熟の早きは五月三十日遲きは六月二十日なれば便宜上此期間を五月一日より六月二十日に至る五十一日間と

して此期間の氣象を調査するに氣溫の平均は十七度七にして前年及平年より低く日照時數は二百七十四時九にして前年及平年より多く降水日數は二十五日にて前年及平年より多く其水量は一百十二粍二にして前年及平年より少し總ての如し

種類	播種期	發芽期	出穗期	收穫期	一反歩收量
豐年	十一月二十五日	十一月三十日	四月二十九日	六月四日	一、三二二
裸麥 丹波白	全	全	四月三十六日	六月二日	一、〇九二
於染	全	全	四月二十五日	六月二日	一、二〇八
コールデンメロン	全	全	五月十三日	六月十二日	一、一一七
大麥 倍取	全	全	四月二十七日	六月四日	一、七〇七
交野	全	全	四月二十四日	五月三十日	一、六〇〇
和歌山	全	全	五月四日	六月十二日	九一五
フルッ	全	全	五月十六日	六月二十日	一、二一六
小麥 廣島シプレー	全	全	五月二日	六月十二日	一、〇三五

前表に依りて看るに播種は大正五年十一月二十一日にして發芽は十一月三十日なれば其前日即ち十一月二十九日に至る五日間は種子の土中にありたるものにして氣象の關係は著しからざるも此期間の氣象を記すれば氣温の平均は十二度七にして前年より低く平年より高し日照時數は五時一にして前年及平年より少く降水日數は前年及平年より多く其水量は前年より少く平年より多し即ち左の如し

自播種至發芽前日

（表中▲は高又は多）

氣象	本年	前年（本年に比べ）	平年（本年に比べ）
平均氣温	一二、七	〇、二 ▲	二、六
日照時數	五、一	二、一	二、六
降水日數	三 ▲	一 ▲	二
降水量	一六、六	一〇、九 ▲	一〇、四

發芽より出穗に至る期間は氣象關係顯著にして且つ長きが故に各月に分ちて氣象を記すべし而して其期日を擧ぐれば出穗の早きは四月二十四日遲きは五月十六日なれば其中庸を取り大正五年十一月三十日より同六年四月三十日に至る百五十二日間とし

	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	平均又は計
	九二	八二	九二	九八	二二	七八	六九	八▲	七八	九五
	二四	二五	二五	二五	二五	二四	二四	二▲	二五	二四
	五九	五七	五八	五八	五八	五四	五四	五二	五五	五五
	▲〇三	〇三	〇三	▲〇三	▲一	四四	四四	▲〇五	三	四四
	四二	四二	四二	四二	四一	四一	四一	四一	四一	四一
	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五
	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	平均又は計
	五五	五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四
	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	七四	七五	七五	七五	七五	七四	七四	七四	七四	七四
	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

朔表に依れば十一月一日より四日に至る三日間は平年より稍々温暖なりしが十一月五日以後は始ど日々平年より寒冷なりし而して十一月の平均氣溫は九度六にして平年より一度九低く最高は十九度九にして平年より四度一、最低は二度四にして平年より零度六孰れも低し又十二月の平均氣温は五度にして平年より二度〇低く最高は十七度六にして平年より零度七、最低は零下二度五にして平年より一度三孰れも低し、因に記す日照時數は十一月は百七十二時〇にして平年より十七時九、十二月は百八十三時六にして平年より三十一時六孰れも多く降水量は十一月は三十二粍二にして平年より五十一粍七、十二月は十八粍八にして平年より三十八粍五孰れも少し

之れを要するに本年（大正六年）十一月十二月に平年より西の風多く、て寒氣強く日照時數は多く降雪量は少かりし

◉大正六年度麥作期間の氣象概況

本年度の麥作は大正五年十一月に播種し同六年六月に收穫したるものにして此期間の氣象を概記せんに氣溫は全期間を通じて低く日照時數は多く降雨は少かりし

（詳細に調査せんが爲め農商務省農事試驗場構内支場の觀測考照試驗に係る麥の種類及播種より成熟に至る各期日並一反歩の收量を左に掲ぐ

十一月（▲は高を示す）

日	平均 本年	平均 平年の本年方	最高 本年	最高 平年の本年方	最低 本年	最低 平年の本年方	日
一日	一三、二	一、九	一六、〇	一七、一	七、[illegible]	九、三	一日
二日	一四、六	一三、二	一六、〇	一八、五	一三、一	七、九	二日
三日	一四、六	一三、三	一九、九	一[illegible]、三	一一、〇	八、一	三日
四日	一四、七	一四、[illegible]	一六、六	一九、三	一三、四	九、二	四日
五日	一一、四	一六、五	一六、[illegible]	一三、[illegible]	八、〇	一、[illegible]	五日
六日	一〇、〇	一五、六	一三、六	一〇、六	六、[illegible]	一一、〇	六日
七日	八、九	一四、四	一四、八	一八、八	三、五	一〇、七	七日
八日	七、七	一四、二	一一、二	一九、[illegible]	三、九	九、九	八日
九日	九、九	一三、三	一六、[illegible]	一六、五	五、五	九、八	九日
十日	八、五	一三、一	一一、六	一七、[illegible]	五、九	九、一	十日
十一日	一〇、二	一一、八	一三、[illegible]	一七、二	七、四	七、[illegible]	十一日
十二日	八、七	一三、六	一三、〇	一八、四	三、七	六、九	十二日
十三日	八、一	一三、〇	一四、六	一九、[illegible]	二、八	七、九	十三日
十四日	七、八	一三、二	一四、八	一九、[illegible]	二、四	八、九	十四日
十五日	七、二	一二、四	一〇、七	一六、六	三、五	八、九	十五日
十六日	七、五	一二、四	一三、六	一七、二	三、[illegible]	八、一	十六日
十七日	七、六	一三、四	一三、六	一七、四	三、四	九、七	十七日
十八日	八、五	一三、七	一五、一	一八、七	三、[illegible]	八、七	十八日
十九日	九、五	一三、四	一五、[illegible]	一七、[illegible]	五、[illegible]	八、四	十九日
二十日	一〇、八	一一、五	一六、〇	一六、六	五、[illegible]	七、[illegible]	二十日
廿一日	一〇、四	一〇、八	一四、七	一六、〇	六、四	六、八	廿一日

十二月

日	平均 本年	平均 平年の本年方	最高 本年	最高 平年の本年方	最低 本年	最低 平年の本年方	日
一日	六、三	八、[illegible]	一一、[illegible]	一四、[illegible]	一七、[illegible]	四、[illegible]	一日
二日	九、[illegible]	一〇、[illegible]	一四、[illegible]	一五、[illegible]	六、[illegible]	六、[illegible]	二日
三日	一一、[illegible]	一〇、八	一七、[illegible]	一四、八	五、[illegible]	五、四	三日
四日	六、八	八、四	六、九	一一、[illegible]	五、[illegible]	四、[illegible]	四日
五日	五、八	八、八	一一、[illegible]	一四、四	一、[illegible]	四、[illegible]	五日
六日	六、[illegible]	八、八	一一、[illegible]	一三、九	一、[illegible]	一、九	六日
七日	七、五	八、七	一一、[illegible]	一一、七	一、[illegible]	四、[illegible]	七日
八日	六、六	七、[illegible]	一五、四	一一、[illegible]	一、[illegible]	四、[illegible]	八日
九日	五、六	七、[illegible]	一一、[illegible]	一三、四	一、[illegible]	一、[illegible]	九日
十日	九、[illegible]	六、[illegible]	一一、[illegible]	一一、[illegible]	一、[illegible]	一、[illegible]	十日
十一日	七、[illegible]	七、[illegible]	九、八	一一、[illegible]	一、[illegible]	一、[illegible]	十一日
十二日	六、六	八、[illegible]	一一、[illegible]	一一、[illegible]	一、[illegible]	一、[illegible]	十二日
十三日	七、一	七、八	一一、[illegible]	一一、[illegible]	一、[illegible]	一、[illegible]	十三日
十四日	六、九	七、七	一一、[illegible]	一一、[illegible]	一、[illegible]	一、[illegible]	十四日
十五日	五、九	七、五	一一、[illegible]	一一、[illegible]	一、[illegible]	一、[illegible]	十五日
十六日	三、五	七、七	一一、[illegible]	一一、[illegible]	一、[illegible]	一、[illegible]	十六日
十七日	五、[illegible]	六、[illegible]	一七、九	一一、九	一、[illegible]	一、[illegible]	十七日
十八日	四、[illegible]	六、[illegible]	一一、[illegible]	一一、[illegible]	一、[illegible]	一、[illegible]	十八日
十九日	四、五	七、四	一一、[illegible]	一一、[illegible]	一、[illegible]	一、[illegible]	十九日
二十日	五、[illegible]	六、四	一一、[illegible]	一一、[illegible]	一、[illegible]	一、[illegible]	二十日
廿一日	四、[illegible]	一、[illegible]	一一、[illegible]	一一、[illegible]	一、[illegible]	一、[illegible]	廿一日

漸次發達し本邦に壓迫し來りしを以て本邦にては西乃至北西の強烈風吹き起れり大阪にては十一日午前三時より俄然西風增勢し四時には强風となり午後九時最も强く毎秒速度十五米〇に達し十二日午後三時まで斷續せり其時數は三十時にして內强風二十九時間烈風一時間なり

●本年冬季の寒氣に就て

技手　山田顯吉

冬季西の寒風卓越して吹き寒氣增進せるは東亞大陸の高氣壓に關するは人の知る所なるが瀨戶內特に大阪地方は大陸低氣壓の日本海を通過すると同時に東亞大陸より高氣壓發展し來りて西の寒風を起し倍々强暴を逞ふするに至れり而して氣候は此風に支配せられ寒氣增進し時々雪霰を降らし嚴氷を生ずるは地當方冬の狀態なり而して例年は十一月中旬以降ならざれば此現象を看ること甚だ稀なるが本年（大正六年）は十一月五日頃より冬季の狀態となり東亞大陸より高氣壓發展し來り寒風を起し氣溫著しく降り十一月五日の平均氣溫は平年より五度一最高は六度〇最低は四度一の過低を示せり爾後氣壓の配置は多少の變化あるも主として東亞大陸に高氣壓ありて冬季の狀態を呈せるが故に風向は當地方に於ける冬季の卓越風なる西方の風多かりし即ち左に示すが如し

十一月中の風向回數本年平年比較　▲は多を示す

風向	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩	合計
本年	一九	八	四	七	六	二	二四	五	四	七〇
平年	一七	三	二	二	三	六	二三	二	二	七〇
差	▲二	五	六	二	九▲	四▲	九▲	六▲	二	—

十二月中の風向回數本年平年比較　▲は多を示す

風向	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩	合計
本年	七	九	四	七	三	八	六	五四	五	七四
平年	一四	三	二	二	二	五	二	三五	五	七四
差	七▲	六	二	五	一	三▲	四▲	一八	一	—

前表に依れば十一月は南西より西、北西、北の風が多く特に西の風は最も多し、十二月は南西及西の風が多く特に西風は著しく多かりし之に由りて看れば十一月十二月とも冬季の卓越風なる西方の風最も多く則ち氣候は十月初より冬季の狀態を呈せしを知るべし更に本年十一月、十二月中の日々の氣溫平均最高最低を平年に比し表記すれば左の如し

福岡　仝　八時一六分〇三秒
大阪　仝　八時一六分〇六秒
水澤　仝　八時一六分三〇秒

一五三　十一月二十五日午前四時三十三分十八秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は四分二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前四時四十二分十五秒に於て七十三「ミクロン」振動期十一秒〇、南北動は午前四時四十一分三秒に於て八十「ミクロン」振動期七秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時十七分十秒南北動は一時十一分四十五秒なり

附記　此地震は臺灣の東方海底に發したるものにして臺北にては性質急なる弱震を感じ振子時計の運轉を停止せりと云ふ今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を記すれば左の如し

臺北　午前四時三十分〇〇秒
臺中　仝　四時一九分五八秒
臺南　仝　四時三〇分五三秒
臺東　仝　四時三一分一二秒
澎湖島　仝　四時一二分三二秒
福岡　仝　四時三二分一八秒
仁川　仝　四時三二分四三秒
大阪　仝　四時三三分一八秒
水戸　仝　四時三三分四二秒

●十一月中の暴風概況

技手　大橋記太郎

本月は顯著なる暴風はなかりしも冬季の常として低氣壓の日本海を通過したる後亞細亞大陸より高氣壓發展し來り西の強烈風を起せり其重なるもの二回を記すれば左の如し

(一)十一月四日より六日に至る暴風　十一月三日朝滿洲南部に顯はれたる低氣壓は東南東に進行して朝鮮北部を横ぎり四日朝日本海中部に到り北東に轉向し急速に發達し五日午後オホツク海に到るに及び其中心示度七百三十五粍に下降せり當時大陸の高氣壓は著しく發達し七百七十五粍以上を示せり此れが爲め氣層の傾斜甚大となり本邦にては西乃至北西の強烈風吹き起り殊に奥羽北部、北海道にては烈しき風雪ありたりと云ふ

大阪にては四日朝來北東の和風吹きしが同日午後四時風向西に轉じ次第に風力增勢し九時より強風となり五日午前五時最も強く毎秒速度十七米八に達し六日午後八時まで斷續せり其時數は三十四時にして內強風三十二時間烈風二時間なり

(二)十一月十一日より十二日に至る暴風　九日支那北部に顯はれたる低氣壓は南東に進み山東半嶋を掠め十日朝黃海に到りて東北東に轉向し朝鮮中部を横ぎり日本海に入り次第に發達し十二日朝千島列嶋に去りて七百四十粍以下を示し大陸の高氣壓は

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は五分二十九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前七時三十五分零秒に於て三十八「ミクロン」振動期九秒六南北動は午前七時三十六分五十六秒に於て百「ミクロン」振動期十九秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時二十九分二十一秒南北動は一時三十四分五十二秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を記すれば左の如し

水戸	午前七時二三分〇五秒
福岡	仝　七時二三分〇七秒
水澤	仝　七時二四分一四秒
大阪	仝　七時二四分三四秒

一五一　十一月十八日午後零時四分二秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は五分零秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後零時十一分十一秒に於て二百三十「ミクロン」振動期二十六秒四南北動は午後零時十一分六秒に於て二百四十三「ミクロン」振動期二十五秒九を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時二十八分二十五秒南北動は一時二十五分十八秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

福岡	午後零時二分二二秒
仁川	仝　零時〇三分五三秒
大阪	仝　零時〇四分〇四秒
水澤	仝　零時〇四分四七秒
水戸	仝　零時〇五分二九秒
銚子	仝　零時〇六分二一秒
函館	仝　零時〇五分三三秒
太泊	仝　零時〇四分四六秒

一五二　十二月二十四日午後八時十六分〇秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は四分十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後八時二十分四十九秒に於て九十八「ミクロン」振動期九秒六南北動は午後八時二十分五十秒に於て百二十「ミクロン」振動期十八秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は五十二分三十五秒南北動は五十四分二十五秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

銚子	午後八時一四分五七秒
水戸	仝　八時　六分　七秒

西動は午後九時三十八分五十秒に於て二百四十五「ミクロン」振動期十六秒八南北動は午後九時三十六分一秒に於て百六十「ミクロン」振動期十六秒三を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時三十三分三十秒、南北動は一時四十分五十秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源地は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を記すれば左の如し

福岡	午後九時	一一分〇九秒
仁川	仝	九時一一分三八秒
大阪	仝	九時一二分〇七秒
水澤	仝	九時一三分〇六秒
函館	仝	九時一三分四四秒
太泊	仝	九時一三分一五秒

一四七　十一月十日午前七時四十四分六秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十二秒にして主要動となり最大振幅は午前七時四十五分五十九秒に於て三十四「ミクロン」振動期三秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は十一分三十秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は磐城沖に發したるものにして震域北方は陸前石巻に南方は東京灣に達し長半徑五十五里短半徑四十五里を有し弱震部は千三百六十方里午後震部は七千七百七十方里に亘り宮城にては弱震を[illegible]

一四八　十一月十六日午前零時二分五十秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は二分二秒にして主要動となり最大振幅は午前零時五分四十九秒に於て四十三「ミクロン」振動期六秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は十七分五十四秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は二陸沖に發したるものにして震域廣く北方は北海道の釧路に南方は東京灣に達し長半徑八十里短半徑六十五里を有し弱震部は六千九百十方里有感覺微震部は一萬六千三百四十方里に亘れり

一四九　十一月十六日午後零時三十一分三十五秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は九分四十三秒第二は九分五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後一時二分五十一秒に於て百二十八「ミクロン」振動期二十一秒六南北動は午後一時十四分三十七秒に於て百二十五「ミクロン」振動期十九秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時二十六分十四秒南北動は一時二十七分五十八秒なり

附記　此地震は太洋洲トンガ島附近の海底に發したるものにして別項に詳記せり

一五〇　十一月十一日午前七時二十四分三十二秒の地震

十七日概ね晴天新庄、秦野、東郷、天王、田原、富田林に霜あり●十八日概ね晴天所々に霜あり●十九日概ね晴天天王、田原に霜あり●二十日概ね晴天大阪に強風吹き東郷、天王、田原、富田林に霜あり●二十一日概ね晴天深日、大阪、八尾、柏原に強風吹き所々に霜あり●二十二日概ね晴天所々に霜あり●二十三日晴曇相半し田原、富田林に霜あり●二十四日概ね晴天所々に霜あり●二十五日概ね晴天堺、東郷、天王、田原、富田林に霜あり●二十六日概ね晴天東郷、天王、田原に霜あり●二十七日概ね晴天妙見山、東郷、天王に雪降れり之れ本府管内本冬季の初雪とす深日、長承寺、大阪、新庄に強風吹けり●二十八日晴曇相半し田原に霜あり●二十九日概ね晴天王之郷、堺は微雨富田林は霰降り大阪に強風吹き新庄、東郷、富田林に霜あり●三十日概ね晴天大阪、東郷に微雨妙見山、天王に雪降り大阪に強風吹けり

大阪地震觀測概況

爰に記する所のものは主として大森式地動計（東西及南北動二十倍）を以て觀測したるものを記し、微微なる地震にありては百廿倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如し

Pは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動全上、Lは長波即ち主要部全上、Mは主要部の最大動、Cは終期の最大動、Fは振動の終とす又（十）は南北動にありては北、東西動にありては東、（一）は南北動にありては南、東西動にありては西なり振幅は「ミクロン」（毛の千分一）を以て記す

本月中に地震を觀測したる數は九回にして人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感じたるものも亦た一回もなかりしが無感覺地震にして地動計又は微動計に感じ其震源本邦内にありたるものは四回即ち磐城沖二回、三陸沖臺灣東方海震の各一回なり又遠距離地震は五回にして就中顯著なりしは十六日午後零時三十一分三十五秒大洋洲、トンガ、嶋附近に發したるものにして其他は未だ震源詳ならず今其觀測概況を列記すれば左の如し

一四五　十一月一日午後零時十七分二十三秒の地震

此地震は徑質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十八秒にして主要動となり最大振幅は午後零時十八分四十五秒に於て十九「ミクロン」振動期四秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は七分五十五秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は磐城沖に發したる微震にて岩代の福島にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一四六　十一月四日午後九時十二分七秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は八分四十一秒第二は八分五秒にして主要動となり最大振幅は東

十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	全月
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四[illegible]、九
—	—	—	—	—	—	—	[illegible]	—	—	—	—	〇、[illegible]	—	[illegible]
—	〇、九	—		—	—	—	一[illegible]、[illegible]	—	—	—	—	—	—	四[illegible]、九
—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	[illegible]
—	—	—	—	—	—	—	〇、[illegible]	—	—	—	—	—	—	[illegible]、九
—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	〇、九	—	[illegible]
—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	[illegible]
—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、[illegible]	—	—	〇、〇	—	[illegible]、一
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	[illegible]
—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	[illegible]
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、[illegible]	—	[illegible]
—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	〇、三	—	[illegible]、一
—	?	—	—	—	—	—	—	—	〇、三	—	—	一、[illegible]	—	[illegible]
—	—	—	—	—	〇、[illegible]	—	—	—	〇、九	一、[illegible]	—	三、三	三、八	四四、[illegible]
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	—	—	—	一、[illegible]	—	—	—	[illegible]、八
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	[illegible]
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四[illegible]、五
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	[illegible]
—	—	—	—	—	—	—	[illegible]	—		—	—	—	〇、[illegible]	[illegible]
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二、〇	—	四[illegible]、五
—	一、[illegible]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	[illegible]九、七

管内天氣摘要

●一日概ね曇天所々に雨降り翌日に亘る東郷に霜あり●二日前日來の雨午後歇む●三日概ね晴天田原に霜あり●四日概ね雨天岸和田、堺、大阪に強風吹けり●五日概ね晴天沿海部に強風吹けり●六日概ね晴天所々に霜あり沿海部及天王、富田林に霰降り堺、大阪、枚方、八尾に強風吹けり●七日概ね晴天所々に霜あり●八日概ね曇天なりしが午後より雨降り上之郷、堺、田原に霜あり●九日晴曇相半し清水に霜あり●十日概ね曇天なりしが午後より雨降る東郷、清水に霜あり●十一日概ね晴天深日、上之郷、大阪に強風吹けり●十二日概ね晴天所々に霜あり深日大阪、八尾に強風吹けり●十三日概ね晴天所々に霜あり●十四日概ね晴天一般に霜あり●十五日概ね雨天●十六日平坦部より沿海部地方に亘りて濃霧あり後概ね晴天天王、田原に霜あり●

第四表　管內降水日量

十一月	深日	上之鄉	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	奈野	妙見山	東鄉	天王	次木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	九、六	八、八	八、〇	六、二	六、九	六、〇	六、六	七、三	?	五、四	五、九	六、〇	六、五	六、〇	—	〇、八	七、五	八、〇	八、〇	七、〇	七、〇	八、〇
二日	—	一、八	〇、〇	一、九	一、四	一、〇	一、四	一、三	一、四	一、四	一、〇	—	—	三、〇	—	—	三、六	一、〇	一、五	一、五	二、〇	二、〇
三日	二〇、九	二三、八	七、〇	二三、四	一一、六	二三、〇	二一、〇	九、五	三、九	九、〇	六、九	?	一一、四	六、七	—	一〇、三	八、〇	一四、八	〇	七、三	一四、五	六、五
四日	四、三	一、〇	一一、〇	六、六	八、四	四、九	一、五	四、〇	—	四、三	四、五	?	二、〇	一〇、〇	—	六、六	一、〇	四、〇	〇	一、五	五、〇	〇、八
五日	—	—	—	〇、三	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、〇	—
六日	〇、五	〇、〇	〇、四	—	〇、四	一、〇	〇、五	一、〇	—	—	一、〇	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	二、四	一、五	—
七日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
八日	五、〇	六、〇	四、〇	一、六	一、五	一、三	四、〇	三、〇	一、三	二、七	五、五	五、〇	五、五	五、二	—	三、四	三、〇	五、六	五、〇	五、五	六、〇	六、七
九日	〇、四	〇、二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十日	一、三	〇、七	八、〇	一、三	一、三	五、九	—	〇、六	〇、九	二、〇	〇、四	〇、九	—	二、〇	—	—	一、五	五、八	四、六	二、六	二、五	四、七
十一日	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十二日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十三日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十四日	—	—	—	〇、〇	—	—	—	〇、〇	—	〇、三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十五日	—	—	—	—	一、四	〇、七	五、六	五、五	五、七	五、三	一、七	〇、五	二、六	一、〇	—	四、四	五、六	二、〇	—	〇、七	—	—
十六日	—	〇、九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、七	—	—	—	—	—	—	—	—

三分の一に達せざりき而して日量の最多は　日の降雨の際　とし東部八尾の十七粍の之れ、頃ぎ大阪、新庄、秦野、枚にありて南部上之郷の二十三粍八同深日の二十粍九を最多　方、長野寺は十粍に達せざりき

第三表　管内全月氣象觀測成績

表中▲印は高又は多

觀測所	空氣ノ溫度 平均最高	平均最低	平均	最高	最低	降水 總量	最多日量	日氣	溫度	風向	天氣日數	雷電	雨	霧	雪	快晴	曇天	暴風
深日	五〇	六七	〇八	一九	〇〇	三一	四九	四九	三一	六	四七	北	七	〇	〇	二	八	五
上之郷	四一	五六	九九	—	〇〇	二七	五三	—	二八	六	五一	北	三	〇	五	〇	九	一
岸和田	四三	六三	〇三	二一	九四	四	四九	六五	三四	六	四七	西	九	〇	一	〇	三	〇
長承寺	四四	四七	九六	二四	九八	三	三〇	三五	三四	七	五一	東	八	〇	一	〇	五	一
濱寺	三六	四三	九一	—	九三	三	〇七	三九	一〇	五	九四	北西	八	〇	一	〇	三	〇
堺	四一	五三	九八	二四	〇五	三	一七	三	三	六	四	東	九	〇	一	〇	五	〇
天王寺	三七	四九	九三	二四	九〇	四	二六	四六	三七	七	四	西	七	〇	〇	四	〇	〇
大阪	四一	五九	〇一	一八	九九	三	二四	三一	四	六	四	北	七	〇	〇	四	〇	〇
福島	四一	四四	九二	二六	〇五	三	一四	三	一四	七	四	北西	〇	〇	〇	三	〇	〇
新庄	四一	四一	九一	二一	〇七	一〇	一四	三六	四一	六	四	北東	八	〇	〇	九	〇	〇
秦野	三九	三九	八三	三四	九六	三	一七	三四	四三	六	四	北西	九	〇	〇	七	〇	四
姉見山	七五	〇四	〇六	四三	三〇	三	五一	三一	五三	七	五	北	七	〇	〇	〇	〇	〇
東郷	三五	〇九	六三	三七	六九	四	二七	三六	四九	六	五六	北	七	〇	〇	六	〇	九
天王	九四	〇四	四九	二四	四〇	三	四七	四三	三三	七	四	西	三	〇	〇	三	〇	〇
茨木																		
清水	四三	二四	八三	二八	二八	三	〇八	二六	三七	六	五一	南	六	〇	〇	〇	八	八
枚方	五〇	三七	九三	二八	二〇	三	〇五	三一	四二	八	四八	北	七	〇	〇	三	〇	二

三十日	六、五	八、九	九、七	一〇、六	三、九	一、六
全月	八、二	一〇、九	二、九	三、九	二五、二	一、九

（午前三時より四時まで強風吹けり、午前六時一十五分より全六時五十八分まで微雨、夜微霜あり）

大阪府管內氣象概況

前既に述べたるが如く本月は北乃至西の季節風增勢し寒氣漸く加はり好晴の天氣多く降水量は前月に比すれば稍々減少するを常とす而して本年十一月の氣候を調査するに月の始めは稍々溫暖なりしが六日より頓に寒氣增進し來りて所々に霰を降らし翌七日には殆んど全管內に亘りて初霜を結び之れが爲め氣溫は倍々低下し中旬の半に於て過半最低の極に達し後稍々緩和の傾向を呈せしが下旬の半頃より復々寒冷となり北部の山間にては二十七日初雪を降らし平年より孰れも三、四日早く又降水量は著しく少なく孰れも平年の半に達せず中には三分の一內外に過ぎざる所あり之れを要するに本月の氣候は天氣好晴にして寒氣强く即ち寒氣早來したるものなり更に氣溫、降水量等に就き詳記すれば左の如し

氣溫

平均は南部深日の十度八より北部妙見山の三度六の間にありて之れを平年に比すれば頗る寒冷にして北部妙見山及東鄕は殊に著しく四度內外の低溫となり其他の山間部は三度內外平坦及沿海部地方は二度內外孰れも過低を呈せり而して最高は概ね三日に現はれ西部枚方の二十一度○東部柏原の二十度八西部新庄の二十度七を高極とし南部堺、西部福嶋、北部清水の二十度五之れに亞ぎ其他は二十度內外なりしも天王は十四度八妙見山は十二度一に過ぎず又最低は中旬及下旬に現はれ北部妙見山の零下五度一同天王の零下四度七を低極とし其他の山間部も亦一般に零下に降り平坦及沿海部地方は零度以上なれども一度乃至二度內外にして南部の南端すら三度に過ぎざりき之れを要するに本月の氣溫は最高二十一度○より最低零下五度一の間にありて其較差は二十六度一に達せり

降水

總量は南部上之鄕の五十二粍三より北部秦野の二十四粍三の間にありて之れを平年に比すれば概ね二分の一にして西部福嶋、同枚方及北部秦野東部長野等は平年の

五日	九.九	一三.七	一五.二	一六.一	一七.八	五.六	午前三時より夜半まで強風吹けり
六日	八.〇	一二.八	一三.七	一五.二	一七.五	四.三	午前二時より午後八時まで断續的に強風吹けり午前八時二十三分より微雨となり時々霰を交へ断續し午後二時三十八分歇む、之れを本冬季の初霰とす
七日	八.四	一二.三	一三.九	一四.四	一七.一(一)	一.一	朝微霜あり之れを本冬季の初霜とす午前七時廿五分より仝八時三十分まで薄霧あり、夜露あり
八日	七.三	一〇.九	一三.五	一三.九	一六.七	〇.三	朝露あり、午前四時五十分より仝八時二十分まで薄霧あり、午後一時五十五分より仝八時二十八分まで小雨
九日	九.二	一二.二	一三.二	一六.五	一六.三	一.五	朝露あり、午前十時五分より仝十一時十二分まで日暈現る
十日	七.六	一〇.九	一三.一	一三.三	一六.〇	三.九	朝薄露あり、午前五時三十七分より仝八時十五分まで薄霧あり、午後一時十分より仝五時二十八分まで小雨
十一日	七.八	一二.〇	一三.〇	一三.一	一五.七	四.八	午前一時九分より小雨断續し午後零時十四分歇む、午前四時より夜半まで断續的に強風吹けり
十二日	六.六	九.九	一二.三	一三.七	一五.五(一)	一.七	午前一時より午後三時まで断續的強風吹けり
十三日	七.二	九.六	一〇.九	一三.三	一五.二(一)	一.六	朝微霜あり、午前六時四十分より仝八時四十分まで薄霧あり、夜露あり
十四日	六.九	九.五	一〇.八	一三.〇	一四.九(一)	一.二	朝微霜あり、午前五時二十分より仝九時三十五分まで薄霧あり、夜露あり
十五日	六.三	九.二	一〇.五	一二.七	一四.六	一.二	朝露あり、午前七時六分より小雨斷續し午後六時四十五分歇む
十六日	六.八	九.四	一〇.三	一二.五	一四.四	一.七	午前二時六分より薄霧を生じ仝四時二十一分頃に至り濃密となれるも爾後漸次に薄くなり仝九時五十分消散す、夜薄露あり
十七日	六.一	九.一	一〇.一	一二.三	一四.七(四)	一.二	朝薄露あり、午前十時五十分より午後二時三十分まで日暈現る、夜薄露あり
十八日	七.六	九.五	一〇.一	一二.二	一三.八(一)	〇.七	朝微霜あり、午前四時三十分より仝八時四十分まで薄霧あり、夜薄露あり
十九日	八.六	九.八	一〇.五	一二.五	一三.八	三.五	朝露あり、午前六時三十五分より仝八時四十分まで薄霧あり午後零時四十分より仝一時三十分まで日暈現る、夜薄露あり
二十日	八.四	一〇.三	一〇.九	一二.七	一三.七	一.四	朝薄露あり、午前四時二十五分より仝九時三十五分まで薄霧あり午前九時より仝十一時まで煙霧あり、午後九時強風吹けり
廿一日	七.九	一〇.二	一〇.九	一二.七	一三.七	〇.三	午前六時より正午まで断續的に強風吹けり、夜露あり
廿二日	七.四	九.七	一〇.五	一二.六	一三.七(一)	〇.九	朝霜あり、夜薄露あり
廿三日	六.五	九.四	一〇.四	一二.四	一三.五	一.三	朝薄露あり、夜露あり
廿四日	七.三	九.三	一〇.一	一二.〇	一三.四	〇.〇	朝露あり、夜薄露あり
廿五日	七.八	九.六	一〇.三	一二.一	一三.三	〇.八	朝露あり、午前二時五十分より仝十時五十分まで薄霧あり、夜露あり
廿六日	八.九	一〇.一	一〇.六	一二.三	一三.三	一.八	朝露あり、午前五時三十分より仝十時二十五分まで薄霧あり
廿七日	六.〇	九.七	一〇.七	一二.五	一三.三	〇.八	午前五時四十四分より仝五時五十七分まで微雨あり、午前十一時より午後二時まで強風吹けり
廿八日	五.七	八.五	九.七	一〇.八	一三.〇(一)	〇.七	午後八時十五分より午後十一時十五分まで時々月暈現る、夜薄露あり
廿九日	六.四	八.六	九.四	一〇.六	一三.九	一.四	午後十時より夜半まで強風吹けり、午後八時二十分より仝十一時十分まで月暈現る

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

月日	氣壓（平均）	地中溫度（平均） 地表	十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地溫	風向	風速	雨量	日照時間	雲量	濕度（平均）	蒸發量	天氣
十七日	八四四・八	七・六	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	東北東	四・六	〇・一	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
十八日	五三・三	八・五	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	北東	一・五	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
十九日	五二・五	九・五	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	北東	一・九	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
二十日	五二・一	一〇・八	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	西南西	二・〇	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
廿一日	五二・四	一〇・一	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	西	二・二	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
廿二日	五二・七	九・一	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	北北西	四・五	〇・八	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
廿三日	五二・四	八・一	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	北北東	四・五	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
廿四日	五二・七	九・三	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	北北東	一・八	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
廿五日	五二・二	九・八	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	南南西	一・〇	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
廿六日	五二・四	一〇・一	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	西南西	五・三	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
廿七日	五二・八	七・〇	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	北北西	六・四	〇・〇	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
廿八日	五二・〇	六・八	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	北	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
廿九日	五二・三	八・八	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	西	四・七	〇・〇	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
三十日	五二・四	一〇・八	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	北北西	四・〇	〇・〇	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
合月	五二・二	九・六	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一	西	二・九	〇・一	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一

十一月

日	氣壓（平均）	地中溫度（平均） 地表	十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地溫	風向	風速	雨量	日照時間	雲量	濕度（平均）	蒸發量	天氣
一日	一四・〇	一五・四	一六・六	一八・七	一九・五	三・五	西	四・八	一七・〇	▲ 一・六	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
二日	五・五	一五・六	一六・六	一八・七	一九・五	三・五	西	四・八	一七・〇	▲ 一・六	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
三日	一四・九	一五・七	一六・四	一八・一	一九・五	三・五	西	四・八	一七・〇	▲ 一・六	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
四日	一五・二	一五・七	一六・四	一八・一	一九・五	三・五	西	四・八	一七・〇	▲ 一・六	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一

前夜來の月暈時々現れ午前三時二十五分消ゆ、朝薄霧あり午前六時二十八分より薄霧を生じ全六時四十分頃に至り濃密となれるも爾後漸次に薄くなり午前七時三十四分消散す、午前九時より十一時頃まで烟霧あり、午前九時五十分より全十一時五分まで日暈現る、午後十一時四十二分より微雨翌日に亘る

前日來の小雨斷續し午後七時二十五分歇む

（朝薄霧あり午前五時四十八分より全六時六分まで日暈現はる午前六時五十分より全七時十分まで薄霧あり）午前一時五十分より小雨斷續し午後五時五十五分歇む、午後九時より夜半まで強風吹けり

諸現象の摘要

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印は高又は多）

十一月	氣壓 平均	空氣ノ溫度 平均	平年比較	最高	最低	較差	水蒸氣張力 平均	濕度 平均	飽差 平均	風速 最大	風速 平均	風向 全上方向最多方向	雲量 平均	日照時數 平年	平年比較	降水量	蒸發量
一日	七五四、六	三、三	〇、七	一〇、〇	七、〇	三、〇	八、六	八三	三、三	一、七	四、三	北東	八、三	一、二	〇、九	一、九	〇、九
二日	七五九、三	四、六▲	一、五▲	一三、一	一、九	一一、二	一〇、八	八六	一、五	三、八	七、八	北東	一〇、〇	七、〇	八、八	一、九	〇、九
三日	七五三、四	四、六▲	一、五▲	一三、一	八、九	四、二	九、〇	七四	三、三	六、二	一四、二	北	五、四	九、二▲	一、五	二、一	一、一
四日	七五八、九	一、七▲	〇、四	一〇、六	三、四	七、二	一〇、八	九〇	一、七	三、九	一四、七	西	七、九	一、一	三、八	二、一	一、一
五日	七五六、三	一、一	一、三	一一、一	八、〇	三、一	一〇、三	八五	一、五	三、八	一四、一	西	四、一	七、七▲	一、五	二、一	一、一
六日	七五六、六	一、〇	一、三	一一、一	八、九	三、二	一〇、三	八五	一、五	三、八	一四、一	西	四、一	七、七▲	一、五	二、一	一、一
七日	七五八、三	一、〇	一、三	一一、一	八、九	三、二	一〇、三	八五	一、五	三、八	一四、一	西	四、一	七、七▲	一、五	二、一	一、一
八日	七五九、六	一、〇	一、三	一一、一	八、九	三、二	一〇、三	八五	一、五	三、八	一四、一	西	四、一	七、七▲	一、五	二、一	一、一
九日	七六〇、二	一、〇	一、三	一一、一	八、九	三、二	一〇、三	八五	一、五	三、八	一四、一	西	四、一	七、七▲	一、五	二、一	一、一
十日	七六〇、〇	一、〇	一、三	一一、一	八、九	三、二	一〇、三	八五	一、五	三、八	一四、一	西	四、一	七、七▲	一、五	二、一	一、一
十一日	七五八、〇	一、〇	一、三	一一、一	八、九	三、二	一〇、三	八五	一、五	三、八	一四、一	西	四、一	七、七▲	一、五	二、一	一、一
十二日	七五八、〇	一、〇	一、三	一一、一	八、九	三、二	一〇、三	八五	一、五	三、八	一四、一	西	四、一	七、七▲	一、五	二、一	一、一
十三日	七五八、八	一、〇	一、三	一一、一	八、九	三、二	一〇、三	八五	一、五	三、八	一四、一	西	四、一	七、七▲	一、五	二、一	一、一
十四日	七五八、八	一、〇	一、三	一一、一	八、九	三、二	一〇、三	八五	一、五	三、八	一四、一	西	四、一	七、七▲	一、五	二、一	一、一
十五日	七五四、八	一、〇	一、三	一一、一	八、九	三、二	一〇、三	八五	一、五	三、八	一四、一	西	四、一	七、七▲	一、五	二、一	一、一
十六日	七五二、五	一、〇	一、三	一一、一	八、九	三、二	一〇、三	八五	一、五	三、八	一四、一	西	四、一	七、七▲	一、五	二、一	一、一
平均	七五五、一九	二、二	一、五	一三、五	七、三	五、二	八、五	七九	四、〇	一、一	五、八	北東	一、九	一一、九	三、七	一五、〇	一五、〇
廿二時	七五五、四〇	八、三	六、三	七、三	一、二	四、〇	三、五	一一、九	一、九	一一、八	三、七	一五、〇					
廿三時	七五五、三七	七、九	六、三	七、三	一、八	四、〇	三、三	一一、七	一、九	一一、八	三、七	一五、〇					
廿四時	七五五、一九	七、八	六、四	七、三	一、八	四、〇	三、三	一一、七	一、九	一一、八	三、七	一五、〇					
平均	七五五、一九	九、三	六、四	七、三	二、三	四、二	四、八	一二、七	三、三	一二、八	三、七	一五、〇					

第一表　大阪每時氣象觀測成績表

十一月

時	氣壓平均	氣溫平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速度不均	雲量平均	日照時數	降水量	地中溫度（平均）地皮	地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
一時	二七、二二	七、二二	六、二二	八〇、三	一、六九	三、二二	五、四	—	〇、三	五、三三	一〇、二二	一二、九九	一三、九九	一四、一〇
二時	二七、三三	七、三三	六、三八	八一、五	一、四六	三、八〇	三、三	—	〇、〇	五、一二	一〇、四五	一二、八八	一三、九三	一四、一六
三時	二七、一二	七、二六	六、三〇	八一、〇	一、三二	四、一〇	五、八	—	〇、七	四、九九	一〇、三一	一二、八一	一三、九二	一四、一六
四時	二七、一一	七、〇五	六、二八	八一、八	一、一七	四、二一	三、八	—	〇、八	四、六四	一〇、一七	一二、七三	一三、九一	一四、一六
五時	二七、二二	六、八四	六、一八	八一、八	一、〇三	四、一三	三、一	—	一、〇	四、六一	九、九三	一二、六五	一三、八九	一四、一五
六時	二七、一〇	六、六八	六、〇四	八一、九	一、〇三	三、九五	四、七	—	一、〇	四、六四	九、九六	一二、六〇	一三、八一	一四、一五
七時	二七、〇九	六、四四	六、〇四	八二、九	一、〇三	三、九五	五、〇	一、四〇	一、九	五、三四	九、八八	一二、六一	一三、七九	一四、一四
八時	二七、〇二	七、〇二	六、三四	八一、一	一、二九	四、〇一	五、三	一〇、四〇	一、九	五、三三	九、八八	一二、六〇	一三、七九	一四、一三
九時	二七、一〇	九、一八	六、四四	七九、九	一、三七	三、八五	五、六四	一〇、〇〇	二、七〇	七、六四	九、六六	一二、六三	一三、七九	一四、一二
十時	二七、〇七	一〇、一一	六、七一	七九、四	一、三三	四、一七	五、七〇	一〇、四〇	二、七〇	一一、一八	九、九五	一二、六九	一三、七九	一四、一〇
十一時	二七、一二	一一、二五	六、七七	七九、三	一、四七	四、二五	五、九二	一〇、四〇	一、九	一四、〇三	一〇、〇八	一二、九九	一三、八〇	一四、〇九
十二時	二七、〇四	一二、〇八	六、九八	七九、五	一、四八	四、二六	六、四	一〇、四〇	一、九	一五、五二	一〇、一九	一二、九九	一三、八二	一四、〇九
十三時	二七、〇二	一三、〇三	七、〇五	七九、〇	一、四九	四、二八	七、〇	一〇、四〇	一、九	一四、一四	一〇、一九	一二、九九	一三、八二	一四、〇八
十四時	二七、〇四	一三、一四	七、〇七	七八、三	一、四九	四、二五	七、〇	一〇、四〇	一、九	一四、一四	一〇、一九	一二、九九	一三、八二	一四、〇八
十五時	二七、〇三	一三、一九	七、〇七	七八、六	一、四九	四、二九	六、六	一〇、四〇	一、九	一四、一四	一〇、一九	一二、九九	一三、八二	一四、〇八
十六時	二七、〇一	一三、一九	七、〇三	七八、一	一、四九	四、二四	六、四	一〇、四〇	一、九	一四、一四	一〇、一九	一二、九九	一三、八二	一四、〇八
十七時	二七、〇二	一二、九九	六、九九	七八、三	一、四九	四、二四	五、九	一〇、四〇	二、九	一四、八二	一〇、一九	一二、九九	一三、八二	一四、〇八
十八時	二七、〇四	一二、八一	六、九六	七八、四	一、四九	四、二五	四、七	五、二〇	一、〇	一四、〇一	一〇、一九	一二、九九	一三、八二	一四、〇八
十九時	二七、〇二	一二、九一	六、九五	七八、四	一、四九	四、二五	四、一	—	一、〇	一三、九九	一〇、一九	一二、九九	一三、八二	一四、〇八
二十時	二七、〇二	一二、九一	六、九五	七八、四	一、四九	四、二五	四、一	—	〇、五	一三、九三	一〇、一九	一二、九九	一三、八二	一四、〇八
廿一時	二七、〇二	一二、八五	六、九四	七八、四	一、四九	四、二五	三、三	—	〇、一	一三、八三	一〇、一九	一二、九九	一三、八二	一四、〇八

度七三低く月中の最高は二日午後四時乃至六時に於て十五度九を示し最低は二十八日午前五時に於て七度六を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて十一度六六を示し最低は午前九時にありて九度六六を示せり、而して其較差は二度〇(なり

地中二十糎の溫度　平均は十一度六八にして平年に比すれば二度四四低く月中の最高は一日午前一時に於て十六度(を示し最低は二十九日午前九時乃至正午に於て九度一を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後八時乃至九時にありて十一度九八を示し最低は午前十一時乃至正午にありて十一度二九を示せり、而して其較差は零度六九なり

地中三十糎の溫度　平均は十二度七四にして平年に比すれば二度一四低く月中の最高は一日午前一時に於て十七度一を示し最低は二十八日午後一時乃至四時に於て十度五を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午前一時にありて十二度九九を示し最低は午後二時乃至四時に於て十二度五七を示せり、而して其較差は零度四二なり

地中六十糎の溫度　平均は十五度〇八にして平年に比すれば一度四二低く月中の最高は一日午前一時乃至七時に於て十八度九を示し最低は二十日午前九時乃至後半に於て十二度七を示せり、但し此深さにありては知ざる日中の變化を認め難し

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時、地中十糎にありては午後二時、同二十糎にありては午後八時乃至九時、同三十糎にありては午前一時に生じ最低は地皮にありては午前六時、地中十糎にありては午前九時、同二十糎にありては午前十一時乃至正午、同三十糎にありては午後二時乃至四時に生ぜり、之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地溫　平均は一度八六にして平年に比すれば二度六八低く月中の最低は十二日夜半頃に於て零下一度七を示せり而して零下に降りたる日數は九日にして平年より五日多し

天氣日數

快晴は六日にして平年に等しく曇天は五日にして平年より二日少く雨は五日にして平年より二日多く雪は例年觀ざる所なるが本年は一日ありたり又霧は五日にして平年より四日多し

尙詳細は左に揭ぐる氣象觀測成績表を參照すべし

し最低は午前六時にありて六粍〇八を示せり而して其較差は零粍六四なり

濕度の平均は七十二、五にして平年に比すれば二、二少く月中の最少は十一日午後二時に於て四十を示せり又月々均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前七時にありて八十三、九を示し最少は午後一時にありて五十八、〇を示せり而して其較差は二十五、九なり

飽差の平均は毎立方米中二瓦七〇にして平年に比すれば零瓦三一少く月中の最多は三日午後二時に於て九瓦〇を示し最少は一日午前七時にありて〇瓦一を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後二時にありて四瓦八九を示し最少は午前七時にありて一瓦三〇を示せり、而して其較差は三瓦五九なり

風

平均速度は毎秒四米五一にして平年に比すれば零米三三強く月中の最大速度は五日午前四時乃至五時の毎秒十七米八（一間平方面を垂直に壓する力は三十三貫五百目）の西風なり又強風以上の吹きたる日數は十日にして平年より一日多く其時數は七十九時にして平年より三十八時多し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後一時乃至二時にありて五米六八を示し最少は午前一時にありて三米五一を示せり而して其較差は一米一七なり風向は北及北東風最も多く西風之れに次ぎ南東及南風は少し之れを平年に比すれば西風は多く東及北東風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は四、八にして平年に比すれば〇、二少く日照時數は百七十一時九五にして平年に比すれば十七時八七多く一日中に於て日照時間の最も長かりしは三日及十二日の九時二〇なり

降水及蒸發量

降水日數は六日にして平年に比すれば五日少く其水量は三十二粍三にして平年に比すれば五十一粍七少く即ち平年の半に達せず一日中の最多量は四日の十三粍八、一時間の最多量は三日午前八時乃至九時の二粍六なり、又蒸發總量は七十粍六にして平年に比すれば三粍九少く一日中の最多量は五日の五粍二なり

地中溫度及最低地溫

地度溫度の平均は八度一一にして平年に比すれば三度八一低く月中の最高は三日正午乃至午後一時に於て二十度二を示し最低は三十日夜半に於て一度二を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて十五度五一を示し最低は午前六時にありて四度五五を示せり而して其較差は十度九六なり

地中十糎の溫度　平均は十度六五にして平年に比すれば二

大阪測候所月報

大正六年十一月

大阪氣象概況

氣候の漸次寒冷となるに從ひ亞細亞大陸も亦冷却し大氣濃密となり爲めに氣壓增高し本月は大陸に高氣壓を生じ北海道の東方は低壓部となり西より東に氣壓遞減せるが故に風向は主として西乃至北西となり大陸より寒風を吹き送り爲めに寒氣增進し殆んど全管内に結霜を看るに至り攝津北部及河内東部の山間部地方には往々雪霰を降らし結氷するに至れり、然り而して本年十一月の氣候は平年に比すれば寒冷にして西の寒風多く初霜は十一月七日にありて平年より四日早く霰は例年觀ざる所なるが十一月六日に初霰あり而して日照時數は多く降水量は少し

今各氣象要素に就き詳記すれば左の如し

但本項に記する所の平年は築港に於ける最近六箇年の平均なり

氣壓

平均は七百六十五粍一九にして平年に比すれば一粍一九低く日々の變化は氣象圖に示すが如く微少なりし而して月中の最高は八日午前三時乃至四時に於て七百七十一粍七を示し最低は四日午後三時乃至四時に於て七百五十七粍一を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前九時にありて七百六十六粍一〇、第一の最低は午後三時にありて七百六十四粍三六を示し第二の最高は午後十時にありて七百六十五粍四〇、第二の最低は午前三時乃至四時にありて七百六十五粍一一を示し其主なる最高低の較差は一粍七四なり

氣温

平均は九度五五にして平年に比すれば二度八九低く平均氣温日々の變化は氣象圖に示すが如く二日より四日及二十九日三十日の五日間は平年より低きも其他は皆平年より高し而して月中の最高は三日午後二時頃に於て十九度九を示し最低は十四日午前七時頃に於て二度四を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて十三度四三を示し最低は午前七時にありて六度四五を示せり而して其較差は六度九八なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

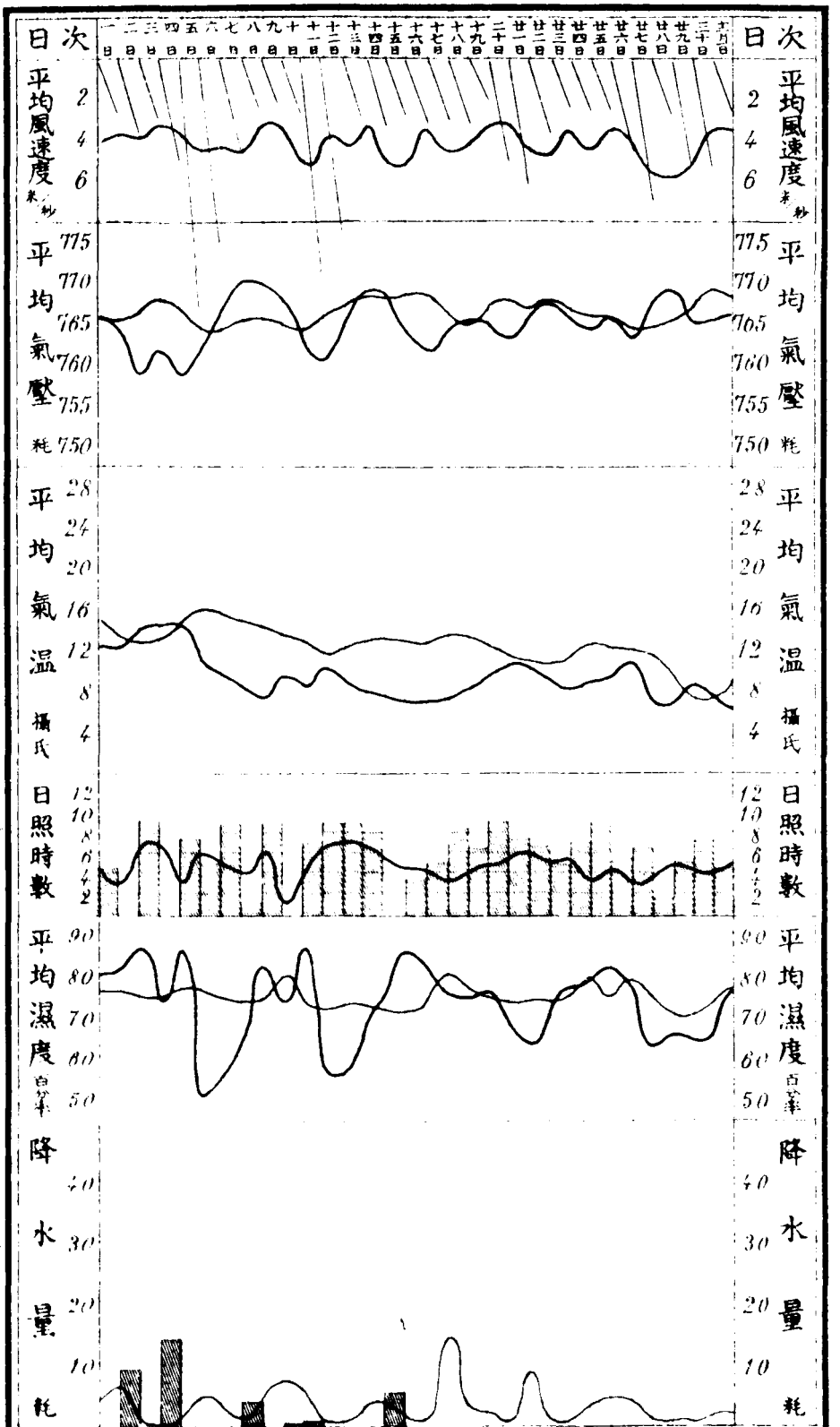
水蒸氣張力の平均は六粍四六にして平年に比すれば一粍六六少く月中の最高は四日午後五時乃至六時に於て十二粍二を示し最低は五日午後五時乃至六時に於て三粍七を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後四時にありて六粍七二を示

大正六年十一月

大阪氣象圖

November 1917

本圖八日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス　風速度、氣壓、氣温、濕度ハ本年――平年――　日照時數ハ本年――平年――　降水量ハ本年――平年――



例言

一本報は當測候所及管内各觀測所に於て觀測したる毎月の氣象を調査し之れを掲載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管内各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍(曲尺三厘三毛)を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には(一)を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘じ五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量并に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上げて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦(グラム)(零匁二七)にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一歩面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米(曲尺三尺三寸)數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は強風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を抜き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らす降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管内氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡市町村		緯威東經	北緯	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	一三五度〇九分	三四度一九分	上出源助
上之郷	仝國泉南郡	上之郷村	一三五度一八分	三四度二三分	馬場留藏
岸和田	仝國泉南郡	岸和田町	一三五度二三分	三四度二七分	森内清次
長承寺	仝國泉北郡	鳳村	一三五度二七分	三四度三二分	前川由太郎
濱寺	仝國泉北郡	高石村	一三五度二六分	三四度三二分	今井富次
堺	仝國堺市	車ノ町	一三五度二九分	三四度三五分	吉村正輔
天王寺	攝津國大阪市	南區天王寺	一三五度三一分	三四度三九分	加藤昭純
大阪	仝國大阪市	西區一條通	一三五度二六分	三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	仝國大阪市	北區上福島	一三五度二九分	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	仝國西成郡	新庄村	一三五度三一分	三四度四五分	小林雅文
秦野	仝國豊能郡	秦野村	一三五度二六分	三四度四九分	藤重元太郎
妙見山	仝國豊能郡	東郷村	一三五度二八分	三四度五六分	阪部文二郎
東郷	仝國豊能郡	東郷村	一三五度二九分	三四度五七分	大原仁之助
天王	仝國豊能郡	枳根莊村	一三五度二三分	三五度〇二分	高橋政次郎
茨木	仝國三島郡	茨木町	一三五度三四分	三四度四九分	那須庫之助
清水	仝國三島郡	清水村	一三五度三六分	三四度五三分	山本義一
枚方	河内國北河内郡	枚方町	一三五度三九分	三四度四九分	家村八五郎
田原	仝國北河内郡	田原村	一三五度四二分	三四度四三分	今井由太郎
八尾	仝國中河内郡	八尾町	一三五度三六分	三四度三八分	水谷芳松
柏原	仝國南河内郡	柏原村	一三五度三七分	三四度三五分	畿内農事試驗支場
富田林	仝國南河内郡	富田林町	一三五度三七分	三四度三〇分	塔本幸太郎
長野	仝國南河内郡	長野町	一三五度三五分	三四度二七分	松本速水

大正六年十二月十九日印刷
仝　年十二月二十日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡市町村	緯威東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市百妻通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市西區南通江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡豐津村	百三十五度二十八分	三十四度二十七分	全木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
難波島	攝津國大阪市西區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	全木津川分署難波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市北區安治通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
築港	攝津國大阪市西區安治川口	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署築港分署
大阪	攝津國大阪市西區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國西成郡傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東郷	攝津國豐能郡東郷村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東郷村役場

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位　三尺二寸五分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　三尺零寸六分

十月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	一八、九〇	一五、七〇	一八、〇五	一三、六五
二日	一一、一〇	九、七〇	八、五〇	六、四〇
三日	八、七〇	六、一〇	五、二〇	四、六〇
四日	五、三五	五、〇〇	四、〇〇	三、七〇
五日	四、七五	四、五〇	三、五五	三、三五
六日	四、二五	四、二五	三、二〇	三、〇五
七日	四、一五	四、〇五	二、九五	二、九〇
八日	四、〇〇	三、八五	二、八五	二、七〇
九日	三、八〇	四、一〇	二、六五	二、七〇
十日	三、八〇	三、九五	二、七〇	二、六〇

平均水位 廣瀬 六尺二寸五分
最高水位 廣瀬 十八尺九寸（一日午前六時）
大日 四尺三寸九分
十八尺零寸五分（一日午前六時）

十月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
十一日	六、二〇	一〇、五〇	三、五〇	六、四〇
十二日	七、七〇	六、三五	五、五〇	四、五〇
十三日	五、六〇	五、二〇	四、〇〇	三、六〇
十四日	四、九五	四、六五	三、五〇	三、三〇
十五日	四、三五	四、三〇	三、〇〇	三、〇〇
十六日	四、三五	六、四〇	三、一五	三、九〇
十七日	五、七五	五、九〇	四、〇〇	三、八〇
十八日	七、三〇	七、〇五	四、三五	四、六五
十九日	六、〇五	五、九〇	四、〇〇	三、九〇
二十日	六、二〇	六、一〇	四、〇五	四、〇〇

十月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
二十一日	五、八〇	五、七〇	三、九〇	三、八〇
二十二日	五、五二	五、三五	三、七〇	三、六五
二十三日	五、二四	五、一二	三、五五	三、七五
二十四日	五、〇五	五、〇一	三、八〇	三、七五
二十五日	五、〇三	五、二〇	三、六五	三、七〇
二十六日	七、六五	八、五六	四、七〇	六、一〇
二十七日	七、二一	六、五四	五、一五	四、六五
二十八日	六、二〇	八、二〇	四、四〇	四、九〇
二十九日	八、〇〇	七、〇二	五、三五	四、九〇
三十日	六、四四	六、二二	四、四〇	四、二〇
卅一日	五、八七	五、六四	四、〇〇	三、八五

地方天氣豫報暴風警報適否

種類		發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報	風向	三一	二五	六	〇	九〇
	天氣	三一	二五	六	〇	九〇
	溫度	〇	—	—	—	—
暴風警報		二	二	〇	〇	一〇〇

地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ	地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ	地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ
釧路	全	全十日晩九日	全十七日晩九日	龍巖浦	全	全三日	全廿三日	京都	十二月四日早五日	全五日	全廿二日
函館	全	早一日早十七日	平壌	十一月八日早九日	全	晩四日早晩ナシ	舞鶴	全	全五日	全廿日
濟都	全	全二日晩九日	營口	全	晩四日早晩ナシ	舞鶴	全	全五日	全廿日
帶廣	十一月五日晩三日	全八日	天津	全	早廿六日全廿六日	彦根	全	全十日	全廿日
木浦	全	全十四日全廿二日	根室	十一月七日晩二日	早八日	伏木	全	全四日	全廿九日
芝栄	全	全七日	大邱	全	全廿二日	四十九日	金澤	全	早三日	全廿五日
城津	全	全五日	松本	全	全十八日	全九日	福嶋	全	晩三日	全三日
元山	全	全十四日	山形	十一月六日	全十二日	全廿三日	前橋	十一月廿七日	全八日	全十三日
京城	十一月四日	早十三日	全廿七日	仁川	全	早十一日	全廿六日	石巻	十一月十七日	早六日	早廿二日
雄基	全	一早廿三日	東平	全	一全五十一日	足尾	全	晩七日	晩六日
中江鎮	全	一全十四日	高山	全	全八日	全廿四日	金山	十一月廿一日	全五日	全八日
長春	十月廿九日晩十七日	晩十四日	秋田	今	七日	全十日	長野	十一月十四日	全四日	全十六日
奉天	十月廿八日早晩ナシ	全九日	宮古	全	全十五日	全廿九日	吳	全	全廿一日	全四十五日
紗那	十月廿一日早九日	早十一日	青森	全	全四日	晩九日	濱田	十一月十一日早廿四日	早四十五日

地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ
天津	全		
壽都	十一月九日	全 九日	全 七日
彦根	十一月十日	全 四日	全 二日
松山	十一月十一日	全 一日	全 十一日
杭州	全	早 八日	全 一日
高知	十一月十二日	全 十一日	全 廿一日
殿原	全	全 二日	早晩ナシ
舞鶴	全	全 十三日	早 廿九日
鹿兒島	全	全 十五日	全 廿一日

地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ
多度津	十一月十三日	全 十七日	全 十六日
新居濱	全	全 十日	全 十日
佐賀	全	晩 四日	晩 一日
木浦	全	全 四日	全 一日
吳	全	早 十二日	早 十八日
佐世保	十一月十四日	全 十五日	全 十七日
長崎	全	全 七日	全 廿九日
新潟	全	全 十三日	全 廿四日
福岡	十一月十五日	晩 六日	晩 三日

地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ
濱田	全	早 廿一日	早 十六日
筑波山	全	全 十六日	早晩ナシ
敦賀	全	全 二日	早 十六日
潮岬	十一月十七日	一	全 五十六日
沼津	十一月廿八日	晩 一日	早 廿五日
銚子	全	全 十日	全 十九日
芝栄	十一月廿日	全 十日	晩 十三日
和歌山	十二月一日	早 三日	早 十一日

地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ
天王	十月廿一日	晩 三日	晩 十四日
東郷	全	全 一日	早 十三日
田原	十一月三日	全 四日	晩 十三日
泰野	十一月六日	早 四日	早 廿五日

地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ
清水	十一月七日	早 一日	早 十四日
富田林	全	全 一日	全 十六日
大阪	全	全 四日	全 廿三日
新庄	全	全 五日	全 十五日

地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ
八尾	全	全 五日	全 廿二日
上之鄉	十一月八日	一	全 十五日
堺	全	早 六日	全 十四日

●本府管內の初霜

本府管內例年初霜季は前號を以て報したる如くなるか本冬季の初霜は十月三十一日播津北部天王及東鄉にありしもの最早にして之れに亞くは河內東部田原の十一月三日にして孰れも平年より晩かりしか十一月七日平坦部地方に初霜ありて孰れも平年より早く昨年よりは十九日以上の早現なりき卽ち次表に示すか如し

●本冬季の初雪

本冬季の初雪は十月二十一日千島の紗那にありしもの最も早く滿州奉天の十月二十八日及長春、朝鮮北部雄基の十月二十九日之れに亞き十一月四日には殆んど朝鮮全島に亘り翌五日に北海道の帶廣、壽都、函館及青森、秋田、飛驒の高山、伊豫の東平等にありて滿洲北部北海道地方は平年より稍々遲かりしも其他は一般に早し卽ち左表に示すか如し

ありて孰れも平年より早く復た昨年よりも早し而して各地の測候所に於て觀測したる初霜月日を並記し平年及昨年と比較せは次の如し

地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ
敷香	九月十七日	晩二日	晩十日
落合	九月廿三日	仝十三日	仝八日
大泊	九月廿四日	仝二日	仝一日
紗那	九月廿七日	早三日	仝十三日
中江鎭	仝	—	早晩ナシ
長春	十月五日	晩十四日	晩廿一日
奉天	十月六日	仝四日	仝九日
營口	仝	早五日	仝八日
帶廣	十月八日	晩十四日	仝十八日
札幌	仝	仝十日	仝三日
網走	十月九日	晩[illegible]日	早二日
旭川	仝	仝八日	晩一日
雄基	十月十二日	—	早六日
甲斐落合	十月十四日	—	晩十四日
龍巖浦	仝	晩四日	仝十六日
根室	十月十五日	仝九日	早十三日
眞岡	十月廿二日	仝廿四日	晩廿三日
宮古	仝	早一日	早五日
足尾	仝	晩七日	早晩ナシ
青森	十月廿三日	仝二日	早十四日

名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ
大連	十月廿九日	早十日	早九日
旅順	仝	仝十日	仝九日
甲府	十月卅一日	仝一日	仝十二日
松本	仝	晩十五日	仝四日
飯田	仝	仝三日	仝四日
大邱	仝	仝九日	晩五日
城津	仝	仝十四日	仝十二日
八木	十一月一日	早四日	早廿二日
南京	十一月五日	仝九日	仝六日
江陵	仝	仝九日	仝九日
石卷	仝	晩四日	晩八日
長野	仝	仝十五日	仝十五日
前橋	仝	早晩ナシ	早十七日
熊谷	仝	晩二日	仝十八日
東京	仝	早五日	仝十八日
京都	仝	晩十日	仝六日
岡山	仝	早二日	仝十三日
德島	仝	仝廿一日	仝卅五日
廣島	仝	晩二日	仝廿五日
釜山	仝	早八日	仝廿七日

地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ
名古屋	十一月六日	晩二日	仝十七日
金山	仝	仝十五日	晩九日
宮崎	仝	早十四日	早廿四日
福島	十一月七日	晩十二日	晩十日
横濱	仝	早十八日	早廿四日
筑波	仝	晩三日	仝十五日
津	仝	早九日	仝廿四日
大阪	仝	仝四日	仝廿三日
宮津	仝	仝三日	仝廿二日
熊本	仝	早晩ナシ	仝五日
仁川	仝	早二日	晩十二日
横須賀	仝	仝廿二日	早五十五日
大分	仝	仝廿八日	仝廿四日
元山	仝	晩廿四日	仝四日
旅順	仝	早六日	仝廿三日
岐阜	十一月八日	晩十二日	仝十五日
金澤	仝	早六日	仝卅二日
伏木	仝	仝三日	仝十五日
東平	仝	—	仝十五日
福井	仝	早一日	仝四日

多度津	仝	五時四二分〇八秒	感覺なし
沼津	仝	五時四三分三四秒	感覺なし
横須賀	仝	五時四七分〇一秒	感覺なし
長野	仝	五時四三分三三秒	感覺なし
横濱	仝	五時四四分四四秒	感覺なし
東京	仝	五時四四分〇八秒	感覺なし
熊谷	仝	五時四四分〇七秒	感覺なし
筑波	仝	五時四四分五八秒	感覺なし
水戸	仝	五時四四分五三秒	感覺なし

更に震央に近き各測候所にて微動計を以て觀測したる初期微動の繼續時間に依りて震央地迄の距離を計算するに彦根より約四十二粁にして最初の震動方向は南六十五度東を示し又名古屋及岐阜より震源迄の距離は約三十粁、津より約五十四粁、濱松より約百十粁、潮岬より約二百五粁、東京帝國大學地震學教室の觀測に依れは震源迄の距離は三百十六粁を示し是等を綜合し震源の位置を求むるに伊勢國桑名郡の西方卽ち員辨郡附近に發したるものなるへし

元來同地方は伊勢海より琵琶湖の東岸を經て敦賀灣に至る地震帶に屬するものして從來此地震帶上より數々大小地震を發せり今最近に於ける著しきものを列記すれは左の如し

明治三十三年七月十七日　竹生島附近

仝	三十四年七月	一日	敦賀灣
仝	三十四年九月	六日	伊勢海
仝	三十五年二月二十八日		伊勢北部
仝	三十六年三月三十一日		敦賀灣
仝	三十六年七月	六日	伊勢濃野近傍
仝	三十九年四月十一日		美濃南西部
仝	三十九年十月二十三日		琵琶湖ノ北東岸
仝	四十二年八月十四日		近江東淺井郡

而して今回地震は前記地震帶の南部に發したるものにして是れを明治三十六年七月六日伊勢國濃野近傍に發したる強震に比すれは今回の地震は振幅約四分一に過きさりし

本冬季の初霜　本冬季の初霜は九月十七日樺太の豐香より始まり漸次南下して大泊は同月二十四日、千島の紗那は九月二十七日滿洲は割合に遲く十月五日長春に結霜し翌六日は營口に達せり然れ共朝鮮北部の中江鎭は九月廿七日に初霜を認めたり又北海道は概ね十月八日乃至九日にして以上の各地は一般に平年より晩く營口及紗那は稍々早し越ゑて十月二十二日には三陸地方に來り同月三十一日には甲信地方及福津北部を襲ひ十一月一日には八木、同五日には前橋、東京、京都、岡山、德島、廣嶋、及朝鮮南部の釜山に至り翌六日は金山及名古屋同七日には福嶋地方より横濱、津、大阪、宮津邊より九州の熊本に

めて微なれとも震源に近き名古屋及岐阜等にては性質急なる弱震を感し地鳴を伴へり今當所地動計の記錄に依れは發震時は午前五時四十三分十九秒にして初期微動の繼續時間は零分十六秒を示し最初震動は南七十度西に向ひ同時に上方動を伴ひたれは震源は北七十度東にして其距離は約二十九里の所に存すへきを示せり而して最大振幅は東西動は午前五時四十三分三十七秒に於て二百九十八「ミクロン」振動期一秒二南北動は午前五時四十三分三十八秒に於て百九十八「ミクロン」振動期一秒八を現し後微となり靜止せり總振動時間は東西動は十三分三十八秒南北動は十五分八秒なり卽ち次表に記するか如し

東西動地動計觀測

發現時		最大振幅（ミクロン）	振動期
初期微動 P	五時四三分一九秒		秒
初期微動 S			
主要動 L	五時四三分三五秒		
主要動 M	全 四三分三七秒	（十）二九八	二、二
終期 F	全 五六分五七秒		

南北動地動計觀測

發現時		最大振幅（ミクロン）	振動期
初期微動 P	五時四三分一九秒		秒
初期微動 S			
主要動 L	五時四三分三五秒		
主要動 M	全 四三分三八秒	（十）一九八	一、八
終期 F	全 五八分二七秒		

又各所にて觀測したる發震時及震度を列記すれは左の如し

名古屋	午前五時四二分〇三秒	弱性質急、地鳴あり、人々戸外に飛出す	潮岬	全 五時四一分三五秒	微 性質急
岐阜	全 五時四二分五七秒	弱（弱キ方）性質急、地鳴あり	宮津	全 五時四三分二五秒	微 性質緩
彦根	全 五時四三分一四秒	弱（弱キ方）性質急	舞鶴	全 五時四四分〇二秒	微 性質急
京都	全 五時四三分一〇秒	弱 性質急	福井	全 五時四三分四五秒	微 性質急
濱松	全 五時四二分一三秒	弱（弱キ方）性質急	高山	全 五時四二分三六秒	感覺なし
津	全 五時四四分一一秒	微 性質急	伏木	全 五時四二分二四秒	感覺なし
大阪	全 五時四三分一九秒	微 性質緩	神戸	全 五時四三分一九秒	感覺なし
			德島	全 五時四四分二五秒	感覺なし

（表中▲は増高又は多を示す）

種目＼年次	明治廿七年	廿八年	廿九年	四十年	四十一年	四十二年	四十三年	四十四年	明治四十五年大正元年	二年	三年	四年	五年
一反歩の收穫高	二、三六二石	二、〇六六	二、七二	二、三四	二、三一六	二、二四七	二、二七四	二、二七四	二、二七四	二、二六四	二、二四三	二、四一七	
前年より增減		〇、二九六	▲〇、一二五	▲〇、三八三	▲〇、〇三三	〇、〇七三	▲〇、一三七	▲〇、一三九	〇、一〇三	▲〇、一〇七	▲〇、三六一	〇、一七四	
平均溫度	二六、八四度	二六、三五	二六、七三	二五、三五	二六、三五	二七、三五	二六、三五	二六、四五	二六、四五	二六、四二	二七、三八	二七、六七	
前年より高低		一、二	▲〇、九〇	▲〇、一九	〇、三六	▲〇、七〇	一、二	〇、〇六	▲〇、九	▲二、三五	一、〇二	▲〇、二九	
日照時	四二、二時	二九、二	二五、八	三五、八	二六、七	二九、三	二〇、四	二七、八	五、三	三〇、九	四四、〇	三九、八	四〇、八
前年より多少		▲一三、七	▲八〇、五	二三、三	▲一二、九	▲二六、五	二三、八	▲二七、八	▲三五、二	▲五〇、一	大、七	▲二、五	

本表に依り收穫高の前年と本年との增減は溫度、日照時の前年と本年との高低多少と如何なる關係あるかを計算（此計算は最小自乘法に依れり爰には略す）するに溫度にありては〇、〇六〇五を前年と本年との溫度の差に乘したる數丈け收穫高增減あり（但し石を單位とす以下同し）日照時にありては〇、〇一七七を前年と本年との日照時の差に乘したる數丈け收穫高に增減あるを知れり依て此數を用ひ明治三十八年より大正五年に至る收穫高を計算し實收穫高と比較するに左の如し

（表中▲は多を示す）

種目＼年次	明治廿七年	廿八年	廿九年	四十年	四十一年	四十二年	四十三年	四十四年	明治四十五年大正元年	二年	三年	四年	五年
實收穫高	二、三六二	二、〇六六	二、七二	二、三四	二、三一六	二、二四七	二、二七四	二、二七四	二、二七四	二、二六四	二、二四三	二、四一七	
計算高	二、三六二	二、一五五	二、一四一	二、二四一	二、二四七	二、二四七	二、二四七	二、二四七	二、二四七	二、二四七	二、二四七	二、二四七	
差	〇、〇〇二	▲〇、〇八九	〇、〇二五	〇、〇四九	▲〇、〇〇三	▲〇、〇一九	▲〇、〇〇三	〇、〇四九	▲〇、〇四九	〇、〇一九	▲〇、〇五七	▲〇、〇三〇	

本表に依て看るに明治四十二年の實收穫高と計算高との間に一斗七升九合の稍々大なる差を生せしは同年は夏季稀なる高溫にして日照時多く降雨少きか爲め旱害を被り減收したるものにして是等は異例として除外する時は實收穫高と計算高の間に多きは一斗一升一合乃至二合にして少きは只に一、二合の差に過きず特に因年なる明治三十八年は僅かに三合の差のみなりき

●伊勢國北部の地震

技手　圖岡平太郎

十月十九日午前五時過の地震は當地にては人身に感したるは極

月下旬より梅雨の狀態を脫し晴天となり氣温上昇し全く夏季の狀態に移れり而して稻の出穗開花するは九月八日頃を最終となせり故に稻作に最も緊要なる期間は七月二十一日頃より九月八日頃に至る五十日間とす

收穫高　從來農事統計は屢々報告式等の改正ありて逐次精密の度を增せり而して本府にありて最近十三年前より一層調査精確となりしを以て其年數は稍々短きの感あれども成るへく精確なる材料に據らんとし明治三十七年より大正五年に至る十三ヶ年間に於ける本府管內粳米、糯米、陸米の總收穫高に依り一反歩の收穫高を算し之れを用ひたり

今明治三十七年より大正五年に至る十三ヶ年間の稻作に最も緊要なる期間卽ち七月廿一日より九月八日に至る五十日間の平均溫度及日照時數と一反歩の收穫高とを對照すれば左の如し

種別	年次	明治卅七年	卅八年	卅九年	四十年	四十一年	四十二年	四十三年	四十四年	明治四十五年大正元年	大正二年	三年	四年	五年
一反歩の收穫高		二、三五	二、一七	二、二四	二、三四	二、三四	二、三五	二、三四	二、二四	二、三四	二、四一	二、四二	二、四三	二、四七
自七月二十一日至九月八日五十日間一日平均溫度		二六、四	二五、五	二六、七	二六、六	二五、六	二五、三	二六、四	二六、四	二六、四	二六、四	二六、四	二七、五	二七、八
自七月二十一日至九月八日五十日間一日照時數		四三、三	三九、三	四六、五	四三、七	四三、七	四三、四	四三、四	四三、四	四三、四	四三、九	四四、一	四四、一	四六、八
豐凶		稍豐	凶	稍凶	平年	稍豐	平年	稍凶	平年	稍凶	平年	豐	稍豐	稍豐

當地方にありては此期間前低溫寡照にして稍々氣候順を失するの傾向ありても本期間を通して高溫多照なれは概ね豐年にして之れに反し此期間前氣候適順にても本期間低溫寡照なれは凶作は免れさるか如し只爰に一言除外すへきものあり斯は過度の高溫多照にして余り旱天引續く時は旱害を被り減收すへきことあり卽ち明治四十二年は其一例なり其他不慮の暴風雨にて風水害を被りたる場合は勿論減收は免かれさるへし卽ち大正六年は其一例なり、

以上記するか如く二三の異例を除けは收穫高は溫度、日照の影響を享くること甚大なるか故に稻作の緊要期間（卽ち七月廿一日より九月八日）に於ける溫度の高低及日照の多寡と收穫高の增減と如何程までの關係あるかを看んか爲め明治三十七年より大正五年に至る十三ヶ年間に於ける本府管內平均一反歩の收穫高を列記し前年よりの增減を次行に記し而して稻作に最も緊要期間の溫度日照時を前の如く列記し前年との高低多少を算すれは左の如し

八十「ミクロン」振動期六秒七、南北動は二百六十五「ミクロン」振動期六秒〇を現せり

今十月九日より十二日に至る東西及南北動地動計を以て觀測したる地の脈動幷に颱風の位置を表記すれば左の如し

月日時	大阪ノ氣壓	低氣壓 位置	低氣壓 小度	高氣壓 位置	高氣壓 小度	東西動 振動	東西動 振動	南北動 振動	南北動 振動	記事
十月九日午前六時	七六一、五粍	沖繩島南方	七四〇粍	支那北部	七六〇粍	二〇	四、八秒	二〇	五、〇秒	漸次振幅增大す
仝正午	七六二、四	仝	七四一	滿洲	七六四	三〇	五、〇	二五	五、〇	
仝午後六時	七六三、一	沖繩島	七四六	日本海	七六六	四五	五、八	四〇	五、八	
仝十日午前六時	七六三、〇	奄美大島	七四四	本州北部	七六四	五〇	五、八	五〇	五、八	
仝正午	七六〇、九	九州南部	七四二	三陸沖	七六六	五五	六、〇	五〇	五、八	
仝午後六時	七五五、九	日向灘	七四〇	仝	七六六	一〇〇	六、〇	一〇〇	五、八	十一日午前三時頃は最も顯著にして東西動振幅二九五「ミリロン」振動期六秒〇、南北動は二九〇「ミリロン」振動期五秒八を現せり
仝十一日午前六時	七五二、五	名古屋附近	七四八	北海道東方	七六四	二二五	六、〇	二二〇	五、八	
仝正午	七五五、九	房總沖	七五二	支那北部	七六四	六〇	六、〇	五〇	五、六	午前七時頃より漸次振幅縮少す
仝午後六時	七五八、三	東海岸	七五六	楊子江	七六二	二五	五、五	二〇	五、六	
仝十二日午前六時	七六〇、八	北海道東方	七五六	仝	七六四	二〇	五、五	一五	五、六	漸次極微となり消失せり

●稻作と氣象との關係

技手　山田顯吉

氣象特に溫度の高低及日照、雨量の多少は稻作に影響を及ぼすこと大なりとは人皆之れを云へり然れとも如何程まで其影響を享くるかを調査したるものに至りては極めて少し依て試に本府管內最近十二三ケ年間の稻作に就き溫度と日照（日照多ければ從て雨少き理なれは爰には溫度、日照のみを取り雨を省けり）とか如何程の關係を有するかを看んに先つ稻作期間より逐次項を追つて述へんとす

稻作期間　畿內にては稻作期間を期に分ち苗代期（播種より移植に至る期間即ち五月九日頃より六月二十五日頃に至る）生育期（移植より出穗開花に至る期間即ち六月二十五日頃より八月二十二日乃至九月八日に至る）成熟期（出穗開花より成熟に至る期間即ち八月二十二日乃至九月八日より十月九日乃至十一月七日に至る）とす而して生育期中六月より七月中旬頃までは梅雨の影響を享け低溫寡照にして稻の發育には格別關係あらす七

田川宇治川筋第一回の高水位は二十六日午前六時に於て宇治は四尺一寸五分、向嶋は五尺四寸五分第二回は二十八日午後六時に於て宇治は四尺三寸、向島は四尺九寸にして宇治、向嶋とも第一回は一尺五寸内外第二回は一尺内外の増水なりき而して淀川下流なる本府管内第一回の高水位は二十六日正午廣瀬に於て九尺四寸八分を示し、五尺七寸の増嵩其下流、北河内郡大日は同日午後六時に於て六尺一寸を示し、二尺五寸の増嵩、第二回の高水位は二十八日午後六時に於て廣瀬は八尺二寸を示し二尺二寸の増嵩、大日は五尺三寸五分を示し一尺八寸の増嵩を呈せり、之を要するに第一回の本府管内出水は主として木津川筋より來りたるものにして、第二回は桂川筋より來りたるものなるべし而して瀬田川、宇治川筋より來りたるものは極めて少なし

上に記するが如く本府管内淀川の水位は木津川流域より來るもの最も急激にして桂川流域より來るもの之に亞ぐ而して本流即ち瀬田川、宇治川より來るものは稍々緩なるが如し而して淀川上流地方に降雨ありてより本府管内の水位最高に達するは約一日の後にあるは前表に依りて明かなり、尤も短時間に大雨豪注する時は流力急速なるを以て最高水位に達することも亦た早かるべきは當然なれども從來の經驗に依れば早きも十二時間内外を要せり故を以て當所は上流地方の雨量觀測所より二十四時の雨量五十粍以上に達したる時は雨量電報を受け出水豫報の材料となせり

●颱風と地の脈動

技手　岡平太郎

十月十日より十一日に至る颱風概況は別項に掲載せるが此颱風の通過に際し大阪地方にありては頗る顯著なる地の脈動を描出せり今當所地動計の記錄に依りて其概況を記せんに颱風の沖繩嶋の遙南方海上にありたる九日朝より脈動振幅漸次增大し十日正午九州の南部に來たりたる時は東西動は振幅五十五「ミクロン」南北動は五十「ミクロン」となり爾後倍々增大し同夜颱風は日向灘より紀伊南部に來たりたる午前三時前後は頗る顯著となり最大振幅は東西動は二百九十五「ミクロン」振動期六秒（）南北動は二百九十「ミクロン」振動期五秒八に達し後數時間は尚顯著なりしも漸次振幅縮少し十二日朝より極微となり消失せり

因に十月一日の颱風は紀伊南方三十里許の所を通過し駿河灣に入りたるが今回の颱風は日向灘より四國沿岸を掠め紀伊南部に上陸し名古屋附近に至り颱風中心示度は前者に比すれば淺薄なりしも當地より近き所を通過したるが故に地の脈動振幅は今回の方著しかりき而して十月一日の脈動最大振幅は東西動は二百

松山は八十九粍四（一坪の地面に一石六斗四升二を測れり）而して各流域の雨量配布を看るに木津川流域大和伊賀地方は最も多かりし

水位、今回の暴風雨も木津川流域の雨量多かりしが故に同川の水位は最も早く最高に達せり即ち上狛の量水標は十月十一日午前八時四十分に於て最高水位十尺二寸に達し出水前より七尺七寸五分の増嵩、其下流なる八幡の量水標は十一日午後六時八尺一寸（此時刻前最高に達したるものなるべし）を示し出水前より五尺七寸五分の増嵩、又桂川筋嵯峨の量水標は十一日午前六時に於て四尺八寸を示し出水前より二尺三寸の増嵩、羽束師の量水標は十一日午後六時に於て九尺六寸を示し出水前より九尺九寸の増嵩、納所の量水標は十一日午後六時に於て九尺二寸を示し出水前より八尺四寸の増嵩、又淀川本流瀬田川、宇治川筋宇治の量水標は十一日午前六時に於て三尺〇五分を示し出水前より約二尺の増嵩、向嶋の量水標は十一日午後六時に於て三尺二寸を示し出水前より二尺四寸の増嵩を呈せり而して本府管内廣瀬の量水標は十一日午後一時に於て最高水位十一尺六寸を示し出水前より七尺八寸の増嵩、其下流なる北河内郡大日の量水標は十一日午後六時に於て六尺四寸を示し出水前より三尺八寸の増嵩を呈するに至れり、之を要するに本府管内廣瀬の最高水位に達したる時刻より考察するに木津川筋より來りたるもの最も早く、桂川筋之れに亞き本流なる瀬田川、宇治川筋より來たりたるもの稍々遅く且つ流量少きが如し

●第二の暴風雨、十月二十三日より小雨を催し二十四日は大なる雨なかりしも二十五日に大雨あり各流域とも二十四時間に五十粍内外に達し後二十六日は晴模様となりしも桂川筋は引續き降雨あり二十七日に又各流域とも大雨あり桂川流域最も多かりし

水位　今回の雨は二十五日と二十七日とに多かりしが故に水位も二十六日と二十八日との二回に最高を現はせり其水位の高かりし桂川筋第一回の高水位は二十六日午後六時に於て嵯峨は三尺四寸五分羽束師は四尺五寸、納所は五尺八寸なり、又第二回の高水位は二十八日午後六時に於て嵯峨は四尺四寸五分、羽束師は七尺〇五分、納所は七尺三寸にして第一回は羽束師納所とも四尺内外の増水、第二回は兩所共六尺内外の増水を呈せり、又木津川筋第一回の高水位は二十六日午前六時に於て上狛は七尺三寸、八幡は七尺二寸、第二回は二十八日午後六時に於て上狛は四尺八寸、八幡は五尺四寸にして第一回は上狛、八幡共五尺内外、第二回は兩所共約三尺の増水を呈せり、又本流即ち瀬

今回の暴風雨三回（第一は九月三十日より十月一日、第二は十月十日十一日、第三は十月二十五日二十六日）に就て淀川流域の雨量と下流の水位とを調査するに左の如し

●第一の暴風雨（前號暴風雨概況及暴風雨と淀川の水位の項參照）は九月二十八日より降雨を催し二十九日及三十日に大雨あり淀川流域にては木津川筋最も多量にして大和の松山は三日間（以下皆同じ）に二百九十一粍九（一坪の地面に五石三斗四升の水を撒布したるに同し）伊賀の名張は三百十粍四（一坪の地面に五石六斗八升）同國上野は二百二十一粍八（一坪の地面に四石〇六升）に達し其他少き所にても約二百粍の降雨あり而して桂川筋及瀬田川、宇治川筋は稍々少く二百粍に達せす、

水位、上に記するが如く木津川筋の雨量最も多かりしが故に木津川筋上狛（山城國相樂郡にありて本府管内淀川の入口なる三嶋郡嶋本村大字廣瀬より約七里の上流にあり）の量水標は十月一日午前四時三十分最高水位に達し十七尺六寸を示し出水前より約十六尺の増嵩、其下流約六里なる八幡（山城國綴喜郡）の量水標は九月三十日午後六時に於て十尺二寸に達し後激流の爲め上部の標柱流失し十尺以上の水位を測るを得さりき又桂川筋にありては嵯峨（山城國葛野郡にありて本府の廣瀬より約六里の上流にあり）は十月一日午前六時に於て七尺五寸を示し出水前より五尺の増嵩、其下流三里餘なる羽束師の量水標は十月一日午前六時に於て十五尺二寸五分を示し出水前より十五尺の増嵩又其下流一里餘の納所の量水標は十月一日午前六時に於て十八尺五寸を示し出水前より十八尺の増嵩なりき、淀川本流即ち瀬田川、宇治川筋にありては宇治（本府の廣瀬より約四里の上流にある）の量水標は十月一日午前六時に於て六尺八寸を示し出水前より六尺七寸の増嵩、其下流一里餘の向嶋の量水標は十月一日午前六時に於て十尺二寸を示し出水前より十尺の増嵩を呈し而して其下流二里餘なる本府管内廣瀬の量水標は十月一日午前四時乃至五時に於て十九尺五寸を示し出水前より十六尺五寸の増嵩其下流なる北河内郡大日の量水標は十月一日午前六時に於て十八尺〇五分を示し出水前より十五尺二寸五分の増嵩を呈するに至りたり之れを要するに今回の出水は木津川筋より來りたるもの最も急激にして桂川筋之に亞く而して瀬田川、宇治川筋より來りたるものは稍緩なるが如し蓋し琵琶湖の流量を制限せしに因るなるべし、

●第二の暴風雨は十月八日九日は降雨多からさりしか十月10に至り俄然大雨となり各流域共二十四時間に五十粍以上に達し就中桂川流域丹波の龜岡は九十九粍五（一坪の地面に一石八斗二升）大阪は九十粍八（一坪の地面に一石六斗六升）木津川流域大和の

淀川支流桂川

地名	十月二十三日	仝二十四日	仝二十五日	仝二十六日	仝二十七日	仝二十八日	合計
大阪	三、七	六、〇	四三、五	〇、〇	二五、三	二、三	八〇、八
平均	二、一〇	八、一八	四六、九〇	〇、〇六	一、五四	三、一三	九一、九一
山周	〇、八	六、六	四四、五	九、〇	四〇、〇	一五、四	一一〇、四
部園	〇、七	七、五	四三、五	二、五	四三、二	一五、〇	一一二、四
岡龜	一、七	九、九	四五、二	二、六	三三、七	一二、六	一〇五、七
秦太	〇、六	七、八	三七、七	〇、七	一〇、〇	二二、六	七九、四
原大	〇、一	一一、一	四七、一	六、二	三三、七	三、六	一〇一、八
都京	〇、三	七、五	三九、七	〇、四	二七、八	二、	七八、三
均平	〇、七〇	八、四〇	四二、九五	三、五七	三一、四〇	一〇、九八	九八、〇〇

淀川支流木津川

地名	十月二十三日	仝二十四日	仝二十五日	仝二十六日	仝二十七日	仝二十八日	合計
松山	二、七	一二、四	四六、三	〇、一	一六、七	〇、八	七九、〇
名張	一、五	一〇、二	四七、二		二三、〇	三、〇	八三、九
上野	〇、〇	二、〇	四二、八	〇、〇	二一、四	二、〇	六八、二
大河原	二、六	八、九	五五、三		三二、七	二、三	一〇一、八
木津	四、〇	一一、〇	四二、五		二九、二	二、	八八、八
田邊	三、五	七、二	四六、二		二三、二	一、七	九一、八
平均	二、三八	八、六二	四六、七二	〇、〇二	二五、八七	一、九八	八五、五九

十月二十三日より二十八日に至る雨量

淀川本流

淀川支流木津川

地名	大津	大津	醍醐	宇治	伏見	枚方
十月二十三日	二、〇	〇、七	一、六	二、四	一、〇	三、三
仝二十四日	九、〇	九、〇	八、八	七、六	八、八	八、二
仝二十五日	五五、〇	四九、七	四八、九	四六、八	四六、四	三八、〇
仝二十六日	—	—	—	〇、四	—	—
仝二十七日	三四、〇	三六、五	三一、二	二七、〇	三八、八	二八、〇
仝二十八日	〇、七	一、一	一、六	一一、八	一、七	二、七
合計	一〇〇、七	九七、〇	九二、一	九六、〇	九六、十	八〇、二

地名	松山	名張	上野	大河原	木津	田邊	平均
十月八日	一三、七	一六、一	一八、三	一〇、九	二、七	一、九	一〇、六〇
仝九日	〇、二	〇、五	〇、〇	—	一、七	〇、〇	〇、四〇
仝十日	七五、三	六九、〇	五九、四	五六、六	六七、七	六〇、五	六四、七五
仝十一日	〇、二	—	一、二	五、五	一、三	八、〇	二、七〇
合計	八九、四	八五、六	七八、九	七三、〇	七三、四	七〇、四	七八、四五

地名	大阪	京都	平均
	〇、三	〇、四	一、一二
		〇、五	〇、一八
	五八、七	六三、七	七〇、一二
		〇、〇	〇、〇五
	五九、〇	六四、六	七一、四七

午前六時十五分より降り始め時々大雨となり二十六日午前七時二十五分まで連降せり其雨量は四十五粍なり

●淀川流域の雨量と下流の水位

本年十月十日十一日及二十五日二十六日の暴風雨概況は前項に記せしが如くなるが淀川流域の雨量は左の如し

技手　萩原美三夫

十月八日より十一日に至る雨量

淀川本流

地名	十月八日	仝九日	仝十日	仝十一日	合計
草津	〇、四	—	五二、〇	—	五二、四
大津	二、三	—	七七、〇	—	七九、三
醍醐	一、八	〇、二	六三、五	〇、二	六五、七
宇治	一、三	—	五四、〇	—	五五、三
伏見	—	〇、〇	五七、八	〇、八	五八、六
枚方	—	二、四	八五、〇	—	八七、四
大阪	〇、〇	〇、四	九〇、八	〇、二	九一、四
平均	〇、八三	〇、四三	六八、五九	〇、一七	七〇、〇二

淀川支流桂川

地名	十月八日	仝九日	仝十日	仝十一日	合計
周山	二、七	—	六八、二	—	七〇、九
園部	〇、一	—	六九、四	〇、三	六九、八
龜岡	二、九	〇、一	九九、五	—	一〇二、五
太秦	〇、三	〇、五	六一、二	—	六二、〇

最も強く毎秒速度十八米八に達し午前七時まで吹き續けり其時數は十八時にして內強風十一時間烈風七時間なり雨は十日午前七時四十八分より降り始め午後十時二十五分より大雨となり十一時より夜半に至る一時間に十六粍〇、十一日午前一時より二時に至る一時間に二十粍六を豪注せり而して其總雨量は九十一粍一なり更に毎時觀測の結果を記すれば左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	降水量	天氣
十月十日	正午	七〇、九	一六、二	北北	九、三	〇、五	雨
仝	午後一時	七五、一	一六、三	北北	一〇、〇	六、五	雨
仝	二時	七五、八	一六、二	北東	一一、七	七、六	雨
仝	三時	七五、六	一五、七	北東	一〇、八	五、五	雨
仝	四時	七五、六	一五、九	北東	八、八	四、一	雨
仝	五時	七五、四	一六、八	北東	一三、三	六、一	雨
仝	六時	七五、九	一七、二	北東	一三、三	〇、三	雨
仝	七時	七五、七	一八、四	東北東	一二、八	一、一	雨
仝	八時	七五、〇	一八、八	東北東	一四、七	〇、二	雨
仝	九時	七五、二	一九、三	東	一四、三	〇、〇	曇
十月十一日	午後十時	七五、二	一八、〇	東	一六、三	一、九	雨
仝	仝十一時	七四、七	一七、三	東	一八、八	一、九	雨
仝	午前一時	七四、一	一七、六	東	一七、〇	二、一〇	雨
仝	二時	七四、二	一八、四	北東	一三、四	二、六	雨
仝	三時	七四、九	一九、四	北北西	一三、五	三、三	雨
仝	四時	七四、七	二〇、〇	西	一八、八	〇、三	雨
仝	五時	七五〇、九	二〇、四	西	一八、〇	〇、三	雨
仝	六時	七五二、五	二〇、八	西南西	一六、三	〇、一	曇
仝	七時	七五四、一	二一、〇	西南西	一二、三	〇、〇	雨

（二）二十五日より二十六日に至る暴風雨概況　二十四日呂宋の東方洋上に顯はれたる颶風は初め北々西に進行せしか徐々北東に轉向し二十五日朝大東嶋の東方洋上に來り土佐沖を通過し正午紀伊水道の南方に來り同日午後六時潮の岬の南東方海上に接近し著しく發達し其中心示度七百三十四粍に下降せり之が爲め太平洋岸、紀伊、四國、九州に亘り暴風雨を起せり爾後低氣壓は駿河灣に到り二十六日朝本州南東部を橫斷して鹿嶋灘に出で北海道東方海上に去れり

大阪にては二十四日來氣壓下降せしが二十五日午前九時過より下降急となり同日夜半七百四十八粍九の最低に達し後漸次に上昇せり風は廿四日來北東の疾風吹き二十五日至り時々強風を交へしが午後二時頃風向北に轉し午後十一時西に廻り夜半より強風となり廿六日午前四時三十分最も強く毎秒速度十五米零に達し午後一時まで吹き續けり其總時數は十六時間なり雨は廿五日

十八秒南北動は十五分八秒なり

附記　此地震は伊勢國の北部に發したるものにして有感覺區域は東方は遠江に西方は播磨に達し長半徑四十五里短半徑三十五里を有し有感覺微震部は四千九百五十方里に亘れり詳細は別項に掲載せり

一四三　十月二十二日午後十一時五十一分四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は容分五十二秒にして主要動となり最大振幅は午後十一時五十二分四十三秒に於て四十一「ミクロン」振動期三秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は七分四十七秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は筑波山附近に發したるものにして震域北方は岩代の福嶋邊に西方は名古屋附近に達し長半徑三十里短半徑二十五里を有し有感覺微震部は二千三百六十方里に亘り東京横須賀にては弱震を感じたり

一四四　十月二十五日午前七時容分十三秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は容分四十一秒にして主要となり最大振幅は東西動は午前七時一分四十七秒に於て九十三「ミクロン」振動期二秒七南北動は午前七時一分四十七秒に於て七十四「ミクロン」振動期二秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は七分五十七秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

附記　此地震は房總沖に發したるものにして震域北方は岩代の福島附近に南方は八丈嶋邊に達し長半徑五十五里短半徑四十里を有し有感覺微震部は六千九百十方里に亘れり

●十月中の暴風雨概況

技手　大橋龍太郎

本月は暴風雨多く九月三十日より十月一日に至り暴風大雨あり特に淀川上流地方に多量の降雨ありし爲め淀川其他の堤防破潰し沿岸地方に大慘害を釀せしが又十月十日より●十一日及び同月二十五日より二十六日に亘り暴風雨あり前回の暴風雨に比すれば稍輕かりしも堰止工事進捗に大防害をなし益々水害を大ならしめたり今其概況を記すれば左の如し

（一）十月十日より十一日に至り暴風雨概況　十月七日呂宋の東方にありし颶風は徐々北上し九日朝宮古嶋の南東方洋上に來り十日朝奄美大嶋の北西方に來りて其中心示度七百三十粍を示せり之が爲め四國及び九州にては北東の暴風雨となり内海地方にも強風雨を起せり尋後颶風は大隅半嶋の南端を掠め四國南東部を横ぎり遂に紀州半嶋に上陸し十一日朝名古屋附近に至り漸次に衰へ北東方に經過し去れり

大阪にては十日午前十時過より俄に氣壓下降急となり午後五時より倍々下降し十一日午前二時七百四十一粍一の最低に達し後急速なる上昇をなせり風は十日未明は微弱なりしが次第に增勢し午後一時より強風となり十時より烈風に達し十一日午前四時

微雨あり●二十四日未明より雨降り断続して翌日に亘り秦野に強風吹けり●二十五日前日來の雨断続して翌日に亘り深日、長承寺、大阪、秦野に強風吹けり●二十六日前日來の雨未明歇み後概ね晴天深日、長承寺、大阪、秦野に強風吹けり●二十七日晴曇相半し午後より雨降り翌日に亘る●二十八日前日來の雨概ね午後歇む●二十九日概ね曇天所々に雨降り大阪に強風吹けり●三十日概ね晴天大阪に強風吹けり●三十一日概ね晴天東郷及天王に霜あり之れを以て本府管内に於ける本冬季の初霜とす

大阪地震觀測概況

爰に記する所のものは主として大森式地動計(東西及南北動二十倍)を以て觀測したるものを記し、極微なる地震にありては百廿倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如しPは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動全上、Lは長波即ち主要部全上、Mは主要部の最大動、Cは終期の最大動、Fは振動の終とす又(+)は南北動にありては北、東西動にありては東、(−)は南北動にありては南、東西動にありては西なり振幅は「ミクロン」(粍の千分一)を以て記す

本月は地震少く僅に四回を觀測せり而して人身に感覺ありたるものは十九日午前五時四十三分十九秒伊勢國の北部に發したるもの一回人身に感覺なく普通地震計に感じたるものは一回もなかりしか無感覺地震にして地動計に感じ其震源本邦内にありたるものは三回即ち房總沖一回、筑波山附近二回にして遠距離地震は一回もなかりし今其觀測概況を列記すれば左の如し

一四一　十月十七日午前三時四分四十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前三時六分六秒に於て百十「ミクロン」振動期二秒四南北動は午前三時六分二秒に於て百十八「ミクロン」振動期三秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十五分二十七秒南北動は十七分五秒なり

附記

此地震は筑波山附近に發したるものにして震域廣く北方は本州の北部に南方は八丈島に西方は丹後の宮津邊に達し長半徑五十五里短半徑四十五里を有し強震部は千五百七十方里劇震部は四千九百五十方里有感覺微震部は七千七百七十方里にして東京にては強震を感じ筑波、水戸、宇都宮、熊谷、横濱にては劇震を感じたり

一四二　十月十九日午前五時四十二分十九秒の地震

此地震は性質稍々急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前五時四十三分三十七秒に於て二百九十八「ミクロン」振動期二秒二南北動は午前五時四十三分三十八秒に於て百九十八「ミクロン」振動期一秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十三分三

日	七	十八	十九	二十	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	三十	廿一	全月
五、一	二、二	九、〇	一九、六	—	—	二、七	七、八	七、三	五二、六	五、〇	二、九	四、一	二五、九	—	—	二九一、八
二、二	一、四	一、一	二三、五	—	—	二、〇	七、七	九、〇	五二、八	一、一	二、〇	五、一	二五、〇	—	—	二九二、九
七、八	一、一	〇、二	二三、六	—	—	一、二	八、五	六、〇	五四、〇	一、一	一、二	四、〇	二五、三	—	—	二七九、六
一〇、一	〇、八	〇、八	一四、九	—	—	一、二	六、八	五、八	五二、五	一、一	一、二	三、四	二三、〇	—	—	二三四、〇
一八、一	〇、八	〇、四	九、七	—	—	—	四、〇	八、六	五二、二	一、一	—	二、二	二五、五	—	—	二三二、六
二九、七	二、〇	—	一〇、八	—	—	〇、八	六、九	四、九	四七、五	一、一	一、二	三、三	二二、一	—	—	二三五、一
二、〇	一、三	〇、四	五、一	—	—	〇、二	五、七	五、〇	四七、三	一、一	一、二	二、三	二五、二	—	—	二三〇、二
六、七	一、三	—	一、五	—	—	—	二、七	五、四	五九、五	一、一	一、二	二、四	二三、一	—	—	二三四、一
一五、〇	〇、五	〇、五	三九、〇	—	—	—	一、二	五、四	四一、〇	一、一	一、二	三、五	二四、〇	—	—	二三五、一
七、四	八、九	〇、二	一八、七	—	—	—	一、二	六、〇	二七、五	一、一	一、二	四、二	二五、六	—	—	二三六、一
一七、九	四、五	—	一四、五	〇、二	—	—	一、二	一〇、一	三四、〇	一、一	一、二	四、五	二四、〇	—	—	二三五、九
三二、五	—	一〇、〇	？	〇、二	—	—	二、七	七、三	四九、〇	一、一	一、二	一、二	九、一	—	—	二三八、二
一七、八	一〇、〇	一〇、〇	五、五	—	—	—	—	八、四	四九、〇	一、一	一、二	一、二	九、〇	—	—	二三八、二
一〇、五	二、六	一一、〇	一一、〇	—	—	—	二、〇	七、二	三四、〇	一、一	一、二	〇、五	一〇、八	—	—	二三四、七
二〇、五	〇、七	一四、一	一四、五	—	—	—	三、三	八、二	三六、〇	一、一	一、二	一、二	二、七	—	—	二九六、八
三二、四	二、〇	一四、五	二七、一	—	—	—	五、一	一〇、〇	三六、八	一、一	一、二	二、三	二、三	—	—	二三七、一
四八、〇	二、〇	六、七	二七、一	—	—	—	六、五	六、七	四三、〇	一、一	一、二	〇、五	二、三	—	—	二三四、一
二四、五	三、〇	一、〇	三五、〇	〇、二	—	—	三、九	五、九	三二、九	一、一	一、二	二、三	二、三	—	—	二三〇、一
三〇、〇	一、〇	九、〇	一、〇	—	—	—	六、〇	八、六	四七、〇	一、一	一、二	二、三	二、三	—	—	二三二、一
二六、〇	一、〇	六、〇	七、二	—	—	—	六、〇	六、五	四七、二	一、一	一、二	二、三	二、三	—	—	二三〇、一

管內天氣摘要

●一日前日來の雨未明歇み後晴曇相半す●二日概ね晴天●三日概ね晴天東郷に雨降れり●四日概ね雨天●五日朝降雨後概ね曇天●六日概ね曇大●七日概ね曇天所々に微雨あり●八日概ね曇天所々に雨降れり●九日概ね晴天新庄に強風吹けり●十日一般に雨降り午後暴風雨となり翌日に亘る●十一日前日來の暴風雨未明歇む●十二日概ね晴天●十三日概ね曇天所々に微雨あり●十四日概ね晴天●十五日概ね曇天午後より雨降り翌日に亘る●十六日前日來の雨一日歇みしか午後に至り復々雨降り翌日に亘る●十七日前日來の雨斷續して翌日に亘り所々に雷鳴あり●十八日前日來の雨概ね午後歇む●十九日概ね雨所々に雷鳴あり●二十日概ね曇天所々に微雨あり●二十一日概ね晴天深日、大阪に強風吹けり●二十二日概ね晴天●二十三日晴曇相半し所々に

第四表　管内降水日量

十月	深日郷	上之田	岸和田	長水寺	濱寺堺	天王寺	大阪	福島	新庄	秦野	妙見山	東郷	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日							0.0		3.0												
二日				0.3																	
三日	2.2	0.3	1.5	1.2	2.2		1.7	0.1	0.2	0.2	3.3	2.8	5.0			1.2		0.3	0.2		
四日	5.0	5.1	4.1	1.7	0.4	2.0	2.1	0.0	2.1	1.7	2.1	3.3	6.3			1.2		1.2	0.5	0.4	
五日				0.2				0.5	0.5	0.5		1.7									
六日													2.2								
七日		1.0	0.3	0.3			0.3	0.1	0.5		1.7	0.7				0.2	3.3		1.0		
八日	1.2	2.0	0.2	0.3			0.3	0.1											3.3		
九日	1.2	0.2	0.8		0.5		0.2	0.3	0.3		0.1	2.2				1.2		1.2		0.2	
十日	4.2	4.2	5.5	5.0	4.7	0.0	0.8	6.0	4.0	2.5	0.5	1.2	0.0			0.2	2.2	1.2	0.2	0.2	1.2
十一日							0.1	2.2	2.0	1.2	2.0	1.2	1.2		1.2						
十二日		0.3	0.3	0.3	0.5		0.1												0.4		
十三日													1.0								
十四日																					
十五日	5.2	5.8	5.3	5.5	4.8	5.0	5.0	5.0	5.0	5.5	4.9	4.9	4.9		2.8	5.0	4.0	4.0	4.0	3.5	3.0
十六日	1.2	1.0	1.0	0.9	0.8	0.7	0.9	0.7	1.0	2.5	2.5	1.8	2.5		1.2	3.2	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0

るか如し十七日午後七時過き西部地方に雷雨起り六第に南下し和泉北部に到りて最も烈しく泉北郡久世村に落雷し尚ほ南東方に經過せり此の雷雨の通過に際し中心附近は強雨を伴ひ堺は一時四十五分間に二十九粍七、八尾は一時四十分間に四十八粍の多量を降下せり

十九日午後五時漸く沿海部地方に雷雨起り漸次北上し和泉附近を通過の際最も優勢となり強雷大雨となり一時間に二十九粍を降下し後漸次として遂に消散せり

第三表　管内全月氣象觀測成績

（表中▲印は降又は多）

觀測所	空氣ノ濕度 平均	空氣ノ濕度 平均	空氣ノ濕度 最高	空氣ノ濕度 最低	空氣ノ濕度 本年平年比較	空氣ノ濕度 最低極日	降水量 總量	降水量 本年平年比較	降水量 最多日量	降水量 起日	第十表（柏原八第九表） 氣溫	濕度	雲量	最多風向	天氣日數 降水	雪	霰	雹	霧	雷	地震	快晴	曇天	暴風
深日	三五、四	一五、一	三四、一	一八、七▲	〇、八	九、五二	一九、八	一〇一、一	一四、九	一〇	一八、八	七、二	七、二	北東	六	〇	〇	〇	〇	〇	二	七	一九	六
上之郷	三一、九	一四、四	三一、九	一八、二	—	七、三二	二九、六	—	八、四	一七	一八、八	七、三	七、三	北東	六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	六	九	二
岸和田	三一、七	一四、七	三一、七	一八、二▲	〇、八	七、二	二六、九▲	一〇五、六▲	一〇、九	一七	一八、八	六、九	六、九	北	八	〇	〇	〇	〇	〇	二	五	八	四
長承寺	三一、〇	一三、九	三一、〇	一八、八▲	〇、八	五、七三	一二、六▲	一二七、六▲	一〇、七	一七	一八、八	六、九	六、九	北東	八	〇	〇	〇	〇	〇	二	五	九	二
濱寺	二一、一	一三、三	二一、一	一八、五▲	—	六、一三	五、六▲	—	二、七	一七	一八、八	七、〇	七、〇	東	六	〇	〇	〇	〇	〇	一	六	二	九
堺	三一、三	一四、九	三一、三	一八、九▲	〇、九	七、二三	二九、六▲	一三七、一▲	一九、四	一七	一八、八	六、九	六、九	北東	七	〇	〇	〇	〇	〇	一	八	一一	五
天王寺	三一、一	一四、一	三一、一	一八、一▲	〇、九	六、二二	二六、〇▲	一三〇、〇▲	一九、一	一七	一八、八	六、九	六、九	北東	七	〇	〇	〇	〇	〇	一	八	一一	五
大阪	三一、四	一四、五	三一、四	一八、八▲	一、四	七、三二	二七、三▲	一四四、五▲	一九、五	一七	一八、八	七、三	七、三	北	八	〇	〇	〇	〇	〇	二	六	一二	五
鳴島	三一、七	一四、四	三一、七	一八、三▲	一、三	七、三二	二七、〇▲	一四四、五▲	一九、五	一七	一八、八	七、三	七、三	北	八	〇	〇	〇	〇	〇	二	六	一二	五
新庄	三一、〇	一四、八	三一、〇	一八、四▲	一、二	六、九九	二六、九▲	一三三、八▲	一九、五	一七	一八、八	七、三	七、三	東	七	〇	〇	〇	〇	〇	二	六	一二	五
泰野	三一、〇	一四、七	三一、〇	一八、九▲	一、一	六、九九	二六、九▲	一三三、八▲	一九、五	一七	一八、八	七、三	七、三	北東	七	〇	〇	〇	〇	〇	二	六	一二	五
妙見山	二九、一	一三、七	二九、一	一八、九▲	〇、九	六、二七	二〇、二▲	一二九、九▲	一九、五	一七	一八、八	七、三	七、三	北東	七	〇	〇	〇	〇	〇	二	六	一二	五
東郷	三〇、〇	一四、一▲	三〇、〇	一八、一▲	〇、九	六、二七	二四、〇▲	一二五、九▲	一九、五	一七	一八、八	七、三	七、三	北	七	〇	〇	〇	〇	〇	二	六	一二	五
天王	二七、六	一四、一▲	二七、六	一八、一▲	〇、九	六、二七	二四、〇▲	一二五、九▲	一九、五	一七	一八、八	七、三	七、三	北	七	〇	〇	〇	〇	〇	二	六	一二	五
茨木	二七、〇	一四、一▲	二七、〇	一八、一▲	〇、九	六、二七	二四、〇▲	一二五、九▲	一九、五	一七	一八、八	七、三	七、三	北	七	〇	〇	〇	〇	〇	二	六	一二	五
清水	三四、一	一五、一	三四、一	一八、八▲	〇、九	六、二七	二七、八▲	一二五、七▲	一九、五	一七	一八、八	七、三	七、三	北	七	〇	〇	〇	〇	〇	二	六	一二	五
枚方	二七、〇	一四、九	二七、〇	一八、四▲	〇、九	六、二七	二四、〇▲	一二五、九▲	一九、五	一七	一八、八	七、三	七、三	北	七	〇	〇	〇	〇	〇	二	六	一二	五

三十日							
卅一日							
全月							
二七、四	二三、六	二五、九	二七、二	二八、三	二九、四	六、四	
二九、二	二四、八	二六、三	二七、四	二九、二	三、五	三、二	午前一時乃至五時、同八時強風吹けり、夜濃霧あり
二九、八	二六、三	二七、四	二九、二	三、五	三、二	三、九	午前七時十三分より同八時十五分迄濃霧あり、午後十一時五十分より月暈現れ翌曉に亘る、夜露あり（朝露あり）

大阪府管內氣象概況

前既に述へたるが如く本月は亞細大陸に氣壓增高して高壓部を生し北太平洋北部に低壓部ありて氣壓は西より東に向ひて漸次遞減せるが故に主として西乃至北西風吹き氣溫は日を逐ふて低下し山間部地方にありては初霜を看ることあり而して本年十月の氣候を調査するに上旬より中旬に亘りては溫暖にして特に中旬の末に於て著しく東部八尾及田原は二十八度（）の最高を示すに至り爾後次第に冷氣となり下旬の始め即ち二十二日は頓に寒冷となり東部田原は四度二、北部妙見山は四度九に降りて第二の最低を示し後稍々溫暖となりしか三十一日には月中の最低となり北部天王及東郷に初霜あり之れを平年に比すれば稍々遲き方にあり又降雨は十日、十五日、二十五日及二十七日に大雨ありたるを以て其量頗る多く孰れも平年の二倍以上に達せり之れを要するに本月の氣候は氣溫高かりしも降雨多量にして不順の裡に經過したるものなり更に氣溫、降水量等に就き詳記するは左の如し

氣溫

平均は西部大阪の十八度八、南部深日の十八度七より北部妙見山の十三度二の間にありて之れを平年に比すれば概ね一度內外高く月中の最高は十七日及十九日に現はれしもの最も多く東部八尾、田原の二十八度（）を高極とし南部深日の二十七度九、北部清水、東部柏原の二十七度八之れに亞き其他は二十七度內外にして北部の山間は二十四度乃至二十度に止まれり又最低は三十一日に現はれ北部妙見山の零度九同天王の一度二同東郷の二度二を低極とし東部田原の三度七之れに亞き其他の山間部は五度乃至六度沿海部は七度內外にして深日は九度五に過きす要するに本月の氣溫は最高二十八度（）より最低零度九の間にありて其較差は二十七度一に達せり

降水

總量は北部妙見山の三百二十五粍九同東郷の三百十四粍二より西部福島の二百三十三粍九の間にありて之れを平年に比すれは一般に多量にして孰れも二倍以上を示せり而して日量の最多は十日の豪雨の際にありて北部妙見山は百九粍五同東郷は百六粍二を量り大阪の九十粍八之れに亞き其他八十粍以上なりしは深日、上之郷、天王寺、清水、枚方の五ケ所七十粍以上なりしは岸和田、濱寺、堺、柏原、長野の五ケ所六十粍以上なりしは長承寺、福島、秦野、田原、八尾、富田林の六ケ所にして新庄は五十三粍天王は四十九粍なり

雷雨

本月中雷雨を觀測したるは二回にして左に記す

五日	一七、九	二〇、五	二一、五	二三、二	二三、二	一五、〇
六日	一八、四	二〇、二	二一、〇	二一、八	二三、九	一四、九
七日	一九、〇	二〇、四	二一、一	二一、七	二三、七	一四、三
八日	一八、七	二〇、三	二一、〇	二一、六	二三、六	一五、三
九日	一九、二	二〇、五	二一、一	二一、六	二三、五	一〇、七
十日	一四、八	一八、三	二〇、〇	二〇、九	二三、二	一〇、一
十一日	二一、三	二〇、三	二〇、二	二〇、四	二一、八	一五、九
十二日	二〇、〇	二一、〇	二一、一	二一、三	二一、九	一四、〇
十三日	一六、八	一九、九	二〇、八	二一、四	二三、〇	八、二
十四日	一五、〇	一八、〇	一九、五	二〇、五	二一、七	六、九
十五日	一五、五	一七、六	一八、八	一九、八	二一、四	七、五
十六日	一八、六	一八、九	一九、一	一九、六	二〇、九	一五、八
十七日	二一、一	二〇、七	二〇、一	二〇、三	二〇、九	一八、六
十八日	二〇、〇	二一、一	二一、二	二一、一	二一、二	一六、四
十九日	二一、五	二一、三	二一、二	二一、四	二一、三	一七、二
二十日	一九、一	二一、〇	二一、五	二一、七	二一、五	一四、六
廿一日	一六、一	一九、三	二〇、五	二一、二	二一、五	六、九
廿二日	一四、一	一七、〇	一八、八	二〇、〇	二一、三	四、八
廿三日	一六、一	一七、八	一八、六	一九、六	二一、〇	一三、七
廿四日	一四、二	一七、二	一八、三	一九、三	二〇、七	一三、七
廿五日	一四、八	一六、八	一七、八	一八、七	二〇、三	一四、五
廿六日	一七、五	一七、九	一八、一	一八、六	一九、九	一三、四
廿七日	一五、七	一七、五	一八、二	一八、八	一九、九	九、五
廿八日	一五、四	一七、四	一八、〇	一八、六	一九、六	一三、五
廿九日	一四、八	一七、〇	一七、七	一八、三	一九、五	一一、九

午前零時三分より小雨斷續して翌日に亘る

前日來の小雨午前一時四十五分歇む

午前九時四十七分より同五十八分まで微雨

午前二時三十四分より小雨斷續し午後九時廿分歇む

朝、夜薄露あり、午前七時四十五分より同八時五十分まで日暈現る

朝露あり、午前七時四十八分より降雨時々大雨を交へ斷續し翌日に亘る午後一時乃至夜半まで強風吹けり

前日來の降雨時々大雨を交へ斷續し午後五時三十分歇む、夜薄露あり、午前一時乃至七時及午後一時強風吹けり

朝薄露あり、午後二時十五分より同廿分まで微雨、夜薄露あり

朝薄露あり、夜露あり

朝露多し夜露あり

朝露多し午後二時八分より降雨翌日に亘る

前日來の降雨斷續し翌日に亘る

前日來の降雨斷續し時々大雨を交へ翌日に亘る、午後六時廿分北東に電光起り同七時四十一分より電雷となり同九時十分收聲す

前日來の小雨斷續し午後八時三十五分歇む

午前五時五分より小雨斷續し同八時三十九分歇む、午後三時五十五分より日暈現れ（午後四時十五分より同十八分まで薄き幻日現る）同六時十五分に至り日暈消ゆ、午後五時十分南方に電光起り同廿分電雷となり同六時廿五分收聲す、午後五時三十分北方に電雷起り同六時十分收聲す、午後五時三十八分より同七時四十分迄降雨

午前零時四十分より小雨斷續し同七時四十分歇む、夜薄露あり

朝露あり、午後四時強風吹けり

朝露多し午前十一時四十分より午後零時廿八分まで日暈現る

午前一時四十五分より同四時五十分まで小雨

午前四時四十分より小雨斷續し翌日に亘る

前日來の雨斷續し翌日に亘る、午前一時乃至四時、十一時及午後八時、夜半強風吹けり

前日來の雨午前七時廿五分歇む、午前一時乃至同七時及十一時乃至午後一時強風吹けり、午前七時四十八分より同五十六分迄虹霓現る、午後八時卅二分より同四十五分まで微雨

朝薄露あり、午後十時十分より降雨翌日に亘る

前日來の雨斷續し午後一時十五分歇む

午前零時五分より同三十九分迄月暈現る、午前三時四十五分より同六時廿分迄薄霧あり、午前七時卅五分より小雨斷續し同八時九分歇む、午後七時、同九時、同十一時強風吹けり

	十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	全月	
	七六一、三	七六五、〇	七六五、四	七六五、一	七六六、四	七六八、九	七六九、八	七六七、五	七五五、八	七五四、五	七五八、七	七五五、六	七五七、七	七六三、三	七六六、〇	七六三、三
	二一、三	二〇、八	二一、三	一九、六	一六、五	一四、九	一七、六	一六、一	一六、六	一八、五	一六、七	一六、六	一六、六	一四、四	二三、三	一八、三
	▲五、四	▲一、六	▲四、三	▲二、五	—	一、六	▲一、〇	—	▲〇、一	▲二、五	▲一、五	▲一、六	▲一、四	一、一	二、八	▲〇、七
	二七、三	二三、四	二六、三	二五、三	二〇、七	二二、六	二二、二	一七、六	一七、六	二一、一	二〇、九	一八、五	一九、五	一九、〇	一八、四	三一、二
	一九、七	一八、六	一八、五	一七、二	一二、一	八、三	一四、六	一五、三	一五、六	一五、九	一三、一	一四、九	一四、六	一〇、〇	七、四	一四、八
	七、五	四、八	七、七	六、〇	九、六	一三、一	六、六	二、一	二、〇	六、三	七、八	三、六	四、九	九、	一二、〇	七、五
	一八、四	一三、九	一六、〇	一三、一	九、三	八、六	一〇、九	一二、四	一三、三	一三、三	一一、一	一三、〇	一二、三	七、七	八、〇	一三、五
	九三	七六	八五	七八	六八	七二	七四	八四	八八	七九	八〇	九三	八〇	六四	七七	七九、一
	一、七	四、四	三、〇	三、九	四、七	四、四	四、一	二、三	一、八	三、〇	三、一	一、一	二、九	四、六	二、九	三、五
	三、六	三、八	三、四	三、三	五、八	四、三	五、四	七、四	七、九	八、一	三、六	三、八	五、二	七、四	二、五	四、六
	九、七	六、四	八、一	五、三	一〇、三	六、九	七、二	九、九	一二、九	一四、三	六、五	七、〇	一五、〇	一五、二	七、三	一八、八
	西南西	北	西	北北東	北	北東	北東	北東	西南西	西南西	東北東	南西	西	西	北	西
	南	北北東	北東	北	北	東	北東	北東	北東	北	北東	北東	西南西	西	北	北
	九、五	九、九	九、〇	九、〇	三、二	二、九	九、二	一〇、〇	一〇、〇	七、二	八、七	九、二	九、九	二、二	三、一	七、五
	一、一	一、四	四、九	一、六	九、八	九、五	三、三	—	—	八、三	四、一	—	—	一〇、〇	八、〇	一二九、六
	二、九	六、七	二、五	六、五	▲一、三	▲二、五	三、五	四、五	三、二	▲三、六	三、一	三、〇	四、六	▲三、九	▲二、六	四七、四
	一五、九	一、三	八、六	〇、八	—	—	〇、五	七、〇	六、八	八、三	一、四	二六、五	〇、九	—	—	二六七、七
	二、九	二、七	五、四	五、一	四、七	四、六	三、三	〇、八	一、七	三、七	三、五	〇、四	五、四	四、二	二、五	九一、五

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

十月	地中温度（平均）					最低地温	諸現象の摘要
	地皮	十糎	二十糎	三十糎	六十糎		
一日	一九、三	二一、三	二三、〇	二三、六	二四、〇	一二、六	前日來の雨午前十一時三十二分歇む、午前二時乃至七時及午後一時強風吹けり、夜薄靄あり
二日	一九、三	二〇、六	二三、六	二三、四	二三、六	一二、一	朝薄露あり、午後七時十五分より同九時二十七分まで日暈現る、夜露あり
三日	二〇、七	二一、三	二三、七	二三、三	二三、四	一三、三	朝露あり
四日	一九、三	二一、四	二三、一	二二、六	二三、三	一七、三	午前零時五十分より微雨斷續し午前四時十分歇む

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印は高又は多）

月	日	氣壓 平均	空氣ノ溫度 平均	本年平年比較	最高	最低	較差	水蒸氣張力 平均	濕度 平均	飽差 平均	風速 平均	最大全上方向	最多方向	雲量 平均	日照時數 本年平年比較	降水量	蒸發量
十月	一日	七五四、一	二一、八	▲〇、三	二五、〇	一八、二	六、八	一二、三	七二	六、〇	二、〇	一五、〇	西南西	五、三	▲一、三	二、六	四、六
	二日	七五四、三	一九、〇	一、五	二三、七	一一、六	一二、一	一一、八	七四	四、八	二、四	五、〇	北	四、七	▲五、一	一、一	三、五
	三日	七四四、〇	一九、三	〇、四	二五、四	一四、〇	一一、四	一三、〇	八四	四、四	二、七	五、〇	南西	四、七	▲一、八	一、一	三、五
	四日	七五三、八	一九、八	〇、二	二〇、六	一八、四	二、二	一四、六	八五	二、五	二、二	四、二	北北東	一〇、〇	—	〇、〇	一、八
	五日	七五三、一	一八、一	一、二	二〇、五	一四、〇	六、五	一三、九	八四	二、四	二、四	四、八	北	一〇、〇	〇、八	二、二	三、〇
	六日	七五九、六	一九、四	〇、三	二一、三	一五、九	五、四	一三、一	九二	三、五	二、八	七、三	北北西	九、八	〇、三	六、四	二、四
	七日	七六〇、七	二〇、一	▲〇、六	二五、六	一六、九	八、七	一三、九	七二	三、五	二、四	七、四	北	六、〇	〇、八	四、一	二、五
	八日	七六〇、七	一九、七	▲〇、四	二三、八	一五、九	七、九	一二、八	七五	三、一	二、四	五、九	北東	八、〇	〇、八	五、一	二、五
	九日	七六〇、九	一九、〇	▲〇、七	二四、八	一〇、〇	一四、八	一二、五	七六	三、一	二、四	五、九	北	七、九	▲一、四	二、四	二、五
	十日	七六一、〇	一九、一	▲一、五	二三、七	一三、九	九、八	一二、六	七六	三、一	二、四	五、九	北	六、三	▲〇、九	三、五	二、五
	十一日	七六一、一	二一、一	▲一、五	二五、三	一六、六	八、七	一三、一	七二	三、五	二、四	五、九	西南西	六、〇	▲〇、五	三、五	二、五
	十二日	七六一、一	二一、一	▲一、七	二五、三	一七、五	七、八	一三、一	七二	三、五	二、四	六、二	西南西	六、三	▲〇、五	三、五	二、五
	十三日	七六二、三	一八、四	▲二、五	二二、五	一五、四	七、一	一二、八	七五	三、五	二、四	七、四	西	六、〇	—	三、五	二、五
	十四日	七六八、五	一五、三	▲五、六	一九、四	一〇、七	八、七	一〇、九	七五	二、七	二、四	六、二	南西	七、九	▲三、〇	一、一	二、五
	十五日	七六八、七	一五、一	▲五、八	一九、四	一一、一	八、三	一〇、八	七五	二、七	二、四	六、二	南	九、〇	〇、八	三、六	二、五
	十六日	七六四、八	一九、六	▲二、三	二三、五	一五、一	八、四	一二、五	七五	三、五	二、四	六、二	北東	九、〇	〇、七	三、四	二、五

第一表　大阪每時氣象觀測成績表

十月

時	氣壓平均	氣溫平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速度平均	雲量平均	日照時數	降水量	地皮	地中溫度（平均）地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
一時	三〇、三九	一七、〇	一三、四	八六、一	一、八	四、三	七、七	—	二四、八	一五、一四	一九、〇五	一九、一二	二〇、七二	二一、六二
二時	三〇、二八	一七、〇	一三、三	八六、八	一、九	四、一九	七、四	—	三二、四	一五、〇二	一九、〇六	一九、一三	二〇、七二	二一、六二
三時	三〇、二八	一六、四一	一三、一〇	八六、九	一、八八	四、五一	八、〇	—	五、六	一四、八二	一九、〇二	一九、一二	二〇、六九	二一、六〇
四時	三〇、二八	一六、三三	一三、一六	八七、四	一、八四	四、七〇	七、七	—	六、四	一四、七六	一九、〇一	一九、一一	二〇、六九	二一、六二
五時	三〇、二九	一六、一三	一三、一一	八七、八	一、七四	四、五七	七、八	—	四、五	一四、二三	一九、〇〇	一九、一〇	二〇、六九	二一、六二
六時	三〇、二一	一六、〇五	一三、一六	八八、三	一、七二	四、三五	七、八	—	五、九	一四、五〇	一八、九八	一九、〇九	二〇、六九	二一、六二
七時	三〇、一四	一五、三〇	一三、一四	八七、一	一、八三	四、一四	七、五	〇、五〇	一、一	一四、八二	一八、九八	一九、〇八	二〇、七四	二一、六二
八時	三〇、一九	一五、三二	一三、一六	八八、一	一、七七	三、八四	七、五	六、五五	四、九	一三、三〇	一八、九六	一九、〇七	二〇、七二	二一、六二
九時	三〇、一〇	一五、四八	一三、一八	八七、〇	一、八三	四、二三	七、五	一二、二〇	四、四	一八、一七	一八、九六	一九、〇六	二〇、七一	二一、六二
十時	二九、九五	一五、九二	一三、二九	八七、三	一、八二	四、四九	七、五	一三、七五	二、三	二〇、一六	一八、九二	一九、〇五	二〇、七一	二一、六二
十一時	二九、九二	一六、二八	一三、二三	八六、九	一、八八	五、〇三	八、〇	一四、七五	二、三	二〇、一六	一八、九二	一九、〇五	二〇、七一	二一、六二
十一時	二九、九二	一六、二八	一三、二三	八六、八	一、九一	四、七七	七、九	一四、九〇	三、三	二〇、一六	一八、九二	一九、〇五	二〇、七一	二一、六二
十二時	二九、九二	一六、三三	一三、二五	八六、六	一、九三	五、〇三	七、九	一四、九〇	三、三	二〇、一六	一八、九二	一九、〇五	二〇、七一	二一、六二
十三時	二九、九二	一六、三八	一三、二五	八六、五	一、九三	五、〇三	七、九	一三、九五	三、三	二〇、一六	一八、九二	一九、〇五	二〇、七一	二一、六二
十四時	二九、九二	一六、三八	一三、二五	八六、五	一、九四	五、〇三	七、八	一三、九五	三、三	二〇、一六	一八、九二	一九、〇五	二〇、七一	二一、六二
十五時	二九、九二	一六、三八	一三、二五	八六、五	一、九四	五、〇三	七、九	一三、八〇	三、三	二〇、一六	一八、九二	一九、〇五	二〇、七一	二一、六二
十六時	二九、九二	一六、三八	一三、二五	八六、五	一、九四	五、〇三	七、九	一三、八〇	三、三	二〇、一六	一八、九二	一九、〇五	二〇、七一	二一、六二
十七時	二九、九二	一六、三八	一三、二五	八六、五	一、九四	五、〇三	七、九	一三、八〇	三、三	二〇、一六	一八、九二	一九、〇五	二〇、七一	二一、六二
十八時	二九、九二	一六、三八	一三、二五	八六、五	一、九四	五、〇三	七、九	一三、八〇	三、三	二〇、一六	一八、九二	一九、〇五	二〇、七一	二一、六二
十九時	二九、九二	一六、三八	一三、二五	八六、五	一、九四	五、〇三	七、九	一三、八〇	三、三	二〇、一六	一八、九二	一九、〇五	二〇、七一	二一、六二
二十時	二九、九二	一六、三八	一三、二五	八六、五	一、九四	五、〇三	七、九	一三、八〇	三、三	二〇、一六	一八、九二	一九、〇五	二〇、七一	二一、六二
廿一時	二九、九二	一六、三八	一三、二五	八六、五	一、九四	五、〇三	七、九	一三、八〇	三、三	二〇、一六	一八、九二	一九、〇五	二〇、七一	二一、六二

にして平年に比すれは零度四四低く月中の最高は十一日正午頃に於て三十一度九を示し最低は三十一日午前七時頃に於て七度二を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて二十二度八七を示し最低は午前六時にありて十四度五〇を示せり而して其較差は八度三八なり

地中十糎の溫度　平均は十九度一三にして平年に比すれは零度三三高く月中の最高は三日午後五時に於て廿二度九を示し最低は三十一日午前八時乃至九時に於て十三度六を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて十九度九九を示し最低は午前八時にありて十八度三〇を示せり而して其較差は一度六九なり

地中二十糎の溫度　平均は十九度八七にして平年に比すれは零度四二高く月中の最高は一日午後五時乃至午後十時に於て廿二度四を示し最低は卅一日午前一時乃至午後一時に於て十五度八を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午前一時にありて二十度一三を示し最低は午前十一時乃至正午にありて十九度五七を示せり、而して其較差は零度五六なり

地中三十糎の溫度　平均は廿度五〇にして平年に比すれは零度三九高く月中の最高は一日午後十一時乃至夜半に於て廿二度九を示し最低は三十一日午後一時乃至午後十時に於て十七度一を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午前一時乃至二時にありて二十度七一を示し最低は午後三時にありて廿度三四を示せり、而して其較差は零度三七なり

地中六十糎の溫度　平均は廿一度五一にして平年に比すれは零度四一高く月中の最高は一日午前一時乃至三時に於て二十四度二を示し最低は三十一日午後十時乃至夜半に於て十八度九を示せり但し此深さにありては殆ど一日中の變化を認め難し

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては正午、地中十糎にありては午後五時、同二十糎にありては午後五時乃至十時、同三十糎にありては午後十一時乃至夜半に生し、最低は地皮にありては午前六時、地中十糎にありては午前八時、同二十糎にありては午前十一時乃至正午同三十糎にありては午後三時に生せり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地溫　平均は十一度八四にして平年に比すれは一度六七高く月中の最低は三十一日午前六時頃に於て三度九を示せり

天氣日數

快晴は一日にして平年より五日少く曇天は十七日にして平年より八日多く電雷は二日にして平年より一日多し

尙詳細は左に揭くる氣象觀測成績表を參照すべし

にありて十六度〇五を示せり而して其較差は五度二二なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は十二粍三四にして平年に比すれは一粍〇八高く月中の最高は十七日午後二時に於て二十粍七を示し最低は三十日午前八時乃至九時に於て六粍八を示せり、又月平均に就きて一日中變化を看るに最高は午後七時及び九時にありて十二粍五九を示し最低は午前九時にありて十一粍〇八を示せり、而して其較差は零粍五一なり

濕度の平均は七十九、一にして平年に比すれは二、六多く月中の最少は廿二日午後二時に於て四十を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前六時にありて八十八、二を示し最少は午後二時にありて六十六、〇を示せり、而して其較差は二十二、二なり

飽差の平均は毎立方米中三瓦四七にして平年に比すれは零瓦五三少く月中の最多は九日正午に於て十二瓦七を示し最少は十六日午後十一時に於て零瓦〇を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後二時にありて六瓦四七を示し最少は午前六時にありて一瓦六七を示せり而して其較差は四瓦八〇なり

風

平均速度は毎秒四米六二にして平年に比すれは零米四八強く月中の最大速度は十一日午前三時乃至四時の毎秒速度十八米四（一間平方面を垂直に壓する力は三十五貫六百目）の西風なり又強風以上の吹きたる日數は八日して平年より一日多く其時數は五十一時にして平年より十時多し

又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後三時にありて五米八〇を示し最小は午後十時にありて三米四一を示せり而して其較差は二米三九なり、風向は北乃至北東風最も多く西風之れに亞き南東風は最も少し之れを平年に比すれは北風及西風は多くして東及北東風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は七、五にして平年に比すれは一、七多く日照時數は百十九時六〇にして平年に比すれは四十七時三八少く一日中に於て日照時間の最も長かりしは卅日の十時〇〇なり

降水及蒸發量

降水日數は十九日にして平年より八日多く其水量は二百六十七粍七にして平年より百三十一粍七多く一日中の最多量は十日の六十粍〇、一時間の最多量は十一日午前一時乃至二時の二十粍六なり又蒸發總量は九十一粍三にして平年に比すれは十八粍四少く一日中の最多量は九日の四粍九なり

地中温度及最低地温

地皮温度の平均は十七度三八

大阪測候所月報

大正六年十月

大阪氣象概況

氣候の漸次寒冷となるに從ひ亞細亞大陸の大氣濃密となり氣壓增高し支那北部に高氣壓を生し北太平洋北部卽ち北海道の東方に低壓部ありて其氣壓の傾斜は西より東に向ひ遞減し爲めに西乃至北西の風卓越して吹き漸次冷氣となり下旬に至りては攝津北部河內東部の山間地方には初霜を看るを常とす、然り而して本年十月の氣候を調査するに氣候は平年に比し温暖にして日照時數は少く降水量は多かりし而して本月は暴風雨多く九月三十日より十月一日に至り暴風大雨あり特に淀川上流地方に最も甚だしかりし爲め琵琶湖より宇治川及桂川、木津川等の諸川より就れも皆本府管內淀川に流入せるを以て淀川の水位激增し明治十八年二十九年の大洪水以上の水位(本報第九號參照)に達し遂に淀川の堤防を決潰するに至れり又本月十日より十一日及二十五日より廿六日に亘り二回の暴風雨ありたれども前回の暴風雨に比すれは稍々輕かりしも多少淀川の水量を增し益々水害を大ならしめたりき

今各氣象要素に就き詳記すれは左の如し

但本項に記する所の平年は築港に於ける最近六箇年の平均なり

氣壓

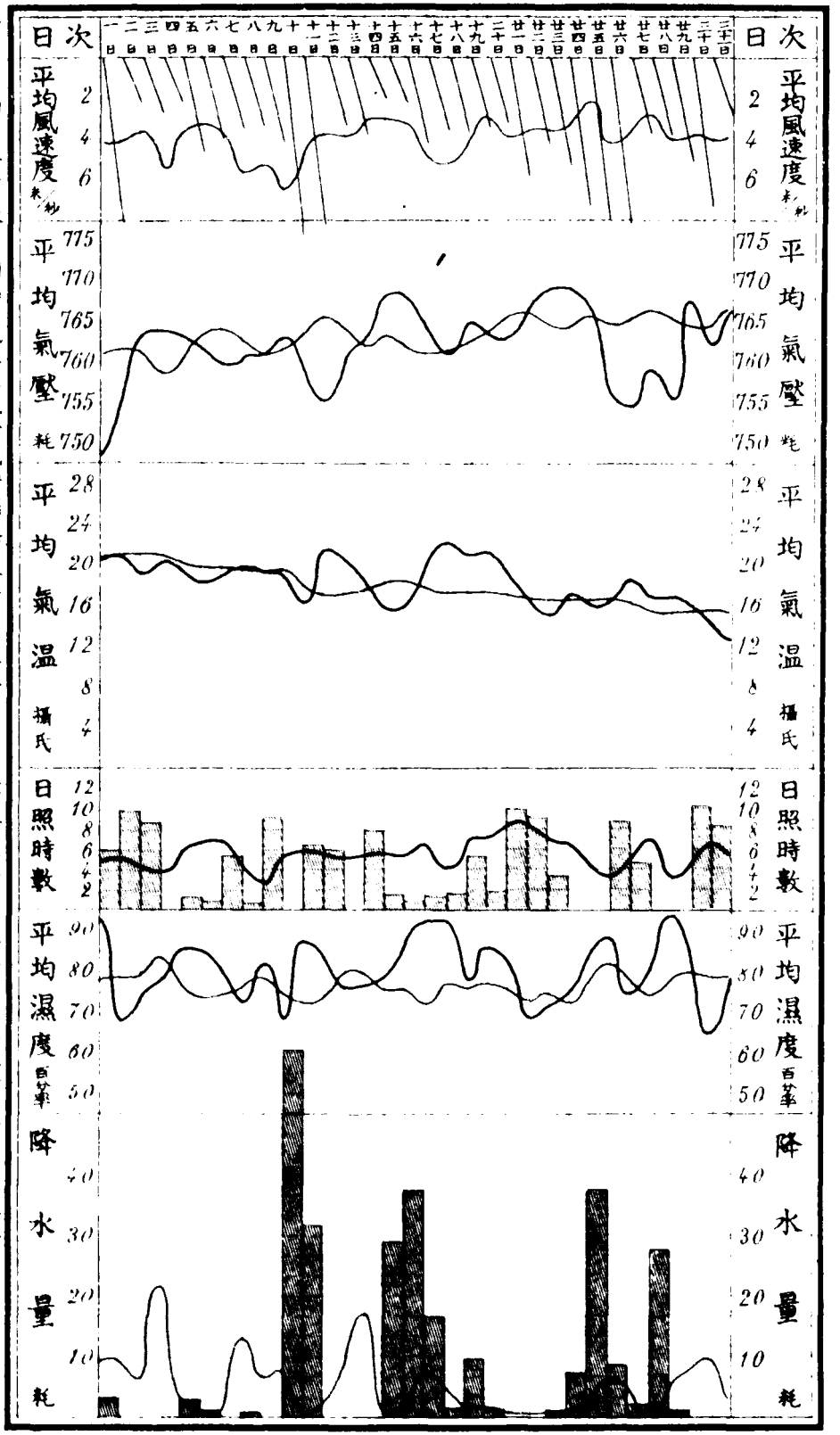
平均は七百六十二粍一八にして平年に比すれは零粍九三低く日々の變化は氣象圖に示すか如く顯著なる昇降は三回にして其他は微なりき而して月中の最高は廿三日午前九時乃至十時に於て七百七十粍八を示し最低は十一日午前二時に於て七百四十一粍五を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前九時にありて七百六十三粍一〇第一の最低は午後二時にありて七百六十一粍六五を示し第二の最高は午後九時乃至十時にありて七百六十二粍六四、第二の最低は午前二時乃至三時にありて七百六十一粍三八を示せり而して其主なる最高低の較差は一粍七二なり

氣溫

平均は十八度二四にして平年に比すれは零度七〇高く日々の變化は氣象圖に示すか如く上旬の上半は稍々低かりしも其他は概ね高かりし月中の最高は十七日午後三時頃に於て廿七度二を示し最低は卅一日午前七時頃に於て七度四を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて廿一度二七を示し最低は午前六時

大阪氣象圖

大正六年十月　　October. 1917



本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス風速度、氣壓、氣温、濕度ハ本年――平年――日照時數ハ本年[illegible]平年――降水量ハ本年[illegible]平年――

例言

一本報は當測候所及管内各觀測所に於て觀測したる每月の氣象を調査し之れを揭載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管内各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍(曲尺三厘三毛)を以て示す

一濕度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には(一)を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘じ五にて除し三十二度を加ふへし

一最高濕度及降水量并に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上けて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦(グラム)(零點二七)にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一步面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米(曲尺三尺三寸)數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を抜き家を倒すものなり

一風向は北北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らず降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管内氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡	市町村	緯度	經度	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	一三五度〇九分	三四度一九分	上出源助
上之郷	全	國泉南郡上之郷村	一三五度一八分	三四度二三分	島塲留藏
岸和田	全	國泉南郡岸和田町	一三五度二三分	三四度二七分	森内清次
長承寺	全	國泉北郡鳳村	一三五度二七分	三四度三二分	前川由太郎
濱寺	全	國泉北郡高石村	一三五度二六分	三四度三二分	今井富次
堺	全	國堺市車ノ町	一三五度二九分	三四度三五分	吉村正輔
天王寺	攝津國大阪市南區天王寺		一三五度三一分	三四度三九分	加藤昭純
大阪	全	國大阪市西區一條通	一三五度二六分	三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	全	國大阪市北區上福島	一三五度二九分	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	全	國西成郡新庄村	一三五度三一分	三四度四五分	小林雅文
秦野	全	國豐能郡秦野村	一三五度二六分	三四度四九分	藤重元太郎
妙見山	全	國豐能郡東鄕村	一三五度二八分	三四度五六分	阪部文二郎
東鄕	全	國豐能郡東鄕村	一三五度二九分	三四度五七分	大原仁之助
天王	全	國豐能郡柏根莊村	一三五度三分	三四度〇二分	島橋政次郎
茨木	全	國三島郡茨木町	一三五度二四分	三四度四九分	那須庫之助
清水	全	國三島郡清水村	一三五度三六分	三四度五三分	山本義一
枚方	河内國北河内郡枚方町		一三五度三九分	三四度四九分	家村八五郎
田原	全	國北河内郡田原村	一三五度四二分	三四度四三分	今井由太郎
八尾	全	國中河内郡八尾町	一三五度三六分	三四度三八分	水谷芳松
柏原	全	國南河内郡柏原村	一三五度三七分	三四度三五分	畿内農事試驗支場
富田林	全	國南河内郡富田林町	一三五度三七分	三四度三〇分	塔本幸太郎
長野	全	國南河内郡長野町	一三五度三五分	三四度二七分	松本遠水

191

Monthly Report
of The
Osaka Meteorological Observatory.

October 1917

大阪測候所月報

大正六年拾月

第拾八年第拾號

目次

○本年十月大阪氣象概況 附圖
○本年十月大阪府管内氣象概況
○本年十月大阪地震觀測概況
○十月中の暴風雨概況
○淀川上流の雨量と下流の水位
○颱風と地の脈動
○稻作と氣象との關係
○伊勢國北部の地震
○本冬季の初霜
○本府管内の初霜
○本冬季の初雪
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報施否

大正六年十一月十九日印刷
仝　年十一月二十日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

●大阪港潮汐觀測

種目＼月次	七月	八月	九月
平均潮位	一二五、七糎	一三二、七糎	一二五、九糎
平均干滿ノ差	一〇八、五糎	一一三、七糎	一一三、二糎
滿潮ノ極	二一三糎	二五一糎	二一〇糎
其日時	七日午前八時二十五分	三日午後七時五十五分	二日午前七時二十分
干潮ノ極	五〇糎	五二糎	五二糎
其日時	六日午後三時十分	四日午後二時三十分	一日午後一時五十五分
最大干滿差	一五九糎	一八四糎	一五七糎
其日	六日	四日	二日
最小干滿差	六一糎	七九糎	八一糎
其日	二十七日	二十五日	十一日

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡市	町村	緯度東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡	佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	吾妻傳通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
水津川	攝津國大阪市	西區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	全木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
雜波島	攝津國大阪市	西區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	全木津川分署雜波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
築港	攝津國大阪市	西區安治川口	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署築港分署
大阪	攝津國大阪市	西區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國西成郡	傳法、町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東鄉	攝津國豐能郡	東鄉村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東鄉村役場

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位　三尺四寸二分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　三尺四寸〇分

九月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時	九月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時	九月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	一、一〇	一、一五	〇、九〇	〇、九〇	十一日	一、四〇	一、四〇	一、二〇	一、二〇	二十一日	二、一五	二、一四	二、〇五	二、〇五
二日	一、二五	一、二〇	〇、八〇	一、〇〇	十二日	一、三〇	一、二五	一、〇〇	一、〇〇	二十二日	二、一五	二、一五	二、〇〇	一、九〇
三日	一、一五	一、一五	一、〇五	一、〇〇	十三日	一、二〇	一、一五	一、〇〇	一、〇〇	二十三日	二、一〇	二、〇五	一、九〇	一、八〇
四日	一、〇〇	一、〇〇	〇、八五	〇、八〇	十四日	一、一五	一、〇五	〇、九〇	〇、八〇	二十四日	二、〇五	二、〇〇	一、八〇	一、七〇
五日	一、〇〇	〇、九五	〇、八五	〇、八五	十五日	一、〇五	一、〇〇	〇、八五	〇、八〇	二十五日	二、〇〇	一、九五	一、七五	一、七〇
六日	二、〇〇	一、九五	一、九五	一、九五	十六日	一、〇〇	〇、九五	〇、九〇	〇、八五	二十六日	一、九五	一、九〇	一、七〇	一、六五
七日	一、九〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	十七日	〇、九五	〇、九〇	〇、八五	〇、八〇	二十七日	一、九〇	一、八五	一、六五	一、六〇
八日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七五	十八日	〇、九〇	〇、八五	〇、八〇	〇、七五	二十八日	一、八五	一、八〇	一、六〇	一、五五
九日	一、七五	一、七五	一、六五	一、六五	十九日	〇、八五	〇、八〇	〇、七五	〇、七〇	二十九日	一、八〇	一、七五	一、五五	一、五〇
十日	一、七〇	一、六五	一、六〇	一、六〇	二十日	〇、八〇	〇、七五	〇、七〇	〇、六五	三十日	一、七五	一、七〇	一、五〇	一、四五

平均水位　廣瀬二尺七寸九分
最高水位　廣瀬十三尺六寸零分（卅日午後六時）　大日二尺三寸二分　八尺一寸五分（卅日午後六時）

地方天氣豫報暴風警報適否

種類	發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報 風向	三〇	二四	六	〇	九〇
天氣豫報 天氣	三〇	二五	五	〇	九二
天氣豫報 溫度	〇	—	—	—	—
暴風警報	二	二	〇	〇	一〇〇

る所あり其後も長田池附近にて起り折柄乾燥しありし合羽を捲き上げたることありしと(其當時の歌に「城の馬場で日和がようて合羽屋が合羽干す俄かに天狗風合羽舞ひ上り合羽屋の親爺が狼狽へ騒いで堀へはまつた助けておくれ」)云へば或は大阪城附近には此の旋風を構成すべき原動力ともなるべき所非ざるなきか抑も旋風は支那内地に發生する大陸旋風の如く範圍廣きものは其原因を調査するに比較的困難は少なかるべきも今回當地に起りたるもの、如く其勢力卓越したる時にても漸く十二三間の幅に過ざれば殆んど原因を探究するに苦み強て云はんと欲せば大阪城附近は高燥たる土地にして大なる建物並に堀多く爲めに下層の空氣が不時の高溫を呈するときは此の堀より盛に蒸發し爰に溫度と濕度の平均を破り急速なる昇騰氣流を起し雲を喚起し遂に旋風の種子とも云ふべきもの出來之れを涵養する要素の多きときは今回の如き珍らしき旋風となり低地に來りて倍々發達し建物等に衝突するときは更に勢を增し被害を多からしむるも田園又は畑地等に舞ひ下りたるときは忽にして上昇するものと見れば被害非常に少なし兎に角成因が熱にあることは當時暖かき灰色の煙の如きものが押し寄せ來りしため一般に近火と考へ火事呼はりをなしたるより考ふるも證左に餘りありとす

面部其他に負傷し小兒の方は傷稍々大にして入院をなしたりと

第五は約九百二十米の南東方神路村字大今里の道路に沿ひて左側の家數戸の屋根瓦を飛ばし道路の曲りたる所より斜斷し右側にありし二間の板壁及其中にありし便所を南方に倒し之れに續きし住家藁屋根を點々として拂り其隣の瓦屋根の棟二尺をも捲き上げ此の所より進路を稍々南方に轉じ田園約十坪の稻は南方に向ひて倒れ當地附近にも青昆布製造所の莚飛び來れり而して當地にて幅員の最も廣き所は約十間に及び戸障子の吹き飛されたるもの等枚擧に遑あらず第五は大今里より約三百五十米を南方に距る小路村字片江大阪軌道片江停留所最右端の長屋二尺程瓦を捲き上げ其次は約四百米を隔つる畑にして此所は區域小にして僅二坪程の陸稻を倒せし位なりしも其周圍にありし大豆は引抜きたるが如くに倒れ居たり第七は該畑より約五百米を距る小路村字中川にして住家七戸に害を與へ最初に被害を蒙りたる家は約半坪位の藁屋根を拂り又は二尺位屋根棟の瓦を捲き上げたるに過ざりしも其部落の南端にては北面の藁屋根二坪半位東面をも一坪程捲き上げ其南隣なる瓦屋根は間口五間程の雨口瓦一枚通りを剝ぎ廣き所は二尺位に及べり又其南方なる田園は稻十坪程全部南方に倒る、を見たり第八は中川より約千八百米南方なる中河内郡巽村字大地にして正面に受けたる屋根は棟を飛ばし二階屋は雨口の瓦を捲き上られ當地も住成被害多く住家七戸に及び部落の中央に當る藁屋根の如きは北面を約二坪程拂り取られ其棟少しも故障なく南面は復た二坪程の害を受け孰れの被害を看るも瓦屋根より藁屋根の方被害割合に大にして一尺以上の厚さを有する屋根にても恰も穴を開けたるが如く一坪位の被害あれば五尺角位は藁全部を捲き上げられたる仕末なり而して當部落の中央部迄は點々として被害を認めたれども其れ以南には被害なく同郡加美村字乾は約千二百米の南方にありしも強き風すら吹かず唯西方稍々高き所を板切れ紙屑等が南方に飛び去るを認めたるのみ又大地より正南方千二百米を隔つる平野驛（院線停車場）にては五六百米の上空を板切乃至紙屑が灰色の雲と共にヒラ〳〵と舞ひ諸所に落下しつゝ南方に進行するを認めたるに過ぎず

以上記する所を綜合するに此の旋風は大阪城の西方より來り東成郡中本町に入り俄然勢力を增し同町字本庄附近に於て其勢極度に達し幾重にもワイヤにて引張たる數千貫の重量を有する煙突を抜き上げ其餘勢は遂に中河内郡巽村に達し其害を與へたる道程にても實に一里十九町の長きに及び之れを目擊したる地方は二里餘に亘りたり元來大阪附近には此種の現象なきに非ず古老の談を聞くに八九十年前に玉造邊にて住家一戸捲き上げた

震害概況　市内東區玉堀町仁丹製造工場の北側に微少の害を與へたるを最初とし第二は約二百米を距る青昆布製造所の乾燥場にて積み置きたる莚約五十枚を卷き上げ高きものは五十間以上に達し空中にて木の葉の飛ぶが如くクルノ〳〵と旋回しつゝ遠きは一里以上に及びたり而して當場はコの字形に南西北の三方は家屋ありて東方の空地は川に沿ひて乾燥場となり居り目撃したる者の談に最初コの字形の一角西方にある染糸乾燥場の糸が突然捲き上るを見る間に昆布乾燥場中央にありし莚を北西隅に吹き附けたる瞬間グルリと回轉して南東方に向ひ斜に空中に捲き上げたるものなりと云ふ第三は約四百米を隔たる岡本亞鉛工場にして幅約十二間（中央四間程は目下工事中にて屋根なき爲め被害不明）亞鉛屋根全部を捲き上げ孰れも空中にて筋斗打て南東方に奔流し二千米以上の遠方に運ばれたるもあり當場附近にては地震の時に於ける地鳴の如き振動を感じたるを以て直ちに屋外に立出れば灰色をなしたる煙の如きもの一面に押し寄せ來りしを以て火事よ〳〵と呼び立つ折しも小なる爆發の如き音響と共に振動を感じたれば多くは悲鳴を擧げて屋内に逃げ込み避難し稍々離れて屋外にありしものは亞鉛板の空中に舞ひ上るを見て火事に非ずして大風なりしを知り且つ爆發の如き音は亞鉛屋根板が一時に捲き上げられたる時の音響なるを自覺し少しく南東方に移動したるとき始めて漏斗狀をなしたる雲なることを判明し其漏斗の中央は純に白色を呈し漏斗と同じく細くなり漏斗の周圍は灰色の煙の如く恰も綿を千切りたる樣に濃き所あり又淡き所ありて殆んど其中央部に向りて薄黒き漏斗雲下りグルグルと渦を捲き或は下りて地上に接し或は昇りて五六十米に達し其幅は下端にても十數間を有せりと第四は同じく第三より約四百米を隔りたる和氣鐵線工場の小屋にして同小屋の裏二十間位の田圃より被害起り稻は左方に倒れ小屋裏にある溝の水は昇騰し其泡沫飛散して雨の如く小屋は幅十一間半を有し裏より襲はれ右方五間半と左方二間との木葺屋根全部を捲き上げ中央の三間は恰も鋸にて筋を付け置きたる如く奇麗に殘り居り東方の板壁は中央部の上方約一坪を吹き貫き中央南面にある入口の戸二板は鍵の掛けたる儘内方即ち北方に倒れ居り夫れより地續きの田の稻及畑の茄子等は皆左方に倒れ道路を隔てゝ本莊湯の煙突長さ六十尺直徑一尺五寸の鐵製にて梯子のものを拐り抜き其儘三間程捲き上げ左方約二間の所へ持て行き同家の屋根へ南向に倒し下より四十間位の所にて南西方へ曲り〳〵の字形となり居れり本被害中此の附近最も激しき所にして一續きに被害を蒙したること凡そ百間に及べり又此の附近にては家屋の動搖甚敷爲めに屋外に出で居る中大人及小兒の二人は落下し來る板切にて

●九月二十七日午後の旋風に就て

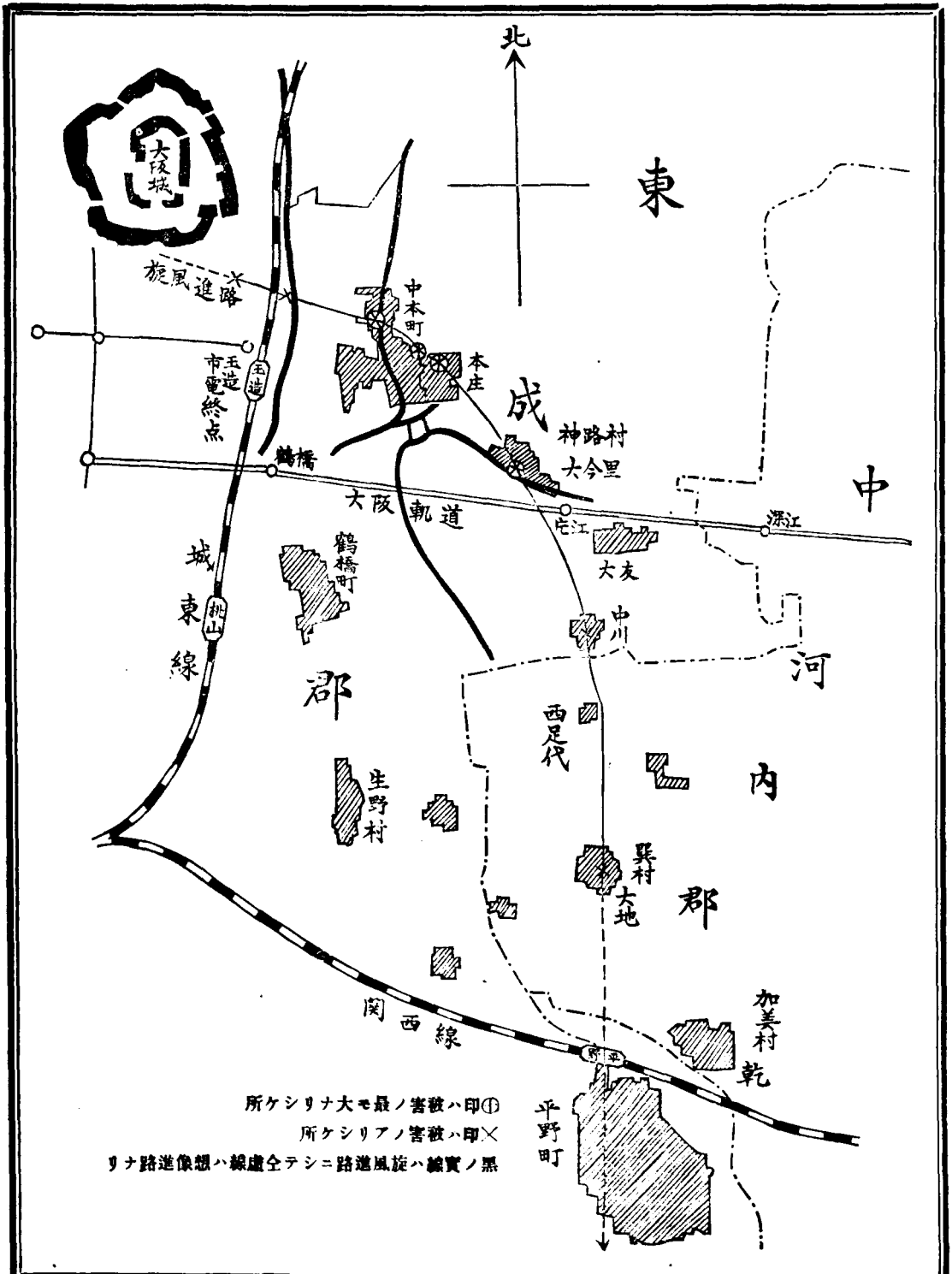
技手　芝野彊
技手　大橋龍太郎

當日は朝來晴天なりしが午後には雲量少しく增し三乃至五を示し東方は絶えず積雲の重疊するありて午後四時頃には亂雲を認めたりしが當所にては別に異狀と感ずるものなかりしが當所より約二里東方に當る府下東成郡中本町附近に旋風ありたる旨傳聞す依て翌二十八日實地踏査をなし中本町役場に就て其實想を正せしに孰れも突差の事とて狼狽し其形狀等を闡明するに困難を感じたれども廣く聞き合せて略ぼ事實に近きものを得たれば左に之れを概記し後日の參考に供せんとす

當地方は同日午前中より時々二、三分時間位宛の降雨をなし雲間より日光を洩し蒸暑くして何となく不快を感じたりしが午後一時過北西方より幽かにゴーゴーと音をなし漸次接近する樣なりしかば屋外に出で音する方を見しに第一圖の如く太き漏斗形をなしたる薄黑き雲が南東方に向ひて進行するありしが忽にして漏斗は縮少して唯薄黑き雲のみとなり尙南東方に走るを見しが約五分の後復々其雲より第二圖の如き漏斗雲現はれ第一圖のものより細く長く垂下せしも地上より五、六十米の上空なりしため被害を認めず約十分後には自然に縮少して遂に漏斗狀は雲中に隱れたり而して爾後は依然として時々降雨を催ふし午後四時十五分頃に至り地鳴の如き異樣の振動北西方より起り來り人々奇異の念を懷き屋外に出づれば灰色の煙の如きもの渦をなして押し寄せ來り視界を遮りナマヌルき風吹き來りたれば火事と考へ大騷ぎを演出せし折柄猛風襲ひ來りて戸障子を外し室の內外にあるものを飛ばし婦女子は悲鳴を擧げて屋內に逃げ込む等其騷狀言語に絶したりと而して此の猛風は瞬間にして過ぎ去り其跡を見るに天より灰色の雲濛々として附近一帶を包み其中より稍々濃き漏斗狀をなしたる中央白色の雲が舞ひ下り渦をなして南東方に進行し其下端は恰も讀誤紐にて釣りたる人形を弄ぶか如く渦をなしつゝ下るを思へば復々昇り數回繰返したる後次第に其漏斗は上方に縮少する樣見ゆ遂に雲中に入りて遠く南方に經過し去れり此間約三十分を要したりと（第三圖參照）更に實地調査の模樣を左に記せん

經路　大阪城の西方より來りて東區玉堀町に到り城東線を橫斷して郡部に入り東成郡中本町字中道より本莊を經て神路村字大今里に達し當地迄は殆んど南東に向ひて進行せしが夫れより進路を南に轉じ小路村字片江同中川を貫き巽村字大地より加美村字乾の西方下空を通り平野鄕町鐵道院停車場の稍々上空を經て尙南方に經過し去りたり

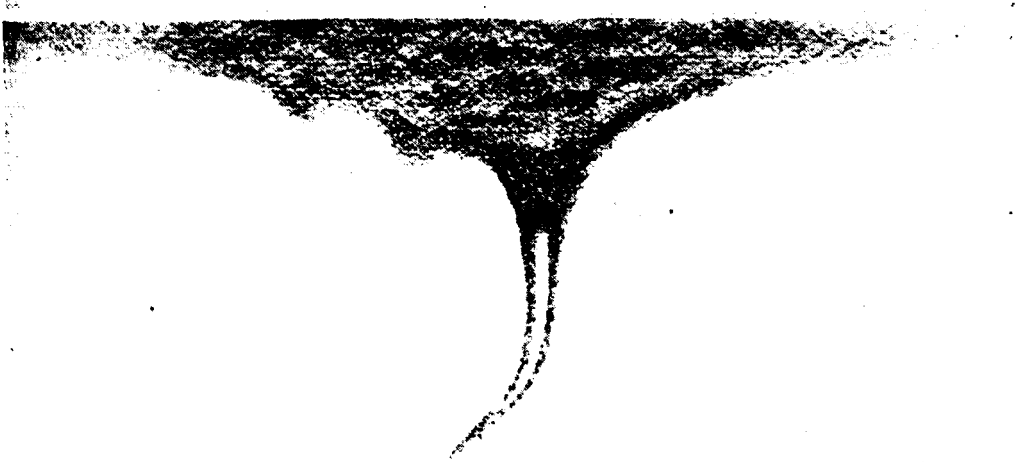
大正六年九月二十七日大阪城附近ヨリ起リタル旋風進路圖



大正六年九月二十七日大阪城附近ニ起リタル旋風見取圖

第一圖

第二圖



第三圖

月日時	大阪ノ氣壓	低氣壓示度	低氣壓位置	高氣壓示度	高氣壓位置	脈動振幅（ミクロン）	振動期	記事
	粍	粍		粍		微	秒	
九月廿七日正午	七五一、二	七五二呂宋ノ東方		七七〇支那北部		一〇	四、八	微ナル脈動間斷ナク現ル
〃 午後六時	七五〇、六	七五〇 〃		七六六 〃		一〇	四、八	
〃 廿八日午前六時	七五〇、九	七四四沖繩嶋南方		七六八 〃		二〇	五、〇	
〃 正午	七五〇、六	七五〇 〃		七六六 〃		三〇	五、〇	
〃 午後六時	七五九、四	七五六 〃		七六四 〃		三〇	五、〇	振幅漸次增大ス
〃 廿九日午前六時	七五八、一	七四〇沖繩嶋南東方		七六四 〃		四〇	五、〇	
〃 正午	七五六、三	七四三 〃		七六四 〃		五〇	五、八	漸次著シク現ル
〃 午後六時	七五四、七	七四〇沖繩島ノ東方		七六四 〃	北海道東方	五〇	五、八	〃
〃 三十日午前六時	七五一、七	七四〇四 國 沖		七六四 〃		七〇	五、八	顯著ナル脈動現ル
〃 正午	七四八、九	七四〇四 國 沖		七六四 〃		九五	六、〇	〃
〃 午後六時	七四四、九	七五六紀伊沖		七六二 〃		一四〇	六、〇	三十日午前後ハ最モ顯著ニシテ振幅二八〇「ミクロン」テ現ハセリ
十月一日午前六時	七四八、六	七三三 編島附近		七六二楊子江		一三〇	六、〇	顯ル顯著ナル脈動現ル
〃 正午	七五四、四	七五六陸奥沖		七六四 〃		九〇	六、〇	著シク現ル
〃 午後六時	七五七、二	七三二オコツク海		七六二 〃		九〇	五、四	著シク現ル
〃 二日午前六時	七五四、一	七四三 〃		七六四本州西部		五〇	五、〇	漸次振幅縮少ス
〃 正午	七五四、四	七四六樺太東方		七六四 〃		四〇	五、〇	〃
〃 午後六時	七五三、三	七五四 〃		七六四本州中部		三五	五、〇	〃
〃 三日午前六時	七五四、五	七五八 〃		七六六本州東部		一五	五、〇	漸次極微トナレリ

堤防決潰（流失又は崩壊）

川名	堤防所在地	延長 流失	延長 崩壊	延長 欠潰	其時間
淀川本流右岸	三島郡大冠村字大塚	三〇〇間	六〇間	二〇〇間	十月一日午前八時
芥川左岸	三島郡大冠村字番田	三〇			十月一日午前五時
芥川右岸	三島郡如是村字芝生	一六〇	六〇	一〇〇	十月一日午前五時
安威川右岸	三島郡味生村大字味生下山田川合流所上流	三〇			十月一日午前十時
	三島郡味生村大字味生下山田川合流所下流	三〇	一〇	二〇	十月二日午前五時二十分
	三島郡岸部村字南字正戸	一六			十月二日午前三時
神崎川左岸	三島郡吹田町字竹ノ鼻	三〇			十月二日午前七時
船橋川左岸	西成郡新庄村字下新庄	五〇			十月一日午後十一時十分
天ノ川右岸	北河内郡牧野村字上島	一四〇			不明
淀川右岸	北河内郡牧野村字禁野	二〇			不明
	西成郡福村及稗島村	一		一〇	十月二日午後八時半

此の外橋梁の破壊等多數あるならんも今日迄に判全せしものは以上にして尚詳細は他日再報する所あらんとす（被害は大阪府警察部への報告に據る）

●颱風と地の脈動

技手　圓岡平太郎

九月三十日より十月一日に至る颱風概況は別項に掲載せるが此颱風の通過に際し大阪地方にありては顯著なる地の脈動を描出せり今當所地動計の記象紙に依りて其概況を記せんに颱風の呂宋の東方海上にありたる九月二十七日、正午頃より微なる脈動間斷なく現はれ廿九日朝沖繩嶋の南東方に來たりたる時は振幅四〇「ミクロン」となり爾後漸次に增大し三十日正午頃は振幅九五「ミクロン」を現せしが同日午後六時頃より急に增大し同夜半前後は頗る顯著となり最大振幅二八〇「ミクロン」に達し後數時間は尚顯著なりしも漸次に振幅縮少し三日午前六時頃より極微となり消失せり

今九月二十七日より十月三日に至る地の脈動並に低氣壓の位置を表記すれば左の如し

北河内郡　三箇町村

延長約六里、巾（廣き所約一里／狹き所約十五丁）

罹災戸數

郡別	流失	倒壊	浸水
三島郡	五二	二三	五、〇四六
西成郡	八	一五	一〇、〇三三
北河内郡	一六	二八	二七九
合計	七六	六六	一五、三五八

罹災民概數

郡別	人口
三島郡	一六、〇〇〇人
西成郡	四八、〇〇〇
北河内郡	一、〇〇〇
合計	六五、〇〇〇

死傷者數

死者	負傷者	行衛不明	微傷者	合計
一	一	三	一八	二三

浸水程度

郡別	町歩
三島郡	四千町歩
西成郡	千六百町歩
北河内郡	三百二十町歩
合計	五千九百二十町歩

鐵道、軌道の被害

種別	區間	被害程度	復舊日
官線鐵道	大阪、吹田間	浸水故障ノ爲不通十廿月五日開通	
京阪電車軌道	枚方、京都間	仝	上十月十八日開通
阪神電車軌道	神島、大和田間	仝	上十月六日開通
箕有電車軌道	三國、十三橋間	仝	上十月七日開通

但し十月十一日の暴風雨にて再び不通となる

被害反別

郡名	地名	水位
北河内郡	枚方附近	十尺
三島郡	高槻附近	十七尺
仝	茨木附近	十五尺
仝	吹田附近	十七尺
西成郡	柴島附近	七尺
仝	十三橋附近	八尺
仝	傳法附近	十一尺

堤防を破潰するに至れり續て支川の堤防崩壊し一大洪水となり沿岸地方即ち三嶋、西成郡は最も甚しき慘狀を呈せり

今淀川流域各地の雨量を記すれば左の如し

淀川本流

地名＼月日	九月二十八日	九月二十九日	九月三十日	合計
草津	一一、〇	五三、〇	一二六、〇	一九〇、〇
大津	七、五	九三、九	九四、八	一九六、二
醍醐	七、二	七二、七	九八、〇	一七七、九
伏見	六、五	八一、五	七七、五	一六五、五
枚方	六、五	五五、〇	九三、〇	一五四、五
大阪	四、〇	七七、一	七〇、三	一五一、四
平均	七、一	七二、二	九三、三	一七二、六

淀川支流桂川

地名＼月日	九月二十八日	九月二十九日	九月三十日	合計
山国	一八、二	五六、〇	八五、八	一六〇、〇
園部	一二、二	七七、〇	七一、二	一六〇、四
龜岡	一二、三	六二、〇	八八、〇	一六二、三
太秦	七、二	八二、四	七一、六	一六一、二
大原	八、八	五七、九	五九、一	一二五、八
京都	七、〇	八三、〇	六三、〇	一五三、〇
平均	一一、〇	六九、七	七三、一	一五三、八

淀川支流木津川

地名＼月日	九月二十八日	九月二十九日	九月三十日	合計
上野	二、〇	七二、〇	一四一、〇	二一五、〇
名張	三〇、一	八七、三	一九三、〇	三一〇、四
大河原	七、三	一二三、〇	九一、五	二二一、八
木津	五、五	七三、二	一一七、二	一九五、九
田邊	八、一	九八、八	九一、七	一九八、六
平均	一〇、六	九〇、九	一二六、九	二二八、三

上に記するが如く淀川本流を始とし支流なる桂川、木津川の流域にも多量の降雨ありたるが故に此三川より本府管内の淀川に流入するが故に非常に水位激増し本府管内淀川の入口なる嶋本村大字廣瀬の量水標は十九尺五寸を示せり之れを明治十八年七月二日の大洪水の最高水位十八尺二寸に比すれば一尺三寸高く又明治二十九年九月四日の大洪水の最高水位十八尺一寸に比すれば一尺四寸高く當所出水豫報開始以來の最高水位とす

今回の洪水被害は今尚浸水中にあるが故に完全なる調査をなす能はざるも今日までの報告に依れば概略左の如し

災害區域面積	
三嶋郡	十五箇町村
西成郡	十三箇町村

東にて毎秒速度四乃至五米なりしが三十日午後八時より強風となり同十時には烈風となり十一時最も強く毎秒速度二十四米三に達し十月一日午後一時まで斷續せり其時數は十時間にして內強風六時間烈風四時間なり雨は二十九日午前三時二十五分より降り始め繼續して十月一日午前一時二十八分に至り歇む其雨量は二十九日に二十九粍七、三十日に百十六粍一、十月一日に二粍五總計百四十八粍三にして就中三十日午後六時より七時までの一時間に十粍八、同九時より十時までの一時間に十三粍三を豪注せり

之れを要するに今回の颱風襲來に際し大阪地方にては比較的強烈風は長からざりしが降雨頗る多く淀川上流地方にも亦多量の降雨ありし爲め淀川其他の堤防破潰し沿岸地方は家屋田畑の浸水多く大慘害を被れり（別項出水概況參照）

更に每時觀測の結果を記すれば左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	降水量	天氣
九月三十日	午後七時	七四二、八	一九、六	北	五、六	一〇、八	雨
仝	八時	七四三、三	二〇、四	北	二、五	五、七	雨
仝	九時	七四〇、九	二〇、〇	北	二、七	六、三	雨
仝	十時	七四〇、六	一九、七	北	一九、八	一三、三	雨
仝	十一時	七三九、三	一八、四	北々西	二四、三	四、六	雨
仝	夜半	七四〇、一	一八、三	北	一八、三	四、〇	雨
十月一日	午前一時	七四一、七	一九、三	西	八、三	二、四	雨
仝	二時	七四二、八	二〇、〇	西南西	二、三	〇、二	雷
仝	三時	七四三、七	二〇、四	西南西	二、三	—	雷
仝	四時	七四五、八	二〇、八	西	九、五	—	暴
仝	十月一日	午前五時	七四七、二	西	二、〇	—	暴
仝	六時	七四八、六	二〇、七	西	九、八	—	暴
仝	七時	七四九、九	二一、〇	西	二、六	—	暴
仝	八時	七五一、三	二一、五	西	八、三	—	暴
仝	九時	七五二、六	二一、四	西	九、四	—	暴
仝	十時	七五三、八	二一、六	西	九、七	—	暴
仝	十一時	七五四、三	二二、〇	西	九、七	〇、〇	暴
仝	止午	七五四、四	二四、四	西南西	八、五	〇、二	晴
仝	午後一時	七五四、三	二四、二	北西	一〇、三	—	晴

●暴風雨と淀川の水位附被害概表

技手　萩原美三夫

本年九月三十日より十月一日に至る暴風雨は前項に記せしが如く頗る優勢なるものにして東京附近は風雨最も強かりしが大阪地方は暴風長からざりしが故に風害は大したることなかりしも降雨多く特に淀川上流地方は一層多量なりしを以て遂に淀川の

●九月卅日より十月一日に至る暴風雨概況

技手　大橋龍太郎

九月二十四日南洋「パラウ」群嶋の北方洋上に顯はれたる颱風は最初北西に徐行せしが二十七日進路を北東に轉じ二十八日朝沖繩嶋の南方洋上に來り琉球列嶋に暴風雨を起し漸次に發達し其中心示度は七百三十粍以下に下降し三十日夕紀州潮岬の南方三十里許の所を通過し駿河灣に入り沼津の南東方に上陸して東京の北方を通過し十月一日朝福嶋附近に到り二日の朝は北海道を貫き阿哥斯克海に去れり其經路に最も近き沼津にては十月一日午前二時三十分最低氣壓七百十四粍三に達し東京にては同日午前三時風速度毎秒三十九米五に達し同三時三十分氣壓七百十四六に下降せり

此颱風經路に當る各地の最低氣壓と最大風速度を記すれば

地名	氣壓 最低	氣壓 仝上起時	風 最大速度	風 仝上方向	風 仝上起時
大阪	七三九、三	午後十一時〇分	二四、三	北北西	午後十一時〇分
濱松	七二〇、六	午前零時四十五分	二六、三	東	夜半
沼津	七一四、三	午前二時三十分	二五、九	南西	午前四時三十分
東京	七一四、六	午前三時三十分	三九、六	南南東	午前三時〇分
銚子	七三〇、九	午前四時〇分	五〇、八	南南東	午前五時三十分
水戸	七二二、四	午前四時二十分	三八、一	南南東	午前四時四十分
石卷	七二一、三	午前七時十九分	三四、五	東	午前六時三十分
富古	七二四、四	午前八時三十分	三五、八	南	午前八時四十分
函館	七三〇、六	正午	二四、〇	西南西	午後六時〇分

上記の如く此颱風は頗る優勢なるものなるが故に經路に當る各地に暴風雨を起し家屋墻塀の倒壞、堤防の破潰等尠からず沿海地方は海嘯を起し非常なる風水害を釀せり大阪にては二十六日夜氣壓七百六十二粍九の高度を示せしが二十七日より漸次氣壓下降し二十七日夜半より二十八日夜半までに一粍九、二十八日夜半より二十九日夜半までに六粍一降り三十日午前十時過より下降急となり午後七時過より倍々下降し同十一時七百三十九粍三の最低氣壓に達し後漸次に上昇せり風は二十八日來北乃至北

感じたり

一三六　九月十二日午前五時三分四十二秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分四十六秒にして主要動となり最大振幅は午前五時五分七秒に於て十七「ミクロン」振動期三秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は十分五十七秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は淺間山麓に發したるものにして震域南東方は横須賀に南方は沼津邊に西方は伏木附近に達し長野にては性質急なる微震を感じたり

一三七　九月十二日午後十時四十六分二十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分二十四秒にして主要動となり最大振幅は午後十時四十八分五十一秒に於て十八「ミクロン」振動期四秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は十分三十三秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は房總沖に發したるものにして震域北方は岩代の福島に西方は駿河の沼津附近に達し長半徑六十五里短半徑五十里を有し有感覺微震部は一萬二百十方里にして八丈島、横濱、水戸、筑波にては微震を感じたり

一三八　九月二十日午前十一時五十一分十五秒の地震

此地震は緩微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は東西動は午後零時二十七分十秒に於て五「ミクロン」振動期十四秒四、南北動は午後零時二十一分五十八秒に於て十「ミクロン」振動期十六秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時二十八分三十五秒南北動は一時二十三分五十九秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならず

一三九　九月二十一日午後八時四十二分五十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十二秒にして主要動となり最大振幅は午後八時四十四分十七秒に於て十二「ミクロン」振動期四秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は八分十八秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は本州東海岸に發したるものにして水戸にては人身に感覺なきも地震計に感じたりと云ふ

一四〇　九月二十五日午前五時十五分五十二秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は九分五十八秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前五時二十九分十五秒に於て十七「ミクロン」振動期九秒一南北動は午前五時二十九分四十秒に於て二十「ミクロン」振動期九秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は四十七分五十七秒南北動は五十分二十五秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならず

曇相半す●二十一日概ね曇天所々に微雨あり●二十二日晴曇相半す●二十三日概ね晴天なりしが午後に至り所々に雷雨あり大阪に強風吹けり●二十四日晴曇相半し午後に至り一般に雨降り所々に雷鳴あり大阪に強風吹けり●二十五日晴曇相半し時々降雨を瀉らし午後に至り所々に雷鳴あり●二十六日概ね雨天●二十七日晴曇相半し所々に雨降れり●二十八日概ね晴天なりしが午後より雨降り翌日に亘る●二十九日前日來の降雨時々大雨を交へ翌日に亘る●三十日前日來の降雨時々大雨を交へ翌日に亘る一般に強風吹けり

大阪地震觀測概況

茲に記する所のものは主として大森式地動計(東西及南北動二十倍)を以て觀測したるものを記し、極微なる地震にありては百廿倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如しP は第一初期微動の發震時、S は第二初期微動全上、L は長波即ち主要部全上、M は主要部の最大動、C は終期の最大動、F は振動の終とす又(一)は南北動にありては北、東西動にありては東、(一)は南北動にありては南、東西動にありては西なり振幅は「ミクロン」(粍の千分一)を以て記す

本月は地震少く且つ微弱なるものにして其數七回あり而して人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感じたるものも亦た一回もなかりしが無感地震にして地動計又は微動計に感じ其震源本邦内にありたるものは五回即ち本州東海岸、房總沖、筑波山附近、淺間山麓各一回震源未詳一回なり又遠距離地震は二回にして未だ震源は詳ならず今其觀測概況を列記すれば左の如し

一三四　九月三日午前二時三十三分三十四秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前二時卅四分四十九秒に於て五「ミクロン」振動期三秒五を現し全振動時間は七分十五秒なり(南北動微動計百廿倍の觀測)

附記　此地震は極微にして未だ震源詳ならざれども關内附近に發したる微震なるべし

一三五　九月四日午前十一時四十二分二十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十七秒にして主要動となり最大振幅は午前十一時四十四分零秒に於て五十二「ミクロン」振動期三秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は十分二十六秒なり(南北動微動計百二十倍の觀測)

附記　此地震は筑波山附近に發したるものにして震域廣く北方は北海道に西方は丹後の宮津邊に達し長半徑四十五里短半徑三十里を有し前震部は一千八百八十方里有感覺微震部は四千二百四十方里にして東京、横濱、熊谷、宇都宮等にては微震を

十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	全月
·	—	—	—	—	—	三、一	一四、三	三一、五	一四、六	—	七、五	九五、八	七二、二	三六三、〇
—	—	—	—	—	—	二〇、〇	三三、四	一七、〇	七、五	—	四、五	八五、〇	八六、〇	三六〇、七
—	—	—	—		—	三四、〇	二、五	三三、一	四、〇	—	五、八	九二、〇	一〇〇、〇	三九五、六
—	—	—	〇、一	—	—	三三、〇	四、三	三三、〇	九、九	—	六、三	七一、〇	一〇八、三	三四〇、七
—	—	—	—	—	—	二五、四	一一、〇	〇、八	〇、七	—	一、二	四八、五	八〇、二	[illegible]
—	—	—	—	—	—	二四、〇	三、七	二、七	八、八	—	四、二	七七、〇	九五、七	[illegible]
—	—	—	一、〇	—	—	一五、三	一四、五	五、〇	[illegible]	—	六、〇	八二、八	八八、〇	[illegible]
—	—	—	〇、一	〇、〇	—	一七、三	二八、〇	六、五	一四、三	—	四、〇	七七、一	七〇、三	[illegible]
—	—	—	〇、一	—	—	一七、四	一七、四	?	二〇、〇	—	四、五	六五、〇	六五、〇	[illegible]
—	—	—	〇、四	—	—	一七、〇	三〇、五	八、五	一〇、〇	一、三	五、〇	八〇、三	五〇、〇	[illegible]
—	—	—	—	—	—	一〇、八	一六、五	五、八	二、六	四、五	四、八	七四、八	五八、六	[illegible]
—	—	—	一、三	—	—	九、七	四、五	二〇、五	〇、一	—	九、七	六四、〇	六三、〇	[illegible]
—	—	—	一、〇	—	—	三三、二	一一、三	一六、四	三三、三	〇、三	一三、〇	四三、〇	八五、〇	[illegible]
—	—		一五、〇	—	—	一二、〇	七、〇	一八、〇	二四、三	〇、八	一三、〇	八〇、一	四九、〇	[illegible]
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	一〇、〇	一三、三	一三、〇	二、五	四、五	八、一	八二、三	四六、五	[illegible]
—	—	—	〇、九		—	九、三	一四、二	二四、七	一三、〇	—	六、五	五五、〇	九二、〇	[illegible]
—	—	—		—	—	一七、五	一、〇	八、〇	二一、〇	三、六	七、〇	一一〇、〇	九八、五	[illegible]
—	—	—	〇、一		—	四、五	二四、五	三、〇	一三、一	九、六	九、一	五八、〇	一三四、一	[illegible]
—	—	—	〇、一	—	—	三九、〇	一八、〇	六、五	三、〇	〇、五	五、九	七五、八	一二四、〇	[illegible]
—	—	—	—	—	—	八二、五	二、八	一九、四	五、〇	—	三三、〇	九〇、〇	一五二、五	[illegible]
—	—	—	—	—	—	六八、〇	一、八	二九、〇	二、五	六、〇	八、五	六〇、〇	一五三、五	[illegible]

管內天氣摘要

●一日概ね晴天大阪、新庄、天王に雷鳴あり妙見山に濃霧所々に驟雨あり●二日概ね曇天所々に雨降り雷鳴あり●三日概ね晴天所々に驟雨あり●四日晴曇相半し所々に驟雨雷鳴あり大阪に強風吹けり●五日東部を除く外一帶に未明雷雨あり後概ね曇天妙見山に濃霧あり●六日晴曇相半し新庄に濃霧あり●七日概ね晴天●八日晴曇相半し時々驟雨あり大阪に強風吹けり●九日概ね雨天翌日に亘りし所多し●十日前日來の雨午前歇み妙見山に濃霧あり●十一日概ね曇天なりしが午後に至り雨降る秦野、柏原に強風吹けり●十二日未明少雨ありしも後概ね晴天●十三日概ね雨天●十四日概ね雨天●十五日前日來の雨午後歇む●十六日概ね雨天大阪に強風吹けり●十七日未明所々に驟雨ありたれども後概ね晴天●十八日概ね晴天●十九日概ね晴天●二十日晴

第四表 管內降水日量

	田原	八尾	柏原	富田林	長野
	二八、九	三〇、一	二九、五	二九、三	二八、〇
	一九、三	二〇、三	二〇、三	一九、六	一九、四
	二四、一	二五、三	二四、九	二四、五	二三、九
	▲一、六	▲一、五	▲一、四	▲一、一	▲〇、九
	三三、八	三四、〇	三三、五	三三、九	三二、五
	一	一	四	四	四
	一四、三	一六、〇	一五、九	一五、七	一五、六
	一九	二〇	一九	一九、一八	二〇
	四二三、二	三八四、九	三九七、六	五三〇、四	五一七、六
	▲一九六、一	▲二一一、〇	▲二三六、四	▲二三七、九	▲三〇五、八
	一一〇、〇	一二四、〇	一二四、〇	一五二、五	一五三、五
	二九	三〇	三一	二〇	三〇
	二五、七	二六、七	二六、七	二五、五	二五、三
	八〇	七五	七九	八八	七九
	六、〇	五、[illegible]	六、七	七、一	五、九
	南	南西	北	西	北
	一九	二[illegible]	二〇	一七	一八
	〇	[illegible]	〇	〇	〇
	〇	〇	〇	〇	〇
	〇	〇	〇	〇	〇
	〇	〇	〇	〇	〇
	一	三	四	一	三
	〇	〇	〇	〇	〇
	六	一四	九	六	二
	一三	一三	一九	一八	二
	一	一	三	一	一

八月	一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日
深日	—	—	—	二、七	—	—	—	—	六、三	—	—	一六、〇	一九、三	二五、〇	二八、九	—
上之鄉	〇、〇	—	—	二三、五	—	—	—	〇、〇	二、〇	—	—	一七、〇	二四、〇	五二、八	二七、五	一、四
岸和田	〇、一	—	—	五九、〇	—	—	五、〇	六、三	八、〇	—	五、〇	一四、〇	三一、三	二九、〇	一三、六	五、三
長承寺	—		〇、一	三〇、五	—	—	〇、三	四、一	七、〇	—	三、七	一一、九	一五、三	三三、二	八、〇	二、八
濱寺	〇、一	[illegible]	—	二九、五	—	—	—	二、〇	六、一	三、三	二、九	二、三	二八、三	二四、〇	—	三、四
堺	〇、〇	—	—	四一、五	—	—	〇、三	三、三	一三、三	—	一〇、六	三、四	一〇、四	三〇、〇	二一、五	五、四
天王寺	—	—	—	三六、〇	—	—	〇、三	三、二	一四、六	一、〇	一四、五	二、〇	一九、〇	五〇、〇	一三、五	三、〇
大阪	〇、五	六、三	〇、〇	三六、八	—	—	〇、三	三、二	一三、五	〇、二	一〇、六	二、四	一三、九	五〇、二	四、三	四、七
福島	—	一、八	〇、八	二七、〇	—	—	〇、二	五、八	八、四	〇、七	一二、〇	二、七	一五、〇	五六、一	八、〇	一三、五
新庄	五、八	五、二	〇、三	二七、三	—	—	[illegible]	二〇、〇	九、〇	〇、七	一五、二	三、〇	一五、三	四五、〇	七、五	六、一
秦野	〇、一	—	〇、三	二四、四	—	—	〇、三	一八、七	一二、一	—	二、五	一〇、四	一二、六	三八、五	四、二	四、〇
妙見山	四、五	一六、〇	—	三六、五	—	—	—	三四、三	一三、〇	—	一、〇	二、五	一六、〇	五〇、〇	一二、四	七、三
東鄉	五、一	一四、八	〇、三	一九、八	—	—	〇、五	四〇、〇	八、七	—	〇、七	四、一	一四、四	四四、八	一〇、〇	五、〇
天王	三、〇	一、〇	一五、〇	七、〇	一、二	—	—	二、〇	一六、三	〇、三	二、七	〇、五	一三、八	三〇、二	六、六	三、五
茨木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
清水	五、五	一〇、〇	—	三七、一	—	—	六、三	三九、七	一五、〇	—	一一、二	一三、[illegible]	九、七	四六、一	二七、五	四、三
枚方	一、二	—	〇、一	三七、〇	—	—	—	六、八	一五、〇	—	一、五	四、〇	一三、〇	五〇、〇	一四、五	五、〇
田原	二、七	〇、九	—	三八、〇	—	—	—	—	二、八	〇、六	一、〇	一、六	一五、八	七一、〇	四、八	八、四
八尾	一、〇	〇、七	—	三四、〇	—	—	—	—	一七、〇	〇、三	五、八	三、〇	二八、五	三三、〇	一〇、〇	六、六
柏原	〇、三	—	—	三三、九	—	—	一、〇	一、七	一二、二	—	四、三	〇、三	二八、六	一六、五	二〇、八	六、三
富田林	—	—	—	五四、八	—	—	六、五	一、〇	八、一	二、四	—	三、〇	五三、五	二三、五	八、五	一〇、〇
長野		—	—	三三、二	—	—	一、五	一、〇	六、四	—	二四、五	七、〇	六四、五	二八、八	一七、〇	四、四

三十粍五、八尾は一時間に二十四粍五を降下し大阪にても　一時七分間に二十二粍六の降雨ありたり

第三表　管内全月氣象觀測成績

（表中▲印は高又は多）

觀測所	空氣ノ温度 平均最高	平均最低	平均本年	平均平年比較	最高極	起日	最低極	起日	降水 總量本年	總量平年比較	最多日量	起日	氣象臺（柏原八尾九鬼） 氣温	濕度	雲量	最多風向	天氣日數 降水	雪	霰	雹	霜	雷電	地震	快晴	晴天	暴風
深日	二八、九	二二、二	二二、一▲	一、四	三三、七	一四	一六、九	一九	二六、〇▲	一五八、四	九五、八	二六	八、〇	六、七	六、七	北東	一三	〇	〇	〇	〇	二	〇	七	一八	二
上之郷	二八、三	二〇、七	二一、七	—	三三、五	一四	一六、三	一九	二三〇、七	—	八五、〇	二五	七、九	六、八	五、八	北	一四	〇	〇	〇	〇	二	〇	七	一五	二
岸和田	二八、〇	二〇、七	二四、五▲	一、二	三三、六	一四	一六、二	一九	二五五、六▲	三一、九	一〇五、〇	二五	七、四	六、六	五、八	北	一八	〇	〇	〇	〇	二	〇	九	一三	二
長承寺	二八、八	二〇、二	二四、五▲	一、二	三三、四	一四	一五、六	一九	二四〇、七▲	一六〇、〇	八五、三	二六	七、九	六、六	六、〇	北東	一九	〇	〇	〇	〇	一	〇	一二	一三	二
濱寺	二八、一	二〇、二	二四、二	—	三三、〇	一四	一四、九	一八	二三八、八	—	八三、一	二五	七、四	七、四	六、六	東	一八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四	一八	三
堺	二八、九	二〇、八	二四、九▲	一、〇	三三、〇	一四	一六、五	一五	二五三、七▲	一八五、〇	九五、七	二五	七、九	六、五	五、九	東	一七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	七	一七	二
天王寺	二八、三	二〇、五	二四、四▲	〇、五	三三、九	一四	一六、五	一五	二五二、八▲	二〇三、六	八八、〇	二五	七、九	六、六	五、八	西	一八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	八	一五	二
大阪	二九、〇	二一、一	二五、〇▲	〇、四	三三、二	一一	一六、〇	一五	二五〇、四▲	一七五、八	七七、一	二五	七、四	七、四	五、九	北北東	二二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四	一八	二
疇島	二九、三	二一、一	二四、七▲	〇、四	三三、八	一四	一五、三	一五	二五〇、四▲	一九一、〇	八五、〇	二五	七、一	七、一	五、九	北東	二二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五	一五	二
新庄	二八、四	二〇、三	二四、四▲	〇、九	三三、〇	一四	一五、五	一五	二五四、五▲	一八四、五	八〇、二	二五	七、一	七、一	五、九	北東	二一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	六	一五	二
秦野	二八、三	二〇、九	二四、一▲	〇、六	三三、一	一四	一四、六	一九	二三〇、五▲	九九、六	七四、八	二五	七、八	六、八	五、九	北東	二〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五	一九	二
妙見山	二三、六	一六、七	一九、六▲	〇、四	二七、一	一七	一一、九	一五	一六六、一▲	一六三、一	六四、〇	二五	九、九	六、八	六、〇	南	一九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	一六	二
東郷	二六、六	一八、七	二二、四▲	〇、三	二九、六	七	一三、三	一九	二四五、四▲	二一〇、一	八五、〇	二五	七、九	七、七	七、七	北	一三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四	一六	二
天王	二三、七	一七、二	二〇、一▲	〇、五	二九、〇	五	一二、〇	一九	二三七、九▲	二〇八、六	八五、三	二五	八、六	七、六	七、九	南	二三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三	一七	一
茨木																										
清水	二七、六	一九、四	二三、五▲	〇、四	三二、六	四	一五、三	一九	二三四、三▲	二一八、五	八三、二	二五	八、三	七、六	七、六	北	二〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三	一三	二
枚方	二〇、二	一九、七	二四、九▲	一、〇	三四、〇	二一	一六、〇	一五	二六四、七▲	一三二、七	九三、〇	二五	二六、二	七、三	六、七	北	一九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四	一二	一

高三十四度〇より最低十一度九の間にありて其較差は二十二度一に達せり

降水

總量は東部富田林の五百三十粍四同長野の五百十七粍六より南部濱寺の二百六十八粍八の間にありて之を平年に比すれば概ね二倍以上にして南東部の如きは約三倍に達せんとする多量を降下せり而して日量の最多は三十日の豪雨の際にありて其最も多きは長野の百五十三粍五、富田林の百五十二粍五にして之れに亞ぐは八尾及柏原の百二十四粍〇、田原の百十粍〇、長承寺の百八粍三、岸和田の百粍〇等にして九十粍以上なりしは深日、堺、枚方の三ケ所八十粍以上なりしは上之郷、濱寺、天王寺、新庄、東郷天王、清水の七ケ所七十粍以上なりしは大阪、秦野の二ケ所にして東郷は最も少なく六十四粍〇なり

雷雨

本月中に雷雨を觀測したるは十回にして屢々強雷を觀測したれども落雷を伴ひたるものは二回に過ぎず左に稍々顯著なるものを記せんに

九月二日午後三時過大阪市の北方より來りて淀川を遡上し北東方に進むに從ひ倍々優勢となり強雷大雨を伴ひ枚方町に落雷し尚北東方に經過せり此の雷雨の通過に際し枚方にては四十五分間に十八粍降雨ありたり

五日午前三時過攝津の山間より來り南下するに從ひ稍々強雷となり尚進んで遂に消散せり此の雷雨は雷の強からざりし割合に降雨多く大阪は三時四十八分間に三十六粍八、堺は三時二十分間に四十一粍五、岸和田は四時間に三十九粍長承寺は三時三十分間に三十五粍、新庄は一時五十分間に三十七粍三を豪注し和泉の南端は二十二粍内外なり二十三日午後二時過河内南部の山間より來り北西に進行し南河内郡を通過する際最も強く富田林附近には落雷ありて震死者一名を出し且つ豪雨を齎らし富田林にては二時二十五分間に八十二粍五を豪注し長野にても四時間に六十粍の大雨を降下せり然れども北上するに從ひ次第に勢を減じ大阪の東方を通過せるときは左のみ強からず雨も僅か六粍四に過ぎずして攝津北部に至り消散せり

二十四日午後六時過攝津北部より來り南東方に進行したれば其經路附近なりし秦野、新庄、八尾等は强雷となり且つ大雨を伴ひ秦野は二十分間に十六粍五、新庄は二時十分間に

廿九日	一九、三	三三、六	二三、九	二四、八	二三、二	二七、四	午前一時廿五分より降雨斷續し翌日に亘る
三十日	二八、八	二一、四	三三、五	二三、五	二四、六	二六、二	前日來の雨終日降り續き翌日に亘る、午後八時より後半迄強風吹けり
全月	二四、六	二三、五	二三、九	二六、二	二三、九	一九、二	

大阪府管內氣象概況

前既に詳記せるが如く九月は暑候より寒候に遷らんとする所謂氣候變遷期なるを以て月の上半は夏季の狀態を呈し高温連日に亘れども下半は漸次秋季の狀態に遷り冷氣を催ふし降雨は前月に比すれば著しく增加するを常とす而して本年九月の氣候を調査するに上半月は温暖にして最高氣温は西部枚方及東部八尾に於て三十四度〇を示し下半に入りては頓に冷氣を催ふし北部妙見山は十一度九同天王は十二度〇に下降せり又降雨は上半月及下旬に多く特に三十日颶風の襲來したるときの降雨は二十八日夜より翌十月一日未明に亘り其總量の最多は東部富田林にして二百六十五粍五（一坪の地面に四石八斗五升余の水を撒布したるに當る）之れに亞ぐは同長野の二百二十二粍〇にして大阪附近は百五十粍余、最も少なきは南部濱寺附近にして百三十粍（一坪の地面に二石三斗八升の水を撒布したるに當る）近來未曾有に屬する豪雨なりしかば本府各河川の水位は激增し至る所に水害を起し遂には淀川の堤防を破りて悲慘なる災害を釀すに緣れり要するに本月は氣温稍々高きも降水量非常に多く不順の裡に經過したるものなり更に項を別ちて氣温、降水量雷雨等を詳記するは左の如し

氣温

平均は東部八尾の二十五度二、南部深日の二十五度一より北部妙見山の十九度六の間にありて之れを平年に比すれば一般に一度內外の高温を呈せり而して最高は概ね四日に現はれ西部枚方、東部八尾の三十四度〇を高極とし東部富田林の三十三度九之れに亞ぎ其他は三十三度乃至三十二度を示せしも北部の山間は三十度に達せず妙見山の如きは二十七度一に過ぎず又最低は概ね十五日乃至十九日に現はれ北部妙見山の十一度九同天王の十二度〇を低極とし同東郷の十三度三東部田原の十四度二之れに亞ぎ其他は十五度乃至十六度を示せり之れを要するに本月の氣温は最

四日	二九、五	二八、六	二八、三	二八、三	二六、八	二三、九
五日	二六、三	二七、〇	二七、五	二七、六	二七、〇	二〇、四
六日	二七、二	二七、五	二七、七	二七、七	二六、九	二〇、八
七日	二八、二	二八、三	二八、二	二八、二	二六、九	二一、四
八日	二七、二	二八、二	二八、四	二八、五	二七、〇	二一、九
九日	二二、八	二六、二	二七、四	二八、一	二七、一	一九、二
十日	二三、〇	二四、四	二五、六	二六、七	二六、八	一八、三
十一日	二四、二	二五、一	二五、五	二六、一	二六、四	二〇、六
十二日	二七、四	二六、六	二六、三	二六、四	二六、二	二一、四
十三日	二四、九	二六、三	二六、七	二七、〇	二六、三	二一、四
十四日	二六、〇	二六、五	二六、六	二六、八	二六、三	一八、六
十五日	一九、一	二三、六	二四、七	二四、九	二六、一	一四、九
十六日	二三、三	二三、四	二三、九	二四、四	二五、五	二〇、〇
十七日	二三、六	二四、四	二四、六	二四、八	二五、三	一五、九
十八日	二一、七	二三、六	二四、三	二四、九	二五、二	一五、〇
十九日	二三、〇	二三、六	二四、一	二四、七	二五、一	一五、七
二十日	二四、三	二四、六	二四、七	二五、〇	二五、〇	一七、四
廿一日	二四、〇	二五、一	二五、三	二五、五	二五、一	一八、三
廿二日	二四、〇	二四、五	二四、九	二五、三	二五、二	一七、八
廿三日	二四、六	二五、三	二五、三	二五、五	二五、二	一八、七
廿四日	二四、〇	二五、四	二五、六	二五、七	二五、三	二〇、四
廿五日	二四、一	二五、二	二五、五	二五、七	二五、四	一九、五
廿六日	二三、四	二四、六	二五、〇	二五、五	二五、三	一九、八
廿七日	二五、一	二五、三	二五、三	二五、四	二五、二	一八、八
廿八日	二三、九	二四、五	二五、一	二五、五	二五、二	一七、六

午前二時五分より全二時七分まで及午後五時五十五分より全六時十五分迄微雨、午前四時五十分より全五時十五分迄月暈現る、午後四時三十分西方に電光起り全五時四十分より電雷となり南東に廻り全七時四十分收聲、午後五時強風吹けり

午前零時四十分より降雨時々大雨を交へ斷續し午前九時卅五分歇む、午前三時五十四分北西方に電雷起り西を經て南方に廻り全六時四十分收聲す夜薄露あり

朝露あり、午前一時五十分より全四時五十分迄霧あり、夜露あり

朝露多し夜薄露あり

朝露あり午前零時五分より全十七分迄月暈現る、午前五時十二分より全六時三十五分迄小雨、午前五時二十八分より全五時四十三分迄虹霓現る、午前十時五分より降雨斷續し午後八時十八分歇む、午後四時強風吹けり

午前七時五分より小雨斷續し翌日に亘る

前日來の雨斷續し午後零時五十分歇む

前日來の雨時々大雨を交へ斷續し午後五時五十二分歇む

午前四時五十六分より全五時二十分迄小雨、夜薄露あり

朝露あり、午前五時三十八分より全六時五十分迄薄霧あり、午前六時三十分より降雨斷續し午後十時廿五分歇む

午前三時四十分より全五時三十八分迄小雨、午後十一時二十三分より又小雨となり翌日に亘る

午後零時五十分より全一時五十五分迄日暈現る

前日來の降雨斷續し午後四時四十分歇む、午前十時強風吹けり

午前一時乃至六時強風吹けり、午前十時十分より小雨斷續し午後三時五十八分歇む

午前一時三十八分より小雨斷續し全五時廿七分歇む、夜露あり

朝露あり、午前十一時四十五分より午後三時廿分迄日暈現る、夜露あり

朝薄露あり

朝露あり

午前六時三十五分より小雨斷續し全十時三十五分歇む、夜薄露あり

朝薄露あり、午後九時五分より全十時廿分迄北方に電光あり、夜露あり

朝露あり、午後二時三分南東方に電光起り全五時十八分電雷となり午後五時四十分收聲す、午後四時十二分より小雨斷續し午後六時三十分歇む、午後七時三分より全十八分迄月暈現る午後四時強風吹けり

午前零時三分より全七時五十八分迄小雨斷續し午後六時廿五分より時々大雨を交へて斷續し午後十一時四十分歇む、午後六時廿分北西方に電雷起り北より東に廻り午後八時二十四分收聲す午後七時強風吹けり

午後零時四十八分より全一時十五分迄南東方に雷鳴起れり午後一時八分より小雨斷續し全十時四十分歇む、午後七時五十分南方に電光起り全十時四十分電雷となり午後十時四十五分南方に到り收聲す

午前一時四十六分より小雨斷續し翌日に亘る

前日來の小雨斷續し午前八時四十分歇む

朝薄露あり

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

月	日	地中溫度（平均）地皮十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地溫	諸現象の摘要
九月	一日	二三、五	二七、五	二七、九	二七、七	二三、七	（一日朝薄露あり、午後六時四十分西方に電光起り同七時五十分より電雷となり同七時五十八分收聲す、午後八時四十八分より全九時四十三分まで小雨
	二日	二六、七	二六、三	二七、一	二六、六	二三、九	（二日午前一時七分より同一時廿五分迄月光環現る、午前二時五分より同三時四十分迄薄霧あり、午前七時五十五分より降雨となり時々大雨を交へて斷續し午後六時五十五分より全四十三分迄日暈現る、午後三時廿五分北方に電雷起り全五時三十分北東に遷り全五時四十分收聲す、午後五時廿三分より全五時廿六分まで全五時五十五分より全六時八分迄虹霓現る、午前二時十七分より全二時三十分まで川暈現る、朝露あり、午後八時八分より全九時十四分まで小雨
	三日	二六、五	二六、七	二六、八	二六、七	二三、五	

月	日	氣壓	風向	風速	雨量	氣溫	濕度	雲量	日照時間
九月	一日	三〇、三	北	八、二	一、七	二六、二	八四	七、五	一、六
	二日	三〇、三	北	四、八	一、三	二六、三	八四	七、五	一、六
	三日	三〇、三	南西	三、七	一〇、六	二六、三	八四	七、五	一、六
	四日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	五日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	六日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	七日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	八日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	九日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	十日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	十一日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	十二日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	十三日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	十四日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	十五日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	十六日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	十七日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	十八日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	十九日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	二十日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	二十一日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	二十二日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	二十三日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	二十四日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	二十五日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	二十六日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	二十七日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	二十八日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	二十九日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	三十日	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六
	全月	三〇、三	南西	三、七	一、一	二六、三	八四	七、五	一、六

廿二時	廿三時	廿四時	平均
七六〇、六五	七六〇、五七	七六〇、四九	七六〇、六八
二三、〇六	二二、七七	二二、四八	二四、二六
一七、九五	一七、八八	一七、七二	一八、〇三
八五、〇	八六、二	八六、九	八〇、五
三、〇八	二、七七	二、五八	四、六九
四、一五	三、九〇	三、五六	四、一〇
六、四	五、九	七、〇	七、五
—	—	—	一四四、一〇
二九、一	一一、〇	七、七	三五九、六
二一、七八	二一、五二	二一、三六	二四、五九
二五、七二	二五、五二	二五、三一	二五、五〇
二六、二〇	二六、一五	二六、〇九	二五、八九
二五、三〇	二五、三一	二五、三二	二六、二〇
二五、八六	二五、八六	二五、八六	二五、八九

第二表　大阪每日氣象觀測成績の一

（表中▲印は高又は多）

九月	氣壓 平均	空氣ノ溫度 平均 本年	平均 平年比較	最高	最低	較差	水蒸氣張力 平均	濕度 平均	飽差 平均	風 速度 平均	最大速度	全上方向	最多方向	雲量 平均	日照時數 本年	平年比較	降水量	蒸發量
一日	七六一、四	二七、五	▲ 〇、九	三二、二	二四、八	七、四	二一、二	七九	六、〇	四、〇	九、三	西南西	西	八、〇	七、五	▲ 〇、一	〇、四	三、六
二日	七六一、〇	二六、五	▲ 〇、三	三一、一	二二、八	八、三	二〇、八	八一	五、〇	三、二	七、八	南西	南西	八、二	四、〇	五、五	六、六	四、九
三日	七六〇、〇	二六、一	▲ 〇、八	三二、二	二〇、七	一一、五	一八、九	七六	六、四	三、五	六、三	西南西	北北東	七、四	八、二	〇、九	〇、二	五、四
四日	七五七、八	二七、六	▲ 二、八	三一、九	二四、七	七、二	二三、五	八二	五、〇	四、八	一一、一	南西	南西	九、六	五、六	一、九	〇、〇	五、五
五日	七五九、七	二五、四	〇、二	二九、〇	二一、一	七、九	二〇、一	八四	四、〇	三、二	八、二	西南西	南西	五、八	四、七	三、三	三七、七	三、〇
六日	七六一、二	二六、四	▲ 〇、二	三一、七	二三、三	九、四	二〇、五	八一	五、二	三、四	九、二	西南西	西南西	五、一	七、三	▲ 〇、三	—	五、六
七日	七五九、〇	二七、二	▲ 一、一	三一、八	二三、二	八、六	二一、〇	七四	六、二	三、七	八、五	南西	西南西	二、二	一〇、三	▲ 三、七	—	五、七
八日	七五九、八	二六、二	〇、一	三一、八	二三、六	八、二	二一、〇	七四	四、三	三、〇	一〇、八	南西	北	八、一	四、二	二、一	三、九	四、四
九日	七六四、四	二三、三	三、三	二五、八	二〇、四	五、四	一五、九	七五	五、五	五、三	七、二	北東	北	一〇、〇	〇、三	六、五	〇、八	二、五
十日	七五五、四	二二、一	三、九	二五、〇	一九、二	五、八	一六、八	七五	二、九	五、七	九、八	北東	北東	一〇、〇	〇、二	六、八	一二、〇	三、三
十一日	七六五、七	二四、五	▲ 〇、四	三〇、〇	二一、七	八、三	一八、四	八一	四、六	五、五	七、四	北東	北東	八、八	四、九	〇、三	一〇、三	四、一
十二日	七六二、〇	二六、五	▲ 二、八	三一、六	二三、〇	八、六	二〇、二	八〇	五、五	三、八	七、七	西	北東	五、〇	七、五	▲ 一、〇	〇、一	六、〇
十三日	七六一、一	二四、六	▲ 〇、七	三一、二	二二、三	三、六	二〇、三	八八	二、七	二、七	六、八	南南西	東南東	九、五	—	五、二	一六、六	二、四
十四日	七五九、五	二五、五	▲ 一、五	三一、二	二二、三	九、九	一六、八	七一	七、五	二、九	七、七	北	北	八、八	八、〇	▲ 二、六	〇、三	五、〇
十五日	七五七、四	二〇、一	三、八	二二、八	一六、〇	六、八	一五、六	八九	二、一	七、七	一一、二	北東	北東	九、二	—	六、六	四三、四	四、七
十六日	七五七、〇	二三、四	〇、五	二六、二	二二、一	四、六	一七、三	八一	四、〇	六、六	一一、七	北東	北東	九、〇	—	六、六	三、一	二、四

第一表　大阪每時氣象觀測成績表

九月

時	氣壓平均	氣温平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速度平均	雲量平均	日照時數	降水量	地中温度（平均）地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
一時	三〇、〇八	二三、三五	一七、九八	八八、〇	二、四四	三、一八	七、一	—	九、三	二三、二八	二六、二二	二六、四七	二五、九三
二時	三〇、九四	二三、二七	一七、八八	八八、七	二、一〇	三、二四	七、六	—	九、九	二三、二六	二六、一九	二六、四六	二五、九一
三時	三〇、八五	二三、〇七	一七、七五	八九、二	二、〇九	三、一〇	七、二	—	一九、八	二〇、九九	二五、〇四	二六、四四	二五、九二
四時	三〇、八一	二二、九九	一七、五八	九〇、五	一、八四	三、一五	八、二	—	三一、一	二〇、八七	二五、八〇	二六、四一	二五、九二
五時	三〇、八五	二二、九一	一七、七七	九一、二	一、七〇	三、〇〇	八、八	—	三二、〇	二〇、六八	二五、七二	二六、四一	二五、九二
六時	三一、〇二	二二、九一	一七、九三	九一、四	一、六四	二、九六	九、一	—	一四、二	二一、五一	二五、六一	二六、四一	二五、九二
七時	三一、三二	二三、〇八	一七、九九	九〇、七	一、七四	二、九〇	八、〇	一、二〇	一四、九	二二、四一	二五、五四	二六、四一	二五、九二
八時	三一、四三	二三、三五	一八、〇三	八九、九	二、〇二	三、〇六	八、一	九、〇〇	一六、九	二三、四一	二五、五四	二六、四一	二五、九二
九時	三一、四八	二三、五一	一八、〇八	八八、七	二、一四	三、一〇	七、九	一、三〇	一二、九	二四、八三	二五、六一	二六、四一	二五、九二
十時	三一、四〇	二三、六四	一八、〇九	八八、〇	二、二四	三、一四	七、四	二、四〇	一四、二	二五、一五	二五、六一	二六、四一	二五、九二
十一時	三一、三〇	二三、七一	一八、〇四	八七、七	二、二七	三、一七	七、二	二、五五	九、六	二五、二五	二五、六一	二六、四一	二五、九二
十二時	三一、二二	二三、七四	一八、〇一	八七、四	二、二八	三、一九	七、二	二、七五	五、八	二五、三五	二五、六一	二六、四一	二五、九二
十三時	三一、一二	二三、七五	一七、九八	八七、二	二、二九	三、二〇	七、二	二、八〇	四、八	二五、四五	二五、六一	二六、四一	二五、九二
十四時	三一、〇二	二三、七五	一七、九五	八七、二	二、二九	三、二〇	七、二	二、七〇	三、一	二五、五四	二五、六一	二六、四一	二五、九二
十五時	三一、〇二	二三、七四	一七、九五	八七、二	二、二九	三、二〇	七、二	二、六五	二、六	二五、六一	二五、六一	二六、四一	二五、九二
十六時	三一、〇二	二三、七二	一七、九五	八七、二	二、二八	三、二〇	七、二	二、五五	二、六	二五、六一	二五、六一	二六、四一	二五、九二
十七時	三一、〇四	二三、七一	一七、九五	八七、一	二、二六	三、二四	七、二	二、四〇	二、六	二五、六一	二五、六一	二六、四一	二五、九二
十八時	三一、〇五	二三、七一	一七、九三	八七、一	二、二六	三、二五	七、二	二、二五	二、六	二五、六一	二五、六一	二六、四一	二五、九二
十九時	三一、〇三	二三、七〇	一七、九二	八七、一	二、二六	三、二五	七、二	二、一〇	二、六	二五、六一	二五、六一	二六、四一	二五、九二
二十時	三一、〇二	二三、七〇	一七、九二	八七、一	二、二六	三、二五	七、二	一、九五	二、六	二五、六一	二五、六一	二六、四一	二五、九二
廿一時	三一、〇二	二三、六九	一七、九〇	八七、一	二、二六	三、二五	七、二	一、八〇	二、六	二五、六一	二五、六一	二六、四一	二五、九二

地中十糎の溫度　平均は廿五度五〇にして平年に比すれば零度一〇高く月中の最高は一日午後三時乃至五時に於て卅度六を示し最低は卅日夜半に於て廿度八を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて廿六度八六を示し最低は午前七時乃至八時にありて廿四度三〇を示せり而して其較差は二度五六なり

地中二十糎の溫度　平均は廿五度八九にして平年に比すれば零度〇七高く月中の最高は四日午後六時乃至九時に於て廿八度九を示し最低は卅日夜半に於て廿二度二を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後八時にありて廿六度二六を示し最低は午前十時乃至十一時にありて廿五度四五を示せり而して其較差は零度八一なり

地中三十糎の溫度　平均は廿六度二〇にして平年に比すれば零度一五高く月中の最高は八日午後十一時乃至九日午前一時に於て二十八度七を示し最低は卅日午後十一時乃至夜半に於て廿二度九を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午前一時にありて廿六度四七を示し最低は午後二時にありて廿六度〇一を示せり、而して其較差は零度四六なり

地中六十糎の溫度　平均は廿五度八九にして平年に比すれば零度二〇高く月中の最高は八日午後五時乃至九日午後十時に於て廿七度一を示し最低は三十日夜半に於て廿四度二を示せり、但し此深さにありては殆ど一日中の變化を認め難し

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時に生じ地中十糎にありては午後五時、同二十糎にありては午後八時、同三十糎にありては午前一時に生ぜり又最低は地皮にありては午前五時乃至六時に生じ地中十糎にありては午前七時乃至八時、同二十糎にありては午前十時乃至十一時、同三十糎にありては午後二時に生ぜり、之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地溫　平均は十九度〇八にして平年に比すれば一度六三高く月中の最低は十五日午前四時頃に於て十四度九を示せり

天氣日數

快晴は例年此月には三日ありしも本年は一日もなく曇天は十七日にして平年より六日多く電雷は七日にして平年より五日多く霧は一日ありたり

尙詳細は左に掲ぐる氣象觀測成績表を參照すべし

は午前五時にありて十七粍五七を示せり而して其較差は一粍〇九なり

濕度の平均は八十、五にして平年に比すれば四、九多く月中の最少は十七日午後四時に於て四十二を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前六時にありて九十一、四を示し最少は午後一時にありて六十六、二を示せり而して其較差は二十五、二なり

飽差の平均は毎立方米中四瓦六九にして平年に比すれば一瓦〇〇少く月中の最多は十四日午後二時に於て十六瓦六を示し最少は廿九日午前六時及卅日午前十時に於て零瓦四を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後一時にありて九瓦五二を示し最少は午前六時にありて一瓦六四を示せり、而して其較差は七瓦八八なり

風

平均速度は毎秒四米一〇にして平年に比すれば零米二〇弱く月中の最大速度は三十日午後十一時の毎秒速度廿四米三(一間平方面を垂直に壓する力は六十二貫五百目)の北北西風なり又強風以上の吹きたる日數は七日にして平年より一日少く其時數は十五時にして平年より七時少し、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後四時乃至五時にありて六米二四を示し最小は午前六時乃至七時にありて二米九〇を示し其較差は三米三四なり、風向は北東及北風最も多く南西及西風之れに亞ぎ南風は最も少し之れを平年に比すれば北東及西風は多くして東及南西風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は七、五にして平年に比すれば一、三多く、日照時數は百四十四時一〇にして平年に比すれば四十六時五七少く一日中に於て日照時間の最も長かりしは十九日の十時六〇なり

降水及蒸發量

降水日數は二十二日にして平年に比すれば八日多く其水量は三百五十九粍六にして平年に比すれば二百四粍二多く一日中の最多量は三十日の百十六粍一、一時間の最多量は廿四日午後六時乃至七時の十九粍〇なり又蒸發總量は百二十五粍七にして平年に比すれば三十一粍一少く一日中の最多量は十二日の六粍〇なり

地中温度及最低地温

地皮溫度の平均は廿四度五九にして平年に比すれば零度八五低く月中の最高は一日午後一時に於て四十七度九を示し最低は卅日夜半に於て十六度五を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて卅二度三六を示し最低は午前五時乃至六時にありて廿度六八を示せり而して其較差は十一度六八なり

大阪測候所月報

大正六年九月　大阪氣象概況

氣候の冷氣となるに從ひ亞細亞大陸も亦た冷却するが故に大陸上の太氣は漸く濃厚となり九月は高低氣壓の配布漸く變ぜんとし亞細亞大陸内に氣壓增高し蒙古附近に高壓部を生じ南洋に低壓部ありし爲めに主として北方の風吹き漸次秋冷を催ふすに至る、而して此月は所謂暴風季節にして往々猛烈なる颱風襲來し暴風豪雨を來たし風水の害を被むることあり、然り而して本年九月の氣候を調査するに平年に比すれば溫暖にして日照時數は少くして降雨は多く平年の二倍以上に達し强烈なる暴風雨は三十日にありたり

今各氣象要素に就き詳記すれば左の如し

但本項に記する所の平年は築港に於ける最近六箇年の平均なり

氣壓

平均は七百六十粍六八にして平年に比すれば零粍五〇高く日々の變化は氣象圖に示すが如く顯著なる昇降は二回にして他は微なり而して月中の最高は十日午前十時に於て七百六十六粍二を示し最低は三十日午後十一時に於て七百三十九粍七を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前九時にありて七百六十一粍四三、第一の最低は午後三時にありて七百五十九粍八五を示し第二の最高は午後九時にありて七百六十粍六六、第二の最低は午前四時にありて七百六十粍八一を示し其主なる最高低の較差は一粍五八なり

氣溫

平均は二十四度二六にして平年に比すれば零度四四高く平均氣溫日々の變化は氣象圖に示すが如く五日と十五日より十九日まで及卅日の七日間は低かりしも其他は皆平年より高く月中の最高は一日午後二時及三日午後三時頃に於て卅二度二を示し最低は十五日午前四時頃に於て十六度〇を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて廿七度八七を示し最低は午前五時にありて廿一度五九を示せり而して其較差は六度二八なり

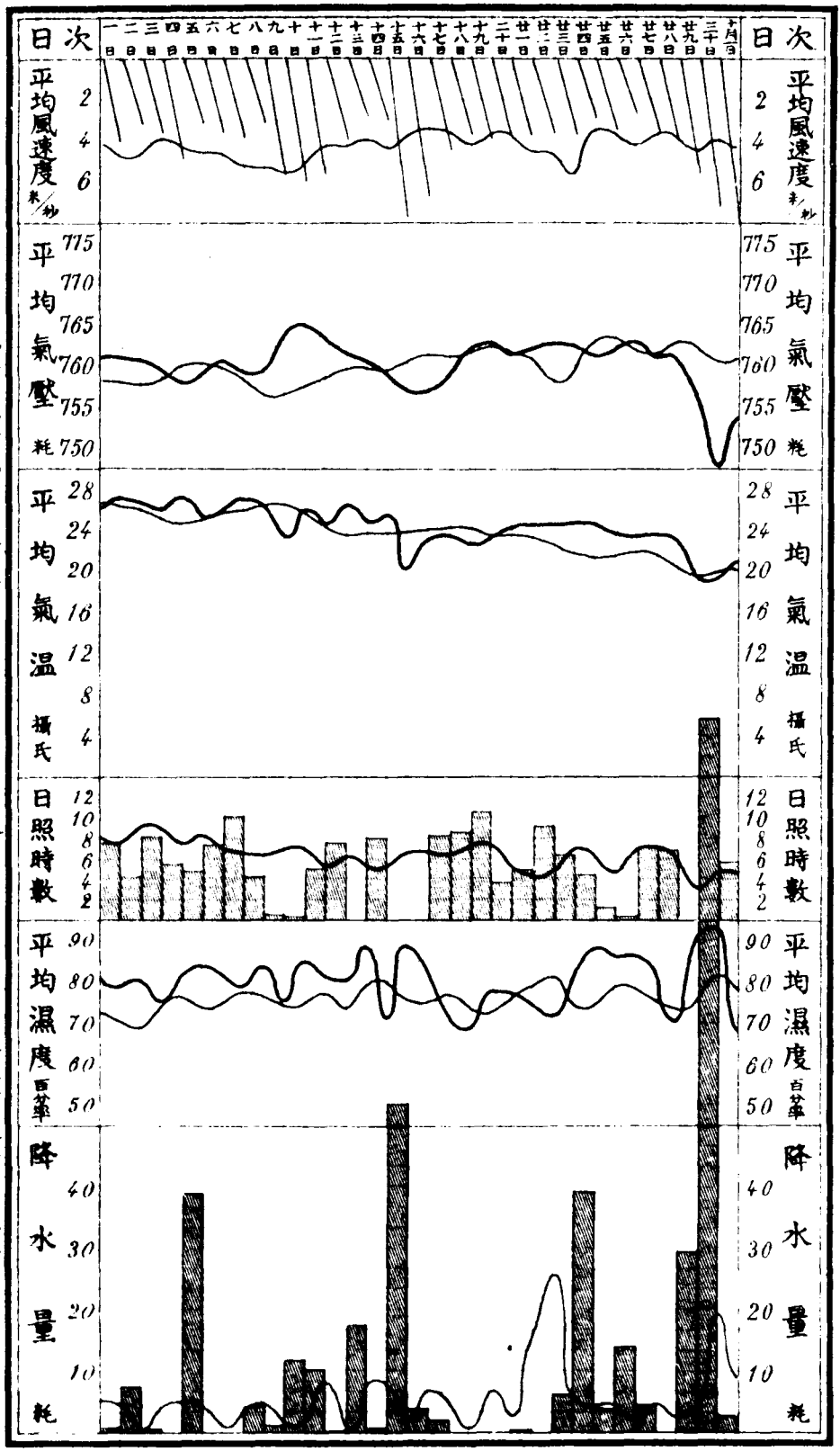
水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は十八粍〇三にして平年に比すれば一粍四五高く月中の最高は四日午前十一時に於て二十三粍八を示し最低は十八日午後六時に於て十粍九を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後三時にありて十八粍六六を示し最低

大正六年九月

大阪氣象圖

September 1917



本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス 風速度、氣壓、氣温、濕度、ハ本年——平年——日照時數ハ本年▮▮平年——降水量ハ本年▮▮平年——

大阪府管内氣象觀測所位置

例言

一本報は當測候所及管内各觀測所に於て觀測したる毎月の氣象を調査之れを掲載する者なり但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管内各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍(曲尺三厘弱毛)を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には(一)を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘じ五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量并に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上けて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦(グラム)(零點二七)にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一步面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米(曲尺三尺三寸)數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を抜き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日敬中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らず降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

氣象觀測所	郡市	町村	緯度東經	北緯	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	一三五度〇九分	三四度一九分	上出源助
上之郷	國泉南郡	上之郷村	一三五度一八分	三四度二三分	島塲留藏
岸和田	國泉南郡	岸和田町	一三五度二三分	三四度二七分	森内清次
長承寺	國泉北郡	鳳村	一三五度二七分	三四度三二分	前川由太郎
濱寺	國泉北郡	高石村	一三五度二六分	三四度三二分	今井富次
堺	國堺市	市ノ町	一三五度二九分	三四度三五分	吉村正輔
天王寺	攝津國大阪市	南區天王寺	一三五度三一分	三四度三九分	加藤昭純
大阪	國大阪市	西區一條通	一三五度二六分	三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	國大阪市	北區上福島	一三五度二九分	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	國四成郡	新庄村	一三五度三一分	三四度四五分	小林雅文
泰野	國豐能郡	泰野村	一三五度二六分	三四度四九分	藤重元太郎
妙見山	國豐能郡	東鄕村	一三五度二八分	三四度五六分	阪部文二郎
東鄕	國豐能郡	東鄕村	一三五度二九分	三四度五七分	大原仁之助
天王	國豐能郡	枳根莊村	一三五度二三分	三五度〇二分	高橋政次郎
茨木	國三島郡	茨木町	一三五度三四分	三四度四九分	那須庫之助
清水	國三島郡	清水村	一三五度三六分	三四度五三分	山本義一
枚方	河内國北河内郡	枚方町	一三五度三九分	三四度四九分	家村八五郎
田原	國北河内郡	田原村	一三五度四二分	三四度四三分	今井由太郎
八尾	國中河内郡	八尾町	一三五度三六分	三四度三八分	水谷芳松
柏原	國南河内郡	柏原村	一三五度三七分	三四度三五分	縣内農事試驗支場
富田林	國南河内郡	富田林町	一三五度三七分	三四度三〇分	塔本幸太郎
長野	國南河内郡	長野町	一三五度三五分	三四度二七分	松本道水

Monthly Report of The Osaka Meteorological Observatory.

September 1917

大阪測候所月報

大正六年九月

第拾八年第九號

LIBRARY
DEC 19 1917
Weather Bureau

目次

○本年九月大阪氣象概況　附圖
○本年九月大阪府管內氣象概況
○本年九月大阪地震觀測概況
○九月三十日より十月一日に至る暴風雨概況
○暴風雨と淀川の水位　附被害概表
○颱風と地の脈動
○九月二十七日午後の旋風に就て　附圖
○淀川の水位
○大阪港の潮汐觀測
○地方天氣豫報暴風警報通否

大正六年十月十九日印刷
仝　年十月二十日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

所名	國郡市	町村	緯度東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡	佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	吾妻橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	四區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	仝木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
難波島	攝津國大阪市	四區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	仝木津川分署難波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
築港	攝津國大阪市	西區安治川口	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署築港分署
大阪	攝津國大阪市	四區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國四成郡	傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東郷	攝津國豐能郡	東郷村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東郷村役場

十八日之れに亞ぎしも大正元年及同四年は翌春に至りて初めて降雪せり又終雪の最も遲かりしは大正五年四月五日にして同二年及四年は三月三十一日乃至十四日同元年及三年は二月十日乃至十九日なり

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀨ノ累年平均水位　三尺零寸一分
北河內郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　二尺九寸八分

八月	廣瀨 午前六時	廣瀨 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時	八月	廣瀨 午前六時	廣瀨 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時	八月	廣瀨 午前六時	廣瀨 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	〇、七五	〇、七五	〇、七五	〇、七五	十一日	一、二五	一、二〇	一、一〇	一、一〇	二十一日	一、九五	一、七五	一、三〇	一、一五
二日	〇、七〇	〇、七〇	〇、七〇	〇、七〇	十二日	一、一五	一、一五	一、一〇	一、一〇	二十二日	一、七五	一、六五	一、二五	一、一〇
三日	〇、七五	一、〇五	〇、七五	〇、七五	十三日	一、一〇	一、〇五	一、〇五	一、〇五	二十三日	一、六五	一、五五	一、二〇	一、〇九
四日	九、三五	六、九五	六、七〇	七、二〇	十四日	一、〇五	一、〇五	一、〇五	一、〇五	二十四日	一、〇五	一、〇五	一、〇〇	〇、八五
五日	四、一五	三、四〇	四、四〇	三、四〇	十五日	一、〇五	一、〇五	一、〇五	一、〇〇	二十五日	一、〇五	一、〇五	〇、九五	〇、七〇
六日	二、九〇	二、七五	二、九〇	二、四〇	十六日	一、〇五	一、〇五	一、〇五	一、〇五	二十六日	一、〇五	一、〇五	〇、九五	〇、八五
七日	二、三五	二、一〇	二、一〇	二、〇〇	十七日	一、〇五	一、〇五	一、〇五	一、〇五	二十七日	一、〇五	一、〇五	〇、九五	〇、八五
八日	二、〇〇	一、八五	一、八〇	一、七〇	十八日	一、〇五	一、〇五	一、〇五	一、〇五	二十八日	一、〇五	一、〇五	〇、九五	〇、八五
九日	一、八〇	一、七五	一、七〇	一、六五	十九日	一、〇五	一、〇五	一、〇五	一、〇五	二十九日	一、〇五	一、〇五	〇、九五	〇、八五
十日	一、七〇	一、六五	一、六五	一、六〇	二十日	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	三十日	一、〇〇	一、〇〇	〇、九五	〇、八五
										卅一日	一、〇〇	一、〇〇	〇、九五	〇、八五

平均水位　廣瀨　一尺八寸四分　大日　一尺三寸六分
最高水位　廣瀨　九尺三寸五分（四日午前七時）　大日　七尺三寸零分（四日午前六時）

地方天氣豫報暴風警報適否

種類	發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報 風向	三一	二六	五	〇	九二
天氣豫報 天氣	三一	二五	六	〇	九〇
天氣豫報 溫度	* 〇	一	一	一	一
暴風警報	一	一	〇	〇	一〇〇

る百分率は七十六）最も多く其他の年は二百八十時乃至二百七十時なり又最少は概ね二月にして大正五年の百二十時七（可照時間に對する百分率は三十八）を最少とし同四年の百二十三時○同三年の百二十四時三等之れに亞ぐ最少なり、一日中に於て日照時間の最も長かりしは大正二年五月十一日の十二時九なり●風速度の五ケ年平均は三米六にして大正五年は零米五、同二年は零米三同元年は零米二孰れも平年より強きも大正三年は零米七同四年は零米二弱く年中の最大速度は大正二年十月三日の二十八米○の北風にして同三年一月八日の二十六米三（南西風）同元年九月二十三日の二十六米一（西南西風）之れに亞ぎ強風以上の吹きたる日數の平均は七十七日にして大正元年及同五年最も多く八十五日同二年之れに亞ぎ八十一日大正三年は最少にして六十五日なり●天氣日數雨天日數は平均一ケ年に百二十八日にして大正四年最も多く百三十八日同元年及同五年は之れに亞ぎ百三十七日大正二年は最も少なく百五日なり、快晴日數は平均一ケ年六十日にして大正二年最も多く八十一日之れに亞ぐは三年にして七十八日あり又最も少なきは大正五年の三十八日なりとす、曇天日數は平均一ケ年百四日にして大正五年は最多百二十二日同元年及四年は平年に等しく同三年は最少にして九十四日なり、雷雨は平均一ケ年十四日にして大正五年最も多く二十二日同三年は最も少なく九日なり、霧のありたる日數は平均一ケ年十二日にして各年とも大差なし●阿巽の五ケ年平均は七、○にして各年共殆んど大差なく最多は大正四年の七、二最少は大正五年の六、六なり又各月に就て看るに春季より初夏の候最も多く冬季之れに亞ぎ盛夏の候は著しく減少せり●雜節夏季最高氣温の三十度以上に昇りたる初日の最早は大正五年六月六日にして之れに亞ぐは同四年の六月十五日最も遲かりしは大正元年の七月十二日なり又其終日の最も遲かりしは大正五年の九月二十六日同四年の九月二十五日にして大正元年は初日も遲かりしが終日も最も早く九月十日なり、冬季最低氣温の零下に降りたる初日の最早は大正三年十一月二十九日（前年以下皆同じ）にして其他の年は一般に十二月に現はれ早きは五日なりしも大正五年の如きは十二月二十七日に至りて漸く零下に降りたり又終日の最も遲かりしは大正五年四月七日（本年以下皆同じ）にして同元年の四月二日之れに亞ぎ同三年は三月二十八日二年、四年は共に三月三十一日なり、結氷の初日は大正二年及同三年の十一月十一日を最早とし同五年の十一月二十一日之れに亞ぎ同元年の十一月三十日最も遲し其終日は大正三年四月十八日最も遲く同二年は四月十日同四年は三月三十一日に終を告げたり、降雪の初日は大正三年十二月十六日を最早とし同五年の十二月

ぎ其主なる最高低の較差は六十三粍三に達せり●氣溫の五ケ年平均は十五度二にして大正三年及同五年は平年より零度五乃至零度七高く大正元年同四年は略ほ等しく大正二年は零度九低し又最高は大正三年八月六日の三十七度七を高極とし同年九月九日及四年八月二日の卅七度〇之れに亞ぎ五年は三十五度〇に過ぎず、最低は大正二年二月十二日の零下五度〇を低極とし同三年一月五日の零下四度六同年二月十三日の零下四度一、二年三月十二日の零下四度〇之れに亞ぎ大正四年及五年は共に零下三度より降らざりき而して絶對最高低の較差は四十二度七に達せり又晝夜寒暖の差は平均九度八を示し大正二年最も大にして十度六、四年は最も小にして九度〇を示し毎日の最大較差は大正元年十二月十八日の二十一度二、之れに亞ぐは大正二年十一月十三日の十九度三なり、最高氣溫の三十度以上に昇りたる日數の平均は六十五日にして大正三年最も多く八十二日同五年の七十三日之れに亞ぎ同元年及二年は五十二日に過ぎず又最低氣溫の零下に降りたる日數の平均は卅九日にして大正二年最も多く五十五日を數へ其他の年は三十五日内外なり●水蒸氣張力の五ケ年平均は十粍七にして大正三年は零粍六同五年は零粍五孰れも高きも大正二年は零粍八低く年中の最高は大正三年八月四日の二十九粍七にして大正元年八月二日の二十九粍三之れに亞ぎ最低は大正二年一月二十六日及同四年三月一日の一粍五を低極とし大正四年一月十三日の一粍七同二年二月九日及三月一日の一粍八等之れに亞ぎ●濕度の五ケ年平均は七十三にして各年とも殆んど等しく一内外の多少なり而して年中の最少は大正元年三月二十四日の二十四之れに亞ぐは同四年五月八日の二十六同元年四月二十日の二十七なり●降水量の五ケ年平均總量は千二百四十五粍七にして大正三、四年は平年に等しきも五年は百三十二粍〇、元年は六十七粍七孰れも多く二年は百八十九粍一少なし而して月量の最多は大正元年九月の二百六十五粍〇にして四年六月の二百三十七粍三、三年五月の二百三十六粍〇之れに亞ぎ又日量の最多は大正元年九月二十二日の百二粍九を最とし四年六月二十五日の七十二粍〇、五年十月十三日の七十一粍九之れに亞ぎ四時間の最多量は大正三年五月十五日の四十九粍四、五年十月十三日の四十七粍九、元年六月十七日の四十粍三等なり●日照時數の五ケ年平均總時數は二千二百七十時七（平均一日に六時間餘日照を受けたる割合にして可照時間に對する百分率は五十一なり）にして大正二年は百三十二時五同三年は九十五時五同元年は三十九時七孰れも平年より多きも四年は七十四時六、五年は百九十五時二少なし而して月中の最多は七月乃至八月にして大正元年の三百十二時九（可照時間に對す

日	雲量平均	日照時數 平均	日照時數 百分率	風 平均	風 最強	風 其方向	風 年	風 日	天氣類別日數 雨	天氣類別日數 雪	天氣類別日數 霰	天氣類別日數 霜	天氣類別日數 電雷	天氣類別日數 霧	天氣類別日數 快晴	天氣類別日數 曇天	天氣類別日數 暴風	天氣類別日數 霜
二二	四、五	一六五、〇	五三	五、〇	二六、三	南西	三	八	六、八	四、二	三、八	〇、二	〇、二	一、二	六、〇	四、二	一一、四	二〇、二
二八	五、六	一四〇、四	四五	四、三	二二、八	西	四	二八	一一、四	四、四	四、〇	—	〇、四	〇、六	三、六	八、二	八、〇	一三、八
七	五、二	一八七、六	五〇	四、〇	二〇、三	西南西	三	七	一一、六	三、二	二、四	—	〇、四	〇、四	五、四	七、二	九、四	一二、四
三〇	六、二	一八五、四	四七	三、六	一九、〇	南々西	二	二三	一三、六	〇、二	〇、二	〇、四	一、六	〇、六	三、六	一一、二	七、二	二、二
二七	六、〇	二三二、七	五二	二、九	二三、〇	西南西	二	一	一一、二	—	—	—	〇、八	〇、四	五、二	一一、〇	四、二	—
二七	六、九	一八九、〇	四四	三、〇	二〇、〇	南々西	三	三	一五、四	—	—	—	一、〇	〇、六	三、〇	一五、〇	五、〇	—
三	五、七	二四二、五	五五	三、二	一五、〇	西	二	四	八、四	—	—	—	三、二	〇、四	三、八	八、四	二、六	—
一八	四、七	二六八、二	六五	三、二	一六、九	北東	四	四	七、八	—	—	—	三、二	—	六、四	五、四	三、六	—
二三	五、九	一九〇、〇	五一	二、九	二六、一	西南西	一	二三	一一、〇	—	—	—	二、二	〇、二	四、四	一〇、八	三、二	—
一三	五、七	一七〇、七	四九	三、一	二八、〇	北	二	三	一三、二	—	—	—	〇、六	〇、二	五、八	一〇、四	五、四	—
二二	四、九	一五八、〇	五一	三、二	一四、〇	西北西	一、二、三	一四、一四、一八	九、八	—	—	—	〇、二	〇、六	七、〇	七、六	四、四	三、六
二	四、八	一五一、二	五〇	四、九	二四、八	西	三	二七	九、二	一、八	一、六	〇、二	〇、四	一、〇	六、二	四、四	一二、二	一四、〇
一二	五、五	二二七〇、七	五一	三、六	二八、〇	北	二	三	一二八、四	一三、八	一二、〇	〇、八	一四、三	一二、四	六〇、四	一〇三、八	七六、六	六六、二

上記の如くにして之れを概叙せんに氣壓の五ヶ年平均は七百六十二粍三にして大正三年及同四年は平年より一粍内外高きも大正元年及同五年は共に一粍内外低く年中の最高は大正元年十二月二十六日の七百七十九粍〇にして之れに亞ぐは大正五年一月五日の七百七十八粍三なり又最低は大正元年九月二十三日の七百十五粍七にして大正四年十月七日の七百三十九粍九之れに亞

温度 高極	年	日	低極	年	日	其較差	水蒸氣張力 平均	最高	年	日	最低	年	日	濕度 平均	最少	年	日	降水量 平均	二十四時間ノ最多	年	日	四時間ノ最多	年
一八、〇	五、五	一四、二三	(一)四、六	五	五	二二、六	四、四	一二、〇	四	二六	一、五	二	二六	六九、〇	二五	五	二七	五七、七	二五、九	二	三	一八、〇	三
三二、六	一	二八	(一)五、〇	三	三	三七、六	五、〇	一七、九	一	二六	一、八	二	九	七〇、〇	三一	二	九	九五、一	五五、五	一	二八	三〇、〇	一
三二、〇	三	一三	(一)四、〇	[illegible]	三	三六、〇	五、五	一五、八	三	七	一、五	四	一	六九、五	二二	一	二四	八四、九	三六、七	三	三〇	二七、二	三
二七、五	一	二九	(一)〇、八	五	七	二八、三	八、五	二一、五	一	一三	二、二	三	一〇	七三、三	二七	一、四	二〇、二四	一二七、八	三七、四	一	三〇	二三、五	一
二九、五	二	二六	四、〇	五	四	二五、五	一一、〇	二〇、六	一、三	一九、二〇	四、二	四	八、七	七三、七	二六	四	八	一五九、五	六三、三	三	一五	二六、七	二
三二、三	五	三〇	九、〇	四	三	二三、三	一五、九	二五、六	三	二八	七、二	四	二	七八、四	三〇	一	二九	一六六、二	七二、〇	四	二五	四〇、三	一
三六、七	五	二四	一五、二	二	一〇	二一、五	一九、五	二八、五	三	一三	八、四	四	一	七六、二	三三	四	一	八二、九	五〇、〇	三	一三	四九、四	三
三七、七	三	六	一六、〇	四	三〇	二一、七	一九、五	二九、七	三	四	一二、六	四	二〇	七三、六	三七	四	二	八四、六	四九、五	五	一	二五、〇	二
三七、〇	三	九	九、七	二	二五	二七、三	一五、七	二五、八	五	六	七、三	二	二三	七四、二	三三	二	二四	一五三、〇	一〇二、九	一	一三	三五、〇	一
二九、〇	五	一	五、八	二	二七	二三、二	一〇、八	二〇、六	五	二〇	五、一	二	二五	七五、四	三二	三	一六	一三四、七	七一、九	五	一三	四七、九	五
二七、五	三	四	(一)〇、八	三	二九	二八、三	七、六	一七、九	三	二五	三、二	‥	二八	七三、八	三〇	一	三	八一、四	四六、六	二	二四	三一、〇	二
二〇、八	五	二	(一)三、〇	四	二〇	二三、八	五、四	一四、一	一	一八	二、二	一	二四	七一、四	三三	四、五	一〇、一〇	六七、九	五一、七	一	二八	一四、五	二
三七、七	五	六	(一)五、〇	二	三	四二、七	一〇、七	二九、七	五	四	一、五	二、四	二六、一	七三、三	二二	一	二四	一三四五、七	一〇二、九	一	一三	四九、四	三

等を依託し明治四十四年春諸般設備完整せるを以て石神療養所測候部と名け明治四十四年六月より氣象觀測を開始せり其位置は和泉國泉北郡高石村にして濱寺公園の南に隣り西方は大阪灣に面し平均海面上の高さは約二米北緯三十四度三十二分綠威東經百三十五度二十六分の所にあり而して觀測に用ふる器械はリシャール形自記晴雨計、同自記寒暖計、同自記濕度計、ダインス形自記風壓計、自記風信器、最高最低寒暖計、乾濕球寒暖計ジョーダン形日照計、雨量計、阿冥計等にして觀測は毎日二回即ち午前六時午後二時同十時とし其他自記器の示す所により六回觀測の表を調製して毎月其成績を內務省に報告し又年報をも作製して月報同樣報告をなしつゝあり又大正三年には比較的に二年報を編纂發行し本年は觀測開始以來五ケ年の成績を得たるを以て五年報を調製刊行し濱寺の氣象を報ぜり今其概要を摘記すれば左の如し

項目	月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
氣壓	平均	七六七、六	七六四、八	七六四、二	七五三、二	七五〇、一	七五七、一	七五六、七	七五五、六	七五五、九	七五三、八	七五七、七	七六〇、三	七五六、二
氣壓	最高	七七八、三	七七五、八	七七四、一	七七四、九	七七二、八	七七六、二	七七四、二	七七二、七	七七六、九	七七五、二	七七六、四	七七六、〇	七七六、〇
氣壓	最高ノ日	三	二、三	三	四	四	四	四	一、七、一〇	一	四	四	一	一
氣壓	最高ノ年	三	一	一	二六	七	三	二六	二八	二九	二	二	二六	二六
氣壓	最低	七四六、五	七四九、〇	七四九、四	七五〇、三	七四二、三	七四六、一	七四五、三	七四五、七	七四五、九	七四五、九	七四八、一	七四九、〇	七四五、七
氣壓	最低ノ日	三	三	三	五	二	一	一	一	一	一	一	一	一
氣壓	最低ノ年	三	二九	二	一	一三	一七	二	五	二三	七	二	二	二
空氣	平均	四、七	五、七	七、四	一〇、四	一四、四	一七、四	二三、四	二六、四	二三、三	一八、四	一二、一	七、一	一三、二
空氣	最高平均	九、五	一〇、四	一三、七	一八、四	二三、八	二六、八	三一、三	三一、三	二八、六	二三、四	一七、二	一一、二	二三、二
空氣	最低平均	〇、五	一、四	二、四	八、〇	一三、三	一八、四	一五、五	一八、八	一三、五	一三、〇	六、八	三、七	一〇、七
空氣	較差	九、四	九、一	一〇、三	一〇、四	一〇、六	八、五	八、八	一〇、一	九、八	一〇、四	一〇、五	九、五	九、八
氣ノ	最大較差	一四、六	一六、六	一八、五	一九、〇	一七、五	一五、五	一四、〇	一五、五	一六、七	一四、五	一三、九	一三、三	一八、一
氣ノ	最大較差ノ日	二	二	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	一
氣ノ	最大較差ノ年	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

り約四千六百粁、銚子より約五千百粁、仁川より約五千二百粁水澤より約五千八百粁にして是等を綜合し觀察するに其震源は本洲の遙南西方卽ち南洋「セレベス」海附近に發したるものなるべし

今各所にて地動計を以て觀測したる發震時及震央地までの距離を列記すれば左の如し

福岡	午後一時一五分一五秒	四六〇〇粁
大阪	仝 一時一五分一二秒	四九〇〇粁
銚子	仝 一時一五分一九秒	五一〇〇粁
仁川	仝 一時一五分二五秒	五二〇〇粁
水澤	仝 一時一五分四六秒	五八〇〇粁
國館	仝 一時一五分五四秒	五八〇〇粁
太泊	仝 一時一六分五一秒	六四〇〇粁
ワシントン	仝 一時二六分二八秒	

因に本年は遠距離の所に發したる地震特に南洋に發したるもの多く一月以來既に數回の大震を觀測せり今本年一月以來當所にて觀測したる顯著なるものを記すれば左の如し

一月二十一日午前八時二十分十九秒　關領印度「バリ」島附近
仝　三十日午前十一時五十一分三十八秒　南洋「マリアナ」群島ノ北東方
仝　三十一日午後一時六分四十八秒　南洋「ミンダナオ」島ノ南方
三月十五日午前九時十六分十七秒　三陸沖
五月二日午前三時三十八分四十三秒　太洋洲「トンガ島」東方
仝　十日午前一時零分十五秒　南洋「マリアナ」群島附近
仝　三十一日午後五時五十六分十六秒　「アリウシアン」群島ノ東方
六月八日午前十時九分五十秒　中央亞米利加
仝　二十六日午後三時零分四十九秒　太洋洲「トンガ」島附近
七月四日午前九時四十一分二十二秒　沖繩島ノ南方沖
仝　四日午後二時三十九分四十三秒　臺灣遙南東方
仝　二十九日午後十一時三十四分卅八秒　陸奥北東方沖
仝　三十日午前六時五十九分五十三秒　「ニューギネア」島附近
仝　三十一日午前九時零分十二秒　南洋
仝　三十一日午後零時二十五分十八秒　三陸東方遙沖
八月三十日午後一時十五分十二秒　南洋「セレベス」海附近

●濱寺の氣候に就て

技手　芝野彌

曩に內務省に於て全國鑛泉浴場及保養地等の氣候を調査せしむるに際し本府管內にては泉州堺、濱寺の二地を指定せられしに堺は市役所にて知事訓令の下に既に氣象觀測を實施せられしが濱寺は未だ觀測所の設置なきを以て土地の有志者に氣象觀測所設置の事を勸誘ありしが同地の石神療養所主石神亨君は夙に見る所ありて所內に百葉箱を設け簡易氣象觀測をなせることありき、故を以て率先して自己療養所內に觀測所を設置することゝし府立大阪一等測候所に測器の購入並に据付方乃至觀測法傳習

新庄	秦野	妙見山	東郷	天王	茨木	清水
十一月十二日	十一月十日	十一月九日	十月三十日	十月二十八日	十一月九日	十一月八日
十一月二十二日	十二月一日	十一月十三日	十一月十三日	十月十七日	十一月二十二日	十一月二十三日
大正二年十月二十七日	仝	仝	三十七年十月十二日	大正元年十月八日	卅二卅四年十月二十四日	大正二年十月二十七日
仝 三十六年	仝 二十四年	仝 三十五年	仝 二十五年	明治三十四年	仝 二十四年	仝 三十四年

枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
十一月十二日	十月三十日	十一月十二日	十一月十三日	十一月八日	十一月十二日
十一月二十二日	十一月二十一日	十一月二十九日	十一月二十三日	十一月十三日	十一月二十三日
二十四年十月二十八日	四十一年十月三日	三十七年十月二十八日	三十四年十月二十九日	二十四年十月十八日	大正二年十月二十七日
仝 二十四年	仝 三十一年	仝 二十四年	仝 三十四年	仝 二十四年	仝 四十三年

●南洋「セレベス」海附近の大震

技手 圓岡平太郎

八月三十日午後一時過當所地動計は遠距離の地に發したる大震の波動を記錄せり其發震時は午後一時十五分十二秒にして第一初期微動の繼續時間は六分九秒第二は三分十五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後一時二十六分十四秒に於て千七百六十五「ミクロン」振動期二十一秒六、南北動は午後一時二十五分二十九秒に於て千四百七十「ミクロン」振動期二十六秒四を現し後漸次に微となり靜止せり總振動時間は東西動は二時十六分三十七秒、南北動は二時十六分三十三秒なり即ち次表に記するが如し

東西動地動計觀測

		發現時	最大振幅（ミクロン）	振動期（秒）
初期微動	P	一三時一五分一二秒		
	S	仝 二一分二一秒		
主要動	L	仝 二四分三六秒		
	M	仝 二六分一四秒	↔ 一七六五	二一、六
終期	F	一五時三一分四九秒		

南北動地動計觀測

		發現時	最大振幅（ミクロン）	振動期（秒）
初期微動	P	一三時一五分一二秒		
	S	仝 二一分二一秒		
主要動	L	仝 二四分三六秒		
	M	仝 二五分二九秒	（十）一四七〇	二六、四
終期	F	一五時三一分四五秒		

前表第一初期微動の繼續時間に依り震央地までの距離を大森博士の算式を以て計算するに大阪より約四千九百粁となり福岡よ

仝十四日	二五、五	▲一、五	▲一、五	三二、三	▲三、三	▲一、三	二一、三	▲〇、二	▲一、二	八、〇	▲二、六	二、一	〇、五	—
仝十五日	二〇、一	三、八	三、四	三一、八	六、三	八、八	一六、〇	四、一	四、六	—	六、六	八、七	五三、四	—
仝十六日	二四、五	〇、五	三、〇	二六、二	二、六	五、六	二一、六	▲一、七	〇、七	—	六、六	五、九	三、二	—
仝十七日	二五、八	〇、四	三、一	二九、二	▲〇、九	二、七	一九、三	一、〇	三、四	八、五	▲二、一	〇、四	一、五	—
仝十八日	二三、五	一、九	三、二	二八、五	〇、五	三、三	一七、九	二、二	五、三	八、七	▲一、三	二、一	—	—
仝十九日	二三、〇	〇、五	四、〇	二八、四	〇、四	四、三	一七、二	一、五	五、四	一〇、六	▲三、一	▲二、三	—	二六、三
仝廿日	二四、五	▲〇、七	二、五	二九、九	▲一、九	二、二	一九、九	〇、〇	一、七	三、九	一、一	六、九	—	—
仝廿一日	二四、五	▲〇、六	二、九	二九、九	▲二、三	三、〇	二〇、四	〇、二	二、八	四、八	▲〇、六	四、六	〇、三	—
仝廿二日	二四、五	▲一、九	〇、四	三一、〇	▲四、四	▲三、四	一九、一	〇、七	三、八	九、四	▲五、一	九、四	—	三、一
仝廿三日	二四、八	▲二、八	▲一、六	三一、六	▲四、七	▲五、六	二〇、八	▲三、一	〇、八	六、四	〇、八	六、四	六、四	一八、七
秋分仝廿四日	二四、四	▲二、九	▲一、五	二八、四	▲二、一	▲二、三	二一、九	▲四、七	▲一、二	四、四	一、九	四、四	三九、三	二五、五
平均又は合計	二五、五	〇、四	一、五	三〇、三	〇、一	一、三	二一、六	〇、五	一、六	三二、八	四二、八	四二、一	二四八、四	一七二、四

●大阪府管内の初霜季節

本府管内に於ける初霜期日を調査するに攝津北部及河内東部の山間地方は最も早く例年十月末より十一月初めに初霜を看るも其他平坦部地方は十一月上旬乃至中旬和泉の南部は最も遲く十二月初旬に至れり又管内観測所設置以來數年間に就きて最も早きものを調査するに北部天王に於て十月八日(大正元年)同東郷に於て十月十二日(明治三十七年)東部田原に於て十月十三日(明治四十一年)に初霜ありたるを管内の最早とし之れに亞ぐは東部富田林の十月十八日(明治二十四年)南部長承寺の十月二十日(明治二十四年)にして其他は十月二十七日より十一月十一日の間にあり即ち次表に示すが如し

観測所	平年	昨年	最モ早キモノ	創立年
深日	十二月一日	十二月十七日	三十九年十一月七日	明治廿五年
岸和田	十一月十四日	十二月十七日	三十四年十月三十一日	仝二十四年
長承寺	十一月十二日	十一月二十三日	二十四年十月二十日	仝

観測所	平年	昨年	最モ早キモノ	創立年
堺	十一月十四日	十一月二十二日	大正二年十月二十七日	明治二十四年
天王寺	十一月十四日	十一月二十二日	三十二年十月二十四日	仝
大阪	十一月十一日	十一月三十日	二十一年十月二十三日	仝十五年

仝廿日	二六、五	〇、九	〇、〇	三二、四	〇、三	▲〇、七	二二、九	▲〇、四	▲二、〇	八、一	二、一	三、五	|	|
仝廿一日	二五、九	〇、〇	〇、四	二九、八	一、三	〇、四	二二、五	〇、九	〇、〇	三、四	四、〇	〇、六	〇、〇	|
仝廿二日	二三、二	三、八	四、四	二六、九	四、八	五、〇	一九、九	三、一	四、六	三、八	五、一	四、一	八、五	|
仝廿三日	二三、八	三、〇	三、〇	三〇、〇	一、一	〇、二	一九、二	四、六	五、六	一〇、九	▲四、二	▲七、六	|	〇、三
處暑仝廿四日	二三、一	三、九	四、五	二九、六	一、六	二、二	一七、五	六、〇	七、〇	一二、五	▲五、五	▲四、九	|	四、八
仝廿五日	二四、二	三、六	四、一	三〇、六	一、八	二、一	一七、八	六、三	六、七	一〇、八	▲一、二	▲〇、八	|	|
仝廿六日	二五、四	二、〇	三、〇	三〇、六	一、一	二、五	二〇、四	三、八	四、〇	九、三	▲二、〇	▲一、三	|	|
仝廿七日	二五、三	一、九	三、三	三〇、一	一、五	三、九	二一、〇	二、四	三、四	八、〇	〇、三	一、八	|	|
仝廿八日	二五、一	一、八	二、八	三二、三	▲〇、一	〇、四	二〇、五	二、一	三、五	八、八	一、六	一、三	|	|
仝廿九日	二五、四	一、一	三、〇	二九、八	一、五	一、九	二〇、七	一、三	二、八	九、一	〇、八	一、五	|	|
仝卅日	二四、六	二、〇	三、三	二六、四	五、一	二、九	二三、二	▲一、一	〇、〇	|	一〇、三	一〇、七	一、三	|
仝卅一日	二六、三	〇、七	二、一	三〇、四	一、二	二、五	二三、六	▲〇、一	二、八	八、八	▲〇、九	一、七	|	|
二百十日九月一日	二七、五	▲〇、九	〇、三	三二、三	▲一、八	▲〇、五	二四、八	一、六	〇、一	七、五	▲〇、一	三、七	〇、四	〇、一
仝二日	二六、五	▲〇、三	〇、六	三一、一	▲〇、七	〇、五	二三、八	▲〇、一	〇、七	四、〇	五、五	六、二	六、六	一、五
仝三日	二六、一	▲〇、八	一、三	三二、三	▲一、六	一、三	二〇、七	〇、三	一、一	八、二	〇、九	二、二	〇、二	|
仝四日	二七、六	▲二、八	〇、五	三一、九	▲二、三	一、一	二四、七	▲三、七	▲一、五	五、六	一、九	四、七	〇、〇	|
仝五日	二五、四	〇、三	三、七	二九、〇	一、二	三、八	二一、一	〇、〇	三、四	四、七	三、五	四、二	三七、七	|
仝六日	二六、四	▲〇、三	一、九	三一、七	▲一、二	一、四	二二、三	〇、三	一、五	七、三	▲〇、三	三、〇	|	|
仝七日	二七、二	▲一、一	一、七	三一、八	▲二、一	〇、六	二二、二	〇、三	〇、七	一〇、三	▲三、七	〇、三	|	|
白露仝八日	二六、三	〇、一	三、一	三一、八	▲一、一	一、九	二三、六	▲一、〇	二、〇	四、二	二、一	四、八	三、九	|
仝九日	二五、三	三、三	五、九	二五、八	四、九	七、六	二〇、四	二、六	五、〇	〇、三	六、五	一〇、〇	〇、八	|
仝十日	二三、一	三、九	六、五	二五、〇	五、八	七、六	一九、二	三、〇	五、三	〇、二	六、八	九、九	一三、〇	一、八
二百廿日仝十一日	二四、五	▲〇、四	▲〇、四	三〇、〇	▲一、六	▲一、三	二一、七	▲一、一	▲二、二	四、九	〇、三	四、九	一〇、三	二〇、四
仝十二日	二六、五	▲二、八	▲四、六	三一、六	▲三、三	▲五、一	二三、〇	▲三、〇	▲四、四	七、五	▲一、〇	▲四、五	〇、一	|
仝十三日	二四、六	▲〇、七	▲三、五	二六、八	一、六	▲四、三	二三、三	▲二、七	▲五、三	|	五、二	〇、〇	一六、六	一〇、九

二二一

八月四日	午前十時	七五五、三	二六、三	南西	六、八	一	曇

●本年土用後の氣象概況

技手　山田顯吉

本年土用中の氣候は既に記せしが如く氣溫高く日照時數多く氣候は適順の方なりしが土用後卽ち立秋（八月八日）より秋分（九月二十四日）に至る期間の氣象を調査するに八月上、中の二旬は氣溫最高日々三十度以上に昇り適順なりしが下旬は冷氣にして九月に入り順に復せり而して此期間の平均氣溫は二十五度五（華氏七十七度九）にして平年より零度四、昨年より一度五低く降雨は二百四十八粍四にして平年より三十三粍九、昨年より七十六粍〇多く日照時數は三百二十二時八にして平年より四十二時八、昨年より四十二時二少し而して此期間には暴風雨なく平穩に經過せり

今本年立秋より秋分に至る日々の氣溫及日照時數を平年及昨年に比し且昨今兩年の降水量を並記し其詳細を示さんとす

（表中▲は高又は多）

月日＼種目	空氣の溫度 平均 本年	平均 平年より	平均 昨年より	最高 本年	最高 平年より	最高 昨年より	最低 本年	最低 平年より	最低 昨年より	日照時數 本年	日照時數 平年より	日照時數 昨年より	降水量 本年	降水量 昨年
立秋八月八日	二八、八	▲ 〇、九	▲ 〇、五	三二、七	〇、三	〇、三	二五、九	▲ 一、七	一、四	一〇、五	▲ 一、六	〇、二	—	—
仝九日	二八、〇	▲ 〇、七	▲ 〇、四	三三、四	▲ 一、四	▲ 〇、二	二四、〇	〇、四	▲ 〇、三	九、四	▲ 二、六	▲ 〇、八	—	五、七
仝十日	二八、四	▲ 〇、九	▲ 二、四	三三、一	▲ 〇、九	▲ 二、九	二三、三	〇、九	〇、四	一一、六	▲ 二、九	▲ 九、七	—	〇、二
仝十一日	二八、九	▲ 一、六	▲ 三、二	三三、五	▲ 二、一	▲ 四、八	二四、九	▲ 〇、七	〇、八	八、五	〇、二	六、五	—	一四、七
仝十二日	二七、五	〇、二	〇、四	二九、〇	二、六	三、四	二六、二	▲ 二、〇	一、五	一、〇	八、二	六、八	三、四	〇、二
仝十三日	二六、九	〇、四	二、二	三二、〇	▲ 〇、九	二、六	二二、三	一、九	二、三	一一、三	▲ 四、〇	〇、九	—	—
仝十四日	二七、六	〇、〇	〇、七	三三、九	▲ 二、三	▲ 二、〇	二〇、七	三、二	四、二	八、五	▲ 一、一	〇、七	〇、四	—
仝十五日	二六、九	〇、九	一、五	三一、八	〇、六	一、〇	二二、九	二、〇	一、五	六、八	二、八	二、七	六、七	—
仝十六日	二七、三	〇、〇	一、三	三一、九	▲ 〇、一	二、四	二三、三	▲ 一、一	二、二	一三、五	▲ 四、一	▲ 八、〇	—	一、二
仝十七日	二六、二	一、二	一、七	三〇、三	一、八	二、六	二二、〇	〇、八	二、〇	二、七	七、三	七、四	三五、三	—
仝十八日	二六、七	〇、七	〇、四	三二、八	▲ 〇、九	▲ 一、一	二二、二	一、一	〇、〇	八、七	▲ 〇、六	〇、六	—	—
仝十九日	二六、七	〇、九	〇、三	三三、六	▲ 〇、九	▲ 一、三	二二、六	〇、六	〇、二	八、八	一、二	▲ 一、四	〇、〇	—

八月二日	仝八時	七五三、六	二八、?	北東	一〇、四	—	曇
仝	仝九時	七五三、五	二九、七	北東	一〇、六	—	曇
仝	仝十時	七五三、五	三〇、五	東北東	一三、〇	—	曇
仝	仝十一時	七五三、八	三〇、八	東北東	一四、八	—	曇
仝	正午	七五三、七	三一、一	東北東	一二、〇	—	曇
仝	午後一時	七五三、七	三〇、四	東北東	一〇、三	—	曇
仝	仝二時	七五三、六	三〇、〇	東北東	一〇、二	〇、〇	雨
仝	仝三時	七五三、七	二七、四	北東	九、六	〇、八	雨
仝	仝四時	七五三、三	二七、三	北東	九、七	一、三	曇
仝	仝五時	七五二、〇	二八、三	北東	一〇、七	—	曇
仝	仝六時	七五一、七	二八、〇	北東	一二、七	〇、〇	雨
仝	仝七時	七五一、六	二七、八	北東	一二、一	〇、〇	曇
仝	仝八時	七五一、四	二七、九	北東	一〇、八	—	曇
仝	仝九時	七五一、三	二七、九	北東	一三、三	—	曇
仝	仝十時	七五一、〇	二七、六	北東	一二、八	〇、〇	曇
仝	仝十一時	七五〇、四	二八、〇	東北東	一三、七	〇、〇	雨
仝	夜半	七四九、九	二六、九	東北東	一二、三	〇、二	雨
八月三日	午前一時	七四九、三	二六、九	東北東	一三、七	〇、〇	曇
仝	仝二時	七四八、三	二七、三	東北東	一四、三	—	曇
仝	仝三時	七四七、七	二七、一	東北東	一四、三	—	曇
仝	仝四時	七四六、五	二七、六	東北東	一七、七	〇、〇	曇
仝	仝五時	七四五、七	二七、四	東北東	二〇、一	—	曇
仝	仝六時	七四五、二	二六、四	東北東	一六、五	〇、七	雨
仝	仝七時	七四五、一	二六、八	東北東	一三、九	〇、四	雨
仝	仝八時	七四四、六	二六、一	東北東	一三、七	〇、二	雨

八月三日	午前九時	七四四、七	二七、一	東	一三、三	〇、三	雨
仝	仝十時	七四四、八	二七、九	東	一三、六	〇、〇	雨
仝	仝十一時	七四四、八	二六、四	東	一二、九	二、八	雨
仝	正午	七四五、六	二五、七	東	八、五	六、二	雨
仝	午後一時	七四五、六	二五、五	東南東	一二、〇	二、三	雨
仝	仝二時	七四六、〇	二五、五	南々東	七、五	四、三	雨
仝	仝三時	七四六、五	二五、七	南々東	五、一	七、三	雨
仝	仝四時	七四六、九	二五、七	南々東	八、三	四、三	雨
仝	仝五時	七四七、二	二五、四	南東	六、三	二、二	雨
仝	仝六時	七四七、三	二六、八	南	一三、六	〇、〇	雨
仝	仝七時	七四七、七	二五、三	南	一四、一	七、二	雨
仝	仝八時	七四八、一	二六、二	南々西	一〇、三	一、四	雨
仝	仝九時	七四八、六	二六、七	南々西	一五、八	〇、〇	雨
仝	仝十時	七四九、一	二六、五	南々西	一三、九	〇、〇	雨
仝	仝十一時	七四九、七	二六、三	南々西	一三、七	〇、〇	雨
仝	夜半	七五〇、五	二五、六	南々西	一三、八	〇、〇	雨
八月四日	午前一時	七五一、〇	二四、九	南西	一五、二	一、〇	雨
仝	仝二時	七五一、五	二五、三	南西	一二、九	〇、〇	曇
仝	仝三時	七五一、七	二五、〇	南々西	一〇、三	—	曇
仝	仝四時	七五二、〇	二五、三	南西	一〇、五	—	曇
仝	仝五時	七五二、八	二五、三	南西	一二、一	—	曇
仝	仝六時	七五三、三?	二五、三?	南西	八、八	—	曇
仝	仝七時	七五四、二	二五、八	南西	一〇、四	—	曇
仝	仝八時	七五四、八	二五、〇	南西	一二、一	〇、〇	雨
仝	仝九時	七五五、〇?	二五、六	南西	一〇、九	〇、〇	曇

西動は午後一時二十六分十四秒に於て千七百六十五「ミクロン」振動期二十一秒六南北動は午後一時二十五分二十九秒に於て千四百七十「ミクロン」振動期二十六秒四を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は二時十六分三十七秒南北動は二時十六分三十三秒なり

附記　此地震は南洋「セレベス」海附近に發したる大震にして別項に詳記せり

一三三　八月三十一日午後八時五十八分二秒の地震

此地震は緩微なる波動を呈し振動の各部判明ならざれども最大振幅(南北動)は午後十時四分三十四秒に於て二十五「ミクロン」振動期十六秒八を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は二時二十一分五十八秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならず

●八月一日より四日に至る暴風雨概況

技手　大橋龍太郎

七月二十八日ヒリッピン群嶋の東方洋上に顯はれたる颱風は最初は北西に進行せしが次第に進路を北東に轉し三十一日大東嶋を通過し徐々北上し三日朝高知附近に來りて其中心示度は七百三十六粍を示せり之が爲め内海地方、紀伊半嶋及び四國は暴風雨となり九州にては強烈風吹き起れり而して該低氣壓は四國、中國を貫き日本海に入り四日朝能登沖に到り北陸地方に暴風雨を起せしが進路を東に轉じ次第に衰へ六日奥羽北部に到りて遂に消失せり

大阪にては二日午前十時過より氣壓下降し始め午後十一時より下降急となり三日午前八時七百四十四粍六の最低氣壓に達し後漸次に上昇せり風は八月一日颱風の四國遙南方洋上に來るや風向東となり次第に增勢し二日午前八時より強風となり三日午前五時最も強く毎秒速度二十米一となり八日午前九時まで斷續せり其總吹續時數は四十二時にして内強風三十七時間烈風五時間なり

此颱風は進行遲緩なりし爲め風速度は格別大ならず僅に二十米に過ぎざりしも暴風の吹續時間は長く四十二時間に達せり雨は二日午後一時四十八分より降り始め斷續して四日午前一時二十分に及べり此雨量四十二粍九なり

更に毎時觀測の結果を記すれば左の如し

月日	時	氣壓	氣温	風向	風速度	降水量	天氣
八月二日	午前六時	七五二、五	二六、四	北東	九、三	一	曇
八月二日	午前七時	七五二、八	二七、三	北東	九、七	一	曇

身に感覺なきも地震計に感じたり

一二七　八月十七日午前三時二十九分十二秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前三時三十分十一秒に於て七「ミクロン」振動期四秒〇を現し全振動時間は六分零秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は本州東海岸に發したるものにして磐代の福島にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一二八　八月二十日午前九時二十分二十八秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は東西動は午前九時二十二分二十三秒に於て二十五「ミクロン」振動期三秒〇南北動は午前九時二十一分五十七秒に於て二十三「ミクロン」振動期二秒八を現し全振動時間は八分四十六秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

附記　此地震は本州南東部に發したるものにして沼津、濱松、名古屋、津等にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一二九　八月二十四日午後十時三十分九秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十六秒にして主要動となり最大振幅（南北動）は午後十時三十二分三秒に於て三十五「ミクロン」振動期六秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は三十分三十二秒なり

附記　此地震は奥尻嶋沖に發したるものにして震中徑七十五里短半徑五十里を有し震動部は三千百四十方里有感微震部は一萬一千七百八十方里に亘れり

一三〇　八月二十六日午前十一時四十一分四十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分四十二秒にして主要動となり最大振幅は午前十一時四十三分八秒に於て十六「ミクロン」振動期四秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は九分十三秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は本州南東部に發したるものにして水戸、筑波、東京にては微震を感じ前橋、横濱、横須賀、沼津等にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一三一　八月二十九日午前二時四十一分四十秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分二十三秒にして主要動となり最大振幅は午前三時四十四分一秒に於て二十三「ミクロン」振動期四秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は十一分四十六秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は本州東海岸に發したるものにして水戸、筑波、新潟にては微震を感じ熊谷、東京、沼津、名古屋、津、伏木等にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一三二　八月三十日午後一時十五分十二秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は六分九秒、第二は二分十五秒にして主要動となり最大振幅は東

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前三時廿六分五十六秒に於て十三「ミクロン」振動期四秒四を現し全振動時間は十四分二秒なり（南北動微動計百廿倍の觀測）

附記　此地震は安房沖に發したるものにして八丈島及沼津にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一二二　八月十一日午前五時十五分二十九秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前五時十七分十四秒に於て八「ミクロン」振動期二秒〇を現し全振動時間は十分二十七秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は東京灣に發したるものにして長半徑三十里短半徑二十五里を有し震動部は九百四十二方里有感覺微震部は二千三百六十方里にして横濱東京にては弱震を感し熊谷、横須賀、筑波にては微震を感じたり

一二三　八月十一日午前六時十九分三十一秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前六時二十一分三秒に於て十「ミクロン」振動期二秒八を現し全振動時間は九分二十一秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は安房沖に發したるものにして八丈島にては微震を感じ沼津にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一二四　八月十一日午前六時三十三分三十六秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前六時三十五分二十秒に於て十八「ミクロン」振動期四秒四を現し全振動時間は十二分四秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は安房沖に發したるものにして八丈島にては微震を感じ沼津にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一二五　八月十三日午後三時三十一分五秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後三時三十二分三十八秒に於て二十「ミクロン」振動期五秒八南北動は午後三時三十四分二秒に於て十八「ミクロン」振動期四秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十六分十五秒南北動は十四分四十二秒なり

附記　此地震は未だ震源詳ならざれども福岡、長崎、仁川等にても此地震を觀測せりと云ふ

一二六　八月十七日午前二時三十一分三十二秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前二時三十三分三十六秒に於て十「ミクロン」振動期三秒八を現し全振動時間は九分十五秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は安房沖に發したるものにして沼津、横須賀にては人

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分九秒にして主要動となり最大振幅は午後十時五十八分二十七秒に於て二十「ミクロン」振動期四秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は十九分十二秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は安房沖に發したるものにして八丈島、沼津、筑波にては地震計に感じたり

一一七　八月十日午前三時二十六分六秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前三時二十七分三十八秒に於て六「ミクロン」振動期三秒二を現し全振動時間は六分五十八秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は東京灣に發したるものにして長半徑三十五里短半徑二十五里を有し震震部は九百四十二方里有感覺微震部は二千七百五十方里にして橫須賀、橫濱、東京にては微震を感じたり

一一八　八月十日午前三時四十七分四十四秒の地震

此地震は振幅微にして震動の各部判明ならざれども最大振幅は午前三時四十九分二十二秒に於て十「ミクロン」振動期四秒六を現し全振動時間は十分五十五秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は安房沖に發したるものにして八丈島、沼津にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一一九　八月十日午後八時十七分五十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分七秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後八時二十二分二秒に於て百五「ミクロン」振動期七秒七南北動は午後八時二十二分二十九秒に於て百二十八「ミクロン」振動期六秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は四十一分十三秒、南北動は四十一分十三秒なり

附記　此地震は安房沖に發したるものにして八丈島及沼津にては微震を感じ橫濱、水戸、甲府、津にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一二〇　八月十日午後八時五十九分七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後九時一分五十六秒に於て四十五「ミクロン」振動期九秒二南北動は午後九時二分二十八秒に於て四十「ミクロン」振動期六秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は四十一分四十五秒南北動は四十分三十秒なり

附記　此地震は安房沖に發したるものにして八丈島にては微震を感じ沼津、橫濱、津にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一二一　八月十一日午前三時二十五分十一秒の地震

附記　此地震は安房沖に發したるものにして八丈島にては微震を感じ横濱、甲府、沼津にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一一一　八月九日午前四時四十二分十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十五秒にして主震動となり最大振幅は東西動は午前四時四十五分二十九秒に於て五十「ミクロン」振動期六秒七南北動は午前四時四十四分十秒に於て六十七「ミクロン」振動期七秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十五分三十五秒南北動は三十三分五十八秒なり

附記　此地震は安房沖に發したるものにして八丈島及沼津にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一一二　八月九日午前十一時二十四分四十九秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前十一時二十六分五秒に於て八「ミクロン」振動期四秒〇を現し全振動時間は九分三十二秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は安房沖に發したるものにして八丈島にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一一三　八月九日午前十一時四十二分五秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前十一時四十三分九秒に於て八「ミクロン」振動期三秒七を現し全振動時間は十分三十五秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は安房沖に發したるものにして八丈島にては微震を感じ沼津にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一一四　八月九日午後零時四十分四十八秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午後零時四十二分三十四秒に於て十二「ミクロン」振動期四秒〇を現し全振動時間は十一分十五秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は安房沖に發したるものにして八丈島にては微震を感じ沼津にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一一五　八月九日午後五時二十分四十三秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午後七時二十三分三十九秒に於て五「ミクロン」振動期三秒八を現し全振動時間は六分五十七秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は安房沖に發したるものにして八丈島及沼津にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一一六　八月九日午後十時五十五分五十六秒の地震

一秒に於て四十二「ミクロン」振動期七秒○五南北動は午前三時三十八分二十九秒に於て三十五「ミクロン」振動期九秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十九分三十五秒南北動は三十一分五十五秒なり

附記　此地震は沖繩島の南方に發したるものにして石垣島、那覇、名瀨にては微震を感じたり

一〇七　八月八日午後二時二十六分二十八秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十七秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後二時二十八分三十八秒に於て二十五「ミクロン」振動期七秒二南北動は午後二時二十八分五十五秒に於て十五「ミクロン」振動期七秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十六分二十四秒南北動は二十四分二十秒なり

附記　此地震は未だ震源は詳ならざれども名古屋津及陸中の水澤にても地震計に感じたり

一〇八　八月八日午後三時十二分二十四秒の地震

此地震は微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は東西動は午後三時十八分二十六秒に於て二十「ミクロン」振動期七秒○南北動は午後三時十七分三十九秒に於て十「ミクロン」振動期七秒○を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十八分二十五秒南北動は三十六分三十秒なり

附記　此地震は安房沖に發したるものにして八丈島にては微震を感じ沼津、福島にては地震計に感じたり

一〇九　八月八日午後五時十七分十五秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十八秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後五時十九分五十四秒に於て六十「ミクロン」振動期八秒六南北動は午後五時十八分五十五秒に於て七十「ミクロン」振動期七秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十三分四十二秒、南北動は三十一分三十二秒なり

附記　此地震は安房沖に發したるものにして八丈島及筑波にては微震を感じ東京、甲府、水戸、沼津にては人體に感覺なきも地震計に感じたり

一一〇　八月九日午前二時五十三分五十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分二十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前二時五十五分五十七秒に於て四十「ミクロン」振動期四秒八南北動は午前二時五十七分十四秒に於て三十「ミクロン」振動期五秒八を現し後微となり靜止せり、全震動時間は東西動は二十五分五十五秒南北動は二十二分五十五秒なり

晴天深日、岸和田、長野に驟雨あり●十九日概ね晴天所々に驟雨あり●二十日晴曇相半す●二十一日概ね曇天●二十二日概ね雨天●二十三概ね晴天●二十四日概ね晴天●二十五日概ね晴天●二十六日概ね晴天●二十七日概ね晴天●二十八日概ね晴天大阪に強風吹けり●二十九日概ね晴天上之郷、岸和田、長承寺、秦野、長野に雨降り長承寺、新庄に強風吹けり●卅日概ね雨天●卅一日晴曇相半し上之郷、岸和田、長承寺、清水に雨降れり

大阪地震觀測概況

爰に記する所のものは主として大森式地動計(東西及南北動二十倍)を以て觀測したるものを記し、稍微なる地震にありては百廿倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如しPは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動全上、Lは長波即ち主要部全上、Mは主要部の最大動、Cは終期の最大動、Fは振動の終と す又(+)は南北動にありては北、東西動にありては東、(−)は南北動にありては南、東西動にありては西なり振幅は「ミクロン」(粍の千分一)を以て記す

本月中に地震を觀測したる數は二十九回に達したれども本邦内にありたるものは重に安房沖より東海岸沖に亘りたるものにして孰れも微弱なり即ち人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感じたるものも亦た一回もなかりし而して無感覺地震にして地動計又は微動計に感じ其震源本邦内にありたるものは二十六回即ち安房沖十六回、本州南東部二回本州東海岸三回、東京灣二回、沖繩島の南方一回其他震源未詳二回なり又遠距離地震は三回にして就中顯著なりしは三十日午後一時十五分十二秒南洋「セレベス海」附近に發したるもの一回其他は未だ震源詳ならず今其觀測概況を列記すれば左の如し

一〇五　八月六日午前一時三分三秒の地震

此震地は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は十分廿六秒第二は八分五十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前一時三十四分四十六秒に於て十「ミクロン」振動期十三秒〇南北動は午前一時三十七分五十六秒に於て十五「ミクロン」振動期十六秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時三十二分五十八秒、南北動は一時四十一分三十五秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども福岡にては午前一時三分三秒に此地震を觀測せりと云ふ

一〇六　八月六日午前三時四十一分三十五秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は三分九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前三時四十七分五十

十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	卅一日	全月
	二、八	—	—	二九、四	八、八	—	—	—	—	—	—	六、四	二、四	—	一三八、〇
—	—	—	—	二、〇	六、一	—	—	—	—	—	—	三、七	三、七	—	一一〇、五
一、八	八、〇	—	—	四、一	〇、九	—	—	—	—	—	—	五、〇	四、〇	〇、九	九九、八
一、四	—	〇、〇	—	六、三	〇、八	—	—	—	—	—	—	五、三	八、〇	〇、一	六四、三
一八、三	—	〇、七	—	一、〇	六、八	—	—	—	—	—	—	—	七、六	—	六四、〇
一六、五	—	—	—	八、四	—	—	—	—	—	—	—	二、四	六、四	—	九四、一
六、〇	—	—	—	九、〇	—	—	—	—	—	—	—	一、〇	四、一	—	七四、九
三五、五	—	〇、〇	—	八、五	〇、〇	—	—	—	—	—	—	〇、四	一、〇	—	九九、一
七、七	—	二、三	—	六、八	—	〇、〇	—	—	—	〇、四	—	一、六	三、七	—	八六、三
一、〇	—	一、八	—	四、三	〇、三	—	—	—	—	—	—	〇、三	四、二	—	八三、五
四、二	—	—	—	三、九	〇、三	—	—	—	—	—	—	〇、三	〇、五	—	一三六、四
—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	一、〇	—	二〇八、〇
〇、五	—	—	—	一、九	〇、〇	—	—	—	—	—		〇、〇	〇、六	—	一七四、九
二、九	—		—	二、三	—	—	—	—	—	—	—	—	一、三	〇、三	一一〇、三
—	—	—	—	四、二	—	—	—	—	—	—	—	—	三、四	—	一一二、四
二、四	—	—	—	一、七	—	—	—	—	—	—	—	—	四、三	—	一三三、〇
二、〇	—	—	—	一、五	—	—	—	—	—	—	—	〇、二	二、一	—	八八、三
一、四	—	—	—	三、三	—	—	—	—	—	—	—	—	一、九	—	四四、五
?	—	—	—	八、五	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、五	〇、四	五八、七
〇、九	—	—	—	八、四	—	—	—	—	—	—	—	〇、六	〇、二	—	七五、四
三、〇	—	一、〇	—	七、五	一、〇	—	—	—	—	—	—	—	七、五	—	一〇七、三
二五、〇	一六、四	一、三	—	七、五	三、三	—	—	—	—	—	—	六、六	五、二	—	一五五、七

管內天氣摘要

●一日概ね晴天●二日晴曇相半し午後より雨降り翌日に亘る所々に強風吹けり●三日前日來の雨斷續して翌日に亘りし所多く所々に強風吹けり●四日前日來の雨午前歇み後概ね曇天妙見山に濃霧あり●五日概ね晴天所々に驟雨あり●六日概ね晴天妙見山に濃霧あり●七日概ね晴天大阪に電光を認む●八日概ね晴天

●九日概ね晴天大阪に電光東郷天王に雷雨あり●十日概ね晴天●十一日概ね晴天●十二日概ね雨天●十三日概ね晴天堺、東郷に微雨妙見山に濃霧あり●十四日概ね晴天なりしが午後より雨降り翌日に亘る深日、上之郷に強風吹けり●十五日前日來の雨午前歇み天王に雷鳴あり●十六日概ね晴天田原、富田林、長野に微雨妙見山に濃霧あり●十七日概ね晴天なりしも午後に至り殆んど全管內に亘る雷雨あり長承寺に強風吹けり●十八日概ね

田原	八尾	柏原	富田林	長野
三一、二	三一、六	三二、五	三一、六	三〇、〇
二〇、七	二一、八	二二、一	二一、三	二〇、七
二五、九	二七、二	二七、三	二六、四	二五、四
〇、三	〇、六	〇、一	〇、九	〇、七
三四、八	三七、五	三七、四	三五、四	三四、二
一	一	一	一	一四
一四、〇	一三、五	一五、八	一五、七	一五、三
二四	二五	二四	二四	二五
四四、五	五八、七	七五、四	一〇七、三	一五五、七
八三、四	五五、一	五四、二	一二、五	三六、二
一二、八	二六、三	二一、一	二八、〇	四二、五
三	三	三	一四	一四
二八、六	二九、二	二八、一	二八、四	二七、二
六八	六九	七六	八四	七二
四、一	三、六	五、四	五、四	四、一
東	北東	北	南西	西
八	八	一一	九	一一
〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇
一	一	二	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇
一六	一八	四	一一	一一
八	八	一一	一三	四
〇	二	一	〇	〇

第四表　管內降水日量

八月	深日	上之鄉	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	秦野	妙見山	東鄉	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	—	四、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二日	三二、〇	一五、五	一一、七	四、一	五、一	六、四	四、六	三、八	三、八	〇、六	二八、五	一六、〇	一二、六	一二、五	六、四	八、一	八、五	四、三	九、〇	一〇、四	一四、〇	一五、三
三日	四五、一	二六、〇	二八、〇	二三、六	二三、八	二九、〇	三九、〇	三九、三	四八、三	五四、〇	七三、六	一三九、〇	一一九、〇	四九、〇	六九、六	六五、〇	五五、五	二二、八	二六、三	二一、一	二四、五	二九、六
四日	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、三	—	—	〇、二	一、二	六、三	—	—	—	—	—	—	—	—
五日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、五	四、〇	三、一	〇、八	—	一、二	—	—	—	—	—	—
六日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
八日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四、〇	九、〇	—	—	—	—	—	—	—	—
十日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十一日	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	〇、三	〇、二	—	—	—	—	—	—	—	—
十二日	—	〇、〇	〇、二	〇、七	〇、七	五、七	二、二	三、四	一、九	六、二	一、五	二七、七	一六、二	一一、〇	七、二	一〇、〇	六、八	二、八	?	四、八	—	—
十三日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十四日	一三、一	四九、五	三五、二	一四、〇	—	一〇、七	九、〇	七、二	九、五	一一、〇	一六、九	一九、六	一五、四	一三、五	二一、七	二四、三	一〇、五	七、七	一四、〇	一七、一	二八、〇	四二、五
十五日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五、三	〇、五	—	一、二	〇、一	五、〇	〇、一	〇、三	—	一〇、三	二、八	三、二
十六日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、八	—	—

雷雨

本月中に雷雨を觀測せしは四回にして其中顯著なるものを概記せんに十七日午後五時四十四分大阪市を中心とせる雷雨あり前號所報の如く落雷十數ケ所に達し震死者を出し築港附近は篠を衝くが如き豪雨之に伴ひ僅かにして二十五粍以上降下せしが雷の東方に經過するに從ひ雨歇み雷鳴も衰へ北東に至りて遂に消散せり

第三表　管內全月氣象觀測成績

（表中▲印は高又は多）

觀測所	空氣ノ溫度 平均最高	平均最低	平均 本年平年比較	最高極 起日	最低極 起日	降水 總量 本年平年比較	最多日量 起月	氣溫	濕度 雲量	最多風向	降水	雪	霰	雹	霜	雷	地震	天氣日數 快晴	曇	大暴風
難波	三一、四	三一、一	〇、三	三四、六	一六、七、二四	一五八、〇▲	四一、一 三、六	七	四四	北	八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三	八	三
上之鄉	三〇、八	二〇、九	五、六	三三、一	一六、七、二四	一〇、五	四五、四 三、六	七	四、六	北	八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	一一	二
岸和田	三〇、六	二一、一	五、三	三三、二	一六、七、二四	九九、八	二二、三 三、九	七	四、三	北	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	六	〇
長承寺	三〇、八	二一、六	五、三	三三、二	一六、七、二四	九九、八	二二、三 三、九	七	四、三	北	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	六	〇
濱寺	三一、四	二一、〇	一、〇	三四、七	一六、八、二四	九〇、〇	二三、八 三、八	七	四、九	北東	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五	〇
堺	三一、四	二一、六	一、〇	三四、五	一六、八、二四	九四、一	二五、〇 三、四	七	五、一	東	九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三	〇
天王寺	三二、三	二一、〇	〇、六	三四、六	一六、七、二四	一四二、九	二四、〇 三、四	七	五、〇	西	八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	七	一
太阪	三一、四	二一、二	〇、三	三四、六	一六、七、二四	九九、一	二三、〇 三、四	七	五、三	北	八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	七	〇
福島	三一、〇	二一、〇	〇、三	三四、七	一六、七、二四	八三、三	二四、五 三、四	七	六、一	北東	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四	〇
新庄	三〇、七	二〇、九	〇、九	三三、一	一六、七、二四	八六、五	二五、九 三、四	七	五、九	東	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	九	〇
泰野	三〇、七	二〇、三	一、一	三三、一	一六、七、二四	八四、〇▲	二五、四▲ 三、四	七	六、四	南	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五	〇
妙見山	二九、一	二〇、一	一、一	三二、一	一六、八、二四	九八、〇▲	二八、〇▲ 三、四	七	九	中	八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	〇
東郷	二九、二	一九、八	一、一	三二、一	一六、八、二四	七四、九▲	二一、〇 三、四	七	九	南	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三	〇
天王	三〇、七	二〇、七	一、一	三三、一	一六、八、二四	一〇、五	二四、四 三、四	七	六、八	南東	三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	〇
英本	三一、一	二一、二	〇、九	三三、一	一六、八、二四	八三、三	二四、〇 三、四	七	六、四	東	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	〇
清水	三〇、六	二一、一	〇、七	三二、一	一六、八、二四	八三、三	二四、〇 三、四	七	六、九	南	九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五	〇
枚方	三一、四	二一、四	〇、四	三四、八	一六、七、二四	八八、三	二三、五 三、四	七	五、九	北	九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	〇

三十日	二五、〇	二五、八	二六、五	二六、九	二六、四	二三、九	午前三時五十五分より小雨斷續し午後十時十二分歇む
卅一日	二六、六	二七、〇	二六、七	二六、八	二六、三	二三、三	朝濃霧あり、午後四時四十分頃より五時五分頃迄幻日現れ暫後薄き日暈のみとなり六時十五分頃消ゆ、午後六時五十八分頃より八時廿分頃迄幻月現れ暫後薄き日暈のみとなり全八時四十分消ゆ、午後九時廿七分より全九時卅四分迄及全十時五十分より十一時迄月光環現る
全月	二六、四	二六、二	二六、三	二六、四	二七、三	二三、六	

大阪府管内氣象概況

前既に詳記せるが如く八月は雲量少なく晴燥の天氣殆んど固定し暑氣最も旺盛なる時にして氣溫は前月より引續き高溫を繼承し本月に入り年中の高極を現示するを常とし日射強烈なるの結果雷雨の發生を促し爲めに豪雨を注下すること往々あり然り而して本年八月の氣候を調査するに氣溫は上旬より中旬に亘りては前月末の氣象を繼承し頗る高溫にして西部福島に於て最高卅七度七に達し東部八尾は三十七度五、西部茨木は三十七度〇に昇りて暑氣甚しかりしが中旬の末より氣候一變して頓に冷氣となり二十四日は一般に月中の最低を現し北部妙見山は十一度四同天王及東部八尾は十三度五、北部東郷は十三度九を示すに至り爾後平年より二度乃至一度の低溫を持續し以て月末に至り翌月に入りて漸く順に復せり故に月平均氣溫は一般に平年より一度内外低し又降水量は三日の大雨を除くときは概ね驟雨性なりしかば其量極めて不同にして南部深日北部秦野、妙見山、東郷及南東部長野等の山間部は平年より多量を降下したれども最北端たる天王乃至東部の山間なる田原の如きは著しき寡量を呈し其他も一般に平年より少なし之れを要するに本年八月の氣候は上中の二旬は適順なりしも下旬は冷氣にして不順に終れり更に氣溫、降水量、雷雨等に就き詳記すれば左の如し

氣溫

平均は西部枚方の廿七度三、東部八尾の廿七度二、西部大阪の廿七度一及堺、天王寺、福島、茨木の廿七度〇より北部妙見山の廿一度七の間にありて之れを平年に比すれば孰れも一度内外の低溫を示せり而して最高は其起日區々なれども一日に現はれたるもの最も多く南部濱寺の卅七度八西部福島の三十七度七を高極とし東部八尾の卅七度五西部茨木の卅七度〇之れに亞ぎ南部堺西部枚方の卅六度五同天王寺の卅六度三又之れに亞ぎ其他は卅六度より卅二度の間を示し北部の山間は卅度乃至廿九度に止まれり又最低は概ね廿四日に現はれ北部妙見山の十一度四を低極とし天王及東部八尾の十三度五之れに亞ぎ其他は十四度より十七度の間にあり之れを要するに本月の氣溫は最高卅七度七より最低十一度四の間にありて其較差は廿六度三に達せり

降水

總量は北部妙見山の二百八粍〇より東部田原の四十四粍五の間にありて之れを平年に比すれば南北の兩端に稍々多きも其他は一般に少なく東部田原の如きは平年の三分の一に過ぎず而して日量の最多は概ね三日の大雨の際にありて北部妙見山の百卅九粍〇同東郷の百十九粍〇を最多とし秦野の七十三粍六之れに亞ぎ又日量の六十粍以上なりしは茨木、清水の二ケ所五十粍以上なりしは新庄、枚方の二ケ所四十粍以上なりしは深日、上之郷、福島、天王、長野の五ケ所にして其他は三百九粍三より廿二粍八の間にあり

五日	二九、三	二八、九	二八、五	二八、四	二六、八	二一、七	朝露あり
六日	三〇、四	二九、六	二九、一	二八、九	二六、九	二一、三	朝露あり、午前一時四十八分より仝二時四十分迄月光環現る、午後零時三十分より仝四十二分迄微雨、夜薄露あり
七日	三三、三	三〇、五	二九、八	二九、五	二七、二	二三、七	朝薄露あり、午後七時五十五分より仝九時廿八分迄北東方に電光あり
八日	三三、六	三〇、七	三〇、三	三〇、〇	二七、五	二三、七	朝、夜薄露あり
九日	三一、〇	三〇、二	三〇、二	三〇、一	二七、七	二一、七	朝薄露あり、午後八時五分より仝十一時五十八分迄南東方に電光あり
十日	三三、四	三〇、一	二九、九	二九、九	二七、八	二一、八	朝、夜薄露あり
十一日	三四、〇	三〇、七	三〇、四	三〇、二	二八、〇	二三、〇	朝薄露あり
十二日	二七、八	二九、六	三〇、〇	三〇、二	二八、一	二四、七	午前九時五十五分より降雨斷續し午後五時十分歇む
十三日	二八、八	二八、八	二九、〇	二九、三	二七、九	一八、三	朝、夜薄露あり
十四日	三〇、九	二八、六	二八、七	二九、〇	二七、七	一八、三	朝露あり、午後九時廿二分より降雨斷續し仝十一時廿四分歇む
十五日	二八、二	二九、一	二九、一	二九、二	二七、七	二一、五	午前二時十一分より二時四十五分迄及仝七時十二分より仝九時三十分迄小雨、午前五時四十三分より仝六時三十分迄薄霧あり
十六日	三二、五	二九、五	二九、三	二九、三	二七、六	二一、二	朝薄露あり、午後五時より六時迄強風吹けり
十七日	二七、〇	二八、三	二八、九	二九、二	二七、七	二〇、六	午前十時四十七分より降雨となり時々大雨を交へ斷續し午後七時十分歇む、午後五時四十四分南東方に電光起り仝五時五十分頃より電雷となり六時頃天頂に來り雷雨となり仝六時廿四分頃東に廻り仝六時四十五分頃北東に至り七時五十分頃收撃せしも電光は八時卅五分頃迄ありたり
十八日	二七、五	二七、七	二八、〇	二八、三	二七、六	二〇、八	朝薄露あり
十九日	二八、〇	二七、九	二八、一	二八、五	二七、五	二〇、八	朝露あり午後三時四十四分より仝四時五十五分迄微雨
二十日	二七、五	二七、八	二八、一	二八、四	二七、四	二一、三	午前八時五十分より仝十一時三十三分迄日暈現る
廿一日	二六、三	二七、三	二七、七	二八、一	二七、三	二〇、三	朝薄露あり、午前六時五十分より仝七時三十五分迄、仝八時五十分より仝九時四十分迄及午後零時四十五分より仝二時四十分迄日暈現る、午後十一時七分より仝十一時四十五分迄微雨
廿二日	二五、八	二六、一	二七、〇	二七、六	二七、一	一七、三	午前零時卅五分より降雨斷續し午後一時十分歇む、夜露あり
廿三日	二五、四	二五、五	二六、三	二七、〇	二六、九	一五、四	朝露多し夜露あり
廿四日	二四、三	二五、二	二六、〇	二六、六	二六、六	一四、三	朝夜露多し
廿五日	二五、三	二五、四	二六、一	二六、六	二六、四	一五、五	仝上
廿六日	二六、五	二六、三	二六、五	二六、七	二六、四	一八、五	朝薄露あり、午前十時廿分より仝十一時十分迄日暈現る、夜薄露あり
廿七日	二六、九	二六、六	二六、八	二七、〇	二六、四	一八、〇	朝露あり、午前八時七分より仝八時廿五分迄日暈現る
廿八日	二八、〇	二六、六	二六、九	二七、一	二六、四	一七、八	朝露あり、午後四時より仝五時迄強風吹けり
廿九日	二七、四	二六、一	二六、六	二七、〇	二六、四	一八、三	午前九時五十五分より午後一時十五分迄仝三時十五分より仝五時四十三分迄日暈午後七時四十五分より仝八時廿分迄月暈現る

月日	地中温度（平均）地皮十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温	諸現象の摘要
八月 一日	三四、二	三〇、六	三〇、三	二七、四	二三、九	朝薄露あり
二日	二六、六	二九、六	二九、六	二七、五	二三、八	午前六時五十分より午後七時四十五分迄及午前十一時四十五分より午後零時十五分迄日暈現る、午前八時より午後三時迄及午後五時より夜半迄強風吹けり、午後一時十分より小雨斷續し整日に亘る
三日	二四、四	二七、一	二八、〇	二六、六	二三、五	前日來の降雨斷續し午後に至り時々大雨となり整日に亘る、午前一時より午後六時より夜半迄強風吹けり
四日	二六、二	二七、六	二七、八	二六、九	二三、五	前日來の小雨斷續し午前八時三十分歇む、午前一時より五時及午後七時より九時迄強風吹けり、夜薄露あり

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

月日	地中温度（平均）地皮十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温	諸現象の摘要
全月	二六、二	二九、二	三〇、〇	二七、二	二三、七	
廿一日	二六、三	二九、四	三〇、七	二七、三	二三、六	
廿二日	二六、四	二九、八	三〇、八	二七、四	二三、七	
廿三日	二六、四	二九、八	三〇、八	二七、四	二三、八	
廿四日	二六、二	二九、六	三〇、六	二七、三	二三、八	
廿五日	二六、一	二九、五	三〇、五	二七、二	二三、八	
廿六日	二五、九	二九、四	三〇、四	二七、二	二三、八	
廿七日	二五、八	二九、三	三〇、三	二七、二	二三、八	
廿八日	二五、七	二九、二	三〇、二	二七、一	二三、八	
廿九日	二五、五	二九、一	三〇、一	二七、一	二三、八	
三十日	二五、四	二八、九	三〇、〇	二七、〇	二三、八	
三一日	二五、三	二八、八	二九、九	二七、〇	二三、八	

月日	地中温度（平均）地皮十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温	諸現象の摘要
七月 十七日	二七、九	二六、二	一、三	二〇、五	二三、〇	
十八日	二七、九	二六、一	〇、九	二〇、五	二三、〇	
十九日	二七、九	二六、一	〇、九	二〇、五	二三、〇	
二十日	二七、八	二六、〇	〇、九	二〇、五	二三、〇	
廿一日	二七、八	二六、〇	一、〇	二〇、五	二三、〇	
廿二日	二七、七	二六、〇	一、一	二〇、五	二三、〇	
廿三日	二七、七	二六、〇	一、一	二〇、五	二三、〇	
廿四日	二七、六	二六、〇	一、一	二〇、五	二三、〇	
廿五日	二七、六	二六、〇	一、一	二〇、五	二三、〇	
廿六日	二七、五	二六、〇	一、一	二〇、五	二三、〇	
廿七日	二七、五	二六、〇	一、一	二〇、五	二三、〇	
廿八日	二七、四	二六、〇	一、一	二〇、五	二三、〇	
廿九日	二七、四	二六、〇	一、一	二〇、五	二三、〇	
三十日	二七、三	二六、〇	一、一	二〇、五	二三、〇	
三一日	二七、三	二六、〇	一、一	二〇、五	二三、〇	

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印は高又は多）

八月	氣壓 平均	空氣ノ溫度 平均			水蒸氣張力 平均	濕度 平均	飽差 平均	風速 平均速度	風速 最大速度	風 全上方向最多方向	雲量 日照時數 平均	雲量 日照時數 本年平年比較	降水量	蒸發量
		平均	本年平年比較	最高	最低	較差								
廿二時	七五二、六二	二五、二五	一、九一	三一、四	二〇、三	一一、一	四、三五	四、二四	五、一	—	〇、一	二四、二二	二八、四五	二〇、一六
廿三時	七五二、二五	二四、八七	一、九二	三一、八	二〇、三	一一、五	四、一四	三、八九	四、四四	—	〇、三	二三、八八	二八、二七	二〇、一六
廿四時	七五二、五六	二四、四三	一、九〇	三一、七	二〇、三	一一、四	三、七二	三、五九	四、九	—	〇、一	二三、六二	二八、三一	二〇、一六
平均	七五二、二五	二三、五六	一、九六	三一、九	二〇、三	一一、六	四、一五	四、二五	五、一五	二四、五五	〇、一	二三、二六	二八、一四	二〇、一八
一日	七五二、五五	二五、一七	▲ 二、四	三一、四	二〇、三	一〇、六	四、三一	四、一四	八、九	七、三	東	一〇、三	▲ 二、一	—
二日	七五三、一九	二四、〇七	▲ 〇、三	三一、八	二〇、三	一一、五	三、六〇	三、八五	七、四	一一、八	東北東	九、八	五、三	二、三
三日	七五四、一二	二三、四三	〇、九	三一、一	二〇、三	一〇、八	三、三三	四、一四	八、四	一〇、六	東北東	一〇、〇	—	五、六
四日	七五五、〇三	二四、九一	▲ 〇、八	三一、一	二〇、三	一〇、八	四、〇七	四、一四	八、三	七、二	南西	四、八	▲ 一、二	一、〇
五日	七五六、五五	二三、七五	▲ 〇、九	三一、一	二〇、三	一〇、八	三、三三	三、八五	八、四	一〇、六	南西	五、三	一、五	—
六日	七五六、二一	二五、一一	▲ 一、一	三一、七	二〇、三	一一、四	三、七〇	三、八五	八、四	一〇、六	南西	四、八	一、五	—
七日	七五六、七二	二五、三〇	▲ 一、三	三一、七	二〇、三	一一、四	三、八三	四、一四	八、三	一〇、六	南西	五、三	二、三	—
八日	七五九、三三	二五、九五	▲ 一、九	三一、九	二〇、三	一一、六	四、三三	四、一四	八、四	一〇、六	西南西	六、〇	九、四	〇、五
九日	七五九、五五	二五、八〇	▲ 一、九	三一、九	二〇、三	一一、六	四、三三	四、一四	八、四	一〇、六	南西	五、三	一、五	—
十日	七五七、九	二四、九一	▲ 一、四	三一、九	二〇、三	一一、六	四、〇七	四、一四	八、四	一〇、六	南西	四、八	▲ 一、二	一、〇
十一日	七五五、四	二六、八九	▲ 一、二	三一、七	二〇、三	一一、四	四、三三	四、一四	八、四	一〇、六	南南西	五、五	八、五	—
十二日	七五二、二五	二七、二五	▲ 〇、三	三一、八	二〇、三	一一、五	四、八〇	四、一四	八、四	一〇、六	南西	九、三	一、〇	八、二
十三日	七五二、〇	二六、九	〇、四	三一、〇	二〇、三	一一、二	四、〇三	三、八五	八、四	一〇、六	北	二、一	▲ 四、〇	—
十四日	七五一、五	二七、六	〇、〇	三一、九	二〇、三	一一、九	四、一四	四、一四	八、四	一〇、六	北東	六、四	▲ 一、一	〇、四
十五日	七五四、七	二六、九	〇、九	三一、八	二〇、三	一一、七	四、一四	四、一四	八、四	一〇、六	西南西	五、七	▲ 八、五	二、八
十六日	七五七、〇	二七、三	〇、〇	三一、九	二〇、三	一一、九	四、二四	四、一四	八、四	一〇、六	西南西	四、一	▲ 三、五	—

第一表　大阪每時氣象觀測成績表

八月	氣壓平均	氣溫平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速度平均	雲量平均	日照時數	降水量	地中溫度（平均） 地皮	地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
一時	七五二、三	二四、九	一九、一〇	八四、四	三、三八	三、四〇	五、四	—	一、〇	二三、三九	二四、六	二六、四六	二七、〇	二七、一六
二時	七五二、〇九	二四、九	一九、〇三	八四、〇	三、四一	三、三四	四、二	—	〇、〇	二三、一九	二四、四	二六、四三	二七、〇	二七、一六
三時	七五二、〇五	二四、七	一九、〇二	八四、七	三、二八	三、二七	三、五	—	〇、〇	二三、一八	二四、一七	二六、三九	二七、〇	二七、一六
四時	七五二、〇四	二四、五	一八、九四	八四、〇	三、二九	三、三三	四、二	—	〇、〇	二三、一八	二四、〇	二六、三六	二七、〇	二七、一六
五時	七五二、一四	二三、八	一八、八八	八四、七	三、二八	三、二七	六、〇	—	〇、八	二三、一四	二三、八九	二六、三三	二七、〇	二七、一六
六時	七五二、一〇	二三、六	一八、八一	八四、〇	三、三五	三、三三	六、二	一、〇	〇、〇	二三、一二	二三、七八	二六、三〇	二七、〇	二七、一六
七時	七五二、一二	二三、六	一八、八二	八四、三	三、三四	三、三五	六、四	一、〇	〇、八	二三、一二	二三、七六	二六、二八	二七、〇	二七、一六
八時	七五二、一四	二三、八	一八、八三	八四、四	三、三四	三、四〇	六、三	一、〇	〇、八	二三、一二	二三、七四	二六、二七	二七、〇	二七、一六
九時	七五二、一二	二三、九	一八、八一	八四、三	三、三四	三、四〇	六、三	一、〇	二、八	二三、一二	二三、七二	二六、二六	二七、〇	二七、一六
十時	七五二、一四	二四、一	一八、八五	八四、二	三、三五	三、四〇	六、三	一、〇	〇、三	二三、一二	二三、七〇	二六、二五	二七、〇	二七、一六
十一時	七五二、一三	二四、二	一八、九〇	八四、二	三、三五	三、四〇	六、三	一、〇	〇、〇	二三、一二	二三、六八	二六、二四	二七、〇	二七、一六
十二時	七五二、一〇	二四、三	一八、九一	八四、一	三、三五	三、四〇	六、三	一、〇	〇、〇	二三、一二	二三、六六	二六、二三	二七、〇	二七、一六
十三時	七五二、〇一	二四、三	一八、九一	八四、一	三、三五	三、四〇	六、三	一、〇	〇、〇	二三、一二	二三、六四	二六、二二	二七、〇	二七、一六
十四時	七五二、〇三	二四、三	一八、九一	八四、一	三、三五	三、四〇	六、三	一、〇	〇、〇	二三、一二	二三、六二	二六、二一	二七、〇	二七、一六
十五時	七五二、〇五	二四、三	一八、九一	八四、一	三、三五	三、四〇	六、三	一、〇	〇、〇	二三、一二	二三、六〇	二六、二〇	二七、〇	二七、一六
十六時	七五二、〇五	二四、三	一八、九一	八四、一	三、三五	三、四〇	六、三	一、〇	〇、〇	二三、一二	二三、五八	二六、一九	二七、〇	二七、一六
十七時	七五二、〇四	二四、三	一八、九一	八四、一	三、三五	三、四〇	六、三	一、〇	〇、〇	二三、一二	二三、五六	二六、一八	二七、〇	二七、一六
十八時	七五二、〇五	二四、三	一八、九一	八四、一	三、三五	三、四〇	六、三	一、〇	〇、〇	二三、一二	二三、五四	二六、一七	二七、〇	二七、一六
十九時	七五二、〇六	二四、三	一八、九一	八四、一	三、三五	三、四〇	六、三	一、〇	〇、〇	二三、一二	二三、五二	二六、一六	二七、〇	二七、一六
二十時	七五二、〇七	二四、三	一八、九一	八四、一	三、三五	三、四〇	六、三	一、〇	〇、〇	二三、一二	二三、五〇	二六、一五	二七、〇	二七、一六
廿一時	七五二、〇八	二四、三	一八、九一	八四、一	三、三五	三、四〇	六、三	一、〇	〇、〇	二三、一二	二三、四八	二六、一四	二七、〇	二七、一六

高は午後一時にありて三十八度七九を示し最低は午前五時にありて二十二度六三を示せり、而して其較差は十六度一六なり

地中十糎の溫度　平均は二十八度〇六にして平年に比すれば零度五〇低く月中の最高は十一日午後三時に於て三十三度四を示し最低は二十五日午前七時及八時に於て二十三度二を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて二十九度六七を示し最低は午前八時にありて二十六度六八を示せり、而して其較差は二度九九なり

地中二十糎の溫度　平均は二十八度二四にして平年に比すれば零度二〇低く月中の最高は十日午後八時乃至十時に於て三十一度一を示し最低は二十四日及二十五日の午前九時乃至正午に於て二十五度三を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後十時にありて二十八度七五を示し最低は午前十時乃至十一時にありて二十七度七〇を示せり、而して其較差は一度〇五なり

地中三十糎の溫度　平均は二十八度四四にして平年に比すれば零度一五高く月中の最高は十一日午後十時に於て三十度六を示し最低は二十四日正午乃至午後五時に於て二十六度三を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午前一時にありて廿八度六八を示し最低は午後二時にありて廿八度二四を示せり、而して其較差は零度四四なり

地中六十糎の溫度　平均は二十七度一八にして平年に比すれば零度四八高く月中の最高は十二日午前二時より翌十三日午前五時に於て二十八度一を示し最低は三十一日午前六時乃至夜半に於て二十六度二を示せり、但し此深さにありては殆ど一日中の變化を認め難し

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時に生じ地中十糎にありては午後五時、同二十糎にありては午後十時、同三十糎にありては午前一時に生じ最低は地皮にありては午前五時に生じ地中十糎にありては午前八時、同二十糎にありては午前十時乃至十一時同三十糎にありては午後二時に生ぜり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地溫　平均は廿度六四にして平年に比すれば零度三三低く月中の最低は廿四日午前五時頃に於て十四度三を示せり

天氣日數

快晴は二日にして平年より三日少く曇天は六日にして平年より一日多く雨雪は二日にして平年より二日少し

尙詳細は左に掲ぐる氣象觀測成績表を參照すべし

廿四日午後一時に於て十一粍八を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて十九粍六二を示し最低は午前六時にありて十八粍八六を示せり而して其較差は零粍七六なり

濕度の平均は七十四、七にして平年に比すれば〇、八多へ月中の最少は十三日午後五時に於て四十一を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前五時にありて八十七、七を示し最少は午後二時にありて六十、四を示せり、而して其較差は廿七、三なり

飽差の平均は毎立方米中六瓦七六にして平年に比すれば零瓦四八少く月中の最多は一日午後三時に於いて廿瓦二を示し最少は五日午前三時及五時より六時に於て零瓦九を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後三時にありて十二瓦四一を示し最少は午前五時にありて二瓦五八を示せり而して其較差は九瓦八三なり

風

平均速度は毎秒四米六五にして平年に略ほ等しく月中の最大速度は三日午前四時乃至五時の毎秒廿米一（一間平方面を垂直に壓する力は四十二貫七百目）の東北東風なり又強風以上の吹きたる日數は五日にして平年に比すれば三日少く其時數は四十六時にして平年に比すれば十一時多し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後五時乃至六時にありて六米七四を示し最小は午前一時乃至二時にありて三米二四を示せり、而して其較差は三米五〇なり

風向は南西風最も多く北乃至北東風及西風之れに亞ぎ北西及南東風は最も少し之れを平年に比すれば南西及西風は多く北東及北西風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は五、五にして平年に比すれば〇、五多く日照時數は二百四十五時二五にして平年に比すれば二十一時五八少く一日中に於て日照時間の最も長かりしは十六日及廿四日の十二時五〇なり

降水及蒸發量

降水日數は九日にして平年に等しく其水量は九十八粍五にして平年に比すれば十九粍九少く一日中の最多量は三日の三十九粍六、一時間の最多量は十七日午後五時乃至六時の二十粍〇なり又蒸發總量は百九十二粍二にして平年に比すれば三十二粍六少く一日中の最多量は一日の十粍五なり

地中溫度及最低地溫

地皮溫度の平均は二十八度三八にして平年に比すれば一度二一低く月中の最高は一日正午に於て五十三度四を示し最低は廿四日午前五時に於て十六度七を示せり又月平均に就ては一日中の變化を看るに最

大阪測候所月報

大正六年八月

大阪氣象概況

八月は一年中の最暑季節にして晝間は主として南西風吹き速度稍々強く夜間は北東の軟風又は靜穩なり而して此月は好晴の天氣多く雨は少し然れども時々雷雨發生し大雨豪注し又は颱風襲來して暴風雨を起すとあり、然り而して本年八月の氣候を調査するに上旬は暑熱甚しく中旬は平年と大差なかりしも下旬は平年より冷氣なりし又日照時數及降雨は平年より稍々少く暴風雨は二日及三日にありしも微弱にして概して無事平穩の方にありし

今各氣象要素に就き詳記すれば左の如し

但本項に記する所の平年は築港に於ける最近六箇年の平均なり

氣壓

平均は七百五十七粍二三にして平年に比すれば一粍一二高く日々の變化は氣象圖に示すが如く稍々顯著なる昇降は二回にして他は緩微なりき而して月中の最高は廿八日午前七時乃至八時に於て七百六十四粍七を示し最低は三日午前八時に於て七百四十五粍〇を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前九時にありて七百五十七粍七九、第一の最低は午後五時にありて七百五十六粍四八を示し第二の最高は午後十一時にありて七百五十七粍六五、第二の最低は午前三時にありて七百五十七粍〇六を示せり、而して其主なる最高低の較差は一粍二一なり

氣溫

平均は二十六度五六にして平年に比すれば零度六四低く平均氣溫日々の變化は氣象圖に示すが如く一日より十一日迄は殆ど平年より高かりしも中旬は平年より稍々低く下旬は平年より著しく低し月中の最高は一日午後三時頃に於て三十五度四を示し最低は廿四日午前五時頃に於て十七度五を示せり、而して最高氣溫の三十度以上に昇りたる日數は二十四日にして平年より三日少し、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後三時にありて三十度三九を示し最低は午前五時にありて二十三度三七を示せり而して其較差は七度〇二なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

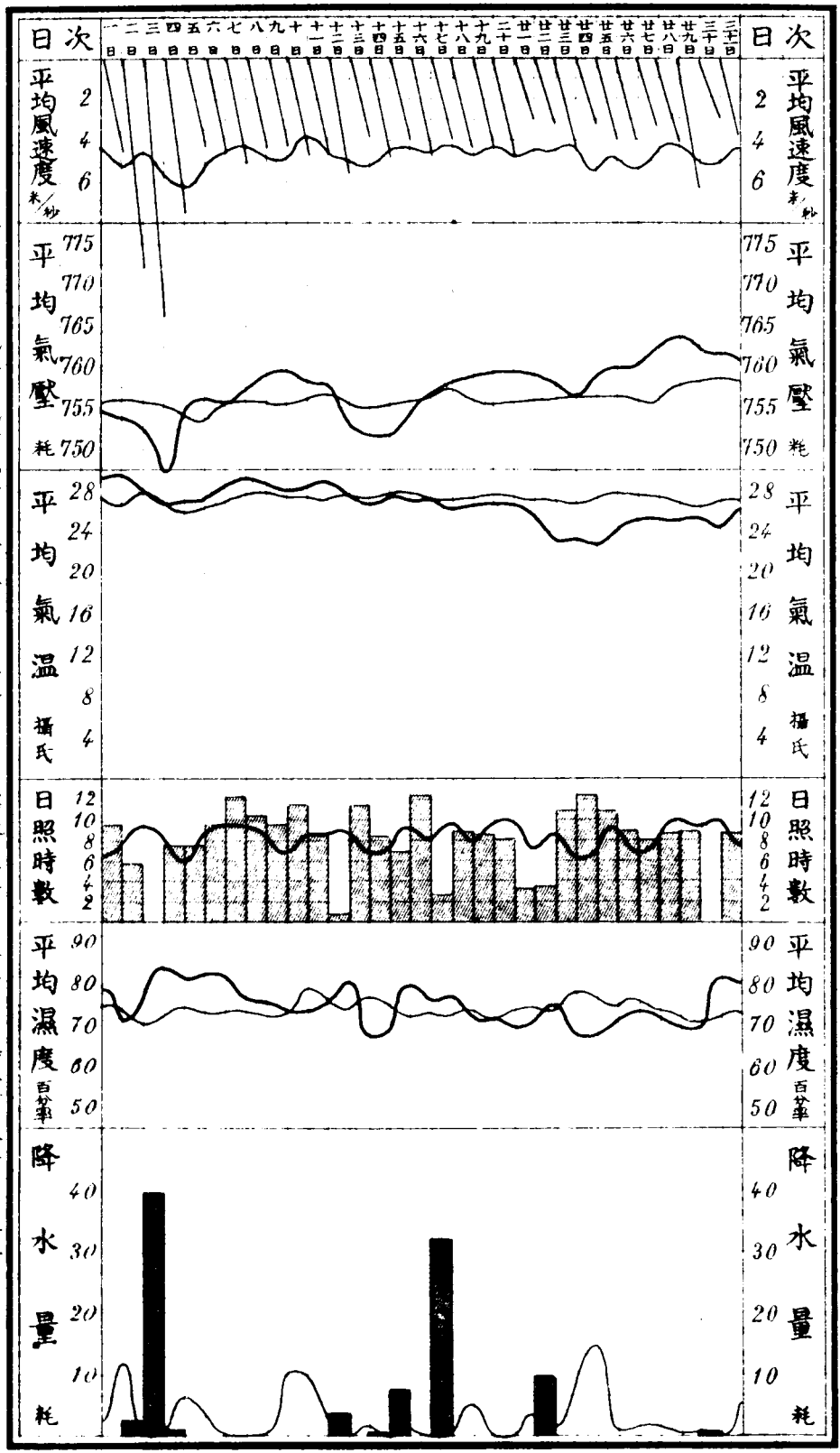
水蒸氣張力の平均は十九粍一六にして平年に比すれば零粍四二低く月中の最高は二日午後三時及六日午後七時に於て廿三粍三を示し最低は

大正六年八月

大阪氣象圖

August 1917

本圖八日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス　風速度、氣壓、氣溫、濕度ハ本年――平年――　日照時數ハ本年▮▮平年――　降水量ハ本年▮▮平年――



大阪府管內氣象觀測所位置

例言

一本報は當測候所及管內各觀測所に於て觀測したる每月の氣象を調査し之れを掲載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管內各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍（曲尺三厘三毛）を以て示す

一濕度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には（－）を附記す、但し攝氏の度を華氏に換算せんには九を乘じ五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量并に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上けて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦（グラム）（零攵二七）にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一步面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米（曲尺三尺三寸）數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らす降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

氣象觀測所	國郡市町村	緯度	經度	觀測主任
深日	和泉國泉南郡深日村	三四度一九分	一三五度〇九分	上出源助
岸和田	同國泉南郡岸和田町	三四度二七分	一三五度二三分	森內清次
上之鄕	同國泉南郡上之鄕村	三四度二三分	一三五度一八分	島塲留藏
長承寺	同國泉北郡鳳村	三四度二二分	一三五度二七分	前川由太郎
濱寺	同國泉北郡高石村	三四度二二分	一三五度二六分	今井富次
堺	同國堺市車ノ町	三四度三五分	一三五度二九分	吉村正輔
天王寺	攝津國大阪市南區天王寺	三四度三一分	一三五度三一分	加藤昭純
大阪	同國大阪市西區一條通	三四度三九分	一三五度二六分	府立大阪一等測候所
福島	同國大阪市北區上福島	三四度四二分	一三五度二九分	笠谷正三郎
新庄	同國西成郡新庄村	三四度四五分	一三五度三一分	小林雅文
秦野	同國豐能郡秦野村	三四度四九分	一三五度二六分	藤重元太郎
妙見山	同國豐能郡東鄕村	三四度五六分	一三五度二八分	阪部文二郎
東鄕	同國豐能郡東鄕村	三四度五七分	一三五度二九分	大原仁之助
天王	同國豐能郡根根莊村	三四度〇二分	一三五度二三分	高橋政次郎
茨木	同國三島郡茨木町	三四度四九分	一三五度三四分	那須庫之助
清水	同國三島郡清水村	三四度五三分	一三五度三六分	山本義一
枚方	同國北河內郡枚方町	三四度四九分	一三五度三九分	家村八五郎
田原	同國北河內郡田原村	三四度四三分	一三五度四二分	今井由太郎
八尾	同國中河內郡八尾町	三四度三八分	一三五度三六分	水谷芳松
柏原	同國南河內郡柏原村	三四度三五分	一三五度三七分	農事試驗支場
富田林	同國南河內郡富田林町	三四度二〇分	一三五度三七分	塔本幸太郎
長野	同國南河內郡長野町	三四度二七分	一三五度三五分	松本遠水

LIBRARY
DEC - 7 1917

Monthly Report
of The
Osaka Meteorological Observatory.

August 1917

大阪測候所月報

大正六年八月

第拾八年第八號

目次

○本年八月大阪氣象概況 附圖
○本年八月大阪府管内氣象概況
○本年八月大阪地震觀測概況
○八月二日より四日に至る暴風雨概況
○土用後の氣象概況
○大阪府管内の初霜季節
○南洋「セレベス」海附近の大震
○濱寺の氣候に就て
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報通否

大正六年九月十九日印刷
大正　年九月二十日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

地方天氣豫報暴風警報適否

種類	發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
風向	三一	二三	八	○	八七
天氣豫報 天氣	三一	二九	二	○	九七
天氣豫報 溫度	○	一	一	一	一
暴風警報	○	一	一	一	一

所名	國郡市	町村	緣威東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度 九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡	佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	晋妻區通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	西區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	全木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
雜波島	攝津國大阪市	西區中日町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	全木津川分署雜波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
築港	攝津國大阪市	西區安治川口	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署築港分署
大阪	攝津國大阪市	四區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國四成郡	傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東鄉	攝津國豐能郡	東鄉村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東鄉村役場

一月は午前八時より同九時迄にして四月より九月迄は一般に午前七時より同八時の間最も急激なる上昇をなし孰れの月も日出後約三時間目に當れり又各月に就て一日中の平均に最も近き溫度を現す時は何時頃になるかを看るに一月より四月及十月より時二月の各月は約午前九時五月より九月に至る各月は約午前八時にして年平均は午前八時四十三分となれり然るに一日一回觀測を施行する管内右觀測所の觀測時を午前十時となしたるは溫度の上より看れば當を得たるものに非ず却て午前八時乃至同九時を選ぶ方寧ろ一日中の平均値に近く調査の上に於ても好都合なれども一般官公衙の出勤時間等の關係上不得止午前十時を選びて一日一回の觀測時となしたるものなり。

要するに氣象の變化は氣溫のみならず總てが絶えず變化をなしつゝあるものなれば觀測當務者は四時細心の注意を拂ひ時計は少くとも毎週正午計を以て時を訂正し（鐵道院停車場の時計に合するも一策なり）且つ其時計の日差を定め日本中央標準時の正午前十時に必ず觀測を施行し以て其地方の氣象變化の狀態を詳細に觀測すること最も緊要なりとす

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位　四尺零寸四分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　三尺九寸五分

七月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	三、一五	二、四五	三、一〇	二、六〇
二日	二、二〇	四、二五	二、〇〇	三、三〇
三日	五、一〇	四、〇〇	四、六五	四、五〇
四日	三、三五	二、九五	三、四〇	二、九五
五日	二、八〇	二、五五	二、七〇	二、四五
六日	二、五〇	二、一五	二、二〇	一、九〇
七日	二、二五	三、七五	一、八五	三、〇五
八日	四、三〇	三、八五	四、一〇	三、五五
九日	四、三五	三、八〇	三、八〇	三、七五
十日	三、六五	三、三〇	三、三五	三、一〇

七月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
十一日	三、一五	三、三五	二、九〇	三、〇〇
十二日	三、九〇	三、四〇	二、九〇	三、〇五
十三日	三、一〇	二、九〇	二、七〇	二、四五
十四日	二、八五	二、七〇	二、四〇	二、二〇
十五日	二、六〇	二、五〇	二、一〇	二、〇〇
十六日	二、五〇	二、五〇	一、九五	一、七五
十七日	二、三〇	二、一五	一、七五	一、六〇
十八日	二、二〇	二、一〇	一、六〇	一、五五
十九日	二、一〇	一、九五	一、五二	一、四五
二十日	二、〇〇	一、八〇	一、四〇	一、三〇

七月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
二十一日	一、七〇	一、六〇	一、一五	一、〇〇
二十二日	一、六〇	一、六〇	一、〇五	一、〇〇
二十三日	一、五五	一、五〇	一、〇五	〇、九〇
二十四日	一、五〇	一、三〇	一、〇〇	〇、八〇
二十五日	一、一五	一、〇五	〇、七〇	〇、五〇
二十六日	一、〇五	〇、九五	〇、五五	〇、四五
二十七日	一、〇〇	一、〇〇	〇、五五	〇、四〇
二十八日	一、〇〇	〇、九〇	〇、五〇	〇、四〇
二十九日	〇、九〇	〇、八〇	〇、四〇	〇、二五
三十日	〇、九〇	〇、七〇	〇、二五	〇、二〇
卅一日	〇、八〇	〇、七〇	〇、二〇	〇、一〇

平均水位　廣瀬　二尺三寸二分
最高水位　廣瀬　五尺一寸零分　（三日午前六時）
大日　一尺八寸九分　四尺六寸五分　（三日午前六時）

仝三時	二、〇九	二、〇〇	四、八三	一〇、一三	一四、〇六	一九、〇〇	二三、二六	二四、二四	二〇、六九	一四、〇〇	八、四九	四、〇六	一二、二四
仝四時	一、九〇	一、八五	四、六〇	九、八八	一三、七八	一八、七七	二三、〇五	二四、〇一	二〇、五二	一三、八一	八、二七	三、八七	一二、〇八
仝五時	一、七六	一、六八	四、四四	九、六六	一三、五八	一八、六六	二二、九〇	二三、八二	二〇、三五	一三、六三	八、〇七	三、七七	一一、八六
仝六時	一、六五	一、五六	四、三二	九、六八	一三、九五	一九、一三	二三、一三	二三、九四	二〇、三三	一三、五一	七、九〇	三、六三	一一、九一
仝七時	一、五九	一、五六	四、七八	一〇、八七	一五、五一	二〇、三八	二四、四二	二五、三〇	二一、一三	一四、〇七	八、〇三	三、六〇	一二、六二
仝八時	二、一六	二、五五	六、一八	一二、四六	一七、一四	二一、六一	二五、五四	二六、八七	二二、七八	一五、八一	九、四六	四、一一	一三、九一
仝九時	三、六一	四、一一	七、八〇	一四、〇三	一八、五九	二二、七五	二六、五五	二八、一四	二四、一九	一七、七〇	一一、四八	五、九八	一五、四一
仝十時	五、一八	五、六一	九、〇九	一五、一二	一九、六七	二三、六三	二七、三四	二九、一二	二五、二五	一九、一一	一三、二六	七、六四	一六、六八
仝十一時	六、二七	六、七二	一〇、〇〇	一六、〇六	二〇、四五	二四、二七	二七、九五	二九、八六	二五、九七	二〇、〇九	一四、四三	八、九五	一七、五九
正午	七、一八	七、三九	一〇、六九	一六、六六	二一、〇四	二四、七五	二八、四二	三〇、三八	二六、五一	二〇、七八	一五、一八	九、七三	一八、二三
午後一時	七、六〇	七、七六	一一、〇九	一七、〇三	二一、三三	二五、〇三	二八、七四	三〇、七四	二六、八三	二一、二三	一五、六三	一〇、二三	一八、五九
仝二時	七、八〇	七、九三	一一、二七	一七、一九	二一、三四	二五、一〇	二八、九〇	三〇、九二	二六、八九	二一、三〇	一五、七四	一〇、〇七	一八、七三
仝三時	七、六九	七、八四	一一、〇七	一七、〇七	二一、二〇	二四、九八	二八、八六	三〇、七四	二六、六五	二〇、九〇	一五、四〇	一〇、一〇	一八、五四
仝四時	七、〇九	七、三〇	一〇、一七	一六、六九	二〇、八四	二四、六四	二八、六〇	三〇、二九	二六、一八	二〇、二六	一四、六二	九、二八	一八、〇五
仝五時	六、二三	六、五七	一〇、一〇	一六、〇三	二〇、三三	二四、〇七	二七、九八	二九、四七	二五、三〇	一九、一一	一三、四〇	八、三五	一七、二三
仝六時	五、三七	五、六一	九、〇三	一四、九五	一九、二八	二三、三〇	二七、一三	二八、四〇	二四、一一	一七、八四	一二、三八	七、五六	一六、二五
仝七時	四、七四	四、九二	八、一六	一三、八九	一八、〇九	二二、三二	二六、〇八	二七、二三	二三、二三	一六、九九	一一、六〇	六、八八	一五、三四
仝八時	四、二〇	四、三五	七、五五	一三、二〇	一七、三三	二一、五九	二五、四二	二六、六二	二二、六八	一六、二九	一〇、九六	六、三〇	一四、七〇
仝九時	三、七四	三、八八	六、九九	一三、六七	一六、七六	二一、一五	二五、〇二	二六、一五	二二、二四	一五、七八	一〇、四三	五、八一	一四、二三
仝十時	三、三九	三、五〇	六、六〇	一三、二二	一六、三一	二〇、八〇	二四、七〇	二五、七九	二一、八九	一五、三八	九、九八	五、四八	一三、八四
仝十一時	三、〇一	三、〇六	六、一三	一一、七〇	一五、七六	二〇、三九	二四、三七	二五、三六	二一、五〇	一四、九四	九、五一	五、〇九	一三、四〇
夜半	二、七三	二、七七	五、七五	一一、二七	一五、三〇	二〇、〇四	二四、〇七	二五、〇六	二一、一九	一四、五九	九、一三	四、七五	一三、〇七
平均	四、二四	四、三八	七、五六	一三、三二	一七、五三	二一、八八	二五、八二	二七、一五	二三、二七	一六、九一	一一、二九	六、四四	一四、九八

以上記したる表を覩視するに一日中に於て氣溫の上昇最も盛なる時は一月及十二月は午前九時より同十時迄二月三月及十、十

一三〇・一	合計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	平均	三三	三〇	四七	四二	四四	五〇	四八	三	四四	三六	三一
		九・二	九・四	一三・一	一三・九	一三・八	一四・八	一三・〇	一〇・一	一三・六	一〇・八	九・六

一四・九	一
四六・九	一七
八・九	一
一三・一	一

之れに依りて看れば一日中に百七十粍以上の雨は三十四年間に一日、百三十五粍乃至百四十粍の雨も亦た一日、百三十粍乃至百三十五粍の雨は四日あり而して一日中百粍以上に達したる雨は三十四年間に於て十七日即ち平均すれば隔年に一回ある割合に當れり

●管内觀測所の觀測に就て

技手　芝野彌

一日一回の氣象觀測を施行する管内の各觀測所即ち郡市役所其他囑託したる町村役場學校等にては午前十時に觀測をなすことに定められたるなり元來午前十時頃は一日中に於ても氣溫の上昇旺盛なる時なれば細心の注意を拂ひて觀測に從事せされば誤謬に陷り易し今當所が永年觀測したる統計により午前十時頃の氣溫は如何なる變化をなしつゝあるかを調査するに午前九時の平均は十五度四一にして同十時の平均は十六度六八なれば此の一時間に一度二七の差あり又同十一時は十七度五九にして前一時間に零度九一上昇せり故に之を規則的に上昇したるものと看做すときは九時より十時迄の間には十分時間毎に零度二一宛上昇し十時より十一時迄には十分時間毎に零度一五宛上昇する割合なれば觀測時間嚴守の必要は之れに依て分明なるべし尚之れを各月に就て看るに九時より十時迄のものは十一月に最大となり十分時間毎に零度三〇宛上昇し爾後毎月約零度零三宛減少して七月に最小となり十分時間毎に零度一四となるも八月より增加し以て十一月の最大に達す又十時より十一時迄のものは前者より一ケ月後れ且つ其上昇率も小となり十二月に最大を現はし十分時間毎に零度二二つゝ昇り後月を逐ふて次第に減少し七月に至りて最小に達し十分時間毎に零度一〇の上昇を呈せり今左に每月の變化を表記し其說明をなさんとす

時＼月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
午前一時	二・四五	二・四四	五・三	一〇・七六	一四・七四	一九・三六	二二・七〇	二一・一六	一八・五一	一二・九一	四・三五	二・四五	一一・四
全二時	二・二九	二・二三	五・〇九	一〇・四二	一四・二九	一九・二六	二二・四六	二一・〇八	一八・二〇	一二・二四	四・二五	二・二五	一一・二

雨量	日數	百分率	雨量	日數	百分率
〇、一 — 四、九	七三、六	五三	三五、〇 — 三九、九	二、六	二
五、〇 — 九、九	二一、七	一六	四〇、〇 — 四四、九	一、四	一
一〇、〇 — 一四、九	一三、〇	九	四五、〇 — 四九、九	〇、九	一
一五、〇 — 一九、九	八、九	六	五〇、〇 — 五四、九	〇、八	一
二〇、〇 — 二四、九	六、〇	四	五五、〇 — 五九、九	〇、六	一
二五、〇 — 二九、九	四、一	三	六〇、〇 — 六四、九	〇、六	一
三〇、〇 — 三四、九	二、四	二	六五、〇 — 六九、九	〇、四	〇

（以下略す）

前表に依りて看るに一日中に五粍以下の雨は最も多く一ヶ年の平均雨天百三十八日の内七十四日卽ち百分中五十三、五粍乃至十粍の雨は廿二日にして百分中十六又十粍乃至十五粍の雨は十三日にして百分中九に當り十五粍以上は九日、廿粍以上は六日にして廿五粍以上は四日其他は二日以下なり。

尙詳細を示さん爲め三十四年間の雨天日數四千六百九十七日を毎月に區別し表記すれば左の如し

月／雨量	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
〇、一 — 四、九	二〇一	二〇〇	二三五	二三九	二一六	二一八	二〇二	二〇四	二三三	一七三	一九七	二〇三	二五〇一
五、〇 — 九、九	四九	五六	八三	五六	七四	八二	七〇	四九	六三	六一	五一	四〇	七三七
一〇、〇 — 一四、九	二九	一六	五〇	七一	四一	四七	三七	二二	四六	三三	二八	一四	四四三
一五、〇 — 一九、九	一六	一八	三四	三五	三三	三九	二四	一三	二八	二六	一六	一九	三〇一
二〇、〇 — 二四、九	一三	二〇	二〇	二五	二四	二七	一〇	九	二七	一五	一〇	六	二〇五
二五、〇 — 二九、九	三	六	一四	一七	一三	二〇	一六	一〇	一八	一四	八	二	一四〇
三〇、〇 — 三四、九	二	—	五	一一	八	一五	六	一〇	一〇	一三	二	一	八三
三五、〇 — 三九、九	—	一	三	九	一〇	一四	一四	六	一六	一一	五	二	九一
四〇、〇 — 四四、九	—	二	—	五	八	五	六	三	九	五	二	一	四六

今當所地動計の觀測に依りて震央地までの距離を計算するに大阪より四千百粁東京帝國大學地震學教室の觀測に依れば東京より四千五百粁其他測候所の觀測に依れば福岡より四千百粁、仁川より四千八百粁、水戸より四千四百粁、銚子より四千九百粁水澤より五千百粁、太泊より五千百粁にして是等を綜合するに其震源は本州の遙南方卽ち南洋「ニューギヂア」嶋附近の海底に發したるものなるべし今各所にて地動計を以て觀測したる發震時及震央地までの距離を列記すれば左の如し

福岡	午前六時五九分四四秒	四一〇〇粁	
大阪	仝 六時五九分五三秒	四一〇〇粁	
東京	仝 六時五九分五二秒	四五〇〇粁	
水戸	仝 六時五九分五九秒	四四〇〇粁	
仁川	仝 七時〇〇分二五秒	四八〇〇粁	
銚子	仝 七時〇〇分〇六秒	四九〇〇粁	
水澤	仝 七時〇〇分二一秒	五一〇〇粁	
函館	仝 六時五九分四四秒	—	
太泊	仝 七時〇一分二六秒	五一〇〇粁	
ワシントン	仝 七時一二分〇〇秒	—	

●降水量の程度に就て

技手 山田顯吉

降水量は地勢に依て大に異れり州南諸嶋及南海岸は頗る多く北海道及信州附近は少く瀬戸内海附近も亦た稍々少き地方に屬せり其二三を擧ぐれば

地名	一日中の最多量	年量
多雨の地方 基隆	二六五、四	三二六六、五
名瀬	五四七、一	三二三九、八
宮崎	四九〇、二	二五七四、五
高知	二九三、一	二七六一、三
寡雨の地方 札幌	一二三、五	九七九、三
襟裳	一二六、九	八九二、四
網走	九一、四	七三三、九
根室	一二一、七	八九五、七
稍々少き地方 長野	一〇八、二	一〇〇四、〇
松本	一三二、二	一一八一、三
神戸	一九、四	一三三六、六
大阪	一七四、七	一三七七、四

（大正六年曆に依る）

にして一年の雨量多き地方は寡雨地方の約三倍又稍々少き地方の二倍を示せり

今當所創立以來三十四年間の大阪に於ける降雨に就て一日中に五粍以上、十粍以上、等五粍毎に區分し其頻度を計算し平均一ケ年の日數及百分率を示せば左の如し

八六	仝	九月 八日	七五、九	宮崎	（マリアナ群嶋附近の洋上に現はれ奄美大島の東方を經て大隅半島に上陸し九州東部周防洋及び中國西部を横ざり日本海に出て朝鮮北部に去る
八七	仝	九月二十五日	七三、四	父嶋	マリアナ群嶋附近に現はれ小笠原列嶋の南東方を經て太平洋中に去る
八八	仝	十月 七日	七四、二	足摺	マリアナ群嶋附近の洋上に現はれ琉球大東嶋東方を通過し四國中國東部を貫ぬき能登半島を通過して奥羽地方を横ぎり太平洋中に去る
八九	大正五年八月二十二日		七九、三	名瀬	支那東海南部に現はれ琉球列嶋の北側に沿て進み奄美大島附近より北西に轉じて薩州島の南方を經て青島附近より支那大陸に入る

又前記颶風の襲來に際し大阪に於て觀測したる最低氣壓最大風速度及び雨量を記すれば左の如し

番號	最低氣壓	風 最大速度	風 其方向	雨量 合計	雨量 日
八二	七六八、九	九、九	南西		
八三	七九八、八	一〇、四	東北東	四十八粍八	四日 五日
八四	七五五、八	一〇、二	北東	七粍〇	二十六日
八五	七五五、八	一〇、一	北東	七粍〇	二十六日
八六	七四一、三	一五、〇	東南東	六粍二	八日
八七	七五六、六	八、〇	西	一粍三	二十五日
八八	七六八、二	一三、六	南西	八粍九	七日 八日
八九	七五五、八	一〇、八	北東	〇粍三	二十三日

●南洋の大震

技手 岡平太郎

七月三十日午前六時過當所地動計は遠距離の地に發したる大震の波動を記錄せり其發震時は午前六時五十九分五十三秒にして第一初期微動の繼續時間は五分五十一秒第二は二分五十八秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前七時九分十六秒に於て三千六百五十「ミクロン」振動期二十三秒、南北動は午前七時十分五十二秒に於て二千二百二十五「ミクロン」振動期二十四秒〇を現し後漸次に微となり靜止せり總振動時間は東西動は二時三十三分零秒南北動は二時三十分零秒なり卽ち次表に記するが如し

東西動地動計觀測

		發現時	最大振幅	振動期
初期微動	P	六時五九分五三秒		
	S	七時 五分四四秒		
主要動	L	仝 八分四二秒		
	M	仝 九分一六秒	三六五〇	二三、〇
終期	F	九時三一分五三秒		

南北動地動計觀測

		發現時	最大振幅	振動期
初期微動	P	六時五九分五三秒		
	S	七時 五分四四秒		
主要動	L	仝 八分四二秒		
	M	仝 一〇分五二秒	二二二五	二四、〇
終期	F	九時二九分五三秒		

は僅に十五時間にして平年に比すれば二十時間少なく就中稍々強かりしは八日の雷雨性の急風なり今其概況を記すれば左の如し

七月七日低氣壓の日本海に入るに及び其南方及び南西方に當る九州、中國、四國等に雷雨頻發せしが八日も亦神戸地方に雷雨發生せり然れども大阪にては雷雨なかりしが雷雨性の急風起れり之れを詳記するに此日朝來曇天にして方向區々の軟風吹きしが午前八時十分より風力次第に增勢し午前九時四十分より強風に達し暗灰色の層積雲に亂雲を交へ西より襲ひ來り同九時五十分には俄然十九米一（ダインス風壓計の記錄に依る）の烈風に達し砂塵を吹き上げ暗黑となり一時は凄じき勢となれり此二十分間の平均風速度は十六米六なりしが同十時廿分頃より減殺せり雨は午前九時四十五分より降り始め十時五分より十一時二十分頃までは稍々強かりしが爾後衰へ午後一時三十分止む此雨量は六粍二なり而して氣壓は午前九時四十七分より雷雨の際の如き昇降を呈し波狀をなせり

番號	年月日	最低氣壓	地名
八二	大正四年七月二十六日	七三二、八	那覇
八三	仝　八月五日	七三二、五	德嶋
八四	仝　八月二十二日	七二九、四	石垣嶋
八五	仝　八月二十五日	七四二、	名瀬

颱風の中心進路概略

（一）馬利亞那群島と小笠原列嶋との間に顯はれ「ラサ」嶋の北側を通過し沖繩嶋の西方海上を經て支那東海に入り杭州灣より支那大陸に去る
（二）菲律賓群嶋の東方洋上に顯はれ琉球の東方海上を經て四國東部を掠め姬路附近より日本海に出で黑龍沿岸に去る
（三）中國九州橫斷し日本海に出で黑龍沿岸に去る
（四）菲律賓群嶋の東方洋上に顯はれ八重山群島と臺灣嶋の間を通過し支那浙江省の沿岸を掠め朝鮮南部を橫斷し日本海を經て北海道を橫ぎり太平洋に去る
（五）南洋パラオ島の北方洋上に顯れ沖繩嶋の東部を橫ぎり九州南端を掠め紀伊沖遠州灘を經て北海道の南東方海上に去る

●暴風季節

技手　大橋龍太郎

毎年二百十日前後には暴風多く農家漁夫の最も恐るる時なるが毎年七月より十月までは所謂暴風季節にして此期間には南洋の「マリアナ」「マルシヤル」群嶋の近傍に颱風發生し西又は北西に進み緯度二十度乃至三十度位の所より進路を北又は北東に轉じて本邦に襲來するものにして其進行速度は一時間十里乃至二十里位なり而して明治十六年より大正三年に至る三十二ケ年間に襲來したる八十一回の顯著颱風に就ては本報明治四十五年六月號及び大正四年五月號に詳記したれば爰に大正四年、五年兩年に本邦近海に襲ひし颱風を記せんに其數八回（最低氣壓の七百四十粍以下に降りたるものに依る）にして四年には七回五年には一回あり今其年月日と颱風進路の概略並に最低氣壓を列記すれば左の如し

但し年月日は最低氣壓の現はれたる時を示す

二十六日	二五、四	二六、九	一、五	三〇、六	三一、七	一、一	三〇、四	三一、一	二、七	四		
二十七日	二五、三	二六、八	一、五	三〇、一	三一、	一、九	三一、〇	三一、六	二、六	西南西		
二十八日	二五、一	二六、五	一、六	三一、三	三一、八	▲ 〇、五	三〇、五	三一、四	一、九	東北東		
二十九日	二五、四	二六、二	〇、九	二九、八	三一、二	一、五	三〇、七	三一、二	一、五	東北東		
三十日	二四、六	二六、四	一、八	二九、四	三一、二	四、七	三一、二	三一、三	▲ 〇、七	北東		
三十一日	二六、三	二六、四	〇、三	三〇、四	三一、三	・ 〇、八	三一、六	三一、四	▲ 〇、三	四		

上表の如くして平均氣温は全体を通じて平年より低く特に二十二日より二十五日に至る四日間最も著しく三度乃至四度の低温となり最高温度は二十日、二十八日稍々高きも其他は皆低く二十二日の四度九三十日の四度七を其最たるものとす又最低温度は二十四、二十五日の兩日に於て共に平年より五度五の過低を示し二十三日の四度二、二十二日の三度二等之れに亞ぐ過低にして三十日、三十一日は稍々高し風は上半月は南西風卓越したれども十七日より急に北風に轉じ二十六、二十七日の兩日は西風となり二十八日よりは東北東風乃至北東風多く三十一日より西偏風に變じたり

之れを要するに夏季氣壓の配置は南洋に高く滿州より西比利亞地方に低く故に絶えず南方より暖風を享け當地方は南に紀伊山脈あるが爲めに南風變じて紀伊水道より吹き込む所の南西風即ち夏季の卓越風となり氣温增々上昇するを常とす而して本年八月は上半月迄は小笠原嶋附近より沖繩嶋附近に亘りて高氣壓發展し日本海以北が低壓部となりたると多かりしかば氣温は連日高度を保ち盛夏の狀態を遺憾なく發揮せしが十七日に至り高氣壓はオコック海に去りて殆んど移動せず二十二日には西比利亞に移りて稍々南下の傾向を呈し二十四日には西比利亞より日本海沿岸に擴張し來り二十五日には山陰道以東一帶高氣壓となり爾後北海道の東方に移りて固着し廿八日の如きは七百六十八粍と云ふ夏季には珍らしき高度を現はし三十一日に至りて漸く南下し本洲東海岸に來りたり又一方低氣壓は其間臺灣及支那東海邊より南海岸沖を東進したるもの多かりしが故に連日北風吹き斯くは長時日に亘りて異常の冷氣を呈したるものなり

●七月中の暴風概況

技手　大橋龍太郎

例年七月頃より所謂暴風季節となり颱風の襲來漸く多からんとす然るに本月は南洋に颱風の發生二回ありたれども皆北西に進行し台灣南部に暴風雨を起したるのみにして本州附近は靜穩なり而して大阪にては七月中に强風以上の風を觀測したる總時數

附記　此地震は三陸東方海底に發したるものにして震域頗る廣く北方は北海道の南部に南方は東京灣に南西方は中國に達し長半徑百九十里短半徑百七十方里を有し有感覺微震部は十萬千四百七十方里に達したり

●八月下旬の氣候激變

技手芝野彌

例年八月は暑氣最も旺盛なる時期にして從て年中の最高溫度に達するを常とし天氣は晴燥寡雨なれども日射强烈なるが爲め雷雨頻發し又は颶風襲來の影響を受け不時の冷氣を現はすことあれども忽にして恢復するを通例とす然るに本年は二十日頃より稍々低溫となり次第に其度を增し日中の溫度は二十二日及二十日に約五度平年より低く其他も一度乃至二度の低溫を示せしが夜間の溫度に至りては尙一層著しく二十四日は十七度五、廿五日は十七度八に下降し平年より共に五度五の低溫を示すに至り恰も九月下旬の候に等しき溫度に降りたれば人々奇異の念を懷き秋氣早來を焦慮する向少なからざりしが雨後稍々溫度を高め平年より二度內外の低度となり九月に入りて漸く氣候順に復したり今本所創立以來八月下旬の最低溫度を案ずるに明治十七年最も低く二十八日に十三度六を示し本年の最低より尙低きこと二度九にして實に十月中旬に於て看る低度のものなり其他の年にありては孰れも本年に及ばず然り而して明治十七年は溫度の上より看れば異例の中の異例に屬すると雖も其低溫度の繼續したる期間は廿六日より三十一日迄の六日間にして本年は實に二十日より三十一日迄の十二日間に亘りたれば日數より云ふ時は本年の方二倍に達したれば異例として爰に擧ぐるも敢て明治十七年に遜色なかるべし更に參考の爲め氣溫の平均と最高、最低とを平年と比較し併せて最多風向を表記せんに

日	平均氣溫 本年	平均氣溫 平年	平均氣溫 差	最高氣溫 本年	最高氣溫 平年	最高氣溫 差	最低氣溫 本年	最低氣溫 平年	最低氣溫 差	最多風向
二十日	二六、五	二七、一	〇、六	三一、四	三一、三	▲〇、一	二三、九	二三、一	〇、八	北
二十一日	二五、九	二六、九	一、〇	二九、八	三一、八	二、〇	二二、五	二二、二	〇、六	北
二十二日	二三、三	二七、〇	三、八	二六、九	三一、八	四、九	一九、九	二三、一	三、二	北
二十三日	二三、八	二七、〇	三、二	三〇、〇	三一、六	一、六	一九、二	二三、四	四、二	北
二十四日	二三、一	二六、九	三、八	二九、六	三一、六	二、〇	一七、五	二三、〇	五、五	北
二十五日	二四、二	二七、二	三、〇	三〇、六	三一、九	一、三	一七、八	二三、三	五、五	北北東

（表中▲印は平年より高）

北方は本州北部に南方は東京灣に西方は丹後の宮津附近に達し長半徑六十里短半徑四十五里を有し震部は五千五百方里有感覺微震部は八千四百八十方里に亘り水戸にては强震を感じ宇都宮、熊谷、横濱にては弱震を感じたり

一〇三　七月三十一日午前九時零分十二秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は四分四十秒第二は四分五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前九時十分四十七秒に於て千百廿七「ミクロン」振動期十九秒二南北動は午前九時九分十六秒に於て二千五十「ミクロン」振動期二十四秒二を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時五十八分零秒南北動は一時五十九分十秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

	發現時	最大振幅（ミクロン）	振動期 秒
仁川	午前八時五八分五六秒		
福岡	〃 八時五九分一二秒		
大阪	〃 九時〇〇分一二秒		
東京	〃 九時〇〇分五四秒		
銚子	〃 九時〇〇分三七秒		
水戸	〃 九時〇一分〇七秒		
水澤	〃 九時〇一分二五秒		
太泊	〃 九時〇〇分五三秒		
ワシントン	〃 九時一三分二四秒		

一〇四　七月三十一日午後零時二十五分十八秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分三十六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後零時二十七分三十五秒に於て千四百五十五「ミクロン」振動期八秒〇南北動は午後零時二十七分二十三秒に於て千四百七十「ミクロン」振動期九秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時二十六分二秒南北動は一時廿六分廿秒なり卽ち次表に示すが如し

東西動地動計觀測

	發現時	最大振幅（ミクロン）	振動期 秒
初期微動 P	一二時二五分一八秒		
初期微動 S	〃		
主要動 L	一二時二六分五四秒		
主要動 M	〃 二七分三五秒	(十) 一四五五	八、〇
終期 F	一三時五一分二〇秒		

南北動地動計觀測

	發現時	最大振幅（ミクロン）	振動期 秒
初期微動 P	一二時二五分一八秒		
初期微動 S	〃		
主要動 L	一二時二六分五四秒		
主要動 M	〃 二七分二三秒	一四七〇	九、六
終期 F	一三時五一分三八秒		

北動は午後十一時三十七分四十一秒に於て三千二百三十七「ミクロン」振動期二十五秒〇を現し後微とり靜止せり全振動時間は東西動は二時十五分三十一秒南北動は二時十六分二十二秒なり卽ち次表に記するが如し

東西動地動計觀測

	發現時	最大振幅	振動期
		(一ミクロン)	秒
初期微動 P	二三時三四分三八秒	—	—
主要動 L	二三時三七分一二秒	—	—
主要動 M 全	三七分五〇秒	(十)三三三八	二四、〇
終期 F	一時五〇分〇九秒	—	—

南北動地動計觀測

	發現時	最大振幅	振動期
		(一ミクロン)	秒
初期微動 P	二三時三四分三八秒	—	—
初期微動 S		—	—
主要動 L	二三時三七分一二秒	—	—
主要動 M 全	三七分四一秒	(十)三二三七	二五、〇
終期 F	一時五一分〇〇秒	—	—

附記　此地震は陸奥北東方沖に發したるものにして震域頗る廣く北方は北海道に南方は東京灣に南西方は駿河の沼津附近に達し長半徑百十里、短半徑六十五里を有し劇震部は四千二百四十方里有感覺微震部は二萬二千四百六十方里に亘り宮古、石卷函館、青森、秋田にては劇震を感じたり

一〇一　七月三十日午前六時五十九分五十三秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は五分五十一秒第二は二分五十八秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前七時九分十六秒に於て三千六百九十「ミクロン」振動期二十三秒〇南北動は午前七時十分五十二秒に於て二千二百二十五「ミクロン」振動期二十四秒〇を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は二時三十三分零秒南北動は二時三十分零秒なり

附記　此地震は南洋に發したる大震にして別項に詳記せり

一〇二　七月三十日午前九時三十二分三十二秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十八秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前九時三十四分二十三秒に於て六十「ミクロン」振動期三秒四南北動は午前九時三十四分十六秒に於て百三「ミクロン」振動期四秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十一分五十五秒南北動は二十分二十五秒なり

附記　此地震は常陸國太田附近に發したるものにして震域頗る廣く

さも最大振幅は東西動は午後一時十一分四十三秒に於て二十五「ミクロン」振動期二十一秒六南北動は午後一時十分四十九秒に於て二十七「ミクロン」振動期二十一秒二を現し後微となり静止せり全振動時間は東西動は二時三十四分二十秒、南北動は二時三十九分五秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども陸中の水澤にては午後零時十一分四十一秒に此地震を觀測せりと云ふ

九七　七月二十八日午前八時四十四分六秒の地震

此地震は緩微なる波動を呈し振動の各部判明ならざれさも最大振幅は東西動は午前八時五十八分一秒に於て三十「ミクロン」振動期九秒六南北動は午前九時六分十六秒に於て三十「ミクロン」振動期九秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は五十六分三十秒南北動は五十八分四十秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども陸中の水澤及福岡にても此地震を觀測せりと云ふ

九八　七月二十九日午前九時十九分十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前九時二十分四十八秒に於て百七十五「ミクロン」振動期二秒八、南北動は午前九時二十分五十八秒に於て百二十三「ミクロン」振動期四秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十四分五十二秒南北動は十五分二十五秒なり

附記　此地震は利根川上流域に發したるものにして震域頗る廣く北方は本州北部に南方は八丈島に西方は畿内附近に達し長半徑五十五里短半徑四十里を有し弱震部は三千七百七十方里有感覺微震部は六千九百十方里に亘り東京、宇都宮、熊谷、橫濱橫須賀にては弱震を感じたり

九九　七月二十九日午前十時五十九分五十六秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は二分七秒にして主要動となり最大振幅は午前十一時二分四十七秒に於て四十四「ミクロン」振動期四秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は十五分五十五秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は襟裳岬の南東沖に發したるものにして震域北方は北海道に南方は水戸附近に達し長半徑四十里、短半徑三十五里を有し有感覺微震部は四千四百方里に亘れり

一〇〇　七月二十九日午後十一時二十四分三十八秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は二分二十四秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後十一時三十七分五十秒に於て三千三百三十八「ミクロン」振動期二十四秒〇南

此地震は緩微なる波動を呈し振動の各部判明ならざれども東西動は午後一時四十五分十四秒に於て二十「ミクロン」振動期四秒八南北動は午後一時四十五分二十七秒に於て二十五「ミクロン」振動期六秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十八分十秒南北動は二十八分二十五秒なり

附記　此地震は奄美大島附近の海底に發したるものにして名瀬にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

九二　七月二十五日午後零時二十七分五十八秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は七分五秒第二は六分二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後零時四十五分五十九秒に於て十二「ミクロン」振動期二十秒二南北動は午後零時四十八分三秒に於ても十四「ミクロン」振動期十九秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時十五分零秒南北動は一時十二分十五秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども陸中の水澤にては午後零時二十六分五十七秒に此地震を觀測せりと云ふ

九三　七月二十五日午後四時三十二分五十一秒の地震

此地震は微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午後四時三十五分三十四秒に於て十四「ミクロン」振動期四秒一を現し全振動時間は十五分七秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は三陸沖に發したるものにして水戸、秋田、青森、函館にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

九四　七月二十六日午前七時四十一分四十秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前七時四十六分八秒に於て五「ミクロン」振動期三秒六を現し全振動時間は十三分五十秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならず

九五　七月二十七日午前十時二十二分二十九秒の地震

此地震は緩微なる波動を呈し振動の各部判明ならざれども最大振幅は東西動は午前十一時十七分十四秒に於て二十五「ミクロン」振動期十七秒〇南北動は午前十一時二十二分十一秒に於て三十二「ミクロン」振動期十九秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時五十分二秒南北動は一時五十分二秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども陸中の水澤にては午前十時二十分五秒に此地震を觀測せりと云ふ

九六　七月二十七日午後零時十二分三十一秒の地震

此地震は最初より緩微なる波動を呈し振動の各部判明ならざれ

にして主要動となり最大振幅は午前零時二十三分十六秒に於て九「ミクロン」振動期四秒三を現し後微となり靜止せり全振動時間は三十分八秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は本州東海岸沖に發したる微震にして水戸、水澤にては地動計に感じたりと云ふ

八七　七月十八日午後四時五十二分十六秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は二分九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後四時五十五分九秒に於て百九十八「ミクロン」振動期九秒六南北動は午後四時五十六分十六秒に於て二百七十「ミクロン」振動期九秒五を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時四十一分七秒、南北動は一時四十四分五十五秒なり

附記　此地震は安房沖に發したるものにして筑波及名古屋にては微震を感じ八丈島及福嶋にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

八八　七月十八日午後七時十六分三十二秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は二分九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後七時二十二分十八秒に於て三十五「ミクロン」振動期六秒七南北動は午後七時二十一分二十三秒に於て四十二「ミクロン」振動期七秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は四十八分五十秒南北動は四十四分二十二秒なり

附記　此地震は本州東海岸沖に發したるものにして筑波にては微震を感じ水戸、銚子、水澤にては地動計に感じたり

八九　七月十九日午前二時五十四分二十九秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十四秒にして主要動となり最大振幅は午前二時五十六分十九秒に於て二十二「ミクロン」振動期四秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は九分五十四秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は本州東海岸に發したるものにして福島にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

九〇　七月二十日午後四時零分五十五秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は二分五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後四時三分五十三秒に於て十三「ミクロン」振動期四秒八南北動は午後四時四分二秒に於て二十八「ミクロン」振動期五秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十六分五十九秒南北動は十六分三十二秒なり

附記　此地震は本州東海岸沖に發したるものにして筑波にては性質急なる微震を感じ地鳴ありたり

九一　七月二十二日午後一時四十分十八秒の地震

里有感覺微震部は五萬八千七百五十方里に亘り名瀬、那覇、
石垣島にては弱震を感じ地鳴を伴ひたり

八三　七月四日午後二時三十九分四十三秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は四分四十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後二時四十五分十八秒に於て六百四十五「ミクロン」振動期十四秒四南北動は午後二時四十五分十一秒に於て五百四十八「ミクロン」振動期十九秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時四分三十八秒南北動は二時九分五十八秒なり

附記　此地震は臺灣の遙南東方海底に發したるものにして石垣嶋にては微震を感じ彭北にては人身に感覺なきも地震計に感じたり今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

長崎	午後二時三八分三七秒	
福岡	仝　二時三八分五六秒	
仁川	仝　二時三九分二一秒	
大連	仝　二時三九分二九秒	
大阪	仝　二時三九分四三秒	
銚子	仝　二時四〇分一九秒	
水戸	仝　二時四〇分二七秒	
水澤	仝　二時四〇分五〇秒	
國館	仝　二時四一分〇〇秒	
大泊	仝　二時四一分五七秒	

八四　七月五日午前七時二十分五十九秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は六分九秒第二は五分四秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前七時三十四分七十六秒に於て七十五「ミクロン」振動期九秒六南北動は午前七時三十四分三十秒に於て四十二「ミクロン」振動期七秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は五十六分五十秒南北動は五十四分三秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源詳ならず

八五　七月十日午前三時二十一分十二秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は容分四十一秒にして主要動となり最大振幅は午前三時三十二分十九秒に於て二十五「ミクロン」振動期二秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は十一分三十二秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は本州の南東部に發したるものにして沼津、水戸、宮津等にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

八六　七月十一日午前零時十九分四十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は二分二秒

八〇　七月二日午前十一時五十五分二十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分九秒にして主要動となり最大振幅は午前十一時五十七分十九秒に於て十九「ミクロン」振動期五秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は十三分五十八秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は未だ震源詳ならざれども本州東海岸附近に發したる微震なるべし

八一　七月三日午後零時五十分四十八秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分二十三秒にして主要動となり最大振幅は午後零時五十二分五十六秒に於て二十八「ミクロン」振動期四秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は十五分四十秒なり（南北動微動計百廿倍の觀測）

附記　此地震は本州東海岸に發したるものにして震域北方は羽後の秋田附近に南方は東京灣附近に達し筑波にては微震を感じたり

八二　七月四日午前九時四十一分二十二秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は三分二十秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前九時四十七分十六秒に於て二千六百「ミクロン」振動期二十四秒九南北動は午前九時四十六分五十二秒に於て三千百「ミクロン」振動期二十五秒を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は二時十一分二十秒南北動は二時四分五十秒なり即ち次表に示すが如し

東西動地動計觀測

發現時		最大振幅（ミクロン）	振動期（秒）
初期微動	P 九時四一分二二秒		
	S		
主要動	L 九時四四分四二秒		
	M 仝 四七分一六秒	二六〇〇	二四、九
終期	F 一一時五二分四二秒		

南北動地動計觀測

發現時		最大振幅（ミクロン）	振動期（秒）
初期微動	P 九時四一分二二秒		
	S		
主要動	L 九時四四分四二秒		
	M 仝 四六分五二秒	三一〇〇	二五、〇
終期	F 一一時四六分一二秒		

附記　此地震は沖繩島の南方海底に發したるものにして震域頗る廣く長半徑百二十里短半徑百十里を有し烈震部は四千七百十方

大阪、長野に雷鳴あり●十八日概ね晴天●十九日概ね晴天大阪に強風吹けり●二十日概ね晴天●二十一日概ね晴天●二十二日東郷、清水に驟雨あり●二十三日概ね晴天●二十四日概ね晴天新庄に雷鳴あり●二十五日概ね晴天所々に雷鳴あり●二十六日概ね晴天所々に雷鳴妙見山に濃霧あり●二十七日概ね晴天●二十八日概ね晴天長野に雷鳴あり●二十九日概ね晴天●三十日概ね晴天妙見山、東郷、富田林、長野に驟雨あり●三十一日概ね晴天東郷、天王に雷鳴、大阪に強風吹けり

大阪地震觀測概況

爰に記する所のものは主として大森式地動計(東西及南北動二十倍)を以て觀測したるものを記し、極微なる地震にありては百廿倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如しPは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動全上、Lは長波即ち主要部全上、Mは主要部の最大動、Cは終期の最大動、Fは振動の終とす又(+)は南北動にありては北、東西動にありては東、(−)は南北動にありては南、東西動にありては西なり振幅は「ミクロン」(粍の千分一)を以て記す

本月中に地震を觀測したる數は二十七回にして人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感じたるものも亦一回もなかりしが無感覺地震にして地動計又は微動計に感じ其震源本邦内にありたるものは十九回即ち本州東海岸十三回常陸國太田附近、利根川上流域、本州南東部、奄美大嶋附近沖繩嶋の南方海底、台灣の遙南東方海底各一回なり又遠距離地震は八回にして就中最も顯著なりしは二十日午前六時五十九分五十三秒南洋「ニューギネア」嶋附近の海底に發したるものにして其他は未だ震源詳ならず今其觀測概況を列記すれば左の如し

七八　七月一日午前九時四十九分十八秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前九時五十七分二十六秒に於て五「ミクロン」振動期五秒(+)を現し全振動時間は三十六分二十五秒なり(南北動微動計百二十倍觀測)

附記　此地震は本州東海岸に發したるものにして銚子水海にては地動計に感じたりと云ふ

七九　七月二日午前三時三十六分三十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分二十四秒にして主要動となり最大振幅は午前三時三十八分二十八秒に於て九「ミクロン」振動期四秒三を現し後微となり靜止せり全振動時間の十分二秒なり(南北動微動計百二十倍の觀測)

附記　此地震は本州東海岸に發したるものにして水戸にては地動計に感じたりと云ふ

月	全	卅一日	三十日	廿九日	廿八日	廿七日	廿六日	廿五日	廿四日	廿三日	廿二日	廿一日	二十日	十九日	十八日	十七日
七二、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
六一、二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四七、九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
五三、一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、二
五三、一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、六
五三、六	—	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、七
五〇、一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四六、七	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇
四六、一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇
四六、五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
六二、一	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、一	—	—	—	—	—	—	—
八一、五	—	—	一五、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
八六、一	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	一、四	—	—	—	—	—
一〇六、五	—	九、五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
六〇、九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七九、六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—
六〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七二、九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三六、八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
五六、一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇
四七、〇	—	—	一、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、〇
四一、九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、二

管内天氣摘要

●一日晴曇相半し所々に微風あり●二日概ね曇天一般に雨降り清水、枚方に雷鳴あり●三日晴曇相半し所々に微雨あり●四日晴曇相半し所々に雨降り深日に強風吹けり●五日概ね晴天なりしが所々に微雨あり妙見山に濃霧發生す●六日概ね晴天なりしが午後より雨降り翌日に亘り長承寺、大阪、新庄、柏原に強風けり●七日前日來の雨午前歇み深日、上之郷、大阪、新庄に強風吹けり●八日一般に雨降り沿海部より長野に電鳴、所々に強風吹き妙見山に濃霧あり●九日晴曇相半す●十日概ね晴天大阪に強風吹けり●十一日概ね晴天大阪に強風吹き柏原、長野に微雨あり●十二日概ね晴天大阪に強風吹けり●十三日概ね晴天妙見山に濃霧あり●十四日概ね晴天●十五日概ね晴天●十六日概ね晴天●十七日概ね晴天長承寺、堺、大阪、新庄、長野に驟雨、堺

第四表　管內降水日量

七月	深日	上之鄉	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	秦野	妙見山	東鄉	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	一三、八	一五、〇	一三、二	一八、八	一七、五	二七、六	一一、〇	一六、一	一六、九	二二、〇	三二、三	二九、〇	三五、〇	二九、〇	三六、一	四八、[illegible]	三五、〇	一二、七	五、〇	一、九	五、	六、〇
二日	九、二	一五、七	一、五	二、九	八、三	一、八	一五、〇	一、一	二、一	二、三	一、五	〇、五	〇、五	一五、六	二、五	〇、六	三、〇	二四、六	一四、三	二〇、四	一一、	三、二
三日	—	—	〇、四	—	—	—	—	〇、二	—	〇、一	—	〇、五	—	二、五	〇、一	—	—	—	—	〇、一	—	—
四日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、四	一、二	一、六	一、三	〇、一	—	—	—	—	—	—	—
五日	—	—	二、五	三、二	二、七	〇、六	—	〇、二	—	—	一、〇	—	〇、五	一〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—
六日	二八、五	一一、五	一五、三	九、〇	一四、六	一五、九	一七、〇	二二、一	一九、一	一四、八	二〇、〇	二一、〇	一五、四	二八、〇	一六、七	二〇、[illegible]	一七、〇	二五、八	一三、五	一四、三	一五、〇	九、〇
七日	—	—	—	—	〇、八	—	〇、一	〇、八	—	〇、一	〇、三	九、七	二六、七	五、六	—	—	—	—	—	—	—	—
八日	二〇、五	一九、〇	一五、〇	一九、〇	八、六	七、〇	七、〇	六、一	八、〇	六、二	五、五	四、六	五、〇	五、〇	五、四	一〇、四	五、〇	九、八	四、〇	一九、四	一四、〇	二〇、〇
九日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十一日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	—	三、五
十二日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十三日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十四日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十五日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十六日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	三三、一	三三、八	三三、九	三三、三	三一、六
二日	二一、九	二三、二	二三、一	二三、五	二一、八
三日	二七、[illegible]	二八、[illegible]	二八、[illegible]	二八、〇	二六、八
四日	二、六	二、三	二、四	二、一	一、二
五日	三六、七	三六、六	三八、一	三六、四	三三、五
六日	二九	二七	二七	二八	一五
七日	一九、三	二〇、〇	二〇、四	一九、八	一九、五
八日	九	二三	一八	九	一〇
九日	七二、九	三六、八	三六、一	四七、〇	四一、九
十日	一三九、〇	一三二、四	一一三、七	一一〇、七	九四、二
十一日	二五、八	一四、三	二〇、四	一五、〇	二〇、〇
十二日	六	二	二	六	八
十三日	三〇、一	三〇、六	三〇、〇	二九、四	二九、一
十四日	六七	六六	七〇	八二	六七
十五日	二、八	二、八	二、四	二、一	二、六
十六日	東	東	西	西	北
一日	四	四	五	六	六
二日	〇	〇	〇	〇	〇
三日	〇	〇	〇	〇	〇
四日	〇	〇	〇	〇	〇
五日	〇	〇	〇	〇	四
六日	〇	一	〇	〇	〇
七日	一五	二二	二二	二五	一九
八日	四	四	二	四	二
九日	〇	一	一	〇	一

電鳴之れに伴ひ和泉地方は強雷となりしが暫時にして東方に經過し去れり

廿五日連日の晴天にて蒸熱甚しく遂に熱雷雨發生し北より西に亘りて電光閃々として輝き雷鳴は左のみ強からざりしが最後に西方にて發したる三回程は頗る強雷なりし

二十六日午後七時頃北及東、南の諸方面に亘りて電光凄じく輝き其割合に雷鳴弱く且つ一滴の降雨も伴はず午後九時頃消散せり

第三表 管内全月氣象觀測成績

（表中▲印は高又は多）

觀測所	空氣ノ溫度 平均最高	平均最低	平均 本年	平均 平年比較	最高極	起日	最低極	起日	降水 總量 本年	總量 平年比較	最多日量	起日	午前十時（柏原八午前九時） 氣溫	濕度	雲量	最多風向	天氣日數 降水	雪	霰	雹	霜	雷電	地震	午前十時天氣 快晴	曇天	暴風
深日	三二、三	二三、一	二八、〇▲	二、一	三四、五	二〇、二四	二〇、五	九	七三、〇	九四、三	二八、五	六	二九、二	七三	三、四	北	四	〇	〇	〇	〇	一	〇	一六	六	二
上之郷	三一、九	二三、一	二七、七	―	三六、〇	二三	二〇、〇	九	六一、三	―	一九、〇	八	二八、三	七四	三、五	北	四	〇	〇	〇	〇	一	〇	一七	九	二
岸和田	三二、四	二五、四	二七、五▲	一、七	三四、六	二七	二〇、五	二	四七、九	九九、一	一五、三	六	二九、三	六九	三、五	北	六	〇	〇	〇	〇	二	〇	一〇	七	〇
長承寺	三二、〇	二三、三	二七、八▲	一、七	三五、六	二七	二〇、六	九	五三、二	九二、二	一九、〇	八	三〇、六	六七	三、四	西	六	〇	〇	〇	〇	[illegible]	〇	一五	二	一
濱寺	三二、三	二五、五	二七、八	―	三五、九	二七	二一、〇	九	五三、一	―	一七、五	一	二九、七	六八	五、一	北	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	一〇	二
堺	三二、四	二四、一	二八、四▲	二、四	三五、七	一七	二一、五	九、一	五三、六	七九、六	二七、六	一	三〇、二	六九	三、二	西	六	〇	〇	〇	〇	三	〇	一七	五	一
天王寺	三二、八	二四、〇	二八、六▲	二、三	三五、八	二六	二一、〇	九、一	五〇、一	一〇六、四	一七、〇	六	三〇、五	六七	一、五	西	五	〇	〇	〇	〇	一	〇	一六	[illegible]	一
大阪	三二、〇	二四、〇	二八、二▲	二、〇	三五、三	一七	二一、四	九	四六、七	一〇七、七	三一、一	六	二九、二	六八	五、〇	西	七	〇	〇	〇	〇	三	〇	二	一〇	八
福島	三三、八	二三、六	二八、八▲	一、八	三七、八	一七	二一、〇	九	四六、一	一〇八、[illegible]	一九、一	六	三〇、四	六五	四、四	南西	四	〇	〇	〇	〇	二	〇	一三	七	一
新庄	三二、四	二二、四	二八、〇▲	二、二	三六、〇	八、二五	二一、四	二九	四六、五	九八、〇	三一、〇	一	二九、二	六八	四、一	東	六	〇	〇	〇	〇	三	〇	四	六	[illegible]
桑野	三二、八	二三、三	二七、一▲	一、六	三五、五	二七	二〇、一	二〇	六二、一	八九、一	二二、三	一	二九、〇	六八	四、一	南	九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一七	九	一
伏見山	二七、一	一八、八	二三、三▲	一、二	三一、八	二五	一六、二	二九	八一、五	九五、二	二九、〇	一	二六、七	八五	二、九	南	八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一〇	六	〇
東郷	三二、七	二〇、五	二六、四▲	二、二	三六、一	二五	一七、〇	二四	八六、一	八七、八	三五、〇	一	二八、[illegible]	七三	四、八	北	八	〇	〇	〇	〇	三	〇	一三	八	〇
天王	二九、四	一八、八	二四、四▲	二、〇	三四、五	二五	一六、〇	二三	一〇六、五	七九、四	二九、〇	一	二六、一	七四	五、〇	南東	九	〇	〇	〇	〇	二	〇	七	九	〇
茨木	三三、六	二三、九	二八、三▲	二、四	三八、五	二七	二〇、五	二	六〇、九	一二、九	二六、一	一	三〇、[illegible]	六八	二、[illegible]	東	六	〇	〇	〇	〇	一	〇	一五	七	一
清水	三二、三	二二、九	二七、三▲	一、七	三六、〇	二七	二〇、〇	二三	七九、六	九三、六	四八、四	一	二九、三	六七	三、三	南	四	〇	〇	〇	〇	三	〇	六	六	〇
枚方	三四、五	二三、九	二八、九▲	二、六	三八、五	九、二七	二〇、五	九	六〇、〇	一〇六、五	三五、〇	一	三〇、六	六六	三、一	西	四	〇	〇	〇	〇	一	〇	一七	四	〇

月	日						
三十	日	三五、〇	三一、〇	三〇、四	三〇、〇	二七、四	二三、七
卅一	日	三三、五	三〇、八	三〇、四	三〇、二	二七、五	二三、二
全	月	三〇、六	二六、六	二六、二	二六、九	二五、六	二二、四

朝露あり、午前六時三十分より同七時三十分まで薄霧あり
午前十一時乃至正午烟霧あり午後三時、同四時強風吹けり

大阪府管内氣象概況

前既に詳記せるが如く七月上旬は尚梅雨中に屬し降雨多くして暑氣の加ること遲緩となるも中旬に入り梅雨霽るゝと同時に暑氣激増し盛夏の狀態を呈し南西風卓越して吹き晴燥の天氣を持續するを常とす而して本年七月の氣候を調査するに梅雨は八日に其跡を斷ち爾後旱天打續き時々驟雨ありたれども殆んど量るに足らざる程度のものなりしかば飲料水の缺乏用水の枯竭等到る所に旱水を訴へ爲に氣溫は逐日上昇を促し下旬に入りては暑氣増々酷烈を極め最高氣溫は西部枚方同茨木に於て三十八度五(華氏百一度二)に達し管内觀測所創始以來七月の最高溫度たる大正二年七月二十九日東部富田林に於て觀測したるものと同溫度に達し且つ本年は枚方にて二十七日及二十九日の二回に現はれ東部柏原にても二十八度一に昇り又平均氣溫は一般に平年より二度以上の高溫なれば最暖なりし大正二年より本年の方暑氣稍々強く珍らしき溫暖なる年と云ふを得べし又降水量は梅雨の霽るゝこと早く爾後晴天に經過したるを以て其量頗る少なく平年の三分の一に達せざる所多し之れを要するに本年七月の氣候は晴燥寡雨にして高溫度を持續し以て翌月に入れり更に氣溫降

氣溫

平均は西部枚方の二十八度九より北部妙見山の二十三度三の間にありて之れを平年に比すれば概ね二度以上の高溫を呈せり而して最高は其起日區々なれども廿七日に現はれたるもの最も多く西部枚方同茨木の三十八度五を高極とし東部柏原の三十八度一、西部福嶋の三十七度八之れに亞き其他は三十七度より三十五度を示し北部妙見山の如き山頂にても三十一度八を示すに至り永年の記錄を破れり又最低は其起日區々にして北部天王の十六度一同妙見山の十六度二を低極とし東郷の十七度〇之れに亞き其他の山間部地方は廿度内外、平坦部より沿海部地方は廿一度内外を示せり之れを要するに本年七月の氣溫は最高三十八度五より最低十六度〇の間にありて其較差は廿二度五に達せり

降水

總量は北部天王の百六粍五より東部八尾の三十六粍八の間にありて之れを平年に比すれば著しく少なく就中八尾は四分の一、岸和田、天王寺、大阪、福嶋、新庄、柏原、富田林、長野は各平年の三分の一に達せざりき而して日量の最多は一日及六日の降雨の際にありて北部清水の四十八粍四を最多とし西部茨木の三十六粍一北部東郷及西部枚方の三十五粍〇北部秦野の三十二粍三之れに亞ゆり又二十粍以上に達したるは深日、堺、大阪、新庄、妙見山、天王、田原、柏原、長野の九ケ所にして他は十九粍一より十四粍三の間にあり

雷雨

本月中に雷雨を觀測したるは十一回にして其中稍々顯著なるものを概記すれば左の如し

八日朝瀬戸内海中部より四國南部に雷雨ありしが漸次東進し來り本府管内沿海部地方は十時頃より暴風雨となり

五日	二九、一	二七、七	二六、九	二六、五	二四、二	二一、七
六日	二七、四	二七、六	二七、二	二六、九	二四、四	二〇、八
七日	二六、五	二六、九	二六、八	二六、七	二四、九	二三、〇
八日	二五、五	二六、六	二六、五	二六、五	二四、七	二〇、八
九日	二六、一	二六、三	二六、一	二六、一	二四、六	一九、八
十日	二八、七	二七、六	二六、八	二六、四	二四、六	二一、六
十一日	二八、七	二八、二	二七、六	二七、一	二四、八	二一、四
十二日	二八、六	二八、一	二七、七	二七、三	二五、一	二〇、二
十三日	三〇、三	二八、七	二八、〇	二七、六	二五、三	二一、一
十四日	二九、六	二九、〇	二八、四	二八、一	二五、六	二一、六
十五日	三一、二	二九、二	二八、六	二八、二	二五、八	二三、三
十六日	三一、四	二九、三	二八、七	二八、五	二五、九	二一、〇
十七日	二八、九	二八、三	二八、三	二八、三	二六、〇	一九、八
十八日	二九、九	二七、七	二七、八	二七、八	二六、一	二〇、二
十九日	三二、八	二八、四	二八、〇	二七、八	二六、〇	二〇、四
二十日	三二、一	二九、〇	二八、五	二八、三	二六、一	二三、五
廿一日	三一、六	二九、〇	二八、六	二八、四	二六、二	二〇、八
廿二日	三二、五	二九、三	二八、八	二八、六	二六、四	二一、四
廿三日	三三、九	二九、八	二九、一	二八、八	二六、四	二一、一
廿四日	三三、四	三〇、〇	二九、四	二九、一	二六、五	二一、五
廿五日	三三、八	三〇、二	二九、六	二九、二	二六、六	二一、八
廿六日	三四、八	三〇、五	二九、九	二九、五	二六、八	二三、三
廿七日	三五、三	三〇、九	三〇、〇	二九、八	二七、〇	二一、八
廿八日	三四、一	三〇、六	三〇、二	二九、八	二七、二	二一、八
廿九日	三四、三	三〇、五	三〇、一	二九、八	二七、二	二一、三

朝薄露あり午後五時十分より小雨斷續し同六時五十五分歇む夜薄露あり

朝露あり、午前五時五十二分より同五時五十七分まで虹霓現る午前五時五十分より降雨翌日に亘る夜半強風吹けり

前日來の降雨時々大雨を交へ午後一時三十分歇む、午前一時強風吹けり、夜薄露あり

朝露あり、午前九時五十四分より降雨斷續し午後四時二十分歇む、午前十時強風吹けり夜薄露あり

朝薄露あり、午前十時十五分より同十一時四十分まで日暈現る、夜薄露あり

朝露あり、午前三時四十分より同四時五分迄月暈現る、午後五時乃至六時強風吹けり夜薄露あり

朝露あり午後三時、五時、九時乃至十時強風吹けり

朝薄露あり、午前三時四十分より同四時十五分まで月光環現る、午後五時乃至六時強風吹けり夜薄露あり

朝露あり、夜薄露あり

朝薄露あり午前六時乃至七時、午後二時乃至三時烟霧あり

朝薄露あり、午前九時乃至十時烟霧あり

午前八時五分より同九時十分まで日暈現る夜半薄露あり

朝薄露あり、午後一時五十分より同二時三十分まで微雨午後二時十四分より同三時十分まで北西方に遠電あり

朝薄露あり

午後四時乃至五時強風吹けり

朝薄露あり、午前七時乃至九時烟露あり、夜薄露あり

朝露あり、午前九時乃至十一時烟霧あり夜露あり

朝露あり

朝薄露あり午前七時乃至九時烟霧あり

朝薄露あり、午前五時三十分より同六時四十分まで薄露あり、夜薄露あり

朝薄露あり、午後五時四分北西方に遠雷起り同五時十分同方向に於て電雷となり同五時五十五分頃西方に來り強雷となりたるも漸次に弱くなり同五時五十八分西方に於て收聲す

朝薄露あり、午後七時二十五分北西方に電光起り同七時四十分頃より電雷となり同八時五十分頃同方向に於て收聲せしも同七時三十分頃東方に電雷起り南東に廻り同八時四十四分頃收聲せしも電光は同八時五十五分頃まで繼續せり

午後五時五十分より同六時二十分まで日暈現る、午後七時五分より同七時五十五分まで北東方に電光あり

午後零時三十二分より同一時二十分まで日暈現る、夜薄露あり

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

十七日	七六〇、八	二六、九	〇、九	三三、五	二三、五	一〇、〇	一九、四	七三	六、九	三、九	五、八	西北西	北北東	五、一	九、四	一、六	〇、〇	六、九
十八日	七六一、四	二六、七	一、一	三二、四	二三、一	九、三	一六、六	六五	九、三	五、五	九、五	東	東北東	三、八	一〇、一	▲〇、三	—	九、一
十九日	七六二、九	二七、三	〇、五	三四、一	二三、九	一一、二	一八、四	七〇	八、七	五、八	一三、八	西南西	西	二、[illegible]	一二、九	▲二、〇	—	八、三
二十日	七六四、一	二六、九	〇、八	三二、〇	二三、二	七、七	二〇、三	七七	六、三	四、六	•九、二	南西	西南西	三、六	一二、五	▲三、六	—	六、四
廿一日	七六三、三	二六、八	一、三	三二、一	二三、〇	八、一	二〇、九	八一	五、二	四、五	八、八	西南西	西南西	二、七	一〇、一	▲〇、六	—	六、〇
廿二日	七六〇、八	二七、六	〇、三	三三、四	二三、三	九、二	二二、二	七九	六、一	三、六	六、〇	南西	南西	三、七	一〇、〇	▲二、八	—	六、四
廿三日	七六〇、三	二八、二	▲一、七	三三、六	二三、一	一〇、五	二二、〇	七六	七、六	三、九	六、六	西南西	西南西	一、九	一二、四	▲二、七	—	七、六
廿四日	七五九、八	二八、四	▲一、九	三三、五	二四、〇	九、三	二二、二	七四	七、六	三、八	七、〇	西南西	西南西	二、一	一二、[illegible]	▲二、九		七、一
廿五日	七六〇、三	二八、六	▲一、八	三四、五	二五、九	一〇、六	二三、〇	七一	八、六	三、六	七、三	西南西	西南西	二、六	一二、〇	▲三、九	〇、一	七、三
廿六日	七六一、五	二九、〇	▲一、五	三三、八	二五、五	八、三	二三、二	七六	七、四	四、一	七、二	西南西	西南西	二、三	九、七	〇、五	—	七、八
廿七日	七六〇、三	二九、四	▲二、〇	三五、二	二四、三	一一、〇	一九、六	六六	一〇、九	四、二	八、三	北	北	〇、〇	一二、二	▲二、五	—	九、七
廿八日	七五八、九	二六、七	▲一、六	三四、一	二四、二	九、九	一九、〇	六六	一〇、二	四、三	七、一	西南西	北	二、六	一〇、八	▲四、一	—	八、九
廿九日	七五七、七	二八、一	▲〇、五	三三、〇	二三、一	九、九	二〇、四	七三	七、九	四、五	八、九	南西	西	二、八	一二、七	▲三、五	—	七、五
三十日	七五六、三	二八、五	▲〇、九	三三、二	二四、六	八、六	二三、四	七八	六、六	四、八	九、二	西南西	西南西	四、〇	一〇、一	▲三、〇	—	七、五
卅一日	七五四、六	二八、三	▲一、一	三三、九	二五、三	七、六	二三、四	七九	六、一	五、三	一二、四	西南西	西南西	三、八	九、七	▲二、九	—	六、五
全月	七五八、五	二七、四	▲一、二	三三、〇	二三、五	八、五七	二〇、五	七六、七	六、六	四、三	一六、六	西	西南西	四、四	一八〇、九	▲三七、五	四六、六	二二〇、一

七月

	地中温度（平均） 地皮	十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温
一日	二七、七	二六、八	二六、二	二五、九	二三、六	二〇、四
二日	二五、五	二六、三	二六、二	二六、一	二三、八	二二、三
三日	二七、六	二六、八	二六、三	二五、九	二三、九	二二、四
四日	二七、五	二七、一	二六、六	二六、三	二四、〇	二二、八

諸現象の摘要

一日　午前八時五十五分より午後零時四十分まで日暈現る、午後十時三十四分より同五十分まで月暈現る、午後十一時薄露あり

二日　午前四時八分より降雨斷續し翌日に亘る

三日　前日來の小雨斷續し午後四時五十五分歇む

四日　午後七時十五分より同十七分まで虹霓現る、午前八時四十分より同九時三十分まで日暈現る

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印は高又は多）

七月	氣壓 平均	空氣ノ溫度 平均				水蒸氣張力 平均	濕度 平均	飽差 平均	風速			雲量 平均	日照時數	降水量	蒸發量
		平均	本年平年比較	最高	最低				最大	全上方向	最多方向		本年平年比較		
廿二時	七五六、六	二六、二		三〇、〇	二四、二	二四、九	八四	四、八	三、五	七、五	南西	七、五	〇、八	〇、〇	五、二
廿三時	七五六、七	二五、九		二九、六	二四、一	二四、七	八四	四、八	三、五	七、五	西南西	九、七	〇、七	〇、〇	五、四
廿四時	七五六、七	二五、四	▲〇、七	二九、四	二三、九	二四、五	八五	四、九	三、七	八、八	南西	九、一	▲三、五	〇、一	四、六
平均	七五六、五四	二五、三九	▲〇、二	二九、三四	二三、九二	二四、五二	八五	四、八	三、五	七、九	南西	九、一	▲三、五	〇、一	四、六
一日	七五七、七	二五、九	▲一、〇	三〇、一	二三、〇	二四、〇	八三	四、八	三、五	七、五	南西	七、五	〇、八	—	五、二
二日	七五五、七	二四、八	▲〇、七	二九、五	二三、四	二三、七	八四	四、七	二、八	五、九	西南西	九、七	〇、七	一、三	五、三
三日	七五二、六	二五、九	▲一、九	二九、四	二三、九	二四、〇	八五	四、九	四、九	八、八	南西	九、一	▲三、五	〇、一	四、六
四日	七五〇、八	二五、二	▲二、二	三〇、〇	二三、四	二三、七	八四	四、七	四、七	八、三	南西、西	一〇、〇	〇、九	—	五、二
五日	七五〇、六	二七、一	▲三、四	三一、〇	二三、四	二四、〇	八二	五、二	五、三	八、〇	南南西	八、〇	一、〇	〇、三	七、一
六日	七五一、九	二六、〇	▲四、三	三〇、五	二三、一	二三、七	八四	四、七	五、五	一三、八	南西	六、八	六、四	〇、〇	五、一
七日	七五二、二	二六、九	▲三、二	三一、〇	二三、四	二三、九	八四	四、七	五、五	一三、八	南西	八、四	一、九	二、七	四、九
八日	七五二、四	二七、二	▲〇、九	三一、七	二三、九	二四、〇	八五	四、九	三、七	六、六	西南西	八、〇	五、四	六、一	三、一
九日	七五八、六	二五、一	▲〇、五	二九、一	二二、四	二三、七	八四	四、七	三、七	七、一	西	七、五	三、五	—	五、三
十日	七五九、一	二六、七	▲一、五	三一、二	二三、一	二三、七	八四	四、七	四、九	一三、八	西南西	一〇、〇	二、一	—	七、六
十一日	七五一、一	二六、五	▲二、一	三一、〇	二三、〇	二三、七	八四	四、七	五、五	一三、八	西南西	一〇、〇	▲四、五	—	七、九
十二日	七五二、九	二六、九	▲一、七	三一、〇	二三、〇	二三、七	八四	四、七	五、五	一三、八	西南西	一三、〇	▲四、二	—	八、四
十三日	七五二、一	二七、九	▲一、七	三一、一	二三、九	二四、〇	八四	四、七	五、七	一六、九	西南西	一三、〇	▲四、九	—	七、六
十四日	七五〇、五	二七、二	▲一、五	三二、二	二三、九	二四、〇	八四	四、七	五、五	一三、八	南南西	一二、二	▲三、一	—	六、六
十五日	七五〇、八	二八、七	▲二、〇	三二、二	二四、〇	二四、〇	八四	四、七	五、五	一三、八	南南西	一二、二	▲三、一	—	六、六
十六日	七五一、〇	二八、八	▲二、二	三二、八	二四、〇	二四、〇	八四	四、七	五、五	一三、八	南南西	一二、二	▲三、一	—	六、六

第一表　大阪每時氣象觀測成績表

七月	氣壓平均	氣溫平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速平均	雲量平均	日照時數	降水量	地中溫度（平均）地皮	地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
一時	七五八、七二	二五、二二	二〇、三〇	八六、四	三、二三	三、五七	三、九	—	二、五	二四、二二	二八、二五	二八、三六	二八、〇八	二五、五六
二時	七五八、六〇	二四、八一	二〇、一二	八七、一	二、八九	三、一七	二、八	—	三、〇	二三、八三	二七、九三	二八、二五	二八、〇七	二五、五八
三時	七五八、六五	二四、五二	二〇、一六	八八、二	二、五五	二、一〇	三、五	—	—	二三、五六	二七、九九	二八、一四	二八、一八	二五、五八
四時	七五八、八〇	二四、一七	二〇、〇七	八九、六	二、二五	二、二七	四、五	—	〇、〇	二三、四〇	二七、九四	二八、〇三	二八、一二	二五、五九
五時	七五八、九八	二三、九一	一九、八五	九〇、四	二、〇四	二、一八	五、五	一、七〇	〇、五	二三、二一	二七、九二	二七、九九	二八、〇七	二五、六〇
六時	七五九、一四	二四、一九	一九、八八	八八、六	二、四九	二、〇三	五、六	—	〇、一	二三、二二	二七、九六	二七、九七	二七、九九	二五、六一
七時	七五九、二六	二四、八六	二〇、〇二	八一、二	三、二三	二、二三	四、八	一、五〇	〇、一	二三、八七	二七、九八	二七、九五	二七、九三	二五、六二
八時	七五九、三三	二七、三八	二〇、〇九	七四、五	六、七八	二、二三	四、六	三、三五	〇、〇	二九、八四	二八、〇二	二七、九七	二七、九四	二五、六二
九時	七五九、二二	二八、二〇	二〇、一六	六九、六	八、二五	四、二三	四、五	二六、五五	四、一	三五、九八	二八、二五	二八、〇五	二七、九七	二五、六三
十時	七五九、一八	二九、一五	二〇、二五	六七、五	九、六四	三、七四	五、〇	二六、九二	八、三	三八、五八	二八、四八	二八、一五	二八、〇一	二五、六四
十一時	七五九、〇九	二九、一九	二〇、二八	六六、八	一〇、一五	四、〇七	四、九	二六、九〇	四、二	四一、一五	二九、〇四	二八、二五	二八、一二	二五、六五
十二時	七五八、八五	二九、二七	二〇、二九	六五、五	一〇、九一	四、六八	五、六	二六、〇〇	三、四	四二、一四	二九、一八	二八、二九	二八、一四	二五、六四
十三時	七五八、六四	二九、三四	二一、一九	六四、七	一一、四六	五、二〇	四、六	二六、〇〇	〇、三	四三、〇六	二九、一八	二八、三〇	二八、一五	二五、六四
十四時	七五八、〇〇	二九、四五	二一、二〇	六四、四	一一、四六	五、九八	五、九	二四、三〇	〇、〇	四三、〇五	二九、二六	二八、三九	二八、一七	二五、六四
十五時	七五七、九五	三〇、〇七	二一、二〇	六四、五	一一、四七	六、〇〇	四、三	二三、五五	一、六	四三、一四	二九、二六	二八、三九	二八、一九	二五、六四
十六時	七五七、九五	三〇、一五	二一、二〇	六五、一	一一、一七	六、五七	四、五	二三、一〇	〇、〇	四三、九八	二九、二四	二八、三九	二八、一九	二五、六四
十七時	七五七、九五	三〇、一五	二一、二三	六六、六	一〇、〇三	六、八六	五、四	二三、一〇	〇、一	三一、二七	二九、二四	二八、三八	二八、一九	二五、六四
十八時	七五七、九四	二八、九四	二〇、二四	七一、一	八、八一	六、三九	五、五	二〇、〇〇	〇、一	二九、四三	二九、二四	二八、三八	二八、一九	二五、六四
十九時	七五七、八〇	二八、二五	二〇、一九	七五、九	六、五五	五、八二	五、二	二〇、九〇	〇、三	二九、〇五	二九、二四	二八、三八	二八、一九	二五、六四
二十時	七五八、一九	二八、八五	二〇、七四	七六、三	五、三八	五、七四	四、二	—	—	二八、八二	二九、二四	二八、三七	二八、一九	二五、六四
廿一時	七五八、三五	二八、三九	二〇、七三	八一、三	四、八一	五、五八	四、二	—	〇、〇	二八、三三	二九、二四	二八、三六	二八、一九	二五、六四

ば一度二五高く月中の最高は廿七日午後二時に於て卅三度三を示し最低は九日午前七時乃至八時に於て廿四度八を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて三十度四八を示し最低は午前七時にありて廿六度九六を示せり、而して其較差は三度五二なり

地中二十糎の溫度　平均は廿八度一八にして平年に比すれば一度一九高く月中の最高は廿七日午後八時に於て卅一度一を示し最低は一日午前九時に於て二十五度四を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後八時にありて二十八度八七を示し最低は午前九時乃至十時にありて廿七度五三を示せり、而して其較差は一度三四なり

地中三十糎の溫度　平均は廿七度九〇にして平年に比すれば一度三〇高く月中の最高は卅日午後五時に於て卅度九を示し最低は一日午前十一時乃至午後二時に於て廿五度五を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は夜半にありて廿八度二一を示し最低は午後一時にありて廿七度六五を示せり、而して其較差は零度五六なり

地中六十糎の溫度　平均は廿五度六三にして平年に比すれば一度〇四高く月中の最高は三十一日午前九時乃至夜半に於て廿七度五を示し最低は一日午前一時乃至午後四時に於て廿三度六を示せり、但し此深さにありては殆ど一日中の變化を認め難し

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時、地中十糎にありては午後五時、同廿糎にありては午後八時、同三十糎にありては夜半に生せり、又最低は地皮にありては午前五時、地中十糎にありては午前七時同廿糎にありては午前九時乃至十時、同三十糎にありては午後一時に生せり、之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地溫　平均は廿一度二九にして平年に比すれば一度〇八高く月中の最低は九日午前四時及十七日午前三時に於て十九度八を示せり

天氣日數

快晴は五日にして平年より二日多く曇天は六日にして平年より五日少く電雷は二日にして平年より一日少く霧は例年此月には一日位ありしも本月は皆無なりし

尙詳細は左に掲くる氣象觀測成績表を參照すべし

して其較差は一粍三二なり

濕度の平均は七十六、七にして平年に比すれば〇、三多く月中の最少は二十七日午後二時に於て四十一を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前五時にありて六十四、四を示せり而して其較差は二十六、〇なり

飽差の平均は毎立方米中六瓦六二にして平年に比すれば零瓦五一多く月中の最多は二十七日午後五時に於て二十二瓦四を示し最少は六日夜半に於て零瓦四を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後三時にありて十一瓦四七を示し最少は午前五時にありて二瓦〇四を示せり而して其較差は九瓦四三なり

風

平均速度は四米二四にして平年に比すれば零米二五弱く月中の最大速度は八日午前九時乃至十時の毎秒十六米六（一間平方面を垂直に壓する力は二十九貫二百目）の西風なり又強風以上の吹きたる日數は八日にして平年に比すれば二日少く其時數は十五時にして平年に比すれば十五時少し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後四時乃至五時にありて六米九八を示し最小は午前二時乃至三時にありて二米一〇を示せり而して其較差は四米八八なり、風向は西風最も多く南西風之れに亞き南東風は最も少し之れを平年に比すれば西風は多くして北東及南風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は四、四にして平年に比すれば一、八、少く日照時數は二百八十時九にして平年に比すれば二十七時五〇多く一日中に於て日照時間の最も長かりしは十二日の十二時一五なり

降水及蒸發量

降水日數は七日にして平年に比すれば三日少く其水量は四十六粍六にして平年に比すれば五十二粍五少く平年の半に達せず一日中の最多量は二日の十七粍三、一時間の最多量は六日夜半乃至七日午前一時の十一粍五なり、又蒸發總量は二百十粍一にして平年に比すれば一粍六少く一日中の最多量は廿七日の九粍七なり

地中溫度及最低地溫

地皮溫度の平均は三十度五六にして平年に比すれば一度六五高く月中の最高は廿七日午後一時に於て五十六度九を示し最低は九日及十八日の午前五時に於て廿一度〇を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて四十四度〇六を示し最低は午前五時にありて廿三度二一を示せり而して其較差は廿度八五なり

地中十糎の溫度　平均は二十八度六四にして平年に比すれ

大阪測候所月報

大正六年七月

大阪氣象概況

七月は前月より引續き梅雨期中にあるを以て上旬は陰鬱なる天氣多く中旬より漸次天候恢復し晴天となり頓に暑氣加り盛夏の狀態に移るを常とす、然り而して本年七月の氣候を調査するに本年は梅雨早く去り暑氣早來せるか故に降雨少く日照時數多く夏季の氣候としては良好なるものなり

今各氣象要素に就き詳記すれば左の如し

但本項に記する所の平年は築港に於て最近六箇年の平均なり

氣壓

平均は七百五十八粍五四にして平年に比すれば一粍三七高く日々の變化は氣象圖に示すか如く顯著なる昇降は一回にして其他は緩微なりし、而して月中の最高は二十日午前七時乃至九時に於て七百六十五粍四を示し最低は六日午後六時及七時に於て七百四十七粍〇を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前八時にありて七百五十九粍三二、第一の最低は午後五時にありて七百五十七粍四五を示し第二の最高は午後十一時にありて七百五十八粍七七、第二の最低は午前二時にありて七百五十八粍六〇を示せり其主なる最高低の較差は一粍八七なり

氣溫

平均は二十七度三九にして平年に比すれば一度二三高く平均氣溫日々の變化は氣象圖に示すが如く十七日より廿二日に至る六日間は低きも其他は皆高し而して月中の最高は二十七日午後五時頃に於て三十五度二を示し最低は九日午前五時頃に於て二十一度四を示せり、又最高氣溫の三十度以上に昇りたる日數は二十六日にして平年より八日多し、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて三十度八五を示し最低は午前五時にありて二十三度九一を示せり而して其較差は六度九四なり

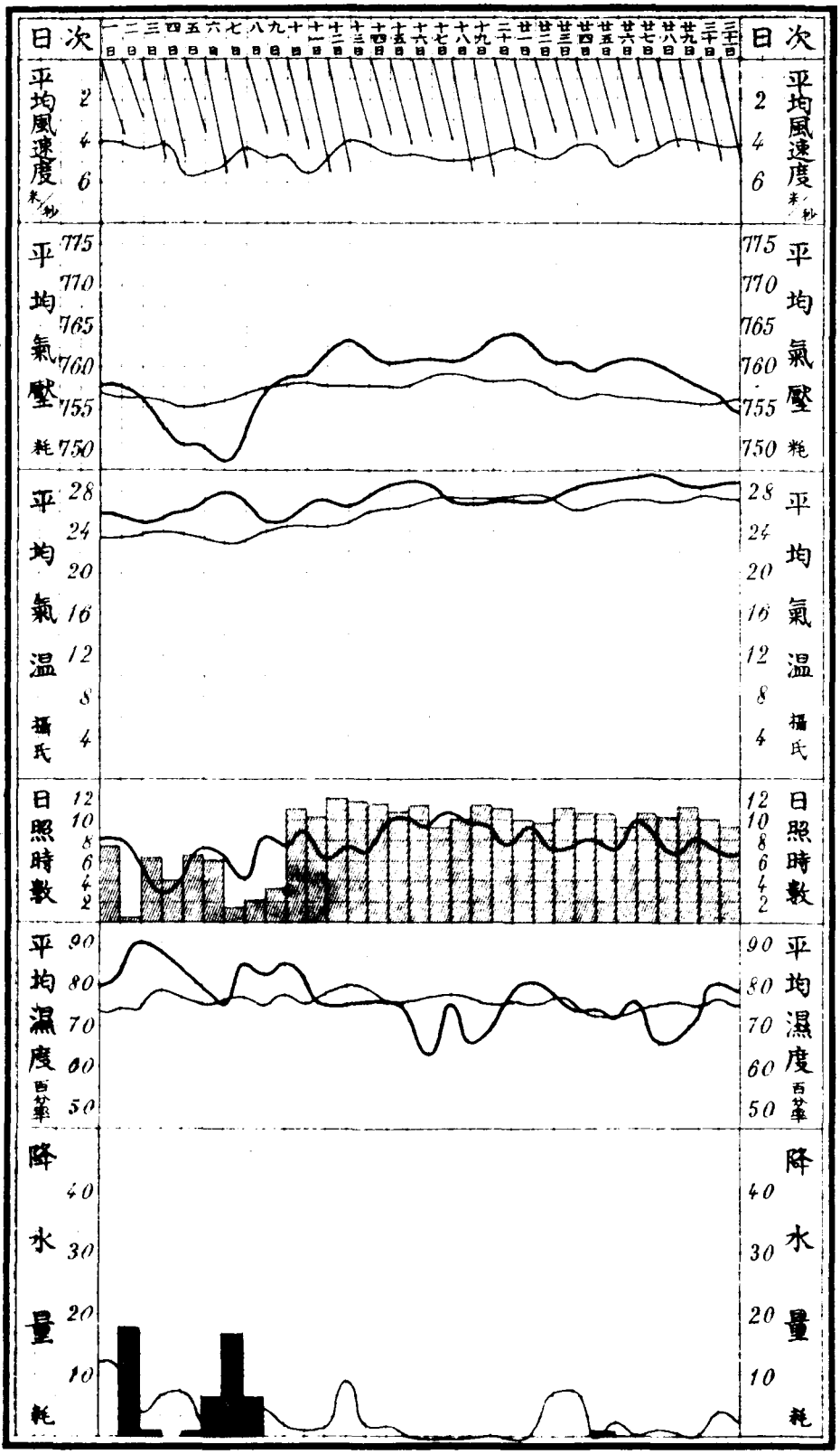
水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は二十粍五二にして平年に比すれば一粍二九高く月中の最高は三十日午後一時に於て二十七粍七を示し最低は十八日午前三時乃至五時に於て十五粍〇を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて二十一粍二〇を示し最低は午前六時にありて十九粍八八を示せり、而

大正六年七月

大阪氣象圖

July 1917



本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス 風速度、氣壓、氣温、濕度ハ本年 ——— 平年 ——— 日照時數ハ本年 ▮▮ 平年 ——— 降水量ハ本年 ▮▮ 平年 ———

例言

一本報は當測候所及管内各觀測所に於て觀測したる毎月の氣象を調査し之れを掲載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管内各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍(曲尺三厘毛)を以て示す

一濕度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には(−)を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘し五にて除し三十二度を加ふへし

一最高濕度及降水量并に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上けて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦(グラム)(零点二七)にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一歩面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米(曲尺三尺三寸)數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らす降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管内氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡市町村	緯度	觀測主任
深日	和泉國泉南郡深日村	三四度一九分	上出源助
上之郷	全國泉南郡上之郷村	三四度二三分	島塲留藏
岸和田	全國泉南郡岸和田町	三四度二七分	森内清次
長承寺	全國泉北郡鳳村	三四度二二分	鮎川由太郎
濱寺	全國泉北郡高石村	三四度二二分	今井富次
堺	全國堺市車ノ町	三四度三五分	吉村正輔
天王寺	攝津國大阪市南區天王寺	三四度三九分	知識昭純
大阪	全國大阪市西區一條通	三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	全國大阪市北區上福島	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	全國四成郡新庄村	三四度四五分	小林雅文
秦野	全國豊能郡秦野村	三四度四九分	藤重元太郎
妙見山	全國豊能郡東郷村	三四度五六分	阪部文二郎
東郷	全國豊能郡東郷村	三四度五七分	大原仁之助
天王	全國豊能郡枳根莊村	三四度〇二分	高橋政次郎
茨木	全國三島郡茨木町	三四度四九分	那須庫之助
清水	全國三島郡清水村	三四度五三分	山本義一
枚方	全國北河内郡枚方町	三四度四九分	家村八五郎
田原	全國北河内郡田原村	三四度四三分	今井由太郎
八尾	全國中河内郡八尾町	三四度三八分	水谷芳松
柏原	全國南河内郡柏原村	三四度三五分	農事試驗支場
富田林	全國南河内郡富田林町	三四度三〇分	塔本幸太郎
長野	全國南河内郡長野町	三四度二七分	松本進水

Monthly Report
of The
Osaka Meteorological Observatory.

July 1917

大阪測候所月報

大正六年七月

第拾八年第七號

目次

○本年七月大阪氣象概況 附圖
○本年七月大阪府管内氣象概況
○本年七月大阪地震觀測概況
○八月下旬の氣候激變
○七月中の暴風概況
○暴風季節
○南洋の大震
○降水量の程度に就て
○管内觀測所の觀測に就て
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報通否

LIBRARY
NOV 1 - 1917
Weather Bureau

大正六年九月六日印刷
仝　年九月八日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）

大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

地方天氣豫報暴風警報適否

種類	發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報 風向	三〇	二一	九	〇	八五
天氣豫報 天氣	三〇	二三	七	〇	八八
天氣豫報 溫度	〇	一	一	一	一〇〇
暴風警報	二	二	一	一	一〇〇

所名	國郡市	町村	緯度	經度	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度 九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡尾崎村		百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡佐野町		百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡岸和田町		百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	吾妻橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	四區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	仝木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
雜波島	攝津國大阪市	四區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	仝木津川分署雜波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
築港	攝津國大阪市	西區安治川口	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署築港分署
大阪	攝津國大阪市	四區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國四成郡	傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東鄉	攝津國豐能郡	東鄉村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東鄉村役場

平均潮位	一〇七、二糎	一一二、四糎	一一九、五糎
平均干滿ノ差	一〇四、四糎	九九、六糎	一〇四、五糎
滿潮ノ極	一八五糎	一九五糎	一九二糎
其日時	二十九日午前五時〇分	八日午後十時二十五分	十三日午前二時二十五分
干潮ノ極	三四糎	二七糎	三二糎
其日時	二十一日午後零時二十分	二十二日午後二時五十五分	七日午後三時十分
最大干滿差	一三八糎	一四六糎	一五三糎
其日	二十一日 二十二日	八日	七日
最小干滿差	六二糎	四七糎	五四糎
其日	三十日	三十日	二十七日

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位　三尺四寸五分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　三尺一寸二分

六月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	一、〇〇	〇、八〇	〇、五〇	〇、四〇
二日	一、〇〇	一、〇五	〇、四五	〇、四〇
三日	一、〇五	〇、九〇	〇、三五	〇、三〇
四日	〇、九〇	〇、八五	〇、三〇	〇、二〇
五日	一、七〇	二、四〇	〇、六〇	一、六〇
六日	二、二〇	二、五〇	一、六〇	一、五五
七日	一、五五	一、三五	一、二〇	〇、八五
八日	一、二五	一、〇五	〇、八〇	〇、六〇
九日	一、三〇	一、七〇	〇、六五	一、〇五
十日	二、八五	二、八五	一、八〇	二、三〇

六月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
十一日	二、七五	二、四五	二、三〇	二、一〇
十二日	二、〇〇	一、七五	一、八〇	一、三五
十三日	二、九五	四、九五	一、五〇	四、二〇
十四日	四、四〇	三、八〇	四、四〇	三、四〇
十五日	二、九〇	二、四五	二、九〇	二、三〇
十六日	二、一五	一、九五	二、〇〇	一、六五
十七日	一、八五	二、一〇	一、五〇	一、六〇
十八日	四、一五	三、四五	二、四〇	三、二五
十九日	二、八五	二、六五	三、〇〇	二、二五
二十日	二、七〇	二、五〇	二、二〇	二、二〇

六月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
二十一日	二、三五	二、一〇	二、一〇	一、七〇
二十二日	二、六五	二、五五	二、一〇	二、三〇
二十三日	二、三五	二、〇〇	二、〇五	一、八五
二十四日	二、〇五	一、八五	一、七〇	一、五〇
二十五日	二、四五	一、三五	一、七〇	一、八〇
二十六日	二、一五	一、九五	一、八〇	一、五〇
二十七日	一、八〇	一、五五	一、三五	一、二〇
二十八日	一、五五	一、三五	一、一〇	〇、九〇
二十九日	一、四五	一、二五	〇、八〇	〇、七〇
三十日	一、八〇	一、三〇	一、一〇	二、六〇
卅一日				

平均水位 二尺一寸一分
最高水位 廣瀬 四尺九寸五分（十三日午後六時）
大日 一尺六寸二分 四尺四寸〇分（十四日午前六時）

東西動地動計觀測

	發現時	最大振幅	振動期
初期微動	P 一五時〇〇分四九秒		
	S 仝 一〇分一二秒		
主要動	L 仝 一八分一七秒		
	M_1 仝 二四分三一秒	四一〇〇以上	二四、〇
	M_2 仝 三一分三〇秒	(十)二八〇三	二一、六
終期	F 一九時三一分五七秒		

南北動地動計觀測

	發現時	最大振幅	振動期
初期微動	P 一五時〇〇分四九秒		
	S 仝 一〇分一二秒		
主要動	L 仝 一八分一七秒		
	M_1 仝 二四分二七秒	四四六〇以上	二六、四
	M_2 仝 三二分一九秒	(十)一〇二〇	一六、三
終期	F 一九時三〇分五八秒		

前表に依りて震央地までの距離を計算するに大阪より約七千八百粁となり東京帝國大學地震學教室の觀測に依れば東京より約七千三百粁又其他測候所の觀測に依れば水澤より約七千四百粁函館より約八千粁、樺太の太泊より約八千四百粁、長崎より九千五百粁、福岡より九千三百粁、長春より一萬九百粁にして是等を綜合し觀察するに其震源は本州の遙南東方即ち太洋洲「トンガ」嶋附近の海底に發したるものなるべし而して今回の地震は最も顯著なるものにして大正二年六月二十六日及本年五月二日同嶋の東方海底に發したるものに比すれば一層強く振幅は約三倍以上に達せり

今各所にて地動計を以て觀測したる發震時及震央地までの距離を列記すれば左の如し

東京	午後三時〇〇分四〇秒	七三〇〇粁
銚子	仝 三時〇〇分二九秒	七四〇〇粁
水戸	仝 三時〇〇分四八秒	七三〇〇粁
水澤	仝 三時〇〇分四八秒	七四〇〇粁
大阪	仝 三時〇〇分四九秒	七八〇〇粁
函館	仝 三時〇〇分三七秒	八〇〇〇粁
長崎	仝 三時〇一分〇七秒	九五〇〇粁
福岡	仝 三時〇一分一三秒	九三〇〇粁
太泊	仝 三時〇一分一八秒	八四〇〇粁
長春	仝 三時〇二分四四秒	一〇九〇〇粁

●大阪港潮汐觀測

種目 月次 四月 五月 六月

前表に依りて震央地までの距離を計算するに大阪より一萬二千二百粁にし東京帝國大學地震學教室にて計算せられたるものに依れば東京より一萬二千七百粁を示せり今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を記すれば左の如し

太泊	午前一〇時〇八分一二秒
銚子	仝 一〇時〇九分〇七秒
東京	仝 一〇時〇九分一〇秒
大阪	仝 一〇時〇九分五〇秒

此地震に關し東京帝國大學地震學教室今村理學博士の談を記すれば左の如し

今朝の新聞電報によれば中米「サン、サルヴエドル」及外六都市全部壞滅し原因は多分火山の爆發によるならんとの事なるが大學構内の地動計には八日午前極めて遠き距離の地震を記錄したり是れは右の地變に基因せるものならん發震時は稍々不明なれとも記錄は同日の午前十時九分十秒にして初期微動三十分三十七秒の後主要動となり最大振幅〇、一粍を示し初めより三時間にて終熄せり今東京に於ける發震時より最初の地震波の傳播に要する時間十六分を引き去りとれた彼の地方の時刻に換算する時は地震は七日午後六時五十三分に發生したることゝなり駐米國大使發電の時刻が同九時なりしに調和す元來彼の地方は大地震を發生したる處にして明治三十五年四月十九日には隣國「グアテマラ」に二千人の死者を出せる程の大地震を起し次で同年九月廿三日にも前者の北西部に當る洋底に同樣の大地震を起し次で大正四年九月七日には震源南東に移りて「サルヴエドル、グアテマラ」の兩國を震動せしめたり而して今回の地震は震源一層南東に移動したるものなれども震度は前者よりも輕かりき同地方は火山に富み現に今回も爆發せりとの疑ひ存する程なれど七都市に對して損害を與ふるには寧ろ地震に基因せると見るを穩當とすべきが如し但し火山の活動も或は此地震と共に起りたる事なきを保せず暫く後報を俟つ事とせり

●太洋洲「トンガ」島附近ノ大震

技手 圓岡平太郎

六月二十六日午後三時過當所地動計は遠距離の地に發したる大震の波動を記錄せり其發震時は午後三時卒分四十九秒にして第一初期微動の繼續時間は九分二十二秒、第二は八分五秒にして主要動に移り大震波の來たりたるため各器共描針圓筒外に逸出したるを以て最大振幅を知ること能はざれども之れを推測するに東西動は午後三時二十四分三十一秒に於て四千百「ミクロン」以上振動期二十四秒南北動は午後三時二十四分二十七秒に於て四千四百六十「ミクロン」以上振動期二十四秒四を現し後漸次に微こなり靜止せり總振動時間は東西動は四時三十一分八秒南北動は四時三十分九秒に及べり即ち次表に記するが如し

の間隔僅に約一秒となり凄じき音響を發し同六時四分より大雨沛然として來り大雷雨となり市内所々に落雷せり此雨量は午後七時に於て二十五粍を測れり而して爾後電雷は稍々衰へ光と音との間隔は約三秒となり漸次微弱となり同七時四十五分收聲す雨も亦た衰へ同七時十分止む今市内に落雷せし個所を摘記れすば左の如し

西區夕凪橋四三丁の堤防へ落雷貫死一人あり
仝　四長堀宇和島橋南詰警鐘臺
仝　新町通四丁目空地
仝　西九條上の町地先電柱
仝　立賣堀南通三丁目藤榮堂板圍
東區今橋三丁目大阪新報社構内
仝　高麗橋一丁目地先電柱
北區澤上江町地先電柱
仝　若松町大阪控訴院構内
大阪電燈會社市内電燈線中央治川、野田、福島、大仁、天滿方面の變壓器に落雷の爲め十二個を焼き（一個の變壓器に電燈約二百個を點す）其變壓器より引燈せる分は悉く消燈せり　（八月十八日調査）

●中央亞米利加の大震

技手　圓岡平太郎

外電の傳ふる所に依れば六月七日中米に大地震あり「サン、サルヴエドル」外多數の都市は全部壞滅したる由なるが當所地動計は八日朝極めて緩慢なる遠距離地震の波動を記錄せり其發震時は午前十時九分五十秒にして初期微動は第一、第二と區別判明ならざれども總繼續時間は三十一分五十四秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前十一時三分五十二秒に於て五十二「ミクロン」振動期十八秒四南北動は午前十時五十六分十九秒に於て三十「ミクロン」振動期二十四秒〇を現し後微となり靜止せり總振動時間は東西動は二時十六分四十秒、南北動は二時九分三十秒なり即ち次表に記するが如し

東西動地動計觀測

	發現時	最大振幅（ミクロン）	振動期
初期微動 P	一〇時〇九分五〇秒		
初期微動 S	?		
主要動 L	一〇時四一分四四秒		
主要動 M_1	仝　五二分五〇秒	（一）三〇	二一、六
主要動 M_2	一一時〇三分五三秒	（十）五二	一八、四
終期 F	一二時二六分三〇秒		

南北動地動計觀測

	發現時	最大振幅（ミクロン）	振動期
初期微動 P	一〇時〇九分五〇秒		
初期微動 S	?		
主要動 L	一〇時四一分四四秒		
主要動 M_1	仝　五六分一九秒	（一）三〇	二四、〇
主要動 M_2	一一時一〇分一三秒	（十）二五	一九、二
終期 F	一二時一九分二〇秒		

雨量稍々少かりしと七月九日より八月一日に至る二十四日間旱天引續きたる爲め土地に依り用水に缺乏を告げたる所あり

今當所創立以來三十五年間の夏季に於て旱天二十日以上引續きたる年を列記すれば左の如し

年	月日	日數	記事
明治十六年	自七月四日至八月十九日	四十七日	一滴の雨なし
全十七年	自七月廿日至八月十一日	二十三日	八月二日に七耗九の驟雨あり
全十九年	自七月廿四日至八月廿日	二十八日	八月十一日に一耗五の驟雨あり
全廿二年	自七月廿九日至八月十七日	二十日	八月十四日に一耗三の驟雨あり
全廿六年	自六月廿六日至七月卅一日	卅六日	七月十二日に十三耗五、及同十九日に一耗二の驟雨あり
全卅四年	自八月一日至八月廿日	二十日	八月十三日に零耗二の驟雨あり
全卅七年	自七月廿九日至八月十七日	二十日	八月二日に零耗二の驟雨あり
全四十四年	自八月十九日至九月八日	廿一日	一滴の雨なし
大正四年	自七月十四日至八月三日	廿一日	一滴の雨なし
全六年	自七月九日至八月一日	廿四日	七月廿五日に零耗一の驟雨あり

上表に依りて看るに旱天最も長く續きたるは明治十六年にして四十七日間一滴の降雨なかりしと之れに亞けるは明治廿六年にして旱天三十六日に達したれども七月十二日及十九日に驟雨あり又之れに亞けるは明治十九年にして旱天二十八日に達したれども八月十一日に少量の驟雨ありしのみにして是等は本年より甚しく其他の六ケ年は本年に略ほ等しく旱天二十日乃至二十三日に亘りたり（八月十五日調査）

●八月十七日の大雷雨概況

技手　大橋龍太郎

本年は旱天數日に亘り暑熱甚だしかりしが八月十七日朝紀伊沖に低氣壓現はれ南海岸に雨を催ふし午前十時四十七分より大阪地方も降雨となり同十一時四十三分止みしが後曇天にして蒸し暑く午後五時四十四分頃より南東方に雷鳴起り同五十七分頃には電光を見同六時過より電雷交々發し漸次激烈となり光と音と

六月十三日の暴風雨概況

技手　大橋龍太郎

六月十一日黄河と楊子江との中間に顯はれたる低氣壓は東に進み十二日支那東海に入り進路を北東に轉し著しく發達し十三日朝佐渡沖に來りたる頃は其中心示度七百三十五粍以下に降れり又副低氣壓は四國南部に發生せり此が爲め本邦中部にては暴風雨となり京阪附近より濃飛地方に亘り殊に多量の降雨ありたり而して該低氣壓は十四日朝網走附近に到り北海道に暴風雨を起し遂にオホツク海に去れり

此低氣壓は本邦に顯著なる暴風雨を起したり釧路にては十四日午前二時に氣壓七百三十九粍一に降り長崎にては十二日午後八時三十分毎秒速度二十七米八に達し布良にては十三日午前八時に三十二米八新潟にては十三日午前十一時二十分に毎秒速度三十一米一に及びたり是を以て所により多大なる風水の害あり海上にても波浪高く漁舟船舶の沈沒又は遭難せしもの多しと云ふ大阪にては十二日午前八時過より氣壓下降し初め午後七時より下降急となり十三日午前四時七百四十七粍五の最低に達し後漸次に上昇せり風は十二日は方向區々の軟乃至和風吹きしが十三日午前一時風向南となり同二時より俄然強風吹き起り次第に增力し五時最も強く毎秒速度十五米六の烈風に達し七時過より漸次に減殺せり其時數は六時にして內強風五時間烈風一時間なり雨は十二日午後六時十八分より降り初め十三日午前四時十五分より雨勢次第に加はり五時五分より大雨となり此の一時間に十一粍二を豪注し七時五十分に至り全く歇む此雨量三十八粍三なり

因に記す大阪にては此暴風雨の爲め玉造署管內に浸水家屋百六十六戶あり大阪港にて傳馬船艀船二十隻沈沒し谷川、堺、岸和田港にても難波船あり谷川港にては行方不明二名死者一名ありたり

●本年夏季の寡雨に就て

技手　山田顯吉

本年の梅雨は例年より早く去り七月九日より晴天となり旱天引續き七月二十五日に驟雨ありしも其量極めて少く零粍一に過ぎず爾後又晴天となり八月一日まで繼續せり此日數を通算すれば二十四日の多きに達せり而して八月二日より四日に至る間に潤雨あり其量四十二粍九にして一坪面に七斗八升九合の水を撒布したるに等しく八月五日より又晴天となり十一日に至る七日間旱天引續き十二日に潤雨あり其量二粍四にして一坪面に六升二合の水を撒布したるに當り爾後十三日、十四日は晴天なりしも十五日には又驟雨あり漸次順に復せり然れども本年は梅雨中の

低氣溫の平均は二十三度八にして最低の極は大正二年八月五日の十九度七なり、而して十月十九日間に於て最高氣溫の三十度以上に昇りたる日數の平均は十五日にして最も氣溫の高かりし大正三年は十月十九日間を通じて日々三十度以上に昇り大正五年は十月十九日間に十八日及本年は同十六日間は三十度以上に昇りたり又三十二度以上に昇りたる日數の平均は九日にして大正三年は十月中を通じて三十二度以上に昇り本年は十三日、大正五年は十一日間三十二度以上に昇りたり而して日照時數の平均は百五十八時三（平均一日に八時二の日照を受けたる割合に當る）にして最も多かりしは大正三年の百九十七時三にして之れに亞ぐは大正四年の百九十二時一、大正二年の百八十五時五及本年の百七十九時一なり、降水日數の平均は六日にして最も多かりしは明治四十四年の十一日、最も少かりしは大正二年と四年の二日、大正三年と本年の三日なり降水量の平均は五十八粍七にして最も多かりしは明治四十四年の百三十八粍五にして最も少かりしは大正三年の七粍六及同二年の九粍七にして本年の四十三粍の之れに亞げり、之れを要するに大正三年の十月は氣溫高く日照多く降雨少く夏季の氣候として適順なりしが之れに亞ぎて本年も亦た高溫にして日照時數多く氣候は良好に經過せり

今最近六年間に於ける十月中の氣溫、濕度、日照時數、降水日數及量並強風以上の吹きたる日數、最大風速度其方向等を記すれば左の如し

年種目	平均氣溫	最高氣溫	最低氣溫	最高氣溫三十二度以上	平均濕度	最大速度	風向	強風以上の日數	日照時數	降水日數	量最大日雨	一日三十粍以上の日數
明治四十四年	二三、八	二九、四	一三、七	一〇	〇	八〇、八	三、七	西南西	八	一〇八、一	一一	一三八、五	七、〇	二
大正元年	二六、二	三〇、〇	二二、一	三	三	七八、〇	七、九	南南西	六	一三六、〇	九	八五、五	五、〇	二
大正二年	二六、四	三一、二	二三、二	五	六	七〇、三	三、四	西南西	三	一八〇、一	二	九、七	九、一	〇
大正三年	二五、二	三二、二	二五、七	九	九	七四、二	九、四	西南西	六	一八七、七	五	七、六	四、八	〇
大正四年	二六、三	三一、九	二四、五	七	三	七一、八	一〇、四	東北東	二	一八六、〇	二	四八、八	三、五	二
大正五年	二七、五	三一、九	二四、〇	八	二	七三、八	一〇、〇	北東	二	一四三、〇	七	七八、一	六八、一	二
大正六年	二六、一	三二、八	二四、四	二	二	七六、三	一〇、一	東北東	四	一七九、一	四	四三、〇	三九、六	二
平均又は極	二七、四	三二、八	二三、八	五	九	七四、九	二七、九	東南東西	四	一五八、三	六	五八、七	七、〇	二

月日＼種目	空氣の溫度 平均 本年	平均 平年より	平均 昨年より	最高 本年	最高 平年より	最高 昨年より	最低 本年	最低 平年より	最低 昨年より	日照時數 本年	日照時數 平年より	日照時數 昨年より	降水量 本年	降水量 昨年
七月二十日	二六、九	〇、八	〇、五	三一、〇	〇、七	一、一	二三、三	一、五	一、二	一一、五	▲三、六	▲六、八	—	—
仝廿一日	二六、八	一、二	〇、四	三一、一	〇、六	一、〇	二三、〇	一、七	〇、八	一〇、一	▲〇、六	▲四、一	—	—
仝廿二日	二七、六	〇、二	〇、二	三二、四	▲〇、七	▲〇、九	二三、二	〇、六	〇、三	一〇、〇	▲二、八	▲二、〇	—	—
仝廿三日	二八、三	▲一、七	▲一、〇	三三、六	▲三、五	▲二、三	二三、一	〇、三	〇、六	一一、四	▲三、七	▲四、九	—	〇、二
仝廿四日	二八、四	▲一、八	▲二、〇	三三、三	▲二、四	▲二、〇	二四、〇	▲一、二	▲一、五	一一、〇	▲二、九	▲六、三	—	〇、四
仝廿五日	二八、九	▲一、八	▲〇、五	三四、五	▲三、〇	▲一、一	二三、九	▲〇、六	〇、一	一二、〇	▲三、九	〇、四	〇、一	—
仝廿六日	二九、〇	▲一、五	▲一、〇	三三、八	▲二、四	▲一、八	二五、五	▲一、八	▲一、一	九、七	〇、三	▲一、九	—	〇、〇
仝廿七日	二九、四	▲二、〇	▲二、三	三五、二	▲三、九	▲三、五	二四、二	▲〇、三	▲〇、九	一一、二	▲二、五	▲三、九	—	—
仝廿八日	二八、七	▲一、六	▲二、二	三四、一	▲二、八	▲二、九	二四、二	▲〇、七	▲〇、四	一〇、八	▲四、一	▲七、八	—	〇、四
仝廿九日	二八、一	▲〇、三	▲〇、九	三三、〇	▲一、三	▲二、七	二三、一	一、五	一、一	一一、七	▲三、五	▲八、三	—	〇、〇
仝三十日	二八、五	▲〇、九	▲〇、七	三三、二	▲一、八	二、一	二四、六	▲〇、一	一、〇	一〇、一	▲三、〇	▲六、四	—	〇、〇
仝卅一日	二八、三	▲一、一	▲〇、六	三二、九	▲一、六	〇、一	二五、三	▲一、二	▲一、一	九、七	▲二、九	▲一、四	—	八、三
八月一日	二九、四	▲二、七	▲四、七	三五、四	▲四、九	▲七、六	二四、八	▲〇、八	▲一、六	九、四	▲二、一	▲七、八	—	六八、一
仝二日	二八、〇	▲〇、二	▲〇、三	三一、八	〇、七	一、一	二五、九	▲二、四	▲二、七	五、一	四、六	六、〇	二、三	〇、五
仝三日	二六、四	〇、九	一、四	二八、一	三、六	四、二	二四、八	▲一、二	▲一、一	—	八、七	一二、八	三九、六	—
仝四日	二六、九	▲〇、九	一、三	三一、一	▲一、五	一、六	二四、七	▲一、五	〇、一	七、三	一、四	三、〇	一、〇	—
仝五日	二七、三	▲〇、七	一、五	三一、一	▲〇、三	二、九	二四、三	▲一、四	▲〇、二	七、六	一、五	二、八	—	—
仝六日	二八、一	▲一、一	〇、五	三二、七	▲〇、六	〇、三	二五、一	▲二、二	▲〇、二	九、四	四、九	二、〇	—	〇、二
仝七日	二九、〇	▲一、三	▲〇、五	三四、〇	▲一、四	▲〇、九	二五、八	▲二、一	▲一、二	一二、三	▲二、八	▲二、〇	—	—
合計又は平均	二八、一	▲〇、九	▲〇、六	三三、八	▲一、四	▲〇、九	二四、四	▲〇、七	▲〇、四	一七九、一	▲二四、一	▲三六、六	四三、〇	六、一

更に最近六年間に於ける土用中の氣象を調査するに平均氣溫は廿七度四にして最高氣溫の平均は三十一度六を示せり示して最高の極は大正四年八月二日の三十六度〇、之れに亞ぐは本年八月一日の三十五度四、大正二年八月七日の三十五度一なり、最

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分三十四秒にして主要動となり最大振幅は午前三時二十一分五十六秒に於て十七「ミクロン」振動期二秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は十分五十八秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は能登北西沖に發したるものにして金澤にては微震を感じ伏木、彦根、名古屋にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

七七　六月二十九日午前一時二十九分四十五秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分三十四秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前一時三十一分二十九秒に於て十八「ミクロン」振動期四秒八南北動は午前一時三十分五十三秒に於て三十二「ミクロン」振動期五秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十二分二十五秒南北動は十分三十三秒なり

附記　此地震は相摸灣に發したるものにして震域北方は本州北部に四方は伊勢の津附近に達し横須賀、横濱、沼津、東京、熊谷筑波等にては微震を感じたり

●本年土用中の氣象實況

技手　山田顯吉

例年梅雨期は陰鬱の天氣多く爲めに氣温の上昇遲緩となり比較的冷氣なりしも梅雨期を過ぐれば忽ち夏の土用となり俄然氣温上昇し盛夏の狀態に移るを常とす、然り而して本年は梅雨早く去り七月九日より晴天となり暑氣加り降雨少く土用に入り益々暑熱甚しく八月一日最高は三十五度四に達せしが八月二日午後より降雨となり稍々冷氣を覺へしが四日より又晴天となり暑氣加り七日には最高三十四度〇を示せり而して日照時數多く氣候は適順の方なりし

今之れを詳記せんに本年土用（七月廿日より八月七日に至る十九日間とす）の平均氣温は廿八度一にして平年より零度九、昨年より零度六高く又日々の變化を看るに七月廿日より廿二日及八月二日は平年より低かりしも其他は皆平年より高く土用中の高極は八月一日にありて三十五度四を示し同日の累年平均に比すれば四度九高く昨年より七度九高し又土用中の最高氣温平均は三十二度八にして平年より一度四、昨年より零度九高く日照時數は百七十九時一にして平年より二十四時一、昨年より三十六時六多し降水日數は四日にして平年より二日少く其水量は四十三粍〇にして平年より十粍二少し

今土用中日々の氣温並に日照時數を平年及昨年に比し昨今兩年の降水量を表記すれば左の如し

二十七「ミクロン」振動期四秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は十四分四秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は安房沖に發したるものにして八丈島にては性質急なる地震を感じ東京、沼津、福嶋にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

七三　六月二十四日午前十一時二十六分二十三秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前十一時二十七分四十二秒に於て二十「ミクロン」振動期七秒二を現し全振動時間は八分三十四秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は極めて微にして來た震源詳ならざれども畿內附近に發したる微震なるべし

七四　六月二十五日午前五時零分十一秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は九分五十二秒第二は八分十四秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前五時二十分十五秒に於て二十「ミクロン」振動期九秒六南北動は午前五時十九分四十四秒に於て三十五「ミクロン」振動期十四秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時二十三分五十五秒南北動は一時二十七分十一秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして來た震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

銚子	午前四時五九分五九秒
水戸	仝　五時〇〇分〇八秒
大阪	仝　五時〇〇分一一秒
水澤	仝　五時〇〇分一四秒
函館	仝　四時五九分二八秒
福岡	仝　五時〇〇分二四秒
長崎	仝　五時〇〇分二八秒
太泊	仝　五時〇〇分三六秒

七五　六月二十六日午後三時零分四十九秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は九分二十三秒第二、八分五秒にして主要動に移り描針圓筒外に逸出せるが故に最大振幅を測ること能はざれども之れを推測するに東西動は午後三時二十一分三十一秒に於て四千百「ミクロン」以上南北動は午後三時二十四分二十七秒に於て四千四百六十「ミクロン」以上に達し後漸次に振幅縮小し終期の微動となり靜止せり全振動時間は東西動は四時二十一分八秒南北動は四時三十分九秒なり

附記　此地震は太洋洲「トンガ」島附近に發したるものにして別項に詳記せり

七六　六月二十七日午前三時二十分五十八秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は九分五十六秒第二は八分零秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後二時九分二十八秒に於て二十「ミクロン」振動期十一秒(?)、南北動は午後二時十一分十九秒に於て二十五「ミクロン」振動期十秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時三十八分五十三秒、南北動は一時四十二分五十五秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源詳ならざれども銚子及樺太の大泊にても此地震を觀測せりと云ふ

六九　六月十四日午後十時二十二分二十八秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十七秒にして主要動となり最大震幅は東西動は午後十時二十四分四秒に於て百二「ミクロン」振動期四秒八南北動は午後十時二十四分三十八秒に於て百八十「ミクロン」振動期三秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十二分四十五秒南北動は二十二分二十秒なり

附記　此地震は磐城沖に發したるものにして震域廣く北方は北海道に南方は八丈島に西方は丹後の宮津邊に達し長半徑百十里短半徑六十里を有し强震部は四千二百四十方里、弱震部は一萬二千五百七十方里有感覺微震部は二萬七百三十方里に亘り石卷、秋田、宇都宮、水戸、橫濱等にては弱震を感じたり

七〇　六月十九日午前一時三十四分二十八秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は東西動は午前一時四十二分二十秒に於て五「ミクロン」振動期五秒(?)、南北動は午前一時四十二分五十二秒に於て七「ミクロン」振動期七秒(?)を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十四分二十八秒、南北動は二十一分四十秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども陸中の水澤にては午前一時三十四分五十九秒に此地震を觀測せりと云ふ

七一　六月十九日午前七時十八分三十秒の地震

此地震は緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は判明ならざれども最大振幅は東西動は午前七時二十七分二十二秒に於て二十五「ミクロン」振動期九秒(?)南北動は午前七時二十八分四十二秒に於て十三「ミクロン」振動期六秒(?)を現し全振動時間は東西動は二十七分十二秒南北動は二十六分二十秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども陸中の水澤にては午前七時十八分十八秒に此地震を觀測せりと云ふ

七二　六月二十一日午後九時十分七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分四秒にして主要動となり最大振幅は午後九時十一分五十二秒に於て

南方は東京灣に南西方は駿河の沼津邊に達し長半徑五十五里短半徑三十五里を有し有感覺微震部は六千五十方里に亘り福島にては弱震を感じ水戸、筑波、東京にては微震を感じたり

六四　六月八日午前十時九分五十秒の地震

此地震は最初より極めて緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は三十一分五十四秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前十一時三分五十三秒に於て五十二「ミクロン」振動期十八秒四南北動は午前十時五十六分十九秒に於て三十「ミクロン」振動期二十四秒（）を現はし後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二時十六分四十秒南北動は二時九分三十秒なり

附記　此地震は中央亞米利加に發したるものにして別項に詳記せり

六五　六月八日午後二時三十七分五十七秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十二秒にして主要動となり最大振幅は午後二時三十八分四十五秒に於て九「ミクロン」振動期一秒五を現し後微となり靜止せり全振動時間は五分十八秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は濃尾地方に發したるものにして彦根、高山にては性質急なる微震を感じ津、名古屋、飯田にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

六六　六月八日午後九時四十七分二十五秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分五十秒にして主要動となり最大振幅は午後九時五十分四十二秒に於て二十二「ミクロン」振動期二秒九を現し後微となり靜止せり全振動時間は十七分二秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は襟裳岬南東沖に發したるものにして長半徑六十五里短半徑五十里を有し有感覺微震部は一萬二百十方里にして釧路、函館、根室、宮古にては微震を感じ青森、福島、沼津等にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

六七　六月十日午前七時四十二分二十九秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分容秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前七時四十四分五秒に於て二百四十三「ミクロン」振動期三秒二南北動は午前七時四十四分十六秒に於て三百六十八「ミクロン」振動期三秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十四分三十一秒南北動は二十三分四十一秒なり

附記　此地震は鹿嶋洋北部に發したるものにして震域頗る廣く北方は北海道の東部に南方は東京灣に西方は丹後の宮津邊に達し長半徑七十五里短半徑五十五里を有し顫震部は四千四百方里有感覺微震部は一萬二千九百六十方里に亘り水戸にては強震を感じ器物の顛倒したる所あり久慈浜、宇都宮、福嶋、熊谷、東京、横濱等にては顫震を感じたり

六八　六月十日午後一時四十二分二十七秒の地震

亘る●十九日前日來の雨概ね午前歇み深日、岸和田、大阪に強風吹けり●二十日晴曇相半し午後より雨降り翌日に亘る●二十一日前日來の雨斷續して翌日に亘りし所多し●二十二日前日來の雨午前歇む●二十三日晴曇相半す●二十四日概ね曇大所々に雨降れり●二十五日概ね曇大所々に雨降り大阪に強風吹けり●二十六日晴曇相半す●二十七日概ね晴天●二十八日概ね晴天●二十九日概ね晴天なりしが午後に至り所々に雷雨あり●三十日未明より雨降り所々に雷鳴あり

大阪地震觀測概況

爰に記する所のものは主として大森式地動計(東西及南北動二十倍)を以て觀測したるものを記し、極微なる地震にありては百廿倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如しPは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動全上、Lは長波即ち主要部全上、Mは主要部の最大動、Cは終期の最大動、Fは振動の終とす又十は南北動にありては北、東西動にありては東、(一)は南北動にありては南、東西動にありては西なり振幅は「ミクロン」(粍の千分一)を以て記す

本月中に地震を觀測したる數は十六回にして人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感じたるものも亦た一回もなかりしが無感覺地震にして地動計又は微動計に感じ其震源本邦内にありたるものは八回卽ち本州東海岸五回、相模灣、濃尾地方、能登北西沖各一回震源未詳一回なり又遠距離地震は七回にして就中最も顯著なるものは二十六日太洋洲「トンガ」嶋附近及八日中央亞米利加に發したるものにして其他は未だ震源詳ならず今其觀測概況を列記すれは左の如し

六二　六月四日午前十時三十七分四十七秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は七分十二秒第二は七分四秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前十時五十六分三十九秒に於て三十「ミクロン」振動期廿一秒六、南北動は午前十時九十七分五十四秒に於て十三「ミクロン」振動期二十秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時十一分五十四秒、南北動は一時六分三十二秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならず

六三　六月六日午前一時二十八分四十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分四十六秒にして主要動となり最大振幅は午前一時三十分四十秒に於て三十八「ミクロン」振動期四秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は十四分十秒なり(南北動微動計百二十倍の觀測)

附記　此地震は磐城沖に發したるものにして震域北方は本州北部に

月	全	三十日	廿九日	廿八日	廿七日	廿六日	廿五日	廿四日	廿三日	廿二日	廿一日	二十日	十九日	十八日	十七日
十	一〇六、四	一	二四、二	—	—	—	—	二、四	—	—	八、二	七、〇	—	四、二	二六、六
十	三〇五、五	一	二五、〇	—	—	—	—	—	—	—	四、〇	六、五	三、〇	四、〇	二三、〇
十	二六八、四	—	一九、〇	—	—	—	—	〇、九	—	—	三、五	五、〇	一、八	三、一	二三、五
十	一七五、八	—	一〇、五	—	—	—	—	〇、六	—	—	四、四	五、三	二、四	二、四	二三、四
十	一六七、九	—	一三、三	—	—	—	〇、三	〇、三	—	—	八、七	〇、四	三、四	三、四	二一、八
十	一八三、六	—	一〇、六	—	—	—	—	〇、八	—	—	六、六	五、〇	三、〇	三、〇	二三、三
十	一八一、二	—	一九、〇	—	—	—	—	一、〇	—	—	四、〇	五、〇	三、〇	四、一	二〇、〇
十	一八三、二	—	一七、五	—	—	—	〇、七	〇、三	—	〇、七	八、六	六、三	〇、三	四、一	二八、五
十	一八七、九	—	一六、三	—	—	—	—	一、〇	—	〇、一	九、三	六、九	三、七	四、〇	二六、五
十	一八四、二	—	一三、八	—	—	—	〇、三	一、五	—	—	一八、五	五、三	五、〇	三、五	二〇、〇
十	一七九、一	〇、一	一〇、五	—	—	—	〇、三	二、三	—	〇、一	三、六	三、三	一、七	二、九	九、一
十	一七四、九	—	四八、〇	—	—	—	—	一、三	—	—	九、三	五、〇	—	二、三	一七、〇
十	一八五、一	—	三四、八	—	—	—	—	一、八	—	—	三、〇	三、八	一、七	四、八	一七、〇
十	一八二、四	—	四九、〇	—	—	—	一、五	二、八	—	—	七、五	七、〇	一、八	四、五	一〇、〇
十	一九八、三	—	二一、三	—	—	—	〇、一	〇、八	—	—	九、八	五、六	—	四、八	一七、〇
十	一九五、八	—	三九、〇	—	—	—	〇、三	一、八	—	—	一五、七	四、七	一、三	五、一	一二、三
十	二〇九、〇	—	三一、三	—	—	—	—	〇、九	—	—	二四、二	六、〇	一、三	五、〇	一六、〇
十	一九五、九	—	三五、二	—	—	—	—	〇、〇	—	—	三、二	五、八	三、一	五、一	二六、四
十	一七六、二	—	三一、八	—	—	—	—	〇、二	—	—	二、五	四、六	〇、五	二、〇	三一、七
十	一七九、九	—	三〇、〇	—	—	—	—	〇、二	—	—	一、八	四、三	五、八	一、〇	三〇、〇
十	一五五、二	—	三、五	—	—	—	—	〇、六	—	一	二、六	九、六	八、二	—	二、〇
十	一五五、二	—	一、〇	—	—	—	—	〇、八	—	—	三、四	一、六	二、〇	—	二、〇

管內天氣摘要

●一日概ね晴天なりしが午後に至り雨降る●二日晴曇相半す●三日概ね晴天所々に微雨あり●四日概ね曇天午後より雨降り翌日に亘る●五日前日來の雨午前歇み大阪に強風吹けり●六日晴曇相半す●七日概ね晴天大阪に強風吹けり●八日概ね曇天午後より雨降り翌日に亘る●九日前日來の雨翌日に亘り大阪、秦野、八尾に強風吹けり●十日前日來の雨概ね午後歇む●十一日概ね晴天●十二日概ね曇天午後より雨降り翌日に亘る深日、上之郷岸和田、秦野、妙見山、東郷、長野に強風吹けり●十三日前日來の雨午前歇み大阪、新庄、枚方、田原に雷鳴、所々に強風吹けり●十四日概ね晴天●十五日概ね晴天●十六日概ね晴天大阪に強風吹けり●十七日未明より雨降り午後歇む深日、大阪、秦野、田原に強風吹けり●十八日概ね曇天午後より雨降り翌日に

第四表　管内降水日量

六月	深日郷	上之田	岸和田	長承寺	濱寺堺	天王寺	大阪	福島	新庄	秦野	妙見山	東郷	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	相原	富田林	長野
一日				0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0									0.1			
二日			0.4	0.9	0.2		0.2														
三日																					
四日	5.5	2.0	2.8	2.4	3.1	2.0	2.1	2.8	3.5	3.2	1.7	3.3	3.0	4.5	4.0	1.5	1.1	1.7	2.1	2.6	1.0
五日						0.1							1.1				0.8		1.1	3.1	1.3
六日																					
七日																					
八日	1.9	3.0	2.0	1.0	1.0	1.0	3.3	2.3	2.3	2.5	1.6	2.5	2.5	1.5	2.5	3.0	3.4	1.5	1.5	1.0	2.0
九日	4.8	7.0	7.8	3.5	3.3	1.0	3.4	8.2	6.5	3.5	10.3	6.9	8.0	6.9	7.0	6.3	10.2	9.5	8.3	8.3	8.0
十日	1.5	1.0	7.0	3.5	1.1	2.0	2.9	6.7	5.0	1.1	1.0	10.4	3.3	7.0	3.0	5.0	6.7	4.0	6.0	8.5	3.0
十一日																					
十二日	5.9	5.0	4.0	3.5	3.5	3.0	2.1	3.5	3.4	5.0	1.6	3.5	3.0	3.0	3.0	2.7	4.1	4.7	3.0	3.0	3.0
十三日																					
十四日																					
十五日																					
十六日	3.1	1.4	1.0	2.2	6.3	1.0	7.9	7.0	5.4	5.4	6.3	3.5	4.3	3.5	1.9	5.5	5.2	3.1	2.1	3.0	1.0

降雨ありたり

二十九日午後四時頃北部の山間に雷鳴起り同五時頃より強雨を瀰らし天王は一時三十五分間に三十五粍を豪注せり

三十日午前五時過殆んど全管内に亘りて雷鳴あり雷は強からざりしも降雨は稍々強く大阪にては一時間に八粍三、新庄にては五十分間に十三粍八を量れり

第三表　管内全月氣象觀測成績

（表中▲印は高又は多）

觀測所	空氣ノ温度 平均最高	平均最低	平均 本年	平均 平年比較	最高極	起日	最低極	起日	降水量 總量 本年	平年比較	最多日量	起日	午前十時（柏原ハ午前九時） 氣温	濕度	雲量	最多風向	天氣日數 降水	雪	霰	雹	霜	雷電	地震	午前十時天氣 快晴	曇天	暴風
深日	二六、三	一七、五	二一、九	〇、一	三四、五	二九 二八	一〇、七	七	二〇六、四	一六、三	五〇、九	三	二三、七	七二	六、一	北	一三	〇	〇	〇	〇	一	〇	九	一六	三
上之郷	二六、〇	一七、一	二一、七	—	三四、三	二八	一〇、一	七	二〇五、五	—	五九、〇	三	二三、四	七二	六、五	北東	一三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	八	九	二
岸和田	二五、二	一七、三	二一、三	〇、七	三一、五	二八	一〇、一	七	一六八、四	三〇、六	四三、〇	三	二三、一	七〇	五、九	北	一四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	九	一四	二
長承寺	二五、六	一六、九	二一、五	〇、九	三二、三	二九	九、五	七	一七五、八	一七、六	三九、五	三	二三、四	七二	五、九	北東	一五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	六	一六	〇
濱寺	二五、三	一六、九	二一、一	—	三三、九	二九	九、八	七	一六七、九	—	三九、五	三	二二、六	六八	七、〇	西	一三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	八	二〇	五
堺	二六、一	一七、三	二一、九	〇、三	三三、三	二九	一〇、六	七	一八三、六	一〇、七	四二、九	三	二三、二	七〇	六、六	西	一四	〇	〇	〇	〇	一	〇	八	一八	〇
天王寺	二六、三	一七、三	二一、六	〇、六	三三、一	二九	一一、〇	七	一八三、一	二三、九	三五、〇	四	二三、一	六九	四、九	西	一四	〇	〇	〇	〇	二	〇	一三	一三	〇
大阪	二五、八	一七、五	二一、六	〇、七	三三、七	二九	一〇、四	七	一八三、二	三三、二	三八、一	三	二三、七	六九	七、〇	北	一四	〇	〇	〇	〇	二	〇	八	二〇	九
福島	二六、九	一七、一	二二、〇	一、〇	三三、七	二九	九、五	七	一七七、九	一六、五	三七、五	三	二二、四	七〇	六、二	北東	一五	〇	〇	〇	〇	一	〇	七	一五	〇
新庄	二六、三	一七、〇	二一、六	〇、八	三三、〇	二九	九、〇	七	一八四、一	五、四	三八、四	三	二三、七	七〇	六、四	北東	一五	〇	〇	〇	〇	一	〇	七	一五	一
奈野	二六、三	一六、五	二一、三	〇、七	三三、四	二八	一〇、六	六 四	一七六、七	二八、六	三六、三	三	二三、六	七四	六、九	南	一七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	六	一六	三
妙見山	二一、三	一三、四	一七、三	〇、九	三〇、一	二九	二、九	七	二二四、九	一、三	四八、〇	二九	一七、六	九五	六、八	東	一三	〇	〇	〇	〇	三	〇	八	一九	二
東郷	二五、二	一四、九	二〇、三	〇、三	三二、三	二八	五、四	七	一八五、一	四八、二	三七、四	四	二二、六	六七	七、六	南	一四	〇	〇	〇	〇	一	〇	六	一三	二
天王	二三、五	一三、七	一八、一	〇、六	二九、五	二八	三、九	七	二二一、四	四九、四	四九、〇	二九	一九、八	七八	七、六	南	一六	〇	〇	〇	〇	二	〇	三	一九	〇
茨木	二六、八	一六、六	二一、七	〇、六	三三、〇	二九 二八	九、一	七	一九八、二	二七、二	四一、八	四	二二、一	七六	六、三	南西	一四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	九	一七	〇
清水	二六、六	一六、三	二一、一	〇、七	三三、〇	二七	七、六	七	二〇五、八	四一、一	二九、〇	二九	二二、〇	七二	六、四	南	一四	〇	〇	〇	〇	二	〇	八	一四	〇
枚方	二七、六	一六、五	二二、一	〇、六	三四、五	二八	九、〇	七	一九八、〇	一五、四	四〇、七	三	二三、二	六九	七、一	北	一四	〇	〇	〇	〇	二	一	五	一八	〇

三十日	二五、一	二六、四	二六、五	二六、四	二三、五	二〇、五
全月	二三、六	二三、一	二二、八	二二、六	二〇、五	一四、二

（前日來の降雨斷續し午前九時五十分歇む午前五時廿八分南方に電雷起り同六時十二分南東に到り收聲す、夜薄露あり）

大阪府管內氣象概況

前既に述べたる如く六月は夏季の狀態に移らんとし氣溫逐日上昇を告るも中旬より梅雨季に入るを以て陰鬱の天氣となり爲めに氣溫は稍々上昇を中止し降水量は劇增して一年中に於ける最多量を示すを常とす而して本年六月の氣候を調査するに梅雨は稍々早來の觀ありて八日より降雨を催ふし十二日には大雨あり十四日より十六日迄は晴天なりしが十七日より復々降雨となり斷續して二十二日に至りて歇み二十三日より天候恢復し暑氣次第に加り二十八日及二十九日には月中の最高を現はし南部深日及西部枚方に於て三十四度五に昇りたれ共上旬は寒冷なりし爲め月平均氣溫は平年より低く降雨も下旬に割合に少なかりしを以て平年に達せざりき要するに上旬の末より中旬に亘りては梅雨の本態を現はしたれ共下旬は盛夏の狀態を呈し以て翌月に入れり更に氣溫、降水量、雷雨等に就き詳記すれは左の如し

氣溫

平均は東部八尾の二十二度二より北部妙見山の十七度二の間にありて之れを平年に比すれは一般に稍々低く月中の最高は概ね二十八日乃至二十九日に現はれ南部深日及西部枚方の三十四度五を高極とし富田林の三十四度四上之鄕の三十四度三之れに亞ぎ其他は三十三度乃至三十二度にして妙見山も三十度一に達せり又最低は概ね七日に現はれ北部妙見山の二度九を低極とし天王の三度九、東鄕の五度四之れに亞ぎ其他の山間部は八度乃至九度平坦部より沿海部は十度內外なり之れを要するに本月の氣溫は最高三十四度五より最低二度九の間にありて其較差は實に三十一度六に達せり

降水

總量は北部妙見山の二百十四粍九より東部長野の百五十五粍二の間にありて之れを平年に比すれは一般に少なく東、北の山間部は五十粍內外、平坦及沿海部地方は十粍乃至三十粍孰れも少なし而して日量の最多は概ね十二日の降雨の際にありて其最も多きは南部上之鄕の五十九粍〇同深日の五十粍九なり又日量の四十粍以上なりしは岸和田堺、妙見山、天王、茨木、枚方、田原、八尾、柏原の九ケ所にして其他は三十粍以上なりしも獨り長野は二十四粍〇に過ぎざりき

雷雨

十二日午後六時頃より降雨を催ふし十三日午前五時頃豪雨となるや西部より東部に亘りて雷鳴ありしが暫時にして消散せり此の雷は短時間にして弱かりしが降雨は頗る強く南部上之鄕及深日は雷鳴なかりしも五十粍以上の

日							
五日	一七、六	一九、〇	一九、五	一九、八	一九、[illegible]	一三、〇	前日來の降雨午前九時四十五分歇む、午後五時強風吹けり
六日	一八、七	一九、一	一九、三	一九、五	一九、二	七、七	夜薄露あり
七日	二〇、三	一九、四	一九、四	一九、六	一九、〇	七、二	朝薄露あり、午後四時強風吹けり
八日	一九、〇	二〇、〇	二〇、一	二〇、一	一九、一	一三、〇	午前十一時十五分より同十一時廿分まで日暈現る午後三時四十五分より小雨となり翌日に亘る
九日	一七、二	一八、五	一九、一	一九、六	一九、二	一三、七	前日來の降雨翌日に亘る、午前四時より五時まで強風吹けり
十日	一八、六	一九、六	一九、二	一九、四	一九、一	一二、八	前日來の小雨午後三時五十五分歇む、夜薄露あり
十一日	二一、九	二〇、五	一九、七	一九、六	一九、〇	九、九	朝露あり、午後一時五十分より同二時卅五分まで同二時三十分より同四時十分まで日暈現る、夜薄露あり
十二日	二〇、七	二〇、八	二〇、六	二〇、四	一九、一	一三、九	朝露あり、午前七時五十分より同九時三十五分まで日暈現る、午後六時十八分より降雨となり翌日に亘る
十三日	二三、九	二三、〇	二二、三	二〇、九	一九、五	一五、二	前日來の降雨時々大雨を交へ斷續し午前七時五十分歇む、午前五時六分北東方に電雷あり、午前二時より同七時まで強風吹けり
十四日	二三、九	二三、二	二二、七	二二、四	一九、八	一三、〇	朝露あり、午後零時五十分より同六時五分まで日暈現る
十五日	二三、七	二三、七	二三、二	二二、八	二〇、〇	一三、〇	朝薄露あり、午後一時五十分より同六時廿五分まで日暈現る、夜露あり
十六日	二五、二	二三、七	二三、三	二三、一	二〇、三	一三、八	朝露あり、午前三時三十分より同八時廿分まで霧あり午後四時より同七時まで強風吹けり
十七日	一九、〇	二二、一	二二、七	二二、九	二〇、六	一四、六	午前一時十分より午後六時廿分まで降雨、午前十時より午後一時まで強風吹けり
十八日	二〇、〇	二〇、五	二〇、七	二二、〇	二〇、六	一三、五	午後二時十七分より小雨斷續し翌日に亘る
十九日	二一、四	二二、六	二二、三	二二、一	二〇、四	一五、四	前日來の小雨斷續し午後一時十五分歇む、午後四時より同十時まで強風吹けり
二十日	二三、四	二二、九	二二、六	二二、四	二〇、四	一四、九	午後一時五十分より同三時四十五分迄日暈現る、午後五時四十八分より降雨となり翌日に亘る
廿一日	一九、四	二〇、九	二二、三	二二、六	二〇、六	一四、七	前日來の降雨斷續し翌日に亘る
廿二日	二一、七	二二、四	二二、一	二二、三	二〇、六	一六、六	前日來の小雨午前五時卅分歇む、午前九時四十分より午後零時三十五分まで日暈現る午後六時五十三分より同七時九分まで微雨あり午後六時五十三分より同五十八分まで虹霓現る
廿三日	二四、七	二三、〇	二三、二	二二、七	二〇、五	一八、〇	午後零時四十五分より同五時五分まで日暈現る夜薄露あり
廿四日	二五、五	二四、一	二三、三	二三、七	二〇、九	一六、八	朝露あり、午後一時五十五分より同三時十四分まで同三時五十分より同四時三十分まで日暈現る、午後十時三十分より同十一時十八分まで小雨
廿五日	二五、二	二四、五	二三、八	二二、四	二二、二	一九、二	午前三時四十五分より同十一時十七分まで小雨、午後零時五十五分より同一時三十分まで日暈現る、午後五時強風吹けり
廿六日	二八、六	二五、三	二四、四	二三、八	二二、五	一九、七	午前零時三十四分より同一時二十五分まで小雨、夜薄露あり
廿七日	二八、六	二六、六	二五、四	二四、六	二二、九	一八、六	朝露あり
廿八日	二八、九	二七、六	二六、五	二五、五	二三、五	一九、七	夜露あり
廿九日	三〇、二	二八、〇	二七、〇	二六、二	二五、〇	一九、四	朝露あり、午後六時五十三分より同七時四分まで虹霓現る、午後六時五十分より微雨翌日に亘る

月	日	地中温度（平均） 地皮十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温
六月	一日	二五、四	二〇、八	二〇、四	一九、〇	三、八
	二日	二三、三	二〇、八	二〇、九	一九、二	一〇、四
	三日	二四、一	二〇、七	二〇、七	一九、三	一〇、〇
	四日	二〇、二	二〇、七	二〇、六	一九、四	一〇、七

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

諸現象の摘要

一日　朝露あり、午前十一時五十五分より午後零時十五分まで日暈現る、午後五時五分より微雨斷續し翌曉に亘る、午後八時より同十時迄強風吹けり

二日　前日來の微雨午前零時三十三分歇む　午前十一時三十二分より午後一時廿分迄日暈現る午後九時五十五分より同十時四十五分迄小雨

三日　午前零時三十二分より同一時十五分まで小雨、午後八時四十五分より同九時三十分まで及同十時四十二分より月暈現はれ翌曉に亘る夜霧あり

四日　前夜來の月暈午前零時廿分消ゆ、朝霧露あり午後一時廿分より降雨斷續し翌日に亘る

日	地中温度（平均） 地皮十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温
一日	二五、四	二〇、八	二〇、四	一九、〇	三、八
二日	二三、三	二〇、八	二〇、九	一九、二	一〇、四
三日	二四、一	二〇、七	二〇、七	一九、三	一〇、〇
四日	二〇、二	二〇、七	二〇、六	一九、四	一〇、七

月	日	地中温度（平均） 地皮十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温
六月	一日	二五、四	二〇、八	二〇、四	一九、〇	三、八
	二日	二三、三	二〇、八	二〇、九	一九、二	一〇、四
	三日	二四、一	二〇、七	二〇、七	一九、三	一〇、〇
	四日	二〇、二	二〇、七	二〇、六	一九、四	一〇、七

日	地中温度（平均） 地皮十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温
一日	二五、四	二〇、八	二〇、四	一九、〇	三、八
二日	二三、三	二〇、八	二〇、九	一九、二	一〇、四
三日	二四、一	二〇、七	二〇、七	一九、三	一〇、〇
四日	二〇、二	二〇、七	二〇、六	一九、四	一〇、七

日	地中温度（平均） 地皮十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温
一日	二五、四	二〇、八	二〇、四	一九、〇	三、八
二日	二三、三	二〇、八	二〇、九	一九、二	一〇、四
三日	二四、一	二〇、七	二〇、七	一九、三	一〇、〇
四日	二〇、二	二〇、七	二〇、六	一九、四	一〇、七

日	地中温度（平均） 地皮十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温
一日	二五、四	二〇、八	二〇、四	一九、〇	三、八
二日	二三、三	二〇、八	二〇、九	一九、二	一〇、四
三日	二四、一	二〇、七	二〇、七	一九、三	一〇、〇
四日	二〇、二	二〇、七	二〇、六	一九、四	一〇、七

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印は高又は多）

六月	氣壓 平均	空氣ノ溫度 平均				水蒸氣張力 平均	溫度較差 平均	風			雲量 平均	日照時數 本年平年比較	降水量	蒸發量
		平均	本年平年比較	最高	最低			速度 平均速度	最大	全上方向				
一日	七五六、五	二〇、六	▲一、〇	二七、一	一五、五	三、三	一一、六	四、九	二八	北	五、八	八、七	〇、八	六、一
二日	七六〇、四	一七、八	一、七	二三、九	一一、七	七、六	九、七	四、八	九、六	北	九、二	四、九	〇、一	七、七
三日	七六〇、六	一九、四	一、五	二七、一	一四、五	八、九	一三、六	四、四	七、六	北北東	七、一	▲一〇、六	▲四、〇	七、四
四日	七六〇、三	一八、四	二、九	二四、五	一三、八	一〇、七	一〇、七	三、九	六、二	北北東	八、四	二、〇	六、四	一、五
五日	七五八、〇	一七、四	五、七	二一、五	一四、九	一一、七	六、六	三、九	七、一	北	一〇、〇	〇、六	四、四	四、二
六日	七六一、八	一六、九	四、八	二一、二	一三、〇	一〇、二	八、一	四、九	七、四	北	三、六	▲九、三	一、一	六、五
七日	七六四、〇	一七、七	四、〇	二四、二	一〇、四	一三、八	一一、四	四、七	一三、二	西南西	五、一	▲二、一	▲五、五	六、一
八日	七六一、八	一九、四	二、四	二六、九	一三、〇	一一、八	一三、九	四、四	一〇、五	北東	一〇、〇	〇、七	五、四	五、三
九日	七六一、四	一七、三	〇、七	二三、九	一〇、〇	一三、九	一三、九	四、四	一〇、五	北北東	一〇、〇	—	七、一	二六、九
十日	七五九、一	一九、七	一、四	二四、六	一三、九	一〇、七	一〇、七	四、六	一〇、五	北	八、〇	〇、一	四、二	七、二
十一日	七五九、一	一九、七	一、四	二四、六	一三、九	一〇、七	一〇、七	四、六	一〇、五	西南西	二、九	▲二、一	▲五、二	—
十二日	七五七、五	二〇、七	〇、七	二四、五	一三、五	一〇、五	八、〇	三、九	七、一	東	一、一	四、九	二、八	五、一
十三日	七五二、七	二一、六	〇、五	二四、五	一八、四	一五、一	六、一	四、〇	七、九	南西	八、八	六、四	〇、八	二六、五
十四日	七五七、四	二一、七	〇、七	二六、二	一八、二	一五、三	七、一	五、三	七、九	南西	五、八	▲二、一	▲四、八	—
十五日	七五八、八	二一、一	〇、九	二七、八	一七、〇	一五、一	七、一	五、七	八、四	北北東	三、二	▲三、〇	▲五、六	—
十六日	七五五、一	二一、二	一、六	二六、二	一六、八	一四、二	九、五	四、八	八、二	西	四、九	▲九、八	七、二	—

第一表　大阪每時氣象觀測成績表

六月	氣壓平均	氣溫平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速度平均	雲量平均	日照時數	降水量	地中溫度（平均）地皮	地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
一時	七五七、四一	一八、七八	一四、三九	八七、四	一、九八	三、七四	五、八	—	一三、二	一七、九五	二一、七〇	二一、九九	二一、七七	二〇、一七
二時	七五七、二九	一八、六二	一四、二五	八七、四	一、九八	三、九七	六、六	—	一二、四	一七、八一	二一、四八	二一、八八	二一、七四	二〇、二〇
三時	七五七、二四	一八、四三	一四、一〇	八七、四	一、九五	三、七九	六、七	—	六、四	一七、五九	二一、二八	二一、七六	二一、七二	二〇、二〇
四時	七五七、三〇	一八、二六	一四、〇八	八八、二	一、八三	三、九一	六、九	—	五、二	一七、三二	二一、〇九	二一、六五	二一、六八	二〇、一〇
五時	七五七、四六	一八、一九	一四、〇九	八八、七	一、七六	四、〇三	七、〇	—	一三、五	一七、二五	二〇、九〇	二一、五三	二一、六三	二〇、二一
六時	七五七、六四	一八、五三	一四、〇九	八七、〇	二、〇八	三、六九	六、九	三、二〇	二三、六	一七、七二	二〇、七五	二一、四三	二一、六一	二〇、二三
七時	七五七、八八	一九、六一	一四、一五	八一、九	三、〇九	四、一三	六、九	九、六五	九、六	一九、一七	二〇、六二	二一、三三	二一、五六	二〇、二二
八時	七五七、九八	二〇、九三	一四、一三	七五、七	四、五三	四、四九	七、〇	一三、三〇	五、六	二二、二八	二〇、六一	二一、一四	二一、五三	二〇、二二
九時	七五七、八八	二一、九三	一四、一〇	七一、五	五、七二	四、三九	七、二	一四、九五	七、二	二五、一八	二〇、七八	二一、二一	二一、四八	二〇、二四
十時	七五七、八二	二二、七三	一四、三一	六九、二	六、四三	四、五三	七、〇	一三、七五	八、三	二七、六九	二一、〇六	二一、一九	二一、四六	二〇、二五
十一時	七五七、六八	二三、二八	一四、五四	六八、〇	六、八四	四、八一	六、九	一四、二〇	一〇、九	二九、一九	二一、四四	二一、二二	二一、四三	二〇、二六
十二時	七五七、四六	二四、〇三	一四、七七	六六、三	七、五八	四、四七	六、八	一五、八五	一三、〇	三一、一九	二一、八五	二一、二七	二一、四一	二〇、二七
十三時	七五七、一六	二四、三八	一四、八九	六五、四	七、九二	五、四四	七、六	一七、五〇	六、〇	三一、二六	二二、四〇	二一、四三	二一、四一	二〇、二七
十四時	七五六、九六	二四、四七	一四、八六	六五、三	八、〇七	五、一九	七、四	一八、九〇	二、三	三〇、七〇	二二、九〇	二一、五九	二一、四二	二〇、二七
十五時	七五六、八二	二四、五八	一四、八八	六四、七	八、一八	五、一四	七、六	一七、七〇	一、六	二九、三六	二三、三二	二一、七九	二一、四六	二〇、二八
十六時	七五六、七二	二四、〇五	一四、七四	六六、四	七、五八	五、七五	八、〇	一八、〇五	〇、八	二六、七三	二三、五八	二二、〇〇	二一、五〇	二〇、二八
十七時	七五六、七三	二三、三四	一四、八五	六九、四	六、六一	六、〇一	八、一	一四、〇〇	一、六	二四、四一	二三、七三	二二、一八	二一、五六	二〇、二八
十八時	七五六、九五	二三、五九	一四、八三	七二、三	五、六九	五、四一	八、六	一〇、四〇	二、七	二二、六五	二三、六九	二二、二九	二一、六二	二〇、二九
十九時	七五七、二二	二一、三八	一四、六九	七七、〇	四、三六	五、三四	八、二	二、一〇	三、〇	二一、〇四	二三、五二	二二、四二	二一、七一	二〇、二九
二十時	七五七、三一	二〇、六九	一四、七〇	八〇、一	三、五六	五、三三	七、五	—	一、六	二〇、一〇	二二、二六	二二、四六	二一、七九	二〇、二九
廿一時	七五七、六七	二〇、二四	一四、六一	八一、五	三、二三	四、九四	七、〇	—	二、七	一九、五五	二二、九七	二二、四八	二一、八五	二〇、三〇

一度〇九低く月中の最高は廿九日午後五時に於て三十度六を示し最低は七日午前七時乃至八時に於て十六度八を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて二十三度七三を示し最低は午前八時にありて二十度六一を示せり而して其較差は三度一二なり

地中二十糎の溫度　平均は廿一度八一にして平年に比すれは一度〇四低く月中の最高は廿九日午後八時乃至九時に於て廿八度一を示し最低は七日午前九時乃至十時に於て十八度三を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後九時にありて廿二度四八を示し最低は午前十時にありて廿一度一九を示せり而して其較差は一度二九なり

地中三十糎の溫度　平均は廿一度六二にして平年に比すれは零度九二低く月中の最高は卅日午前二時乃至四時に於て廿六度八を示し最低は七日午前十一時乃至午後三時及十一日午前十一時乃至午後一時に於て十九度二を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は夜半にありて廿一度九六を示し最低は正午乃至午後一時にありて廿一度四一を示せり而して其較差は零度五五なり

地中六十糎の溫度　平均は廿度二五にして平年に比すれは零度六七低く月中の最高は卅日午後三時乃至夜半に於て廿三度六を示せり但し此深さにありては殆ど一日中の變化を認め難し

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時、地中十糎にありては午後五時、同廿糎にありては午後九時、同三十糎にありては夜半に生じ最低は地皮にありては午前五時、地中十糎にありては午前八時、同廿糎にありては午前十時、同三十糎にありては正午乃至午後一時に生ぜり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地溫　平均は十四度二二にして平年に比すれは二度〇一低く月中の最低は七日午前五時頃に於て七度二を示せり

天氣日數

快晴は一日にして平年より一日少く曇天は十七日にして平年に等し電雷は二日にして平年より一日多く霧は一日にして平年に等し

尙詳細は左に揭ぐる氣象觀測成績表を參照すべし

午前四時にありて十四粍〇八を示せり而して其較差は零粍八一なり

濕度の平均は七十七、四にして平年に比すれば一、二少く月中の最少は三日午後四時に於て二十八を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前五時にありて八十八、七を示し最少は午後三時にありて六十四、七を示せり而して其較差は二十四、〇なり

飽差の平均は毎立方米中四瓦五一にして平年に比すれば零瓦一〇多く月中の最多は三日午後二時に於て十六瓦六を示し最少は九日午後九時乃至翌十日午前一時に於て零瓦二を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後三時にありて八瓦一八を示し最少は午前五時にありて一瓦七六を示せり而して其較差は六瓦四二なり

風

平均速度は毎秒四米五九にして平年に比すれば零米一五強く月中の最大は十三日午前五時の毎秒速度十五米六（一間平方面を垂直に壓する力は二十五貫八百目）の南西風なり又強風以上の吹きたる日數は九日にして平年より一日多く其時數は二十八時にして平年より二時少し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後四時乃至五時にありて六米〇一を示し最小は午後十一時乃至夜半にありて三米三六を示せり而して其較差は二米六五なり風向は北東風最も多く西風之れに亞ぎ南東風は最も少し之れを平年に比すれば北東、北及西風は多く其他の風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は七、一にして平年に比すれば〇、三少く日照時數は百八十三時五五にして平年に比すれば二時七二多く一日中日照時間の最も長かりしは廿七日、廿八日の十三時一〇なり

降水及蒸發量

降水日數は十八日にして平年に比すれば一日多く其水量は百八十五粍六にして平年に比すれば二十四粍九少く一日中の最多量は十七日の三十五粍七、一時間の最多量は同日午前十一時乃至正午の十二粍〇なり、又蒸發總量は百四十一粍七にして平年に比すれば二粍七少く一日中の最多量は廿八日の九粍八なり

地中溫度及最低地溫

地皮溫度の平均は二十二度六一にして平年に比すれば一度六六低く月中の最高は一日正午に於て四十四度五を示し最低は七日午前五時に於て十度七を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて三十一度二六を示し最低は午前五時にありて十七度二五を示せり而して其較差は十四度〇一なり地中十糎の溫度　平均は廿二度〇九にして平年に比すれは

大阪測候所月報

大正六年六月

大阪氣象概況

六月は前月より引續き氣溫上昇し風は南西となり夏季の狀態を呈すれども中旬頃より梅雨季に入り陰鬱濕潤の天氣多く爲めに氣溫の上昇稍々遲緩となり暖冷常ならずして往々不時の冷氣を催ふすことあり然れども偶々天氣好晴となる時は俄かに暑氣加り蒸熱甚しく不快を感ずることあるを此季節の常とす、然り而して本年六月の氣候を調査するに平年に比し上中の二旬は著しく冷氣なりしも下旬は概して高溫を呈せり又日照時數は平年より多く降雨は少かりし

今各氣象要素に就き詳記すれば左の如し

但本項に記する所の平年は築港に於て最近六箇年の平均なり

氣壓

平均は七百五十七粍四二にして平年に比すれば零粍四七高く日々の變化は氣象圖に示すが如く稍々緩漫なる昇降數回を呈せり、而して月中の最高は七日午前六時乃至八時に於て七百六十四粍八を示し最低は十三日午前四時乃至五時及十七日午後一時に於て七百四十八粍〇を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前八時にありて七百五十七粍九八、第一の最低は午後四時にありて七百五十六粍七二を示し第二の最高は午後十時にありて七百五十七粍八五、第二の最低は午前三時にありて七百五十七粍二四を示せり而して其主なる最高低の較差は一粍二六なり

氣溫

平均は二十一度一四にして平年に比すれば一度〇四低く平均氣溫日々の變化は氣象圖に示すが如く一日、二十二日より二十九日までは概ね高く其他は皆低かりし、而して月中の最高は二十九日午後四時頃に於て三十二度七を示し最低は七日午前六時頃に於て十度四を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて二十四度五八を示し最低は午前五時にありて十八度一九を示せり而して其較差は六度三九なり

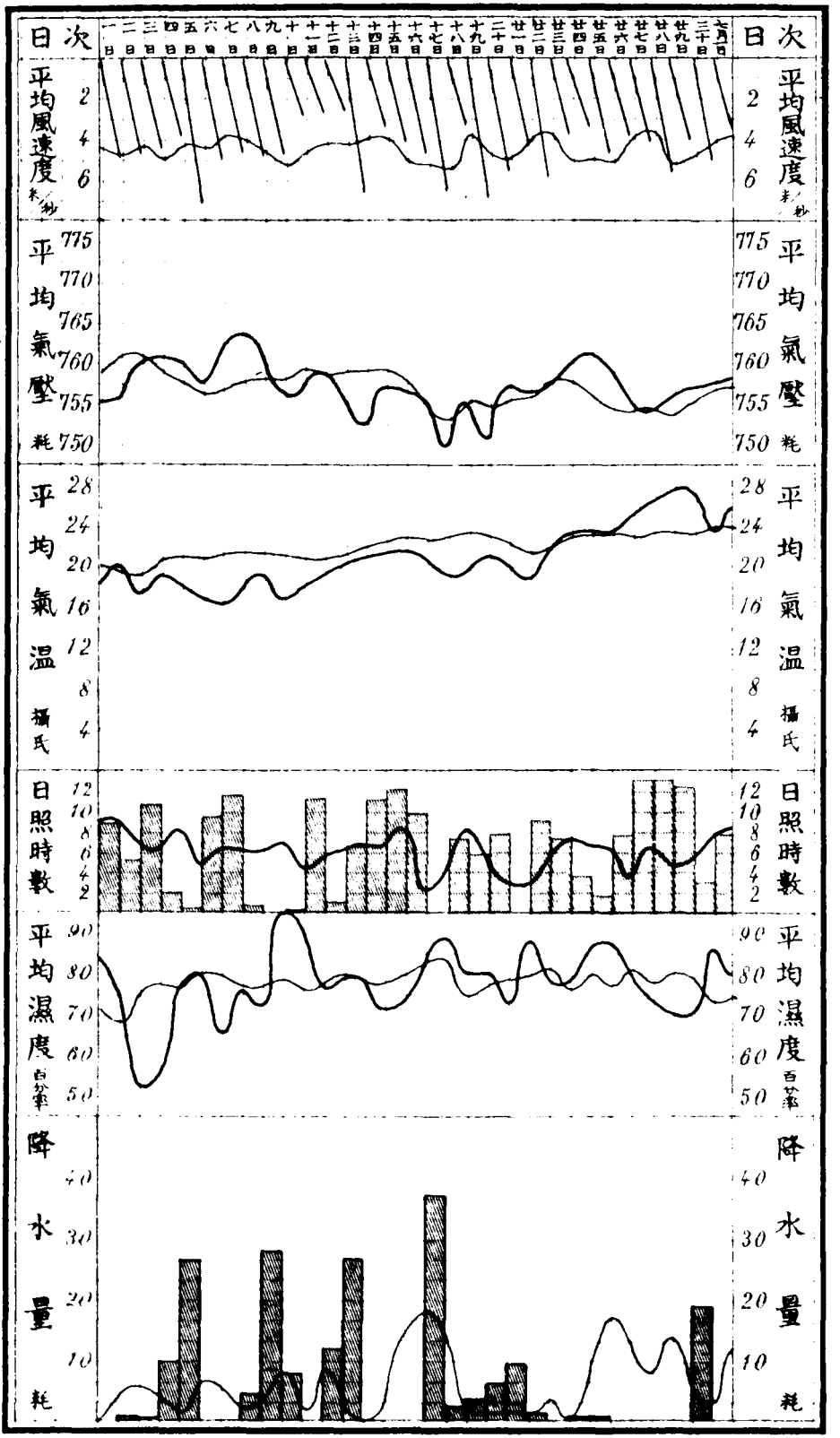
水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は十四粍五〇にして平年に比すれば一粍一一低く月中の最高は三十日午前五時に於て二十粍九を示し最低は二日午後四時に於て六粍〇を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて十四粍八九を示し最低は

大正六年六月

大阪氣象圖

June. 1917



本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス 風速度、氣壓、氣温、濕度ハ本年——平年—— 日照時數ハ本年 平年—— 降水量ハ本年 平年——

例言

一本報は當測候所及管內各觀測所に於て觀測したる每月の氣象を調査し之れを揭載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管內各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍（曲尺三厘三毛）を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には（一）を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘じ五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量并に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上げて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦（グラム）（零又二七）にて示す

一溫度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一步面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米（曲尺三尺三寸）數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らず降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管內氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡市町村	緯度東經	觀測主任
深日	和泉國泉南郡深日村	一三五度〇九分 三四度一九分	上出源助
上之鄕	同泉南郡上之鄕村	一三五度一八分 三四度二三分	島塲留藏
岸和田	同泉南郡岸和田町	一三五度二三分 三四度二七分	森內清次
長承寺	同泉北郡鳳村	一三五度二七分 三四度三二分	前川由太郎
濱寺	同泉北郡高石村	一三五度二六分 三四度三二分	今井富次
堺	同堺市車ノ町	一三五度二九分 三四度三五分	吉村正輔
天王寺	攝津國大阪市南區天王寺	一三五度三一分 三四度三九分	加藤昭純
大阪	同大阪市西區一條通	一三五度二六分 三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	同大阪市北區上福島	一三五度二九分 三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	同成郡新庄村	一三五度三一分 三四度四五分	小林雅文
秦野	同豐能郡秦野村	一三五度二六分 三四度四九分	藤重元太郎
妙見山	同豐能郡東鄕村	一三五度二八分 三四度五六分	阪部文二郎
東鄕	同豐能郡東鄕村	一三五度二九分 三四度五七分	大原仁之助
天王	同豐能郡枳根莊村	一三五度二三分 三五度〇二分	高橋政次郎
茨木	同三島郡茨木町	一三五度三四分 三四度四九分	那須庫之助
清水	同三島郡清水村	一三五度三六分 三四度五三分	山本義一
枚方	河內國北河內郡枚方町	一三五度三九分 三四度四九分	家村八五郎
田原	同北河內郡田原村	一三五度四二分 三四度四三分	今井由太郎
八尾	同中河內郡八尾町	一三五度三六分 三四度三八分	水谷芳松
柏原	同南河內郡柏原村	一三五度三七分 三四度三五分	農事試驗場支場
富田林	同南河內郡富田林町	一三五度三七分 三四度三〇分	塔本幸太郎
長野	同南河內郡長野町	一三五度三五分 三四度二七分	松本遠水

Monthly Report
of The
Osaka Meteorological Observatory.

June 1917

大阪測候所月報

大正六年六月

第拾八年第六號

目次

○本年六月大阪氣象概況 附圖
○本年六月大阪府管内氣象概況
○本年六月大阪地震觀測概況
○本年土中の氣象實況
○六月十三日の暴風雨概況
○本年夏季の寡雨に就て
○八月十七日の大雷雨概況
○中央亞米利加の大震
○太洋洲「トンガ」島附近の大震
○大阪港潮汐觀測
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報通否

大正六年七月廿二日印刷
大正六年七月廿五日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡市	町村	緯度東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度　九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡	佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	靑寺橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	四區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度三十八分	三十四度三十七分	全木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
雜波島	攝津國大阪市	四區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	全木津川分署雜波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
築港	攝津國大阪市	西區安治川口	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署築港分署
大阪	攝津國大阪市	四區一條通	百三十五度二十六分	三十四度二十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國四成郡	傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東鄕	攝津國豊能郡	東鄕村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豊能郡東鄕村役場

に關する圖書を陳列して閲覧を自由たらしめ其附近の壁には各種の彗星寫眞を列べ又下野所長が秘藏に係る南洋諸嶋の珍奇なる貝類及琉球の蝶類等をも添列したり

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位　三尺四寸九分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　三尺二寸三分

五月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	三、一〇	三、〇〇	二、五五	二、四五
二日	二、九〇	二、八五	二、三五	二、三〇
三日	二、九〇	二、八五	二、三〇	二、二五
四日	二、八〇	二、七五	二、二〇	二、一五
五日	二、九〇	二、八五	二、二五	二、二〇
六日	二、八〇	二、九〇	二、三〇	二、二五
七日	三、〇〇	三、二〇	二、五〇	二、五〇
八日	三、二〇	三、一五	二、七〇	二、六五
九日	三、二〇	三、一五	二、六〇	二、六五
十日	三、二五	三、一〇	二、七〇	二、六〇

五月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
十一日	三、〇〇	二、九五	二、五〇	二、四〇
十二日	二、九〇	二、九〇	二、二五	二、二〇
十三日	二、九〇	二、八五	二、二五	二、一〇
十四日	二、九〇	二、九〇	二、三〇	二、二五
十五日	三、〇〇	二、八五	二、二五	二、二五
十六日	三、八〇	二、七〇	二、三〇	二、三〇
十七日	二、六五	二、四〇	二、〇五	一、九〇
十八日	二、二五	二、一〇	一、六〇	一、四五
十九日	二、〇〇	二、〇〇	一、四五	一、三〇
二十日	一、九五	一、九〇	一、三〇	一、二〇

五月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
二十一日	一、九〇	一、九〇	一、一五	一、一〇
二十二日	一、八〇	一、八〇	一、一五	一、一〇
二十三日	一、七〇	一、六五	一、〇五	一、〇〇
二十四日	一、七〇	一、六〇	〇、九五	〇、九〇
二十五日	一、六〇	一、六〇	〇、九〇	〇、九〇
二十六日	一、五〇	一、四〇	〇、九〇	〇、八五
二十七日	一、三〇	一、二〇	〇、七〇	〇、六〇
二十八日	一、二〇	一、一五	〇、六〇	〇、五五
二十九日	一、二〇	一、一五	〇、六〇	〇、四五
三十日	一、一五	一、一〇	〇、五〇	〇、五〇
卅一日	一、一〇	一、一〇	〇、五五	〇、五五

平均水位　廣瀬　二尺三寸一分
最高水位　廣瀬　三尺二寸五分　（十日午前六時）
大日　一尺七寸一分
二尺七寸〇分　（八日、十日午前六時）

地方天氣豫報暴風警報適否

種類	發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報 風向	三一	二三	八	〇	八七
天氣豫報 天氣	三一	二七	四	〇	九四
天氣豫報 溫度	〇	—	—	—	—
暴風警報	〇	—	—	—	—

暴風雨の天氣圖と被害寫眞等を配列せり

第四室は地震計室にして中央に大森式南北動微動計（實動百二十倍に描く裝置）同東西動及南北動地動計（兩器とも實動を二十倍に描くもの）簡單微動計（東西並に南北動を各六十倍に描くもの）上下動地動計（二十倍）「グレーミルン」形普通地震計東西並に南北動（各五倍）上下動（十倍）大震計東西、南北、上下動（孰れも實動を描けり）及「リシャール」形自記微壓計等を配置し周圍には東京天文臺より直通の報時器、經線儀數個及特種地震の記錄、圖書、地球儀等を置き周圍の壁には大森博士の撮影に係る伊國「メッシナ、レッジオ」の震災大寫眞、今村博士の撮影に係る江濃大地震の震災寫眞、本邦地質大地圖其他當所觀測の遠近地震の記錄數十種を掲げ一目して遠地の地震と近距離地震とを此の記錄によりて識別するの便に供し又英領印度、北米桑港、南米智利、伊國「メッシナ」大地震の當所地動計に感じたる記錄等も展へ之れに關する各國の報告並に寫眞等を添付し彼是參考に供し又大正元年九月二十三日颱風襲來の時に於ける地の脈動及　故山階宮殿下御觀測の地動計記錄及世界の地震帶圖並に本邦地震分布圖、世界の大地震帶より起りたる近年の大地震を當所にて觀測したるものを震源帶別とし其年月日等を詳記したる一覽表を掲げ其側には畿内附近の地震帶を示したる圖を配置し其地震帶に起りたる顯著なる地震即ち慶長元年六月伏見の大地震、寛文二年五月及天保元年七月淀川流域の地震安政元年六月大和國伊賀の大地震々域圖、寶永四年十月及安政元年十一月の地震大津浪の震域並に津浪の害を受けたる區域圖等を掲げ又大阪にて人身に感覺ありたる地震回數並に地動計にて觀測したる地震回數統計圖を配し以て詳細說明を加へたり

第五は觀測露場にして日常毎時觀測に用ゐる諸器械、管内觀測所と同型式の諸器械、自記寒暖計回濕度計を百葉箱二個に配置し自記雨量計回強雨計は雨量計小屋二棟に收め其他有氣最高日溫計、無氣最高日溫計、地表寒暖計より七米迄の地中寒暖計雨量計、蒸發計等なり又「セオドライト」を据付け風船球を飛揚して實際に高層氣流觀測方法と上層の氣流變化とを目擊せしめ且つ其結果を作圖して氣流の複雜なることを知らしめたり

第六は風力計台に至る各層にして二階には「ダインス」風壓計及之れに關する記錄、三階は「ロビンソン」形風力計附屬自記器、自記風信器並之れに關する記錄、大阪に於ける各風向に對する風速度及風向回數圖を掲げ以て大阪の風の變化を知らしめ四階の露場には「ジョルダン」形並に「カンベル」形雨日照計、煤煙計五階には「ロビンソン」形風力計二器風壓計、風信器等なり

第七室は圖書室にして外國及日本の氣象報告書並に天文、曆等

計「ヒース」形自記寒暖計、簡單濕度計、獨逸製晴雨人形、簡單測風器、獨逸製、英國製、日本製ノ各乾濕寒暖計、最高最低寒暖計、特に東京の器械師鈴木氏が獨逸製を摸凝して作られたる乾濕寒暖計及旅行用乾濕寒暖計並に最高最低寒暖計、地中用曲管寒暖計數種、準器寒暖計、「アスマン」通風乾濕計「シックス」最高最低寒暖計、海溫寒暖計其他數種を陳列し小高き所には「ロビンソン」形風力計を置き之れに電接回數自記器を連結し又他の一方には自記雨量計を配し孰れも實地觀測の模樣を見せしめ周圍の壁には大なる世界地圖に本初子午線即ち萬國標準時及各國の標準時を配當し萬國標準時の正午のときは各國標準時は何時なるかを示し又日本中央標準時の正午には各國の標準時は何時なるかを現はし之れに時計仕掛にて廻轉しつゝある地球儀（此の地球儀は外環は日本中央標準時を刻しありて其外に太陽の位置を示せる球を附着しあるを以て太陽の位置より各國の正午時を簡便に見得らるゝもの）を添へて各國の時刻及其差を知らしめ其側には地中の溫度圖地面より七米迄十二段に分ちて觀測したる結果により一日中並に一ケ年中の變化を示し次には大阪に於ける天氣型式圖五枚を掲げて氣壓の配布と天氣との關係を知らしめ次には六分儀を置き天体の觀測によりて時を檢する方法を示し次は東洋に於て有名なる大阪の煤煙降下量を作圖し之れに煤煙を混じたる水と清水とを對照的に添へ以て煤煙降下の甚大なるを知らしめ次は「リシヤール」形自記晴雨計寒暖計、同乾濕寒暖計其上には本邦の隆起地形圖、雲級圖、櫻嶋大噴火の實況寫眞其下には同嶋の熔岩、輕石、灰、日本の火山帶、信州淺間の噴火寫眞、各火山の噴火寫眞、櫻嶋、伊豆大嶋、信州淺間の火山彈其他孔底孔緣等より採集したる熔岩を配列し又大正元年九月大阪を通過したる未曾有の颶風の際當所にて觀測したる氣壓、風向、風力　雨量等を大圖とし次には大阪に於ける大洪水の雨量及河川の水位を現はしたる圖其他を配列せり

第三室は晴雨計室にして英國「キユウ」準基晴雨計「カセトメートル」普通準基晴雨計、自記水銀晴雨計、船舶用水銀晴雨計、測高用水銀晴雨計、「サイホン」形水銀晴雨計、自記微壓計、「リシヤール」形自記晴雨計同小形自記寒暖計、空盒晴雨計數種、水銀晴雨計檢定器、空盒晴雨計檢定器、「パロサイクロメートル」等を配置し周圍の壁には世界各國の天氣圖即ち英、佛、獨、伊、「アルゼリア」北米合衆國、南米智利並に「アルゼンチン」日本、支那の數種其上には世界各國の暴風信號圖即ち國際氣象會議制定信號圖、英、露、上海、比律賓、加奈陀、米、墨、日本の數種を掲げて各國の信號標式を示し其他二百十日前後に暴風雨のある理由、颶風の發生地及其進路圖、氣溫と人の死亡數との對照圖、其他大

東京	仝	五時五五分四五秒	五五〇〇粁
大阪	仝	五時五六分一六秒	五八〇〇粁
福岡	仝	五時五六分四七秒	六〇〇〇粁
長崎	仝	五時五六分五一秒	六四〇〇粁
大連	仝	五時五五分五八秒	六五〇〇粁
釜北	仝	五時五七分四六秒	七五〇〇粁
ワシントン	仝	五時五七分〇五秒	九三〇〇粁

●當所の公開

技手芝野彊

時世の進運に伴ひ近時氣象の應用さるゝこと年と共に著しく其數を增し或は農業或は工業、商業、土功、海運業者、航海者等總ての方面に密接の關係を有するを以て參觀者頗る多く且つ此の氣象の必要は婦人社會に迄及ぼし大阪毎日新聞社主催に係る婦人社會見學團より一日三百名宛三日間當所見學の義申出られたるを以て室内の全部を開放し所長始め所員總出にて各擔當室に控へ出來得る限り詳細に說明をなしたれば孰れも熱心に觀覽せられたり此の婦人社會見學團の觀覽を終へたる翌日即ち六月十三日より同十五日迄三日間正午より午後四時迄前同樣一般公衆に縱覽を許すこと、し時恰も梅雨季中なるを以て天候如何と懸念せしに十二日夕より降雨となり十三日午前に及びたれば十三日の觀覽者は割合に少なく七百六十三名に過ぎざりしも十四日は天候恢復したるを以て稍々多く千五百五十八名、十五日は最も多く三千四百八十七名に達したれば午後二時乃至三時頃には各室の内外を問はず殆んど人を以て埋めたる如き盛況を呈したるを以て中には說明を聞き洩したるものあらんも概略氣象及地震の一斑を知得したるものなるべしと信ず今當所内に陳列したる器械圖書類を概記せんに

室内を六室觀測露場を併せて七區に分類し第一室には天氣實況報により前日と當日との天氣圖を作りて並列し高低氣壓の推移に依りて起る天氣の變化を說明し次に時節柄其感を深からしめん爲め梅雨の天氣圖型式を揭げ梅雨の起る理由を說き（此の天氣圖は孰れも幅六尺竪七尺の大形のもの）之れに續きて當所創立以來大正五年迄三十四年間各年の梅雨季中に於ける晴、曇、雨の天氣日數並に降水量を長サ十八尺幅三尺の大圖に作り一目して梅雨の狀態を瞭然たらしめ其下には通俗的なる世界の雨量圖世界の溫度圖を配して世界に於ける降水の多少と同溫度の高低及其起る理由を說明し其次には世界著名なる都市の溫度、濕度降水量を月別にしたる大圖を作り下には外國出版に拘る氣象地圖其他關係書籍を配列して觀覽を自由とし其次には颶風襲來したるときの氣壓と海水位の變化圖を作りて深厚なる颶風の襲來するときは海水暴騰して津浪を起すとあるを知得せしめたり第二室は重に器械室にして第一室より通路を求め其中央に陳列棚三個を置き「リシャール」形自記晴雨計同寒暖計同濕度計同蒸發

「アリウシアン」群島東方海底の地震

技手　岡崎平太郎

五月三十一日午後五時過當所地動計は遠距離の地に發したる大震の波動を記錄せり其發震時は午後五時五十六分十六秒にして第一初期微動の繼續時間は六分五十九秒、第二は五分三十秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後六時十四分五十二秒に於て二千五百九十八「ミクロン」振動期二十四秒、南北動は午後六時十一分十五秒に於て千四百三十八「ミクロン」振動期二十五秒〇を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は二時四十三分二十五秒、南北動は二時三十七分二十五秒なり即ち次表に記するが如し

東西動地動計觀測

		發現時	最大振幅（ミクロン）	振動期 秒
初期微動	P	一七時五六分一六秒		
	S	一八時〇三分一五秒		
主要動	L	仝　〇八分四五秒		
	M_1	仝　一一分一〇秒	四二八	二七、八
	M_2	仝　一四分五二秒	二五五八	二四、〇
終期	F	二〇時三九分四一秒		

南北動地動計觀測

		發現時	最大振幅（ミクロン）	振動期 秒
初期微動	P	一七時五六分一六秒		
	S	一八時〇三分一五秒		
主要動	L	仝　〇八分四五秒		
	M_1	仝　一一分一五秒	一四二八	二五、〇
	M_2	仝　一四分四〇秒	一四二〇	二四、〇
終期	F	二〇時三三分四一秒		

今當所地動計の觀測に依りて震央地までの距離を計算するに大阪より五千八百粁となり東京帝國大學地震學教室の觀測に依れば東京より五千五百粁其他測候所の觀測に依れば水澤より五千粁、福岡より六千粁、大連より六千五百粁、台北より七千五百粁にして是等を綜合するに其震源は本州の遙北東方即ち「アリウシアン」群嶋の東方海底に發したるものなるべし

今各所にて地動計を以て觀測したる發震時と震央地までの距離を列記すれば左の如し

太泊	午後五時五五分〇〇秒		
水澤	仝　五時五五分二二秒	五〇〇〇粁	
水戸	仝　五時五五分四二秒	五四〇〇粁	
銚子	仝　五時五五分四五秒	五四〇〇粁	

動は午前一時八分四十秒に於て二千八百九十九「ミクロン」振動期二十四秒九、南北動は午前一時八分七秒に於て二千五「ミクロン」振動期二十七秒八を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は二時二十五分三秒、南北動は二時十五分四十六秒に達せり即ち次表に記するが如し

東西動地動計觀測

發現時		最大振幅	振動期
初期微動 P	一時〇〇分一五秒	(ミクロン)	秒
主要動 L	一時〇四分三九秒		
主要動 M_1	全 〇六分三〇秒	(+) 二〇二三	二〇、二
主要動 M_2	全 〇八分四〇秒	(−) 二八九九	二四、九
終期 F	三時二五分一八秒		

南北動地動計觀測

發現時		最大振幅	振動期
初期微動 P	一時〇〇分一五秒	(ミクロン)	秒
主要動 L	一時〇四分三九秒		
主要動 M_1	全 〇八分〇七秒	(+) 二〇〇五	二七、八
主要動 M_2	全 一一分四九秒	(−) 一一一三	一九、二
終期 F	三時一六分〇一秒		

今當所地動計の記錄に依りて震央地までの距離を計算するに大阪より二千四百四十粁にして東京帝國大學地震學教室の觀測に依れば東京より二千四百二十粁又水澤より二千六百二十粁函館より二千六百八十粁、長崎より二千五百十粁、台北より二千五百五十粁にして發震時は本州南東部最も早く北西方に到るに從ひ遲延せり是等を綜合するに其震源は本州の南東方即ち「マリアナ」群嶋附近に發したるものなるべし今各所にて地動計を以て觀測したる發震時と震央地までの距離を列記すれば左の如し

東京	午前一時〇〇分一五秒	二四二〇粁	銚子	全 一時〇〇分一九秒	二四二〇粁
水戸	全 一時〇〇分二一秒	二四二〇粁			
大阪	全 一時〇〇分一五秒	二四四〇粁			
岐阜	全 一時〇〇分〇三秒	二五六〇粁			
長崎	全 一時〇〇分一五秒	二五一〇粁			
福岡	全 一時〇〇分二六秒	二五五〇粁			
臺北	全 一時〇〇分一四秒	二五九〇粁			
水澤	全 一時〇〇分四六秒	二六二〇粁			
函館	全 一時〇〇分三七秒	二六八〇粁			
太泊	全 一時〇二分〇五秒	四〇六〇粁			

東京	午前四時七分〇七秒	二十四秒
金澤	午前四時六分一六秒	十秒
京都	午前四時七分〇七秒	三十一秒
大阪	午前四時七分一六秒	三十二秒
神戸	午前四時七分一七秒	三十五秒
潮岬	午前四時四分一八秒	二十八秒
銚子	午前四時七分二一秒	三十七秒
水戸	午前四時七分二一秒	二十九秒
新潟	午前四時七分三〇秒	四十二秒
境	午前四時七分〇〇秒	五十秒
石卷	午前四時七分四七秒	五十八秒
水澤	午前四時七分五六秒	一分四秒
秋田	午前四時七分四二秒	一分十七秒
宮崎	午前四時一一秒〇一秒	一分五十四秒
福岡	午前四時一〇分一五秒	一分四十七秒
函館	午前四時八分五三秒	一分二十六秒
長崎	午前四時八分二七秒	一分四十三秒
太泊	午前四時九分四五秒	三分七秒

此地震に關して大森學理博士の報告を得たれば之れを左に記すべし

大正六年五月十八日朝の地震第一稿

大學構内微動計觀測によれば東京に於ける發震時は午前四時七分十秒にして初期微動は二十三秒三、繼續したり又た最初の動きは極めて判明にして北六十六度東に向ひ、同時に上方動を伴ひたれば震原は東京より南六十六度西の方百七十「キロメートル」(四十二里)の距離にあり即ち大阪、箱根、淺間等各地の觀測を參照するに此の地震は靜岡より北二十五度西約九里に當り駿河、遠江の國界に近く大井川上流西側の山岳下より發起せるものなるべし」震原比較的遠かりし爲め東京に於ける震動は緩慢なりしが、繼續時間は稍や長がかりき而して微動計記錄によれば震動の總繼續時間は約四十分にして最大動は五、五ミリメートル(一分八厘)に達し、地震が稍や大なる變動によりて起これるを示せり天保十二年駿河國久能山附近の地震及び安政四年閏五月二十三日駿河國西南部田中附近の地震は何れも多少破壞的なりしが今回の地震と同種類のものならんかと考へらる。

●南洋「マリアナ」群島附近の地震

技手　圓岡平太郎

五月十日午前一時過當所地動計は遠距離の所に發したる大震の波動を記錄せり其發震時は午前一時卒分十五秒にして初期微動の繼續時間は四分二十四秒にして主要動となり最大振幅は東西

●遠州北部の地震

技手　圓岡平太郎

五月十八日拂曉遠州北部に發したる地震は同地方に於ては近年稀なる強震にして靜岡市附近にては人畜の死傷、家屋の破損、土地の龜裂、煙突の倒壞其他被害ありし由なるが此地震は大阪地方にては僅に人身に微震を感じたるに過ぎず然れども地震計は著しき震波を記錄せり

今當所地動計の示す所に依れば發震時は十八日午前四時七分十六秒にして初期微動の繼續時間は零分三十二秒を示し最初の震動は南八十三度西に向ひ同時に上方動を伴ひたれば震源は北八十三度東にして其距離約五十八里の所に存すべきを示せり而して最大振幅は東西動は午前四時八分二十四秒に於て千二百八十八「ミクロン」振動三秒八、南北動は午前四時八分二十五秒に於て千三百「ミクロン」振動期三秒四を現し後微となり靜止せり總振動時間は東西動は三十分三十五秒南北動は三十一分四十八秒に及べり即ち次表に記するが如し

東西動地動計觀測

		發現時	最大振幅	振動期
			(ミクロン)	秒
初期微動	P	四時〇七分一六秒		
	S			
主要動	L	四時〇七分四八秒		
	M	四時〇八分二四秒	一二八八	三、八
終期	F	四時三七分五一秒		

南北動地動計觀測

		發現時	最大振幅	振動期
			(ミクロン)	秒
初期微動	P	四時〇七分一六秒		
	S			
主要動	L	四時〇七分四八秒		
	M	四時〇八分二五秒	一三〇〇	三、四
終期	F	四時三九分〇四秒		

又各所にて地動計を以て觀測したる發震時及初期微動の繼續時間を記すれば左の如し

地名	發震時	初期微動繼續時間
濱松	午前四時七分二〇秒	六秒
沼津	仝　四時六分五三秒	七秒
名古屋	仝　四時六分五〇秒	十秒
岐阜	仝　四時六分三〇秒	十二秒
津	仝　四時六分四二秒	十一秒
彦根	仝　四時七分〇三秒	十九秒
前橋	仝　四時七分一四秒	二十一秒

三十度以上に昇りたるは十一日にして九日は三十度以下なりき而して日照時數少く降雨多かりし――更に最近六年間土用中日々の氣温、日照時數、降水量等を列記すれば左の如し

月日	平均氣温 大正五年	平均氣温 大正四年	平均氣温 大正三年	平均氣温 大正二年	平均氣温 大正元年	平均氣温 明治四十四年	最高氣温 大正五年	最高氣温 大正四年	最高氣温 大正三年	最高氣温 大正二年	最高氣温 大正元年	最高氣温 明治四十四年	日照時數 大正五年	日照時數 大正四年	日照時數 大正三年	日照時數 大正二年	日照時數 大正元年	日照時數 明治四十四年	降水量 大正五年	降水量 大正四年	降水量 大正三年	降水量 大正二年	降水量 大正元年	降水量 明治四十四年
七月二十日	二七、五	二九、一	二八、八	二九、五	二七、九	二七、九	三二、一	三一、一	三二、一	二九、六	三〇、七	三一、六	四、七	一二、六	六、六	一、八	一〇、七	一二、〇	—	—	—	〇、〇	—	—
仝　廿一日	二七、三	二八、八	二九、一	二六、八	二七、九	二八、一	三一、一	三一、一	三二、三	三〇、三	三〇、八	三一、七	六、一	一三、二	一〇、一	八、一	一〇、一	一〇、五	—	—	—	—	〇、〇	〇、〇
仝　廿二日	二七、三	二八、六	二九、一	二八、一	二六、一	二七、三	三二、五	三二、九	三二、七	三二、九	三〇、七	三一、四	八、〇	一三、二	一三、二	三、三	一三、一	四、六	—	—	—	〇、〇	三一、一	一三、五
仝　廿三日	二七、一	二八、三	二八、九	二八、三	二七、三	二五、三	三二、三	三二、五	三二、七	三三、一	三三、一	二九、一	六、五	一三、七	一〇、五	八、三	—	九、一	〇、三	—	—	九、一	三五、〇	五、三
仝　廿四日	二六、四	二八、四	二八、六	二七、一	二三、五	二六、四	三二、二	三二、三	三四、八	三〇、〇	三六、五	三〇、三	四、八	一二、六	九、八	六、五	三、七	一三、一	〇、四	—	〇、一	〇、〇	〇、一	—
仝　廿五日	二八、四	二八、七	二八、五	二六、八	二三、五	二六、六	三二、四	三一、四	三二、八	三一、七	三七、四	三〇、四	一一、三	一三、五	五、八	一二、三	一、六	—	—	—	〇、三	—	一〇、九	五、〇
仝　廿六日	二七、九	二八、七	二八、八	二七、三	二六、五	二六、八	三三、〇	三〇、三	三三、四	三二、六	三二、〇	三〇、三	七、八	一三、二	九、九	一三、七	六、五	一二、一	〇、〇	—	〇、三	—	〇、九	—
仝　廿七日	二七、一	二八、六	二九、〇	二七、五	二六、七	二五、九	三三、七	三二、七	三三、八	三一、一	三二、七	三〇、〇	七、一	一二、〇	一〇、五	一三、五	六、四	四、九	—	〇、〇	〇、〇	—	六、三	四、六
仝　廿八日	二六、五	二六、五	二八、六	二七、三	二六、六	二五、六	三三、一	三三、三	三三、一	三二、二	三〇、六	二九、五	三、〇	八、六	三、五	一三、〇	五、七	七、四	〇、四	—	四、八	—	—	一、六
仝　廿九日	二七、三	二八、三	二九、六	二八、三	二七、三	二六、四	三〇、三	三〇、一	三一、一	三二、五	三二、一	三〇、七	三、四	九、五	一三、〇	一二、六	九、八	二、六	〇、〇	—	—	—	—	二、九
仝　三十日	二七、八	二八、一	二九、八	二七、八	二七、六	二四、八	三三、一	三二、八	三四、〇	三三、七	三三、一	二六、九	三、七	八、一	一三、一	一〇、二	八、七	—	〇、〇	—	—	〇、六	—	三、〇
仝　卅一日	二七、七	二八、九	二九、七	二四、七	二七、六	二五、一	三三、〇	三四、〇	三三、八	三三、〇	三二、九	二八、〇	八、三	一〇、一	一三、一	九、九	〇、三	—	八、三	—	—	—	〇、七	八、九
八月一日	二四、七	二九、六	二九、七	二四、五	二八、一	二四、〇	三三、八	三四、六	三三、三	三〇、八	三二、三	三五、二	一、六	一二、六	一二、八	六、八	一二、九	〇、二	六八、一	—	—	—	〇、〇	七、九
仝　二日	二七、八	三〇、〇	二九、七	二六、五	二九、六	二五、五	三三、九	三六、〇	三三、六	三〇、〇	三三、八	二九、七	一二、五	一二、四	一三、〇	一二、四	一〇、九	〇、七	〇、五	—	—	—	—	—
仝　三日	二七、八	二九、〇	二九、六	二四、一	二八、五	二四、七	三三、三	三〇、〇	三三、三	二九、七	三三、四	二九、二	一三、八	一〇、五	六、二	一一、一	八、四	三、三	—	〇、〇	一、四	—	—	四、三
仝　四日	二八、一	二六、三	二九、七	二四、六	二五、八	二一、九	三三、七	三八、一	三三、七	三三、三	三二、九	三三、五	一〇、六	—	七、四	一〇、六	七、七	—	—	三、五	〇、一	—	—	一〇、〇
仝　五日	二八、八	二五、六	二九、五	二四、九	二五、一	二五、三	三四、〇	三八、一	三三、六	三九、六	三〇、三	二九、三	一〇、六	—	一二、七	一三、〇	八、五	一三、〇	—	六、三	—	—	—	〇、三
仝　六日	二八、七	二七、〇	二九、四	二六、〇	二五、四	二五、九	三三、〇	三三、七	三四、九	三三、七	三〇、四	三〇、九	一二、四	八、七	一三、六	一三、四	六、五	八、一	〇、一	〇、〇	—	—	—	〇、〇
仝　七日	二八、五	二七、八	二九、三	二七、七	二六、八	二六、九	三三、一	三三、九	三三、三	三五、一	三〇、六	三三、七	一〇、六	一〇、八	一二、六	八、四	七、四	八、七	—	—	—	—	〇、一	〇、三
仝　八日	二八、四	二八、〇	二九、三	二七、七	二七、四	二七、一	三三、〇	三三、六	三三、〇	三三、三	三三、四	三三、八	一〇、三	五、七	九、三	五、〇	二、六	一二、一	—	一、九	—	〇、三	〇、一	〇、一
平均最高又は合計	二七、五	二八、三	二九、二	二六、五	二六、三	二五、八	三四、〇	三六、〇	三四、九	三五、一	三三、四	三三、八	一五三、五	一九二、一	一九七、三	一八五、五	一六八、三	一二八、一	八〇、一	五〇、七	七、六	九、九	八五、四	一三四、九

全二十九日	二七、七	▲四、三	三二、七	二四、一	六九、五	一〇、一	二〇、〇	三、三	▲六、九	南南西	九、三	西
全三十日	三二、八	〇、二	二六、七	二一、四	八五、七	▲二、五	一七、七	二、七	四、九	西	九、八	南西
七月一日	三五、九	▲二、〇	三〇、一	二三、〇	八一、五	▲六、六	—	七、六	〇、八	西	七、七	南西
全二日	二四、八	〇、七	二七、五	二三、四	九〇、五	▲一、五	一七、二	〇、七	五、四	西南西	五、九	西南西
全三日	二五、九	▲一、九	二九、四	二三、九	八七、四	▲七、九	〇、二	六、五	▲三、五	西南西	八、八	南西
全四日	二六、二	▲三、三	三〇、四	二四、一	八四、三	▲五、六	—	四、三	〇、九	西	八、三	南西 西
全五日	二七、一	▲三、四	三二、二	二四、四	八〇、五	▲四、二	〇、三	六、九	一、〇	西	八、〇	南南西
全六日	二八、〇	▲四、三	三二、〇	二四、三	七六、三	▲〇、三	六、二	〇、四	六、七	東	三、八	南西
全七日	二六、七	▲三、二	二九、六	二四、一	八五、三	▲六、九	一六、四	一、九	二、七	南	三、三	南西
全八日	二五、二	▲〇、九	二九、六	二一、九	八五、一	▲八、〇	六、一	三、四	五、一	南東	一六、六	西
全九日	二五、一	▲〇、五	二九、一	二一、四	八四、八	▲五、五	—	三、五	四、三	西南西	七、〇	西
全十日	二六、七	▲一、五	三二、三	二三、一	八三、〇	▲五、八	—	二、三	▲二、〇	西南西	一三、三	西南西
平均合計又は極	二三、八	▲〇、五	三二、七	二三、九	八〇、七	▲二、〇	一五八、九	一八一、五	〇、四	西南西 西	一六、六	西

●土用中の氣象概況

技手　山田顯吉

例年梅雨期は陰鬱の天氣多く氣温は稍々上昇を中止すれども偶々晴るゝ時は蒸熱甚しく不快を感せり、而して梅雨期を過ぐれば忽ち夏の土用となり旱天打續き氣温上昇し盛夏の狀態に移るを常とす、本年も最早土用に近づきたれば既往の觀測に依り其概況を記し參考に供せんとす

今明治四十四年より大正五年に至る最近六年間に於ける土用(七月二十日より八月八日に至る二十日間とす)の氣象を看るに最も暑氣烈しかりしは大正三年にて平均氣温は二十九度二、最高は三十四度九を示し土用を通して最高は三十度以上に昇り日照時數多く降雨は少かりし之れに亞くは大正四年と五年にして大正四年は平均氣温二十八度三、最高は三十六度〇を示し土用中二日を除くの外は皆三十度以上に達し日照時數も大正三年と大差なく雨は同年より稍々多かりし、大正五年は平均氣温二十七度五、最高は三十四度〇を示し土用中一日を除くの外は皆三十度以上に達し日照時數は前兩年より稍々少く雨は稍々多かりし而して土用中冷氣なりしは明治四十四年にして平均氣温は二十五度八、最高は三十一度八を示し土用二十日の内最高温度の

となれり

今本年梅雨期間（六月十一日より七月十日まで三十日間とす）の降雨を看るに其日數は十七日にして平年より二日多く其水量は百五十八粍九にして平年より六十五粍二少きも六月八日より十日までの雨量を加ふれば平年と大差なく明治四十五年及大正二年よりは多し

更に本年梅雨期間の氣象を表記すれば左の如し

（表中▲印は平年より高又は多無印は平年より低又は少を示す）

月日	種目	空氣の溫度 平均	平年に比し	最高	最低	濕度 平均	平年に比し	降水量	日照 時數	平年に比し	最多風向	最大速度	全上方向
六月十一日		一九、七	一、四	二四、六	一三、九	七七、二	〇、七	—	一一、二	▲五、三	西南西	一三、八	西南西
仝 十二日		二〇、七	〇、七	二四、五	一六、五	七八、八	二、三	一、八	一、一	四、九	北東	四、二	東
仝 十三日		二一、六	〇、五	二四、七	一八、四	七九、三	〇、〇	二六、五	六、四	〇、八	南西	一五、六	南西
仝 十四日		二一、七	〇、七	二六、二	一六、二	七〇、八	七、九	—	二、一	▲四、五	西南西	五、二	南西
仝 十五日		二二、一	〇、九	二七、八	一七、〇	七三、八	五、七	—	三、〇	▲三、六	北北東	九、八	西南西
仝 十六日		二二、二	一、六	二六、三	一六、八	八二、二	▲〇、二	—	九、八	▲七、二	西	二、四	西南西
仝 十七日		二九、四	三、五	二二、二	一七、七	八九、四	▲五、四	三五、七	—	五、三	北東	二、一	北東
仝 十八日		二九、九	三、八	二三、七	一六、二	七九、一	▲四、四	二、〇	一、一	七、三	西北西	六、三	北
仝 十九日		二二、〇	一、四	二七、〇	一八、六	七九、九	▲一、六	三、〇	五、五	〇、一	北東	一四、二	南西
仝 二十日		二〇、三	〇、二	二四、一	一七、二	七三、五	▲六、四	五、六	七、六	▲四、七	西南西	九、一	南西
仝 二十一日		一九、二	一、四	二二、三	一六、七	八八、一	▲八、〇	八、五	—	二、九	北北東	六、九	北東
仝 二十二日		二二、一	▲〇、六	二六、八	一八、六	七九、〇	四、四	一、二	八、六	▲三、五	北東	九、〇	東北東
仝 二十三日		二二、五	▲〇、二	二八、〇	一九、六	七九、〇	▲〇、六	—	七、五	〇、一	北東四	六、一	西南西
仝 二十四日		二三、八	▲〇、五	二八、〇	二〇、三	八五、八	▲四、六	〇、一	三、四	二、九	西	六、九	西
仝 二十五日		二二、三	〇、〇	二六、八	二一、六	八八、一	▲一〇、〇	〇、四	一、八	四、三	西	一〇、二	南西
仝 二十六日		二四、二	▲二、五	二九、九	二一、七	八一、四	〇、四	〇、〇	▲七、五	四、〇	西南西	五、八	西南西
仝 二十七日		二五、六	▲三、一	三一、二	二一、九	七九、〇	二、二	—	▲五、一	▲六、八	南西	九、〇	南西
仝 二十八日		二七、四	▲五、八	三一、八	二四、〇	七二、三	二、一	—	▲三、一	▲八、一	南西	九、六	南西

五月八日	仝五時	七五四、九	一八、四	南南西	三、三	〇、〇	雨
仝	仝六時	七五四、五	一七、七	南	二、一	〇、〇	曇
仝	仝七時	七五三、九	一七、二	南	二、二	〇、〇	雨
仝	仝八時	七五三、〇	一六、八	南	七、九	〇、一	曇
仝	仝九時	七五二、七	一七、六	南	六、〇	—	曇
仝	仝十時	七五一、七	一七、八	南南西	三、八	〇、〇	雨
仝	仝十一時	七五〇、五	一七、九	南	三、三	〇、〇	雨
仝	夜半	七五一、八	一四、八	西	一〇、四	四、八	曇
五月九日	午前一時	七五一、三	一五、三	西	一四、一	〇、三	雨
仝	仝二時	七五一、五	一三、九	南南東	六、七	一、三	雨
仝	仝三時	七五一、二	一三、六	南南東	四、八	〇、二	曇
仝	仝四時	七五一、三	一三、八	南	三、三	—	快晴
仝	仝五時	七五一、一	一三、〇	南西	五、〇	—	晴
仝	仝六時	七五一、三	一三、四	西南西	七、〇	—	快晴
仝	仝七時	七五一、二	一四、六	南西	六、八	—	快晴
仝	仝八時	七五一、三	一六、〇	西南西	三、八	—	快晴
仝	仝九時	七五一、五	一六、八	西	四、四	—	曇
仝	仝十時	七五一、八	一六、九	西南西	一六、七	—	曇

五月九日	仝十一時	七五二、〇	一七、三	西	一三、五	—	曇
仝	正午	七五三、三	一七、六	西南西	一三、四	—	曇
仝	午後一時	七五二、三	一七、一	西	一六、一	—	曇
仝	仝二時	七五二、一	一七、二	西南西	一四、二	—	曇
仝	仝三時	七五二、三	一八、一	西南西	一三、三	—	晴
仝	仝四時	七五二、四	一七、三	西南西	一三、三	—	曇
仝	仝五時	七五二、九	一七、〇	西	一三、四	—	晴
仝	仝六時	七五三、三	一六、一	西北西	一三、八	—	晴
仝	仝七時	七五三、八	一五、三	西北西	一二、八	—	晴
仝	仝八時	七五四、六	一四、八	西	九、八	—	曇
仝	仝九時	七五五、三	一四、五	西	一二、八	—	曇
仝	仝十時	七五六、一	一四、〇	西	一二、九	—	曇
仝	仝十一時	七五六、五	一三、五	西	一〇、八	—	曇
仝	夜半	七五七、〇	一三、九	西	一〇、八	—	曇
五月十日	午前一時	七五七、三	一三、五	西北西	九、三	—	晴
仝	仝二時	七五七、六	一二、〇	西	一〇、五	〇、〇	雨
仝	仝三時	七五七、九	一〇、三	西	六、一	〇、〇	快晴

●本年の梅雨實況

技手　山田顯吉

梅雨概况は本報三月號に記せしが本年の梅雨季も既に經過せしか故に爰に其實況を報ずべし抑々梅雨は年に依り多少早晩あれども暦面に記載する所の入梅は六月十一日にして梅雨期間は約三十日なり、本年は六月八日頃より梅雨季の氣壓配置となり雨降り始め八日、九日、十日の三日間降り續き一日隔て、十二日十三日は又雨天となり夫れより三日を隔て、十七日より二十五日まで降雨斷續し二十六日より二十九日までは晴天となり盛夏の狀態を呈せしが故に梅雨は既に經過したるの觀ありしが七月二日より時々降雨ありたれども十日頃より梅雨明けの氣壓配置

三十四分十五秒なり

附記　此地震は上總沖に發したるものにして震域北方は本州北部に南方は八丈島に西方は丹後の宮津に達し長半徑六十里短半徑四十里を有し有感覺微震部は七千五百四十方里にして横濱にては弱震を感じたり

六一　五月三十一日午後五時五十六分十六秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は六分五十九秒第二は五分三十秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後六時十四分五十二秒に於て二千五百五十八「ミクロン」振動期二十四秒○南北動は午後六時十一分十五秒に於て千四百三十八「ミクロン」振動期二十五秒○を現し後漸次微となり靜止せり全振動時間は東西動は二時四十三分二十五秒南北動は二時三十七分二十五秒なり

附記　此地震は「アリウシアン」群島の東方海底に發したるものにして別項に詳記せり

●五月八日より十日に至る暴風雨概況

技手　大橋龍太郎

五月六日支那北部に顯はれたる低氣壓は南東に進み八日朝鮮北部を通過し日本海に入りて益々發達し九日朝日本海中部に來りたる頃は其中心示度七百四十四粍に下降し其より進路を東に轉じ奥羽地方を横斷して十日太平洋上に去れり

此低氣壓の通過に際し本邦各地に風雨起り沿岸地にては暴風雨となりたる所多く長崎にては八日午後四時に毎秒速度二十四米四に釧路にては十日午前九時に毎秒速度二十四米○に及へりと云ふ

大阪にては八日午前十時より氣壓漸次下降し午後十一時七百五十粍五の最低に達し後徐々に上昇せり

風は八日朝來微弱なりしが午後一時より增勢し同二時より強風となり夜半最も強く毎秒速度二十米四に達し斷續して十日午前二時に及べり其吹續時數は二十七時にして內強風二十四時間烈風三時間なり雨は八日午後四時より降り初め七時四十分一旦歇みしが九時三十五分より又降雨となり時々大雨を交へて繼續し九日午前二時二十五分に至り全く歇む此雨量六粍六なり

更に毎時觀測の結果を記すれば左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	降水量	天氣
五月八日	午後一時	七五七、三	二〇、五	西南西	八、一	—	曇
仝	仝 二時	七五六、七	二〇、六	南西	一一、二	—	快晴
仝	仝 三時	七五六、二	二〇、〇	南西	一一、〇	—	晴
仝	仝 四時	七五五、四	二一、〇	南南西	一一、〇	—	晴

全振動時間は二十三分二十六秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は鴨綠江流域に發したるものにして朝鮮北西部及滿州地方は有感覺區域となり罹震部は九千九百方里にして平壤及奉天、營口等は弱震を感じたり今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を記すれば左の如し

大　連	午後六時三六分四七秒
福　岡	仝　六時四〇分一一秒
長　崎	仝　六時四〇分三七秒
大　阪	仝　六時四二分二三秒

五七　五月二十八日午後九時七分四秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は四分四十三秒にして主要動となり最大振幅は午後九時十五分六秒に於て十「ミクロン」振動期五秒（）を現し後微となり終期の微動に移り續震ありたるため全振動時間を測ること能はざりし（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならず

五八　五月二十八日午後九時二十四分三十一秒の地震

此地震は前記地震の終らざる內に發したるものにして初期微動の繼續時間は零分九秒にして主要動となり最大振幅は午後九時二十五分一秒に於て十一「ミクロン」振動期一秒五を現し後微となり靜止せり全振動時間は五分五十五秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は美濃國の南部に發したるものにして名古屋にては性質急なる微震を感じ地鳴ありたり又人身に感覺なきも甲府、津、彦根にては地震計に感じたり

五九　五月二十九日午後三時十三分四十九秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は八分七秒第二は九分六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後三時卅四分十秒に於て八「ミクロン」振動期十四秒四、南北動は午後三時三十五分三十四秒に於て十八「ミクロン」振動期十五秒）を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時五分四十五秒南北動は一時二十九分四十三秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならず

六〇　五月三十一日午後三時七分三十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後三時九分二十五秒に於て百三十「ミクロン」振動期五秒、南北動は午後三時九分五十二秒に於て二百八十五「ミクロン」振動期六秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十五分五十四秒南北動は

八分二十一秒第二は七分四十七秒にして主要動となり最大振幅（東西動）は午前七時三十五分八秒に於て三十五「ミクロン」振動期十四秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は一時十分二十五秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども水戸にては午前七時十一分三十三秒に此地震を觀測せりと云ふ

五二　五月十八日午前四時七分十六秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分三十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前四時八分二十四秒に於て千二百八十八「ミクロン」振動期三秒八　南北動は午前四時八分二十五秒に於て千二百「ミクロン」振動期三秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十分二十五秒南北動は二十一分四十八秒なり

附記　此地震は遠州北部に發したる強震にして震域北方は本州北部に四方は九州西部に南東方は八丈嶋に達し長半徑七十里短半徑四十五里を有し強震部は千五百七十方里弱震部は六千五十方里有感覺微震部は九千九百方里に亘れり（別項遠州北部の地震の項參照）

五三　五月二十二日午前一時十三分二十一秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前一時十三分四十四秒に於て十「ミクロン」振動期一秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は四分十四秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震に極微にして未だ震源は詳ならざれども該内附近に發したる微震なるべし

五四　五月二十四日午後四時五十分十九秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午後四時五十三分十五秒に於て十二「ミクロン」振動期四秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は十四分五十秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は日向の南東沖に發したるものにして宮崎、鹿兒島、大分、名瀬等にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

五五　五月二十五日午前四時三十二分二秒の地震

此地震は振幅極めて微にして振動の各部判明ならざれども全振動時間は二十四分五十秒に及べり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源詳ならず

五六　五月二十八日午後六時四十二分二十三秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は二分三十九秒にして主要動となり最大振幅は午後六時四十五分四十秒に於て二十八「ミクロン」振動期四秒四を現し後微となり靜止せり

を伴ひ彦根にては振子時計の運轉を停止せる所ありたり

四七　五月七日午前八時一分五秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は四分二十七秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前八時十分二十五秒に於て七十五「ミクロン」振動期九秒六南北動は午前八時十二分二十秒に於て百三「ミクロン」振動期十六秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時七分二秒南北動は一時五分零秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を記すれは左の如し

大阪	午前八時〇一分〇五秒
水戸	仝　八時〇一分一六秒
水澤	仝　八時〇一分三九秒
福岡	仝　八時〇一分四五秒
太泊	仝　八時〇二分三七秒

四八　五月十日午前一時零分十五秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は四分二十四秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前一時八分四十秒に於て二千八百九十九「ミクロン」振動期二十四秒九南北動は午前一時八分七秒に於て二千五「ミクロン」振動期二十七秒八を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は二時二十五分三秒南北動は二時十五分四十六秒なり

附記　此地震は南洋「マリアナ」群島附近に發したるものにして別項に詳記せり

四九　五月十一日午前七時九分四十八秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十二秒にして主要動となり最大振幅は午前七時十分二十六秒に於て二十四「ミクロン」振動期一秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は八分二十秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は紀伊國南部に發したるものにして和歌山、德島にては性質急なる微動を感じ潮岬、津、岡山にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

五〇　五月十二日午後一時三十五分四十六秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午後一時四十三分十四秒に於て十六「ミクロン」振動期六秒九を現し後微となり靜止せり全振動時間は二十四分五十七秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならず

五一　五月十五日午前七時十一分二十五秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は

九分五十一秒第二は十一分九秒にして主要動となり最大振幅（東西動）は午前四時九分三十四秒に於て千七百九十八「ミクロン」振動期二十一秒六を現し後微となり終期の微動に移り續震ありたるため全振動時間を測ること能はざりし

附記　此地震は太洋洲「トシカ」島の東方海底に發したるものにして前號に詳記せり

四三　五月二日午前五時二十六分五十七秒の地震

此地震は前記地震の終らざるに發したるものにして振動の各部判明ならざれども最大振幅（東西動）は午前五時五十四分二十五秒に於て三十「ミクロン」振動期十九秒二を現し後微となり續震ありたるため全振動時間を測ること能はざりし

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして前記地震の餘震なるべし

四四　五月二日午前六時二分五十九秒の地震

此地震は前記地震の終らざる内に發したるものにして振動の各部判明ならざれども最大振幅（東西動）は午前六時二十八分二秒に於て二十三「ミクロン」振動期十七秒三を現し後微となり靜止せり其振動時間は一時四十九分十八秒なり

附記　此地震に遠距離の所に發したるものにして前記地震の餘震なるべし

四五　五月四日午前九時五十五分三十三秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は九分三十九秒第二は十分二十六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前十時二十八分二十二秒に於て二十「ミクロン」振動期十九秒二南北動は午前十時二十五分十秒に於て二十五「ミクロン」振動期十六秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時四十一分八秒南北動は一時四十八分零秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして本だ震源に詳ならざれども銚子にては午前九時五十四分四十秒に此地震を觀測せりと云ふ

四六　五月六日午後零時十六分四十六秒の地震

此地震は性質稍々急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十一秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後零時十七分三十四秒に於て五百九十八「ミクロン」振動期一秒五南北動は午後零時十七分三十六秒に於て四百九十八「ミクロン」振動期一秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時二分十五秒南北動は一時二分五十八秒なり

附記　此地震は伊勢龜山附近に發したるものにして震域東方は駿河の沼津邊に四方は內海中部に達し北方は越中の伏木に南方は紀伊南部に及びて長半徑五十里短半徑三十五里なる楕圓部は二千三百六十方里有感微震部は五千九百方里にして京都、福井、名古屋、津にては輕震を感じ岐阜及津にては地鳴

に強風吹けり●十五日概ね晴天●十六日概ね晴天●十七日概ね晴天●十八日概ね晴天、天王に雷鳴あり●十九日概ね晴天●二十日概ね晴天、茨木に強風吹けり●二十一日概ね晴天、堺、大阪、新庄、富田林に驟雨あり●二十二日概ね晴天●二十三日晴曇相半し大阪、新庄に強風吹けり●二十四日概ね晴天●二十五日概ね晴天●二十六日概ね晴天、大阪、新庄に強風吹けり●二十七日概ね晴天●二十八日概ね晴天なりしが平坦部地方に午後雷雨、大阪、枚方に強風吹けり●二十九日概ね晴天●三十日概ね晴天なりしが午後に至り雨降る●三十一日概ね晴天大所々に雨降れり

大阪地震観測概況

爰に記する所のものは主として大森式地動計（東西及南北動二十倍）を以て観測したるものを記し、極微なる地震にありては百廿倍の微動計其他の器械にて観測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如しPは第一初期微動の発震時、Sは第二初期微動全上、Lは長波即ち主要部全上、Mは主要部の最大動、Cは終期の最大動、Fは振動の終とす又十は南北動にありては北、東西動にありては東、（一）は南北動にありては南、東西動にありては西なり振幅は「ミクロン」、粍の千分一）を以て記す

本月中に地震を観測したる數は二十一回にして人身に感覺ありたるものは五月六日伊勢國に發したるもの及十八日遠州北部に發したるもの各一回又人身に感覺なく普通地震計に感じたるものは一回もなかりしが無感覺地震にして地動計又は微動計に感じ其震源本邦内にありたるものは五回即ち紀伊國の南部二回上總沖、美濃國の南部、日向の南東沖各一回震源未詳一回なり又遠距離地震は十三回にして就中顯著なるものは五月二日「トンガ」嶋の東方、同十日「マリアナ」群嶋附近、同三十一日「アリウシアン」群嶋東方海底の地震并二十八日鴨緑江流域にも稍々強き地震あり其他は未だ震源詳ならず今其觀測概況を列記すれば左の如し

四一　五月一日午前八時二十二分四十一秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十四秒にして主要動となり最大振幅は午前八時二十二分五十六秒に於て二十七「ミクロン」振動期零秒九を現し後微となり靜止せり全振動時間は六分二十六秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は紀伊國南部に發したるものにして和歌山及德嶋にては微震を感じ津及宮津にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

四二　五月二日午前三時三十八分四十三秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は

十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	三十一日	全月
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、六	—	九七、四
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	七五、〇
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、〇	三、〇	六〇、九
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、九	五五、五
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、五	〇、五	五七、五
—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	二、四	—	〇、四	—	五三、七
—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	一、〇	〇、四	〇、八	〇、六	五三、一
—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	一、七	〇、四	〇、八	—	五四、二
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、二	一、五	一、五	一、〇	五九、三
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三、八	二、〇	一、〇	五一、三
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、五	—	六八、二
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	二、五	〇、二	〇、二	七八、二
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四、八	二、三	—	七一、八
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、七	三、三	—	—	五七、七
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四、〇	四、五	五七、七
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、一	〇、三	—	四、五	六三、九
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五三、八
—	—	—	—	〇、三	—	—	—	—	—	—	—	—	一、三	—	五六、一
—	—	—	—	一、四	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、五	〇、五	五七、一
—	—	—	—	〇、五	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五九、五
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六九、三

管內天氣摘要

●一日概ね晴天●二日概ね晴天、天王、田原、富田林、長野に雷雨あり田原は霰、長野は雹を混せり●三日晴曇相半す●四日概ね曇天時々降雨す●五日晴曇相半し未明所々に雨降り長承寺に强風吹けり●六日概ね雨降り上之郷、岸和田に雷鳴、上之郷大阪に强風吹けり●七日晴曇相半し所々に雨降り、新庄、茨木枚方に雷鳴、秦野に霰、茨木、枚方に雹降り深日、大阪、富田林に强風吹けり●八日概ね晴天なりしが午後より雨降り所々に强風吹けり●九日前日來の雨午前歇み所々に强風吹き秦野に雷鳴あり●十日概ね晴天、大阪、天王に强風吹き天王、枚方、田原に微雨あり●十一日概ね晴天枚方に强風吹き天王、田原に霜あり之れを以て本府管內の終霜とす●十二日概ね雨天●十三日晴曇相半す●十四日未明より雨降り午前歇み後概ね曇天、大阪

第四表　管内降水日量

五月	深日	上之郷	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	秦野	妙見山	東郷	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日																						
二日																						
三日																						
四日																						
五日																						
六日																						
七日																						
八日																						
九日																						
十日																						
十一日																						
十二日																						
十三日																						
十四日																						
十五日																						
十六日																						

同七日午後二時頃河内北部より攝津東部に亘りて稍々強き雷鳴あり所に依り降雹を伴ひ枚方地方最も烈しく小豆大の雹約五分間程降下したるを以て豆類、桑、茶、稻苗等に幾分の被害を來せり

同十八日午後二時過攝津及河内の兩北部に微雷ありしが暫時にして消散せり

同廿八日午後二時過攝津西部より河内北部に雷鳴あり稍強かりしも降雨は極めて少なく六時頃北東方に經過し去れり

第三表　管內全月氣象觀測成績

（表中▲印に高又は多）

觀測所	空氣ノ溫度 平均	平均	平均	最高	最低	降水量 總量	最多日量	天氣日數 晴（柏原八尾前九時）	曇	雨	雪	雹	雷電	快晴	曇天	暴風
		本年	平年比較	起日	起日	本年	平年比較	氣溫 濕度 雲量 風向								
深日	一二、四	一七、一	〇、四	二八、〇▲	六、四	九七、四	三六、八	北 七	一〇	一三	〇	〇	〇	一五	九	二
上之鄕	一三、五	一六、六	—	二六、〇▲	五、六	七五、五	二八、三	北 七	一〇	一三	〇	〇	〇	一五	九	二
岸和田	一三、八	一六、九	〇、四	二七、三	六、〇	六〇、九	四八、〇	西 〇	一〇	一一	〇	〇	〇	一五	八	二
長承寺	一三、七	一六、六	一、六	二六、九	四、八	五五、五	二三、九	西 九	一〇	一一	〇	〇	〇	一五	八	二
濱寺	一三、九	一六、〇	—	二六、二	五、九	五七、五	—	北 一一	一	一一	一	一	一	一二	一一	二
堺	一三、二	一六、二	一、四	二七、一	五、六	五三、七	二三、七	西 八	一〇	一一	〇	〇	〇	一五	一一	二
天王寺	一三、一	一六、一	〇、九	二六、二	五、五	五五、五	二三、六	西 九	一〇	一一	〇	〇	〇	一五	一一	二
大阪	一二、八	一五、七	一、〇	二六、〇	六、四	五七、一	二四、八	西 六	一〇	一一	〇	一	〇	一五	一一	二
福島	一三、五	一六、〇	〇、九	二七、五	五、六	五四、三	二三、六	南西 五	一〇	一一	〇	〇	〇	一五	一一	二
新庄	一三、一	一六、〇	一、六	二六、六	四、九	五九、五	二〇、三	西 一	一〇	一一	〇	〇	〇	一五	一一	二
泰野	一二、八	一五、四	二、二	二六、〇	四、九	五五、三	二三、五	南 五	一〇	一一	〇	一	〇	一五	一一	二
妙見山	一一、七	一四、五	一、九	二五、〇	三、八	六八、八	二四、五	南 二	一〇	一一	〇	〇	〇	一五	一一	二
東鄕	一三、二	一六、一	一、九	二六、一	五、二	七二、一	二七、九	南 一	一〇	一一	〇	〇	〇	一五	一一	二
天王	一三、一	一六、一	一、四	二六、九	五、二	六〇、四	三三、〇	東 二	一〇	一一	〇	〇	〇	一五	一一	二
茨木	一三、〇	一六、〇	一、四	二六、二	五、二	六〇、三	二三、〇	北西 一	一〇	一一	〇	〇	〇	一五	一一	二
箕水	一三、六	一六、六	一、六	二七、〇	五、六	五九、七	二六、七	南 九	一〇	一一	〇	〇	〇	一五	一一	二
枚方	一三、五	一六、六	一、五	二七、〇	五、六	六二、九	二六、九	西 二	一〇	一一	〇	〇	〇	一五	一一	二

三十日	一八、八	一九、七	二、一	二、四	一九、二	二、八
三十一日	二、一	二、一	一九、九	二、三	一九、〇	二、三
全月	一八、五	一七、八	一七、六	一七、五	一六、五	七、四

午後零時七分より小雨斷續し翌曉に亘る

前夜來の小雨斷續し午後零時二十六分歇む、夜露あり

大阪府管内氣象概況

前既に詳記せしが如く五月は氣溫上昇を促し漸次夏季の狀態に遷らんとする卽ち氣候變遷期なるを以て低氣壓の來去頗る頻繁となり天氣の變化亦之れに伴ひ著しく複雜となれ其四月に比すれば稍々晴燥の天氣多く從て降水量は前月より減少するを常とす今本年五月の氣候を調査するに上旬は前月の氣象を繼承し其變化頗る複雜なりしが概して冷氣の日多く、日及七日には霰を降下したる所あり且つ雷雨襲來して降雹を齎らしたる所もあり又十一日には東、北の山間部に晩霜を認め東部田原の如きは永年の記錄を破り觀測創始以來の最晩たる明治四十年五月八日より三日晩かりき而して十五日頃より天候漸次恢復し來り殆んど晴天に經過し只二十八日に暫時の驟雨と三十日及三十一日に微雨ありたるのみ從て全月の降水總量も概して平年の二分ノ一に過ぎず折柄農業者は稻苗の植付前なりしかば旱水の爲め困難したる地方多かりしと之れを要するに本年五月の氣候は上半月は冷氣にして雨天多く下半月は殆んど晴天に經過したるものなり更に氣溫、降水量、雷雨等に就き詳記するは左の如し

氣溫　平均は南部深日及西部天王寺の十七度一より北部妙見山の十一度八の間にありて之れを平年に比すれば一般に低く東北の山間部は一度五乃至二度、平坦部より沿海部地方は零度五乃至一度五孰れも低し而して最高は概ね二十日及二十一日に現はれ東部田原の二十九度一を低極とし長野及柏原の二十八度五、富田林の二十八度四之れに亞ぎ其他は二十八度より二十六度を示し北部の山間は二十五度乃至二十三度に止まれり又最低は概ね十一日に現はれ北部妙見山の零下零度六を低極とし大半の一度、東部田原の二度五之れに亞ぎ其他平坦部は四度乃至五度、沿海部は五度乃至六度を示せり要するに本年五月の氣溫は最高二十九度二より最低零下零度六の間にありて其較差は實に二十九度六に達せり

降水　總量は南部深日の九十七粍四より北部泰野の五十一粍三の間にありて之れを平年に比すれば著しく少なく平年の半に達せざる所多し而して日量の最多は六日の降雨の際にありて其の最も多きは南部深日の二十八粍五にして上之郷の三十五粍五之れに亞ぎ其他は二十六粍三より二十粍六の間にありしが泰野、茨木、八尾、富田林の四ケ所は二十粍に達せざりき

雷雨　五月二日小低氣壓が敦賀灣附近より內陸に入り本州を縱斷せんとする九時三十分頃攝津北部より河內東部に稍々強き雷鳴あり孰れも大豆大の降雹を伴ひたれ共短時間なりしため差したる被害を認めざりき

日																									
五日	一八、二	一六、七	一五、八	一五、二	午前零時四十分より全三時二十五分迄降雨、午後一時四十分より全四時三十分迄日暈現る、午後六時三十分より月暈現れ翌暁に亘る、夜露あり
六日	一三、四	一五、二	一五、八	一五、〇	前夜來の月暈午前一時廿五分消ゆ、朝露あり、午前九時三十五分より全七時五十分迄薄霧あり、午前七時十二分より午後九時三十八分迄降雨、午後三時より四時迄強風吹けり
七日	一四、八	一四、六	一五、一	一五、三	午前十一時十三分より小雨斷續し午後三時三十五分迄強風吹けり、午後七時五十五分より全八時十五分迄月暈現る、午前九時より午後三時迄強風吹けり
八日	一七、四	一五、九	一五、四	一五、二	朝露あり、午前一時三十分より全二時四十五分迄月光環現る、午前七時烟霧あり、午後二時より七時迄強風吹けり、午後四時四十四分より小雨斷續し午後十一時五十分歇む、午後十時より
九日	二五、六	一六、二	一五、四	一五、二	夜半迄強風吹けり、午前零時三十二分より降雨時々大雨を交へ午前二時三十五分歇む、午前七時より正午迄烟霧あり、午前一時及全八時より夜半迄強風吹けり
十日	二五、八	一六、四	一五、六	一五、四	午前一時九十分より微雨斷續し全八時十四分歇む、午前二時強風吹けり、夜薄露あり
十一日	二五、八	一六、四	一五、七	一五、八	朝薄露あり、午前六時より全八時迄烟霧あり
十二日	二五、〇	一六、一	一五、八	一五、七	午前七時四十五分より午後五時三十二分迄小雨、午後五時五十五分より全六時八分迄虹霓現る
十三日	一八、一	一六、四	一五、八	一五、八	夜薄露あり、朝薄露あり、午前七時三十五分より全十時二十分迄日暈現る、午後十一時四十五分より小雨となり翌日に亘る
十四日	一四、九	一六、五	一五、八	一五、八	朝薄露あり、午前十時四十五分より午後三時五十分迄日暈現る、夜薄露あり
十五日	一六、六	一六、一	一五、九	一五、八	朝薄露あり、午前十時四十五分より午後三時五十分迄日暈現る、午後一時四十分より全二時三十分迄日暈現る、午後六時強風吹けり
十六日	一七、五	一六、一	一六、〇	一五、九	朝薄露あり、午前九時より十時及午後二時より四時迄烟霧あり、午前十時四十分より午後零時二十五分迄日暈現る、夜露あり
十七日	一八、二	一七、〇	一六、二	一六、〇	朝露あり、午前七時より八時迄烟霧あり、夜薄露あり
十八日	一九、六	一七、六	一六、五	一六、九	朝薄露あり、午前六時四十四分より全八時三十分迄薄霧あり、夜露あり
十九日	二〇、八	一八、二	一七、一	一七、七	朝露あり、午前一時三十五分より全八時三十分迄薄霧あり、夜露あり
廿日	二一、四	一九、四	一七、七	一七、七	朝露あり、午前六時より全十時迄烟霧あり、夜薄露あり
廿一日	二〇、八	一九、六	一七、四	一七、七	朝露あり、午前八時より全十時迄烟霧あり、夜薄露あり
廿二日	二三、七	一九、八	一七、七	一七、七	朝露あり、午前六時五十分より全七時五十八分迄日暈現る、午後二時二十二分より雲二時二十七分迄微雨、夜薄露あり
廿三日	一八、九	一九、七	一七、〇	一七、三	朝露あり、午前八時四十分より全九時五十分迄日暈現る、夜露あり
廿四日	一九、六	一九、四	一七、三	一七、三	朝露あり、午前五時より八時迄烟霧あり、午前五時四十五分より全十一時四十分迄及午後一時二十五分より全三時三十分迄日暈現る午後四時より八時迄強風吹けり
廿五日	二二、二	一九、二	一八、一	一七、四	朝薄露あり、午前九時より正午迄烟霧あり、夜露あり
廿六日	二一、〇	一九、九	一八、二	一八、三	朝露あり、午前四時二十分より全七時二十分迄薄霧あり、午前八時より九時迄烟霧あり、午後二時より全五時迄強風吹けり、午後五時二十五分より全六時二十二分迄烟霧あり
廿七日	二二、九	二〇、三	一八、四	一八、九	朝露あり、夜露あり
廿八日	二三、〇	二一、八	一八、七	一八、九	朝薄露あり、午前三時五十分より全六時四十分迄薄露あり、午後二時二十分北東に遠雷あり全四時〇一分北方に又遠雷あり四時十六分遠雷となり全四時十八分北東方に轟き轟す午後四時五十四分より小雨斷續し全六時十分歇む、午後七時強風吹けり
廿九日	二二、二	二一、七	一九、〇	一八、七	午前九時より全十時強風吹けり

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

五月

日	地中温度（平均）地皮十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温	諸現象の摘要
一日	一六、五	一四、八	一四、四	一四、五	一一、九	朝薄靄あり、午後八時三十分より全九時五十分迄月暈現る、夜薄靄あり
二日	一七、二	一五、八	一五、三	一四、六	五、〇	朝薄靄あり、午前七時より八時迄烟霧あり
三日	一五、六	一五、六	一五、五	一四、九	四、八	朝露あり、午前二時四十分より全十時二十分迄薄霧あり、午前十一時五十分より午後四時二十分迄日暈現る、午後七時四十五分より全九時三十五分迄月暈現る
四日	一五、三	一五、九	一五、八	一五、〇	九、二	午前零時五十分より全三時廿五分迄、午後零時十七分より一時九十分迄及全八時廿五分より全九時十五分迄小雨、午前八時より全十時迄烟霧あり、午前九時四十分より全十時五十迄日暈現る

日	十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	廿一日	全月
最高気温	一七、二	一七、二	一七、八	一七、〇	一八、六▲	一七、八▲	一八、四▲	一七、九	一七、九	一七、九	一七、六▲	一七、六▲	一七、三	一七、五	一七、八	一七、七
最低気温	一〇、一	一〇、三	一〇、二	一〇、〇	一一、一	一一、九	一二、〇	一二、〇	一二、〇	一二、〇	一二、〇	一二、〇	一二、〇	一二、〇	一二、〇	一一、九
平均気温	一三、九	一三、九	一三、九	一三、五	一四、〇	一四、九	一四、九	一四、九	一四、九	一四、九	一四、九	一四、九	一四、九	一四、九	一四、九	一四、一
湿度	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九五
雨量	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	三〇、〇
風向	南西	南西	西	南東	北東	南西	南西	南西	南西	南西	南西	北東	北東	北東	北東	南西
風速	八、〇	七、〇	七、〇	八、〇	七、〇	九、〇	八、〇	八、〇	八、〇	八、〇	八、〇	八、〇	八、〇	八、〇	八、〇	七、八
日照	一三、〇	一三、〇	一三、〇	一三、〇	一三、〇	一三、〇	一三、〇	一三、〇	一三、〇	一三、〇	一三、〇	一三、〇	一三、〇	一三、〇	一三、〇	四〇、〇
蒸発量	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	一二〇、〇
風向	南西	南西	南西	西	南東	南西	南西	南西	南西	南西	南西	北東	北東	北東	北東	南西
風速	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八
日照	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	三一〇、〇
蒸発量	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	九三、〇
風向	南西	南西	西	南西	北東	南西	南西	南西	南西	南西	南西	北東	北東	北東	北東	南西
風速	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八
日照	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	三一〇、〇
蒸発量	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	九三、〇
風向	南西	南西	西	南東	北東	南西	南西	南西	南西	南西	南西	北東	北東	北東	北東	南西
風速	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八
日照	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	一〇、三	三一〇、〇
蒸発量	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	九三、〇

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印は高又は多）

	氣壓	空氣ノ溫度				水蒸氣張力	溫度飽差	風速	風		雲量	日照時數	降水量	蒸發量
	平均	平均	平年比較	最高	最低	平均	平均	平均	最大	全上方向最多方向平均				
廿二時	七五八、九七	一五、三八		九、九七	一五、九	四、一〇	四、六		〇、九		三、三五	六、四五	一、八	六、四
廿三時	七五八、九二	一四、八九		九、九一	一七、八	三、八二								
廿四時	七五八、八一	一四、三五	九、八一	八、〇〇	二、四五	三、八四	四、〇				六、四	八、九	一、四	六、四五
平均	七五八、九四	一六、四七	九、七九	一七、〇七	四、五三	四、五六	四、八	二六、九五	五五、五	二六、二一	一七、七	一七、五	一七、八	六、八

五月

	氣壓	空氣ノ溫度				水蒸氣張力	溫度飽差	風速	風		雲量	日照時數	降水量	蒸發量
	平均	平均	平年比較	最高	最低	平均	平均	平均	最大	全上方向最多方向平均				
一日	七五九、五	一三、六		一三、三	七、三	七、三	四、七	三、三	七、五	北	一〇、八	四、八		五、六
二日	七五九、五	一四、五	〇、三	一三、三	八、三	七、九	六、一	四、八	八、六	西南西	一六、▲	六、八		五、四
三日	七五九、九	一四、九	〇、九	一七、七	八、三	九、〇	七、一	三、三	七、五	西南西	五、九	一、七		三、七
四日	七五八、五	一五、四	▲〇、三	一五、八	七、三	一〇、三	七、三	三、九	七、六	北東	九、八	七、六		三、一
五日	七五八、七	一五、八	〇、三	一七、七	六、七	一〇、三	九、六	四、九	九、六	南西	九、▲	一、五		七、七
六日	七五八、〇	一三、八	一、三	一五、三	一〇、四	九、七	八、四	四、九	一一、五	西南西	九、八	六、一		三、一
七日	七五八、四	一三、三	一、三	一五、一	一〇、八	八、三	八、三	四、四	一〇、五	南西	七、七	七、七		三、一
八日	七五六、六	一三、三	一、三	一五、一	一〇、八	七、七	六、六	三、九	一〇、五	西南西	六、九	一、五		三、一
九日	七五六、三	一三、三	一、三	一五、三	一〇、四	七、七	六、六	三、九	一〇、五	西南西	六、九	▲一、一		三、一
十日	七五七、九	一三、三	一、三	一五、三	一〇、四	七、七	六、六	三、九	一〇、五	西北西	六、九	一、一		三、一
十一日	七五七、二	一三、三	一、三	一五、三	一〇、四	七、七	六、六	三、九	一〇、五	西北西	六、九	一、一		三、一
十二日	七五七、三	一三、三	一、三	一五、三	一〇、四	七、七	六、六	三、九	一〇、五	西北西	六、九	一、一		三、一
十三日	七五八、九	一三、三	一、三	一五、三	一〇、四	七、七	六、六	三、九	一〇、五	西北西	六、九	一、一		三、一
十四日	七五八、三	一四、三	一、三	一五、三	一〇、四	七、七	六、六	三、九	一〇、五	西北西	六、九	一、一		三、一
十五日	七五七、九	一三、七	一、三	一五、三	一〇、四	七、七	六、六	三、九	一〇、五	西北西	六、九	一、一		三、一
十六日	七五八、〇	一三、五	一、三	一五、三	一〇、四	七、七	六、六	三、九	一〇、五	西北西	六、九	一、一		三、一

第一表　大阪每時氣象觀測成績表

五月

時	氣壓平均	氣溫平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速平均	雲量平均	日照時數	降水量	地皮	地中溫度（平均）地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
一時	七五八、八一	一三、三一	九、四九	八一、〇	二、三	三、七	四、八	一	〇、八	一三、三一	一七、三一	一七、八五	一七、八五	一六、七五
二時	七五八、六八	一三、九三	九、四四	八一、〇	一、八二	三、三九	四、九	一	四、一	一二、九八	一七、〇二	一七、三三	一七、三三	一六、七五
三時	七五八、三五	一三、五五	九、三六	八四、四	一、七二	三、二五	四、六	一	五、二	一二、五八	一六、九七	一七、一五	一七、一五	一六、七五
四時	七五八、〇九	一三、一一	九、一四	八五、六	一、五四	三、一三	五、〇	一	一、三	一二、二二	一六、八五	一七、〇四	一七、〇四	一六、七五
五時	七五八、〇五	一二、八五	八、九八	八五、三	一、五四	二、八一	五、二	一	一、三	一二、〇九	一六、八六	一七、〇二	一七、〇二	一六、七五
六時	七五八、二四	一二、三四	八、九八	八四、六	一、六九	二、九六	四、七	一	一、四	一二、一四	一六、八一	一七、〇一	一七、〇一	一六、七五
七時	七五八、五五	一二、三五	八、九〇	八四、〇	二、〇九	二、四三	四、一	一	〇、三	一二、一九	一六、八四	一七、〇一	一七、〇一	一六、七五
八時	七五八、七五	一二、四五	九、〇二	八四、〇	二、三九	二、三二	四、〇	一、〇	〇、三	一二、二九	一六、八四	一七、〇一	一七、〇一	一六、七五
九時	七五八、九四	一二、五九	九、一六	八四、〇	二、五七	二、九〇	四、一	二、三	〇、三	一二、三九	一六、八四	一七、〇一	一七、〇一	一六、七五
十時	七五八、九四	一二、九〇	九、二六	八四、〇	二、五七	二、九〇	四、六	二、三〇	〇、三	一二、四九	一六、八四	一七、〇一	一七、〇一	一六、七五
十一時	七五八、七四	一二、八四	九、二六	八四、〇	二、五七	三、二五	四、六	二、三〇	〇、三	一二、四九	一六、八四	一七、〇一	一七、〇一	一六、七五
十二時	七五八、九二	一二、九二	九、二六	八四、〇	二、五七	三、二五	四、六	二、三〇	〇、三	一二、四九	一六、八四	一七、〇一	一七、〇一	一六、七五
十三時	七五八、九二	一二、九二	九、二六	八四、〇	二、五七	三、二五	四、六	二、三〇	〇、三	一二、四九	一六、八四	一七、〇一	一七、〇一	一六、七五
十四時	七五八、三二	一二、六二	九、〇六	八四、〇	二、五七	三、二五	四、六	二、三〇	〇、三	一二、四九	一六、八四	一七、〇一	一七、〇一	一六、七五
十五時	七五八、九五	一二、三五	八、九二	八四、〇	二、五七	三、二五	四、六	二、三〇	〇、三	一二、四九	一六、八四	一七、〇一	一七、〇一	一六、七五
十六時	七五八、八三	一二、二一	八、九二	八四、〇	二、五七	三、二五	四、六	二、三〇	〇、三	一二、四九	一六、八四	一七、〇一	一七、〇一	一六、七五
十七時	七五八、八三	一二、四二	八、九二	八四、〇	二、五七	三、二五	四、六	二、三〇	〇、三	一二、四九	一六、八四	一七、〇一	一七、〇一	一六、七五
十八時	七五八、七八	一二、六八	八、九四	八四、〇	二、五七	三、二五	四、六	二、三〇	〇、三	一二、四九	一六、八四	一七、〇一	一七、〇一	一六、七五
十九時	七五八、二二	一二、二四	八、九二	八四、〇	二、五七	三、二五	四、六	二、三〇	〇、三	一二、四九	一六、八四	一七、〇一	一七、〇一	一六、七五
二十時	七五八、三〇	一二、四一	八、九二	八四、〇	二、五七	三、二五	四、六	二、三〇	〇、三	一二、四九	一六、八四	一七、〇一	一七、〇一	一六、七五
廿一時	七五八、四〇	一二、五一	八、九二	八四、〇	二、五七	三、二五	四、六	二、三〇	〇、三	一二、四九	一六、八四	一七、〇一	一七、〇一	一六、七五

度三を示し最低は一日午前七時乃至八時に於て十二度二を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて十九度七七を示し最低は午前七時にありて十五度九〇を示せり而して其較差は三度八七なり

地中二十糎の温度　平均は十七度六一にして平年に比すれば零度八二低く月中の最高は二十八日午後六時より八時に於て二十二度三を示し最低は一日午前九時より十時に於て十三度〇を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後八時より九時にありて十八度四三を示し最低は午前十時にありて十六度八一を示せり而して其較差は一度六二なり

地中三十糎の温度　平均は十七度五〇にして平年に比すれば零度七二低く月中の最高は二十八日夜半に於て二十一度三を示し最低は一日午前八時乃至午後一時に於て十四度一を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は夜半にありて十七度八五を示し最低は午後一時乃至二時にありて十七度二五を示せり而して其較差は零度六〇なり

地中六十糎の温度　平均は十六度五八にして平年に比すれば零度四八低く月中の最高は三十日午前二時より翌三十一日午前一時に於て十九度一を示し最低は一日午前一時乃至四時に於て十四度四を示せり但し此深さにありては殆ど一日中の變化を認め難し

以上列記する地中温度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時、地中十糎にありては午後五時、同二十糎にありては午後八時より九時、同三十糎にありては夜半に生し最低は地皮にありては午前五時、地中十糎にありては午前七時、同二十糎にありては午前十時、同三十糎にありては午後一時乃至二時に生せり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地温　平均は七度三六にして平年に比すれば一度四九低く月中の最低は十五日午前五時の二度〇なり

天氣日數

快晴は九日にして平年より四日多く曇天は七日にして平年より四日少く電雷は一日にして平年に等し

尚詳細は左に掲くる氣象觀測成績表を參照すべし

濕度の平均は七十、七にして平年に比すれば三、二少く月中の最少は二十四日午後二時に於て三十を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前四時にありて八十五、六を示し最少は午後一時にありて五十六、八を示せり而して其較差は二十八、八なり

飽差の平均は毎立方米中四瓦五二にして平年に比すれば零瓦二八多く月中の最多は廿一日正午に於て十四瓦四を示し最少は十四日午前四時乃至五時にありて零瓦三を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後二時にありて七瓦九三を示し最少は午前四時乃至五時にありて一瓦五四を示せり而して其較差は六瓦三九なり

風

平均速度は毎秒四米五六にして平年に比すれば零米一四強く月中の最大速度は八日夜半の毎秒二十米四（一間平方面を垂直に壓する力は四十四貫百目）の西風なり又強風以上の吹きたる日數は九日にして平年より一日少く其時數は四十五時にして平年より十一時多し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後一時乃至二時にありて六米七八を示し最小は午前四時乃至五時にありて二米八二を示せり而して其較差は三米九六なり、風向は北東風最も多く南西及西風之れに亞げり而して南東風は少し之れを平年にすれば北風は少く西及南西風は多し

雲量及日照時數

雲量の平均は四、八にして平年に比すれば一、三少く日照時數は二百六十時九五にして平年に比すれば三十六時七六多く一日中に於て日照時間の最も長かしは十五日の十二時一五なり

降水及蒸發量

降水日數は十二日にして平年に等しく其水量は五十五粍五にして平年に比すれば八十九粍八少く一日中の最多量は六日の二十五粍〇、一時間の最多量は八日午後十一時乃至夜半の四粍八なり、又蒸發總量は百五十四粍三にして平年に比すれば五粍一多く一日中の最多量は九日の七粍九なり

地中温度及最低地温

地皮温度の平均は十八度五一にして平年に比すれば一度〇三低く月中の最高度は二十八日正午に於て四十五度六を示し最低は一日及十一日の午前五時に於て六度六を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて三十度〇五を示し最低は午前五時にありて十度九九を示せり而して其較差は十九度〇六なり

地中十糎の温度　平均は十七度七七にして平年に比すれば零度九二低く月中の最高は二十八日午後五時に於て二十四

大阪測候所月報

大正六年五月

大阪氣象概況

五月は前月來氣溫上昇し稍々夏季の狀態に移り主として南西の風吹き降雨は前月より稍々減少すれとも此月は氣候變遷期にして高低氣壓の去來繁く爲めに天氣の變化甚だ多く同一の天氣を持續すること極めて少く且つ暖冷定らすして往々不順の氣候を呈することあり、然り而して本年五月の氣候を調査するに平年より稍々冷氣にして日照時數多く降雨は少く平年の半に達せす而して強風は稍々多かりし

今各氣象要素に就き詳記すれば左の如し

但本項に記する所の平年は築港に於て最近六箇年の平均なり

氣壓

平均は七百五十八粍七四にして平年に比すれば一粍二七低く日々の變化は氣象圖に示すが如く顯著なる昇降は二回にして他は微なりき、而して月中の最高は十九日午前七時乃至十時及二十日午前七時乃至八時に於て七百六十五粍七を示し最低は八日午後十一時に於て七百五十粍九を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前八時にありて七百五十九粍五〇、第一の最低は午後四時乃至五時にありて七百五十七粍八二を示し第二の最高は午後十時にありて七百五十八粍九七、第二の最低は午前三時にありて七百五十八粍六五を示し其主なる最高低の較差は一粍六八なり

氣溫

平均は十六度四七にして平年に比すれば零度九七低く平均氣溫日々の變化は氣象圖に示すが如く四日、二十一日より二十三日、二十七日より二十八日の六日間は高かりしも其他は皆平年より低く月中の最高は廿日午後二時頃に於て二十六度〇を示し最低は十一日午前五時頃に於て六度四を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて二十度七を示し最低は午前五時にありて十一度八六を示せり而して其較差は八度八四なり

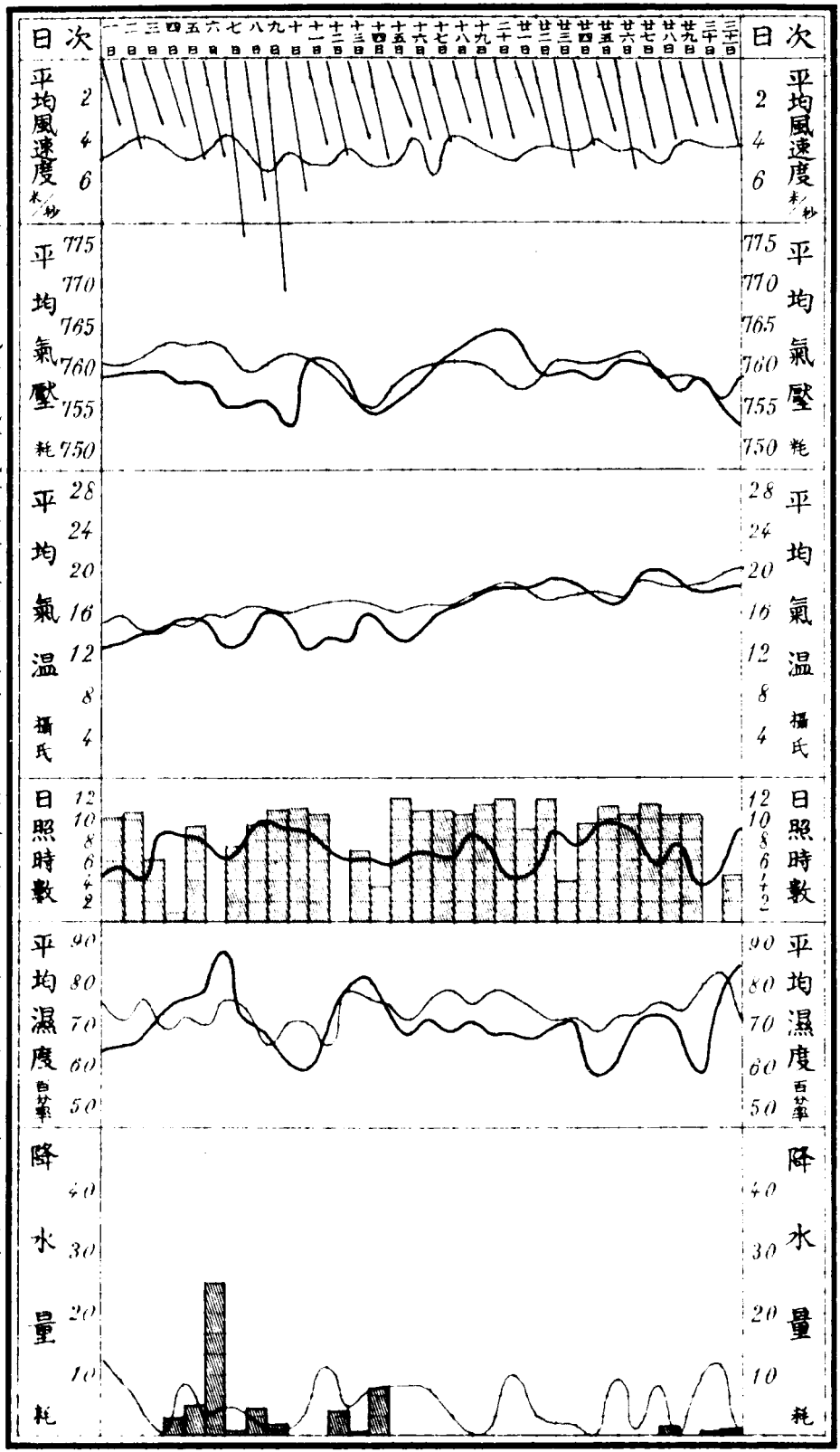
水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は九粍七九にして平年に比すれば一粍二六少く月中の最高は二十一日夜半に於て十四粍六を示し最低は十日午前十一時に於て五粍五を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて十粍二五を示し最低は午前五時にありて八粍九八を示せり而して其較差は一粍二七なり

大阪氣象圖

大正六年五月　　May. 1917

本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス　風速度、氣壓、氣温、濕度、ハ本年――平年――　日照時數ハ本年[illegible]平年――　降水量ハ本年▬▬平年――



大阪府管内氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡市	町村	緯度	經度	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	三四度一九分	一三五度〇九分	上出源助
上之鄉	全	國泉南郡上之鄉村	三四度二三分	一三五度一八分	島塲留藏
岸和田	全	國泉南郡岸和田町	三四度二七分	一三五度二三分	森內清次
長承寺	全	國泉北郡鳳村	三四度二二分	一三五度二七分	前川由太郎
濱寺	全	國泉北郡高石村	三四度二二分	一三五度二六分	今井富次
堺	全	國堺市車ノ町	三四度三五分	一三五度二九分	吉村正輔
天王寺	攝津國大阪市南區天王寺		三四度三九分	一三五度三一分	加藤昭純
大阪	全	國大阪市內區一條通	三四度三九分	一三五度二六分	府立大阪一等測候所
福島	全	國大阪市北區上福島	三四度四二分	一三五度二九分	笠谷正三郎
新庄	全	國四成郡新庄村	三四度四五分	一三五度三一分	小林雅文
秦野	全	國豐能郡秦野村	三四度四九分	一三五度二六分	藤重元太郎
妙見山	全	國豐能郡東鄉村	三四度五六分	一三五度二八分	阪部文二郎
東鄉	全	國豐能郡東鄉村	三四度五七分	一三五度二九分	大原仁之助
天王	全	國豐能郡根根莊村	三五度〇二分	一三五度二三分	高橋政次郎
茨木	全	國三島郡茨木町	三四度四九分	一三五度三四分	那須庫之助
清水	全	國三島郡清水村	三四度五三分	一三五度三六分	山本義一
枚方	河內國北河內郡枚方町		三四度四九分	一三五度三九分	家村八五郎
田原	全	國北河內郡田原村	三四度四三分	一三五度四二分	今井由太郎
八尾	全	國中河內郡八尾町	三四度三八分	一三五度三六分	水谷芳松
柏原	全	國南河內郡柏原村	三四度三五分	一三五度三七分	農事試驗支場
富田林	全	國南河內郡富田林町	三四度三〇分	一三五度三七分	塔嵜幸太郎
長野	全	國南河內郡長野町	三四度二七分	一三五度三五分	松本遠水

例言

一本報は當測候所及管內各觀測所に於て觀測したる每月の氣象を調査し之れを揭載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管內各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍（曲尺三厘三毛）を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には（一）を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘じ五にて除じ三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量并に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上げて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦（グラム）（零點二七）にて示す

一溫度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百分とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一步面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米（曲尺三尺三寸）數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す卽ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は暴風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らず降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

Monthly Report
of The
Osaka Meteorological Observatory.

MaY 1917

大阪測候所月報

大正六年五月

第拾八年第五號

目次

○本年五月大阪氣象概況 附圖
○本年五月大阪府管內氣象概況
○本年五月大阪地震觀測概況
○五月八日より十日に至る暴風雨概況
○本年梅雨實況
○土用中の氣象概況
○遠州北部の地震
○南洋「マリアナ」群島附近の地震
○「アリウシアン」群島東方海底の地震
○當所の公開
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報適否

大正六年六月廿二日印刷
全　年六月廿五日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡市町村	一等級東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡多奈川村	百三十五度[illegible]分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市吾妻[illegible]通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市西區[illegible]江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	全木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
難波島	攝津國大阪市西區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	全木津川分署難波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
築港	攝津國大阪市西區安治川口	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署築港分署
大阪	攝津國大阪市西區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國西成郡傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三[illegible]警察署傳法分署
東鄉	攝津國豐能郡東鄉村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東鄉村役場

各運轉せしめて其實況を看覽に供したり

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀨ノ累年平均水位　二尺五寸七分
北河內郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　三尺三寸四分

四月	廣瀨 午前六時	廣瀨 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時	四月	廣瀨 午前六時	廣瀨 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時	四月	廣瀨 午前六時	廣瀨 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	四、〇	四、一五	四、一〇	四、一〇	十一日	四、〇〇	四、〇〇	三、七五	三、七五	二十一日	三、八〇	三、七五	三、一〇	三、一〇
二日	四、一五	四、一〇	四、〇〇	三、九五	十二日	四、〇五	四、〇〇	三、七五	三、七五	二十二日	三、七五	三、七五	三、一〇	三、〇五
三日	四、二〇	四、二〇	四、〇五	四、〇〇	十三日	四、三〇	四、三〇	三、八〇	三、七五	二十三日	三、六五	三、六五	三、〇〇	三、〇〇
四日	四、二五	四、二五	四、一〇	四、〇五	十四日	四、二〇	四、一五	三、八五	三、八〇	二十四日	三、五〇	三、五〇	三、〇〇	三、〇〇
五日	四、二五	四、二五	四、一五	四、一〇	十五日	四、一〇	四、〇五	三、九〇	三、八五	二十五日	三、四五	三、四五	二、九五	三、〇〇
六日	四、二〇	四、二〇	四、一〇	四、一〇	十六日	四、〇五	四、〇〇	三、九五	三、九〇	二十六日	三、四〇	三、四〇	二、九〇	二、九五
七日	四、一〇	四、一五	四、〇五	四、〇五	十七日	四、〇〇	四、〇〇	三、九五	三、九五	二十七日	三、三五	三、三五	二、九五	二、九五
八日	四、〇五	四、一〇	四、〇〇	四、〇〇	十八日	四、〇五	四、一〇	四、〇〇	三、九五	二十八日	三、三〇	三、三〇	二、九五	二、九五
九日	四、〇〇	四、〇五	三、九五	三、九五	十九日	四、〇〇	四、〇五	三、九五	三、九五	二十九日	三、二五	三、二五	二、九五	二、九五
十日	四、〇〇	四、〇〇	三、九五	三、九五	二十日	三、九五	三、九五	三、九〇	三、九〇	三十日	三、二〇	三、二〇	二、九五	二、九五

平均水位　廣瀨　二尺九寸
最高水位　廣瀨　四尺八寸　（一日午前六時）　大日　二尺三寸　四尺一寸五分　（一日午前六時）

地方天氣豫報暴風警報適否

種類	發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報 風向	三〇	二六	四	〇	九三
天氣豫報 天氣	三〇	二〇	一〇	〇	八三
天氣豫報 溫度	〇	一	一	一	一
暴風警報	一	一	〇	〇	一〇〇

せり其重なるものは左の如し

一內外國氣象比較圖

本圖は長さ約六尺幅約三尺に世界各國著名なる產業地の氣溫及雨量を比較したるものにして一目に氣溫の高低又は雨量の多少を知らしむる樣にしたり

一大阪の氣象變化圖

本圖は約幅二尺五寸長さ三尺のもの二枚にして一は大阪每月の氣象變化を示し一は大阪每時の氣象即ち一日中の變化を示したるものにして氣壓、氣溫、風速度、濕度等を現はし以て概略大阪の氣象狀態を知することゝせり

一氣壓及氣溫自記器

本圖は一個の時計仕掛けの圓筒に氣壓と氣溫の度盛ある紙を卷き之れに自記せしむる裝置なり故に一見せば時々刻々の氣壓と氣溫と變化を同時に知ることを得るものなり

一自記乾濕計

本器は一個の時計仕掛けの圓筒に氣溫の度盛ある紙を卷き之れに空氣の溫度と水の蒸發に依りて消耗する溫度とを自記せしむ此の二溫度の差大なる時は空氣乾燥し其差小なる時は空氣濕潤なり故に之れを一見せば時々刻々の空氣乾濕の度合を知り得るものなり

一暴風雨標式模型

是れは地方天氣豫報地方暴風警報と全國暴風雨標式とを模型し之れに各圖解を添付したるものなり

一高層氣象觀測成績圖

本圖は長さ約六尺幅約五尺のものに赤色にて風船球を模形し此の球を赤線にて繫ぎ下層より上層に於ける風の方向變化と球の間隔の長短によりて風力の強弱を示したるものなり而して第一圖は地上より上昇せしめたる概況を示し第二、三圖は風船球を上昇せしめ其位置を測り之れを上より見下したる有樣を作圖したるものなり

一氣球追跡用經線儀

本器は風船球を飛揚し一分時間每に其位置即ち高度と偏角を測り之れに依りて見下したる圖を作り以て上層の氣流變化を知るものなり之れに浮力測定秤及分度儀計算表を配し各說明を添付せり

又美術館前六角形天氣堂には四月及五月中に於ける世界大都市十ケ所計りの溫度、雨量を比較したる圖を配し之れに自記雨量計最高最低寒暖計、乾球濕球寒暖計、容盒晴雨計、電氣盤等と日本全國氣象區分圖、同日々の天氣圖、同天氣概況同天氣豫報及大阪の天氣豫報等にして屋上には風力計、風信器を備へ器械は

至三回にして六月九月は少く一回にして七月は皆無なりし

●太洋洲「トンガ」島東方の地震

技手　圓岡平太郎

五月二日午前三時過當所地動計は遠距離の地に發したる大震の波動を記錄せり其發震時は午前三時三十八分四十三秒にして第一初期微動の繼續時間は九分五十一秒第二は十一分九秒にして主要動となり最大振幅(東西動)は午前四時九分三十四秒に於て千七百九十八「ミクロン」振動期二十一秒六を現し後漸次微となり終期の微動に移り微震二回ありたるが故に總振動時間を知ること能はざりし卽ち次表に記するが如し

東西動地動計觀測

發現時			最大振幅(ミクロン)	振動期
初期微動	P	三時三八分四三秒	—	秒 —
	S	仝 四八分三四秒	—	—
主要動	L	仝 五九分四三秒	—	—
	M_1	四時〇九分三四秒	(一) 一七九八	二一、六
	M_2	仝 二二分〇八秒	(十) 五二五	一九、二
終期	F	?	—	—

今當所地動計の記錄に依りて震央地までの距離を計算するに大阪より約八千九百粁となり又東京帝國大學地震學教室の觀測に依れば東京より約八千三百粁其他測候所の觀測に依れば福岡より約九千百粁、臺北より約九千二百粁、仁川より約九千七百粁長春より約一萬四百粁にして是等を綜合し觀察するに其震源は本州の遙南東方卽ち太洋洲「トンガ」嶋の東方海底に發したるものなるべし而して大正二年六月二十六日同嶋附近に發したる大震に比すれば今回の方稍々強く振幅は約二倍に達せり

今各所にて地動計を以て觀測したる發震時と震央地までの距離を列記すれば左の如し

地名	發震時	震央地マデノ距離
東京	午前三時三八分一五秒	八三〇〇粁
大阪	仝 三時三八分四三秒	八九〇〇粁
福岡	仝 三時三八分五九秒	九一〇〇粁
臺北	仝 三時三九分〇〇秒	九二〇〇粁
仁川	仝 三時三九分一七秒	九七〇〇粁
大泊	仝 三時三九分二五秒	—
長春	仝 三時四〇分二三秒	一〇四〇〇粁

●當所の出品

技手　芝野彊

本年四月一日より五月三十一日まで大阪市天王寺公園にて第八回日本產業博覽會を開催せらるゝに付同會長より參考品の出陳方を當測候所へ依賴し來れり依て先づ塩所を本館(美術館)樓上正面に定め間口二間の硝子陳列棚を置き之れに出陳すること、

仝	十月一日	二一、九	北北西	一三	大正五年	一月廿四日	二〇、八	西	一六
仝	十一月廿八日	二〇、三	西	一三	仝	三月十七日	二〇、二	西北西	九
大正四年	一月八日	二〇、四	西	二二	仝	五月七日	二四、七	西	一七
仝	十三日	二一、三	西	五六	仝	十二月廿六日	二一、九	西	五二
仝	十四日	二〇、一	西		仝	廿七日	二六、八	西	
仝	廿九日	二〇、一	西	二二	大正六年	一月二日	二四、〇	西	一三六
仝	二月廿八日	二二、四	西	二二	仝	三日	二三、八	西北西	
仝	三月十四日	二九、一	西	二二	仝	四日	二二、六	西	
仝	五月十一日	二〇、二	南南西	四	仝	八日	二七、八	西	
仝	八月五日	二〇、四	東北東	二七	仝	二月十二日	二四、三	西南西	二七
仝	十月八日	二二、六	南西	二三	仝	十三日	二七、五	西	
仝	十二月十八日	二〇、一	西	二三	仝	十八日	二三、九	西	六六

上表に依りて看るに最も強かりしは大正元年九月月廿三日の暴風にして毎秒速度三十七米〇の西風なりとす而して之れに亞くは大正二年十月三日の三十五米六の北風とす

更に前表中明治四十四年より大正五年に至る六ヶ年間に就て毎秒風速度二十米乃至二十五米、二十五米乃至三十米、三十米以上の回數を擧くれは左の如し

毎秒速度 ＼ 月次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
二十米以上二十五米迄	一一	四	三	三	四	〇	〇	一	〇	三	三	三	三五
二十五米以上三十米迄	二	〇	二	一	〇	〇	〇	二	〇	〇	〇	一	八
三十米以上	一	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	一	一	〇	一	五
合計	一四	四	五	四	四	一	〇	三	一	四	三	五	四八

上表に示すが如く二十米以上の風は六ヶ年中に四十八回あり就中二十米乃至二十五米は三十五回、二十五米乃至三十米は八回三十米以上は五回ありたり又各月に就て看るに一月最も多く十四回二月より五月、八月、十月より十二月は略ほ同しく五回乃

る程度のものなれは其日子を調査して當業者の參考に資せんとす

本表は明治四十三年九月築港に移轉以來大正六年二月までの觀測に係る毎秒速度二十米以上に達せしものを記す

年月日	最大速度	風向	強風以上の吹續時間
明治四十三年十一月十日	二一、七	西	一四
仝 仝 十一日	二〇、四	南西	一四
仝 仝 十七日	二四、六	西	六六
仝 仝 十八日	二三、六	西	
仝 十二月二日	二一、二	西	二六
仝 仝 九日	二〇、〇	西	七六
仝 仝 十一日	二〇、二	西	
仝 仝 十二日	二一、一	西	
仝 仝 三十一日	二二、一	西	二
明治四十四年一月二日	二三、〇	西	六
仝 三月三日	二〇、六	西南西	四五
仝 四月十八日	二七、四	西南西	二五
仝 六月十九日	二〇、一	南西	七
仝 八月十六日	二九、三	南	九
仝 十月九日	二〇、七	西北西	一二
仝 十一月廿六日	二四、七	西北西	二三
仝 仝 廿七日	二三、〇	西	
明治四十五年二月三日	二三、四	西	二九
仝 仝 六日	二三、二	西	二三
仝 仝 十七日	二一、六	北北西	四〇

年月日	最大速度	風向	強風以上の吹續時間
仝 三月十八日	二三、三	西	一四
仝 四月十九日	二三、〇	西南西	七
仝 五月四日	二一、七	西南西	一三
大正元年八月廿四日	二七、九	南南西	一二
仝 九月廿三日	三七、〇	西南西	一〇
大正二年一月十二日	二〇、四	西北西	四二
仝 仝 廿九日	二一、四	西	二五
仝 四月廿三日	二〇、七	西	二一
仝 五月一日	二一、一	西南西	五
仝 十月三日	三五、六	北北東	八
仝 十二月十七日	三一、二	西	一六
仝 仝 三十一日	二一、〇	西	三〇
大正三年一月廿二日	二二、一	西	三七
仝 仝 三日	二〇、八	西南西	
仝 仝 七日	三四、三	西	三〇
仝 仝 八日	二八、五	西南西	
仝 仝 十四日	二七、三	西南西	二四
仝 仝 十五日	二〇、三	西南西	
仝 三月七日	二五、八	西南西	一七
仝 四月二日	二〇、二	北	二三

全	八月十七日	自午前零時四十二分至全零時四十七分	六、〇
全	四十四年九月十六日	自午前二時五十五分至全三時〇分	六、二
全	全	自午前三時〇分至全三時五分	一一、四
全	十月三日	自午後五時五十五分至全六時〇分	八、一
全	四十五年七月廿四日	自午前八時廿五分至全八時四十分	八、〇
大正	元年九月八日	自午前六時〇分至全六時五分	七、四
大正	二年五月一日	自午後二時廿五分至全二時廿分	七、一
全	三年七月三日	自午後四時廿五分至全四時四十分	八、二
全	七月十二日	自午前六時五十九分至全七時四分	一一、三
全	八月廿三日	自午後五時十六分至全五時廿一分	一四、一
全	四年六月廿日	自午後五時十五分至全六時〇分	七、〇
全	七月十一日	自午前二時廿五分至全二時四十分	八、四

當所に自記雨量計を設置せしは明治三十五年にして爾來十五年間に於て五分時間の雨量六粍以上に達したるは三十五回あり就中十粍以上は七回、八粍以上は九回、六粍乃至八粍は十九回なり而して最も多かりしは大正二年八月廿三日の十四粍一なりとす因に明治廿九年八月卅日の暴風雨の際は未た自記雨量計の設置なきか故に短時間の雨量を知るを得さりしも一時間の最多量は六十一粍八なれは平均五分時間の降水量は五粍一五にして就中豪雨なりし時刻にありては五分時間に十五粍内外と見て大差なかるべし

全	八月十日	自午後三時十五分至全三時廿分	六、〇
全	全	自午後七時〇分至全七時五分	六、三
大正	四年九月十三日	自午後二時廿五分至全二時四十分	八、三
全	十月二日	自午後十一時十分至全十二時十五分	一〇、〇
全	五年六月廿六日	自午後十一時廿五分至全十二時四十分	七、三
全	全	自午後一時廿五分至全一時四十分	六、五
全	九月十一日	自午後六時廿分至全六時廿五分	一一、八
全	全	自午後六時廿五分至全六時廿分	六、〇
全	全	自午後六時廿分至全六時廿五分	八、七
全	十月十三日	自午前八時〇分至全八時五分	七、〇
全	全	自午前八時五分至全八時十分	九、五

大阪の大風　風速度は地勢に依りて著しく差異あり大阪地方は瀬戸内海の東端にありて外海より距るゝか故に他の太平洋岸乃至日本海岸地方に比すれは概して弱し然れとも冬季は西乃至北西風強く毎秒速度十米（毎秒速度十米以上を強風、十五米以上を烈風、二十九米以上を颶風と云ふ）乃至十五米に達することは稀ならす然りと雖も毎秒速度二十米以上に達する時は當地方にては海上荷役不可能となり陸上にても大風として世人の注意す

仝　三十四年六月卅日	二九、八
仝　九月四日	四〇、四
仝　三十五年五月五日	二七、二
仝　六月七日	二一、五
仝　八月十一日	二一、五
仝　三十六年七月九日	三〇、三
明治三十六年九月十一日	二二、三
仝　三十七年六月六日	二〇、六
仝　三十八年六月十四日	二四、四
仝　八月十七日	三四、九
仝　三十九年七月十五日	三〇、五
仝　四十年六月廿九日	二〇、五
仝　七月十四日	三一、〇
仝　八月廿五日	二〇、二
仝　九月七日	二一、三
仝四十一年十二月廿二日	二二、四
仝　四十二年九月一日	二〇、五
仝　四十四年六月十九日	二九、六
仝　七月一日	二一、五
仝　十月三日	二四、八
大正元年八月廿四日	二三、四
仝　二年五月一日	二一、四
仝　三年八月廿三日	二二、〇
仝　四年八月十日	二二、五
仝　五年六月廿六日	二七、一
仝　九月十九日	三六、二
仝　十月十三日	四一、二

當所に於て毎時觀測を開始せしは明治廿二年にして爾來廿八年間に於て一時間の雨量廿粍以上に達したるは五十一回にして内五十粍以上に達したるは一回四十粍以上は二回、三十粍以上は十回二十粍乃至三十粍は三十八回なり而して最も多かりしは明治廿九年八月卅日の六十一粍八なり

五分時間の雨量六粍以上

年月日	時刻	雨量
明治卅五年五月五日	自午後零時卅五分 至仝零時四十分	七、八
仝　三十六年七月廿三日	自午後一時十五分 至仝一時廿分	六、三
仝　三十六年九月十一日	自午後九時廿五分 至仝九時卅分	七、〇
仝　三十八年七月廿六日	自午後十一時廿三分 至仝十一時廿八分	六、五
仝　八月十七日	自午前五時卅五分 至仝五時四十分	七、〇
仝　卅九年七月十五日	自午後四時四十五分 至仝四時五十分	一〇、〇
明治四十年七月十四日	自午後一時五十二分 至仝一時五十七分	七、五
仝　四十一年八月十八日	自午後二時卅五分 至仝二時四十分	八、四
仝　四十三年七月三日	自午前零時四十五分 至仝零時五十分	六、七
仝　八月四日	自午前五時卅分 至仝五時卅五分	八、二
仝　八月十日	自午後四時五十五分 至仝五時〇分	一〇、〇
仝　仝	自午後五時〇分 至仝五時五分	七、五

一日中の雨量百粍以上

年月日	雨量	年月日	雨量	年月日	雨量
明治十七年七月十六日	一三一、五	明治廿二年四月廿六日	一〇一、七	全　三十五年五月五日	一三二、一
全　十八年六月十七日	一〇六、九	全　廿二年八月十九日	一三五、五	全　三十六年七月八日	一三〇、四
全　十八年六月卅日	一〇〇、五	全　廿九年八月卅日	一七四、七	全　三十八年六月十四日	一一五、二
全　十八年七月一日	一一二、五	全　卅二年九月八日	一〇〇、〇		
全　廿年十月七日	一三三、〇	全　卅三年七月八日	一〇五、三		

上表に示すが如く當所創立以來三十四年間に於て一日中百粍以上の大雨のありたるは十三回にして最も多かりしは明治廿九年八月卅日の百七十四粍七なり

一時間の雨量廿粍以上

年月日	雨量	年月日	雨量	年月日	雨量
明治廿二年四月廿六日	二〇、一	全　九月十九日	二五、五	全　八月卅日	六一、八
全　七月廿一日	二三、六	全　廿七年六月廿一日	二〇、五	全　十一月十六日	二三、四
全　八月十九日	二〇、六	全　八月十九日	三六、五	全　三十年七月十七日	三〇、一
全　廿四年六月廿四日	二八、一	全　廿八年六月廿七日	二六、三	全　九月二日	二四、九
全　廿五年六月廿二日	二七、五	全　九月十三日	二八、六	全　卅一年六月廿六日	二四、〇
全　七月九日	二七、四	全　十月一日	二二、八	全　卅二年六月卅日	二六、七
全　八月廿七日	三〇、五	全　廿九年七月廿日	二〇、一	全　七月廿二日	三五、六
全　廿六年八月一日	二一、六	全　七月廿一日	二〇、一	全　三十三年七月八日	三九、〇

四月廿八日											
午後八時	七四五、〇	二、五	西南西	一六、三		曇	四月廿九日	午前九時	七四八、五	二、七	西	一九、二		曇
全 九時	七四五、二	二、六	西南西	一五、五		曇	全	全 十時	七四八、七	三、四	西	二〇、五		雲
全 十時	七四四、九	二、四	西南西	一五、三		曇	全	全十一時	七四九、一	三、〇	西	二一、八		曇
全十一時	七四四、〇	三、三	西南西	二〇、三		曇	全	正午	七四九、一	三、三	西	一九、四		曇
夜半	七四五、一	二、七	西	一九、六		曇	全	午後一時	七四九、二	三、五	西	一七、〇	〇、〇	雨
午前一時	七四五、一	二、八	西	一七、五	〇、〇	雨	全	全 二時	七四九、三	三、七	西南西	一五、二	〇、〇	雨
全 二時	七四五、二	二、六	西南西	一九、三	〇、二	晴	全	全 三時	七四九、七	二、四	西南西	一五、四	〇、〇	雨
全 三時	七四五、二	二、九	西	一九、一		快晴	全	全 四時	七五〇、五	二、七	北	二一、五	〇、一	曇
全 四時	七四五、三	二、八	西南西	二四、四		晴	全	全 五時	七五一、五	二、三	北	五、二	〇、一	雨
全 五時	七四五、六	二、九	西	二四、三		曇	全	全 六時	七五二、四	一〇、八	北	八、三	〇、二	雨
全 六時	七四六、六	一〇、九	西南西	三、三		曇	全	全 七時	七五三、九	九、三	北	二、七		曇
全 七時	七四七、三	一一、一	西南西	三、四		曇	全	全 八時	七五五、二	八、四	北	七、八		曇
全 八時	七四七、八	一一、二	西	三、六		曇	全	全 九時	七五五、九	八、四	北北西	五、〇		曇

●大阪の大雨と大風とに就て

技手 山田顯吉

大阪にて測候事業を開始せしは明治十二年六月にして專ら勸業上の必要に基けり然れとも當時は設備未た完全ならすして僅かに一日三回溫度、風、天氣の觀測をなすに過きさりき爾後農商務、內務の兩省に稟請し許可を得て測候所と稱するに至り明治十五年七月より完全なる觀測を始むるを得たり依て明治十六年より大正五年に至る三十四年間の觀測に依り大阪の大雨を記すれは左の如し

大阪の大雨　雨は地勢に依りて差異あり州南諸嶋及九州、四國、紀伊半嶋の南部は最も多く日本海沿岸なる加、能、越地方は之れに亞きて多きも瀨戶內海沿岸は少く卽ち大阪地方は比較的寡雨の部にあり而して一日中の雨量最大と雖も百粍以上に達するは甚た稀にして大雨と云ふを得べく又一時間の雨量二十粍以上、又は五分時間の雨量六粍以上に達するも亦た大雨と云ふを得べければ左に此三者を表記し當業者の參考に供せんとす

●四月廿八日より廿九日に至る暴風雨概況

技手　大橋龍太郎

四月二十六日朝揚子江の中流に顯はれたる低氣壓は東北東に進み二十七日支那東海及び對馬海峽を通過し益々發達して二十八日朝嶋根縣温泉津附近に到りたる頃は其中心示度七百四十粍に下降しそれより進路を北東に轉し能登半嶋を掠め尚も發達し二十九日朝津輕海峽の西方に至りて七百三十六粍となり遂に北海道東方洋上に去れり又二十七日朝台灣の南東方海上に顯はれたる颱風は北東に進行して支那東海に入り二十八日土佐沖に來り本州中部を通過して二十九日太平洋中に去れり

前記兩低氣壓の通過に際し本邦各地に顯著なる暴風雨を起し多大の損害を被りたる所あり海上にても波浪高く漁舟船舶の沈沒又は遭難せしもの亦尠からずと云ふ宗谷にては二十九日午前十一時毎秒速度四十米六に上り布良にては同日午前十一時に毎秒速度二十五米四に達し其他風力の二十米以上に達したる所多かりし

大阪にては二十七日朝より氣壓下降し初め二十八日午前一時より下降急となり同日午後一時七百四十二粍七の最低に達し後漸次に上昇せり風は二十八日朝來東より南を經て西に逆轉するに從ひ增力し午後一時氣壓の最低に達する頃より烈風となり二十九日午前四時最も强く毎秒速度二十四米四に達し午後七時まで吹き續けり其時數は二十九時にして內烈風二十四時間强風五時間なり雨は二十八日午前二時五十七分より降り初め午後二時五十分まで斷續せり其雨量六粍一なり而して其後も時々降雨ありしが其量僅少なりし

更に每時觀測の結果を記すれば左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣	月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
四月廿八日	午前八時	七四七、一	一五、三	東北東	七、三	〇、四	雨	四月廿八日	午後二時	七四二、九	一四、八	西	一四、八	〇、二	雨
全	全 九時	七四五、〇	一七、〇	東北東	八、一	〇、六	雨	全	全 三時	七四三、三	一四、〇	西	一三、三	〇、〇	曇
全	全 十時	七四四、五	一八、一	南東	八、五	〇、四	雨	全	全 四時	七四三、七	一四、七	西	九、二	一	晴
全	全十一時	七四三、九	一八、八	南	五、三	〇、三	雨	全	全 五時	七四四、四	一五、〇	西南西	五、一	一	快晴
全	全 正午	七四三、〇	一六、九	西南西	七、七	〇、一	雨	全	全 六時	七四四、五	一四、四	西南西	四、六	一	晴
全	午後一時	七四二、七	一五、一	西	一五、二	三、五	雨	全	全 七時	七四四、七	一三、八	西南西	三、三	一	曇

にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

三七　四月十七日午前零時五分零秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十四秒にして主要動となり最大振幅は午前零時六分三十七秒に於て二十二「ミクロン」振動期一秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は九分五十八秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は紀伊水道附近に發したるものにして和歌山、德島にては性質急なる微震を感じ多度津、宮津、彦根、津にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

三八　四月二十一日午前九時五十八分三十八秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は九分四秒第二は九分三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前十時二十分五十五秒に於て十「ミクロン」振動期九秒六、南北動は午後十時二十分四十七秒に於て十二「ミクロン」振動期十秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は五十二分三十五秒南北動は五十七分二十二秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源詳ならされども陸中の水澤にては午前九時五十八分五十三秒に此地震を觀測せりと云ふ

三九　四月二十一日午後零時五十五分二十秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分五十三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後零時五十八分三十九秒に於て百三十「ミクロン」振動期四秒八南北動は午後零時五十七分五十九秒に於て百四十五「ミクロン」振動期五秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十分五十九秒南北動は三十三分十五秒なり

附記　此地震は三陸沖に發したるものにして震域廣く北方は北海道に南方は東京灣に南西方は名古屋、津に及び有感覺微震部は一萬七千五百九十方里に達せり而して微動は遠く九州及樺太に達したり

四〇　四月二十九日午後八時四十五分四十秒の地震

此地震は最初極めて緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は十分五十七秒第二は九分五十三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後九時十五分五十六秒に於て百四十五「ミクロン」振動期七秒七、南北動は午後九時十一分四十秒に於て百二十八「ミクロン」振動期十二秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時三分五十六秒南北動は一時三分五十九秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳なら

り●二十一日概ね晴天大阪、枚方に強風吹けり●二十二日概ね晴天、所々に霜あり●二十三日概ね曇天、午後より雨降る●二十四日概ね晴天、深日、大阪、新庄、天王、枚方、柏原に強風吹けり●二十五日概ね晴天、深日、大阪、秦野、茨木、八尾に強風吹けり●二十六日概ね晴天大阪、東郷、田原に霜あり●二十七日概ね晴天、大阪、柏原に強風吹けり●二十八日未明より雨降り午後歇む、所々に強風吹けり●二十九日未明より雨降り午後歇む、一般に強風吹けり●三十日概ね晴天、秦野、東郷に霜あり因に記す此の日大阪附近の芦原にも晩霜を認めたり

大阪地震觀測概況

爰に記する所のものは主として大森式地動計（東西及南北動二十倍）を以て觀測したるものを記し、極微なる地震にありては百廿倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如しPは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動全上、Lは長波即ち主要部全上、Mは主要部の最大動、Cは終期の最大動、Fは振動の終とす又十は南北動にありては北、東西動にありては東、(一)は南北動にありては南、東西動にありては西なり振幅は「ミクロン」一粍の千分一を以て記す

本月は地震少く其數僅に六回にして人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感じたるものも亦一回もなかりしが無感覺地震にして地動計又は微動計に感じ震源の本邦内にありたるものは四回即ち三陸沖、本州東海岸、伊勢海紀伊水道の各一回なり又遠距離地震は二回にして未だ震源は詳ならず今其觀測概況を列記すれば左の如し

三五　四月一日午前十時四十分二十三秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前十時四十二分三秒に於て四十二「ミクロン」振動期三秒四、南北動は午前十時四十二分九秒に於て二十八「ミクロン」振動期二秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十三分十秒南北動は十四分十五秒なり

附記　此地震は本州東海岸沖に發したるものにして水戸、福島、東京、沼津、名古屋にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

三六　四月八日午後九時五十一分五十秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十一秒にして主要動となり最大振幅は午後九時五十二分四秒に於て六十二「ミクロン」振動期一秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は三分二十四秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震伊勢海に發したるものにして伊勢の津にては性質急なる微震を感じ地鳴を伴ひ京都にては微震を感じ彦根、名古屋

十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	全月
—	—	—		—	—	一〇、八	—	—	—	七、八	八、九	—	—	六七、九
—	—	—	—	—	—	一七、〇	—	—	—	三、四	二、〇	—	—	七四、六
—	—	—	—	—	—	一五、六	—	—	—	二、〇	七、三	—	—	六八、八
—	—	—	—	—	—	一三、八	—	—	—	—	三、二	〇、四	—	七四、七
—	—	—	—	—	—	三、六		—	—	一、七	五、〇	〇、五	—	六一、七
—	—	—	—	—	—	一〇、三	—	—	—	一、三	四、三	〇、〇	—	六三、三
—	—		—	—	—	一〇、〇	—	—	—	一、〇	四、一		—	七三、一
—	—		—	—	—	四、六	—	—	—	二、〇	三、八	〇、三	—	六三、〇
—		—	—	—	—	六、一		—	—	一、七	七、五	〇、五	—	六七、四
—	—	—	—		—	四、〇		—	—	一、〇	一〇、〇	三、四	—	七〇、一
—	—	〇、三	—	—	—	四、一		—	—	一、八	七、三	一、五	—	七五、八
—	—	—	—	—	—	一、三		—	—	一、〇	八、〇	〇、四	—	一〇〇、九
—	—	—	—	—	—	四、一	—	—	—	一、〇	五、九	〇、八	—	八七、〇
—	—	—	—		—	七、五	—	—	—	〇、〇	四、五	—	—	六五、一
—	—	—	—	—	—	三、七		—	—	一、〇	一三、〇	—	—	七七、五
—	—	—	—	—	—	三、一	—	—	—	二、二	九、〇	—	—	六九、五
—	—	—		—	—	七、〇	—	—	—	〇、五	三、三	六、七	—	六三、八
—	—	—		—	—	一〇、[illegible]		—		二、〇	一〇、八	四、〇	—	八八、二
—	—	—	—	—	—	一二、〇	—	—		一、〇	六、〇	五、一	—	七九、〇
—	—	—	—	—	—	三、〇	—	—	—	〇、四	五、四	九、五	—	六九、一
—	—	—	—	—	—	九、五	—	—	—	一、〇	六、〇	一、〇	—	五五、四
—	—	—	—	—	—	七、一	—	—	—	一、二	八、二	一、三	—	五四、六

管內天氣摘要

●一日概ね晴天、東郷に霜あり●二日概ね晴天、八尾に霜あり●三日概ね雨天●四日概ね晴天●五日概ね晴天●六日晴曇相半し、柏原に強風吹けり●七日概ね曇天なりしが正午頃より雨降り午後に至り歇む、山間部に雷鳴あり●八日概ね晴天、天王、茨木に強風吹けり●九日概ね晴天、富田林に霜あり●十日未明より雨降り概ね午前歇み、大阪に強風吹けり●十一日概ね晴天●十二日概ね曇天、午後より雨降り翌日に亘る●十三日前日來の雨午前歇み、深日、大阪に強風吹けり●十四日概ね曇天、午後より雨降り翌日に亘る、柏原に強風吹けり●十五日前日來の雨斷續して翌日に亘る、大阪、秦野に強風吹けり●十六日前日來の雨午前歇み、天王に濃霧あり●十七日概ね晴天●十八日概ね晴天●十九日概ね晴天●二十日晴曇相半し、柏原に強風吹け

第四表　管内降水日量

四月	深日	上之郷	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	秦野	妙見山	東郷	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	—	—	—	〇.三	—	—	—	〇.〇	—	—	—	—	〇.二	—	—	—	—	—	〇.三	〇.三	—	—
二日	一.三	一.〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.二	—	—	—	〇.六	〇.九	—	—
三日	三.〇	—	一.二	一.七	一.二	一.二	〇.五	〇.五	〇.五	〇.四	〇.〇	—	—	〇.二	—	—	〇.〇	—	—	—	一.四	—
四日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
五日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
六日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七日	八.四	五.〇	一四.八	一八.〇	一四.二	八.四	一六.〇	一七.〇	一八.六	一〇.〇	二五.八	四〇.五	二二.五	一四.二	一五.〇	一三.五	一七.五	二.五	一.二	一.〇	一.〇	一〇.一
八日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九日	三.五	三.二	四.二	三.六	四.〇	三.三	一〇.〇	六.七	五.五	四.〇	二.〇	一.三	一.五	一.五	二.〇	一.五	三.〇	三.〇	一.六	三.五	一.三	一.〇
十日	〇.四	—	〇.四	一.〇	〇.五	一.〇	〇.五	〇.〇	〇.〇	〇.〇	〇.〇	—	—	—	〇.九	〇.九	一.八	一.八	〇.三	一.六	一.三	一.八
十一日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十二日	二.二	二.〇	二.〇	二.〇	九.二	二.三	八.〇	八.八	八.六	七.六	七.六	二.〇	一〇.三	九.〇	九.〇	七.一	九.〇	九.七	二.二	一.〇	一.〇	二.〇
十三日	—	—	—	〇.三	一.〇	一.〇	二.〇	〇.〇	—	〇.二	—	—	—	—	—	—	〇.一	—	—	〇.三	〇.三	—
十四日	四.二	二.七	二.七	三.八	三.六	五.二	四.〇	二.九	二.三	二.〇	〇.六	五.〇	五.五	四.八	二.二	三.一	三.〇	一.二	一.〇	二.九	三.〇	一.八
十五日	八.五	二.〇	一〇.五	八.五	九.三	三.一	二.五	二.六	二.二	一.〇	二.〇	三.五	二四.二	二九.〇	二三.五	二九.〇	二五.〇	二五.〇	二.五	七.九	五.六	八.〇
十六日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

を最多とし同東郷の二十三粍五之れに亞げり又日量の二十ヶ所にして其他は十九粍(　)より十一粍一の間にあり粍以上なりしは新庄、秦野、茨木、清水、枚方、田原の六

第三表　管内全月氣象觀測成績

（表中▲印は高又は多）

觀測所	空氣ノ溫度 平均最高	空氣ノ溫度 平均最低	空氣ノ溫度 平均本年平年比較	空氣ノ溫度 極最高起日	空氣ノ溫度 極最低起日	降水 總量本年平年比較	降水 最多日量	降水 最多日量起日	天氣日數 氣溫	天氣日數 濕度	天氣日數 雲量	天氣日數 最多風向	天氣日數 降水	天氣日數 雪	天氣日數 霰	天氣日數 雹	天氣日數 霜	天氣日數 靄	天氣日數 地震	天氣日數 快晴	天氣日數 曇	天氣日數 風
深日	一八、七	九、一	一三、九▲	〇、五	三、四	六、九	二、三	五、一	七	五、三	北	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三	五	四
上之郷	一八、六	八、三	一三、四	—	二、〇	七四、五	一七、〇	二、三	九	四、九	北	九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四	六	一
岸和田	一七、八	八、四	一三、一	〇、三	三、四	六八、八	一八、〇	二、三	八	五、三	北	一〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	六	二	二
長承寺	一八、二	七、三	一三、八	〇、七	二四、一六	五一、〇	一八、〇	二、三	七	五、三	北	三	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	九	〇	二
濱寺	一八、四	七、六	三、〇	一	二四、九▲	—	—	—	—	—	北東	一〇	—	—	—	—	—	—	—	一六	一〇	一
堺	一九、〇	八、一	一三、六	〇、〇	二三、九六	五三、〇	一八、〇	二、三	七	五、三	北東	一〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一〇	九	二
天王寺	一九、〇	八、三	一三、六	〇、一	二三、六六	五三、五	一七、〇	二、三	七	五、三	西	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	八	八	一
大阪	一八、〇	八、七	一三、六	〇、二	二三、七六	七八、五	一七、〇	二、三	七	五、三	北東	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	八	一〇	二
福島	一九、二	八、二	一三、六	〇、四	二三、六六	六七、四	一八、六	二、三	七	五、三	北東	一〇	〇	〇	〇	〇	二	〇	〇	七	一〇	三
敷庄	一八、四	七、八	一三、一	〇、四	二三、九七	七一、一	一九、〇	二、三	七	五、三	東	一	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	七	一〇	三
秦野	一八、三	六、七	三、〇	〇、八	二三、九九	五五、八	一七、〇	二、三	七	五、三	北東	一〇	〇	〇	〇	〇	二	〇	〇	八	一〇	四
妙見山	一四、五	三、〇	八、八	一、〇	二〇、五九	一〇、九	三、〇	二、二	二	一四、三	北	三	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	九	〇	〇
東郷	一八、一	五、五	一一、七	〇、二	二二、九九	六二、四	一四、〇	二、二	七	一四、三	北	一〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	八	一〇	三
天王	一五、五	四、四	一〇、〇▲	〇、二	二二、九九	六二、二	一四、〇	二、二	七	一四、三	南東	八	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	一〇	一〇	二
茨木	一九、四	五、三	一二、五	〇、一	二三、六六	七三、五	一四、〇	二、二	七	一四、三	南西	一〇	〇	〇	〇	〇	二	〇	〇	八	一〇	二
清水	一八、四	六、七	三、六	〇、一	二三、六六	七七、五	一四、〇	二、二	七	一四、三	南	九	〇	〇	〇	〇	二	〇	〇	八	一〇	二
枚方	一九、五	七、二	一二、四	〇、四	二三、五三	一〇五、七	二〇、三	二、二	七	一四、三	北西	一〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	一四	一〇	四

三十日	一三、九	一三、一	一三、四	一四、〇	一四、五	〇、八
全月	一三、五	一三、六	一三、五	一三、四	一三、〇	四、一

朝薄露あり、午後三時四十五分より同五時四十分迄日暈る、午後七時五十分より同九時　五分迄月暈現る

大阪府管内氣象概況

前既に述へたるか如く四月は氣候變遷期にして高低氣壓の來去頻繁なるか故に天氣の變化甚しく一暖一冷交々來り不時の寒氣を催ふし桑葉、茶芽等の凍害を被るは概ね此の時期にあり而して本年四月の氣候を調査するに一日及二日は寒冷にして月中の最低に達したる所多く北部妙見山は零下二度一に下降したりしも三日より中旬の半頃迄は溫暖にして特に上旬に於て著しく西部枚方は最高二十五度四を示し南及東部地方も概ね二十五度に達せしか中旬以後は復々寒冷となり十九日、二十日は溫暖にして第二の最高を現はせしと雖も其他は一般に平年より低く三十日には晩霜を認めたる所あり而して降水量は上半月に稍々多きも下半月は兩三回の降雨ありしのみなりしを以て其量著しく少く平年の半に達せさる所多かりし要するに本年四月の氣候は上半月は溫暖にして濕潤なりしか下半月は寒冷にして降雨も少なかりき更に氣溫、降水量等に就き詳記すれは左の如し

氣溫

平均は南部深日の十三度九及東部八尾の十三度八より北部妙見山の八度八の間にありて之れを平年に比すれは大差なきも深日、天王、柏原は稍々高く其他は低き方にあり而して最高は上旬及中旬に現はれ西部枚方の二十五度四、東部八尾、柏原、富田林の二十五度〇を高極とし其他は二十四度八より二十度四の間にあり又最低は其起日區々にして上旬の始め及下旬の末に現はれたるもの最も多く北部妙見山の零下二度一、同東郷の零下一度八を低極とし同天王の零下一度〇、東部田原の零下零度三之れに亞き其他の山間部は零度五より二度五、平坦部より沿海部地方は三度內外なり之れを要するに本月の氣溫は最高二十五度四より最低零下二度一の間にありて其較差は二十七度五に達せり

降水

總量は北部妙見山の百粍九より東部長野の五十四粍五の間にありて之れを平年に比すれは著しく少なく北部天王及西部枚方地方は平年の約三分の一其他と雖も平年の二分の一に達せさる所多し而して日量の最多は七日、十二日、及十五日の降雨の際に現はれ北部妙見山の四十粍五

五日	一五、三	一三、八	一三、〇	一三、三	一二、一	六、五	前夜來の月暈午前三時十五分消め、午前七時より午後五時迄烟霧あり、夜薄露あり
六日	一五、一	一四、三	一三、六	一三、〇	一二、六	五、八	朝露あり、午前八時より正午迄烟霧あり、午前九時四十五分より十一時二十分迄及午後二時五十分より同四時十五分迄日暈現る、午後七時五十分より月暈現はれ翌曉に亘る
七日	一二、九	一二、六	一三、七	一三、四	一三、一	一、九	前夜來の月暈午前三時二十分消め、朝薄露あり、午前八時烟霧あり、午前十時五十八分より降雨斷續し午後五時五十分歇む、午後七時五十分より同八時四十三分迄月暈現る、午後零時五分より同十分迄四方に濃霧あり
八日	一二、四	一二、九	一三、二	一三、六	一三、二	三、二	午前一時五十分より同二時三十五分迄及午後九時四十五分より月暈現れ翌曉に亘る
九日	一三、八	一三、一	一三、一	一三、三	一三、二	〇、四	前夜來の月暈午前三時五十分消め、午前九時より十時迄烟霧あり、午前十時四十分より午後六時二十分迄日暈現る、午後九時四十五分より十時三十分迄月暈現る、午後十一時五十五分より微雨翌曉に亘る
十日	一四、一	一三、八	一三、二	一三、九	一三、三	八、[illegible]	前夜來の降雨斷續し午前十時四十分歇む、午後八時より九時迄強風吹けり
十一日	一三、九	一三、五	一三、四	一三、五	一三、八	一、九	朝薄露あり、午後一時烟霧あり、夜薄露あり
十二日	一三、三	一三、三	一三、五	一三、四	一三、八	四、三	朝薄露あり、午前二時四十五分より同四時三十分迄月暈現る、午前六時十分より同七時二十分迄及同十時四十五分より午後零時十五分迄日暈現る、午後七時二十分より小雨翌曉に亘る
十三日	一三、六	一三、七	一三、四	一三、三	一三、九	七、五	前夜來の小雨午前十一時三十分歇む、午前十一時より午後一時迄強風吹けり
十四日	一三、八	一三、七	一三、六	一三、六	一三、一	八、〇	午前一時五十八分より同四時十八分迄月暈現る、午後一時三十分より小雨斷續し同八時四十五分歇む
十五日	一三、八	一三、六	一三、六	一三、六	一三、一	九、〇	午前一時四十分より降雨斷續し翌曉に亘る、午前十一時強風吹けり
十六日	一五、二	一四、七	一四、一	一三、八	一三、二	六、六	前日來の小雨斷續し午前八時二十一分歇む、午前十時五十分より同十一時二十五分迄及午後一時四十分より同四時二十分迄日暈現る、夜薄露あり
十七日	一四、八	一四、四	一四、三	一四、一	一三、四	一、九	朝露あり、夜薄露あり
十八日	一三、二	一四、〇	一四、一	一四、二	一三、五	三、五	朝夜薄露あり
十九日	一五、三	一四、六	一四、三	一四、二	一三、七	二、八	朝薄露あり、午前十時より同十一時迄烟霧あり、夜薄露あり
二十日	一五、五	一五、三	一五、〇	一四、七	一三、八	六、一	朝露あり、午前九時四十三分より午後四時四十分迄日暈現る
廿一日	一三、八	一四、五	一四、七	一四、七	一四、〇	一、二	午後五時より六時迄強風吹けり、夜薄露あり
廿二日	一三、五	一三、八	一四、一	一四、四	一四、一	(−)〇、六	朝微霜あり、午前五時より九時迄烟霧あり、午後零時五十分より同四時十五分迄日暈現る、夜薄露あり
廿三日	一三、二	一三、九	一四、一	一四、四	一四、二	三、三	朝露あり午前八時烟霧あり、午後一時三十一分より同八時十分迄小雨
廿四日	一四、一	一四、六	一四、五	一四、五	一四、三	四、八	午前零時三十五分より同二時二十分迄小雨、午前九時及午後一時より同五時迄強風吹けり
廿五日	一三、九	一三、六	一四、〇	一四、三	一四、二	二、二	午前八時より午後四時迄強風吹けり、夜薄露あり
廿六日	一四、六	一三、九	一四、〇	一四、二	一四、三	(−)〇、二	朝露あり、午前七時より八時迄烟霧あり、午後二時五十分より同三時三十分迄日暈現る、午後五時強風吹けり、夜薄露あり
廿七日	一八、六	一六、〇	一五、三	一四、九	一四、四	七、〇	朝薄露あり、午前八時より同九時迄烟霧あり、午後一時五十分より同三時四十分迄日暈現る、午後六時強風吹けり
廿八日	一三、二	一五、六	一五、八	一五、七	一四、七	八、九	午前三時五十七分より降雨斷續し午後一時四十五分歇む、午後一時より夜半迄強風吹けり
廿九日	一〇、七	一三、二	一四、二	一四、七	一四、八	四、五	午前零時四十分より小雨斷續し午後五時四十五分歇む、午前一時より午後四時迄及午後七時強風吹けり

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

月日	地中溫度（平均） 地皮十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地溫	諸現象の摘要
四月 一日	三、九	九、九	九、七	一〇、一	一、九	（朝露あり、午前七時より同十時迄烟霧あり、夜薄露あり、午後十一時二十五分より月暈現はれ翌曉に亘る）
二日	二、一	二、〇	一〇、二	一、三	一、九	（前夜來の月暈午前零時四十分消ゆ、朝薄露あり、午前七時烟霧あり、午前十時五十分より午後四時四十分迄日暈現る、午後七時廿分より同十時三十五分迄月暈現る）
三日	二、三	二、一	一〇、二	一〇、九	六、八	午前七時十八分より午後四時三十五分迄小雨斷續す、夜薄露あり
四日	二、二	二、二	一〇、八	一〇、六	五、七	朝薄露あり、午後六時四十分より月暈現れ、翌曉に亘る

日	地中溫度（平均） 地皮十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地溫	諸現象の摘要
十七日	五五、〇	三七、▲〇	一八、一	一一、〇	七、一	南西 北東 四 一〇、九▲ 四、二 一 一四、七
十八日	五五、〇	三五、▲〇	一八、九	一一、四	七、八	南西 北東 五、三 五、七 一 三、七
十九日	五五、〇	三四、〇▲	一七、一	一三、四	八、三	西南西 東北東 九、一▲ 三、七 一 五、二
二十日	五五、〇	三五、〇▲	一七、一	一三、〇	八、一	西南西 東北東 〇、九 二、四▲ 二、九 一 四、六
廿一日	五五、二	三五、〇	一七、一	一三、〇	八、一	北 北 一、四 一二、六▲ 五、一 一 五、三
廿二日	五五、二	三五、〇	一七、一	一三、〇	八、一	南西 西南西 四、三 一〇、六▲ 六、一 一 四、二
廿三日	五五、〇	三五、〇	一七、一	一三、〇	八、一	北 北東 七、〇 三、〇 一、八 一 四、三
廿四日	五五、九	三五、〇	一七、一	一三、〇	八、一	北 北 四、八 八、六▲ 一、七 一 七、六
廿五日	五五、三	三五、〇	一七、一	一三、〇	八、一	北 北 一、三 一〇、七▲ 三、八 一 五、七
廿六日	五五、〇	三五、〇	一七、一	一三、〇	八、一	西南西 西 三、七 一〇、九▲ 三、九 一 五、二
廿七日	五五、一	三五、〇	一七、一	一三、〇	八、一	南西 北北東 七、〇 九、八▲ 三、九 一 四、八
廿八日	五五、九	三五、〇	一七、一	一三、〇	八、一	西南西 西南西 八、一 一、一 六、八 一 三、九
廿九日	五五、四	三五、〇	一七、一	一三、〇	八、一	南西 西南西 六、二 一、七 四、二 一 〇、八
三十日	五五、一	三四、九	一七、一	一三、〇	八、一	南西 西南西 六、二 六、八▲ 一、七 一 三、六
全月	五五、四	三五、八	一七、九	一三、〇	八、一	西南西 北東 五、八 二六、五▲ 五五、三 一 四、五

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印は高又は多）

四月	氣壓 平均	空氣ノ溫度 平均	本年平年比較	最高	最低	較差	水蒸氣張力 平均	濕度 平均	飽差 平均	風 速度 最大	全上方向	最多方向	雲量 平均	日照時數 本年	平年	降水量 本年	平年	蒸發量 本年	平年
廿二時	七五〇、八五	一一、五五		一五、九	七、八	八、一	八、一	七五	五、八				一四、一二	一四、一二	一三、六八				
廿三時	七五〇、八六	一一、八八		一五、八	七、八	八、〇	八、一	七五	五、八				一四、一九	一四、一九	一三、七二				
廿四時	七五〇、七七	一二、四五		一五、七	七、七	八、〇	八、一	七五	五、八				一四、一九	一四、一九	一三、七二				
平均	七五〇、四三	一二、八六		一五、八	七、九	八、〇	八、一	七五	五、八				一四、一九	一四、一九	一三、七二				
一日	七五七、三	九、四	〇、四	一五、九	三、五	一二、四	六、四	七四	二、〇	三、六	八、八	南西	一〇、三	▲ 二、〇	—	一、八	一、九	二、八	二、九
二日	七五六、一	一一、一	▲ 一、四	一七、〇	五、七	一二、三	六、八	七二	三、三	二、三	四、四	南西	九、八	▲ 七、三	—	一、四	一、九	二、九	二、九
三日	七五六、八	一一、〇	▲ 〇、五	一三、九	五、七	一二、三	七、八	八二	三、八	二、〇	四、八	南西	一〇、〇	—	二、〇	〇、八	一、九	二、八	二、九
四日	七五九、九	一一、一	▲ 〇、四	一四、一	六、三	八、九	八、五	八四	三、五	二、八	九、三	西南西	一〇、八	▲ 四、八	—	三、八	三、八	四、一	四、一
五日	七五二、五	一五、五	▲ 五、九	一七、七	九、九	八、八	九、一	八五	四、八	三、〇	四、四	西北西	九、三	▲ 二、七	—	四、二	四、二	四、一	四、一
六日	七二、一	一五、八	▲ 五、四	一七、七	一〇、〇	一一、七	九、一	八五	四、八	三、〇	四、四	西	七、八	▲ 一、三	—	四、二	四、二	四、一	四、一
七日	七五一、一	一三、五	▲ 三、五	一七、七	七、〇	一〇、七	九、三	八五	四、八	三、〇	四、四	北北西	九、三	▲ 二、七	—	四、二	四、二	四、一	四、一
八日	七二、八	九、八	一、七	一四、五	三、九	一〇、六	六、八	七四	二、九	三、八	四、八	北	九、九	▲ 四、二	—	一、九	一、九	二、九	二、九
九日	七五四、六	八、四	一、一	一三、一	三、九	九、二	六、七	七三	二、八	三、三	五、三	北北西	九、九	▲ 四、二	—	一、九	一、九	二、九	二、九
十日	七六一、三	七、四	一、一	一三、一	二、五	一〇、六	六、七	七三	二、八	三、三	五、三	北北西	九、九	▲ 四、二	—	一、九	一、九	二、九	二、九
十一日	七六四、八	七、四	一、一	一三、一	二、五	一〇、六	六、七	七三	二、八	三、三	五、三	北	九、九	▲ 四、二	—	一、九	一、九	二、九	二、九
十二日	七六二、九	八、四	一、一	一三、一	二、五	一〇、六	六、七	七三	二、八	三、三	五、三	北北西	九、九	▲ 四、二	—	一、九	一、九	二、九	二、九
十三日	七六二、九	八、四	一、一	一三、一	二、五	一〇、六	六、七	七三	二、八	三、三	五、三	北北東	九、九	▲ 四、二	—	一、九	一、九	二、九	二、九
十四日	七六二、〇	八、四	一、一	一三、一	二、五	一〇、六	六、七	七三	二、八	三、三	五、三	北東	九、九	▲ 四、二	—	一、九	一、九	二、九	二、九
十五日	七六二、三	八、四	一、一	一三、一	二、五	一〇、六	六、七	七三	二、八	三、三	五、三	北東	九、九	▲ 四、二	—	一、九	一、九	二、九	二、九
十六日	七六二、四	八、四	一、一	一三、一	二、五	一〇、六	六、七	七三	二、八	三、三	五、三	北	九、九	▲ 四、二	—	一、九	一、九	二、九	二、九

第一表　大阪每時氣象觀測成績表

四月	氣壓平均	氣溫平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速度平均	雲量平均	日照時數	降水量	地中溫度（平均）地皮	地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
一時	七六〇、八二	一〇、三三	七、七四	八一、六	一、七八	三、〇八	五、七	—	一、一	八、九一	一三、二五	一三、六九	一三、五七	一三、八八
二時	七六〇、六五	一〇、〇二	七、六二	八二、〇	一、七一	三、三一	五、七	—	〇、九	八、五九	一三、〇三	一三、五八	一三、五六	一三、八八
三時	七六〇、六三	九、六九	七、四三	八一、七	一、六六	三、四九	五、〇	—	〇、六	八、二二	一三、七九	一三、四六	一三、五四	一三、八八
四時	七六〇、五九	九、四四	七、三五	八二、一	一、六一	四、一一	四、七	—	二、〇	七、八七	一三、六〇	一三、三二	一三、五〇	一三、八九
五時	七六〇、六八	九、二一	七、一八	八一、七	一、六五	四、二六	五、六	—	四、一	七、六七	一三、四〇	一三、二二	一三、四七	一三、九〇
六時	七六〇、六四	九、一一	七、一七	八二、一	一、六一	四、二九	五、四	—	二、六	七、六一	一三、二〇	一三、〇九	一三、四〇	一三、九〇
七時	七六一、一一	一〇、二三	七、三九	七八、三	二、〇五	三、九二	五、三	七、四五	二、九	九、五六	一三、〇一	一三、九五	一三、三六	一三、九一
八時	七六一、一五	一一、七四	七、三八	七一、一	三、〇四	四、六四	五、六	一六、二〇	三、七	一三、三五	一一、九六	一三、八六	一三、三三	一三、九二
九時	七六一、〇八	一三、五六	七、四九	六四、三	四、二四	四、八一	五、一	一九、三〇	一、七	一五、九二	一三、〇七	一三、七六	一三、二六	一三、九二
十時	七六〇、九八	一四、八八	七、六九	六〇、九	五、〇五	四、八六	六、五	一八、六〇	〇、七	一八、六〇	一三、三七	一三、七四	一三、二三	一三、九[illegible]
十一時	七六〇、七二	一五、八九	七、七一	五七、一	五、八六	五、四三	六、一	二〇、三五	〇、三	二一、三一	一三、八一	一三、七四	一三、一九	一三、九四
十二時	七六〇、三二	一六、二七	七、九四	五七、二	五、九三	五、七八	五、七	一九、四五	〇、六	二二、七一	一三、二五	一三、八一	一三、一七	一三、九五
十三時	七五九、八八	一六、五二	七、九六	五七、〇	六、一一	六、七一	五、五	二〇、〇〇	七、六	二三、一一	一三、九三	一三、九八	一三、一五	一三、九六
十四時	七五九、五九	一六、六四	七、九五	五六、九	六、二四	七、〇一	五、七	二〇、八〇	二、八	二三、一八	一四、四七	一三、一八	一三、一六	一三、九六
十五時	七五九、四〇	一六、四一	七、七五	五六、三	六、二七	七、〇〇	五、八	二〇、四五	七、一	二〇、三四	一四、八六	一三、四四	一三、一八	一三、九七
十六時	七五九、三一	一六、一九	七、七一	五六、八	六、一一	六、五七	六、五	一九、六五	三、四	一八、〇七	一五、一六	一三、六五	一三、一三	一三、九七
十七時	七五九、四〇	一五、四二	七、七六	五九、五	五、四二	六、四六	六、八	一七、四〇	三、一	一五、二一	一五、二八	一三、八五	一三、三一	一三、九八
十八時	七五九、五四	一四、三四	七、九四	六五、二	四、三三	五、六七	六、五	六、八五	二、〇	一三、二四	一五、二六	一三、九九	一三、三六	一三、九九
十九時	七五九、八八	一三、二五	七、八六	六八、六	三、五六	五、二九	六、二	—	二、二	一一、五七	一五、〇六	一四、一三	一三、四九	一三、九九
二十時	七六〇、三六	一二、六五	七、九五	七二、一	三、〇八	五、〇八	五、二	—	二、四	一〇、九〇	一四、七七	一四、一八	一三、五六	一三、〇〇
廿一時	七六〇、七〇	一二、一五	七、八五	七三、四	二、八四	四、三四	五、三	—	一、一	一〇、三五	一四、四五	一四、一七	一三、六一	一三、〇一

り、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて十五度二八を示し、最低は午前八時にありて十一度九六を示せり而して其較差は三度三二なり

地中二十糎の温度　平均は十三度四五にして平年に比すれは零度三四低く月中の最高は二十七日午後七時乃至夜半に於て十六度七を示し最低は一日午前八時乃至正午に於て八度六を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後八時にありて十四度一八を示し最低は午前十時乃至十一時にありて十二度七四を示せり而して其較差は一度四四なり

地中三十糎の温度　平均は十三度四〇にして平年に比すれは零度二五低く月中の最高は二十七日午後十一時乃至二十八日午前六時に於て十五度八を示し最低は一日午前九時乃至午後一時に於て九度四を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は夜半にありて十三度七二を示し最低は午後一時にありて十三度一五を示せり而して其較差は零度五七なり

地中六十糎の温度　平均は十二度九五にして平年に比すれは零度〇四高く月中の最高は二十八日午後六時乃至二十九日午後三時に於て十四度八を示せり、但し此深さにありては殆ど一日中の變化を認め難し

以上列記する地中温度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時、地中十糎にありては午後五時、同二十糎にありては午後八時、同三十糎にありては夜半に生し最低は地皮にありては午前六時、地中十糎にありては午前八時、同二十糎にありては午前十時乃至十一時、同三十糎にありては午後一時に生せり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地温　平均は四度〇五にして平年に比すれは一度六一低く月中の最低は一日午前六時に於て零下一度九を示せり而して最低の零下に降りたる日數は三日にして平年に等し

天氣日數

快晴は五日にして平年より二日少く曇天は八日にして平年より三日少し雨は一日にして平年より一日少し

尚詳細は左に掲くる氣象觀測成績表を參照すべし

るに最高は午後一時にありて七粍九六を示し最低は午前六時にありて七粍一七を示せり而して其較差は零粍七九なり

濕度の平均は六十九、九にして平年に比すれは三、一少く月中の最少は二十四日午後二時及五時に於て三十九を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前四時及六時にありて八十二、一を示し最少は午後三時にありて五十六、三を示せり而して其較差は二十五、八なり

飽差の平均は毎立方米中三瓦六二にして平年に比すれは零瓦四三多く月中の最多は十九日午後三時に於て十一瓦六を示し最少は十六日午前五時乃至七時に於て零瓦一を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後三時にありて六瓦二七を示し最少は午前四時及六時にありて一瓦六一を示せり而して其較差は四瓦六六なり

風

平均速度は四米八六にして平年に比すれは零米四〇弱く月中の最大速度は二十九日午前四時の毎秒二十四米四（一間平方面を垂直に壓する力は六十三貫目）の西南西風なり又強風以上の吹きたる日數は十日にして平年より四日少く其時數は五十二時にして平年より十二時少し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後一時乃至二時にありて七米〇一を示し最小は午前零時乃至一時にありて三米〇八を示せり而して其較差は三米九三なり、風向は北東及北風最も多く西及南西風之に亞き南東風は最も少し之れを平年に比すれは北東風は多くして北風は少く其他の風は平年と大差なし

降水及蒸發量

降水日數は十二日にして平年より三日少く其水量は六十五粍四にして平年より七十七粍九少く即ち平年の半に達せす一日中の最多量は十五日の十八粍六、一時間の最多量は七日の午後二時乃至三時の五粍八なり、又蒸發總量は百十六粍五にして平年に比すれは零粍七多く一日中の最多量は二十四日の七粍五なり

地中溫度及最低地溫

地皮溫度の平均は十三度四七にして平年に比すれは一度二二低く月中の最高は二十七日午後一時に於て三十三度七を示し最低は一日午前六時に於て二度三を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて二十三度一一を示し最低は午前六時にありて七度六一を示せり而して其較差は十五度五〇なり

地中十糎の溫度　平均は十三度五七にして平年に比すれは零度四七低く月中の最高は二十七日午後五時乃至六時に於て十八度七を示し最低は一日午前八時に於て七度五を示せ

大阪測候所月報

大正六年四月

大阪氣象概況

四月は寒季より暑季に移る氣候の變遷期にして漸次溫暖となるに從ひ冬季亞細亞大陸にありたる高氣壓は衰へ四月には殆ど消散し爲めに西乃至北西風は其跡を絶ち南西風となり氣溫上昇し前月に比すれは五度内外の高溫を呈せり、然れとも此月は氣候變遷期なるを以て高低氣壓の來去頻繁にして天氣定らす同一の天氣を持續することを極めて少く氣溫も亦一高一低定らす氣候順を失し不時の結霜を看ることあり、然り而して本年四月の氣候を調査するに平年に比し上、中の二旬は概して溫暖なりしも下旬は頗る冷氣にして降雨は平年より少く日照時數は多し而して風は平年より弱き方にあり

今各氣象要素に就き詳記すれは左の如し

但本項に記する所の平年は築港に於ける最近六箇年の平均なり

氣壓

平均は七百六十粍四二にして平年に比すれば一粍八八低く日々の變化は氣象圖に示すか如く顯著なる昇降は概ね二回にして他は微なりき、而して月中の最高は一日午前十時に於て七百六十八粍四を示し最低は廿八日午後一時に於て七百四十三粍二を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前八時にありて七百六十一粍一五、第一の最低は午後四時にありて七百五十九粍三一を示し第二の最高は午後十一時にありて七百六十粍八六第二の最低は午前四時にありて七百六十粍五九を示せり而して其主なる最高低の較差は一粍八四なり

氣溫

平均は十二度八三にして平年に比すれは零度二二低く平均氣溫日々の變化は氣象圖に示すか如く上旬は著しく溫暖なりしか中旬は平年より稍々溫暖又は大差なく下旬は著しく冷氣なりし而して月中の最高は五日午後一時に於て二十一度七を示し最低は一日午前七時に於て三度五を示せり月又平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて十六度六四を示し最低は午前六時にありて九度一一を示せり而して其較差は七度五三なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

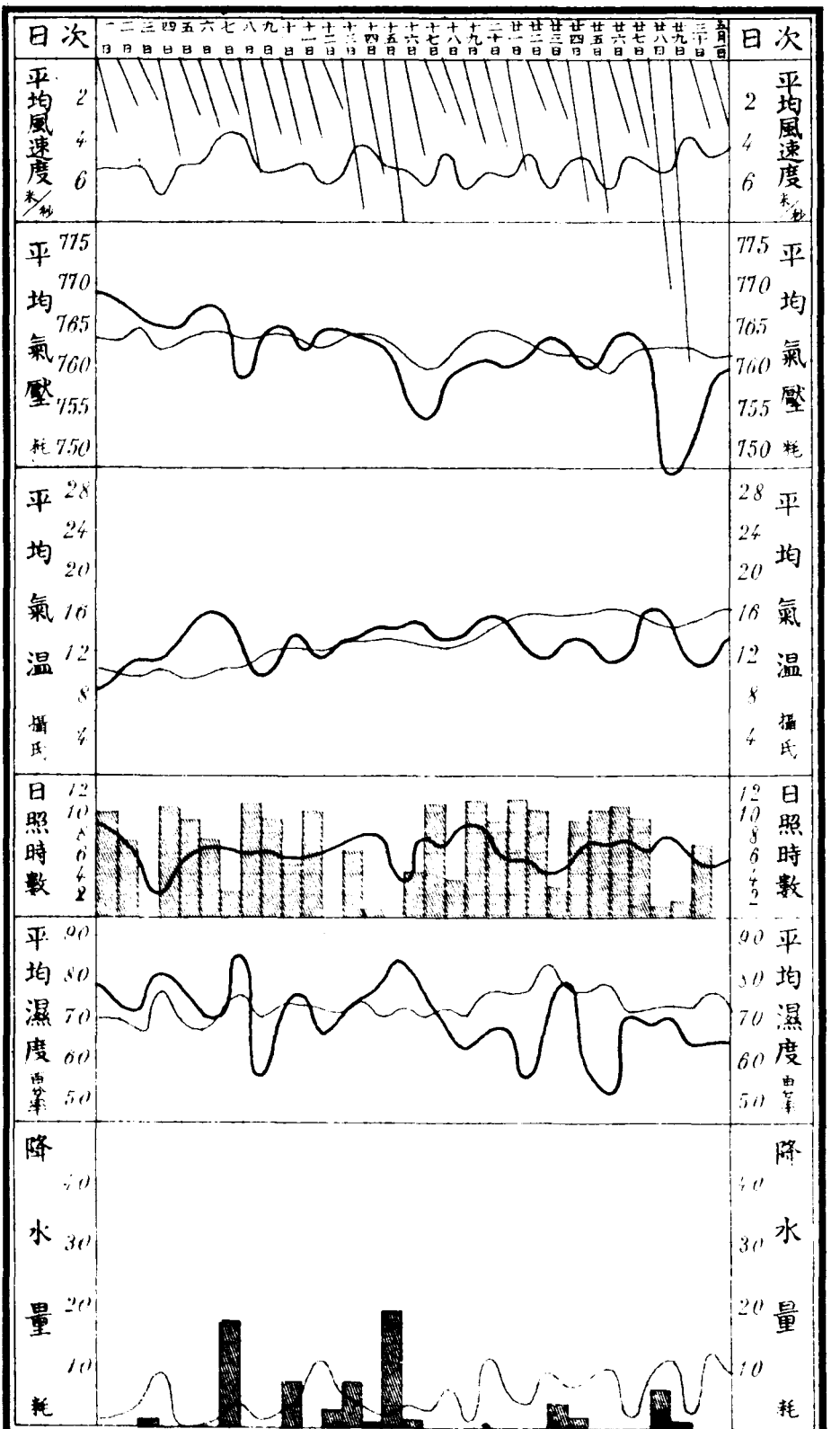
水蒸氣張力の平均は七粍六八にして平年に比すれは零粍六七低く月中の最高は二十八日正午に於て十二粍五を示し最低は八日午前十一時に於て三粍九を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看

大正六年四月

大阪氣象圖

April. 1917

本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス　風速度、氣壓、氣温、濕度ハ本年――平年――　日照時數ハ本年――平年――　降水量ハ本年――平年――



例言

一本報は當測候所及管內各觀測所に於て觀測したる每月の氣象を調査し之れを掲載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管內各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍(曲尺三厘三毛)を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には(一)を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘し五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量幷に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上げて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦(グラム)(零匁二七)にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一步面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米(曲尺三尺三寸)數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らす降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管內氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡市	町村	緯威東經	北緯	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	一三五度〇九分	三四度一九分	上出源助
上之鄕	仝國泉南郡	上之鄕村	一三五度一八分	三四度二三分	馬場留藏
岸和田	仝國泉南郡	岸和田町	一三五度二三分	三四度二七分	森內清次
長承寺	仝國泉北郡	鳳村	一三五度二七分	三四度三二分	前川由太郎
濱寺	仝國泉北郡	高石村	一三五度二六分	三四度三二分	今井富次
堺	仝國堺市	車ノ町	一三五度二九分	三四度三五分	吉村正輔
天王寺	攝津國大阪市	南區天王寺	一三五度三一分	三四度三九分	加藤昭純
大阪	仝國大阪市	西區一條通	一三五度二六分	三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	仝國大阪市	北區上福島	一三五度二九分	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	仝國西成郡	新庄村	一三五度三一分	三四度四五分	小林雅文
秦野	仝國豐能郡	秦野村	一三五度二六分	三四度四九分	藤重元太郎
妙見山	仝國豐能郡	東鄕村	一三五度二八分	三四度五六分	阪部文二郎
東鄕	仝國豐能郡	東鄕村	一三五度二九分	三四度五七分	大原仁之助
天王	仝國豐能郡	根根莊村	一三五度二三分	三五度〇二分	高橋政次郎
茨木	仝國三島郡	茨木町	一三五度三四分	三四度四九分	高碕菊之助
清水	仝國三島郡	清水村	一三五度三六分	三四度五三分	山本義一
枚方	河內國北河內郡	枚方町	一三五度三九分	三四度四九分	家村八五郎
田原	仝國北河內郡	田原村	一三五度四二分	三四度四三分	今井由太郎
八尾	仝國中河內郡	八尾町	一三五度三六分	三四度三八分	水谷芳松
柏原	仝國南河內郡	柏原村	一三五度三七分	三四度三五分	畿內農事試驗支場
富田林	仝國南河內郡	富田林町	一三五度三七分	三四度三〇分	塔本幸太郎
長野	仝國南河內郡	長野町	一三五度三五分	三四度二七分	松本速水

Monthly Report
of The
Osaka Meteorological Observatory.

April 1917

大阪測候所月報

大正六年四月

第拾八年第四號

目次

○本年四月大阪氣象概況　附圖
○本年四月大阪府管内氣象概況
○本年四月大阪地震觀測概況
○四月廿八日より廿九日に至る暴風雨概況
○大阪の大雨と大風に就て
○太洋洲「トンガ」島東方の地震
○雷所の出品
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報通否

大正六年五月廿二日印刷
仝　年五月廿五日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡市	町村	緯度	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡	佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	吾妻橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	西區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	仝木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
雜波島	攝津國大阪市	西區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	仝木津川分署雜波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
築港	攝津國大阪市	西區安治川口	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署築港分署
大阪	攝津國大阪市	西區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國四成郡	傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東郷	攝津國豐能郡	東郷村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東郷村役場

其日	二十四日	二十二日	二十五日
最小干滿差	七一糎	七八糎	七五糎
其日	十七日	十四日	三十一日

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位　三尺零寸零分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　二尺八寸零分

三月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	二、四〇	二、三五	二、一〇	二、〇〇
二日	二、二〇	二、一〇	一、八〇	一、七〇
三日	二、一五	二、一〇	一、六五	一、六〇
四日	二、三〇	二、五〇	一、七〇	一、九五
五日	二、六〇	二、五〇	二、〇〇	一、九五
六日	二、四〇	二、四〇	二、一〇	二、〇五
七日	二、四〇	二、三〇	一、九五	一、九〇
八日	二、二五	二、二五	一、八五	一、八〇
九日	二、二五	二、七五	一、八〇	二、〇〇
十日	四、三〇	四、九〇	三、八〇	四、三〇

平均水位 廣瀬 三尺八寸八分
最高水位 廣瀬 六尺三寸五分（廿五日午前六時）
大日 三尺四寸 五尺七寸零分（廿五日午前六時）

三月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
十一日	四、二〇	三、八五	三、九五	三、六五
十二日	三、五〇	三、三五	三、三〇	三、一〇
十三日	三、二〇	三、二〇	三、〇五	二、九五
十四日	三、二五	三、四〇	二、九〇	二、八五
十五日	三、九五	三、八五	三、六〇	三、六〇
十六日	三、八五	三、七五	三、五〇	三、四〇
十七日	三、七〇	三、六五	三、三五	三、二五
十八日	三、七五	三、六〇	三、二〇	三、一五
十九日	三、五〇	三、九五	三、二〇	三、四五
二十日	五、一五	五、五五	四、六五	五、一〇

三月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
二十一日	四、五〇	四、六五	四、七〇	四、三〇
二十二日	四、五〇	四、四五	四、〇〇	三、八〇
二十三日	四、五四	四、五	四、一〇	三、九五
二十四日	五、二〇	六、二〇	四、五〇	五、一〇
二十五日	六、三五	五、七五	五、七〇	五、二五
二十六日	五、五〇	五、三五	四、九〇	四、六五
二十七日	五、三〇	五、二五	四、六〇	四、五五
二十八日	五、二五	五、二〇	四、六〇	四、五五
二十九日	五、一五	五、〇五	四、五〇	四、四〇
三十日	五、〇〇	四、九〇	四、三五	四、四〇
三十一日	四、八五	四、八〇	四、三	四、二

地方天氣豫報暴風警報適否

種類	發布數	正中	偏中	不中	正中百分比
天氣豫報 風向	三一	二六	五	〇	九二
天氣豫報 天氣	三一	二五	六	〇	九〇
天氣豫報 溫度	〇	—	—	—	—
暴風警報	二	二	〇	〇	一〇〇

望觀し得る程の大龜裂を生じ「バトー」湖氾濫して全く其形狀を變じたり同山の西に位する「バトール」山は大大「クレーター」を生じ土石轉落して山麓の部落を全滅したり支那人の住民多き商業地たる「コータダレム」の家屋は殆ど全部倒壞し三十の家屋は潦間に墜落したり、中部「カラレカセン」に於ては壓死者百三十名を發掘し「バツレ」に於ては八十六人の死體を發見せり「ブルレン」に於ては倒壞家屋千二百八十宮祠の破壞せる數、百八十重輕傷者に至りては未だ確數を得る見込なし土民一般は「アグン」山靈の祭祀奉仕を怠りたるため神靈の怒りに觸れたるものとし人心競競たり「バリ」嶋南部至る所土地開裂し殆ど港灣の開鑿工事の如く車馬の通行不可能にて歩行すらも困難なり震災地の詳報は未だ明かならざれども慘死者の總數は千三百に達すべく外人の死傷者はなき見込なり云云

東京觀測　該地震は大學構內据付の微動計に明瞭なる記錄を與へたり、其觀測に據れば東京に於ける發震時は午前八時二十分二十六秒にして第一初期微動七分十四秒第二初期微動五分五十二秒にして總繼續時間二時間以上に及び其最大水平動は東西〇、〇八「ミリメートル」南北〇、一「ミリメートル」に達したり初期微動繼續時間より震源距離を求むるに約五千五百「キロメートル」となり恰も「バリ」嶋迄の距離に相當す、震源は同島の南東海岸附近なるべし

●大阪港潮汐觀測

種目＼月次	一月	二月	三月
平均潮位	一一九糎四	一一〇糎二	一〇六糎〇
平均干滿ノ差	一一五糎四	一一〇糎七	一一〇糎五
滿潮ノ極	二一〇糎	一八五糎	一〇八糎
其日時	八日午前六時三十分	二十二日午後七時三十分	二十日午前八時〇分
干潮ノ極	一九糎	一九糎	三〇糎
其日時	二十四日午前二時〇分	二十二日午前二時五十分	二十六日午後四時十分
最大滿干差	二十五日午前二時十分 一七四糎	一六六糎	一五六糎

大正三年	二三、九	三二、六	一四、六	八〇	四、四	南西	一二、六	西南西	一九一、九	一六	一九九、〇
大正四年	二五、四	三〇、七	一五、七	七八	四、八	北東	一三、九	西南西 南西	二四七、九	一五	一六三、三
大正五年	二五、〇	三一、〇	一九、四	八一	四、〇	南西	一三、八	西南西	三〇七、八	二二	一二九、八
平均又は極數	二三、二	三二、六	一三、七	七九	四、六	北東	三〇、一	南西	二二四、一	一五	一八一、八

●蘭領印度「バリ」島附近の大震

技手　圓岡平太郎

本年二月五日の官報に蘭領印度「バリ」島に地震あり被害大にして死傷者判明せるもの八百名に達したる由なるか此地震は本邦にも感したり即ち當所の大森式地動計は一月二十一日午前八時二十分十九秒より遠距離地震の波動を描き始め第一初期微動の繼續時間は六分四十二秒、第二は五分三十四秒にして夫れより主要動となり最大振幅は東西動は午前八時五十分四十秒に於て三十八「ミクロン」振動期九秒六南北動は午前八時三十九分五秒に於て五十五「ミクロン」振動期十三秒四を示し後微となり漸次に靜止せしが總振動時間は一時十五分余に及べり

又各所にて觀測したる發震時を列記すれは左の如し

臺北	午前八時一八分二八秒	
ジカウエー（支那上海）	仝	八時一九分一九秒
長崎	仝	八時一九分四六秒
福岡	仝	八時一九分五七秒
大阪	午前八時二〇分一九秒	
東京	仝	八時二〇分二六秒
水戸	仝	八時二〇分四四秒
水澤	仝	八時二一分〇〇秒
函館	仝	八時二一分四六秒
大泊	仝	八時二二分〇九秒

此地震に關し在外領事より外務省を經て震災豫防調査會に達したる詳報並同會の調査は左の如し

一月二十一日午前六時五十分「バリ」嶋北部「シンガ、ラジヤ」（理事官廳所在地）に於て劇震を感ぜり震動時間は四十五秒北より南に走れる水平動にして瓜哇「スーラバヤ」及「ロンボク」嶋との電信不通となり「ジヤンブラナ」（コントローラー駐在地）との電話亦不通となれり震害の最も劇甚なりし地方は「バリ」島南部「ギアレジヤル」「クルンクン」及「バンリ」附近にして道路八「キロメートル」は全く谿谷に陷落し「アバン」山（海抜二、二〇〇米突）の麓にある人口四百を有する「ブアハン」部落は山岳墜落して三百の土民と共に土中に埋沒し去れり同山は遠方より明かに

込なく斯る降雹被害は六十年來なかりしと

名古屋通信　愛知縣にては過日來大候變調を來たし屢々異例なる冷氣の襲來ありしが二日午前十一時より名古屋地方に雷鳴あり各地に大降雹あり殊に三河豐橋附近に被害甚しき見込なり

豐橋通信　二日午後一時より一寸大の雹雷鳴と共に降類りたり桑葉の被害多大ならんと

●梅雨概況

技手　山田顯吉

本年も最早梅雨の時期に近つきたれは既往の觀測に依り其概況を記し參考に供せんとす

毎年六月中旬より七月上旬に至る頃は梅雨と唱へ陰鬱なる天氣にして降雨多かりしか是れは恰も夏至の頃にして日射旺盛の爲め支那揚子江邊に屢々低氣壓發生し東に進み支那東海に入り本邦に襲來せしも其季節には本州東海岸の東方一帶に高氣壓擴張せるか爲めに低氣壓の進行極めて遲緩となり陰鬱なる天氣を持續し霖雨となる尤も梅雨の來るは年に依りて多少早晩あれとも曆面に記載する所は太陽の黃道經度の八十度に達したる日卽ち例年六月十二日頃を入梅とし此期間は約三十日なり

今最近六年間に就きて梅雨期間（六月十一日より七月十日に至る三十日間と假定す）の雨天日數を看るに平均十五日にして最も多かりし大正五年は二十一日にして最も少かりし大正元年は十一日なり、降水量の平均は二百二十四粍一にして最も多かりし明治四十四年は三百六十粍四に達し最も少き大正二年は九十八粍三に過きす、又雨の最大日量の平均は五十粍六にして最も多かりしは明治四十四年六月十五日の八十二粍〇、最も少かりしは大正二年六月二十一日の二十二粍〇なり、而して日照時數の平均は百八十一時八にして最も多かりし大正元年は二百二十九時七にして最も少かりし大正五年は百二十九時八なり、又平均氣溫は二十三度二にして最高氣溫の最も高かりしは大正三年七月三日の三十二度六、最低氣溫の最も低かりは大正元年七月十一日の十三度七なり

今最近六年間に於ける梅雨中の氣溫、濕度、風、降水量、日照時數等を表記すれは左の如し

年次＼種目	空氣の溫度			平均濕度	風			降水		日照時數
	不均一	最高	最低		平均速度	最多方向	最大速度	其方向	總量	日數	
明治四十四年	三、五	三〇、一	一五、九	八二	四、八	北	三〇、一	南西	三四〇、四	一四	一三、九
明治四十五年 大正元年	三、四	三〇、五	一三、七	七九	四、五	北東	三一、七	東北東	二六、三	二	三五、七
大正二年	三、二	二九、九	一四、八	七九	四、九	北東	二七、八	南南西	九、三	一	三六、〇

甚し又玉島方面は豌豆大の降雹ありて農作物の被害多しと

但馬通信　但馬美方郡村岡地方にては二日午前十時頃迄は晴天なりしが十一時頃より俄然雷鳴起り續いて大雨となり十一時半頃には大なる雹類りに降り地面は眞白になりたりと

福井通信　二日正午頃雷鳴と共に指大の降雹ありたり

奈良通信　二日午前九時半雷鳴と共に豌豆大の降雹あり農作物に被害少なき見込なりと

三重通信　上野地方は二日午前十時雷鳴激しく豆大の降雹ありたり又拓植地方は二日午前十時四十分大雷鳴と共に降雹あり茶桑園の被害多し

岐阜通信　岐阜地方にては三十日早朝氣溫俄に降下し平年より頗る低温にして北西美濃地方は霙交りの雪を降らし伊吹山及越前國境の諸山は白雪を頂けり四月下旬に於て斯く降雪するは未曾有の事なり爾後天候は依然不順にして二日午後一時三十分頃雷鳴と共に大雨沛然たり此の雷鳴の爲め縣下には落雷大降雹等ありて被害激甚を極めたり左に之れを摘錄せんに

二日午後二時頃羽島郡中屋村大字上中屋尾關德次郎方表に落雷し同人妻いとは感電震死し同郡小藪村大字四小藪服部宇平方にも落雷して震死者一名重傷者四名を出し同字稻葉佐太郎方にも落雷し四名の重傷者あり又午後三時半頃稻葉郡鵜沼村字大伊木山田五郎市方に落雷し同家を燒失したり

本巢郡外山村の雹害地より來りたる岐阜縣農會長の談に依れば外山村大字佐原小字鍋原にては實に直徑一尺大の雹を降らし三日に亘りて溶解したるが當日同村當原小學校生徒に山縣地方へ修學旅行に赴き歸途此の雹に遭遇し避難の途なく大騒を演出したるも幸に顆に瘤を出來したる位にて格別の負傷者を出さざりしと

山縣郡の雹害區域は幅一里乃至一里半長さ七八里に亘り農作物は全滅し被害十萬圓以上にして其甚しき處は大桑村山中松林の松が悉く丸坊主となりたるに徴しても慘狀な想像すべく養蠶を生業とする上伊自長村約二千の村民は桑全滅の爲め蠶を捨てゝ他地方に出稼するの外なしとて家族相擁して泣き善後策としては晩耕作物不能なれば綠肥を栽培するの外なかるべしと當局者は語れり

降雹被害山縣郡富岡村地方の降雹被害區域は一町九ケ村にして最も激甚なるは富岡、大桑、櫻尾、梅原、上伊自長、下伊自長の六ケ村にて損害は參千五百三十町九反歩價格一萬六千六百七十二圓桑畑百七十一町三反價格二萬四千百七十三圓繭雲英三百二十七町三反價格八千二百五十七圓茶二十町歩二千五百七十二圓蠶豆十七町二反四百五十二圓蕎豆八町八反百八十七圓養蠶家損害三萬二千六百六十四圓其他果實類を合せ十萬圓餘の見込なり富岡村附近桑茶葉落ち麥は折れ繭雲英は植きむしくりし如く一輪の花なく萬目荒涼たるものにて繭雲英は三日の強雨にて皆川に流れ春蠶は掃立後三四日にて給する桑一枚もなく被害民は三日朝來雹にて落ちたる桑葉を涙して拾ひ居り皆田畑に出で呆然自失し居り其慘狀目も當られず三日縣當局者は四五名被害地に行き救助方法攻究中なり春蠶に桑なきため絶望の外なく茶も一番茶は見

五月三日	一四、四	一五、二	〇、八	一九、七	一九、九	〇、二	八、二	一〇、八	二、六
仝四日	一五、四	一五、五	〇、一	二〇、〇	二〇、三	〇、三	一二、八	一〇、九	▲ 一、九
仝五日	一五、八	一六、一	〇、三	一九、七	二一、〇	一、三	一三、〇	一一、三	▲ 一、七
仝六日	一三、八	一六、二	三、四	一五、五	二一、一	五、六	一〇、四	一一、四	一、〇
仝七日	一三、六	一六、四	二、八	一七、一	二一、五	四、四	一〇、三	一一、八	一、五
仝八日	一六、二	一六、三	〇、二	二二、四	二一、六	〇、二	九、四	一一、一	一、七
仝九日	一五、三	一六、八	一、五	一八、二	二二、〇	三、八	一二、三	一一、八	▲ 〇、五
仝十日	一三、五	一六、八	四、三	一七、二	二一、七	四、五	九、一	一二、四	三、三

以上の如くにして近年稀に見る所の氣候變化を呈せり又五月一日より同二日に亘りては朝鮮より九州北部を經て山陰山陽濃尾地方に雷雨ありて降雹を伴ひ就中濃尾地方最も烈しく落雷の爲め死傷者を出し降雹のため主産物たる養蠶は全滅に期し其他の農作物も殆んど收穫皆無となりたる村落多かりしと云ふ左に其當時の模樣を新聞紙より抄錄し以て後日の參考に供せんとす

朝鮮鳥致院通信　一日午後一時頃忠清北道清洲より北西に當り一天俄かに搔き曇りて雷鳴轟々として鳴り渡るや清洲北西二里半に方りて突如凄じき龍卷起ると共に鷄卵大の雹降下し十分にして歇みたるも邑内の溫突家屋七戸龍卷の爲めに十丈の天空に卷き揚げられて粉微塵に倒潰され屋外にありし鷄は降雹に打たれて慘死せるもの數知れず住民は避難して危險を免れたるが同地方始めての珍事なりしかば非常なる騷ぎなりしと

朝鮮釜山通信　一日午後五時三十分より同四十八分に至る迄慶尙南道金海郡金海邑内を中心として附近に雷鳴降雹あり其大なるものは直徑一寸目方五匁三分あり麥作に被害多し

福岡通信　福岡縣田川郡方城、上野地方に一日午後二時頃雷鳴あり鷄卵大の雹降りたるも被害少なし

山口通信　山口縣厚狹郡舟木村に一日午後三時頃五厘銅貨大の降雹あり又玖珂郡本郷村羅漢寺山法華山の頂きに積雪を見たり

鳥取通信　二日午前十一時半驟雨あり引續き降雹ありしも間もなく快晴となれり

岡山通信　岡山縣赤磐、上房兩郡方面は二日午前十一時より雨と共に蠶豆大の降雹あり午後一時漸く降り歇みたるがこれが爲め同方面の名産たる水蜜桃を始め果實は殆んど全滅し桑葉は五割減野菜は六割減又麥作の被害甚大なるべく被害最も激甚を極めしは赤磐郡瀬戸町、西山村、高陽村、西高月村上房郡川西村の各村なり又作州北部地方にては一日早朝斷續して降雪あり春蠶掃立を終れるものは全滅し桑園の被害

四月八日	九,五	一二,六	二,二	一四,五	一七,三	六,八	六,三	六,三 ▲	〇,一
仝九日	一一,〇	一三,二	一,三	一六,七	一八,〇	一,三	三,九	六,九	三,〇
仝十日	一三,二	一三,六 ▲	〇,六	一八,一	一七,九 ▲	〇,三	九,五	七,五 ▲	二,〇
仝十一日	一一,五	一二,七	一,三	一六,七	一七,八	一,一	七,三	八,〇	〇,七
仝十二日	一三,二	一三,五 ▲	〇,七	一七,九	一七,四 ▲	〇,五	八,五	七,五 ▲	一,〇
仝十三日	一三,六	一三,二 ▲	〇,四	一七,九	一八,八	〇,九	一〇,四	七,六 ▲	二,八
仝十四日	一四,一	一三,[illegible] ▲	〇,八	一七,五	一八,八	一,[illegible]	一〇,七	七,九 ▲	[illegible],八
仝十五日	一四,一	一三,一 ▲	一,〇	一六,五	一七,八	一,三	一三,七	八,四 ▲	四,三
仝十六日	一五,〇	一三,三 ▲	一,七	二〇,〇	一八,二 ▲	一,八	一〇,三	八,七 ▲	一,六
仝十七日	一三,七	一三,八	一,一	一八,一	一八,九	〇,八	七,一	八,四	一,[illegible]
仝十八日	一三,三	一四,二	〇,九	一八,九	一九,七	〇,八	七,五	九,四	一,九
仝十九日	一五,〇	一四,四 ▲	〇,六	二一,四	一九,三 ▲	二,一	八,六	九,[illegible]	〇,七
仝二十日	一五,〇	一四,九 ▲	〇,一	二〇,五	二〇,二 ▲	〇,三	一〇,[illegible]	九,八 ▲	〇,五
仝廿一日	一一,九	一四,八	二,九	一七,一	一九,八	二,七	七,[illegible]	一〇,〇	二,七
仝廿二日	一一,二	一四,五	三,三	一七,六	一九,〇	一,四	四,八	一〇,二	五,四
仝廿三日	一三,三	一四,五	一,三	一七,七	一九,五	一,八	七,六	九,九	二,[illegible]
仝廿四日	一三,〇	一四,九	一,九	一七,一	二〇,四	三,二	九,一	九,七	[illegible],六
仝廿五日	一一,二	一五,三	四,一	一六,一	二〇,一	四,〇	七,〇	一〇,三	三,[illegible]
仝廿六日	一一,九	一四,九	三,〇	一八,九	一九,四	〇,五	四,八	一〇,六	五,八
仝廿七日	一六,二	一四,九 ▲	一,三	二一,〇	二〇,一 ▲	〇,九	一一,二	一〇,三 ▲	一,〇
仝廿八日	一四,七	一五,一	〇,四	一八,八	二〇,四	一,六	一一,七	九,八 ▲	一,九
仝廿九日	一〇,九	一五,二	四,三	一四,二	二〇,二	六,〇	八,	[illegible]	二,[illegible]
仝三十日	一〇,九	一五,一	四,三	一五,七	二〇,三	四,六	四,九	一〇,一	五,二
五月一日	一五,六	一五,四	一,八	二〇,五	二一,四	〇,五	七,三	一〇,〇	二,七
仝二日	一四,五	一五,三	〇,八	二一,四	二〇,一 ▲	一,三	八,二	一〇,八	二,六

及下旬に寒冷にして降雨多く殆んと一月以來異常氣候の裡に經過せり而して四月に入りては上半月は溫暖にして特に五日、六日の如きは最高二十一度七に昇り平年より約六度の過高を呈し暖氣早來の傾向ありしか十七日より氣候復々變調を來し著しく寒冷となり二十二日及二十六日は最低四度八同三十日は四度九にして平年より五度乃至六度低く二十二日には當所構內に晩霜あり三十日には當所より東方約四五丁を隔りたる芦原に晩霜を認めたり之れを當所終霜の平年に比すれは實に二十日遲く本所創立以來の晩霜明治三十九年の四月二十九日より尙ほ一日遲かりし以上の如く四月上半月は頗る溫暖にして同下半月より五月上旬に亘りては十九日、二十日、二十七日の三日を除く外は一般に平年より寒冷なりし爲め人々奇異の念を懷くに至れり此は上半月に於ては氣壓は南海岸より東海岸に高く日本海より滿州地方に低きこと多かりし故溫和なる海風の吹送により暖氣を呈し中旬の半以後は高氣壓が支那北部より楊子江附近に移り時々本邦を包擁し低氣壓は南海岸を通過したること多く殆んと冬季の如き氣壓狀態を呈したるは斯くは奇異なる寒氣を現出したるものなり殊に三十日朝晩霜を結びたる原因は二十七日朝楊子江附近に現はれたる低氣壓が漸次東方に進み同日午後二個に分裂し本邦西部を挾みて連行し二十八日正午頃一時は本邦を橫斷して石見沖にて相合し七百四十粍となり二十九日朝能登沖と津輕海峽附近に去りたる頃は七百三十六粍に下降し三十日朝には北海道の東方に經過し去れり此の時高氣壓は楊子江附近より東方に擴張し來り其一端は舌狀をなし本邦中部を襲ひたれは氣溫は倍々低下し遂に結霜を見るに至りたるものなり左に此の期間に於ける氣溫を平年と比較し其差異を現はし參考に資せんとす

表中▲印は高きを示す

月日	平均氣溫 本年	平均氣溫 平年	平均氣溫 差	最高氣溫 本年	最高氣溫 平年	最高氣溫 差	最低氣溫 本年	最低氣溫 平年	最低氣溫 差
四月一日	九、六	一〇、三	〇、七	一五、九	一五、二	▲ 〇、七	三、五	五、二	一、七
仝二日	一一、五	一〇、七	▲ 〇、五	一七、〇	一五、八	▲ 一、二	五、七	五、八	〇、一
仝三日	一〇、九	一〇、五	▲ 〇、四	一三、九	一五、一	一、二	九、三	六、一	▲ 三、三
仝四日	一三、一	一〇、八	▲ 二、三	一八、二	一五、六	▲ 二、六	九、三	六、一	▲ 三、三
仝五日	一五、三	一一、二	▲ 四、一	二一、七	一六、〇	▲ 五、七	九、九	六、三	▲ 三、六
仝六日	一五、八	一一、二	▲ 四、六	二一、七	一六、〇	▲ 五、七	一〇、〇	六、七	▲ 三、三
仝七日	一三、五	一一、一	▲ 一、四	二〇、五	一六、二	▲ 四、三	七、〇	六、三	▲ 〇、七

三月十九日	一〇、一	▲	三、五	一一、一	〇、二	八、七	▲	六、三	九、一	▲	二、五	—	六、四	三八、	—	一〇、	▲	五、〇
仝 二十日	九、九	▲	三、一	一一、九	▲	〇、七	七、五	▲	六、二	七、二	▲	〇、一	二、五	六、一	〇、四	—	九、〇	▲	六、一
仝 二十一日	七、六		一、六	一二、一	二、三	三、五	〇、二	六、三	六、三	〇、九	〇、一	三、一	三、一	〇、二	—	七、〇	▲	〇、八
仝 二十二日	八、七		〇、四	一五、九	▲	二、三	一、八	三、一	七、二	〇、一	八、六	▲	三、六	—	五、一	六、四	▲	〇、
仝 二十三日	一〇、六	▲	二、五	一二、〇	▲	〇、四	九、一	▲	三、六	七、七	▲	〇、七	三、七	一八、四	〇、〇	九、七	▲	一、八
仝 二十四日	一〇、一	▲	二、六	一三、八	▲	〇、九	七、〇	▲	二、二	七、八	▲	〇、九	二、一	二、一	一四、〇	〇、〇	六、六	〇、五
平均又は合計	九、四	▲	一、六	一三、〇	▲	〇、九	五、七	▲	一、九	七、五	▲	〇、五	二〇、一	一九、五	七一、二	五、四	八、一	二、一

又最近六年間の春季彼岸の氣象を對照すれは左の如し

種目 / 年別	空氣の溫度 平均	最高 示度	最高 仝上起日	最低 示度	最低 仝上起日	溫度	日照時數	降水 總量	降水 日數	雨量
明治四十四年	七、一	一三、八	二四	〇、四	二一	六八	四四、六	二、四	三	六、七
明治四十五年	七、九	一八、一	二一	〇、五	二〇	六九	四八、六	〇、八	三	四、二
大正元年	八、二	一七、三	二〇	二、六	二四	七五	二三、二	四五、二	六	八、〇
大正二年	一一、一	一九、一	二二	〇、七	二〇	七八	四一、八	三〇、六	三	五、二
大正三年	六、五	一三、九	一九	一、〇	二二	六七	四五、二	一七、五	四	五、一
大正四年	五、八	一四、八	二一	(一) 〇、五	二〇	六五	三四、〇	五、四	二	六、五
大正五年	九、四	一五、九	二二	一、八	二二	七五	二〇、一	七一、二	五	八、一
大正六年	七、八	一九、一	二二	(一) 〇、五	二〇	七〇	三九、六	一七、〇	四	六、〇
平均又は極數										

前表に依りて看るに本年の彼岸は最近六年間に於て大正三年に亞く高温にして日照時數は最近六年間の最少を示し降雨は最近六年間になき最多量なりし

●氣候の激變

技手 芝野彊

本年に入りてより屢々氣候に激變を生し卽ち一月は强烈風の吹續したる數實に二百八十六時（平均一日に約八時間宛吹續したる割合に當る）にして平年の二倍以上に達し寒氣も頗る强く二月も亦上半月は寒氣强く降雪頻々として其跡を踵き三月は上旬

東部を横ぎり北東に進むに從ひ益々發達し十五日朝北海道東方海上に到りたる頃は其中心示度七百四十粍に下降せり此れが爲奥羽北部より北海道に亘り著しき風雪あり佐渡相川にては十五日午後十一時毎秒速度三十米八に達し佐多岬にては十三日午後十時毎秒速度二十九米四に及べりと云ふ

大阪にては十五日午後二時より北西の强風吹き起り午後七時最も强く毎秒速度十七米七に達し午後八時まで繼續せり其時數は六時にして內强風四時烈風二時なり

(三)二十五日より二十六日に至る暴風　二十二日楊子江流域に顯はれたる低氣壓は東南東に進み支那東海に入り二十三日の朝奄美大島附近に到りて北東に轉向し二十四日遠州灘及房總半島を横きり二十五日金華山沖を通過し益々發達して二十六日朝北海道の東方洋上に到りたる頃は其中心示度七百四十二粍に下降せり

此低氣壓は本邦に顯著なる暴風雨を起し特に本州北部及北海道に著しく奥羽地方にては電信電話線の被害多く通信不通となり東北、奥羽等の汽車は運轉中止したるものありと云ふ

大阪にては二十五日午前四時西の强風吹き起り午後一時最も强く毎秒速度十九米二に達し斷續して二十六日午後五時に至れり其時數は二十八時にして內强風二十時烈風八時なり

●春季彼岸の氣象概況

技手　山田顯吉

例年彼岸頃は陰晴不定にして天氣定らざるか此頃は亞細亞大陸の高氣壓低減し爲めに冬の季節風なる西風減殺し未た夏季の卓越風なる南西風吹き始めさる所謂定風なき時期にして高氣壓の來去頻繁なるが故なり

今本年春季彼岸中(三月十八日より二十四日に至る七日間)の氣象を調査するに氣温の平均は九度四にして平年より一度六高く最高氣温の平均は十三度()にして平年より零度九高く最低氣温の平均は五度七にして平年より一度九高く日照時數は二十時一にして平年より十九時五少く平均一日中に約三時間日照を受けたる割合に當れり降水日數は五日にして平年より一日多く其水量は七十一粍二にして平年より五十四粍二多し

之れを要するに本年春季彼岸は頗る温暖にして日照時數少く降雨は多かりし卽ち左に示すが如し

種目 / 日別	空氣温度 平均 本年	平均 平年より	最高 本年	最高 平年より	最低 本年	最低 平年より	濕度 本年	濕度 平年より	日照時數 本年	日照時數 平年より	降水量 本年	降水量 昨年	雲量 本年	雲量 平年より
三月十八日	八、七	▲ 一、八	一四、〇	▲ 四、二	二、五	一、七	七、[illegible]	〇、〇	三、三	一、四	〇、〇	〇、〇	七、五	● 一、五

三月四日	午後九時	七五九、六	五、〇	北	六、三	—	快晴
仝	仝十時	七五九、六	四、二	北	三、五	—	曇
仝	仝十一時	七五九、五	四、二	北東	一、四	—	晴
仝	夜中	七五九、四	二、二	北東	一、三	—	曇
三月五日	午前一時	七五九、六	四、六	南西	三、一	—	曇
仝	仝時	七五九、六	四、八	西	六、五	—	曇
仝	仝三時	七五九、一	四、七	西	四、〇	—	曇
仝	仝四時	七五九、〇	三、五	北	一、八	—	晴
仝	仝五時	七五八、八	二、三	東	一、八	—	曇
仝	仝六時	七五八、五	五、三	南西	六、八	—	曇
仝	仝七時	七五八、三	六、三	西南西	六、六	—	曇
仝	仝八時	七五八、三	七、二	西南西	一四、一	—	曇
仝	仝九時	七五八、一	七、四	南西	一五、一	—	晴
仝	仝十時	七五七、六	八、七	南西	一六、二	—	晴
仝	仝十一時	七五七、四	五、九	西	一七、二	—	曇
仝	正午	七五七、二	七、一	西南西	一八、三	〇、〇	晴
仝	午後一時	七五七、二	六、五	西	一五、六	〇、〇	快晴
仝	仝二時	七五七、七	七、三	西南西	二〇、三	—	快晴
仝	仝三時	七五八、〇	五、七	西	一八、九	—	快晴
仝	仝四時	七五八、四	五、〇	西	一五、七	—	快晴
仝	仝五時	九五八、八	四、九	西	一三、五	—	快晴
仝	仝六時	七五九、二	三、九	西	一七、四	—	快晴
仝	仝七時	七六〇、〇	三、四	西	一四、二	—	快晴

三月五日	午後八時	九六〇、九	三、二	西	一三、一	—	快晴
仝	仝九時	七六一、四	二、五	西	一二、八	—	快晴
仝	仝十時	七六一、九	一、九	西南西	一二、八	—	快晴
仝	仝十一時	七六二、八	一、六	西南西	八、七	—	快晴
仝	夜中	七六三、〇	二、〇	西南西	一二、二	—	曇
三月六日	午前一時	七六三、三	一、九	西	一〇、六	—	晴
仝	仝二時	七六三、四	二、〇	西	一〇、三	—	曇
仝	仝三時	七六三、五	二、一	西	九、七	—	曇
仝	仝四時	七六三、五	二、一	西	一〇、七	—	曇
仝	仝五時	七六三、八	一、九	西	一〇、四	—	快晴
仝	仝六時	七六四、三	一、七	西	一三、四	—	快晴
仝	仝七時	七六四、五	二、一	西	一三、三	—	快晴
仝	仝八時	七六五、〇	三、五	西	一〇、八	—	快晴
仝	仝九時	七六五、六	四、三	西	一二、八	—	快晴
仝	仝十時	七六五、七	五、六	西	九、四	—	晴
仝	仝十一時	七六五、六	六、五	西南西	九、六	—	晴
仝	正午	七六五、四	七、一	西南西	一二、〇	—	晴
仝	午後一時	七六五、三	七、八	西南西	一三、三	—	晴
仝	仝二時	七六五、〇	七、三	西南西	一二、八	—	晴
仝	仝三時	七六五、一	八、三	西南西	一三、六	—	晴
仝	仝四時	七六五、三	六、六	西南西	一三、三	—	晴
仝	仝五時	七六五、六	六、五	西南西	九、六	—	曇
仝	仝六時	七六五、八	六、〇	西南西	八、三	—	曇

(二)三月十五日の暴風　十三日支那温州附近に顯はれたる低一氣壓は北東に進み支那東海を通過し十四日紀州沖を經由して本州

人身に感覺なきも地震計に感じたり

●本年三月中の暴風概況

技手　大橋龍太郎

三月は低氣壓の支那北部又は楊子江流域より來りて本邦及び本邦附近の海上を通過したるもの頗る多かりしが當地方に暴風を起したるものを擧ぐれば左の如し

(一)三月四日より六日に至る暴風三日朝黄河流域に顯はれたる低氣壓は東に進み渤海及び朝鮮中部を横ぎり五日朝日本海中部に來り奥羽北部を經て六日太平洋中に入れり又三日の朝紀州半嶋の南西方海上にも低氣壓顯はれ北東に進行して四日房總半嶋を横斷し五日太平洋中に去れり

前記兩低氣壓の通過に際し本邦各地に風雨あり沿岸地にては暴風となりたる所多く八丈嶋にては五日午後六時毎秒速度二十七米八に達し佐渡の相川にては同日午後十時毎秒速度二十六米八に及べりと云ふ

大阪にては三日朝來氣壓下降し四日午前二時七百五十三粍五の最低に達し後漸次に上昇せり雨は三日午後六時四十五分より降り初め四日午前五時四十分まで繼續し其雨量十六粍二に達せり風は四日午前四時風向北より西に轉じ次第に增力し午前六時より强風となり午後四時過より一旦衰へしが五日午前八時より復々强風吹き起り午後二時最も强く毎秒速度二十米二の烈風に達し六日午後四時まで吹き續けり其時數は四十時にして內强風二十六時烈風十四時なり

更に毎時觀測の結果を記すれば左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	降水量	天氣
三月四日	午前五時	七四、六	六、〇	西南西	五、四	二、二	雨
〃	〃六時	七四、七	五、八	西南西	三、三	〇、四	曇
〃	〃七時	七四、六	五、七	西南西	六、九	—	曇
〃	〃八時	七五、一	六、八	西南西	三、〇	—	快晴
〃	〃九時	七五、五	七、三	西南西	二、二	—	晴
〃	〃十時	七六、〇	七、九	西南西	四、六	—	曇
〃	〃十一時	七五、八	八、〇	南西	一四、二	—	晴
〃	正午	七五、六	八、三	南西	一七、四	—	曇
〃	午後一時	七五、四	九、一	西南西	一六、四	—	分
〃	〃二時	七五、五	八、九	西南西	一八、五	—	晴
〃	〃三時	七五、四	九、七	南西	一五、二	—	晴
〃	〃四時	七六、〇	九、三	北北西	一三、〇	—	晴
〃	〃五時	七六、四	八、四	北北西	九、二	—	晴
〃	〃六時	七六、九	七、五	北	七、〇	—	晴
〃	〃七時	七六、四	五、八	北	六、三	—	快晴
〃	〃八時	七六、八	五、四	北	五、九	—	快晴

初期微動	P	九時一六分一七秒				
主要動	L	九時一八分〇三秒				
	M	全一九分一五秒	(十)一六六三			
終期	F	一一時〇九分一七秒		一二、〇		

附記　此地震は三陸沖に發したるものにして震域廣く北方は北海道の南部に南方は東京灣に西方は丹後の宮津附近に達し長半徑百里短半徑八十五里を有し弱震部は七千七十方里、有感覺微震部は二萬六千七百方里に亘れり

三二　三月十八日午前七時十三分二十二秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十七秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前七時十四分四十五秒に於て百八十五「ミクロン」振動期二秒八、南北動は午前七時十四分五十八秒に於て百六十三「ミクロン」振動期二秒四を現し後漸次微となり靜止せり全振動時間は東西動は十八分二秒南北動は十八分三十五秒なり

附記　此地震は房總沖に發したるものにして震域頗る廣く北方は北海道に南方は八丈嶋に西方は駿河附近に達し長半徑百里、短半徑七十里を有し强震部は一萬三百七十方里、有感覺微震部は二萬千九百九十方里に亘れり

三三　三月二十日午前零時十四分三十二秒の地震

初期微動	P	九時一六分一七秒				
主要動	L	九時一八分〇三秒				
	M	全一九分〇八秒	(十)二八六〇			
終期	F	一一時〇八分五三秒		一六、八		

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前零時十五分十五秒に於て二十五「ミクロン」振動期二秒二南北動は午前零時十五分十八秒に於て十三「ミクロン」振動期一秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は四分五十九秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

附記　此地震は紀伊水道に發したるものにして和歌山、德嶋にては性質急なる微震を感じ潮岬にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

三四　三月二十三日午前十一時三十五分五十九秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十二秒にして主要動となり最大振幅は午前十一時三十六分三十六秒に於て二十五「ミクロン」振動期一秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は四分四十五秒なり

附記　此地震は江濃地方に發したるものにして岐阜、彦根にては性質急なる微震を感じ岐阜にては地鳴ありたり又名古屋にては

ありては南、東西動にありては西なり振幅は「ミクロン」(粍の千分一)を以て記す

本月は地震少く其數六回にして人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感じたるものも亦た一回もなかりしが無感覺地震にして地動計又は微動計に感じ其震源本邦内にありたるものは房總沖二回、三陸沖、鹿嶋洋、紀伊水道及江濃地方各一回にして遠距離地震は一回もなかりし今其觀測概況を記すれば左の如し

二九　三月三日午後九時五十二分十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後九時五十四分十三秒に於て九十八「ミクロン」振動期四秒八南北動は午後九時五十四分九秒に於て百二十「ミクロン」振動期五秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十八分零秒南北動は三十八分二秒なり

附記　此地震は房總沖に發したるものにして水戸、筑波にては微震を感じ東京、沼津、名古屋にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

三〇　三月十四日午前四時五十八分五十一秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十六秒にして主要動となり最大振幅は午前五時零分一秒に於て三十八「ミクロン」振動期四秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は十一分二十八秒なり(南北動微動計百二十倍の觀測)

附記　此地震は鹿島洋に發したるものにして震域北方は羽後の秋田附近に南方は東京灣に西方は名古屋附近に達し長半徑五十里短半徑四十里を有し弱震部は三千七百方里、有感覺微震部は六千二百八十方里に亘れり

三一　三月十五日午前九時十六分十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分四十六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前九時十九分十五秒に於て千六百六十三「ミクロン」振動期十二秒〇、南北動は午前九時十九分八秒に於て二千八百六十「ミクロン」振動期十六秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時四十九分〇秒、南北動は一時五十二分三十六秒なり卽ち左表に示すが如し

東西動地動計觀測

發現時	最大振幅	振動期

南北動地動計觀測

發現時	最大振幅	振動期

管內天氣摘要

●一日概ね晴天大阪、妙見山、天王、田原に雪降り大阪、枚方柏原に強風吹けり●二日概ね晴天大阪、新庄に強風吹き所々に霜あり●三日晴曇相半し所々に霜あり午後より雨降り翌日に亘る●四日前日來の雨未明歇み後晴曇相半し大阪、新庄、茨木に強風吹けり●五日概ね晴天堺、新庄、清水に雨、大阪に雪霰果郷に霰、天王、柏原に雪降り所々に強風吹けり●六日概ね晴天堺、大阪、新庄、柏原に強風吹き天王に雪降れり●七日概ね晴天所々に霜あり●八日概ね晴天所々に霜あり●九日未明より雨降り斷續して翌日に亘る深日、上之郷、妙見山に強風吹けり●十日前日來の雨一日歇みしか午後復々雨降る新庄妙見山、東郷に霰降り大阪、柏原に強風吹けり●十一日概ね晴天上之郷、大阪、新庄、東郷、天王、富田林に霜あり●十二日概ね曇天所々に微雨あり大阪に強風吹けり●十三日概ね曇天午後より雨降り翌日に亘る●十四日前日來の雨斷續して午後歇み枚方、柏原に強風吹けり●十五日晴曇相半し所々に雨降り妙見山、天王、茨木に雪降り大阪、柏原に強風吹けり●十六日概ね晴天大阪、東郷、天王に雪降り深日、秦野枚方に強風吹き大阪に霜あり●十七日概ね晴天所々に霜あり●十八日晴曇相半し午後より雨降り翌日に亘る●十九日前日來の雨翌日に亘る大阪に強風吹けり●二十日前日來の雨未明歇み清水に雪降り大阪に強風吹けり●二十一日概ね曇天所々に雨降り深日、茨木に強風吹けり●二十二日概ね晴天上之郷大阪、新庄、茨木に霜あり●二十三日朝より雨降り斷續して翌日に亘る所々に強風吹けり●二十四日前日來の雨概ね午前歇み天王に雪降り深日、大阪、柏原に強風吹けり●二十五日晴曇相半し大阪に凍雨、枚方に雹、富田林に霰、妙見山、東郷　天王に雪降り深日、長承寺、堺、大阪、枚方、柏原、富田林に強風吹けり●二十六日概ね晴天所々に雪霰を降らし深日、堺、大阪茨木に強風吹けり●二十七日晴曇相半し大阪、妙見山、東郷、天王に雪霰を降らし上之郷、大阪に霜あり●二十八日概ね晴天所々に霜あり午後より一般に雨降り妙見山、天王は雪を交へり●二十九日晴曇相半し所々に雨降り新庄に霰、天王に雪降れり●三十日概ね晴大所々に霜あり●三十一日晴曇相半し所々に雨降り大阪、東郷、田原に霜あり

大阪地震觀測概況

爰に記する所のものは主として大森式地動計（東西及南北動二十倍）を以て觀測したるものを記し、極微なる地震にありては百廿倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如しPは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動仝上、Lは長波即ち主要部仝上、Mは主要部の最大動、Cに終期の最大動、Fは振動の終とす又十は南北動にありては北、東西動にありては東、（一）は南北動に

八日	九日	十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	卅一日	全月
五、八	三、九	—	二、四	—	三、八	—	—	—	—	一七、〇	一九、五	一、〇	—	—	四二、三	—	—	〇、〇	—	三、五	—	—	—	一三二、九
八、〇	四一、〇	—	〇、〇	—	三、五	二、〇	—	—	—	一〇、〇	二〇、〇	二、〇	—	—	四四、〇	—	—	—	〇、〇	三、五	—	—	—	一五〇、〇
五、〇	三〇、〇	—	〇、五	—	四、〇	一、七	—	—	—	一三、六	一六、〇	一、六	—	—	三六、〇	〇、六	—	—	—	三、〇	—	—	〇、二	一二六、五
四、四	三七、二	—	〇、二	—	四、五	二、五	—	—	—	三、四	一七、〇	〇、八	—	—	三〇、八	〇、九	—	〇、三	—	三、二	—	—	〇、三	一三〇、一
五、六	三二、四	—	—	—	五、三	二、三	—	—	—	一七、五	一〇、二	—	〇、三	—	二七、九	〇、八	—	—	—	三、五	—	—	—	一二九、六
五、〇	四二、〇	—	〇、〇	—	三、四	二、〇	〇、〇	—	—	一三、五	二〇、〇	〇、〇	—	—	三八、八	一、二	—	—	—	三、八	—	—	—	一四五、七
七、〇	四〇、〇	—	—	—	六、〇	一、〇	—	—	—	一〇、〇	三、〇	〇、六	—	—	三〇、〇	四、〇	—	〇、〇	—	四、〇		—	—	一四二、六
六、二	四一、七	〇、〇	—	—	五、三	二、四	〇、〇	—	—	一七、六	三、三	〇、二	—	〇、〇	三〇、三	一、六	〇、〇	〇、二	〇、〇	三、九	—	—	〇、〇	一四八、五
七、三	四一、〇	—	—	〇、九	六、四	二、八	〇、三	—	—	一六、三	一五、二	〇、四	—	—	三三、〇	一、六	〇、九	—	—	四、五	—	—	—	一五七、三
七、〇	四〇、〇	〇、四	—	〇、〇	五、〇	〇、二	〇、三	—	—	一四、〇	二〇、五	〇、〇	—	—	二五、〇	〇、四	〇、三	〇、三	—	四、六	—	—	〇、〇	一三四、〇
六、三	三二、〇	〇、二	—	—	六、〇	三、五	一、八	—	—	一三、三	二〇、二	—	—	—	二、六	一、三	二、一	一、一	—	六、一	—	—	—	一三一、〇
四、二	二〇、〇	〇、〇	—	—	一七、〇	九、〇	〇、一	—	—	一五、〇	二五、〇	—	—	〇、七	三九、〇	一、〇	〇、五	—	〇、〇	〇、七	—	—	—	一二七、四
三、五	二七、五	二、〇	—	〇、六	七、一	六、四	—	四、三	—	一五、八	一八、七	—	—	一、一	四一、五	〇、四	二、三	〇、三	〇、〇	五、一	〇、〇	—	—	一六二、四
三、三	三〇、〇	〇、八	〇、三	〇、七	一七、〇	六、五	一、〇	〇、八	—	一七、〇	二八、〇	—	—	一、二	三〇、八	〇、二	二、〇	一、〇	一、五	四、五	—	—	—	一七一、五
一〇、〇	四二、〇	—	—	—	七、〇	四、〇	—	—	—	二〇、〇	二、五	—	—	—	三二、〇	〇、〇	—	—	—	五、〇	—	—	—	一五八、五
二、三	四六、五	—	—	—	八、二	六、三	—	—	—	一四、七	一〇、四	二、〇	—	—	三一、三	二、一	—	—	—	五、八	—	—	—	一六六、三
一〇、〇	四六、〇	—	—	—	五、五	五、〇	—	—	—	一〇、五	一〇、五	〇、〇	〇、五	—	二〇、八	三、〇	—	—	—	〇、五	〇、三	—	—	一三九、六
八、二	四〇、五	—	—	—	四、七	三、〇	—	—	—	一三、八	二四、〇	一、〇	—	〇、一	二六、三	三、五	—	—	—	七、二	—	—	—	一三五、八
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—
四、八	三〇、二	—	〇、三	—	三、八	五、三	—	—	—	七、五	二三、〇	六、〇	—	—	三〇、四	三、〇	—	一、五	—	三、五	—	—	—	一四〇、〇
四、〇	三八、〇	—	〇、三	—	三、八	四、五	—	—	—	九、一	二〇、五	一〇、五	—	—	三〇、〇	一四、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	二、〇	〇、一	—	—	一三二、八
三、五	四〇、三	〇、四	—	—	三、七	四、一	—	—	—	九、三	一五、八	一、三	—	—	四二、五	四、〇	一、五	〇、三	—	三、〇	—	—	—	一四三、七

第四表　管內降水日量

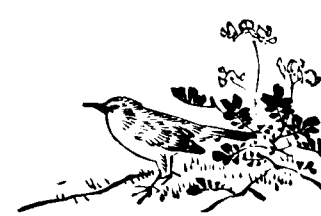
三月	深日	上之鄉	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	秦野	妙見山	東鄉	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、三	—	—	〇、三	—	—	—	〇、八	—	—	—	—
二日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三日	一四、七	一六、〇	一四、三	一五、六	一五、〇	一六、〇	一九、〇	一六、八	一七、七	一六、〇	一六、二	四、二	一六、八	二三、三	一八、〇	一〇、一	一七、〇	一八、七	—	一四、七	一五、〇	一五、〇
四日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、二	—	七、八	—	—	—	—	—	—
五日	—	—	—	—	—	〇、〇	—	〇、〇	—	—	〇、一	—	—	〇、二	—	—	—	—	—	—	—	—
六日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、七	—	—	—	—	—	—	—	—
七日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

三月	福島	新庄	秦野	妙見山	東鄉	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	一一、九	二、九	七、四	〇、八	一六、六	二二(一)	一、九	七	一五七、三	▲ 五八、八	四〇、〇	九	八、六	六八	七、五	北東
二日	一一、四	二、九	七、一	〇、七	一六、六	二二(一)	二、〇	八一	一三四、〇	▲ 四一、六	四〇、〇	九	八、一	七三	六、七	東
三日	一一、六	一、六	六、六	一、一	一五、八	一三(一)	四、六	八	一三一、〇	▲ 三三、一	三二、〇	九	二、五	七一	六、七	南
四日	六、六(一)	二、二	二、五	一、七	一三、一	三一(一)	八、八	八	一二七、四	▲ 二八、〇	三九、〇	二三	七、八	八八	六、三	北
五日	一〇、八	〇、〇	五、四	一、二	一五、七	一四(一)	五、六	八三	一六二、四	▲ 五二、三	四一、五	二二	四、五	六七	七、五	北
六日	八、一(一)	一、三	三、四	〇、六	一二、八	一四(一)	六、九	二	一七一、三	▲ 三二、四	三〇、八	二三	九、三	七五	七、四	北
七日	一三、二	二、八	七、五	〇、三	一六、五	二二(一)	三、〇	二八	一五八、五	▲ 五六、一	四二、〇	九	八、九	七二	七、一	西
八日	一一、四	一、九	六、七	〇、六	一六、三	一三(一)	四、八	八三	一六六、三	▲ 六六、五	四六、五	九	八、三	六九	六、六	北
九日	一三、一	二、三	七、二	〇、六	一六、六	三一(一)	四、五	五	一三九、六	▲ 三六、〇	四六、〇	九	八、八	六三	六、四	南
十日	一一、五	〇、五	六、〇	〇、五	一七、〇	一三(一)	四、八	八三	一五三、八	▲ 四三、五	四〇、五	九	七、五	七〇	五、二	西
十一日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十二日	一三、一	二、〇	六、四	〇、六	一八、六	一四(一)	二、一	二	一四〇、〇	▲ 三五、九	三〇、四	二三	七、五	八〇	六、七	北西
十三日	一一、八	一、八	六、八	〇、五	一八、〇	一四(一)	三、〇	八	一五一、八	▲ 五一、二	三八、〇	九	八、二	七四	六、二	南西
十四日	一一、一	一、三	六、三	〇、六	一七、七	一四(一)	四、五	六	一四三、七	▲ 四七、七	四一、五	二三	八、一	六五	四、六	西

し和泉北部より大阪市附近最も高く零下二度乃至零下一度に止まれり之れを要するに本月の氣溫は最高十八度六より最低零下八度八の間にありて其較差は二十七度四に達せり

降水

總量は北部天王の百七十一粍二より南部濱寺の百十九粍六の間にありて之れを平年に比すれは多きは六割少きも三割の多量を示せり而して日量の最多は九日及二十三日の大雨の際にありて其最も多きは北部清水の四十六粍五なり又日量の四十粍以上なりしは深日、上之郷、堺天王寺大阪、福嶋、新庄、東郷、茨木、枚方、田原、長野の十二ケ所にして其他と雖も一般に三十粍以上なりき



第三表　管内全月氣象觀測成績

（表中▲印は高又は多）

觀測所	空氣ノ溫度 平均最高	平均最低	平均本年	平均平年比較	最高極	起日	最低極	起日	降水 總量 本年	平年比較	最多日量	起日	午前十時（柏原八午前九時） 氣溫	濕度	雲量	最多風向	天氣日數 降水	雪	霰	霍	霜	電雷	地震	午前十時 快晴	曇天	暴風
深日	一三、一	三、四	七、八	〇、四	一五、七	九(一)	二、六	八	一三一、九▲	二三、二	四二、三	二三	九、五	六四	五、八	北	一〇	〇	一	〇	四	〇	〇	九	一五	七
上之郷	一一、四	二、七	七、〇	—	一五、一	一七(一)	二、九	八	一五〇、〇	—	四四、〇	二三	七、八	六九	五、六	北東	一〇	〇	〇	〇	一一	〇	〇	一〇	一六	二
岸和田	一〇、九	三、三	七、一	〇、九	一五、六	一四(一)	三、〇	三	一二六、五▲	三〇、八	三六、〇	二三	八、三	六七	五、七	西	一三	〇	〇	〇	二	〇	〇	一〇	一三	一
長承寺	一一、四	二、六	七、〇	〇、九	一八、六	一四(一)	二、七	三	一三〇、一▲	三五、二	三七、二	九	九、二	八〇	五、五	東	一四	〇	一	〇	六	〇	〇	七	一三	三
濱寺	一一、三	二、六	七、〇	—	一五、〇	一四(一)	二、四	三	一一九、六	—	三一、四	九	八、二	六五	七、四	北	一一	—	—	—	—	—	—	五	一九	七
堺	一一、八	三、二	七、五	〇、六	一六、四	二二(一)	一、六	三	一四五、七▲	五一、二	四二、〇	九	八、四	六五	六、一	北東	一〇	〇	〇	〇	六	〇	〇	一一	一七	四
天王寺	一一、四	二、八	七、一	〇、九	一六、〇	一三(一)	二、二	二	一四二、六▲	四五、八	四〇、〇	九	八、〇	六六	四、六	東	一一	〇	一	〇	三	〇	〇	一六	一一	二
大阪	一一、三	三、六	七、四	〇、二	一五、九	二二(一)	一、三	八	一四八、五▲	五〇、〇	四二、七	九	八、一	六五	七、五	北	一三	三	三	〇	一五	〇	〇	四	一八	一四

三十日	八、八	九、〇	九、二	九、四	九、九	二、九	朝微霜あり、夜薄露あり
卅一日	七、八	八、八	九、一	九、六	一〇、〇	一、八	朝微霜あり、午後二時五十八分より微雨斷續し全五時二十三分歇む、夜薄露あり
全月	七、五	八、三	八、四	八、七	九、三	一、七	

大阪府管內氣象概況

前項に於て既に詳記したるか如く三月は亞細亞大陸の高氣壓漸次低減し爲めに西乃至北西の寒風稍々衰へ氣溫著しく上昇し漸く春季の狀態に遷らんとす故に月の始めと終とに於ける氣溫の差異は甚た大にして變化も亦多く往々氣候順を失することあり降水量は前月に比すれは著しく增加するを常とす而して本年三月の氣候を調査するに上旬は寒冷にして氣溫最低は北部妙見山に於て零下八度八に下降せしも中旬に入りては次第に溫暖となり最低は概ね零度以上を保ち最高の極は南部長承寺、東部柏原に於て十八度六に昇り非常に暖氣を感じたり然れとも二十七日より復々寒冷となり二十八日には北部の山間に於て零下六度〇に降りたり故に氣溫の月平均は一度內外の過低を呈せり又降水量は九日及二十三日に大雨ありたるため一般に多量を示し特に西部より東部地方に多かりき要するに本月の氣候は上旬及下旬の末に寒冷にして中旬より下旬の始めは溫暖且つ降雨も多かりし更に氣溫、降水量等に就き詳記すれは左の如し

氣溫

平均は南部深日の七度八より北部妙見山の二度五の間にありて之れを平年に比すれは北部の山間は一度以上沿海部は約一度東部は約半度の孰れも過低を呈せり而して最高は其起日區々なれとも中旬及下旬の始めに現はれ南部長承寺、東部柏原の十八度六を高極とし同富田林の十八度〇之に亞き其他は十七度より十五度の間にありしか北部妙見山は十三度一同天王は十二度八に過きす又最低は概ね上旬に現はれ北部妙見山の零下八度八を低極とし同天王の零下六度九、東郷の零下五度六之れに亞き其他の山間部は零下五度、東部より南部地方は零下四度乃至零下三度を示

五日	五、一	六、三	七、一	七、五	八、四(一)	二、五
六日	五、五	六、一	六、六	七、二	八、五(一)	二、六
七日	五、三	六、一	六、七	七、二	八、五(一)	五、五
八日	六、六	六、四	六、七	七、三	八、五(一)	六、〇
九日	七、四	八、〇	七、七	七、八	八、五	三、六
十日	九、七	九、五	八、九	八、五	八、七(一)	二、一
十一日	八、四	八、三	八、五	八、八	九、〇(一)	四、四
十二日	八、一	九、三	九、一	九、〇	九、一	二、七
十三日	九、〇	八、九	八、九	九、〇	九、三	〇、〇
十四日	九、八	一〇、三	九、九	九、七	九、五	五、九
十五日	八、一	九、五	九、七	九、七	九、七(一)	一、五
十六日	五、九	七、七	八、五	九、二	九、七(一)	三、九
十七日	七、八	七、八	八、二	八、八	九、七(一)	五、一
十八日	七、七	八、五	八、六	九、〇	九、七(一)	三、二
十九日	八、八	九、五	九、二	九、三	九、七	六、二
二十日	九、七	一〇、二	九、八	九、八	九、八(一)	二、六
廿一日	七、五	九、二	九、四	九、七	一〇、〇(一)	一、五
廿二日	九、三	八、九	九、〇	九、四	九、九(一)	二、三
廿三日	八、六	九、八	九、八	九、九	一〇、〇	六、六
廿四日	九、八	一〇、三	一〇、〇	一〇、〇	一〇、二	一、八
廿五日	六、〇	八、七	九、四	九、九	一〇、二	〇、二
廿六日	六、五	七、八	八、三	九、一	一〇、一(一)	〇、四
廿七日	五、五	七、三	七、九	八、七	一〇、〇(一)	四、七
廿八日	七、六	七、五	七、八	八、四	九、八(一)	五、九
廿九日	九、五	九、一	八、九	九、一	九、七(一)	〇、七

朝薄露あり、午前一時二十分より仝二時四十五分迄月暈現る、午前八時より午後十時迄及夜半強風吹けり、午前十一時八分より仝十一時二十分迄霰降り、午後零時二十分より仝零時二十八分迄雪降れり

午前一時より二時、仝四時より九時及正午より午後四時迄強風吹けり

朝霜あり、午前七時より仝八時迄烟霧あり、夜微霜あり

朝霜あり午前十時烟霧あり

午前零時四十分より降雨斷續し翌曉に亘る

前日來の雨斷續し午後三時十四分歇む、午前十一時及午後一時より仝七時迄強風吹けり、夜微霜あり

夜霜あり、午前九時より正午迄烟霧（太陽面黃色を呈せり此現象は九時頃より仝十一時頃迄繼續し後漸次平常に復せり）あり午後一時三十五分より仝三時二十五分迄日暈現る

午後五時強風吹けり、午後十一時二十四分より月暈現れ翌曉に亘る

前夜來の月暈午前五時四十分消ゆ、仝六時五十分より午後三時五十分迄日暈現る、朝薄露あり午後十一時五十分より微雨翌日に亘る

前夜來の雨斷續し午後六時四十二分歇む

午前一時、午後二時及仝四時より仝八時迄強風吹けり、午後一時五十五分より仝二時三十八分迄微雨

午前七時三十四分より仝九時五十五分迄微雪斷續す、夜微霜あり

朝霜あり、午前九時より仝十時迄烟霧あり、夜薄露あり

朝微霜あり、午前十時五十分より午後一時十分迄日暈現る、午後六時五十分より小雨翌曉に亘る

前日來の小雨終日降り續き翌曉に亘る、午後七時強風吹けり

前日來の小雨午前一時三十六分歇む、午後一時より仝九時迄強風吹けり

午前四時五十分より小雨時々凍雨を交へ斷續し仝九時五十五分歇む、夜薄露あり

朝微霜あり、午前十時十分より午後四時三十五分迄日暈現る

午前六時十分より降雨斷續し午後九時八分歇む、午後二時より四時迄及九時強風吹けり

午前一時二十分より降雨時々霰を交へ斷續し午後六時十二分歇む、午後五時四十八分より仝六時十分迄虹霓現る、午後三時強風吹けり、

午後二時十分より微雨時々霰又は凍雨を交へ斷續し仝四時三十六分歇む、午前四時より午後十一時迄強風吹けり

午前十一時十分より微雪時々小雨又は霰を交へ斷續し午後三時五十三分歇む、午前三時より仝九時迄正午より午後一時迄及仝五時強風吹けり

朝微霜あり、午後三時五分より微雨時々霰を交へ仝四時四十分歇む、夜微霜あり

朝霜あり、午前八時より九時迄烟霧あり、午後八時二十五分より仝十時三十分迄小雨

午前零時五十分より仝二時三十分迄微雨

十七日	七六九、四	六、三	〇、六	一三、一(一)	〇、五	一三、六	四、九	七二	二、五	二、九	九、八	南南西	北北東	〇、〇	一〇、四	▲五、九	—	三、〇
十八日	七六九、三	八、七	▲一、八	一四、〇	二、五	一一、五	六、〇	七四	二、六	二、二	三、七	北東	北北東	七、五	三、三	一、四	〇、〇	一、九
十九日	七六一、六	一〇、一	▲三、五	一二、二	八、七	二、五	八、五	九三	〇、七	六、六	一三、〇	北北東	北東	一〇、〇	—	六、四	三八、〇	一、六
二十日	七六三、二	九、九	▲三、一	一二、九	七、五	四、四	六、四	七二	二、八	八、一	一二、三	北	北	九、四	二、五	六、一	〇、四	三、七
廿一日	七六八、七	七、六	一、六	一三、三	三、五	八、七	四、八	六三	三、二	五、三	八、九	北	北	七、〇	三、	三、一	〇、二	二、八
廿二日	七七〇、五	八、七	〇、四	一五、九	一、八	一四、一	五、九	七二	二、九	三、三	六、九	北東	北北東	六、四	八、六	▲三、六	—	三、二
廿三日	七六四、七	一〇、六	▲二、五	一三、〇	九、一	二、九	七、三	七七	二、三	七、六	一〇、三	東北東	北東	九、七	—	三、七	一八、四	一、八
廿四日	七五六、七	一〇、一	▲二、六	一三、八	七、〇	六、八	七、三	八六	二、〇	五、三	一〇、八	南西	西南西	六、六	二、五	二、五	一四、三	三
廿五日	七五七、三	六、八	一、〇	九、二	三、七	五、五	四、八	六五	二、七	一三、三	一九、二	西南西	西	四、七	四、七	三、〇	〇、一	三、八
廿六日	七六一、二	五、二	二、四	八、九	三、〇	五、九	四、三	六五	二、五	八、一	一二、七	北	西	五、二	六、二	一、九	〇、二	二、九
廿七日	七六六、四	五、一	三、二	八、八	一、七	七、一	四、三	六五	二、五	四、三	七、二	北北西	北	五、〇	四、五	三、四	〇、〇	一、
廿八日	七六八、五	五、五	三、五	一二、〇(一)	〇、六	一二、六	四、七	七三	二、三	三、四	七、〇	西	南南西	四、六	八、三	〇、〇	四、一	三、
廿九日	七六九、一	七、〇	二、六	一二、七	三、四	八、三	五、一	七〇	二、六	三、二	六、一	北東	北北東	五、二	八、三	▲一、九	〇、〇	二、九
三十日	七六九、九	六、八	三、六	一三、五	一、一	一二、四	五、〇	七〇	二、六	三、三	六、八	西南西	北北東	一、三	一〇、八	▲三、七	—	三、一
卅一日	七六八、四	八、一	一、九	一三、〇	二、八	一〇、三	六、三	七七	二、三	二、五	四、三	東北東	北東	五、〇	二、五	六、六	〇、〇	一、
全月	七六四、五	七、〇	〇、六	一二、三	二、八	八、五	五、四	七〇、七	二、四	五、六	二〇、三	西南西	北東	五、九	一八七、六	▲一、六	一四七、九	八三、一

第二表 大阪毎日氣象観測成績の二

三月	地中温度(平均) 地皮	十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温	諸現象の摘要
一日	四、九	五、九	六、七	七、三	八、四(一)	五、五	朝微霜あり、午後二時より仝六時迄強風吹けり
二日	五、二	五、七	六、四	七、一	八、三(一)	六、八	朝微霜あり、午後一時より仝三時迄強風吹けり、夜霜あり
三日	五、〇	五、八	六、三	七、〇	八、三(一)	四、五	朝霜あり、午前十一時三十分より午後零時十五分迄日暈現る、午後六時四十五分より降雨翌暁に亘る
四日	六、九	七、二	七、一	七、三	八、二(一)	三、〇	前夜來の雨午前五時四十分歇む、午前六時より午後四時迄強風吹けり、午後六時三十五分より仝七時三分迄月光環現る、午後九時二十分より仝九時五十三分迄及仝十一時二十分より仝十一時五十八分迄月暈現る、夜薄露あり

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印は高又は多）

三月	氣壓	空氣ノ溫度				水蒸氣張力	濕度	風				雲量	日照時數	降水量	蒸發量
	平均	平均	本年平均ト比較	最高	最低	較差	平均	平均	平均	最大速度	全上方向	平均	本年平均ト比較		
一日	七五二、七	三、〇	三、四	六、五	〇、七	七、二	三、四	六一	二、四	七、三	西南西	一、八	五、七▲	—	二、五
二日	七五三、〇	三、七	二、六	八、三	一、〇	九、三	三、七	六四	二、四	四、八	南西	〇、六	四、二▲	—	二、八
三日	七五二、一	四、八	一、七	九、四	〇、七	一〇、一	四、七	七四	二、五	一二、〇	北北東	七、四	三、一	一、五	二、六
四日	七五三、七	六、七	〇、九	一〇、九	三、二	七、七	五、二	七四	二、六	八、五	西南西	六、五▲	七、八▲	一、五	三、五
五日	七五九、六	四、八	三、七	八、九	一、五	七、四	三、九	六四	一、六	一〇、一	西南西	四、七	八、五▲	一、五	三、九
六日	七五五、九	四、二	五、二	八、五	一、四	七、一	三、八	六二	九、六	一三、一	西	四、一	九、四▲	—	三、七
七日	七五九、九	三、五	五、九	八、九（一〇）	〇、七	九、六	三、八	六四	二、三	一一、一	南南西	五、八	四、七	—	三、七
八日	七五八、三	五、八	〇、九	一〇、九	一、三	一一、一	四、五	七二	二、九	一四、八	北北東	四、八	五、七▲	一、五	三、七
九日	七五六、七	八、八▲	二、六	一一、一	六、一	五、〇	七、九	九二	〇、七	五、七	北東	八、六	一、五	五、五	四、六
十日	七五八、八	九、八▲	三、六	一三、四	六、四	七、〇	九、三	九二	二、六	八、五	南西	一〇、〇	一、五	四、一	三、五
十一日	七五六、四	六、九▲	〇、五	八、九	三、三	五、六	六、三	七二	二、四	一一、一	北	九、六	一、〇	六、二	二、九
十二日	七五五、三	一〇、一▲	三、七	一四、四	五、九	八、五	六、三	六二	三、〇	一三、〇	北	一〇、〇	一、五	—	二、九
十三日	七六二、四	九、三▲	一、三	一三、〇	三、八	一一、二	六、〇	六四	二、四	七、三	北北東	九、九	八、四▲	五、五	三、六
十四日	七五九、二	一一、一▲	四、七	一五、〇	八、七	六、三	八、四	八六	一、五	九、八	南南西	一〇、〇	一、五	一、〇	三、六
十五日	七六一、一	六、七▲	〇、三	一〇、四	一、九	八、五	四、五	六一	二、三	一一、一	北北西	八、四	〇、五	〇、〇	三、八
十六日	七六八、五	三、五	二、一	八、四	〇、二	八、二	三、六	六二	二、五	八、八	北	二、五	九、八▲	〇、〇	二、八

第一表　大阪每時氣象觀測成績表

三月

時	氣壓平均	氣温平均	水蒸氣張力平均	湿度平均	飽差平均	風速度平均	雲量平均	日照時數	降水量	地中温度（平均）地皮	地下一十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
一時	五三、六	五、一四	五、二五	七、七	一、五五	四、六	五、〇	一	三、四	三、六三	八、〇五	八、六一	八、八四	九、三二
二時	五四、五四	四、八七	五、二三	七、〇	一、四四	四、五	五、〇	一	五、七	三、三五	七、八一	八、五一	八、八四	九、三二
三時	五四、三九	四、五二	五、一三	七、〇五	一、三五	四、八	五、〇	一	九、〇	三、一九	七、六五	八、四一	八、八〇	九、三二
四時	五四、三五	四、二一	五、一六	八、一二	一、一四	四、三	四、七	一	八、一	二、九五	七、四六	八、二四	八、八三	九、三二
五時	五四、四五	四、一五	五、一一	八、一三	一、一五	四、七	五、〇	一	七、五	二、八三	七、二〇	八、一四	八、七六	九、三二
六時	五四、二六	四、〇八	五、一一	八、一五	一、一一	五、一七	五、二		三、一	二、七二	七、一三	八、一二	八、七四	九、三二
七時	五四、八六	四、二五	五、一一	七、九五	一、一七	五、〇五	五、〇	一	二、一	三、一九	六、九八	八、〇九	八、七九	九、三二
八時	五四、九八	四、五二	五、一九	七、九五	一、一七	五、二七	五、五	一	六、四	五、五八	六、八八	七、九三	八、七二	九、三二
九時	五五、〇四	四、八五	五、二五	七、九二	一、一七	五、八二	五、六	一	四、〇	九、〇一	六、九〇	七、八五	八、七一	九、三二
十時	五四、九七	五、一四	五、二一	七、九二	一、一五	六、一三	六、二	一	六、四	一一、三六	七、〇五	七、九二	八、七五	九、三二
十一時	五四、七七	五、一〇	五、一四	七、九二	一、一三	六、三二	六、七	一	一、四	一四、〇四	七、三九	七、九〇	八、七五	九、三二
十二時	五四、四一	五、二九	五、一九	七、九二	一、一五	六、一七	六、七	一	一、三八	一五、三三	七、三一	七、九三	八、七五	九、三二
十三時	五四、九二	五、三九	五、二三	七、九二	一、一九	七、一三	七、三	一	七、三	一五、六一	七、三五	七、九三	八、七四	九、三二
十四時	五四、五五	五、三九	五、二〇	七、九二	一、一九	七、二六	七、三	一	五、二	一四、七五	七、三五	七、九〇	八、七四	九、三二
十五時	五四、四五	五、三九	五、二二	七、九二	一、一九	六、七五	七、〇	一	七、五	一三、六八	七、三五	七、九〇	八、七四	九、三二
十六時	五四、一四	五、三九	五、二一	七、九二	一、一九	六、五五	六、三	一	七、五	一二、八五	七、三五	七、九二	八、七四	九、三二
十七時	五四、二〇	五、三五	五、二五	七、九二	一、一九	六、三五	六、三	一	一三、四	一一、三五	七、三五	七、九二	八、七五	九、三二
十八時	五四、二九	五、三四	五、二四	七、九二	一、一九	六、二八	六、四	一	二、〇	七、三九	七、三五	七、九二	八、七四	九、三二
十九時	五四、三二	五、三四	五、二三	七、九二	一、一九	六、〇〇	五、六	一	六、八	六、四九	七、三五	七、九二	八、七二	九、三二
二十時	五四、三六	五、三四	五、二三	七、九二	一、一九	五、八四	五、三	一	六、九	五、三五	七、三五	七、九二	八、七二	九、三二
廿一時	五四、三〇	五、二八	五、一四	七、九二	一、一八	五、五九	五、三	一	三、二	五、〇三	七、三五	七、九二	八、七二	九、三二

度七七低く月中の最高は二十四日午後五時乃至六時に於て十一度六を示し最低は二日午前八時乃至九時に於て四度一を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後六時にありて九度五五、最低は午前八時にありて六度八八を示し其較差は二度六七なり

地中二十糎の溫度　平均は八度三六にして平年に比すれは零度六二低く月中の最高は二十四日午後九時に於て十度八を示し最低は二日及三日午前十時乃至正午に於て五度七を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後九時にありて八度九二、最低は午前十時乃至十一時にありて七度八〇を示し其較差は一度一二なり

地中三十糎の溫度　平均は八度六九にして平年に比すれは零度五一低く月中の最高は二十四日午後十時より翌二十五日午前一時に於て十度四を示し最低は二日午後一時乃至三時及三日午前十一時乃至午後六時に於て六度八を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は夜半にありて八度九一、最低は午後二時にありて八度四七を示し其較差は零度四四なり

地中六十糎の溫度　平均は九度三三にして平年に比すれは零度一六低く月中の最高は二十三日午後十一時乃至二十六日午前四時及同日午前九時乃至午後二時に於て十度二を示し最低は四日午前四時乃至五日午前六時に於て八度二を示せり、但し此深さにありては殆んど一日中の變化を認め難し

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時に生し地中十糎にありては午後六時、同二十糎にありては午後九時、同三十糎にありては夜半に生し最低は地皮にありては午前六時に生し地中十糎にありては午前八時、同二十糎にありては午前十時乃至十一時、同三十糎にありては午後二時に生せり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地溫　平均は零下一度六九にして平年に比すれは一度七四低く月中の最低は二日午前四時頃に於て零下七度八を示せり、而して最低地溫の零下に降りたる日數は二十三日にして平年に比すれは五日多し

天氣日數

快晴は四日曇天は八日にして孰れも平年に等し雪は三日にして平年に等しく霰は五日にして平年より三日多く霜は十五日にして平年より四日多し

尙詳細は左に揭ぐる氣象觀測成績表を參照すべし

濕度の平均は七十、七にして平年に比すれは〇、六多く月中の最少は五日午後二時に於て三十五を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前六時にありて八十一、五最少は午後二時乃至三時にありて五十九、九を示し其較差は二十一、六なり

飽差の平均は毎立方米中二瓦三七にして平年に比すれは零瓦一五少く月中の最多は二十二日午後二時に於て六瓦八を示し最少は九日午後五時乃至十一時に於て零瓦一を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後三時にありて三瓦八五、最少は午前六時にありて一瓦二三を示し其較差は二瓦六二なり

風

平均速度は毎秒五米六〇にして平年に比すれは零米二九強く月中の最大速度は五日午後二時の毎秒二十米二(一間平方面を垂直に壓する力は四十三貫二百目)の西南西風なり又強風以上の吹きたる日數は十四日にして平年に比すれは一日少く其時數は百〇二時にして平年に比すれは十八時多し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後一時乃至二時にありて七米五八、最小は夜半にありて四米〇一を示し其較差は三米五七なり、風向は北乃至北東風最も多く西乃至南西風之に亞げり而して南乃至南東風は少し之れを平年に比すれは北東及西風は多く他の風は皆少し

雲量及日照時數

雲量の平均は五、九にして平年に比すれは〇、三多く日照時數は百八十三時五九にして平年に比すれは一時五七多く一日中日照時間の最も長かりしは三十日の十時八〇なり

降水及蒸發量

降水日數は十三日にして平年に等しく其水量は百四十七粍九にして平年に比すれは五十六粍一多く一日中の最多量は九日の四十七粍三、一時間の最多量は同日午後四時乃至五時の八粍八なり、又蒸發總量は八十二粍二にして平年に比すれは六粍二少く一日中の最多量は五日の三粍九なり

地中溫度及最低地溫

地皮溫度の平均は七度四九にして平年に比すれは一度四七低く月中の最高は二十九日及三十日の午後一時に於て二十二度二を示し最低は二日午前二時及七日午前六時に於て零下二度三を示せり而して地皮溫度の零下に降りたる日數は十日にして平年に比すれは七日多し、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて十五度六一、最低は午前六時にありて二度七二を示し其較差は十二度八九なり

地中十糎の溫度　平均は八度一七にして平年に比すれは零

大阪測候所月報

大正六年三月

大阪氣象概況

三月は亞細亞大陸の高氣壓漸く低減し爲めに西の寒風衰へ稍々溫暖となるも本月は氣候の變遷期にして高低氣壓の去來頻繁なるを以て天氣の變化極めて多く同一の天氣を持續すること甚だ稀なりとす、然り而して本年三月の氣候を調査するに平年より冷氣にして降雨は平年より多く日照時數は平年に略ほ等し今各氣象要素に就き詳記すれは左の如し

但本項に記する所の平年は築港に於て觀測したる前六箇年の平均なり

氣壓

平均は七百六十四粍四五にして平年に比すれは零粍九〇高く日々の變化は氣象圖に示すか如く顯著なる昇降は概ね五回と微なる昇降は一回ありたり、而して月中の最高は二十二日午前八時及十時に於て七百七十一粍八を示し最低は九日午後五時及十四日午後二時に於て七百五十一粍九を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前九時にありて七百六十五粍〇七、第一の最低は午後四時にありて七百六十三粍四一を示し第二の最高は午後十時にありて七百六十五粍〇六、第二の最低は午前四時にありて七百六十四粍三五を示し其主なる最高低の較差は一粍六六なり

氣溫

平均は七度〇二にして平年に比すれは零度六一低く平均氣溫日々の變化は氣象圖に示すか如く九日より十五日、十八日より二十日、二十三日より二十四日は平年より高かりしも其他は皆平年より低し而して月中の最高は二十二日午後三時頃に於て十五度九を示し最低は八日午前四時頃に於て零下一度三を示せり、最低氣溫の零下に降りたる日數は七日にして平年に比すれは三日多し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後三時にありて十度二四、最低は午前六時にありて四度〇八を示し其較差は六度一六なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

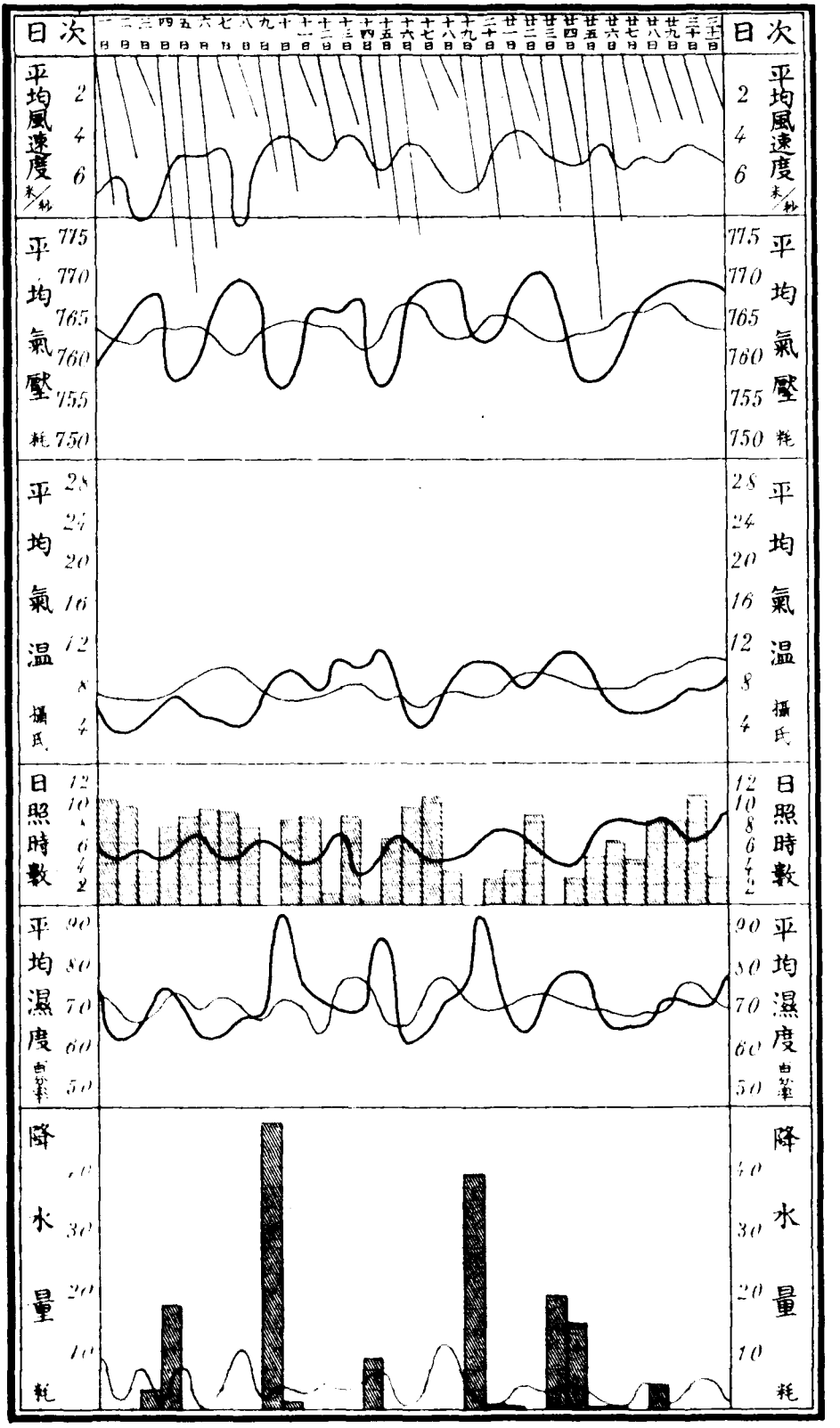
水蒸氣張力の平均は五粍三八にして平年に比すれは零粍二〇低く月中の最高は十四日午後三時に於て九粍九を示し最低は五日午後六時に於て二粍六を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後四時にありて五粍六七、最低は午前五時乃至六時にありて五粍一一を示し其較差は零粍五六なり

大正六年三月

大阪氣象圖

March 1917

本圖八日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス　風速度、氣壓、氣温、濕度ハ本年――平年――　日照時數ハ本年――平年――　降水量ハ本年――平年――



例言

一本報は當測候所及管内各觀測所に於て觀測したる毎月の氣象を調査し之れを掲載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管内各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍(曲尺三厘三毛)を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には(一)を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘し五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量并に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上げて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦(グラム)(零匁二七)にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一歩面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米(曲尺三尺三寸)數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は強風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らす降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管内氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡市	町村	緯度	東經	北緯	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	一三五度〇九分	三四度一九分		上出源助
上之郷	仝國泉南郡	上之郷村	一三五度一八分	三四度二三分		馬場留藏
岸和田	仝國泉南郡	岸和田町	一三五度二三分	三四度二七分		森内清次
長承寺	仝國泉北郡	鳳村	一三五度二七分	三四度三二分		前川由太郎
濱寺	仝國泉北郡	高石村	一三五度二六分	三四度三二分		今井富次
堺	仝國堺市	車ノ町	一三五度二九分	三四度三五分		吉村正輔
天王寺	攝津國大阪市	南區天王寺	一三五度三一分	三四度三九分		加藤昭純
大阪	仝國大阪市	西區一條通	一三五度二六分	三四度三九分		府立大阪一等測候所
福島	仝國大阪市	北區上福島	一三五度二九分	三四度四二分		笠谷正三郎
新庄	仝國西成郡	新庄村	一三五度三一分	三四度四五分		小林雅文
秦野	仝國豐能郡	秦野村	一三五度二六分	三四度四九分		藤重元太郎
妙見山	仝國豐能郡	東郷村	一三五度二八分	三四度五六分		阪部文二郎
東郷	仝國豐能郡	東郷村	一三五度二九分	三四度五七分		大原仁之助
天王	仝國豐能郡	枳根莊村	一三五度二三分	三五度〇二分		高橋政次郎
茨木	仝國三島郡	茨木町	一三五度三四分	三四度四九分		高崎菊之助
清水	仝國三島郡	清水村	一三五度三六分	三四度五三分		山本義一
枚方	河内國北河内郡	枚方町	一三五度三九分	三四度四九分		家村八五郎
田原	仝國北河内郡	田原村	一三五度四二分	三四度四三分		今井由太郎
八尾	仝國中河内郡	八尾町	一三五度三六分	三四度三八分		水谷芳松
柏原	仝國南河内郡	柏原村	一三五度三七分	三四度三五分		畿内農事試驗支場
富田林	仝國南河内郡	富田林町	一三五度三七分	三四度三〇分		塔本幸太郎
長野	仝國南河内郡	長野町	一三五度三五分	三四度二七分		松本速水

Monthly Report
of The
Osaka Meteorological Observatory.

March 1917

大阪測候所月報

大正六年三月

第拾八年第三號

目次

○本年三月大阪氣象概況　附圖
○本年三月大阪府管內氣象概況
○本年三月大阪地震觀測概況
○本年三月中の暴風概況
○春季彼岸の氣象概況
○氣候の激變
○梅雨概況
○關領印度「バヽ」島附近の大震
○大阪港の潮汐觀測
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報適否

大正六年四月廿二日印刷
仝　年四月廿五日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

種類	發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報（風向）	二八	二三	五	〇	九一
天氣豫報（天氣）	二八	二三	五	〇	九一
天氣豫報（溫度）	〇	一	一	一	一〇〇
暴風警報	二	二	〇	〇	

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡市	町村	緯度東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡	佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	吾妻儀通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	四區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	仝木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
雜波島	攝津國大阪市	四區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	仝木津川分署雜波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
築港	攝津國大阪市	西區安治川口	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署築港分署
大阪	攝津國大阪市	四區一條通	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國四成郡	傳法町	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	十三橋警察署傳法分署
東	攝津國豐能郡	東郷村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東郷村役場

大正五年度煤煙量

	築港	船場	難波	天王寺	中之島	福島	下福島
一月	一、五三	六、五九	二、三六	一〇四	四、四三	二、八九	二、四三
二月	二、三八	一、四四	四、三三	三、三六	一、一五	四、一七	一〇、五六
三月	六、一七	三、五六	三、三二	一、六八	三、三七	六、〇八	二一、一〇
四月	二、四〇	二、一八	五、二一	一、二三	一、七六	三、三三	六、一六
五月	三、〇六	三、一五	三、九四	一、七七	二、〇一	三、五七	一〇、二五
六月	一、五〇	一、九七	三、九三	一、九四	三、〇八	四、二六	一七、七七
七月	二、一四	一、一四	三、六六	二、〇三	三、三五	三、三九	三、九
八月	二、三五	二、九九	一、六	二、一六	三、三〇	四、四九	一、三〇
九月	二、四四	六、一九	一、四〇	二、三五	二、一九	三、一九	一、六一
十月	一、六七	二、一四	四、四八	一、二〇	一、四五	四、一三	八、一八
十一月	一、七九	—	四、一三	〇、八一	一、三八	三、三〇	五、七
十二月	—	—	—	—	—	—	—
合計	三、七二	—	四、二二	二八、八〇	四、三三	一七、一〇	一〇、三六

●淀川の水位、

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位　二尺四寸零分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　二尺二寸九分

二月

日	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	一、八五	一、八〇	一、七五	一、七〇
二日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
三日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
四日	一、八五	一、九〇	一、七五	一、七〇
五日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
六日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
七日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
八日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
九日	一、八五	一、八〇	一、七五	一、七〇
十日	一、八五	一、八〇	一、七五	一、七〇
十一日	一、八五	一、八〇	一、七五	一、七〇
十二日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
十三日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
十四日	一、八五	一、九〇	一、七五	一、七〇
十五日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
十六日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
十七日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
十八日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
十九日	一、八五	一、八〇	一、七五	一、七〇
二十日	一、八五	一、八〇	一、七五	一、七〇
二十一日	一、八五	一、八〇	一、七五	一、七〇
二十二日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
二十三日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
二十四日	一、八五	一、九〇	一、七五	一、七〇
二十五日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
二十六日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
二十七日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇
二十八日	一、八五	一、八五	一、七五	一、七〇

平均水位　廣瀬　一尺六寸八分
最高水位　二尺五寸　（廿八日午前六時）
大日　零尺九寸八分
二尺一寸　（廿八日午後六時）

上記の如き數字を現はし之れを以て直ちに大阪全市の煤煙量を計算するは無論完全とは云ひ難きも築港は市の西部に當り天王寺は南部、福嶋は北部、難波は中部に稍々近きが故に中部と見做すも大差なかるべく只東部方面に觀測所なきため此の方面の變化を知ること出來ざるは缺點の一なり然れども其大体を窺知するを得べく依て此の平均量により大阪市の面積三、七平方里に對する煤煙降下量を試に計算するに大正三年度は約六千五百六十噸同四年度は約四千七百九十噸同五年度は約五千百七十噸となり大正四年は前年度より著しく減少したれども大正五年度は同四年度より稍々增加したり然りと雖も大正三年度に比すれば約二割少なかりき左に大正三年より同五年に至る各月の煤煙降下量を表記し參考に資せんとす

大正三年度煤煙量

	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
築港	三、五七	二、一三	二、三〇	一、六九	一、七五	一、八一	三、七二	三、九二	二、八七	三、八三	一、八六	一、七三	三一、一七
船場	三、四二	一、七一	一、七九	四、五五	二、一四	一、五〇	二、一一	一、九〇	一、三七	一、四五	一、二〇	一、四五	二四、五九
難波	七、八六	五、八六	四、六五	五、一三	二、一八	一、三六	六、二七	四、四五	三、三〇	二、八七	四、一六	四、四七	六四、三五
天王寺	三、九六	一、五四	一、二三	二、四二	四、三八	一、四六	四、六五	三、八〇	一、五六	〇、七五	〇、九九	一、〇四	二七、七八
福島	六、九三	四、五五	四、八一	六、一四	三、二四	二、八三	四、二五	五、〇六	二、四二	三、六七	三、二五	二、八二	四九、九七

大正四年度煤煙量

	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
築港	二、〇三	二、一四	一、七三	一、六九	一、八三	一、〇四	一、六七	一、二八	〇、六〇	一、五二	一、二八	四、八一	二一、六一
船場	一、九〇	一、八二	一、三四	二、二六	二、六三	四、〇二	一、五六	一、五〇	〇、九八	〇、八八	一、五〇	〇、五六	二〇、九五
難波	三、三七	三、四一	一、〇四	三、七三	三、七三	三、七三	一、三〇	一、九九	二、二五	二、五七	一、九九	六、三七	三三、四八
天王寺	五、二三	一、五〇	二、八八	一、五七	一、四〇	一、九九	一、五九	〇、八五	一、四〇	〇、四三	〇、八五	〇、九〇	二〇、五八
中の島	一、七九	二、一三	〇、八一	四、〇四	五、八〇	三、六九	一、一四	一、六七	二、四三	一、一七	〇、六七	二、一三	二七、四六
福島	三、一九	三、三三	三、一八	四、七六	二、八九	一、九〇	二、六三	八、五〇	三、六八	一、六〇	八、五〇	四、三一	四八、四七

大正二年	三五、六	二九、九	一一、二	一一、四	一七、八	二四、〇	二八、一	一八、一	三五、六	北
仝三年	二〇、五	一四、一	一七、〇	九、七	一五、七	三〇、一	三四、三	二一、九	三四、二	西
仝四年	一六、四	二〇、四	一五、〇	一一、四	二〇、三	三三、二	三〇、四	一五、六	三〇、四	西
仝五年	一五、〇	一四、一	一一、二	八、二	一八、一	一七、五	二六、八	一九、八	二六、八	西
極	三五、六	二九、九	二一、八	一三、四	二九、三	三七、〇	三四、三	三三、七	三七、〇	南西

●大阪市の煤煙

技手　芝野彊

當大阪市は商工業を以て東洋に覇を成し從て樹立せる無數の煙突より吐き出す黒煙は濛々として天に瀰漫し太陽爲めに光を失ひ其影薄きこと敢て珍しからず此の煤煙中には有害なる固形物を含有するを以て本市にては之れが防止研究を始め其第一着手として大正二年三月頃より煤煙の降下量觀測を開始し最初は一二ヶ所に過さりしが漸次增加せられ現今にては市内に七八ヶ所の觀測所を有せり然れども該觀測所の内或は中途より觀測を停止し又は新に觀測を始めたる所等ありて全市に於ける煤煙量の增減變化を詳悉すること能はざるは遺憾とする所なれども天王寺(赤十字社病院)難波(難波第六尋常高等小學校)福嶋(府立工業試驗場)築港(府立大阪一等測候所)の四ヶ所は最初より殆んど連續觀測せるが故に此の四ヶ所に就て煤煙量の變化を調査せんに

大正三年度煤煙降下量

	炭素	灰	合計
築港	五、七二	二五、四五	三一、一七
福島	八、九一	四〇、六六	四九、五七
難波	一〇、〇九	五四、二五	六四、三四
天王寺	四、三一	二三、四八	二七、七九
平均	七、二六	三五、九六	四三、二二

大正四年度煤煙降下量

	炭素	灰	合計
築港	三、九一	一七、七〇	二一、六一
福島	八、七五	三九、七〇	四八、四七
難波	六、六三	二八、八四	三五、四七
天王寺	四、二八	一六、二九	二〇、五七
平均	五、八九	二五、六三	三一、五三

大正五年度煤煙降下量

	炭素	灰	合計
築港	四、二七	二四、七九	二九、〇六
福島	八、〇三	三八、〇二	四六、〇五
難波	八、八六	三四、三六	四三、二二
天王寺	三、九六	一三、八九	一七、八五
平均	六、二八	二七、七七	三四、〇五

年	方向	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	極
明治二十二年		一四、七	二三、六	二一、二	一一、七	八、五	一六、四	二四、九	一七、一	一四、九 西
仝 二十三年		一五、四	一五、九	一五、四	八、二	七、三	二〇、二	一六、九	一五、九	二〇、二 南西
仝 二十四年		一四、五	一五、六	一二、九	一二、一	二〇、五	一八、九	二三、九	一六、七	二三、九 西
仝 二十五年		一二、一	一六、七	一四、五	六、〇	一二、〇	一九、〇	一六、〇	一四、七	一九、〇 南西
仝 二十六年		一五、七	二〇、一	九、一	一〇、七	一六、七	一九、五	二五、七	一八、六	二五、七 西
仝 二十七年		一九、一	一四、八	一四、四	一〇、〇	一二、二	一九、一	一六、九	一六、〇	一九、一 北、南西
仝 二十八年		一二、七	一五、四	一四、七	一三、四	一二、六	一八、二	二〇、四	一八、〇	二〇、四 西
仝 二十九年		二九、八	二九、一	二〇、四	一一、二	一三、〇	一三、四	三〇、五	三三、七	三三、七 北西
仝 三十年		一五、六	一四、四	一二、〇	七、五	八、五	一三、九	一六、五	一五、八	一六、五 西
仝 三十一年		一二、九	一五、六	一六、二	七、五	八、二	一五、〇	一八、〇	一八、九	一八、九 北西
仝 三十二年		一三、九	二五、四	二一、八	一二、七	一四、七	一八、〇	一八、九	二〇、一	二五、四 北東
仝 三十三年		一五、三	一二、四	一四、九	一二、八	九、四	一五、七	一七、五	一三、一	一七、五 西
仝 三十四年		一一、四	一七、〇	一二、〇	六、九	八、四	一八、六	二〇、八	一四、三	二〇、八 西
仝 三十五年		一〇、七	一七、六	一六、六	一〇、四	九、二	一八、三	一九、五	一三、八	一九、五 西
仝 三十六年		一〇、一	一四、〇	八、八	七、九	一八、六	一七、一	一九、一	一一、七	一九、一 西
仝 三十七年		一八、二	二四、四	一四、二	九、六	一三、二	一七、五	一七、四	一一、二	二四、四 北東
仝 三十八年		一〇、〇	一四、三	一二、四	七、七	一五、五	一九、七	一四、五	一〇、九	一九、七 南西
仝 三十九年		一五、七	一六、三	一五、六	六、〇	七、七	二〇、五	一八、四	一一、二	二〇、五 南西
仝 四十年		一一、五	一六、四	一七、三	一一、四	一一、九	一五、三	二三、二	一一、三	二三、二 西
仝 四十一年		一四、五	一四、五	一四、六	六、六	九、〇	一四、二	二一、〇	一四、二	二一、〇 西
仝 四十二年		一二、七	一三、四	一三、六	七、二	九、七	一四、六	一八、五	一四、一	一八、五 西
仝 四十三年		一五、九	一五、六	一〇、四	六、一	一九、二	二〇、四	二四、六	一四、六	二四、六 西
仝 四十四年		一六、七	一五、四	一〇、四	九、六	二九、三	三〇、一	二四、七	一六、五	三〇、一 南西
仝 四十五年 大正元年		一八、〇	二三、〇	一六、五	一三、二	二七、九	三七、〇	二二、四	一四、七	三七、〇 南西

仝三十年	一六	三一	九	二	一	五	一九	一三	四
仝三十一年	一九	二八	一〇	二	一	七	一九	一二	二
仝三十二年	一四	二四	七	三	三	一八	一四	九	八
仝三十三年	一五	二〇	一四	六	二	七	一四	一七	五
仝三十四年	一五	二五	九	三	二	一二	二〇	二	二
仝三十五年	一五	二九	一〇	三	二	一二	一八	一〇	一
仝三十六年	一六	三〇	九	二	一	一二	一七	一一	二
仝三十七年	一六	二八	八	三	二	一一	二〇	一〇	二
仝三十八年	一五	三一	九	三	三	一二	一六	八	三
仝三十九年	一八	三〇	八	二	一	一〇	一八	一一	二
仝四十年	一七	三〇	一〇	二	三	一〇	一七	九	二
仝四十一年	一五	三一	一二	二	二	七	一九	一〇	二
仝四十二年	一四	三二	一一	二	一	八	二〇	一〇	二
仝四十三年	一七	二四	九	三	三	一一	一八	八	七
仝四十四年	二三	二三	九	三	六	一五	一四	六	一
大正元年 仝四十五年	一八	二八	一三	四	三	一〇	一九	五	〇
大正二年	一八	三五	一四	四	五	一一	一五	八	〇
仝三年	二四	二二	七	四	五	一七	一七	四	〇
仝四年	二三	二四	八	四	五	一四	一七	五	〇
仝五年	二五	二三	八	三	四	一六	一五	五	一
平年	一七、四	二七、七	八、七	二、六	三、四	一〇、〇	一八、〇	九、九	三、四

各風向に對する最大速度

當地方は北東風最も多く西風之れに亞ぐも風速度は南西風最も強く之れに亞ぐは北及西風とす、今明治二十二年より大正五年に至る二十八年間の各方向に對する最大速度を擧ぐれば左の如し

仝 四十一年	四、七	四、一	七、四	一三、三	一七、三	二三、一	二四、七	二六、六	二一、六	一七、一	九、八	六、六	一四、六〇	三六、二	八月四日	四三、一	一月廿八日
仝 四十二年	四、〇	三、四	六、六	一三、七	一七、五	二一、四	二六、一	二七、五	二三、八	一五、六	一〇、九	五、五	一四、六七	三七、六	八月四日	四三、五	二月廿二日
仝 四十三年	三、七	三、二	六、〇	一三、三	一八、〇	二三、一	二六、三	二六、一	二三、四	一六、八	一一、六	五、九	一四、六九	三四、九	七月九日 廿三日	四三、八	二月二日 十一日
仝 四十四年	四、二	五、二	八、五	一三、八	一六、九	二一、五	二五、七	二六、六	二四、五	一六、七	一二、九	六、六	一五、一八	三四、五	八月十日	四三、五	一月三日
仝 四十五年 大正元年	四、[illegible]	七、三	八、一	一三、四	一七、四	二一、五	二五、二	二七、二	二三、一	一八、〇	一〇、七	六、八	一五、〇七	三四、三	八月十九日 廿三日	四三、五	一月十七日
大正二年	三、九	四、八	六、三	一四、三	一六、七	二一、四	二五、〇	二六、一	二一、三	一七、一	一一、二	六、八	一四、五七	三五、一	八月七日	四四、六	二月十二日
仝 三年	五、一	五、二	九、八	一一、八	一八、二	二三、〇	二八、〇	二八、三	二四、七	一七、一	一三、四	七、七	一五、九三	三五、二	九月三日	四三、五	二月十三日
仝 四年	四、六	五、三	六、八	一三、一	一七、三	二三、八	二六、五	二七、四	二四、九	一九、五	一三、〇	七、二	一五、六七	三六、〇	八月二日	四四、七	一月十五日
仝 五年	六、七	五、九	六、二	一三、一	一八、三	二四、一	二六、六	二七、七	二五、四	一七、八	一三、五	七、九	一六、〇九	三四、六	八月十三日	四三、二	十二月廿七日
平年	四、一六	四、一八	七、三八	一三、二三	一七、四四	二一、八四	二五、八三	二七、一三	二三、三三	一七、〇〇	一一、二八	六、三七	一四、九三	三七、六	四十二年 八月四日	四七、一	廿四年 一月廿五日

各風向觀測回數　風の方向は地勢に關すること著しく當地方は一ヶ年を通じて北東方の風最も多く之れに亞くは西方及北方の風にして南方及南東方の風は最も少し今明治二十二年より大正五年に至る二十八年間各年の總回數の百分率を擧ぐれば左の如し但し一般の人に看易からしめん爲め風向は八方位を以て記す最大速度も又同じ

年＼方向	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩
明治二十二年	一五	三二	八	二	一	八	一七	一〇	七
仝 二十三年	一六	三〇	七	二	一	九	一四	九	一二
仝 二十四年	一九	二六	五	二	二	八	二一	一二	五
仝 二十五年	二〇	二九	四	一	二	八	二一	一〇	五
仝 二十六年	一七	二三	三	二	二	一一	二二	一四	六
仝 二十七年	一七	三一	七	一	一	四	二〇	一五	四
仝 二十八年	一五	三三	八	二	二	四	二二	一一	三
仝 二十九年	一六	三二	七	二	一	三	二〇	一二	七

明治十六年	全十七年	全十八年	全十九年	全二十年	全二十一年	全二十二年	全二十三年	全二十四年	全二十五年	全二十六年	全二十七年	全二十八年	全二十九年	全三十年	全三十一年	全三十二年	全三十三年	全三十四年	全三十五年	全三十六年	全三十七年	全三十八年	全三十九年	全四十年
三、三八	二、九	二、五三	二、二	三、三	四、四四	四、五	四、六	三、一	四、一	三、三	三、五	三、一	三、九	三、三	五、三	五、三	五、〇	三、六	三、三	五、四	五、三	五、八	三、一	五、五
二、九	二、四	二、六	二、三	二、九	二、九	四、一	七、五	三、五	四、一	二、〇	三、九	三、一	二、〇	三、九	五、四	五、五	三、八	三、一	三、九	四、九	五、五	五、七	三、九	二、八
六、一	六、三	四、九	七、八	七、八	八、五	六、七	九、四	八、五	五、七	六、二	八、七	六、七	四、〇	七、三	六、七	七、五	九、八	六、九	八、一	九、八	七、三	五、四	七、一	七、九
一、九	二、五	二、〇	二、一	二、四	二、八	二、一	二、九	二、九	二、一	二、三	二、四	二、八	二、四	二、五	二、三	二、四	二、五	二、六	二、七	二、七	二、八	二、八	二、九	二、九
一六、五	一六、八	一七、〇	一七、四	一六、四	一六、〇	一六、四	一七、九	一七、三	一七、二	一六、六	一七、五	一八、一	一六、四	一六、六	一七、四	一六、六	一六、五	一七、一	一七、五	一六、六	一七、四	一七、八	一七、六	一七、三
二一、三	二一、五	二一、九	二一、八	二一、二	二一、四	二一、三	二一、七	二一、四	二一、七	二一、七	二一、三	二一、二	二一、三	二一、四	二一、九	二一、五	二一、六	二一、八	二一、四	二一、六	二一、三	二一、六	二一、六	二一、七
二六、二	二六、五	二六、一	二六、七	二六、七	二六、三	二六、八	二六、八	二六、三	二六、二	二六、五	二六、二	二六、一	二六、二	二六、三	二六、七	二六、二	二六、三	二六、二	二六、三	二六、三	二六、二	二六、一	二六、二	二六、二
二七、七	二七、九	二七、三	二七、一	二七、三	二七、三	二七、六	二七、三	二七、二	二七、三	二七、四	二七、八	二七、四	二七、六	二七、三	二七、四	二七、三	二七、四	二七、三	二七、二	二七、三	二七、四	二七、四	二七、三	二七、四
三一、七	三一、九	三一、六	三一、七	三一、六	三一、六	三一、六	三一、七	三一、六	三一、六	三一、六	三一、六	三一、六	三一、六	三一、六	三一、六	三一、六	三一、六	三一、六	三一、六	三一、六	三一、六	三一、六	三一、六	三一、六
一七、六	一七、九	一七、九	一八、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇	一七、〇
一〇、〇	一〇、二	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一
五、一	五、九	六、五	五、八	七、〇	七、〇	六、五	六、〇	六、一	六、一	五、九	五、八	五、七	六、一	六、一	七、四	六、九	六、〇	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一
一四、二七	一三、五五	一四、八	一四、八	一四、八	一五、〇三	一四、八	一五、〇	一四、八	一四、八	一四、八	一四、八	一四、八	一四、八	一四、八	一四、八	一四、八	一四、八	一四、八	一四、八	一四、八	一四、八	一四、八	一四、八	一四、八
七月廿六日	八月三日	八月廿日	八月九日	七月十七日	八月五日	八月三日	八月一日	八月十五日	七月廿一日	八月八日	八月十五日	八月十七日	八月十六日	八月十四日	七月廿四日	八月七日	七月廿八日	七月廿一日	八月十五日	八月十七日	八月十四日	八月廿三日	八月廿四日	八月四日
一月十九日	一二月十二日	一月廿九日	一二月三日	一二月十二日	一二月廿三日	一月廿一日	一月十四日	一月廿五日	一月廿二日	一二月廿三日	一月廿六日	一二月十六日	一二月十六日	一二月七日	一二月廿三日	一月七日	一二月十六日	一二月十八日	一二月十二日	一二月十七日	一二月十六日	一二月廿一日	一二月十九日	一二月廿一日

年	月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年	最高極	月日	最高極	月日
十	日	三、四	二、九	▲ 〇、五	七、三	七、一	▲ 〇、二	〇、三	(一)	一、一	▲ 一、四							
十一	日	四、二	三、一	▲ 一、一	八、九	七、三	▲ 一、六	(一)	〇、三	(一)	〇、七	▲ 〇、四						
十二	日	三、五	二、八	▲ 〇、七	八、六	七、五	▲ 一、一	(一)	一、一	(一)	一、二	▲ 〇、一						
十三	日	三、七	三、三	▲ 〇、四	七、八	八、二	〇、四		〇、九	(一)	一、一	▲ 二、〇						
十四	日	三、七	四、〇	〇、三	七、一	八、八	一、七		〇、四	(一)	〇、二	▲ 〇、六						
十五	日	四、九	四、五	▲ 〇、四	九、七	九、二	▲ 〇、五	(一)	一、五		〇、一	一、六						

●大阪の氣候一班

技手　山田顯吉

大阪の降雨統計は昨年二月の本報に詳細記載せしが今や氣温及風に就て記せんとす但し本所創立は明治十五年七月なれども此年は一ヶ年に充たざるを以て之れを省き明治十六年より列記せり其内明治四十二年までは大阪市堂島にて觀測せしが同四十三年同市築港に移轉し同地にて觀測せしものなり風は毎時觀測開始即ち明治二十二年以來のものを列記せり

空氣の溫度　一ヶ年中に於て最も寒冷なるは一月、二月とす而して其平均氣溫は四度二(華氏三十九度六)にして最も寒かりし年(明治二十四年一月二十五日)は零下七度一(華氏十九度二)に降りたることあれども其平均は零下四度二(華氏二十四度四)なり又最も溫暖なるは八月とす而して其平均氣溫は二十七度一(華氏八十度八)にして最も暑かりし年(明治四十二年八月四日)は三十七度六(華氏九十九度七)に達したることあれども其平均は三十五度四(華氏九十五度七)なり、氣候の變遷最も甚しきは春三月より四月に至る五度八(華氏の十度四)の上昇にして之れに亞くは四月より五月に至る四度二(華氏七度六)五月より六月に至る四度四(華氏七度九)の上昇とす又秋は九月より十月に至る六度三(華氏十一度三)の下降を最とし之れに亞くは十月より十一月に至る五度七(華氏十度三)、十一月より十二月に至る四度九(華氏八度八)の下降なり、而して一年中に於ける氣溫の變遷は春より秋の方甚だしとす、

今左に明治十六年より大正五年に至る三十四年各月の平均氣溫と年中の最高最低氣溫とを列記すべし

二月廿二日	午後三時	西南西	一〇、八	—	曇
仝	仝 四時	西南西	九、〇	—	曇
仝	仝 五時	西北西	五、二	—	晴
仝	仝 六時	西	一〇、〇	—	仝

●本年二月の寒氣に就て

技手　芝野彊

前號を以て本年一月の寒氣強かりしことを概記せしが引續き二月を調査するに一月程にはなかりしと雖も上半月は寒氣頗る強く飛雪紛々として其跡を踵き降雪日數は半ケ月間に八日を出し最低氣溫の極は零下二度七にして敢て低き方には非ざれども氣溫零下の繼續したること二日より九日に亘り一月と同じ七日を算し當地方にありては實に珍らしき現象を呈せり而して永年の統計に依りて看るに寒氣は一度に來るものに非ずして一月中旬の半頃より同下旬の半頃迄に一回、二月上旬の末より同中旬の始めに亘りて一回即ち二回に起るもの、如くにして二月に起るもの、方約一度低きを通例とせしが本年は之れに反し一月に嚴寒を訴へ二月は第二の寒氣なりき左に二月上半月に於ける氣象を平年と比較し參考に資せんとす

（表中▲は高を示す）

二月廿二日	午後七時	北北西	八、八	—	曇
仝	仝 八時	北北西	一〇、一	—	快晴
仝	仝 九時	北北西	七、一	—	快晴

日	平均氣溫 本年	平均氣溫 平年	平均氣溫 差	最高氣溫 本年	最高氣溫 平年	最高氣溫 差	最低氣溫 本年	最低氣溫 平年	最低氣溫 差
一日	二、五	四、〇	一、五	六、五	八、三	一、八	(一) 二、二	(一)	二、八
二日	二、一	三、五	一、五	六、二	七、九	一、八	(一) 〇、七	(一) 〇、三	〇、九
三日	二、二	三、八	一、五	八、三	七、九	〇、五	(一) 一、〇	(一) 〇、五	一、五
四日	二、一	三、八	一、七	七、五	七、七	〇、二	(一) 二、六	(一) 〇、三	二、三
五日	二、三	三、八	一、五	七、九	八、〇	〇、七	(一) 二、三	(一) 〇、三	二、〇
六日	二、六	三、八	一、二	八、九	八、一 ▲	〇、八	(一) 二、七	(一)	二、八
七日	三、六	三、八	〇、二	九、五	八、二 ▲	一、三	(一) 一、〇	(一) 〇、三	一、三
八日	三、四	四、〇	一、六	八、一	八、一	〇、〇	(一) 一、〇	(一) 〇、三	一、三
九日	二、九	三、二	〇、三	七、三	七、四	〇、一	(一) 二、三	(一) 〇、四	二、一

二月二十日	午後一時	七五七、五	六、二	西南西	一五、七	—	晴	二月廿一日	午後二時	七六〇、五	六、八	西南西	一七、八	—	快晴
仝	仝 二時	七五七、四	六、七	西南西	一六、〇	—	晴	仝	仝 三時	七六〇、九	五、七	西	一五、七	—	晴
仝	仝 三時	七五七、四	六、八	西南西	一五、三	—	晴	仝	仝 四時	七六一、五	六、三	西北西	一八、四	—	晴
仝	仝 四時	七五七、六	六、五	西南西	一六、〇	—	晴	仝	仝 五時	七六二、三	四、二	北西	一〇、八	—	快晴
仝	仝 五時	七五八、〇	五、一	西南西	一五、八	—	快晴	仝	仝 六時	七六三、〇	三、五	北西	九、一	—	快晴
仝	仝 六時	七五八、八	四、六	西南西	一四、六	—	晴	仝	仝 七時	七六三、九	二、六	西北西	六、九	—	快晴
仝	仝 七時	七五九、四	四、一	西南西	一五、五	—	快晴	仝	仝 八時	七六四、四	一、八	西	六、六	—	快晴
仝	仝 八時	七五九、九	三、五	西	一〇、四	—	快晴	仝	仝 九時	七六四、八	一、八	西	九、八	—	快晴
仝	仝 九時	七六〇、三	三、一	西	一一、一	—	快晴	仝	仝 十時	七六五、一	一、四	西	一〇、三	—	快晴
仝	仝 十時	七六〇、七	二、九	西	九、五	—	快晴	仝	仝 十一時	七六五、一	一、三	西	一二、八	—	快晴
仝	仝 十一時	七六〇、七	二、九	西	一四、〇	—	快晴	仝	夜 半	七六五、二	一、三	西	一四、四	—	快晴
仝	夜 半	七六〇、七	二、四	西	一〇、八	—	快晴	二月廿二日	午前一時	七六五、二	一、一	西	一三、三	—	快晴
二月廿一日	午前一時	七六〇、五	二、一	西	一二、三	—	快晴	仝	仝 二時	七六五、〇	〇、九	西	一〇、六	—	快晴
仝	仝 二時	七六〇、五	二、一	西	一一、七	—	快晴	仝	仝 三時	七六四、九	〇、九	西	一〇、六	—	快晴
仝	仝 三時	七六〇、五	二、一	西	一三、八	—	快晴	仝	仝 四時	七六四、九	〇、六	西	一〇、〇	—	快晴
仝	仝 四時	七六〇、二	二、〇	西	一四、一	—	快晴	仝	仝 五時	七六四、八	〇、五	西	一〇、九	—	快晴
仝	仝 五時	七六〇、五	一、九	西	一二、九	—	快晴	仝	仝 六時	七六四、七	〇、五	西	一一、六	—	快晴
仝	仝 六時	七六〇、五	一、七	西	一二、〇	—	快晴	仝	仝 七時	七六五、〇	〇、九	西	一二、七	—	快晴
仝	仝 七時	七六〇、六	一、五	西	一三、二	—	快晴	仝	仝 八時	七六五、三	二、〇	西南西	一一、五	—	快晴
仝	仝 八時	七六一、〇	二、四	西	一一、四	—	快晴	仝	仝 九時	七六五、四	二、六	西	一一、九	—	快晴
仝	仝 九時	七六一、〇	三、六	西	一五、九	—	快晴	仝	仝 十時	七六五、二	四、八	西南西	九、〇	—	快晴
仝	仝 十時	七六一、〇	四、七	西	一五、九	—	快晴	仝	仝 十一時	七六四、九	六、一	西南西	一〇、一	—	快晴
仝	仝 十一時	七六〇、九	五、二	西	一三、七	—	快晴	仝	正 午	七六四、四	六、二	西南西	一一、九	—	晴
仝	正 午	七六〇、七	五、七	西	一四、二	—	快晴	仝	午後一時	七六三、五	七、二	南西	一一、九	—	晴
仝	午後一時	七六〇、六	六、二	西	一八、八	—	快晴	仝	仝 二時	七六三、一	六、二	南西	一三、二	—	晴

二月十八日																								
午前十時	正午	午後一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時	夜半	午前一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時
七五五、〇	七五四、九	七五四、九	七五四、五	七五四、九	七五五、二	七五五、四	七五六、〇	七五六、六	七五六、九	七五七、二	七五七、四	七五七、六	七五七、九	七五七、九	七五七、九	七五八、〇	七五七、八	七五七、七	七五七、五	七五七、三	七五七、一	七五七、〇	七五七、八	七五七、八
一〇、六	一〇、四	一〇、六	九、四	一〇、二	九、七	八、六	七、八	七、一	六、七	六、二	五、七	五、二	四、八	四、五	四、四	四、二	三、七	三、二	二、二	一、七	一、〇	〇、九	〇、七	〇、五
西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西
一六、八	一八、一	一三、九	二一、三	一七、三	九、三	一一、二	一〇、〇	一〇、三	九、五	一二、一	一四、三	一四、九	一三、一	一四、三	一二、二	一四、三	一三、四	一三、八	一一、九	一五、〇	一三、三	一四、三	一三、四	一四、三
曇	晴	快晴	晴	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	晴	晴	快晴	晴	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
二月十九日	正午	午後一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時	夜半	午前一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時
七五六、五	七五五、八	七五五、一	七五五、四	七五五、一	七五五、〇	七五五、一	七五五、一	七五五、一	七五五、三	七五五、五	七五五、七	七五六、〇	七五六、二	七五六、四	七五六、五	七五六、六	七五六、六	七五六、七	七五六、七	七五六、六	七五六、四	七五六、二	七五六、〇	七五五、八
七、五	七、七	七、一	七、五	七、一	六、七	六、七	六、七	五、七	五、二	四、八	四、五	三、七	三、二	二、八	二、四	一、九	一、四	一、〇	〇、八	〇、六	〇、四	〇、二	〇、〇	〇、〇
西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西
八、五	七、八	九、一	八、五	七、八	七、八	八、一	一二、二	一三、八	一九、六	一九、三	一五、八	一九、三	一八、七	一五、九	一五、三	一七、六	一四、一	一三、九	一三、一	一四、一	一四、一	一四、一	一四、一	一四、一
晴	晴	曇	曇	曇	曇	曇	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴

元山	七四七、七	十七日午後八時	一六、五	西南西	十八日午後二時
城津	七四二、九	十八日午前四時	七、三	北北西	十八日午前八時
多度津	七五四、一	十八日午前五時六時	二二、九	西南西	十八日午前八時
大阪	七五四、五	十八日午後二時	二二、九	西	十八日午後二時
京都	七五三、五	十八日午後二時	二一、七	西	十八日午前十一時
濱田	七五三、二	十八日午前二時三時	三二、三	南南西	十八日午前三時二十分
境	七五三、五	十八日午前六時	一六、六	西	十八日午前九時
横須賀	七四九、六	十八日午後四時	一五、八	西南西	十八日午後十時
横濱	七四九、三	十八日午後四時	一一、五	南西	十八日午後六時
銚子	七四八、九	十八日午後四時	一六、三	南西	十八日午後二時
前橋	七四七、八	十八日午後三時	一五、九	西	十八日午後三時二十分
新潟	七五一、一	十八日午後三時	二三、三	西	十八日午後五時二十分
相川	七五〇、九	十八日午前十時正午後二時	三四、三	西南西	十八日午後五時二十分
宮古	七四七、一	十九日午前一時	二八、八	西	十九日午前二時二十分
函館	七四四、一	十九日午前五時	一六、九	西南西	十八日正午
鄰都	七四二、七	十九日午前四時	二三、〇	北北西	二十日午後十一時
札幌	七四三、〇	十九日午前四時	一七、三	北西	十九日午後二時
網走	七四三、五	十九日午前四時	一五、七	西北西	十九日午後九時

大阪にては十八日午前十時より西の強風吹き起り午後二時最も強く毎秒速度二十二米九に達し尚ほ強風は夜半まで吹續し後衰へしが十九日午後六時より復々強風吹き起り強烈風吹續して二十二日午後八時に至れり其時數は八十時にして內強風五十二時烈風二十八時なり

更に毎時觀測の結果を記すれば左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	降水量	天氣
二月十八日	午前九時	七三四、九	八、二	南西	一、三	一	曇
二月十八日	午前十時	七三二、二	一〇、三	西	三、三	一	曇

二月十三日	午前四時	七五六、〇	三、一	西	二六、一	—	快晴	二月十三日	仝十一時	七六一、〇	七、三	西南西	一三、七	—	晴
仝	仝 五時	七五六、五	三、四	西	二五、八	—	曇	仝	正午	七六〇、八	六、一	西南西	一六、八	—	曇
仝	仝 六時	七五七、六	三、五	西	二〇、三	—	曇	仝	午後一時	七六〇、五	六、七	西南西	一三、三	〇、〇	曇
仝	仝 七時	七五八、八	三、四	西	一五、四	—	曇	仝	仝 二時	七六〇、四	七、〇	西南西	一七、一	—	曇
仝	仝 八時	七五九、八	四、一	西	一四、四	—	曇	仝	仝 三時	七六一、一	二、四	北	五、四	〇、七	曇
仝	仝 九時	七六〇、八	四、八	西	一四、三	—	曇	仝	仝 四時	七六一、二	四、三	南南東	二、九	—	曇
仝	仝 十時	七六〇、九	六、四	西	一〇、八	—	晴								

(二)二月十八日より二十二日に至る暴風　支那北部より來りし低氣壓は十七日朝遼東灣に來り東北東に進行して十八日朝日本海中部に來り北海道北部を掠めて千嶋列嶋に去れり

此低氣壓は最初勢力微弱なりしが日本海に入るに及びて急速に發達し北海道附近に到りて其中心示度は七百四十粍に下降し本邦一帶に著しき風雨を起し殊に奥羽地方より北海道に亘り烈しき風雪ありし爲め被害甚だしかりし佐渡の相川にては十八日午後五時二十分風速度毎秒三十四米三に達し濱田にては同日午前三時二十分風速度毎秒三十二米三に上り其他風力の烈風に達したる所尠からず信越線は大吹雪の爲め押切、上岡間に於て運轉不可能となり岩越線は大雪崩の爲め交通杜絶し北陸線も亦山岳崩壞し線路を埋沒したる爲め不通となれり其他海上にては波浪高く船舶の遭難せしものありたりと云ふ

今各地測候所に於て觀測せる最低氣壓及び最大風速度を列記すれば左の如し

種目 / 地名	氣壓 最低	氣壓 仝上起時	風 最大風速	風 仝上方向	風 仝上起時
釜山	七五三、〇	十七日午後十一時	一二、三	南西	十七日午後十一時
木浦	七五四、四	十七日午後四時四十分	一七、六	北北西	十七日午後八時
仁川	七五一、五	十七日午後五時九分	二二、五	西北西	十七日午後十時
江陵	七四八、五	十八日午前三時	二五、二	西南西	十八日午前三時
平壤	七四九、七	十七日午後五時	一四、三	北西	十七日午後十時

相川	秋田	水戸	宮古	青森	函館	札幌	網走	釧路	根室
七五〇、三	七四九、三	七四九、三	七四七、六	七五一、八	七五三、五	七五四、七	七五六、四	七五二、九	七五二、二
十三日午前四時	十三日午前六時	十三日午前四時	十三日午前六時	十三日午前五時六時	十三日午前七時八時	十三日午後一時	十三日午後三時	十三日午後一時三時	十三日午後二時
三一、九	一五、五	一〇、九	二四、九	一三、一	二一、三	一六、一	一四、三	一九、六	二二、三
北北西	北西	西	北北西	西	北	北西	北西	北	北
十三日午後三時	十三日夜半	十三日午後六時	十三日午前九時二分	十四日午前十時	十三日午後四時	十三日午後六時	十四日午前二時	十三日午後三時	十三日午後一時
快晴	快晴	快晴	雪	雨	雪	雪	雪	雪	雪

大阪にては十二日正午より俄然強風吹き起り午後二時より烈風となり次第に風力増勢し十三日午前二時最も強く毎秒速度二十七米五に達し午後二時まで吹き續けり其時間は強風七時、烈風二十時に亘れり

更に毎時觀測の結果を記すれば左の如し

月日	時	氣壓	氣温	風向	風速度	降水量	天氣
二月十二日	午前十時	七五九、〇	六、五	南西	一、八	—	晴
全	全十一時	七五八、八	七、七	西南西	六、九	—	曇
全	正午	七五八、五	六、九	西南西	三、八	〇、〇	曇
全	午後一時	七五七、四	六、九	西南西	一四、二	—	曇
全	全二時	七五六、九	六、三	西南西	一五、七	〇、〇	雨
全	全三時	七五六、八	六、〇	西南西	一七、二	〇、〇	曇
全	全四時	七五六、七	五、七	西南西	一八、四	—	曇
全	全五時	七五六、八	五、二	西南西	一七、六	—	曇
全	全六時	七五六、三	五、二	西南西	二三、五	—	曇
二月十三日	午後七時	七五六、五	四、五	西南西	二三、五	—	快晴
全	全八時	七五六、六	四、二	西南西	一九、〇	—	快晴
全	全九時	七五六、三	四、〇	西南西	一九、二	—	快晴
全	全十時	七五五、八	四、〇	西南西	二〇、二	—	快晴
全	全十一時	七五五、三	四、〇	西南西	二三、八	—	曇
全	夜半	七五四、九	三、五	西南西	二四、三	〇、〇	雪
全	午前一時	七五四、八	三、三	西南西	二三、〇	〇、八	雨
全	全二時	七五五、二	三、六	西	二七、五	〇、二	雪
全	全三時	七五五、七	三、五	西	二〇、三	—	曇

二月は暴風多く其時數百六十六時に達し平年より六十一時多く最近六年間二月に於て大正二年（暴風時數百七十時）に亞ぐ暴風多き月なりし就中十二日より十三日に至る暴風は最強速度毎秒二十七米五に達し強烈風吹續時間は二十七時なりしが十八日より二十二日に至る暴風は最強速度毎秒二十二米九に過ぎざりしも強烈風は八十時繼續せり今其概況を記すれば左の如し

（一）二月十二日より十三日に至る暴風　十一日朝支那北部に顯はれたる低氣壓は南東に進み正午黃海に出で進路を東に轉ノ朝鮮中部を横斷し十二日朝日本海中部に來りて漸次に發達し十三日奥羽地方を經由し金華山沖に到りたる頃は其中心示度七百四十二粍に下降せり又十二日の朝には紀淡海峽にも低氣壓顯はれ東北東に進行し紀伊半島及び東海道を通過し十三日金華山沖を經て大平洋上に去れり

前記兩低氣壓の通過に際し本邦各地に風雨起り沿岸地にては暴風雨となりたる所多く八丈嶋にては十三日午前四時風速毎秒三十六米七に達し相川にては同日午後三時風速毎秒三十一米九に及べり

今各地測候所に於て觀測せる最低氣壓及最大風速度を列記すれば左の如し

種目 / 地名	氣壓 最低	氣壓 全上起時	風 最大風速	風 全上方向	風 全上起時
大阪	七五四、八	十三日午前一時	二七、五	西	十三日午前二時
東京	七五四、三	十三日午前一時二時	一一、七	西	十三日午前六時三十分
下ノ關	七五八、七	十二日午後三時	一六、九	北西	十二日午後七時
濱田	七五七、一	十二日午後三時	二七、〇	西南西	十二日午後零時三十分
境	七五二、三	十二日午後九時	一七、一	西南西	十二日午後七時二十分
福井	七五一、九	十三日午前二時	一三、三	西北西	十三日午後四時
津	七五〇、六	十三日午前六時	一五、四	西南西	十二日午前四時
敦賀	七四九、〇	十三日午前三時	一八、六	西北西	十二日午後七時
須	七五二、九	十三日午前四時	三六、七	西南西	十三日午前四時
飯	七五〇、八	十三日午前三時	二一、九	北西	十三日午後六時
子					
八丈嶋					
新潟					

銚子　仝　二時五二分一五秒
水澤　仝　二時五二分〇二秒

二五　二月二十五日午後七時十二分二十四秒の地震

此地震は前地震と同震源帶に發したるものにして緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は四分六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後七時十七分四秒に於て三十三「ミリロン」振動期九秒〇、南北動は午後七時十六分四十七秒に於て四十五「ミクロン」振動期八秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は四十七分三十八秒南北動は四十九分五十九秒なり

附記　此地震は前地震の餘震なるべし

二六　二月二十七日午後七時二十九分二十秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後七時三十分五十九秒に於て九十八「ミクロン」振動期四秒八、南北動は午後七時三十分五十九秒に於て九十八「ミクロン」振動期五秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十二分三十八秒、南北動は十九分五十五秒なり

附記　此地震は本州東海岸沖に發したるものにして岩代の福嶋にては微震を感じ水戸、沼津、青森にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

二七　二月二十七日午後七時五十七分四十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十八秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後七時五十九分二秒に於て五十「ミクロン」振動期六秒二、南北動は午後七時五十九分九秒に於て三十八「ミクロン」振動期五秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十三分五十九秒、南北動は十三分五十八秒なり

附記　此地震は前地震と同震源帶に發したるものにして水戸、前橋甲府、沼津、長野にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

二八　二月二十七日午後十一時五十五分五十五秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十八秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後十一時五十七分十一秒に於て五十三「ミクロン」振動期五秒〇、南北動は午後十一時五十七分四十六秒に於て五十三「ミクロン」振動期五秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十八分五十六秒、南北動は十七分五十八秒なり

附記　此地震は前地震と同震源帶に發したるものにして筑波にては微震を感じ水戸、前橋、甲府、沼津、長野にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

●本年二月中の暴風概況

技手　大橋龍太郎

感覺なきも地震計に感じたり

二二　二月二十三日午前三時二十七分五十秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十八秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前三時二十九分四十秒に於て二百「ミクロン」振動期二秒九、南北動は午前三時二十九分三十秒に於て二百五十五「ミクロン」振動期三秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十五分五十二秒、南北動は十五分五十秒なり

附記　此地震は安房沖に發したるものにして震域北方は岩代の福嶋附近に南方は小笠原嶋に北西方は丹後の宮津附近に達し橫濱東京、水戸、筑波、宇都宮にては微震を感じたり

二三　二月二十五日午後二時二十五分三十二秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は四分四秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後二時二十九分五十秒に於て百十「ミクロン」振動期八秒六南北動は午後二時三十分十四秒に於て百十二「ミクロン」振動期九秒六を現はし後微となり終期の微動となり續震ありたるため全振動時間を知ることを能はざりし

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を記すれば左の如し

長崎	午後二時二五分〇四秒
福岡	〃　二時二五分二三秒
大阪	〃　二時二五分三二秒
銚子	〃　二時二六分四二秒
水戸	〃　二時二六分五三秒
水澤	〃　二時二六分二八秒

二四　二月二十五日午後二時五十一分十三秒の地震

此地震は前地震と同震源帶に發したるものにして緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は四分三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後二時五十五分二十一秒に於て百六十二「ミクロン」振動期九秒一、南北動は午後二時五十五分四十一秒に於て二百七十三「ミクロン」振動期八秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時三十六分二十九秒、南北動は一時三十七分二十四秒なり

附記　此地震は前地震の終らざる內に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を記すれば左の如し

長崎	午後二時五〇分四五秒
福岡	〃　二時五一分〇三秒
大阪	〃　二時五一分一三秒
水戸	〃　二時五一分一九秒

一八　二月十五日午前十時十分五十七秒の地震

此地震は最初より緩微なる波動を呈し振動の各部判明ならざれども最大振幅は東西動は午前十一時九分四十二秒に於て十「ミクロン」振動期二十一秒一、南北動は午前十一時十一分十三秒に於て三十「ミクロン」振動期二十四秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時五十三分五十五秒南北動は一時五十五分四十二秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源詳ならず

一九　二月十八日午前十時二十八分五十五秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は四分五十四秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前十時三十四分二十三秒に於て七十八「ミクロン」振動期七秒七、南北動は午前十時三十六分四十三秒に於て四十八「ミクロン」振動期六秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十八分二十七秒、南北動は三十五分五十六秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を記すれば左の如し

長　崎	午前一〇時二七分一八秒
福　岡	仝　一〇時二八分一九秒
大　阪	仝　一〇時二八分五五秒

水　澤　午前一〇時二九分一四秒

二〇　二月二十一日午前五時五分四十六秒の地震

此地震は最初より緩微なる波動を呈し振動の各部判明ならざれども最大振幅東西動は午前五時三十八分十六秒に於て五十「ミクロン」振動期十九秒二、南北動は午前五時四十四分二十九秒に於て九十五「ミクロン」振動期十八秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時三十四分三十二秒南北動は一時三十二分五十九秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども長崎及水澤にても此地震を觀測せりと云ふ

二一　二月二十二日午前零時四十五分四十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分三十一秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前零時四十七分八秒に於て三百二十八「ミクロン」振動期三秒八、南北動は午前零時四十六分十六秒に於て五百三十八「ミクロン」振動期三秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十七分二十秒南北動は十九分五十秒なり

附記　此地震は八丈嶋の西方沖に發したるものにして震域廣く北方は岩代の福嶋附近に北西方は福井及宮津附近に達し横濱、東京、水戸、福嶋にては微震を感じ銚子、前橋、筑波、沼津、甲府、名古屋、津、彦根、京都、宮津、福井等にては人身に

りしが無感覺地震にして地動計又は微動計に感じ其震源本邦内にありたるものは八回即ち本州東海岸五回安房沖、八丈島の西方沖、紀伊水道各一回なり又遠距離地震は六回にして未だ震源詳ならず今其觀測概況を列記すれば左の如し

一四　二月一日午後零時五十一分一秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後零時五十一分四十九秒に於て七十八「ミクロン」振動期二秒二南北動は午後零時五十一分五十八秒に於て六十八「ミクロン」振動期二秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は七分三十二秒、南北動は七分五十八秒なり

附記　此地震は山城國の東部に發したるものにして震域北東方は越前の福井、飛騨の高山及遠州濱松邊に南西方は豐前地方に達し京都にては性質急なる弱震を感じ彦根、岐阜、福井、高山、大阪にては微震を感じたり

一五　二月三日午前十時三十五分六秒の地震

此地震は微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は東西動は午前十時三十六分三十二秒に於て四十六「ミクロン」振動期二秒六、南北動は午前十時三十六分二十二秒に於て四十八「ミクロン」振動期二秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は七分二秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

附記　此地震は鹿嶋灘北部に發したるものにして震域北方は本州北部に南方は東京灣に西方は越後の新潟附近に達し長半徑は六十里、短半徑は四十里を有し有感最微震部は七千五百四十方里にして岩代の福嶋にては弱震を感じ石巻、水戸、宇都宮、筑波、東京にては微震を感じたり

一六　二月六日午後四時三十五分五十二秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分三十九秒にして主要動となり最大振幅は午後四時三十七分十八秒に於て四十四「ミクロン」振動期四秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は九分六秒なり（微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は常陸沖に發したるものにして震域北方は岩代の福嶋附近に南方は東京灣に達し水戸、筑波にては微震を感じたり

一七　二月十一日午後四時一分三十六秒の地震

此地震は微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は東西動は午後四時一分五十二秒に於て四十二「ミクロン」振動期一秒四、南北動は午後四時一分四十九秒に於て二十八「ミクロン」振動期一秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は四分五十二秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

附記　此地震は紀伊水道に發したるものにして和歌山にては性質急なる微震を感じたり

管内天氣摘要

●一日概ね晴天秦野、天王に雪降り大阪に強風吹き所々に霜あり●二日概ね晴天所々に雪霰を降らし大阪に強風吹けり●三日晴曇相半し概ね雪降り天王には霰を交ゆ大阪、茨木に霜あり●四日概ね晴天大阪、天王、清水、長野に雪降り大阪に強風吹き所々に霜あり●五日概ね晴天天王、田原に雪降り所々に霜あり●六日概ね晴天清水に雪降り所々に霜あり●七日概ね晴天大阪に雪降り所々に霜あり●八日晴曇相半し所々に霜あり●九日概ね晴天東郷、天王、柏原に雪降り所々に霜あり●十日概ね晴天一般に雪降り大阪に強風吹けり●十一日概ね晴天秦野、東郷、天王に雪降り上之郷、大阪、富田林に霜あり●十二日概ね晴天所々に雪或は霰降り強風吹き大阪及沿海地方に霜あり●十三日晴曇相半し概ね雪降り深日、堺、大阪、八尾に強風吹き大阪、東郷に霜あり●十四日晴曇相半し岸和田、大阪、天王、田原に雪降り大阪、新庄に霜あり●十五日概ね晴天所々に霜あり●十六日概ね晴天所々に微雨、大阪、東郷、天王、茨木に霜あり●十七日概ね晴天妙見山に雪降り大阪、東郷、天王、茨木に霜あり●十八日概ね曇天上之郷、長承寺、大阪、新庄、秦野に強風吹けり●十九日概ね曇天岸和田に雪、大阪、天王に霰降り堺、大阪、新庄、柏原に強風吹き茨木に霜あり●二十日概ね晴天所々に強風吹き東郷、田原に霜あり●二十一日概ね晴天新庄、妙見山、天王に雪降り所々に強風吹けり●二十二日概ね晴天東郷天王に雪降り大阪、新庄、柏原に強風吹けり●二十三日概ね晴天天王に霰降り大阪強風吹き所々に霜あり●二十四日概ね晴天所々に霜あり●二十五日概ね晴天所々に霜あり●二十六日概ね晴天なりしが午後より雨降り翌日に亘る●二十七日前日來の雨概ね午後歇む●二十八日晴曇相半し妙見山、東郷清水に雪、天王に霰、大阪、茨木に雨降り大阪、新庄、柏原に強風吹けり

大阪地震觀測概況

爰に記する所のものは主として大森式地動計（東西及南北動二十倍）を以て觀測したるものを記し、極微なる地震にありては百廿倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如しPは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動全上、Lは長波即ち主要部全上、Mは主要部の最大動、Cは終期の最大動、Fは振動の終とす又十は南北動にありては北、東四動にありては東、（一）は南北動にありては南、東西動にありては西なり振幅は「ミクロン」（粍の千分一）を以て記す

本月中に地震を觀測したる數は十五回にして人身に感覺ありたるものは一日午後零時五十一分一秒山城國の東部に發したるもの一回人身に感覺なく普通地震計に感じたるものは一回もなか

八日	九日	十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	全月
—	一、五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一四、六	三、九	—	二〇、〇
—	二、五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一八、〇	五、五	—	二六、〇
—	二、四	—	—	—	〇、九	—	—	〇、九	—	—	〇、四	—	—	—	—	—	—	一七、〇	四、五	—	二六、四
—	二、六	—	—	—	一、九	—	—	〇、二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一七、〇	四、三	—	二六、〇
—	一、三	—	—	〇、八	〇、二	〇、六	—	〇、三	—	—	〇、二	—	—	—	—	—	—	一四、八	—	—	一八、二
—	二、一	—	—	—	五、〇	—	—	〇、四	—	—	〇、三	—	—	—	—	—	—	一七、八	五、〇	—	三〇、六
—	二、四	—	—	—	一、五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二〇、〇	四、〇	—	二七、九
—	〇、二	—	—	〇、九	〇、九	〇、〇	—	〇、一	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	一七、二	五、二	〇、〇	二四、六
—	—	—	—	—	二、五	〇、〇	—	〇、四	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	一八、五	四、三	—	二五、七
—	〇、五	—	—	—	二、七	—	—	〇、三	—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	一六、三	四、七	〇、三	二五、二
—	—	—	〇、三	—	一、二	—	〇、一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一六、〇	四、〇	〇、二	二三、三
—	—	—	—	一、二	〇、〇	—	—	—	〇、〇	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	一五、五	四、五	〇、二	二一、六
〇、〇	—	二、三	—	三、〇	〇、七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一五、八	二、五	〇、五	二六、〇
〇、四	—	〇、六	—	一、五	〇、八	—	—	—	—	—	〇、三	—	—	〇、二	〇、三	—	—	一七、二	三、〇	二、〇	二九、七
—	—	—	—	〇、〇	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二二、〇	三、〇	〇、〇	二五、〇
—	—	—	—	二、六	〇、八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二一、〇	〇、八	〇、三	二五、五
—	—	—	—	〇、〇	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一五、〇	九、八	—	二四、八
—	一、三	—	—	〇、二	一、八	一、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二一、六	四、四	—	三一、三
—	〇、〇	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一八、〇	五、〇	—	二五、五
—	一、八	三、五	—	—	一、二	—	—	〇、〇	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	一八、五	五、八	—	三一、二
—	三、六	—	〇、八	〇、八	六、五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一五、五	六、〇	—	三三、四
—	三、〇	〇、三	—	〇、七	一、三	—	—	〇、三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一四、七	五、三	—	二六、七

第四表　管內降水日量

二月	深日	上之鄉	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	秦野	妙見山	東鄉	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	〇、二	一、二	一、二	—	—	—	—	〇、四	—	—	一、二
二日	—	—	—	〇、〇	—	〇、〇	—	〇、一	〇、〇	〇、二	〇、三	〇、〇	〇、〇	一、三	〇、〇	—	〇、〇	〇、六	二、五	〇、〇	一、〇	一、二
三日	—	—	〇、三	〇、〇	—	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	—	〇、〇	—	〇、三	—	—	〇、〇	〇、五	〇、〇	—	—	—
四日	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	〇、六	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—
五日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	〇、二	—	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—
六日	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	〇、〇	〇、二	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—
七日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

二月	福島	新庄	秦野	妙見山	東鄉	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	九、六(一)	〇、八	四、四	〇、四	一六、五	二五(一)	五、〇	五	二五、七	三五、三	一八、五	二六	五、八	六五	四、六	北西	四	五	五	〇	一〇	〇	一	六	六	四
二日	九、一(一)	一、四	三、八	一、〇	一五、六	二五(一)	六、二	四	二五、二	三四、八	一六、三	二六	六、一	七四	五、一	西	八	四	〇	〇	八	〇	〇	四	三	六
三日	九、五(一)	三、〇	三、三	一、三	一七、一	二六(一)	六、四	一五	二三、三	四一、〇	一六、〇	二六	五、九	六八	四、四	南西	八	四	〇	〇	?	〇	〇	九	七	一
四日	二、九(一)	六、二(一)	一、七	一、一	一二、一	二五(一)	一二、〇	一	二一、六	四一、二	一五、五	二六	〇、一	八四	三、六	北	五	七	〇	〇	?	〇	〇	一四	五	一
五日	七、五(一)	三、九	一、八	一、五	一四、一	二六(一)	八、八	一	二六、〇	四一、三	一五、八	二六	五、〇	六六	五、八	北	七	八	〇	〇	九	〇	〇	六	九	〇
六日	五、〇(一)	五、三(一)	〇、二	一、〇	一三、三	二五(一)	一一、五	一	二九、七	五七、六	一七、二	二六	二、四	八〇	四、八	西	一四	一三	四	〇	四	〇	〇	七	六	〇
七日	一〇、〇(一)	一、六	四、三	〇、六	一七、五	二五(一)	五、三	四	二五、〇	三七、四	二二、〇	二六	六、四	六五	三、七	北西	二	三	〇	〇	一六	〇	一	一五	七	〇
八日	九、八(一)	二、七	三、六	〇、八	一六、九	二五(一)	五、四	五	二五、五	三八、四	二一、〇	二六	六、〇	六三	五、四	南西	五	五	〇	〇	?	〇	一	一一	三	〇
九日	一〇、〇(一)	一、七	四、二	〇、八	一七、五	二五(一)	五、〇	五	二四、八	三八、三	一五、〇	二六	六、二	六一	四、五	西	二	五	〇	〇	一〇	〇	〇	九	六	四
十日	九、八(一)	三、一	三、四	〇、二	一八、二	二五(一)	六、二	五	三一、三	三一、二	二一、六	二六	六、六	七〇	三、七	西	八	六	〇	〇	一一	〇	一	一四	四	〇
十一日	九、九(一)	一、三	四、五	〇、五	一七、〇	二五(一)	五、〇	二五	二五、五	三三、八	一八、〇	二六	六、一	六六	三、三	西	三	四	〇	〇	六	〇	〇	一八	五	三
十二日	九、五(一)	〇、九	四、七▲	〇、一	一八、一	二六(一)	四、〇	一	三一、二	三〇、二	一八、五	二六	四、五	八〇	五、二	西	六	五	一	〇	一	〇	〇	九	一〇	五
十三日	八、七(一)	一、〇	三、八	〇、八	一六、〇	二五(一)	四、〇	五	三三、四	二八、七	一五、五	二六	五、九	六八	四、七	西	六	三	〇	〇	一一	〇	〇	一四	一一	二
十四日	八、一(一)	一、二	三、八	〇、三	一五、〇	二五、六(一)	四、五	五	二六、七	—	一四、七	二六	五、四	六七	三、五	西	八	四	〇	〇	?	〇	〇	九	一	二

度に下降せり之れを要するに本月の氣溫は最高十八度二より最低零下十二度〇の間にありて其較差は實に三十度二に達せり

降水

總量は東部富田林の三十三粍四より南部深日の二十粍〇の間にありて之れを平年に比すれば一般に少なく北部地方は概ね三分の一其他は二分の一に過ざりき而して日量の最多は二十六日より二十七日に亘りし降雨の際にありて其最も多きは西部茨木の二十二粍〇にして之れに亞くは田原の二十一粍六、同清水の二十一粍〇、天王寺の二十粍〇にして其他は十八粍五より十四粍六の間にありき

第三表　管内全月氣象觀測成績

（表中▲印は高又は多）

觀測所	空氣ノ溫度 平均最高	平均最低	平均 本年	平均 平年比較	最高極	起日	最低極	起日	降水 總量 本年	平年比較	最多日量	起日	午前十時（柏原ハ午前九時） 氣溫	濕度	雲量	最多風向	天氣日數 降水	雪	霰	雹	霜	電地雷震	快晴	曇天	暴風
深日	一〇、〇	一、二	五、六	▲〇、一	一五、〇	一七	(一) 一、七	四	二〇、〇	三九、四	一四、六	二六	七、三	六一	三、五	北西	三	一	〇	〇	一	〇	〇	一六	六	二
上之鄉	九、〇	(一) 〇、二	四、四	—	一五、三	二五	(一) 三、四	四	二六、〇	—	一八、〇	二六	五、七	六七	四、八	北西	三	一	〇	〇	一三	〇	〇	一〇	一一	一
岸和田	八、二	〇、一	四、一	一、一	一四、二	二四	(一) 四、〇	五	二六、四	三二、七	一七、〇	二六	六、一	七一	四、一	西	七	五	〇	〇	五	〇	〇	一一	六	〇
長承寺	八、七	(一) 〇、八	四、〇	一、〇	一四、八	一七	(一) 四、四	五	二六、〇	三一、五	一七、〇	二六	六、六	六九	四、〇	西	五	四	〇	〇	一〇	〇	〇	一二	六	二
濱寺	九、〇	(一) 〇、六	四、二	—	一五、三	二六	(一) 四、一	五	一八、二	—	一四、八	二六	五、六	五九	四、五	西	七	—	—	—	—	—	—	一三	一〇	二
堺	九、三	〇、五	四、八	〇、四	一五、五	二六	(一) 三、三	六	三〇、六	二七、一	一七、八	二六	六、三	六二	四、一	北西	六	四	〇	〇	八	〇	〇	一四	一一	五
天王寺	九、一	(一) 〇、七	四、二	〇、八	一六、〇	二五	(一) 四、〇	五	二七、九	二九、九	二〇、〇	二六	四、八	六四	二、六	西	四	三	〇	〇	三	〇	〇	一〇	二	一
大阪	九、一	〇、一	四、六	〇、二	一四、九	二六	(一) 二、七	六	二四、六	三六、四	一七、二	二六	六、〇	六一	四、五	西	七	七	一	〇	一〇	〇	一	一三	一〇	一七

全月	四、二	五、二	五、八	六、二	七、五(一)	五、二

大阪府管内氣象概況

前項に詳悉したるが如く二月は主として西乃至北西の寒風吹き氣溫冷却し年中の低極を現すこと多く時々西の寒風雪霰を伴ひ來ることあるも天氣は概して晴燥の日多くして下旬に至れば西風減殺し寒氣稍々衰へ溫暖となるを常とす今本年二月の氣候を調査するに上旬より中旬の半頃迄は前月末の氣候を繼承し寒氣頗る強く降雪頻々として來り北部の山間の如きは雪嵐を降下することも殆んど連日に亘り十三日には四寸の積雪を看たり故に氣溫は著しく低下し一般に上旬に於て最低の極を現はし北部妙見山は零下十二度〇同天王は零下十一度五を示し稀に見る所の寒氣を呈せしが中旬の下半より寒氣次第に和ぎ二十六日より二十七日に亘りては降雨あり之れが爲め頓に溫暖となり最高の極は東部田原に於て十八度二同柏原に於て十八度一に昇れり又降水は二十六日より二十七日に亘りて降雨ありしのみ其他は概ね雪量なりしかば其量極めて少なく多きも平年の二分一少なきは平年の三分一に過ざりき要するに本月の氣候は天氣は晴燥の日多く上旬より中旬は寒冷に失し下旬に至りて順に復したるものなり更に氣溫、降水量等に就き詳記すれば左の如し

氣溫

平均は南部深日の五度六より北部妙見山の零下一度七の間にありて之れを平年に比すれば概ね一度內外の過低を示せり而して最高は二十五日乃至二十六日に現はれ東部田原の十八度二を高極とし同柏原の十八度一之れに亞き西部茨木の十七度五又之れに亞き其他は十七度より十四度の間にありしが北部の山間は十三度乃至十二度なりき又最低は其起日區々なりしも概ね上旬に現はれ北部妙見山の零下十二度〇同天王の零下十一度五を低極とし東郷の零下八度八之れに亞き其他の山間部より平坦部地方は零下六度乃至零下四度を示し沿海部地方にても零下四度乃至零下二

日								
五日	一、九	三、一	四、七	七〇(一)	八、五			朝及夜霜あり
六日	二、七	三、四	四、一	四、八	八、三(一)			朝霜多し夜霜あり
七日	二、七	三、九	四、五	五、〇	六、九(一)	八、三		(朝霜あり、午前六時五十五分より全七時十二分迄微雨、午後一時三十四分より全三時五十分及全三時三十三分より全四時十分迄日暈現る、午後二時より五時迄強風吹けり、夜微霜あり
八日	一、二	三、六	四、四	五、一	七〇(一)	七、〇		朝霜あり、午前三時廿分より全四時三十分迄日暈現る、夜微霜あり
九日	二、〇	三、四	四、一	四、九	七〇(一)	八、四		(朝霜多し、午前九時四十分より全十時五十分迄及全十一時四十五分より午後三時三十八分迄日暈現る
十日								午後一時五十分より小雪斷續し全八時十分歇む、正午より午後四時、及夜半強風吹けり
十一日	四、六	四、九	五、三	五、六	七〇(一)	六、〇		朝及夜微霜あり
十二日	二、五	四、五	五、二	五、七	七、二(一)	四、九		(朝微霜あり、午前一時五十三分より全二時四分迄月光環現る、午前十一時四十二分より微雨斷續し午後二時廿分歇む、午前十一時より夜半迄強風吹けり、午後十一時四十分より微雪霙吹に亘る
十三日	四、六	四、九	五、二	五、七	七、二(一)	五、二		(前夜來の微雪時々雨を交へ午前一時五十五分歇む、午前一時より午後二時迄強風吹けり、午後零時五十六分より小雪時々雨霰を交へ斷續し午後五時三十五分歇む、夜微霜あり
十四日	三、二	四、七	五、三	五、八	七、二(一)	五、八		朝微霜あり、午後零時五十二分より微雪斷續し全二時四十八分歇む
十五日	四、〇	五、〇	五、三	五、九	七、三(一)	五、八		(朝霜多し、午前五時廿分より全八時五分迄薄霧あり、午前十一時四十分より午後零時四十八分迄及全一時四十分より二時三十五分迄日暈現る
十六日	七、二	六、四	六、四	七、四(一)	三、二			(朝微霜あり、午前六時四十分より全八時十分迄霧あり、午前十一時三十五分より十一時五十分迄日暈現る、午後九時五十五分より十一時三十分まで小雨
十七日	八、二	七、三	七、一	七、七(一)	二、四			(朝微霜あり、午前四時四十分より全九時廿八分まで薄霧あり、午後四時五十分より五時十六分まで日暈現る
十八日	七、二	七、七	七、六	八〇(一)	〇、五			(朝薄露あり、午前七時十分より全九時十分まで薄霧あり、午前十時より六時及全八時より夜半まで強風吹けり
十九日	四、七	六、八	七、三	八、二(一)	〇、七			午後七時四十分より全七時五十分まで微雨あり、午後六時より夜半まで強風吹けり
二十日	四、七	五、六	七、二	八、二(一)	二、四			午前一時より午後九時及全十一時より夜半まで強風吹けり
二一日	三、二	五、四	六、八	八、二(一)	二、五			午前一時より午後五時及全十時より夜半まで強風吹けり
二二日	四、四	五、一	六、九	八、〇(一)	三、四			午前一時より午後三時及全六時より八時まで強風吹けり
二三日	六、二	五、五	六、〇	八、〇(一)	八、四			朝霜あり、午前十一時より午後一時まで強風吹けり、夜微霜あり
二四日	三、八	五、八	六、三	八、〇(一)	七、五			(朝霜あり、午前六時廿分より全八時廿分まで薄霧あり、午前九時より午後四時まで烟霧あり、夜薄露あり
二五日	七、〇	六、六	六、七	八、〇(一)	六、〇			朝微霜あり
二六日	七、四	七、〇	七、一	八、二(一)	三、〇(二)			(朝微霜あり、午前八時五十五分より全十一時三十分まで日暈現る、午後四時三十八分より降雨翌日に亘る、夜半強風吹けり
二七日	六、〇	七、四	七、五	八、三(一)	一、三			前日來の降雨午後三時五十分歇む、午前一時より三時まで強風吹けり
二八日	六、八	七、二	七、五	八、三(一)	三、五			(朝微霜あり、午後一時五分より全三時廿五分まで日暈現る、午後四時廿四分より全四時廿九分まで微雨、正午より夜半まで強風吹けり

	十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	全月
氣壓	七六八	七五一	七五九	七五八	七五三	七五九	七五三	七五六	七六一	七五九	七五六	七五九	七五三
	▲七八	▲七七	▲五九	三五	三三	三七	四四	五二	六六	六六	七六	五六	四三
	二九	三〇	一〇	一八	二五	二五	二五	二六	二五	二六	二五	二六	一三
	一四	一一	八〇	七一	七〇	七四	九八	一一	一二	一四	一四	九五	九一
	二三	四七	二五	〇八	一二	二四	二一	一〇	〇二	〇二	二四	一一	〇一
	三一	六三	五五	六二	五八	七〇	三〇	三九	三七	三五	四〇	四〇	四〇
	六〇	五一	四二	三一	二九	三三	四〇	四四	四七	四九	五〇	八三	六八
	七	六六	六二	五三	五〇	五五	六五	六八	六六	六四	七二	八三	六八
	二一	二九	二八	二九	三一	二九	二六	二五	二九	三四	二九	一三	二三
	二三	九七	九二	一四	一三〇	九八	一〇	二七	三七	五三	六〇	七四	六五
	四三	三九	一九六	一九六	一八八	一三三	一〇八	四八	七四	一〇三	一〇五	一四三	二七五
	南南西	西	西	西	西	西	南西	四南南西	南四	北東	北	四南西	西
	南	四	西	西	四	西	西	北東	北北東	北北東	北北西	北	西
	七〇	四三	七四	一三	三〇	三〇	〇八	〇〇	〇〇	七七	八三	七一	四三
	▲三五	▲六四	一〇	九五	▲六八	▲五〇	▲一二	九四	九九	▲五三		▲七一	▲二五
	▲〇	▲一三	一八	▲九五	▲五〇	▲四〇	▲八二	▲五六	▲四四	▲一六	四九	▲〇七	六〇
	一	一	〇	一	一	一	一	一	一	九四	一四	〇	三五
	三二	四二	三二	四二	四二	三二	三二	三二	三二	三二	〇四	〇四	八四

第二表　大阪每日氣象觀測成績の一

二月

	地中温度（平均）				最低地温	諸現象の摘要
	地皮	十糎	三十糎	六十糎		
一日	一、四	五、二	四、一	五、〇	七、四(一)	朝微霜あり、午前一時より四時、仝八時、仝十時より夜半迄強風吹けり
二日	〇、七	三、三	四、一	五、〇	七、二(二)	午前一時より十時迄強風吹けり、午前七時四十七分より小雪斷續し午後七時廿一分歇む
三日	一、八	三、四	四、二	五、〇	七、一(一)	朝霜あり、午前二時強風吹けり、午後零時廿分より微雪斷續し午後三時十五分歇む、夜霜あり
四日	一、三	三、一	四、〇	四、九	七、二(一)	朝霜あり、午後二時十五分より仝二時廿五分迄微雪、午後四時強風吹けり、夜霜あり

廿二時	七六二、六九	三、四六	四、〇九	六八、九	一、九一	五、五六	二、五	—	二、一	一、〇一	五、六一	六、〇五	六、二三	七、五五
廿三時	七六二、六八	三、〇八	四、〇三	六九、七	一、八三	六、四九	三、三	—	二、九	〇、七五	五、四四	六、〇一	六、二四	七、五五
廿四時	七六二、六〇	二、五〇	四、〇六	七三、三	一、五四	六、五〇	三、六	—	二、一	〇、五一	五、二三	五、九四	六、二六	七、五五
平均	七六〇、三四	四、三二	四、一四	六六、八	二、三一	六、四六	四、五	一七五、一五	二五、八	四、二一	五、〇六	五、五六	六、〇七	七、五二

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印は高又は多）

二月	氣壓 平均	空氣ノ溫度 平均 本年	平均 平年比較	最高	最低	較差	水蒸氣張力 平均	溫度 平均	飽差 平均	風 速度 平均	最大速度	全上方向	最多方向	雲量 平均	日照時數 本年	平年比較	降水量	蒸發量
一日	七六〇、四	二、五	三、〇	六、五(一)	二、二	八、七	三、一	五七	二、六	一一、〇	一四、四	西	西	〇、九	八、五	▲三、八	—	四、一
二日	七六一、七	二、一	三、二	六、一	〇、七	五、四	三、四	六三	二、一	八、八	一四、七	西	西	五、五	〇、七	三、〇	〇、一	一、四
三日	七六二、二	二、六	二、九	八、二(一)	一、〇	九、二	三、六	六六	二、一	五、三	一〇、六	西	西	二、八	五、三	一、一	〇、〇	二、三
四日	七六一、八	二、一	三、四	七、五(一)	二、六	一〇、一	三、五	六七	二、〇	三、六	一〇、九	北	北	一、七	八、一	▲一、二	〇、〇	二、一
五日	七六五、九	二、二	三、〇	七、九(一)	二、五	一〇、四	三、八	七二	一、八	三、八	九、四	西南西	西南西	一、九	八、〇	▲三、六	—	二、二
六日	七六八、五	二、六	三、六	八、九(一)	二、七	一一、六	四、一	七六	一、七	二、九	七、二	南西	南西	二、六	八、六	▲五、二	—	二、五
七日	七六五、四	三、六	一、三	九、五(一)	一、〇	一〇、五	四、〇	六九	二、二	五、三	一二、九	西南西	西南西	六、〇	五、七	▲〇、八	〇、〇	二、五
八日	七六三、六	二、四	二、七	八、二(一)	一、〇	九、二	三、七	六八	一、九	三、四	九、六	北	北	七、三	二、六	二、二	—	三、三
九日	七六〇、五	二、九	一、七	七、三(一)	二、五	九、八	三、四	六三	二、四	三、〇	四、九	北東	北東	七、三	五、二	〇、四	—	二、二
十日	七六八、九	三、四	〇、五	七、三	〇、三	七、〇	四、一	七二	一、八	六、七	一三、三	西北西	西	六、八	六、二	〇、六	〇、三	二、六
十一日	七六五、三	四、二	▲〇、九	八、九(一)	〇、三	九、二	三、九	六五	二、四	四、一	八、二	西南西	西	四、三	九、二	▲四、九	—	二、七
十二日	七六八、八	三、五	〇、六	八、六(一)	一、一	九、七	三、九	六七	二、一	一一、九	二四、三	西南西	西南西	五、七	二、五	三、三	〇、〇	三、三
十三日	七六〇、九	三、七	〇、四	七、八	〇、九	六、九	四、二	七二	一、八	一二、二	二七、五	西	西	八、四	五、八	〇、五	一、八	二、三
十四日	七六八、〇	三、七	一、九	七、一	〇、四	六、七	三、九	六五	二、二	三、九	七、七	南西	西	六、一	四、九	〇、五	〇、〇	一、六
十五日	七六六、一	四、九	一、四	九、七(一)	一、五	一一、二	四、六	七三	二、一	三、六	八、〇	南西	南西	五、三	八、二	▲二、八	—	二、三
十六日	七六一、八	六、八	▲〇、一	一一、五	一、八	九、七	五、五	七六	二、〇	二、五	六、六	南南西	南南西	六、七	五、二	一、三	〇、一	一、五

第一表　大阪每時氣象觀測成績表

二月

時	氣壓平均	氣溫平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速度平均	雲量平均	日照時數	降水量	地中溫度（平均） 地皮	地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
一時	七五一、七六	二、二九	四、二五	七三、五五	一、八〇	六、〇九	三、七	一	二、三	〇、三三	四、九三	五、一四	六、一八	七、五一
二時	七五二、一四	一、九四	四、〇五	七四、〇	一、三四	六、三六	三、四	一	〇、九	(一) 〇、〇四	四、七六	五、〇八	六、一八	七、五二
三時	七五二、三五	一、五九	三、九七	七四、九	一、二七	五、八三	三、四	一	一、三	(一) 〇、一七	四、六二	五、〇一	六、一八	七、五二
四時	七五二、一四	一、二四	三、九三	七四、〇	一、一六	五、二四	二、八	一	〇、五	(一) 〇、二五	四、三四	五、〇三	六、一七	七、五二
五時	七五二、〇五	〇、九八	三、九二	七四、〇	一、〇九	四、九四	三、八	一	二、一	(一) 〇、二六九	四、二二	五、〇三	六、一七	七、五二
六時	七五二、二五	〇、九四	三、九九	八〇、八	一、〇二	四、七八	四、八	一、一〇	一、二	(一) 〇、二六〇	四、〇八	五、〇二	六、一七	七、五二
七時	七五二、七〇	〇、九四	三、九九	八〇、八	一、〇二	四、七八	四、八	一、一〇	一、二	(一) 〇、二六〇	四、〇八	五、〇二	六、一七	七、五二
八時	七五二、一〇	二、三三	四、〇九	七九、〇	一、二九	四、九八	四、八	一、一〇	〇、一	(一) 〇、二六九	四、二二	五、〇三	六、一七	七、五二
九時	七五二、〇六	四、一四	四、二五	六八、六	二、三四	五、四二	四、八	一、一〇	〇、一	(一) 〇、二六〇	四、〇八	五、〇二	六、一七	七、五二
十時	七五二、〇一	六、〇一	四、二〇	五七、五	二、八四	六、〇〇	四、八	一、一〇	〇、一	(一) 〇、二六〇	四、〇八	五、〇二	六、一七	七、五二
十一時	七五二、八二	七、〇〇	四、二八	五七、一	三、二五	七、三三	四、八	二、二〇	一、四	(一) 〇、二六九	四、二二	五、〇三	六、一七	七、五二
十二時	七五二、三二	七、五四	四、二九	五五、一	三、二四	八、一三	五、四	二、二〇	一、四	(一) 〇、二六九	四、二二	五、〇三	六、一七	七、五二
十三時	七五二、二二	八、一三	四、三三	五五、四	三、二四	八、四四	五、四	二、二〇	一、四	(一) 〇、二六九	四、二二	五、〇三	六、一七	七、五二
十四時	七五二、二九	七、九六	四、三五	五三、九	三、二一	九、一〇	六、八	一七、三五	〇、八	(一) 〇、二六九	四、二二	五、〇三	六、一七	七、五二
十五時	七五二、三四	七、八四	四、三三	五三、四	三、二二	七、九九	六、四	一五、三五	一、一	(一) 〇、二六九	四、二二	五、〇三	六、一七	七、五二
十六時	七五二、一四	七、四五	四、二八	五五、四	三、二四	八、三九	六、五	一四、四〇	〇、〇	八、三七	四、二九	五、〇三	六、一七	七、五二
十七時	七五二、二三	六、三二	四、三三	五七、五	三、二五	七、二七	五、八	一〇、四〇	〇、〇	五、一五	三、九四	五、〇二	六、一七	七、五二
十八時	七五一、八八	五、七八	四、二七	六二、二	二、七九	六、二一	五、五	〇、一〇	〇、三	三、五四	三、二六	五、〇二	六、一七	七、五二
十九時	七五二、二五	五、一六	四、一六	六四、三	二、五〇	五、四四	四、七	〇、一	〇、五	二、五八	二、八六	五、〇一	六、一六	七、五二
二十時	七五二、一四九	四、二三	四、一九	六四、三	二、三三	五、九五	三、三	〇、一	〇、八	二、〇二	二、七四	五、〇〇	六、一六	七、五二
廿一時	七五二、二六	三、九五	四、一九	六八、三	二、〇二	六、一〇	三、二	〇、一	一、一	一、五三	二、七四	五、〇〇	六、一八	七、五二

度二五低く月中の最高は十七日午後六時に於て九度〇を示し最低は五日午前十時乃至十一時に於て二度一を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後六時にありて六度二六、最低は午前九時にありて三度九〇を示し其較差は二度三六なり

地中二十糎の溫度　平均は五度五六にして平年に比すれば一度〇二低く月中の最高は十七日午後九時乃至翌十八日午後六時に於て八度〇を示し最低は六日午前十一時乃至午後一時に於て三度五を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後九時にありて六度〇六、最低は午前十一時にありて五度〇六を示し其較差は一度〇〇なり

地中三十糎の溫度　平均は六度〇七にして平年に比すれば零度九七低く月中の最高は十八日午後八時より翌十九日午前四時に於て七度八を示し最低は五日午後六時より九時及六日午後一時より四時に於て四度六を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は夜半にありて六度二六最低は午後一時より三時にありて五度九三を示し其較差は零度三三なり

地中六十糎の溫度　平均は七度五三にして平年に比すれば零度四八低く月中の最高は二十八日午後五時より夜半に於て八度四を示し最低は十日午前九時より午後四時に於て六度八を示せり、但し此深さにありては殆ど一日中の變化を認め難し

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時に生じ地中十糎にありては午後六時、同二十糎にありては午後九時同三十糎にありては夜半に生ぜり、又地皮にありては最低は午前六時に生じ地中十糎にありては午前九時、同二十糎にありては午前十一時、同三十糎にありては午後一時頃に生ぜり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地溫　平均は零下五度一二にして平年に比すれば三度六五低く月中の最低は四日午前六時及五日午前二時の零下八度五を示せり、而して最低地溫の零下に降りたる日數は二十八日にして平年に比すれば七日多し

天氣日數

快晴は八日にして平年より五日多く曇天は二日にして平年より五日少く雪は八日にして平年より四日多く霰は一日にして平年より二日少く霧は一日にして平年より一日少く霜は二十日にして平年より七日多し

尙詳細は左に掲ぐる氣象觀測成績表を參照すべし

變化を看るに最高は午後一時にありて四粍三二、最低は午前五時にありて三粍九二を示し其較差は零粍四〇なり

濕度の平均は六十六、八にして平年に比すれば四、二少く月中の最少は二十六日午後三時に於て三十一を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前七時にありて八十、八最少は午後二時にありて五十二、九を示し其較差は二十七、九なり

飽差の平均は毎立方米中二瓦三一にして平年に比すれば零瓦一九多く月中の最多は二十六日午後三時に於て八瓦二を示し最少は六日午前六時に於て零瓦二を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後一時にありて三瓦九四、最少は午前七時にありて一瓦〇二を示し其較差は二瓦九二なり

風

平均速度は毎秒六米四六にして平年に比すれば一米〇五強く月中の最大速度は十三日午前二時の毎秒二十七米五（一間平方面を垂直に壓する力は八十五貫目）の北々西風なり又強風以上の吹きたる日數は十七日にして平年より三日多く強風以上の吹きたる時數は百六十六時にして平年より六十一時多し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後二時にありて九米一〇、最小は午前七時にありて四米七八を示し其較差は四米三二なり、風向は西風最も多く南西、北、北東風之れに亞ぎ南風は少し之れを平年に比すれば西及南西風は多く北及北東風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は四、五にして平年に比すれば一、二少く日照時數は百七十五時一五にして平年に比すれば三十五時九九多く一日中の最多量は二十四日の十時三〇なり

降水及蒸發量

降水日數は六日にして平年に比すれば五日少く其水量は二十五粍八にして平年に比すれば六十七粍〇少く一日中の最多量は二十七日の十四粍一、一時間の最多量は二十六日午後十時乃至十一時の二粍九なり、又蒸發總量は七十四粍八にして平年に比すれば八粍七多く一日中の最多量は二十日の四粍二なり

地中溫度及最低地溫

地皮溫度の平均は四度二一にして平年に比すれば一度五九低く月中の最高は二十五日午後一時に於て二十四度四を示し最低は四日午前七時に於て零下二度八を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にあり十四度六三、最低は午前六時にありて零下零度六九を示し其較差は十五度三二なり

地中十糎の溫度　平均は五度〇六にして平年に比すれば一

大阪測候所月報

大正六年二月　大阪氣象概況

二月は年中の最寒季節にして亞細亞大陸の冷却すること其極に達し從て太氣は頗る濃厚となり氣壓は著しく增高し一大高氣壓を生し北海道の東方に低壓部ありて氣壓の傾斜は西より東に向ふて著しく急峻となり西乃至北西風增勢し氣候は此風に支配せられ寒冷となり雪霰を降らし濃霜堅氷を生じ氣温は一年中の低極に達し比較的晴燥寡雨なるを常とす、然り而して本年二月の氣候を調査するに平年に比すれば著しく寒冷にして日照時數多く降水量は少く平年の殆ど三分一に達せず而して西の強烈風多く平年の殆ど二倍に達せんとす

今各氣象要素に就き詳記すれば左の如し

但本項に記する所の平年は測候所に於て觀測したる前六箇年の平均なり

氣壓

平均は七百六十二粍三四にして平年に比すれば二粍二〇低く日々の變化は氣象圖に示すが如く稍々顯著なる昇降は二回にして他は微なりき、而して月中の最高は六日午前九時に於て七百七十粍一を示し最低は十八日午前七時及午後二時に於て七百五十四粍九を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前九時にありて七百六十三粍〇六、第一の最低は午後三時にありて七百六十一粍三四を示し第二の最高は午後十時にありて七百六十二粍六九、第二の最低は午前四時にありて七百六十二粍三〇を示し其主なる最高低の較差は一粍七二なり

氣温

平均は四度三二にして平年に比すれば一度二六低く平均氣温日々の變化は十一日と十六日より十九日及二十六日の六日間は平年より高かりしも其他は概平年より低く月中の最高は二十六日午後一時頃に於て十四度九を示し最低は六日午前五時頃に於て零下二度七を示せり、而して最低氣温の零下に降りたる日數は十三日にして平年に比すれば五日多し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて八度一二、最低は午前七時にありて零度九四を示し其較差は七度一八なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

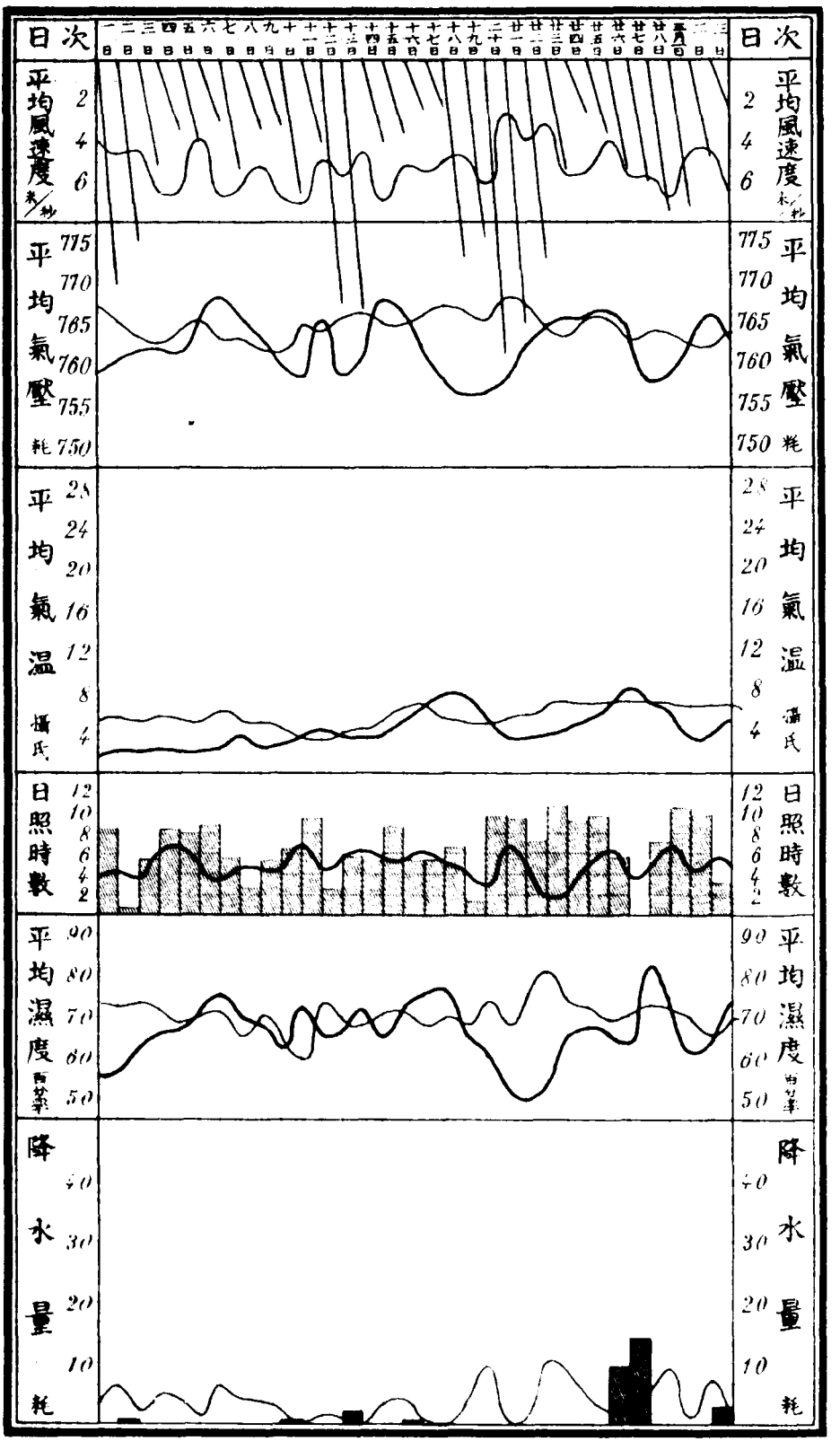
水蒸氣張力の平均は四粍一四にして平年に比すれば零粍七五低く月中の最高は十七日午後八時乃至九時に於て七粍〇を示し最低は廿一日午後三時に於て二粍二を示せり、又月平均に就きて一日中の

大正六年二月

大阪氣象圖

February. 1917

本圖八日平均又八合計二依リテ調製ス　風速度、氣壓、氣温、濕度、八本年——平年——　日照時數、八本年[redacted]平年——　降水量、八本年[redacted]平年——



大阪府管內氣象觀測所位置

例言

一本報は當測候所及管內各觀測所に於て觀測したる每月の氣象を調査し之れを揭載する者さす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管內各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍（曲尺三厘三毛）を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には一を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘じ五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量并に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上けて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦（グラム）（零點二七）にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一步面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米（曲尺三尺三寸）數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らす降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

氣象觀測所	國郡市	町村	緯度	經度	觀測主任
深日	泉南郡	深日村	一三五度〇九分	三四度一九分	上出源助
上之郷	泉南郡	上之郷村	一三五度一八分	三四度二三分	島場留藏
岸和田	泉南郡	岸和田町	一三五度二三分	三四度二七分	森井清次
長承寺	泉北郡	鳳村	一三五度二七分	三四度三二分	前川由太郎
濱寺	泉北郡	高石村	一三五度二六分	三四度三二分	今井富次
堺	堺市	車ノ町	一三五度二九分	三四度三五分	吉村正輔
天王寺	攝津國大阪市	南區天王寺	一三五度三一分	三四度三九分	加藤昭純
大阪	大阪市	西區一條通	一三五度二六分	三四度三九分	官立大阪一等測候所
福島	大阪市	北區上福島	一三五度二九分	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	西成郡	新庄村	一三五度三一分	三四度四五分	西田吉治郎
秦野	豐能郡	秦野村	一三五度二六分	三四度四九分	藤重元次郎
妙見山	豐能郡	東鄕村	一三五度二九分	三四度五六分	阪部文二郎
東鄕	豐能郡	東鄕村	一三五度二九分	三四度五七分	笠谷正三郎
天王	豐能郡	根雄村	一三五度二三分	三五度〇二分	大原杢之助
木	三島郡	茨木町	一三五度三四分	三四度四九分	三橋政次郎
水	三島郡	清水村	一三五度三六分	三四度五三分	高崎菊之助
清水	三島郡	清水村	一三五度三六分	三四度五三分	山本義一
枚方	北河內郡	枚方町	一三五度三九分	三四度四九分	家村八五郎
田原	北河內郡	田原村	一三五度四二分	三四度四三分	今井由太郎
八尾	中河內郡	八尾町	一三五度三六分	三四度三八分	水谷芳松
柏原	南河內郡	柏原村	一三五度三七分	三四度三五分	畿內農事試驗支場
富田林	南河內郡	富田林町	一三五度三七分	三四度三〇分	塔本幸大郎
長野	南河內郡	長野町	一三五度三五分	三四度二七分	松本遠水

Monthly Report
of The
Osaka Meteorological Observatory.

February 1917

大阪測候所月報

大正六年二月

第拾八年第二號

目次

○本年二月大阪氣象概況 附圖
○本年二月大阪府管内氣象概況
○本年二月大阪地震觀測概況
○本年二月の暴風概況
○本年二月の寒氣に就て
○大阪の氣候一斑
○大阪市の煤煙
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報通否

大正六年四月二日印刷
仝　年四月五日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

地方天氣豫報暴風警報適否

種類	發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報 風向	三一	二五	六	〇	九〇
天氣豫報 天氣	三一	二五	六	〇	九〇
天氣豫報 溫度	〇	一	一	一	一
暴風警報	〇	一	一	一	一

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡市	町村	緯度東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡	佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	吾妻橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	四區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	仝木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
雜波島	攝津國大阪市	四區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	仝木津川分署雜波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
築港	攝津國大阪市	西區安治川口	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署築港分署
大阪	攝津國大阪市	四區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國四成郡	傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東郷	攝津國豊能郡	東郷村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豊能郡東郷村役場

各地にて觀測したる發震時を見るに東方に早く西方に到るに從ひ漸次遲延せり是等を綜合するに其震源は本州の南東方即ち南洋「マリアナ」群嶋の北東方海底に發したるもの、如し今各所に於て地動計を以て觀測したる發震時及震央地までの距離を列記すれば左の如し

水澤	午前一一時五〇分三四秒	二三九〇粁	
青森	仝 一一時五〇分二五秒	一	
函館	仝 一一時五〇分三九秒	二三三〇粁	
水戸	仝 一一時五一分〇一秒	二四六〇粁	
筑波	仝 一一時五一分一五秒	一	
東京	午前一一時五一分〇二秒	二五九〇粁	
沼津	仝 一一時五一分〇九秒	一	
濱松	仝 一一時五二分〇五秒	一	
名古屋	仝 一一時五一分一八秒	一	
大阪	仝 一一時五一分三八秒	二七一〇粁	
福岡	仝 一一時五二分二三秒	二七四〇粁	
長崎	仝 一一時五二分〇九秒	二八二〇粁	
鹿兒島	仝 一一時五二分二四秒	一	
ジカウエー	仝 一一時五二分五四秒	二九九〇粁	
壓北	仝 一一時五三分三七秒	三二八〇粁	
アシントン(北米)	仝 一一時五七分〇〇秒	八六七〇粁	

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位 二尺一寸九分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位 二尺〇寸四分

一月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	二、一〇	二、一〇	一、二〇	一、二五
二日	二、一〇	二、〇五	一、一五	一、一五
三日	二、〇五	一、九五	一、一〇	一、一〇
四日	一、九五	一、九五	一、一〇	一、一〇
五日	二、一〇	二、〇五	一、一五	一、一五
六日	二、〇五	二、〇五	一、一〇	一、一〇
七日	二、〇五	二、〇五	一、一五	一、一五
八日	二、〇五	二、〇五	一、一五	一、一五
九日	二、〇五	二、〇五	一、一〇	一、一〇
十日	二、〇五	二、〇〇	一、一〇	一、一〇
十一日	一、九五	一、九五	一、一〇	一、一〇
十二日	一、九五	一、九五	一、一〇	一、一〇
十三日	二、〇〇	二、〇〇	一、一〇	一、一〇
十四日	二、〇〇	一、九五	一、一〇	一、一〇
十五日	一、九五	一、九五	一、一〇	一、一〇
十六日	一、九五	一、九五	一、一〇	一、一〇
十七日	一、九五	一、九五	一、一〇	一、一〇
十八日	二、〇〇	一、九五	一、一〇	一、一〇
十九日	二、〇〇	二、〇〇	一、一〇	一、一〇
二十日	二、〇〇	二、〇〇	一、一〇	一、一〇
二十一日	二、〇〇	一、九五	一、一〇	一、一〇
二十二日	一、九五	一、九五	一、一〇	一、一〇
二十三日	一、九五	一、九五	一、一〇	一、一〇
二十四日	一、九五	一、九五	一、一〇	一、一〇
二十五日	一、九五	一、九五	一、一〇	一、一〇
二十六日	一、九五	一、九五	一、一〇	一、一〇
二十七日	一、九五	一、九五	一、一〇	一、一〇
二十八日	一、九五	一、九五	一、一〇	一、一〇
二十九日	一、九五	一、九五	一、一〇	一、一〇
三十日	二、〇五	一、九五	一、一〇	一、一〇
卅一日	一、九五	一、九五	一、一〇	一、一〇

平均水位 廣瀬 一尺九寸八分 大日 一尺二寸五分
最高水位 廣瀬 二尺四寸 大日 一尺六寸
（一日午前六時） （一日午前六時）

ときは高氣壓は支那北部に固疾して倍々增大し氣壓の傾斜愈よ急峻となり爰に西の季節風を吹き起して一秒時間に三十米（一時間に六十七哩）內外の風速となることは珍らしからず夜間最低氣溫は左程下降するに非ざれども日中は飛雪頻に臻りて日射を妨げ强風の誘致する所の雪嵐を降下し氣溫は上昇するを得ず斯くすること數日に亘る時は室の內外に在るを不問此の急速なる寒風が人躰の熱を奪ひ去るを以て非常に寒さを感ず卽ち最近に例を示せば本年一月二日より十一日午前四時迄吹續したる季節風の時にして本府管內にても此の寒風のため蔬菜の枯葉したるもの珍らしからず斯く數日長時間に亘りて强烈風の吹續したるは二日朝八丈嶋附近と敎賀灣附近にありし低氣壓が三日朝には三陸沖にて相合し非常に深厚となり五日朝には遠く北太平洋上に去りしも復々日本海に低氣壓現出して其跡を追ひ斯くすること十日に及び此の間高氣壓は支那北部にありて八日朝より稍々南下し十一日には楊子江より本邦に向ひて發展し來りたれば未曾有の暴威の逞ふしたる强烈風も漸くにして收熄したる次第なり而して其强烈風の吹續したる總時數は暴風概況にもある如く百五十四時間にして本所創立以來の最長暴風たる大正二年の百時間より多きこと五十有四時間に達し實に稀有に屬する現象と云ふべし又其外二十一日より二十四日及二十九日より三十一日に亘りても此の季節風のため寒氣を催ふしたることあれば左に本年一月中の氣溫と風力とを平年に比較し參考に供せんとす

本表は寒中の氣象と暴風概況とにて大要を知悉せらるゝを以て略す編者

●南洋「マリアナ」群島の北東方海底の大震

技手　圓岡平太郎

一月三十日午前十一時過南西諸嶋より本州及北海道に至る各所に於て人身に感覺なく普通地震計に感じたる振動時間長き緩慢なる大震の波動を記錄せり大阪にては普通地震計には感ぜざりしが地動計其他の器械には孰れも顯著なる振幅を現せり之れに依りて調査するに發震時は午前十一時五十一分三十八秒にして初期微動は五分五秒繼續し主要動となり振幅著しく增大せるを以て描針は圓筒外に逸出し最大振幅を知るを得ざりしが之れを推測するに東西動は午後零時分零四十三秒に於て三千八百「ミクロン」以上、南北動は午後零時二分三十三秒に於て四千「ミクロン」以上に達し總振動時間は東西動は四時十五分〇秒、南北動は四時二十一分零秒に亘れり

今此記錄に依りて震央地までの距離を計算するに大阪より二千七百十粁東京帝國大學地震學敎室にて計算せられたるものに依れば東京より二千五百九十粁、陸中の水澤より二千三百九十粁長崎より二千八百二十粁、台北より三千二百八十粁となれり又

又最近六ケ年間寒中の氣象を表記すれば左の如し

年次＼種目	空氣の溫度 平均	最高	最低	最低氣溫零下の日數	日照時數	降水 總量	日數	降雪日數	降霰日數	結霜日數	風 最大強風以上 連度	方向	日數	時數
明治四十四年	四、六	一五、七(一)	三、三	一四	一三六、六	五六、三	一二	三	二	一四	一七、四	西南西	一四	一一五
明治四十五年	四、六	一一、五(一)	二、五	六	一六九、〇	三四、〇	八	五	四	一六	二三、四	西	二〇	一七八
大正元年	三、九	一一、四(一)	三、二	一一	一四四、〇	四〇、九	六	三	四	一九	二一、四	西	一五	一五〇
大正二年	五、〇	一三、九(一)	一、五	八	一六八、二	二六、六	八	八	六	二二	三四、三	西	一四	一二三
大正三年	四、八	一四、七(一)	四、七	九	一五四、二	九四、七	一六	一	二	一九	三〇、四	西	一六	一五五
大正四年	六、四	一九、〇(一)	一、三	五	一七四、六	三、二	三	三	一	一七	二〇、八	西	九	四三
大正五年	三、一	一〇、九(一)	三、一	二〇	一七八、六	一五、一	七	一〇	一	一九	二七、八	西	二三	二四四
大正六年	四、九	一四、四(一)	二、八	九	一五七、八	四二、六	九	四	三	一八	二四、五	西	一五	一二〇

●本年一月の寒氣に就て

技手　芝野彊

例年一二月の候は亞細亞大陸冷却して太氣は濃密となり大高氣壓を生じ北太平洋北部は低壓部となるを以て氣層は西より東に向ひて漸次遞減せるを常とす而して本邦は亞細亞大陸の東方に一葦水を隔てゝ南西より北東に横たはる島嶼なれば氣候は此の大陸の影響を享くること甚大にして特に冬季に於て然りとす冬季本邦に於ける寒氣は一に此の大陸に發生する所の高氣壓の消長によりて左右され故に大陸に大高氣壓の發生頻繁なる年は本邦の寒氣強く高氣壓發生するも其示度比較的高かゝらざる年は寒氣も弱しと云ひ得べし今大阪地方に於ける此の高氣壓と寒氣との關係を調査せんに該高氣壓が支那北部より南下し楊子江附近より本邦に發展し其一部が本邦に達したる頃より寒冷となり高氣壓が本邦全部を掩ひたる時に氣溫は最低に達し非常に冷却して當大阪にても零下七度一に下降したることあり然りと雖も斯る場合には概して風力弱く日中は天氣好晴となるを通例とせば日出前暫時寒氣を訴ふるも間もなく太陽の熱に浴して此の寒氣を忘れ爲めに溫度の上より看れば嚴寒なれども前記の如く時間の短きが故に感覺上は其割合に非ず若し低氣壓が日本海を通過し同東部邊より徐行しオコツク海附近に至る間を數日要する

一月十二日	二、六	二、三	二、一	七、九	一、四	二、一	(一)	一、九	三、二	三、一	八、四	▲二、三	▲三、四	—	—
仝十三日	二、一	一、二	三、九	五、八	二、三	五、四	(一)	二、二	一、九	二、六	—	七、二	七、〇	〇、〇	—
仝十四日	四、二	▲〇、三	二、〇	一〇、二	▲三、三	一、一	(一)	一、六	一、七	二、一	五、一	一、三	一、九	—	—
仝十五日	四、八	▲〇、七	一、六	九、五	▲一、三	一、四		一、二	▲〇、九	▲〇、二	五、四	〇、五	▲三、〇	〇、〇	—
仝十六日	一、九	二、二	二、八	八、〇	▲〇、三	一、〇	(一)	二、二	三、五	四、六	八、二	▲二、九	▲一、四	—	〇、一
仝十七日	五、九	〇、二	▲〇、二	一〇、四	▲二、七	▲四、三	(一)	二、二	三、一	三、四	六、九	▲一、八	▲五、一	—	〇、〇
仝十八日	七、二	▲二、五	▲〇、七	九、四	▲〇、四	一、一		四、七	▲三、五	▲三、四	二、六	三、〇	二、九	一三、三	—
仝十九日	六、〇	▲一、六	一、四	九、二	▲〇、三	二、九		二、三	▲一、五	一、〇	九、〇	▲四、一	▲四、五	—	—
仝二十日	五、六	▲〇、六	〇、五	一〇、九	▲一、〇	一、八	(一)	〇、二	一、〇	〇、五	三、三	〇、七	三、六	〇、〇	—
仝廿一日	三、八	一、八	三、六	八、三	二、六	六、四	(一)	一、七	二、五	二、六	六、七	▲〇、九	〇、六	〇、〇	—
仝廿二日	一、〇	六、三	一二、五	三、六	七、七	一五、四	(一)	一、八	五、五	九、五	八、四	▲三、八	〇、一	—	—
仝廿三日	三、三	二、〇	六、四	七、〇	二、一	四、九		〇、八	一、〇	六、九	六、七	▲一、八	六、七	〇、〇	二、五
仝廿四日	二、六	一、〇	二、二	五、六	二、一	二、三	(一)	〇、三	〇、五	三、三	七、五	▲一、七	一、〇	〇、〇	—
仝廿五日	四、五	▲〇、七	▲〇、二	九、七	▲一、〇	〇、一		〇、一	▲〇、八	▲一、四	八、六	▲二、五	▲〇、四	—	—
仝廿六日	二、八	一、〇	二、四	六、四	二、〇	四、八	(一)	〇、三	▲〇、五	▲〇、三	—	六、四	七、八	〇、〇	—
仝廿七日	四、五	〇、八	三、三	九、七	▲〇、七	三、四	(一)	一、四	三、〇	四、一	七、九	▲三、七	▲〇、七	—	—
仝廿八日	三、二	二、八	三、七	六、八	三、五	三、八		〇、七	一、〇	一、二	二、四	二、七	六、二	—	—
仝廿九日	二、七	三、七	三、九	六、七	三、〇	五、〇	(一)	一、七	三、七	三、七	五、七	▲一、〇	〇、九	〇、四	—
仝三十日	二、八	一、八	二、一	六、九	二、〇	三、七		〇、三	〇、五	▲〇、四	八、三	—	▲〇、二	—	—
仝卅一日	一、九	三、〇	二、八	四、八	四、五	六、三	(一)	〇、九	一、六	〇、三	六、三	▲二、四	▲一、四	一、一	—
二月一日	二、五	三、〇	三、五	六、五	二、八	五、二	(一)	二、二	四、一	四、一	八、三	▲三、八	▲三、五	—	—
仝二日	二、一	三、二	三、七	六、一	三、二	六、一		〇、七	一、三	▲〇、五	〇、七	三、〇	七、一	〇、一	—
仝三日	二、六	二、九	三、六	八、二	一、五	四、七	(一)	一、〇	二、八	一、七	五、三	一、〇	三、四	〇、〇	—
仝四日	二、一	三、四	四、四	七、五	二、〇	四、五	(一)	二、六	四、六	五、三	八、一	▲一、三	▲〇、三	〇、〇	—
平均又ハ合計	五、一	一、八	五、五	七、四	一、七	四、一	(一)	〇、六	一、七	二、四	一六、六	▲二〇、八	▲四、〇	一五、一	五、三

子江下流にありて七百七十二粍を示し東方に擴張し來りし爲め本邦にては西乃至北西の強烈風吹き起れり

大阪にては二十一日午後二時より西の強風吹き起り二十四日午前六時最も強く毎秒速度十八米五の烈風に達し二十四日午前十時まで吹き續けり其時數は五十四時にして內強風四十五時烈風九時なり

(四)一月二十八日より二月二日に至る暴風　二十八日朝房總沖にありし低氣壓は北東に進み二十九日東海岸遙の沖に去りて七百五十二粍を示せり當時高氣壓は支那北部より揚子江下流に亘りて七百七十二粍を示し東方に擴張し來れり此れが爲め本邦にては西乃至北西の強烈風を起せり

大阪にては二十九日午前八時過より風力次第に加はり同十一時より強風となり二十九日午後四時最も強く毎秒速度十七米九に達し斷續して二月二日午前十時まで吹き續けり其時數は七十五時にして內強風六十七時烈風八時なり

●寒中の氣象概況

技手　山田顯吉

本年の寒中は一月六日より二月四日に至る三十日間にして其期間の氣象を概記するに氣溫の平均は三度一にして平年より一度八低く最高氣溫の平均は七度四にして平年より一度七低く其高極は十度九にして平年より三度五低く最低氣溫の平均は零下零度六にして平年より一度七低く其低極は零下三度一にして平年より零度三低し而して日照時數は平年より多く降雨は少し又強風以上の吹きたる日數は多く其吹續時間も頗る長かりし

今左に日々の氣溫、日照時數を平年及昨年に比し併せて昨今兩年の降水量を列記し其詳細を示さんとす

月日	種目	空氣の溫度 平均 本年	平年より	昨年より	最高 本年	平年より	昨年より	最低 本年	平年より	昨年より	日照時數 本年	平年より	昨年より	降水量 本年	平年より	昨年より
一月六日		四、〇	▲ 〇、八	▲ 〇、三	七、五	▲ 一、七	▲ 〇、三	〇、七	▲ 〇、五	▲ 一、〇	八、八	▲ 三、四	▲ 七、三			
仝七日		四、五	▲ 〇、三	▲ 〇、一	七、〇	〇、六	二、五	二、七	▲ 一、四	▲ 二、二	四、三	〇、三	二、六			
仝八日		一、二	三、三	五、六	五、五	二、八	七、六 (一)	一、八	二、九	二、八	七、二	▲ 三、四	四、五	〇、一	〇、一	〇、〇
仝九日		〇、七	四、六	一、二	四、六	四、四	九、七 (一)	二、〇	三、三	八、三	六、六	▲ 二、三	六、二	二、一	〇、八	二、一
仝十日		二、〇	五、〇	二、三	五、九	四、〇	八、一 (一)	一、八	三、三	七、二	五、八	▲ 二、三	一、三	〇、一	—	〇、一
仝十一日		一、六	四、二		六、〇	四、三	四、二 (一)	三、一	五、五	五、五	六、三	▲ 二、二	▲ 一、九	—	—	—

一月十日																								
午前六時	七五五、九	(一)	一、七	北東	一、六		曇	一月十日	午後六時	七五四、四		一、〇	西	一三、八		快晴
全七時	七五五、八	(一)	〇、九	北東	〇、八	〇、〇	雪	全	全七時	七五七、七		〇、四	西	一五、八		快晴
全八時	七五五、九	(一)	〇、五	東南東	〇、九	〇、一	雪	全	全八時	七五七、九		〇、一	西	一七、二		快晴
全九時	七五六、三		〇、二	南南東	〇、九	〇、〇	雪	全	全九時	七五八、二	(一)	〇、三	西	一六、二		快晴
全十時	七五六、四		二、六	西	七、九	〇、〇	晴	全	全十時	七五八、五	(一)	〇、七	西	一五、四		快晴
全十一時	七五六、三		五、〇	西	九、六		晴	全	全十一時	七五八、六	(一)	〇、九	西	一四、八		快晴
正午	七五五、八		五、六	西	一六、三		晴	全	午前一時	七五九、〇	(一)	一、一	西	九、八		快晴
午後一時	七五五、六		四、九	西	一五、〇		晴	一月十一日	夜半	七五八、八	(一)	一、一	西	九、八		快晴
全二時	七五六、〇		四、五	西	一七、七		快晴	全	全二時	七五九、一	(一)	〇、九	西北西	三、九		曇
全三時	七五五、九		四、六	西	一七、六		晴	全	全三時	七五九、二	(一)	〇、七	西	二、九		曇
全四時	七五六、四		三、一	西	一八、五		晴	全	全四時	七五八、八	(一)	〇、七	西	一四、〇		曇
全五時	七五七、二		一、七	西	一五、九		快晴	全	全五時	七五七、三	(一)	二、二	北	七、九		曇

(二)一月十八日より十九日に至る暴風　一月十六日支那北部に現はれたる低氣壓は南東に進み十七日遼東半嶋を掠め朝鮮中部を橫斷し東北東に轉向して日本海に入れり又沖繩嶋附近より來りし低氣壓は紀伊半嶋に到れり此れが爲め內海以東本州中部までは概ね降雨となれり而して日本海中部にありし低氣壓は北東に進み著しく發達し津輕海峽を通過し十九日朝根室の東方に到りたる時は其中心示度は七百二十五粍以下に降り當時高氣壓は楊子江附近にありて七百七十二粍を示し東方に發展し來りしが爲め西乃至北西の強烈風を起し爲めに北海道及び本州北部に亘り烈しき風雪起り鐵道、電線等の被害尠からず交通一時杜絶し多大なる災害を被たる所ありたりと云ふ又相川にては十八日午後九時三十分風速度二十五米六瞬都にては二十六米二紗那は三十七米二に達せり

大阪にては十八日午前九時過より風力次第に增勢し同十一時より西の強風吹き起り午後一時及七時最も強く每秒速度十八米八の烈風に達し尙吹續して十九日午後二時に及べり其時數は二十五時にして內強風十七時烈風八時なり

(三)一月二十一日より二十四日に至る暴風　二十一日日本海中部に現はれたる低氣壓は北東に進行して北海道を橫斷し二十二日朝オホック海に到り七百四十八粍に下降せり當時高氣壓は楊

一月八日	午前四時	七六一、九	四、三	西南西	一八、〇	〇、一	霧
仝	仝五時	七六一、五	三、八	西	一九、五	〇、〇	曇
仝	仝六時	七六一、八	三、七	西	二七、五	—	曇
仝	仝七時	七六二、七	一、九	西	一九、八	—	晴
仝	仝八時	七六三、〇	一、九	西	二七、八	—	曇
仝	仝九時	七六三、六	一、六	西	二〇、八	—	晴
仝	仝十時	七六五、〇	〇、九	西	三、八	—	晴
仝	仝十一時	七六五、三	〇、八	西	一八、九	—	晴
仝	正午	七六四、九	一、	西	一九、〇	—	晴
仝	午後一時	七六五、一	〇、四	西	一三、三	—	晴
仝	仝二時	七六五、五	一、〇	西	一六、一	—	晴
仝	仝三時	七六五、六	〇、七	西	一六、五	—	快晴
仝	仝四時	七六五、八	〇、五	西	一六、〇	—	快晴
仝	仝五時	七六六、一	(-)〇、四	西	一五、一	—	快晴
仝	仝六時	七六六、六	(-)〇、五	西	一九、二	—	快晴
仝	仝七時	七六七、〇	(-)〇、八	西	一九、五	—	快晴
仝	仝八時	七六七、七	(-)一、二	西	一八、一	—	快晴
仝	仝九時	七六七、九	(-)一、四	西	一七、一	—	快晴
仝	仝十時	七六八、五	(-)一、四	西	一八、五	—	快晴
仝	仝十一時	七六九、〇	(-)一、七	西	一五、八	—	快晴
仝	夜半	七六八、八	(-)一、五	西	一七、〇	—	快晴
一月九日	午前一時	七六九、三	(-)一、八	西	二三、三	—	快晴
仝	仝二時	七六九、八	(-)一、七	西	二四、三	—	快晴
仝	仝三時	七六九、八	(-)一、七	西	三、一	—	快晴
仝	仝四時	七六九、八	(-)一、七	西	三、七	—	快晴

一月九日	午前五時	七六九、八	(-)一、七	西	九、〇	—	快晴
仝	仝六時	七七〇、〇	(-)一、六	西	二、八	—	快晴
仝	仝七時	七七〇、三	(-)一、三	西	九、[illegible]	—	快晴
仝	仝八時	七七〇、八	(-)〇、八	西	一〇、〇	—	快晴
仝	仝九時	七七〇、九	一、一	西	八、〇	—	快晴
仝	仝十時	七七一、〇	一、七	西	九、四	—	快晴
仝	仝十一時	七七〇、七	三、〇	西	一〇、[illegible]		快晴
仝	正午	七七〇、三	三、九	西	九、五		快晴
仝	午後一時	七六九、八	一、九	西	二、四	〇、[illegible]	雪
仝	仝二時	七六九、七	二、九	西南西	八、[illegible]	〇、[illegible]	雪
仝	仝三時	七六九、六	三、九	西南西	一〇、八	〇、[illegible]	快晴
仝	仝四時	七六九、五	三、五	西南西	八、[illegible]	—	晴
仝	仝五時	七六九、七	二、六	西南西	八、七	—	快晴
仝	仝六時	七六九、三	二、〇	南西	五、三	—	快晴
仝	仝七時	七六九、[illegible]	一、〇	南東	四、五	—	晴
仝	仝八時	七六九、〇	〇、四	南東	二、八	—	[illegible]
仝	仝九時	七六九、〇	〇、四	東北東	二、四		曇
仝	仝十時	七六八、七	〇、一	東	二、三	—	晴
仝	仝十一時	七六八、四	〇、〇	東北東	三、[illegible]	—	曇
仝	夜半	七六七、九	(-)〇、二	東北東	二、三	—	晴
一月十日	午前一時	七六七、四	(-)〇、八	北東	二、八		晴
仝	仝二時	七六七、一	(-)〇、九	北東	三、〇	—	晴
仝	仝三時	七六六、八	(-)〇、五	北東	二、六	—	曇
仝	仝四時	七六六、四	(-)一、〇	北東	一、八	—	曇
仝	仝五時	七六六、〇	(-)一、四	北東	二、三	—	快晴

一月六日	午前二時	七六七、七	一、一	西	一一、二	—	快晴
仝	仝 三時	七六七、八	一、〇	西南西	九、八	—	快晴
仝	仝 四時	七六七、八	一、〇	西南西	一一、〇	—	快晴
仝	仝 五時	七六八、一	一、〇	西	一三、八	—	快晴
仝	仝 六時	七六八、一	一、〇	西	一三、五	—	快晴
仝	仝 七時	七六八、六	一、三	西	一三、九	—	快晴
仝	仝 八時	七六八、六	一、八	西北西	一三、八	—	快晴
仝	仝 九時	七六九、二	二、六	西	一三、三	—	快晴
仝	仝 十時	七六九、二	三、八	西	一三、一	—	快晴
仝	仝 十一時	七六八、八	五、二	西	一四、二	—	快晴
仝	正午	七六八、一	五、八	西	一一、三	—	快晴
仝	午後一時	七六七、六	六、八	西	一三、四	—	晴
仝	仝 二時	七六七、五	六、九	西南西	一三、三	—	晴
仝	仝 三時	七六七、五	七、三	西南西	一一、九	—	晴
仝	仝 四時	七六七、六	六、六	西	一四、一	—	晴
仝	仝 五時	七六七、九	六、一	西	一四、四	—	晴
仝	仝 六時	七六七、九	五、九	西	一四、三	—	晴
仝	仝 七時	七六八、二	五、五	西	一三、五	—	晴
仝	仝 八時	七六八、五	五、三	西	一三、六	—	曇
仝	仝 九時	七六八、六	四、九	西	一三、八	—	晴
仝	仝 十時	七六九、〇	四、七	西	一三、三	—	曇
仝	仝 十一時	七六九、〇	四、四	西	九、六	—	晴
仝	夜半	七六八、九	三、九	西	七、七	—	快晴
一月七日	午前一時	七六八、七	四、一	西	九、八	—	晴
仝	仝 二時	七六八、七	三、三	西	六、八	—	晴

一月七日	午前三時	七六八、五	三、二	西	九、六	—	晴
仝	仝 四時	七六八、五	三、〇	西北西	一〇、五	—	晴
仝	仝 五時	七六八、四	二、八	西北西	一一、五	—	曇
仝	仝 六時	七六八、三	三、二	西北西	一〇、三	—	曇
仝	仝 七時	七六八、三	三、二	西北西	九、二	—	曇
仝	仝 八時	七六八、四	三、六	西	八、九	—	曇
仝	仝 九時	七六八、八	四、八	西	一〇、三	—	快晴
仝	仝 十時	七六八、七	六、〇	西	一三、八	—	快晴
仝	仝 十一時	七六八、二	五、八	西	一〇、九	—	曇
仝	正午	七六七、一	五、八	西	九、三	—	曇
仝	午後一時	七六六、六	六、三	西	八、三	—	曇
仝	仝 二時	七六六、一	六、〇	西	九、四	—	曇
仝	仝 三時	七六六、二	五、七	西	九、四	—	曇
仝	仝 四時	七六六、二	五、六	西	一〇、〇	〇、〇	曇
仝	仝 五時	七六六、一	五、三	西	一二、四	—	晴
仝	仝 六時	七六六、四	四、九	西	一三、〇	—	晴
仝	仝 七時	七六六、四	四、六	西	一〇、七	—	晴
仝	仝 八時	七五五、八	四、三	西	八、七	—	晴
仝	仝 九時	七五五、四	四、一	西北西	八、六	—	晴
仝	仝 十時	七六四、[illegible]	四、[illegible]	西	九、七	—	晴
仝	仝 十一時	七六三、九	四、〇	西	七、八	—	晴
仝	夜半	七六三、六	四、〇	西	八、一	—	晴
一月八日	午前一時	七六二、九	五、〇	西南西	一七、〇	〇、〇	雨
仝	仝 二時	七六二、[illegible]	五、[illegible]	西南西	一七、一	〇、〇	曇
仝	仝 三時	七六二、三	四、七	西南西	一〇、八	〇、〇	曇

一月三日	夜半	七五九、九	一、二	西北西	一九、八	—	快晴
一月四日	午前一時	七五九、八	一、三	西	一八、六	—	快晴
仝	仝二時	七五九、五	〇、九	西北西	一七、八	—	快晴
仝	仝三時	七五九、五	〇、五	西北西	二〇、二	—	快晴
仝	仝四時	七五九、六	〇、一	西	一六、九	—	快晴
仝	仝五時	七五九、八	(一)〇、三	西北西	一九、六	—	快晴
仝	仝六時	七六〇、五	(一)〇、九	西北西	一四、七	—	快晴
仝	仝七時	七六一、四	(一)一、三	西北西	一六、〇	—	快晴
仝	仝八時	七六一、七	(一)一、二	西	一九、二	—	快晴
仝	仝九時	七六一、九	(一)〇、五	西	二〇、五	—	快晴
仝	仝十時	七六二、一	(一)〇、三	西	二〇、四	—	快晴
仝	仝十一時	七六一、七	〇、二	西	二〇、二	—	快晴
仝	正午	七六一、四	〇、六	西	一七、六	—	快晴
仝	午後一時	七六〇、七	一、三	西	一七、三	—	快晴
仝	仝二時	七六〇、五	一、八	西	一七、九	—	快晴
仝	仝三時	七六〇、七	一、九	西	一九、四	—	快晴
仝	仝四時	七六一、四	一、九	西	一八、八	—	晴
仝	仝五時	七六二、〇	〇、九	西	二〇、二	—	快晴
仝	仝六時	七六二、三	〇、五	西	二一、六	—	快晴
仝	仝七時	七六二、五	〇、四	西	二〇、八	—	快晴
仝	仝八時	七六二、七	〇、〇	西	二〇、〇	—	快晴
仝	仝九時	七六三、三	(一)〇、三	西	二一、〇	—	快晴
仝	仝十時	七六四、〇	(一)〇、四	西	一四、五	—	快晴
仝	仝十一時	七六四、二	(一)〇、八	西	一四、九	—	快晴
仝	夜半	七六四、三	(一)〇、八	西	一四、〇	—	快晴
一月五日	午前一時	七六四、七	(一)〇、七	西	三、八	—	晴
仝	仝二時	七六五、三	(一)〇、七	西南西	三、六	—	晴
仝	仝三時	七六五、四	(一)〇、七	西南西	一四、五	—	快晴
仝	仝四時	七六五、三	(一)〇、五	西	一六、三	—	快晴
仝	仝五時	七六五、七	(一)〇、六	西	一一、八	—	快晴
仝	仝六時	七六六、三	(一)一、一	西	一二、〇	—	晴
仝	仝七時	七六六、三	(一)一、二	西	一二、三	—	晴
仝	仝八時	七六六、八	一、〇	北	四、六	—	晴
仝	仝九時	七六七、三	〇、九	西	一〇、五	—	晴
仝	仝十時	七六七、三	二、七	西南西	八、〇	—	晴
仝	仝十一時	七六六、九	四、〇	西南西	八、七	—	晴
仝	正午	七六六、三	四、九	西	一二、四	—	晴
仝	午後一時	七六五、七	五、一	西南西	一三、三	—	快晴
仝	仝二時	七六五、七	五、六	西南西	一二、六	—	快晴
仝	仝三時	七六五、八	五、一	西南西	一三、四	—	晴
仝	仝四時	七六五、八	四、八	西	八、二	—	晴
仝	仝五時	七六五、八	四、二	西	九、六	—	晴
仝	仝六時	七六六、〇	三、八	西	七、一	—	快晴
仝	仝七時	七六六、三	三、四	西	五、三	—	快晴
仝	仝八時	七六六、七	二、八	西北西	一二、七	—	快晴
仝	仝九時	七六七、〇	二、三	西北西	一二、八	—	快晴
仝	仝十時	七六七、一	二、〇	西	一三、一	—	快晴
仝	仝十一時	七六七、三	一、六	西	一三、八	—	快晴
仝	夜半	七六七、三	一、六	西	一二、八	—	快晴
一月六日	午前一時	七六七、三	一、四	西	一二、八	—	快晴

八米五に達し十一日午前四時まで強烈風吹き續けり今回の暴風は二日午後一時強風吹き起りてより十一日午前四時まで強烈風斷續し其日數を算ふれば十日に及び其吹續時數は百五十四時なり、當所創立以來の最長たりし大正二年二月七日より同十日に亘りて強烈風百時間吹續したるものに比するも尚五十四時の過剩なり之れが爲め大阪港の荷役は不可能となり貨物の陸上ゲ等に多大の影響を及ぼせしが幸にして多大なる被害はなかりし

詳細は次表に記するが如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	降水量	天氣
一月二日	正午	七五九、三	一一、五	南南西	二、八	—	快晴
仝	午後一時	七五八、七	一一、〇	西南西	一〇、八	—	快晴
仝	仝二時	七五八、三	一一、九	西南西	八、四	—	快晴
仝	仝三時	七五八、四	一〇、九	西南西	九、九	—	晴
仝	仝四時	七五八、四	一〇、一	西	一一、三	—	晴
仝	仝五時	七五八、三	八、七	西	七、九	〇、〇	雨
仝	仝六時	七五八、六	八、七	西	一一、七	〇、〇	曇
仝	仝七時	七五八、九	八、五	西	一八、〇	—	晴
仝	仝八時	七五九、三	七、三	西	一八、三	—	晴
仝	仝九時	七五九、六	六、七	西	一八、七	—	晴
仝	仝十時	七五九、七	六、四	西	二三、六	—	晴
仝	仝十一時	七五九、五	六、〇	西	一九、一	—	晴
仝	夜半	七五九、五	五、五	西	二四、〇	—	晴
一月三日	午前一時	七五九、二	五、二	西	一七、一	—	快晴
仝	仝二時	七五九、三	四、九	西	一八、二	—	快晴
仝	仝三時	七五九、三	四、四	西	一六、七	—	快晴
仝	仝四時	七五九、一	三、九	西	一八、〇	—	晴
仝	仝五時	七五九、二	三、三	西	一七、五	—	快晴

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	降水量	天氣
一月三日	午前六時	七五九、二	三、一	西	一七、一	—	快晴
仝	仝七時	七五九、四	三、一	西	一八、二	—	晴
仝	仝八時	七五九、六	二、八	西	二〇、二	—	快晴
仝	仝九時	七五九、九	三、二	西	二一、六	—	快晴
仝	仝十時	七五九、七	三、七	西北西	二三、八	—	快晴
仝	仝十一時	七五九、一	四、三	西北西	二〇、[illegible]	—	快晴
仝	正午	七五九、二	四、七	西	一五、〇	—	快晴
仝	午後一時	七五八、九	五、八	西	一六、四	—	快晴
仝	仝二時	七五八、七	五、八	西	二〇、五	—	快晴
仝	仝三時	七五八、九	五、九	西	一七、〇	—	快晴
仝	仝四時	七五九、〇	五、二	西	一六、八	—	快晴
仝	仝五時	七五九、七	四、〇	西	一六、三	—	快晴
仝	仝六時	七六〇、二	三、四	西北西	一六、九	—	快晴
仝	仝七時	七六〇、三	二、六	西北西	一六、六	—	快晴
仝	仝八時	七六〇、二	二、三	西北西	一七、九	—	快晴
仝	仝九時	七六〇、四	一、七	西北西	一七、八	—	快晴
仝	仝十時	七六〇、五	一、四	西北西	一六、一	—	快晴
仝	仝十一時	七五九、九	一、二	西	一六、四	—	快晴

北海道方面に大暴風雪を起し風雪の害尠からず電信、電話線の切斷、列車の運轉を中止して交通杜絶し海上にては波浪高く船舶の遭難せしものあり而して高氣壓は概ね支那北部に占據し本邦を壓迫し居りし爲め全國に亘り暴風多かりし大阪にては一月中の暴風時數二百八十六時に達し平年に比すれば百五十五時多く二日午後一時より十一日午前四時に亘りし暴風の如きは吹續時數百五十四時を算し觀測創始以來の新記錄を造れり今其主なるものを擧ぐれば左の如し

(一)一月二日より十一日に至る暴風　一月二日朝若狹灣の北方に在りし低氣壓は北東に進むに從ひ益々發達し本州北部を横斷し三日朝三陸沖に到りて其中心示度は七百四十五粍を示し當時大陸の高氣壓は七百八十粍以上にして支那北部より楊子江下流に擴り漸次東方に發展し來りし爲め氣壓の傾斜急峻となり本邦には西乃至北西の強烈風を起せり大阪にては二日午後一時より俄然西の強風吹き起り午後七時より烈風となり四日午後九時に至る五十一時間中只一回四日午前一時に毎秒速度十四米七の強風を交へしのみにて其他五十時時間は烈風のみ吹續せり其風速度を平均すれば毎秒速度十八米七三にして左のみ強きに非らざるも斯く長時日に亘り烈風のみ吹續したるは當所創立以來未だ曾て見ざる所の現象なりとす而して午後十時より稍衰へ強風となり時々疾風を交へしが七日夜半まで吹き續けり

又七日朝日本海中部に低氣壓現はれ北東に進み著しく發達し八日朝北海道壽都沖に到り其中心示度は七百四十粍以下に降り大陸の高氣壓は今尚七百八十五粍の高度を持續せるを以て氣壓の傾斜は依然急峻にして西乃至北西の暴風を起し此が爲め日本海沿岸、奥羽、北海道等に著しき暴風雪起り壽都にては八日午後六時毎秒速度三十三米六に達し其他秋田、新潟、多度津、潮岬等に於ても亦毎秒速度三十米以上に及び風雪の害を被りたる所あり新潟縣下にては電信電話線切斷して通信不通となり北陸線列車は運轉を中止して交通杜絶したりと云ふ大阪にても八日午前一時より頓に風力加り午前六時には毎秒速度二十七米五の烈風に達し午前零時三十六分より小雨に霰を交へ同二時二十二分より霰のみとなりて斷續し四時二十三分に至りて歇みたれども強烈風は尚吹續せり

九日朝復々日本海中部に低氣壓現れ東北東に進み本州北部を横切り十日朝北海道の東方に到りて七百五十八粍を示し高氣壓は楊子江下流に移り七百七十八粍を示し本邦西部に擴張し來りたれども氣層の傾斜は稍々緩となり大阪にては九日午前五時頃より風力次第に衰へ午後八時に至り軟風となり靜穩に復したりしが十日正午より俄然烈風吹き起り午後四時最も強く毎秒速度十

二十一分零秒に達せり即ち次表に示すが如し

東西動地動計觀測

	發現時	最大振幅	振動期
		(ミクロン)	秒
初期微動 P	一一時五一分三八秒		
初期微動 S	—	—	—
主要動 L	一一時五六分四三秒	—	—
主要動 M_1	一二時〇〇分四三秒	三八〇〇以上	二三、〇
主要動 M_2	仝時一七分三八秒	(十)二九一三	二二、一
終期 F	一六時〇六分三八秒	—	—

南北動地動計觀測

	發現時	最大振幅	振動期
		(ミクロン)	秒
初期微動 P	一一時五一分三八秒		
初期微動 S	—	—	—
主要動 L	一一時五六分四三秒	—	—
主要動 M_1	一二時〇二分三三秒	四〇〇〇以上	二一、六
主要動 M_2	仝時二〇分五八秒	(一)一〇五〇	二〇、二
終期 F	一六時一二分三八秒	—	—

附記　此地震は南洋「マリアナ」群島の北東方海底に發したる大震にして本邦各所の普通地震計に感じたり(別項參照)

一三　一月三十一日午後一時六分四十八秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は六分十五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後一時十三分五十三秒に於て百六十「ミクロン」振動期十三秒○南北動は午後一時十六分三十九秒に於て六百六十「ミクロン」振動期二十四秒○を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時八分九秒、南北動は一時十一分十秒なり

附記　此地震は南洋「ミンダナオ」島の南方に發したるものにして全島の南部は地震を感じたりと云ふ今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を記すれば左の如し

マニラ(比律賓島)	午後一時〇二分一二秒	
臺北	仝	一時〇四分四一秒
長崎	仝	一時〇六分〇六秒
福岡	仝	一時〇六分一四秒
大阪	仝	一時〇六分四八秒
大連	仝	一時〇六分五二秒
水戸	仝	一時〇七分〇七秒
水澤	仝	一時〇七分二〇秒
國館	仝	一時〇八分一〇秒
大泊	仝	一時〇八分四三秒
ワシントン(北米)	仝	一時一五分四三秒

●一月中の暴風概況　技手　大橋龍太郎

本月は低氣壓の日本海方面を通過するもの頗る多く北陸、奥羽

されども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を記すれば左の如し

水澤	午後二時一三分五二秒	
大阪	仝 二時一五分一三秒	
福岡	仝 二時〇八分一八秒	
長崎	仝 二時二三分四三秒	
臺北	仝 二時二八分五三秒	

九　一月二十七日午前十時二十一分十九秒の地震

此地震は微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は東西動は午前十時二十二分九秒に於て四十「ミクロン」振動期三秒四南北動は午前十時二十一分三十九秒に於て二十五「ミクロン」振動期三秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は八分十秒、南北動は七分二十四秒なり

附記　此地震は本州東海岸附近に發したるものにして陸中の水澤にては午前十時二十一分四秒に此地震を觀測せりと云ふ

一〇　一月二十八日午前零時零分十四秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は東西動は午前零時六分十五秒に於て二十五「ミクロン」振動期八秒六、南北動は午前零時四分五十八秒に於て二十三「ミクロン」振動期十二秒〇を現し全振動時間は東西動は二十八分四十一秒南北動は二十六分四十秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども福岡にては午前零時一分二十二秒に此地震を觀測せりと云ふ

一一　一月二十九日午後八時二十七分十八秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し振動の各部判明ならざれども最大振幅は東西動は午後八時二十八分四十四秒に於て七十五「ミクロン」振動期二秒四、南北動は午後八時二十八分三十秒に於て七十四「ミクロン」振動期二秒五を現し後微となり靜止せり全振動時間は八分十五秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

附記　此地震は土佐國の西部に發したるものにして震域東方は神戸附近に南西方は日向の宮崎に北方は日本海沿岸に達し長半徑四十五里短半徑三十里を有し有感強震部は四千二百四十方里にして高知にては弱震を感じたり

一二　一月三十日午前十一時五十一分三十八秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は五分五秒にして主要動に移り振幅著しく增大せるを以て描針圓筒外に逸出し爲めに最大振幅を知るを得ざれども之れを推測するに東西動は午後零時零分四十三秒に於て三千八百「ミクロン」以上南北動は午後零時二分三十三秒に於て四千「ミクロン」以上に達せり而して全振動時間は東西動は四時十五分零秒南北動は四時

此地震は緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は五分三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前十時零分七秒に於て百七十三「ミクロン」振動期は九秒二、南北動は午前九時五十九分四十六秒に於て二百四十八「ミクロン」振動期十一秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は四十四分五十四秒南北動は四十二分四十二秒なり卽ち左表に示すが如し

東西動地動計觀測

發現時	最大振幅（ミクロン）	振動期 秒
初期微動 P 九時五二分〇七秒		
初期微動 S		
主要動 L 九時五七分一〇秒		
主要動 M 一〇時〇〇分〇七秒	（一）一七三	九、二
終期 F 仝 三七分二三秒		

南北動地動計觀測

發現時	最大振幅（ミクロン）	振動期 秒
初期微動 P 九時五二分〇七秒		
初期微動 S		
主要動 L 九時五七分一〇秒		
主要動 M 九時五九分四六秒	（一）二四八	一一、〇
終期 F 一〇時三七分一一秒		

附記　此地震は支那漢口北方に發したるものにして南京、安慶、南昌、杭州、武昌、漢口、鎭江、蕪湖各地に於て地震を感じ就中漢口にては震動强く櫃突の倒るゝものなどあり同地は由來殆ど地震なき土地とて住民大に恐怖し色を失へりと云ふ今各所にて地動計を以て觀測したる發震時及初期微動の繼續時間を記すれば左の如し

臺北	午前九時五一分五〇秒	〇分五三秒	
大連	仝 九時五〇分〇六秒	二分二八秒	
長崎	仝 九時五〇分二五秒	四分二五秒	
福岡	仝 九時五二分〇三秒	三分四二秒	
大阪	仝 九時五二分〇七秒	五分〇三秒	
東京	仝 九時五二分四五秒	五分五三秒	
水澤	仝 九時五三分四七秒	七分〇六秒	

八　一月二十六日午後二時十五分十三秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は四分九秒、第二は四分二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後二時二十七分五秒に於て二十五「ミクロン」振動期十九秒二、南北動は午後二時二十六分二秒に於て七十五「ミクロン」振動期二十一秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時二十四分四十四秒、南北動は一時十二分四十三秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳なら

北動は二十一分四十秒なり

附記　此地震は磐城沖に發したるものにして震域北方は青森に南方は東京灣に達し南西方は駿河の沼津附近に亘り長半徑八十里短半徑五十里を有し弱震部は六千五十方里有感覺微震部は一萬三千五百七十方里にして東海岸一帶に微震を感じたり

四　一月二十日午後六時十八分三十六秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は（南北動）午後六時二十分五十一秒に於て二十「ミクロン」振動期五秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は十三分二十四秒なり

附記　此地震は奄美大島附近に發したるものにして名瀨にては性質急なる弱震を感じ地鳴ありたり

五　一月二十一日午前二時四十分四十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前二時四十二分二十一秒に於て四十「ミクロン」振動期三秒八、南北動は午前二時四十二分二十三秒に於て七十三「ミクロン」振動期四秒三を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十二分四十二秒南北動は十四分四十四秒なり

附記　此地震は磐城沖に發したるものにして震域北方は青森に南方は東京附近に達し南西方は駿河の沼津及名古屋附近に及び長半徑七十里短半徑五十里を有し弱震部は六千九百十方里有感覺微震部は一萬一千方里に亘り水戸、筑波、石巻、福島、銚子、横濱、宇都宮等にては微震を感じたり

六　一月二十一日午前八時二十分十九秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は六分四十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前八時二十七分二十秒に於て百四十六「ミクロン」振動期七秒二、南北動は午前八時二十七分二十四秒に於て百四十八「ミクロン」振動期七秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時十五分二十秒南北動は一時十六分十秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

臺北		午前八時一八分二八秒
長崎		仝　八時一九分四六秒
福岡		仝　八時一九分五七秒
大阪		仝　八時二〇分一九秒
水戸		仝　八時二〇分四四秒
水澤		仝　八時二一分〇〇秒
國館		仝　八時二一分四六秒

七　一月二十四日午前九時五十二分七秒の地震

地震は六回にして就中顯著なるものは一月三十日南洋「マリアナ」群嶋の北東方海底に發したる大震にして之れに亞ぐは同三十一日南洋「ミンダナオ」嶋の南方同五日支那漢口北方に發したるものにして其他は未だ震源詳ならず今其觀測概況を列記すれば左の如し

一　一月五日午前一時五十四分五十八秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は三分四十一秒にして主要動となり最大振幅（南北動）は午前二時四分二十秒に於て百二十五「ミクロン」振動期十二秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は四十三分五十一秒なり

附記　此地震は臺灣南投に發したるものにして昨年十一月十五日臺中附近の地震に比すれば振幅は殆ど相伯仲すれども仝八月二十八日南投附近の地震に比すれば振幅は約三分の一に過ざれども震央地附近即ち埔里社地方にありては被害著しく死者五十名重輕傷八十名、家屋の全壞一一七戸、半壞二七五戸、破損一六一七戸に達したりと云ふ今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を記すれば左の如し

臺中	午前一時四九分五〇秒	
臺北	仝　一時五〇分〇九秒	
臺南	仝　一時五〇分二〇秒	
石垣島	仝　一時五一分三〇秒	
長崎	仝　一時五二分五八秒	
鹿兒島	仝　一時五三分〇〇秒	
福岡	仝　一時五三分二四秒	
大連	仝　一時五四分三一秒	
大阪	仝　一時五四分五八秒	
水澤	仝　一時五五分〇〇秒	

二　一月六日午後十一時十五分五十七秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分七秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後十一時十六分三十五秒に於て三十七「ミクロン」振動期一秒六、南北動は午後十一時十六分三十八秒に於て四十「ミクロン」振動期一秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は五分四十六秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

附記　此地震は淡路北部に發したるものにして神戸にては性質急なる微震を感じたり

三　一月十七日午前八時三十一分十八秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前八時三十二分二十秒に於て九十八「ミクロン」振動期二秒八、南北動は午前八時三十三分十八秒に於て百六十八「ミクロン」振動期五秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十二分五十一秒、南

管內天氣摘要

●一日概ね曇天所々に雨降れり●二日概ね晴天堺、大阪に強風吹けり●三日概ね晴天所々に強風吹けり●四日概ね晴天所々に強風吹き新庄、八尾に霜あり●五日概ね晴天深日、大阪、八尾に強風吹き新庄、東郷、柏原、富田林に雪あり●六日概ね晴天深日、大阪、八尾に強風吹き東郷、田原、八尾に霜あり●七日概ね晴天大阪、八尾に強風吹き新庄、東郷に霜あり●八日晴曇相半し所々に強風吹き雪降れり●九日概ね晴天堺、大阪に強風吹き所々に雪降れり●十日晴曇相半し深日、大阪、柏原に強風吹き所々に雪降れり●十一日概ね晴天深日、大阪に強風吹き東郷、天王に雪降れり●十二日概ね晴天所々に霜あり●十三日概ね曇天所々に微雨あり●十四日晴曇相半し平坦部及沿海部地方に濃霧あり●十五日晴曇相半し深日、大阪に強風吹き清水に雪あり●十六日概ね晴天新庄、天王に雪降り所々に霜あり●十七日概ね晴天所々に霜あり●十八日未明より雨降り午前歇む大阪、長野に強風吹けり●十九日概ね晴天大阪、八尾に強風吹き天王に雪降れり●二十日概ね晴天堺、大阪、秦野、東郷に微雨所々に霜あり●二十一日概ね晴天上之郷、堺、東郷、清水に雪降れり●二十二日概ね晴天深日、大阪、茨木に強風吹き天王に雪降れり●二十三日概ね晴天大阪に強風吹き所々に雪降れり●二十四日概ね晴天大阪、八尾に強風吹き所々に雪降れり●二十五日概ね晴天大阪に強風吹き天王に雪降れり●二十六日概ね曇天々王に雪降れり●二十七日概ね晴天大阪に強風吹き天王に雪降れり●二十八日晴曇相半し所々に霜あり●二十九日晴曇相半し所々に雪降れり●三十日概ね晴天所々に強風吹き天王に雪降れり●三十一日晴曇相半し大阪に強風吹き所々に雪降れり

大阪地震觀測概況

爰に記する所のものは主として大森式地動計（東西及南北動二十倍）を以て觀測したるものを記し、極微なる地震にありては百廿倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如しPは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動全上、Lは長波即ち主要部全上、Mは主要部の最大動、Cは終期の最大動、Fは振動の終とす又十は南北動にありては北、東西動にありては東、（一）は南北動にありては南、東西動にありては西なり振幅は「ミクロン」（粍の千分一）を以て記す

本月中に地震を觀測したる數は十三回にして人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感じたるものも亦た一回もなかりしが無感覺地震にして地動計又は微動計に感じ其震源本邦内にありたるものは七回卽ち豐後沖三回、淡路北部、土佐國西部、奄美大島附近台灣南投各一回なり又遠距離

八日	九日	十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	卅一日	全月
—	—	—	—	—	—	一、八	—	—	一七、二	—	—	—	—	一、一	〇、三	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	二〇、四
〇、〇	〇、〇	—	—	—	〇、〇	—	—	—	一八、〇	—	—	—	〇、〇	一、〇	一、〇	—	—	—	—	〇、〇	〇、五	—	一、〇	三三、〇
—	〇、三	—	—	—	〇、二	—	—	—	五、〇	—	—	—	—	二、二	〇、〇	—	—	—	—	—	〇、〇	—	〇、八	一九、五
〇、〇	一、一	—	—	—	〇、〇	—	—	—	三、七	—	—	—	—	一、四	—	—	—	—	—	—	〇、〇	一、六	—	一八、五
〇、一	—	—	—	—	—	—	—	—	三、二	—	—	一、五	〇、五	〇、八	—	—	—	—	—	—	〇、四	〇、六	—	一七、五
—	〇、四	—	—	—	—	—	—	—	三、三	—	—	〇、二	〇、〇	〇、二	—	—	—	—	—	—	〇、〇	〇、〇	—	一五、九
—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	一五、〇	一、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	一、〇	—	一七、八
—	〇、〇	—	—	〇、〇	〇、〇	〇、〇	—	—	三、三	—	—	〇、〇	〇、〇	〇、〇	—	〇、〇	—	〇、〇	—	—	〇、三	一、一	—	一五、三
—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	三、七	—	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	〇、〇	〇、〇	〇、〇	—	一六、八
—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	〇、〇	三、四	〇、〇	—	—	—	〇、二	〇、四	〇、〇	—	—	—	—	〇、〇	—	—	一五、〇
—	—	—	—	—	—	—	—	—	一八、八	〇、二	—	〇、三	—	—	—	〇、八	—	—	—	—	—	—	〇、二	二〇、三
—	—	—	—	—	〇、一	—	—	—	一三、〇	—	—	—	—	—	七、〇	五、〇	—	—	—	—	一、二	—	—	二六、三
—	〇、〇	〇、〇	〇、四	〇、〇	—	—	—	—	九、〇	—	—	〇、三	〇、〇	—	六、一	〇、九	—	—	—	—	—	—	—	一六、七
—	—	〇、四	一、二	—	一、二	—	〇、四	—	九、三	〇、二	—	—	〇、二	—	七、五	四、七	〇、九	—	〇、五	—	一、〇	—	〇、四	二七、九
—	—	—	—	—	—	—	—	—	三、〇	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	〇、〇	—	—	〇、〇	—	—	三、五
—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	—	三、四	—	—	—	〇、〇	—	三、四	〇、〇	—	—	—	—	〇、〇	—	—	一六、八
—	—	—	—	—	—	—	—	—	三、五	—	—	—	—	—	—	〇、五	—	—	—	—	—	—	—	一五、八
二、五	—	—	—	—	—	—	—	—	二、〇	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	〇、四	—	一三、九
—	—	—	—	—	—	—	—	—	三、五	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	〇、〇	〇、〇	—	一三、五
〇、二	—	—	—	〇、三	—	〇、四	二、〇	—	九、六	—	—	—	—	—	一、二	—	—	—	—	—	〇、一	〇、二	〇、一	一三、六
—	二、五	—	—	—	〇、五	—	—	—	九、五	〇、〇	—	—	—	—	三、〇	—	—	—	—	—	—	〇、〇	一、〇	二一、四
—	二、七	〇、八	—	—	一、六	—	四、九	—	一〇、八	—	—	—	—	三、〇	三、〇	〇、〇	—	—	—	—	—	〇、〇	一、〇	三三、三

福島	新庄	秦野	妙見山	東郷	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
七、四(一)	七、〇(一)	七、五(一)	一、三(一)	五、二(一)	三、〇(一)	七、四(一)	七、二(一)	七、九(一)	七、三(一)	八、一(一)	七、六(一)	七、三(一)	六、六(一)
〇、八	一、四	二、四	六、五(一)	四、七	六、三(一)	一、七	一、一	一、四	一、七	一、三	〇、六	一、三	一、二
三、[illegible]	二、八	二、六	二、六	〇、三	一、六	二、八	二、[illegible]	一、二	一、八	三、四	三、五	二、〇	二、七
一、八	二、二	二、一	五、三	六、一	五、〇	一、九	二、二	一、八	一、八	一、六	一、二	一、七	一、三
二、八	〇、七	一、五	六、六	九、八	七、五	二、五	二、四	三、〇	三、五	三、六	三、〇	二、六	二、五
二(一)	二(一)	一七 二(一)	一七(一)	一七(一)	一七(一)	一(一)	二(一)	一七(一)	七(一)	二〇(一)	二二(一)	二〇(一)	二〇(一)
四、四	五、三	六、四	三、六	九、七	一三、〇	五、三	七、六	四、〇	八、七	四、〇	四、三	四、五	四、四
二	一九	三 一七	九	九	九	三 九	九	三	八	一七 一〇	一七	三 一七	一七
一六、八	一三、〇	一〇、三	二六、三	一六、七	二七、九	一三、五	一八、八	一三、八	一三、九	一三、五	一五、三	二一、四	二五、三
二八、二	四〇、五	三一、五	三四、〇	四五、二	五五、一	四七、〇	五一、四	四二、二	五一、五	四〇、八	三八、六	三〇、八	九、七
一三、七	一三、四	一八、八	一三、〇	九、〇	九、三	一三、〇	一三、四	一三、五	一二、〇	一三、五	九、六	九、五	一〇、八
一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
四、四	三、七	三、九	(一)一、八	二、三	〇、五	三、九	三、八	四、〇	四、一	三、七	二、八	四、三	三、八
七二	六四	七〇	七六	五九	八三	七二	六七	六三	六八	七六	八五	六六	六八
四、二	六、七	四、三	三、四	三、五	四、六	三、二	四、六	三、五	四、五	三、八	五、〇	五、七	五、〇
北西	南	西	北西	西	西	西	北	南	西	南西	北西	西	西
三	三	五	四	五	一三	三	二	三	三	三	二	八	一〇
五	八	三	三	五	一一	三	五	一	[illegible]	四	六	七	七
〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
七	一〇	〇	〇	一一	〇	六	〇	〇	一六	一八	三	六	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一四	[illegible]	一四	一八	八	四	九	一	七	九	一八	三	九	九
七	六	一	九	四	九	八	七	六	八	八	一〇	一五	八
五	[illegible]	一	〇	[illegible]	〇	二	一	二	〇	九	[illegible]	二	二

第四表 管內降水日量

一月	一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日
深日	—	—	—	—	—	—	—
上之鄉	一、五	—	—	—	—	—	—
岸和田	一、〇	—	—	—	—	—	—
長承寺	〇、七	—	—	—	—	—	—
濱寺	〇、三	—	—	—	—	—	〇、一
堺	〇、八	—	—	—	—	—	〇、〇
天王寺	〇、七	—	—	—	—	—	〇、一
大阪	〇、三	〇、〇	—	—	—	—	〇、三
福島	二、三	—	—	—	—	—	〇、八
新庄	—	—	—	—	〇、〇	—	〇、〇
秦野	—	—	—	—	—	—	〇、〇
妙見山	—	—	—	—	—	—	—
東鄉	—	—	—	〇、〇	—	—	—
天王	—	—	—	—	—	—	—
茨木	〇、五	—	—	—	—	—	—
清水	—	—	—	—	—	—	—
枚方	—	—	—	—	—	—	—
田原	—	—	—	—	—	—	—
八尾	?	—	—	—	—	—	—
柏原	〇、七	—	—	—	—	〇、五	—
富田林	一、二	〇、九	—	—	〇、〇	—	二、八
長野	二、五	—	—	—	—	—	五、〇

度七、東部田原の寄下八度七之れに亞き其他の山間部は零下六度乃至零下五度、平坦及沿海部地方は零下四度乃至零下三度を示せり之れを要するに本月の氣溫は最高十三度四より最低零下十二度六の間にありて其較差は二十六度()に達せり

降水　總量は東部長野の三十五粍三より西部茨木の十二粍五の間にありて之れを平年に比すれば著しく少なく三分の一乃至四分の一に過ぎず而して日量の最多は十八日午前の降雨の際にありて其最も多きは北部秦野の十八粍八にして南部上之郷の十八粍()同深日の十七粍二之れに亞き其他は十五粍より九粍の間にあり

第三表　管內全月氣象觀測成績

（表中▲印は高又は多）

觀測所	氣溫					降水			氣壓（柏原八〇〇粍以下）		天氣日數					風			雷雨	天氣概評
	平均	平均最高	平均最低	最高	起日	最低	起日	總量	最多日量	起日	平年比較	氣溫	濕度	雲量	最多風向	降水日數	雪	霜	雹	快晴	曇	暴風
深日	八、三	一三、五	四、九	一一	一	二五、三	一三	三五、三	一七、三	一八	一、一	一、一	一、一	一、一	北西	四	一	一	一	三	一	一
上之郷	六、八	一三、一	三、四	一一	一	二五、〇	一三	一八、〇	一七、〇	一八	一、一	一、一	一、一	一、一	北西	一四	一	一	一	八	一	一
岸和田	七、一	一三、五	二、三	一一	一	二五、〇	一三	一二、五	一七、〇	一八	一、一	一、一	一、一	一、一	西	一四	一	一	一	八	一	一
長水寺	六、八	一三、〇	二、九	一一	一	二五、〇	一三	一二、五	一七、〇	一八	一、一	一、一	一、一	一、一	西	一四	一	一	一	八	一	一
濱寺	七、一	一三、一	三、四	一一	一	二五、〇	一三	一二、五	一七、〇	一八	一、一	一、一	一、一	一、一	西	一四	一	一	一	八	一	一
堺	七、五	一三、一	三、八	一一	一	二五、〇	一三	一二、五	一七、〇	一八	一、一	一、一	一、一	一、一	北西	一四	一	一	一	八	一	一
天王寺	六、九	一三、二	三、二	一一	一	二五、八	一三	一二、五	一七、〇	一八	一、一	一、一	一、一	一、一	西北西	一四	一	一	一	八	一	一
大阪	七、二	一三、七	三、七	一一	一	二五、二	一三	一二、五	一七、〇	一八	一、一	一、一	一、一	一、一	西北西	一四	一	一	一	八	一	一

三十日	一、二	三、六	四、六	五、四	七、六	(一)	三、三
卅一日	〇、七	三、三	四、三	五、三	七、五	(一)	四、四
全月	二、〇	四、一	五、〇	五、九	八、三	(一)	四、五

午前一時より四時全九時より夜半迄強風吹けり
午前四時五十五分より小雪斷續(積雪〇、六糎)し全九時五十三分歇む、午前十一時より午後十一時迄強風吹けり

大阪府管内氣象概況

前既に詳記せるが如く一月は西乃至北西の風卓越し好晴の天氣を持續すること稍々多しと雖も時々驟雨又は雪霰を飛し氣温も亦此の風に支配せられ著しく低下して往々年中の最低を示すことあり而して本年一月の氣候を調査するに二日は著しく温暖にして月中の最高温度を現したる所多かりしも同日午後より西の季節風吹き起り連日寒風吹き荒み熄むときを知らず殆んど十一日迄吹續したれば氣温は頗る低下し九日最も低く北部妙見山は零下十二度六同天王は零下十二度〇に下降し兩所觀測創始以來一月に於ける最低度は明治四十五年の零下十度四なれば本年は之れを凌ぐこと實に二度二にして即ち新記錄を作りたるものなり而して爾後二十日頃迄は暖寒交々來り廿一日よりは復々西の强烈風吹き起り二十五日迄繼續したるを以て寒氣增進し飛雪紛々として其跡を衝き北部天王の如きは積雪六寸五分に達し氣温は三十日に於て第二の最低零下十一度〇を示し以て翌月に入れり又降水量は前記の如く寒氣熾烈なりしため十八日午前に降雨ありしのみ他は概ね雪量なりしかば其量極めて少なく平年の三分一乃至四分一に過ぎず要するに本年一月の氣候は寒氣强く晴燥寡雨に經過したるものなり更に氣温、降水量等に就き詳記すれば左の如し

氣温

平均は南部深日の四度九より北部妙見山の零下二度六の間にありて之れを平年に比すれば一般に低く特に北部の山間に於て著しく三度以上の過低を示せり而して最高は其起日區々なりしも二日及中旬の末に現はれ南部深日の十三度四を高極とし其他は十二度乃至十一度にして北部の山間は七度乃至六度に止まれり又最低は其起日區々にして九日及十七日に現はれたるもの最も多く北部妙見山の零下十二度六同天王の零下十二度〇を低極とし東郷の零下九

五日	〇、四	三、一	四、六	六、一	九、三	(一)三、九	午前一時より仝七時、九時、正午より午後三時、仝八時より夜半迄強風吹けり
六日	一、八	三、七	四、七	五、九	九、一	(一)二、九	午前一時より二時仝四時より午後十時迄強風吹けり
七日	二、〇	四、四	五、三	六、二	八、九	(一)一、二	午前四時より六時仝九時より十一時、午後四時より七時迄強風吹けり、午後三時四十五分より三時五十七分迄雨雪あり
八日	〇、八	三、九	五、一	六、二	八、八	(一)五、〇	午前零時三十六分より降雨霰を交へ斷續して仝四時二十三分歇む、終日強風吹けり
九日	(一)〇、一	二、七	四、三	五、七	八、六	(一)五、三	午前一時より四時、六時、八時、十一時、午後一時、三時強風吹けり午後零時四十六分より仝二時二十九分迄小雪、夜微霜あり
十日	〇、八	三、〇	四、一	五、四	八、四	(一)五、三	朝微霜あり、午前六時十五分より小雪斷續し仝九時十分歇む正午より午後十一時迄強風吹けり
十一日	一、〇	二、九	四、一	五、三	八、三	(一)六、九	午前一時より仝四時迄強風吹けり
十二日	二、〇	三、五	四、四	五、四	八、一	(一)八、〇	朝微霜あり、午前四時五十五分より八時三十五分迄薄霧あり、夜霜あり
十三日	〇、三	三、一	四、三	五、三	八、〇	(一)六、〇	朝霜多し、午前九時五十五分より微雪斷續し午後一時五十分歇む、夜霜あり、午後十一時四十分より霧あり翌曉に亘る
十四日	三、五	三、九	四、五	五、三	八、〇	(一)五、〇	朝霜多し、前夜來の霧午前二時五十分頃より濃霧となり漸次に薄らぎ午前十一時四十分消散す
十五日	三、七	五、一	五、六	六、〇	八、〇	(一)五、〇	朝薄露あり、午前六時廿五分より七時廿分迄微雨、午前九時仝十一時より午後一時迄強風吹けり、夜微霜あり
十六日	一、三	三、八	五、〇	五、九	八、〇	(一)六、七	朝霜あり、午前八時五分より十時十五分迄薄霧あり、夜霜あり
十七日	一、七	三、五	五、五	五、六	八、〇	(一)六、三	朝霜多し、午後二時十分より三時十四分迄日暈現る
十八日	四、六	五、三	五、五	五、八	七、九	一、七	午前二時五十八分より降雨仝九時五分歇む、午前十一時より夜半まで強風吹けり
十九日	三、九	五、三	五、七	六、二	八、〇	(一)四、三	午前一時より仝十時、午後二時強風吹けり、夜微霜あり
二十日	三、九	五、〇	五、六	六、二	八、〇	(一)五、二	朝霜多し、午前六時十五分より十時五十五分迄薄霧あり、午後三時七分より仝五時十分迄微雨あり
廿一日	二、七	五、一	五、九	六、四	八、〇	(一)五、〇	午前二時より仝三時、午後二時より仝十時迄及夜半強風吹けり、午後零時十二分より零時五十分迄微雨
廿二日	〇、〇	三、二	四、七	五、九	八、〇	(一)五、〇	午前一時より午後十時迄強風吹けり
廿三日	一、七	二、五	四、四	五、四	七、九	(一)二、六	午前二時五十分より三時三十五分迄微雪、午前九時より十時、正午より午後五時仝九時より夜半迄強風吹けり
廿四日	一、六	三、五	四、五	五、四	七、七	(一)三、四	午前一時より仝十時迄強風吹けり、朝微霜あり、午後零時二十八分より九時四十五分迄微雪
廿五日	三、六	四、二	四、八	五、四	七、六	(一)五、四	午前一時強風吹けり朝夜微霜あり
廿六日	一、七	四、〇	四、八	五、六	七、六	(一)四、六	朝微霜あり、午前五時四十分より仝十一時四十分迄薄霧あり、午後二時七分より微雨斷續し仝三時四十四分歇む、夜霜あり
廿七日	三、七	四、一	四、八	五、五	七、六	(一)七、三	朝霜多し、午後一時強風吹けり、午後三時五十分より四時三十分迄日暈現る
廿八日	二、九	四、七	五、三	五、八	七、六	(一)四、三	朝霜あり、午前十時七分より仝十時三十分迄日暈現る
廿九日	一、七	三、九	四、九	五、七	七、七	(一)七、七	朝霜あり、午前十一時より夜半迄強風吹けり、午後零時五十五分より小雪斷續し仝四時十八分歇む

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

月	日	地中溫度（平均）地皮十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地溫	諸現象の摘要
一月	一日	五、一	五、二	七、三	九、八(二)	三、八	朝霜あり、午前十時五十七分より小雨斷續し午後八時十五分歇む
	二日	五、八	六、五	六、八	九、七(一)	〇、四	午後四時三十五分より全五時十三分迄微雨、午後一時、四時、全六時より夜半迄強風吹けり
	三日	二、〇	五、五	六、七	七、七	二、二	終日強風吹けり
	四日	(一) 〇、四	三、五	五、三	六、八	四、五	終日強風吹けり

月	日	氣壓	氣溫	濕度	風向	風力	雨量	雲量
全月		七五四、四	三、三	一、五				
廿一	日	七五九、二	一、九	三、〇	西	四、二	一二五、七▲	八、三
三十	日	七六〇、〇	二、八	四、五	西	二、三	八、三	八、三
廿九	日	七五八、四	三、三	五、三	西	四、五	五、七▲	八、三
廿八	日	七五四、四	三、三	五、三	北	五、八	二、四	八、三
廿七	日	七五二、五	四、五	六、三	西北西	四、〇	七、九▲	八、三
廿六	日	七五三、五	三、八	五、三	東北東	七、一	—	八、三
廿五	日	七五六、四	四、五▲	六、三	西	三、〇	八、三▲	八、三
廿四	日	七五三、三	三、八	五、三	西北西	五、六	七、五▲	八、三
廿三	日	七五八、八	三、三	五、三	西北西	五、三	六、七▲	八、三
廿二	日	七五二、九	一、〇	三、八	西北西	一、五	八、四▲	八、三
廿一	日	七六一、九	三、八	五、三	西南西	四、二	六、七▲	八、三
二十	日	七六二、九	五、五▲	六、三	北東	六、六	三、六	八、三
十九	日	七六二、七	六、〇▲	七、五	西	〇、六	九、〇▲	八、三
十八	日	七六四、九	七、二▲	九、三	西	六、三	二、六	八、三
十七	日	七六八、八	三、九	〇、二	東	三、二	六、九▲	八、三

月	日	氣壓	氣溫	濕度	風向	風力	雨量	雲量
全月		七五四、四	三、三	一、五				
廿一	日	七五九、二	一、九	三、〇	西	四、二	一二五、七▲	八、三
三十	日	七六〇、〇	二、八	四、五	西	二、三	八、三	八、三
廿九	日	七五八、四	三、三	五、三	西	四、五	五、七▲	八、三
廿八	日	七五四、四	三、三	五、三	北	五、八	二、四	八、三
廿七	日	七五二、五	四、五	六、三	西北西	四、〇	七、九▲	八、三
廿六	日	七五三、五	三、八	五、三	東北東	七、一	—	八、三
廿五	日	七五六、四	四、五▲	六、三	西	三、〇	八、三▲	八、三
廿四	日	七五三、三	三、八	五、三	西北西	五、六	七、五▲	八、三
廿三	日	七五八、八	三、三	五、三	西北西	五、三	六、七▲	八、三
廿二	日	七五二、九	一、〇	三、八	西北西	一、五	八、四▲	八、三
廿一	日	七六一、九	三、八	五、三	西南西	四、二	六、七▲	八、三
二十	日	七六二、九	五、五▲	六、三	北東	六、六	三、六	八、三
十九	日	七六二、七	六、〇▲	七、五	西	〇、六	九、〇▲	八、三
十八	日	七六四、九	七、二▲	九、三	西	六、三	二、六	八、三
十七	日	七六八、八	三、九	〇、二	東	三、二	六、九▲	八、三

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印は高又は多）

月日	氣壓 平均	空氣ノ温度 平均	空氣ノ温度 平年比較	空氣ノ温度 最高	空氣ノ温度 最低	空氣ノ温度 較差	水蒸氣張力 平均	濕度 平均	飽差 平均	風速 最大	風速 平均	風向 全上方向最多方向	雲量 平均	日照時數 本年	日照時數 平年比較	降水量	蒸發量
廿二時	三四〇、七	二、三一		六八、四	一、七九		八、〇一	三、二		—						八、三五	
廿三時	三四〇、三	二、〇三		六八、九	一、七四		七、九五	三、三		—						八、三五	
廿四時	三四〇、八	一、九四		六八、五	一、七一		七、九五	三、三四		—						八、三八	
平均	三四〇、四	二、一四		六八、五	一、七一		八、〇一	三、二	一、一	一五、〇		一五、〇	三、〇五	三、〇五	五、九一	八、三八	
一日	三四六、一	四、一	〇、九	〇、六	六、三	一、三	五、四	九	〇、八	二、三	一、三	東	一〇	三〇、三	四、四	〇、二	〇、六
二日	三四〇、五	七、〇▲	一、三	二、九	一、九	一、〇	五、三	七、三	一、四	一四、〇	八、三	西	五、九	〇、二	〇、三	四、二	
三日	三四九、九	三、三	〇、九	六、一	一、〇	五、一	五、三	七、三	一、四	一三、八	八、四	西北西	〇、八	一、八▲	一、九	一、三	〇、七
四日	三五二、〇	〇、二	一、三	二、三	一、三	九、三	五、一	七、四	一、七	一二、六	八、一	西	〇、七	八、四▲	一、九	一、三	二、三
五日	三五七、七	二、一	二、三	七、四	一、六	五、八	五、三	七、四	一、七	一二、三	八、一	西	六、九▲	二、八	一、三	三、八	二、三
六日	三五八、五	四、〇	一、七	七、五	〇、七	六、八	五、七	七、五	一、八	一四、四	九、八	西	八、四▲	三、四	一、三	三、八	二、三
七日	三五四、四	四、三▲	〇、三	七、〇	二、七	四、三	五、七	七、五	一、八	一三、四	九、八	西	七、三▲	三、四	〇、三	三、八	二、三
八日	三五五、三	一、三	一、三	五、五	一、八	三、七	五、三	七、四	一、七	一二、三	八、三	西	六、七	四、七	〇、三	三、八	二、三
九日	三五〇、一	〇、七	一、三	四、三	二、〇	二、三	五、三	七、四	一、七	一二、三	八、三	西	五、四	五、七▲	〇、三	三、八	二、三
十日	三五六、二	一、七	一、三	五、九	一、八	四、一	五、三	七、四	一、七	一二、三	八、三	西	五、四	五、七▲	〇、三	三、八	二、三
十一日	三五三、四	一、四	一、三	六、三	一、三	四、三	五、三	七、四	一、七	一二、三	八、三	西	五、四	五、七▲	〇、三	三、八	二、三
十二日	三五七、六	二、一	一、三	五、八	一、八	三、八	五、三	七、四	一、七	一二、三	八、三	南西	六、三	四、七	〇、三	三、八	二、三
十三日	三五八、六	二、一	一、三	五、八	一、八	三、八	五、三	七、四	一、七	一二、三	八、三	東北東 北北東	六、三	四、七	〇、三	三、八	二、三
十四日	三五五、九	四、二▲	一、三	七、〇	二、〇	四、三	五、三	七、四	一、七	一二、三	八、三	南西	六、三	四、七	〇、三	三、八	二、三
十五日	三五二、二	四、八▲	一、三	七、五	二、三	四、三	五、三	七、四	一、七	一二、三	八、三	北	四、七	五、四	〇、三	三、八	二、三
十六日	三五九、一	一、九	一、三	四、三	一、三	三、一	五、三	七、四	一、七	一二、三	八、三	南南西 東	一、七	八、三▲	二、九	三、三	二、三

第一表　大阪每時氣象觀測成績表

一月	氣壓平均	氣溫平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	氣溫較差平均	風速平均	雲量平均	日照時數	降水量	地中溫度（平均）地皮	地下一十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
一時	七四、六八	一、八七	三、七四	七一、六	一、二三	七、六九	四、一	—	〇、〇	一〇、一九	四、〇四	五、一九	六、〇五	八、三六
二時	七四、六九	一、九六	三、七四	七一、四	一、二七	七、三〇	三、八	—	〇、〇	一〇、一九	三、九〇	五、一三	六、〇三	八、三三
三時	七四、五二	一、三八	三、七四	七一、四	一、二五	七、三〇	四、〇	—	〇、〇	一〇、二一	三、八二	五、〇八	六、〇二	八、三三
四時	七四、三九	一、一七	三、七九	七五、八	一、二〇	七、五〇	三、九	—	〇、三	一〇、二二	三、七一	五、〇一	六、〇一	八、三三
五時	七四、三六	〇、九四	三、七四	七五、八	一、一九	七、〇四	三、七	—	〇、〇	一〇、一九	三、六二	四、九二	六、〇〇	八、三三
六時	七四、三一	一、一二	三、六九	七四、七	一、二八	七、三八	四、一	—	三、三	一〇、一八	三、五一	四、九〇	五、九八	八、三三
七時	七四、三六	一、〇七	三、七〇	七四、五	一、二六	六、八四	五、七	—	六、〇	一〇、二四	三、四二	四、八〇	五、九二	八、三二
八時	七四、九一	一、二四	三、七九	七四、二	一、四二	六、八八	五、五	八、五〇	一、四	一〇、四七	三、三七	四、七四	五、九〇	八、三〇
九時	七五、二五	二、二七	三、八二	六八、七	一、八五	七、六二	四、二	一八、八〇	〇、一	三四、八七	三、二六	四、六九	五、八八	八、二九
十時	七五、四八	二、八八	三、七九	六〇、九	二、九一	八、三五	四、一	二三、三〇	〇、一	三四、八七	三、二六	四、六九	五、八四	八、二九
十一時	七五、四八	二、八八	三、七九	五六、七	三、〇三	八、四二	三、六	二五、一〇	〇、〇	七、四九	三、三〇	四、六九	五、八四	八、二八
十二時	七五、一九	二、九六	三、八一	五四、一	三、三六	八、八三	四、八	二三、八五	〇、一	九、三八	三、三六	四、六九	五、八四	八、二七
十三時	七五、一七	二、九六	三、九〇	五五、二	三、四三	九、五一	五、七	二一、三〇	〇、〇	九、五一	三、三六	四、六九	五、八四	八、二七
十四時	七五、〇六	二、九六	三、九四	五五、二	三、三五	九、五〇	五、三	二一、三〇	〇、一	八、九二	三、三六	四、六九	五、八四	八、二七
十五時	七五、〇三	二、九六	三、九〇	五三、三	三、三一	九、三一	四、八	一七、七〇	〇、〇	七、一一	三、三六	四、六九	五、八四	八、二七
十六時	七五、〇六	二、九六	三、八九	五二、五	三、二九	九、三〇	四、八	一七、七〇	〇、〇	五、三一	三、三六	四、六九	五、八四	八、二七
十七時	七五、〇九	二、八一	三、八九	五二、五	二、八八	九、三八	三、五	三、二〇	〇、〇	一、八八	三、三六	四、六九	五、八四	八、二七
十八時	七五、一二	二、五四	三、七九	六〇、二	二、三五	八、八五	二、九	—	〇、〇	〇、八六	三、三六	四、六九	五、八四	八、二七
十九時	七五、二〇	二、三一	三、八一	六二、六	二、二二	八、八八	二、九	—	〇、〇	〇、二二	三、三六	四、六九	五、八四	八、二七
二十時	七五、二一	二、一八	三、八一	六二、二	二、〇八	八、八三	二、八	—	〇、〇	〇、二二	三、三六	四、六九	五、八四	八、二七
廿一時	七五、二五	二、一三	三、七九	六六、四	一、九四	八、二四	二、七	—	〇、〇	〇、二六	三、三六	四、六九	五、八四	八、二七

して平年に比すれば二度二五低く月中の最高は二十五日午後一時に於て十七度四を示し最低は九日午前五時乃至七時に於て零下三度〇を示せり、而して地皮溫度の零下に降りたる日數は二十八日にして平年に比すれば十七日多く又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は正午にありて九度六八、最低は午前七時にありて零下零度八四を示し其較差は十度五二なり

地中十糎の溫度　平均は四度〇五にして平年に比すれば一度三二低く月中の最高は二日午後四時乃至七時に於て七度七を示し最低は十一日午前九時乃至正午に於て二度二を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて四度九〇、最低は午前九時にありて三度二九を示し其較差は一度六一なり

地中二十糎の溫度　平均は五度〇〇にして平年に比すれば零度九六低く月中の最高は二日午後八時乃至十時に於て七度六を示し最低は十一日午前八時乃至午後二時に於て三度七を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後八時にありて五度三二、最低は午前十時乃至正午にありて四度六六を示し其較差は零度六六なり

地中三十糎の溫度　平均は五度九一にして平年に比すれば零度七五低く月中の最高は三日午前四時乃至七時に於て七度九を示し最低は卅日午後一時乃至五時及卅一日午前七時乃至夜半に於て五度二を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午前一時にありて六度〇五、最低は午後二時乃至四時にありて五度七九を示し其較差は零度二六なり

地中六十糎の溫度　平均は八度二八にして平年に比すれば零度一二低く月中の最高は一日午前一時乃至十一時に於て九度八を示し最低は三十一日午後六時乃至夜半に於て七度四を示せり、但し此深さにありては殆ど一日中の變化を認め難し

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては正午、地中十糎にありては午後五時、同二十糎にありては午後八時、同三十糎にありては午前一時に生じ、最低は地皮にありては午前七時、地中十糎にありては午前九時、同二十糎にありては午前十時乃至正午、同三十糎にありては午後二時乃至四時に生ぜり、之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地溫　平均は零下四度四九にして平年に比すれば一度六三低く月中の最低は十二日午前七時頃に於て零下八度〇を示せり、而して最低地溫の零下に降りたる日數は三十日にして平年に比すれば九日多し

天氣日數

快晴は六日にして平年より一日多く曇天は例年四日を算するも本年は一日もなく雪は七日にして平年より三日多く霰は一日にして平年より二日少く霧は二日にして平年に等しく霜は十七日にして平年より三日少し

尙詳細は左に掲ぐる氣象觀測成績表を參照すべし

水蒸氣力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は三粍七六にして平年に比すれば零粍七九低く月中の最高は十八日午前七時及九時に於て七粍一を示し最低は四日正午に於て一粍六を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午前九時にありて三粍八六、最低は夜半にありて三粍六三を示し其較差は零粍二三なり

濕度の平均は六十五、〇にして平年に比すれば五、二少く月中の最少は三十一日午後三時に於て三十一を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前四時乃至五時にありて七十五、八、最少は午後三時にありて五十一、二を示し其較差は二十四、六なり

飽差の平均は毎立方米中二瓦二一にして平年に比すれば零瓦一一多く月中の最多は十五日午後一時に於て五瓦四を示し最少は十四日午前七時乃至八時に於て零瓦〇を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後三時にありて三瓦六一、最少は午前五時にありて一瓦二九を示し其較差は二瓦三二なり

風

平均速度は毎秒八米二〇にして平年に比すれば二米五四強く月中の最大速度は九日午前八時の毎秒二十七米八（一間平方面を垂直に壓する力は八十一貫八百目）の西風なり又強風以上の吹きたる日數は二十二日にして平年に比すれば七日多く強風以上の總時數は二百八十六時にして平年に比すれば百五十五時多し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後三時乃至四時にありて九米六〇、最小は午前六時乃至七時にありて六米八四を示し其較差は二米七六なり風向は西風最も多く各風向の過半を占め實に平年の二倍に達し南風は最も少し之れを平年に比すれば西風は平年より二百十一時間多く北又は北東風は平年よりは八十時間內外少し

雲量及日照時數

雲量の平均は四、一にして平年に比すれば〇、七少く日照時數は百八十五時七〇にして平年に比すれば二十一時九四多く一日中日照時間の最も長かりしは十九日の九時〇〇なり

降水及蒸發量

降水日數は七日にして平年に比すれば二日少く其水量は十五粍三にして平年に比すれば二十七粍四少く平年の約三分一に過ぎず一日中の最多量は十八日の十三粍二、一時間の最多量は同日午前六時乃至七時の六粍〇なり、又蒸發總量は八十三粍二にして平年に比すれば十六粍九多く一日中の最多量は三日の四粍六なり

地中溫度及最低地溫

地皮溫度の平均は二度〇四に

大阪測候所月報

大正六年一月　大阪氣象概況

一月は寒氣最も甚しきが故に亞細亞大陸の氣壓は著しく濃密となり爰に一大高氣壓を生し北海道の東方に低壓部ありて氣壓の傾斜は西より東に向て頗る急となり爲めに西乃至北西の風增勢し大陸より寒氣を吹送せるを以て寒威凛烈にして氣温倍々低下し天氣は比較的晴燥寡雨なるも低氣壓の南海岸沖を通過する時は雨又は雪霰を降らし又日本海を通過せば西乃至北西の強風吹き起り寒冷增進し時々飛雪紛々として來るは當大阪地方の持態とす然り而して本年一月の氣候は平年より寒氣烈しく日照時數は多く降水量は少く西の強烈風は著く多かりし

今各氣象要素に就き詳記すれば左の如し

但本項に記する所の平年は築港に於て觀測したる前六箇年の平均なり

氣壓

平均は七百六十四粍四二にして平年に比すれば一粍八一低く日々の變化は氣象圖に示すが如く顯著なる昇降は四回にして他は微なりき、而して月中の最高は十二日午前九時に於て七百七十四粍八を示し最低は十八日正午乃至午後一時に於て七百五十二粍八を示せり、又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前十時にありて七百六十五粍二〇、第一の最低は午後三時にありて七百六十三粍五三を示し第二の最高は午後十時にありて七百六十四粍七一、第二の最低は午前五時にありて七百六十四粍三八を示し其主なる最高低の較差は一粍六七なり

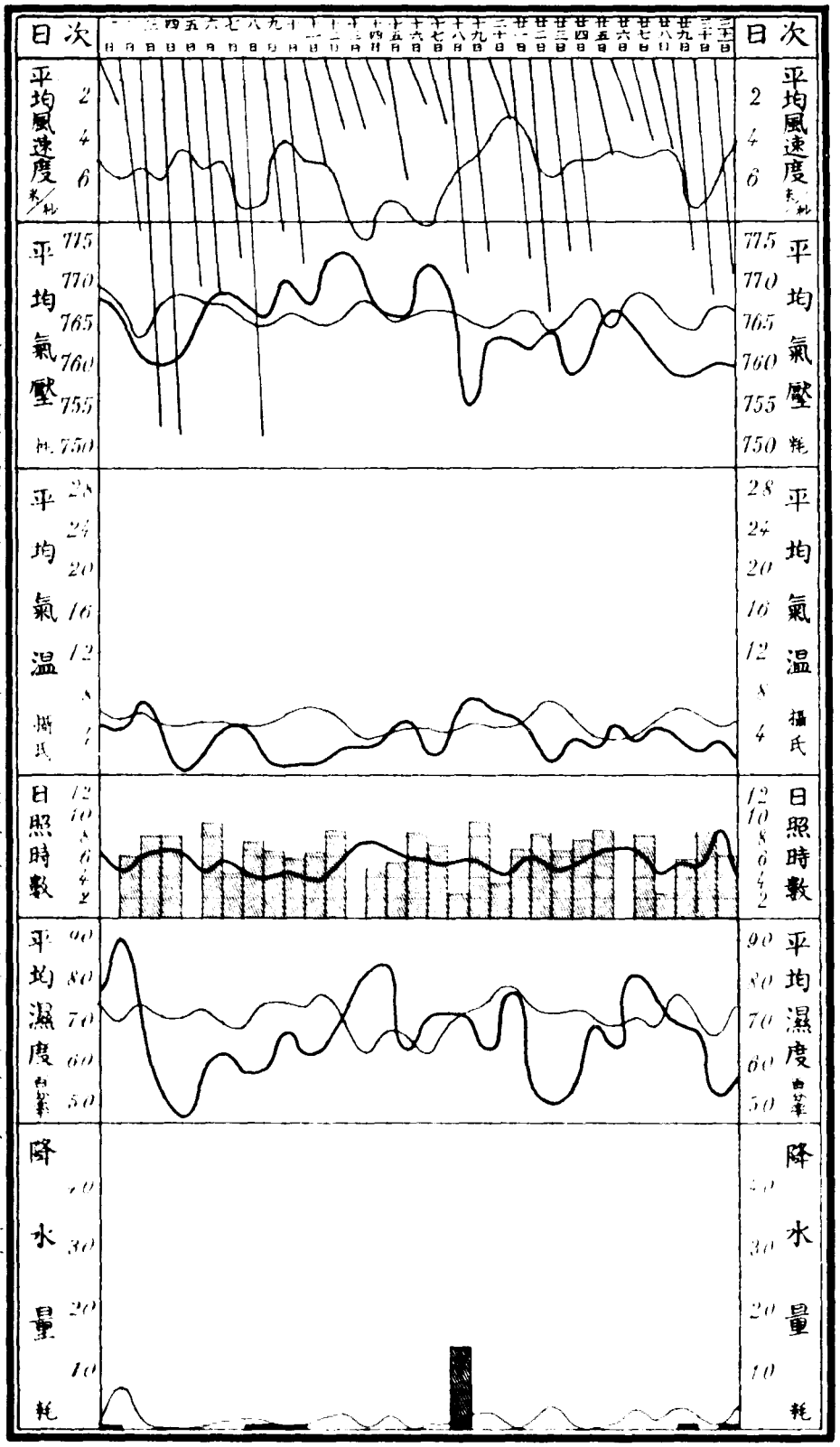
氣温

平均は三度二四にして平年に比すれば一度六一低く平均氣温日々の變化は氣象圖に示すが如し而して平年より一度以上高かりしは二日、十八日、十九日の三日にして其他七日、十四日、十五日、二十日及二十五日の五日は平年より稍々高かりしも其他は皆平年より低く特に最低温度は八日より十四日まで七日間引續き零下に降れり斯る現象は大阪地方には甚だ稀なりとす而して月中の最高は一日午後二時頃に於て十一度九を示し最低は十一日午前八時頃に於て零下三度一を示せり、又最低氣温の零下に降りたる日數は十九日にして平年に比すれば九日多く平年の二倍に達せり月平年に就きて一日中の變化を看るに最高は午後三時にありて六度三三、最低は午前五時にありて零度九四を示し其較差は五度三九なり

大正六年一月

大阪氣象圖

January 1917



本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス 風速度、氣壓、氣温、濕度ハ本年――平年―― 日照時數ハ本年[illegible]平年―― 降水量ハ本年[illegible]平年――

例言

一本報は當測候所及管内各觀測所に於て觀測したる毎月の氣象を調査し之れを掲載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管内各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍(曲尺三厘三毛)を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には(一)を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘し五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量并に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上げて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦(グラム)(零匁二七)にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一歩面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米(曲尺三尺三寸)數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は強風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らす降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管内氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡市	町村	緯威東經	北緯	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	一三五度〇九分	三四度一九分	上出源助
上之郷	仝 國泉南郡	上之郷村	一三五度一八分	三四度二三分	馬場留藏
岸和田	仝 國泉南郡	岸和田町	一三五度二三分	三四度二七分	森内清次
長承寺	仝 國泉北郡	鳳村	一三五度二七分	三四度三二分	前川由太郎
濱寺	仝 國泉北郡	高石村	一三五度二六分	三四度三二分	今井富次
堺	仝 國堺市	車ノ町	一三五度二九分	三四度三五分	吉村正輔
天王寺	攝津國大阪市	南區天王寺	一三五度三一分	三四度三九分	加藤昭純
大阪	仝 國大阪市	西區一條通	一三五度二六分	三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	仝 國大阪市	北區上福島	一三五度二九分	三四度四二分	笹谷正三郎
新庄	仝 國西成郡	新庄村	一三五度三一分	三四度四五分	西田吉治郎
秦野	仝 國豐能郡	秦野村	一三五度二六分	三四度四九分	藤重元太郎
妙見山	仝 國豐能郡	東郷村	一三五度二八分	三四度五六分	阪部文二郎
東郷	仝 國豐能郡	東郷村	一三五度二九分	三四度五七分	大原仁之助
天王	仝 國豐能郡	根根莊村	一三五度二三分	三五度〇二分	三橋政次郎
茨木	仝 國三島郡	茨木町	一三五度三四分	三四度四九分	立崎菊之助
清水	仝 國三島郡	清水村	一三五度三六分	三四度五三分	山本義一
枚方	河内國北河内郡	枚方町	一三五度三九分	三四度四九分	家村八五郎
田原	仝 國北河内郡	田原村	一三五度四二分	三四度四三分	今井由太郎
八尾	仝 國中河内郡	八尾町	一三五度三六分	三四度三八分	水谷芳松
柏原	仝 國南河内郡	柏原村	一三五度三七分	三四度三五分	畿内農事試驗支場
富田林	仝 國南河内郡	富田林町	一三五度三七分	三四度三〇分	塔本幸太郎
長野	仝 國南河内郡	長野町	一三五度三五分	三四度二七分	松本速水

Monthly Report
of The
Osaka Meteorological Observatory.

January 1917

大阪測候所月報

大正六年一月

第拾八年第一號

MAY - 5 1917
Weather Bureau
40241

目次

○本年一月大阪氣象概況 附圖
○本年一月大阪府管內氣象概況
○本年一月大阪地震觀測概況
○一月中の暴風概況
○寒中の氣象概況
○本年一月の寒氣に就て
○南洋「マリアナ」群島の北東海底の大窪
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報通告